NTT DoCoMo

取扱説明書

FOMA® F901iS

'05.6

おサイフケータイ
iモード FeliCa



i-mode

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA F901iS」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。
FOMA F901iS は、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA 端末のご使用にあたって

- FOMA 端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが 3 本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA 端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA 端末は、FOMA プラスエリアに対応しております。
- このFOMA 端末は、ドコモの提供するFOMA ネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

取扱説明書（本書）のご使用にあたって

知りたい機能がすぐに探せるように、本書は次の検索方法を用意しています。

- **インデックスから引く→表紙**
  表紙右端のインデックスを使って、本書をめくりながら知りたい機能を探します。各章の扉には、詳細な目次を掲載しています。
- **目次から引く→P2**
  目的ごとに章で分類された目次から、操作したい機能を探します。
- **かんたん検索から引く→P576**
  よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉で探します。
- **索引から引く→P578**
  機能名や知りたい項目のキーワード、サービス名がわかっている場合には、索引からすばやく探すことができます。
- **特徴から引く→P4**
  F901iS の特徴である機能から探します。
- **クイックマニュアルを利用する→P588**
  本書から切り取って外出時などに利用できる簡易なマニュアルです。

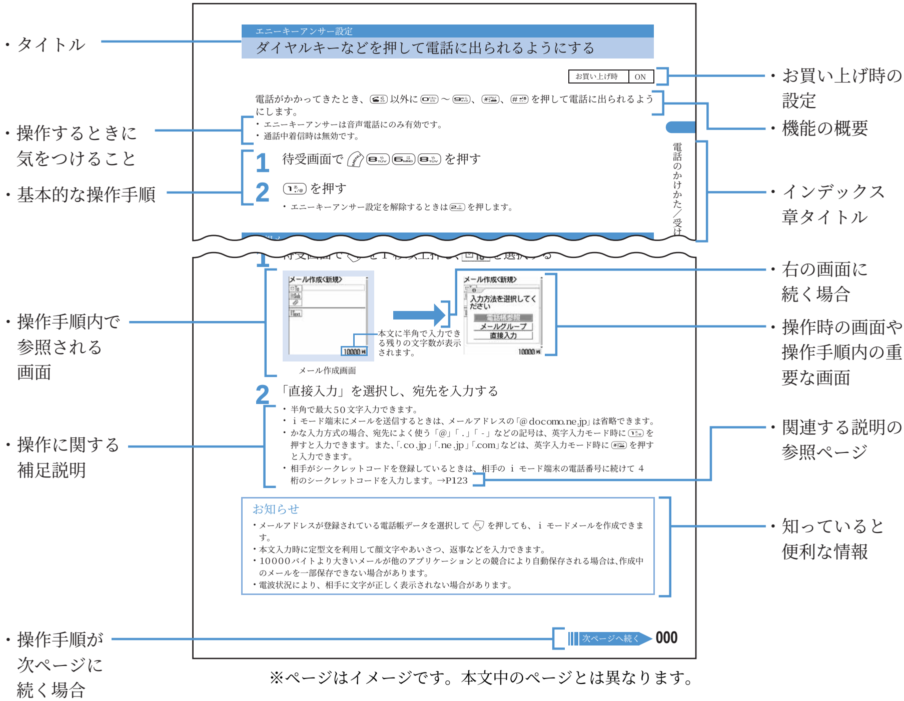
- この「FOMA F901iS 取扱説明書」の本文中においては、「FOMA F901iS」を「FOMA 端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではminiSD メモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSD メモリーカードが必要です。
  miniSD メモリーカードについて→P379
-
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

※「安全上のご注意」は、P8 に記載しています。ご使用の前に必ずお読みください。

本書の見かた　＜クイックマニュアル記載→P588＞

ここでは、本取扱説明書の構成や説明方法について紹介します。

- 操作の方法は、主にショートカット操作で説明しています。→P30
  各メニュー項目のショートカット操作については、メニュー一覧を参照してください。→P526
- 本書では「ご使用前の確認」を除き、基本的な操作手順において（マルチカーソルキー）で項目にカーソルを合わせ、（決定キー）を押して項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。また、画面の入力欄に文字を入力する操作においては、最後にを押す操作を省略しています。
- 操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
- 文字の入力方法は、主にインライン入力（入力欄に文字を直接入力する方法）で説明しています。→P512
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。



※ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

- 本書内の「認証操作を行う」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。それぞれの認証操作については、端末暗証番号（→P146）と指紋認証（→P150）を参照してください。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。

CONTENTS

目次

FOMA F901iSの特徴

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードは、iモード端末のディスプレイを利用して、iモードのサイト（番組）やiモード対応のインターネットホームページから便利な情報を利用したり、手軽にメールをやりとりしたりできるオンラインサービスです。

F901iSの主な機能

キャラ電対応「テレビ電話」

離れている相手と顔を見ながら会話できます。相手の声をスピーカーから聞こえるようにしたり、アウトカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せたりできます。テレビ電話中に自分の映像の代わりにキャラクタを表示させて、キー操作により表情や動きが付けられます。 →P84
また、通話中に電話を切ることなく、音声電話とテレビ電話の切り替えができます。 →P93

デコメール

文字のサイズを変更する、色を変える、背景色を変更するなどの装飾に加え、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真の挿入など、表現力豊かなiモードメールを作成し、送信できます。プリインストールされている豊富なテンプレートやサイトからダウンロードしたテンプレートを利用すれば、楽しいiモードメールがあっという間に完成します。 →P248

充実のカメラ・ビデオ機能

アウトカメラには有効画素数204万画素（記録画素数200万画素）、オートフォーカス機能を備えたCCDカメラを搭載し、最大2Mピクセル（1224×1632ドット）の静止画を撮影できます。撮影画面は20倍までなめらかに拡大でき（リニアズーム）、接写やフレーム付き撮影、連続撮影など、さまざまな撮影方法が選択できます。 →P173

1秒間に30コマの高画質撮影ができるビデオ機能を備えています。 →P179

JANコードやQRコードの内容を簡単に電話帳に登録したり、iモードサイトに接続したりできるバーコードリーダーの機能も備えています。 →P191

チャットメール

何人もの相手と同時におしゃべりをするようにメールを交わせます。チャットメール画面には同報アドレスが一覧表示され、インライン入力による簡単な操作でメールが作成できます。 →P294

大容量iアプリ、iアプリDX対応

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、複雑で迫力あるゲームを楽しんだり、自動的に株価や天気情報などを更新させたりできます。さらにiアプリDXでは、電話帳やメールなどFOMA端末内の情報と連動することで、iアプリの楽しみかたが広がります。 →P310

PDF対応ビューア

地図、カタログ、時刻表などのPDFをiモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードし、ディスプレイに表示できます。検索機能やしおり機能も備えています。 →P219、P413

おサイフケータイ　iモードFeliCa対応

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。その他にも飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。 →P342

iモーション

サイトやインターネットから映像や音楽をダウンロードして楽しめます。FOMA端末に保存したiモーションを着信音や着信画像に設定できます（着モーション）。 →P336

3D×3D

強化された3Dグラフィックと進化した3Dサウンドの相乗効果により、カーレースゲームなどの臨場感を体感できます。 →P119、P318

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※1 →P462
- 転送でんわサービス※1 →P465
- キャッチホン（有料）※1 →P464
- SMS（ショートメッセージ）※2 →P300
- デュアルネットワークサービス（有料）※1 →P469

※1：お申し込みが必要です。
※2：お申し込みは不要です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

多彩なあんしん設定

指紋認証機能
FOMA端末のロック設定・解除がワンタッチでできる指紋認証機能を搭載しています。端末暗証番号とともに、指紋センサーが、ICカードやFOMA端末に保存された個人の大切な情報を守ります。
→P150

プライバシーモード
電話帳、メール、iアプリ、動画、静止画、スケジュール、着信履歴、リダイヤル、伝言メモなどの機能を使用したり、関連するデータを表示したりする場合に、認証操作を行うように設定できます。機能ごとに設定ができるので、他のロック機能のようにキー操作などに制限を受けることなく、通常の操作をしながら大切なデータを守ります。 →P158

オールロックと開閉ロック
FOMA端末を安心してご利用いただくための2つのロック機能です。
オールロックを起動すると、メニュー機能の操作などができなくなります。開閉ロックを起動すると、FOMA端末を折り畳んだときにキーがロックされ、FOMA端末を開くたびに認証操作が必要になります。いずれも第三者によるFOMA端末の使用を防ぐのに有効です。 →P154、P160

ICカードロックと遠隔ロック
ICカード機能の使用を制限するICカードロック機能を搭載しています。また、万一FOMA端末を紛失してしまった場合にも、遠隔操作によってオールロックおよびICカードロックを起動できる遠隔ロック機能も備えています。 →P154、P345

※その他のあんしん設定については、P145を参照してください。

その他の優れた機能と外部連携

マルチタスク機能
複数のアプリケーションを同時に利用できるマルチタスク機能を装備。たとえば、テレビ電話の最中にディスプレイでスケジュールが確認できます。
→P426

ステレオツインスピーカー
ステレオスピーカーやステレオイヤホンセットを使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。この機能によって、臨場感あふれるiアプリのゲームや着信音、iモーションなどをお楽しみいただけます。
→P119

「miniSDメモリーカード」対応
外部メモリの共通規格「miniSDメモリーカード」に対応しています。これによって、次の機能が実現します。
- FOMA端末内の画像、メロディ、電話帳、メールなどのデータをバックアップできます。→P384
- 外部機器で作成した動画（音楽データ含む）をminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます（一部条件下では再生できない場合があります）。 →P549
- FOMA端末を、FOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダ接続用の市販のUSBケーブルでパソコンに接続すれば、FOMA端末に挿入されているminiSDメモリーカードをパソコンのリムーバブルディスクとして利用できます。
→P477

高精細、大画面ディスプレイ
ディスプレイはQVGA（240×320ドット）、2.4インチのTFT液晶画面。iモーションを全画面でなめらかに再生します。また、背面ディスプレイは、1.0インチ96×96ドット、65536色のカラー有機EL搭載。ディスプレイと連動して着モーションを表示できます。 →P25、P28

赤外線通信と赤外線リモコン
赤外線通信機能が搭載された機器との間で、電話帳データやメール、画像、メロディ、スケジュールなどの送受信ができます。また、FOMA端末をテレビやビデオなどのリモコンとして使うこともできます。 →P401

自動時刻補正
FOMA端末の電源を入れたときなどに、ドコモのネットワークからの情報を基に自動的に日付・時刻を補正します。 →P44

4つの機能を持つデータリンクソフト
FOMA端末の電話帳やメールなどのデータをパソコンにバックアップするための「データリンクソフト」、それらをMicrosoft® Outlook®と同期させる「データシンクロソフト」、FOMA端末に挿入されているminiSDメモリーカードの電話帳やブックマークのデータを編集したり、パソコンにバックアップしたりする「miniSDユーティリティ」、画像データなどを管理、編集する「Fアルバムソフト」。データリンクソフト※には、FOMA端末のデータを有効に活用するためのこれら4つの機能があります。
→P547
※：添付のCD-ROMに収録されています。

F901iS を使いこなす！

F901iS の優れた機能を実際の画面表示で紹介します。

キャラ電でテレビ電話

テレビ電話中に送信する画像の切り替えは、簡単なキー操作でできます。自分の映像の代わりにキャラクタを相手の画面に表示させ、キー操作でアクション（動きや表情）を付ければ、キャラクタが自分に代わって気持ちを表現してくれます。 →P88



相手と自分の画像を表示



©BVIG

自画像の代わりにキャラクタを表示



©BVIG

画面を切り替える



©BVIG

キャラクタがアクションで感情表現

通話中にワンショットメール

音声電話中、目の前の風景を撮影してすぐにメールで送信できます。 →P190



通話中



カメラ起動で撮影



メールを作成



メール送信

着モーション

ｉモーションを電話やメールの着信音、アラームとしてディスプレイに設定できます。また、これらの設定を背面ディスプレイに連動させられます。 →P362、P429



TM & c WBE (s05)

着信音に設定



TM & c WBE (s05)

アラームに設定

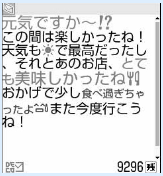


TM & c WBE (s05)

背面ディスプレイに設定

表現豊かなデコメール

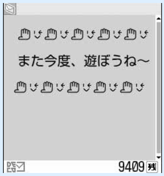
パソコンのメール機能のように、簡単な操作でメール本文を装飾できます。文字のサイズ変更、色付け、文字飾りだけでなく、静止画や罫線の挿入、位置指定、メロディの添付などができます。楽しいｉモードメールが簡単に作成できるテンプレートも、多数搭載されています。 →P248、P257



文字色、サイズ変更



静止画挿入



背景色変更、テロップ



TM & c WBE (s05)

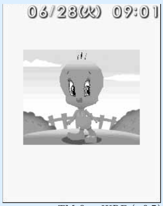
テンプレート利用

画面のカスタマイズ

静止画や動画／ｉモーション、ｉアプリ、キャラ電、Flash画像を待受画像として設定できます。待受画面に未読メールやカレンダー、スケジュールなどを重ねて表示させることで（カスタム待受画面）、メニュー操作なしにそれらの詳細画面を表示させられます（フォーカスモード）。 →P33
また、メニューアイコンの変更や静止画を背景画像に設定することで、オリジナリティあふれるメニュー画面を作成できます。 →P139



ｉアプリを設定

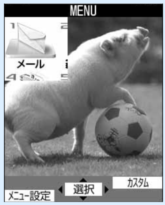


TM & c WBE (s05)

キャラ電を設定



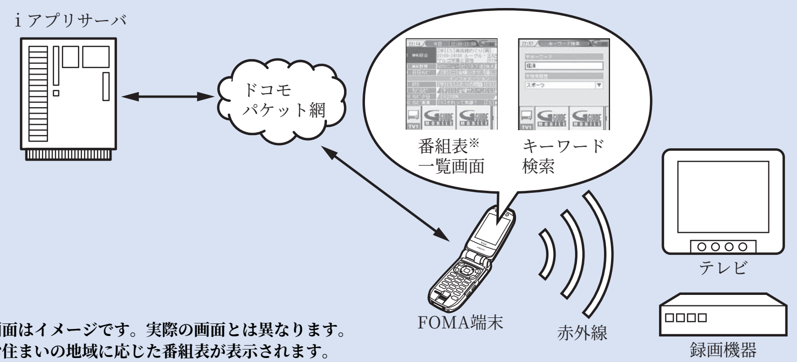
カレンダーと
スケジュールを設定



背景に画像を設定

Gガイド番組表リモコン搭載

テレビ番組情報を簡単に取得してFOMA端末のスケジュール帳に登録したり、番組の時間にアラームを鳴らしたりできます。ジャンルやタレントのキーワードで番組情報を検索することもできます。また、赤外線機能を利用して、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。 →P324



※： 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。
お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の 6 項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

指示
FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合、FOMA端末や電池パック、その他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　F06	卓上ホルダ　F07	FOMA ACアダプタ　01
FOMA DCアダプタ　01	車内ホルダ　F06	

その他、互換性のある商品についてはドコモショップなどの窓口までお問い合わせください。

水濡れ禁止
濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

⚠警告

禁止
強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

指示
ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示
発煙、異臭などの異常が発生したり、破損したりした場合は、ただちに次の作業を行ってください。
1.電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2.FOMA端末の電源を切る。
3.電池パックをFOMA端末から取り外す。
そのまま使用（充電）すると、発火などの事故の原因となります。
電池パックを取り外したあと、ドコモショップなどの窓口までご連絡ください。

⚠注意

指示
乳幼児の手の届かない所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

禁止
湿気やほこりの多い所や高温になる所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁止
直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の所で使用、放置しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破損、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となります。

警告

禁止 自動車などを運転中に使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全な所に停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。
道路交通法の改正により、2004年11月1日から運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。

指示 スピーカーホン機能を利用して通話する場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
難聴になる可能性があります。

指示 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合は法令により罰せられることがあります。

禁止 医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットなどへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

分解禁止 分解、改造をしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

指示 心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

禁止 赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止 ワンタッチライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止 火のそばやストーブのそばなど、高温の所での使用、放置はしないでください。
発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

禁止 エアバックの近くのダッシュボードなど、エアバックの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバックが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P379

注意

指示
屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

禁止
FOMAカード挿入口やminiSDメモリーカードスロットには、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、故障、感電の原因となります。

禁止
内蔵のカメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

禁止
ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。
次の箇所に金属を使用しています。

材　質	使用箇所
クロムメッキ	マルチカーソルキー、アウトカメラのレンズ周囲
ニッケルメッキ	指紋センサー面
マグネシウム合金	表示側フロントケース※

※：樹脂コートされていますが、これがはがれると肌に触れる可能性があります。

禁止
磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示
誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

指示
誤ってディスプレイ、カメラのレンズを破損したときは、割れたガラスなどにご注意ください。
けがの原因となります。
ディスプレイ、カメラのレンズの表面は、ガラス板上にプラスチックパネルを取り付け、ガラスが飛散しにくい構造になっていますが、万一、切断面などに触れますとけがをすることがあります。

指示
自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

電池パックの取り扱いについて（つづき）

危険

禁止　端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示　電池パック内部の液体が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。
失明の原因になります。

禁止　分解、改造をしないでください。また、直接はんだ付けしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止　火のそばやストーブのそばなど、高温の所での使用、放置はしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止　釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止　火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止　電池パックをFOMA端末に取り付けするときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けしてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

禁止　電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、FOMA端末から取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示　電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示　所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示　電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止　直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の所で使用、放置しないでください。
漏液、発熱、性能、寿命を低下させる原因となります。

注意

禁止　一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなどの窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

警告

禁止	DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。 火災の原因となります。
濡れ手禁止	濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。 感電の原因となります。
分解禁止	分解、改造をしないでください。 感電、火災、故障の原因となります。
禁止	コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。 また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。 火災、故障、感電、傷害の原因となります。
指示	指定の電源、電圧で使用してください。 誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。 ACアダプタ　：AC100V（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること） FOMA海外兼用ACアダプタ ：AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること） DCアダプタ　：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
指示	DCアダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。 誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。
禁止	ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い所では、絶対に使用しないでください。 感電の原因となります。
電源プラグを抜く	万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。 感電、発煙、火災の原因となります。
指示	ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。 感電、ショート、火災の原因となります。
禁止	アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。 感電、発熱、火災の原因となります。
指示	プラグについたほこりは、拭き取ってください。 火災の原因となります。
指示	車内ホルダは確実に取り付けてください。 急ブレーキなどで機器が外れると、事故や故障の原因となります。
電源プラグを抜く	長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いてください。 感電、火災、故障の原因となります。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱いについて（つづき）

警告

禁止
充電中は、卓上ホルダやACアダプタを安定した所に置いてください。
また、卓上ホルダやACアダプタを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止
雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

注意

電源プラグを抜く
お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

禁止
アダプタ（充電器含む）のコードの上に重いものを載せたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

禁止
アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止
濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

警告

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

注意

指示
FOMAカードを取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

分解禁止
FOMAカードを分解、改造しないでください。
データの消失、故障の原因となります。

指示
FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、ドコモショップなどの窓口までお問い合わせください。

禁止
FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
故障の原因となります。

禁止
FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

禁止
ICを傷つけないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて（つづき）

注意

水濡れ禁止
FOMAカードを濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

禁止
ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止
FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止
FOMAカード保管の際には、直接日光が当たる所や高温多湿な所には置かないでください。
故障の原因となります。

禁止
FOMAカードは、ほこりの多い所には保管しないでください。
故障の原因となります。

禁止
FOMAカードを火のそばやストーブのそばなど、高温の所で使用、放置しないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

指示
FOMAカードは、乳幼児の手の届かない所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

指示
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示
満員電車の中など混雑した所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示
医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示
自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱上の注意について

■ **共通のお願い**

- 水をかけないでください。
  - FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し、故障の原因となります。
    調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証の対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
  - FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。
- お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
  - FOMA端末のディスプレイは、特殊コーティングを施してあります。お手入れの際に、乾いた布などで強くこすると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることなどがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような所に置かないでください。
  - 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
- 指紋センサーは時々乾いた柔らかい布で清掃してください。
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり認証性能が低下したり、指が触れていない状態でも認証中として誤作動したりすることがあります。
- 電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■ **FOMA端末についてのお願い**

- 使用中や充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は５℃～３５℃、湿度は４５％～８５％の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を異物のある机上などに置かないでください。
  - 破損の原因となります。
- ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような所には入れないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- カメラを直射日光に向けて放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ 電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、電池パックの寿命は、使用状態などによっても異なります。
- 充電は、適正な周囲温度（5 ℃〜 35 ℃）の所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。
- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  - 発火、環境破壊の原因となります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなどの窓口へお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管・放置をしないでください。
  - 長時間放置される場合は FOMA 端末から外し、乾燥した冷暗所に保存してください。また、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。

■ アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 次のような所では、充電しないでください。
  - 周囲の温度が 5 ℃以下、または 35 ℃以上になる所
  - 湿気、ほこり、振動の多い所
  - 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- DC アダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

■ FOMA カードについてのお願い

- ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 極端な高温や低温は避けてください。
- 使用中、FOMA カードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他の IC カード読み取り装置（リーダー／ライター）などに FOMA カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- お客様ご自身で FOMA カードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になった FOMA カードはドコモショップなどの窓口にお持ちください。

お客様が FOMA 端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「ｉモーション／アイモーション」「ｉモード」「ｉアプリ／アイアプリ」「ｉメロディ／アイメロディ」「ｉアニメ／アイアニメ」「mopera／モペラ」「mopera U／モペラユー」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ドライブモード」「ｉモーションメール／アイモーションメール」「マルチアクセス」「ｉアプリDX」「ｉショット／アイショット」「ｉエリア／アイエリア」「デュアルネットワーク」「FirstPass／ファーストパス」「ｉアプリサーチ／アイアプリサーチ」「M-stage Vライブ」「musea／ミュゼア」「sigmarion／シグマリオン」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「クイックキャスト」「セキュリティスキャン」「ショートメール」「DoPa／ドゥーパ」「おサイフケータイ」および「FOMA」「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  （Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。）
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront® v3.2 for FOMAを搭載しています。
  NetFront® v3.2*は株式会社ACCESSの製品です。
  *：Copyright© 1996-2005, ACCESS CO., LTD.
  NetFront®および**NetFront**®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における商標または登録商標です。
  本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はMacromedia, Inc. のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。
  Copyright© 1995-2005 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- miniSD™およびminiはSDアソシエーションの商標です。
  （miniSD™メモリーカードをminiSDメモリーカードと表記しています。）
- 本製品はAdobe Systems Inc.のAdobe Readerを搭載しています。
  Copyright© 2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Patents pending. Adobe, the Adobe logo and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- Gガイドモバイル、G-GUIDE Mobile、Gガイドモバイルロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における商標、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドロゴ、およびGコード、G-Codeは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
  - Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
  - Windows 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
  - Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONの略です。
  - Windows NT Serverは、Microsoft® Windows NT® Server Network operating system Version 4.0 の略です。
  - Windows XP、2000、Me、98のように併記する場合があります。
  - Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 「Edy（エディ）」はビットワレットが管理する電子マネーサービスのブランドです。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LA よりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

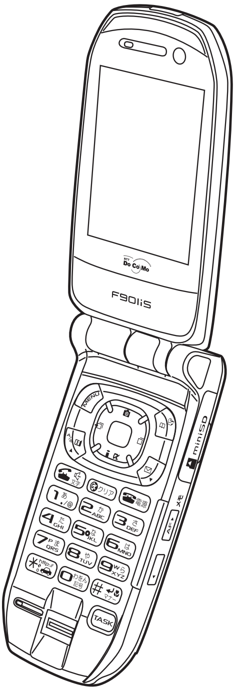
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

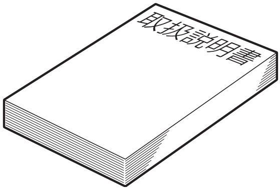
本体付属品および主なオプション品について

＜本体付属品＞

FOMA F901iS
（リアカバー F09、保証書含む）

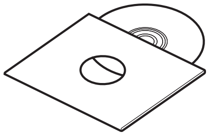


取扱説明書



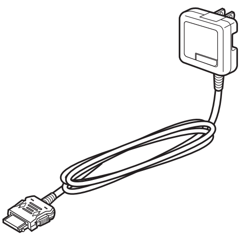
※ P588 にクイックマニュアルを記載しています。

FOMA F901iS 用 CD-ROM

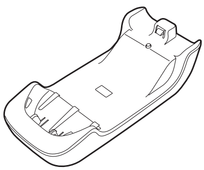


＜主なオプション品＞

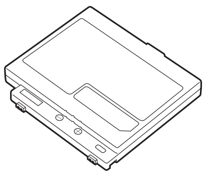
FOMA AC アダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）



卓上ホルダ F07
（取扱説明書付き）



電池パック F06
（取扱説明書付き）

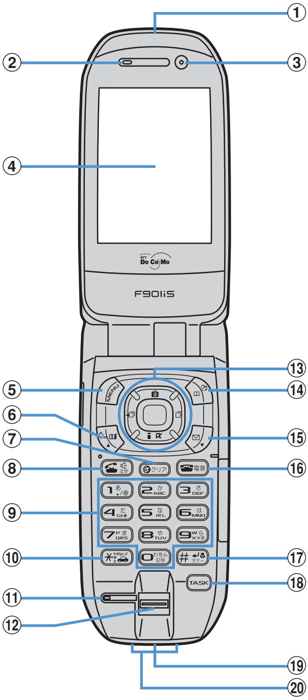


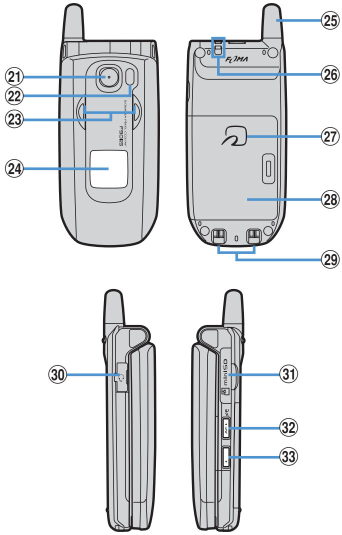
その他オプション品について→P547

ご使用前の確認

各部の名称と機能

ここではFOMA端末の各部の名称と、キーに割り当てられている主な操作の説明をします。





サイズ（mm）：高さ105×幅51×厚さ28
※高さ、厚さは折り畳み時、突起部含まず

質量（g）：約131
※電池パック装着時

① **赤外線ポート**
赤外線でデータを送受信するときに使います。

② **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

③ **インカメラ**
カメラやビデオカメラで自画像を撮影したり、テレビ電話で自画像を送信したりするときに使います。

④ **ディスプレイ→P25**

⑤ **MENU／左上ソフトキー**
メニューの表示、ガイド行左上に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、サイドキーロックの起動／解除ができます。

⑥ **テレビ電話開始／▲(スクロール)／A/a／左下ソフトキー**
テレビ電話をかける／受ける、メールやサイト画面の1画面スクロール、大文字／小文字切り替え、ガイド行左下に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、スピーカーホン機能でテレビ電話をかけられます。

⑦ **クリアキー**
文字の消去や1つ前の画面に戻るときに使います。
1秒以上押すと、セルフモードの起動／解除ができます。

⑧ **音声電話開始／スピーカーホン／文字キー**
音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能の通話切り替え、文字入力モードの切り替えに使います。
1秒以上押すと、スピーカーホン機能で電話をかけられます。

⑨ **ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行に使います。
1秒以上押すと、次の機能を実行できます。
1～9：カスタムメニューに登録されている機能を実行できます。
0：国際電話をかけるとき、国際ダイヤル自動付加設定を利用できます。

⑩ **＊／ドライブモードキー**
「＊」の入力、カメラ使用時の画面モード切り替えに使います。
1秒以上押すと、ドライブモードの起動／解除ができます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

⑪ **送話口／マイク**
自分の声をここから伝えます。
※ 送話口／マイクをふさぐと、通話中の相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、音声が録音されない場合があります。

⑫ **指紋センサー**
指紋の登録や認証時に指をスライドさせます。

⑬ **マルチカーソルキー**

決定キー
操作の実行、フォーカスモードの実行に使います。
1秒以上押すと、ワンタッチボタンに登録したｉアプリを起動できます。

カメラ／↑キー
カメラの起動、音量の調整、上方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、ビデオカメラを起動できます。

ｉモード／ｉアプリ／↓キー
ｉモードメニューの表示、音量の調整、下方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、「ｉアプリ」フォルダ一覧を表示できます。

着信履歴／←（前へ）キー
着信履歴の表示、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、プライバシーモードの起動／解除ができます。

リダイヤル／→（次へ）キー
リダイヤルの表示、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、ICカードロックの起動／解除ができます。

⑭ **電話帳／スケジュール／右上ソフトキー**
電話帳の表示やガイド行右上に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、スケジュール帳を表示できます。

⑮ **メール／▼(スクロール)／右下ソフトキー**
メールメニューの表示、メールやサイト画面の1画面スクロール、ガイド行右下に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、メール作成画面を表示できます。

⑯ **電源／終了／応答保留キー**
電源を入れる／切る、応答保留、通話／操作中の機能の終了、シークレットモードの解除に使います。

⑰ **#／マナーモード／改行キー**
「#」の入力、文字入力時の改行、アウトカメラ使用時の接写モードの切り替えに使います。
1秒以上押すと、マナーモードの起動／解除ができます。

⑱ **TASKキー**
通話中や操作中に別の機能を実行するときに使います（マルチアクセス／マルチタスク）。

⑲ **外部接続端子**
各種オプション品の接続に使います。

⑳ **充電端子**

㉑ **アウトカメラ**
カメラやビデオカメラで撮影したり、テレビ電話で映像を送信したりするときに使います。

㉒ **ワンタッチライト／着信ランプ／充電ランプ**
アウトカメラでワンタッチライト使用時に点灯します。
電話の着信時やメールの受信時などに点灯または点滅します。
※ イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定すると、新着情報があるときに点滅してお知らせします。
カメラ撮影時や充電中に赤色に点灯します（ワンタッチライト使用時はわかりにくい場合があります）。

㉓ **スピーカー**
着信音やスピーカーホン機能利用中の相手の声がここから聞こえます。

㉔ **背面ディスプレイ**→P28

㉕ **アンテナ**
※ よりよい条件で電話を利用するためには、アンテナを手で覆わないようにしてお使いください。
※ アンテナは伸びません。

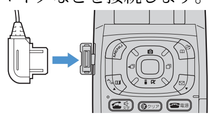
㉖ **ストラップ取付口**

㉗ **FeliCaマーク**
ICカードが搭載されていることを示しています。このマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしておサイフケータイを利用します。

㉘ **リアカバー**

㉙ **信号端子**
卓上ホルダと組み合わせてデータ通信を行うときに使います。

㉚ **イヤホンマイク端子**
イヤホンマイクなどを接続します。



スイッチ付イヤホンマイクの接続方法
※ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込んで使用できます。また、イヤホンジャック変換アダプタ P001を使うと、従来のイヤホンマイクを使えます。

㉛ **miniSDメモリーカードスロット**→P383

㉜ **サイドキー［▲］／メモ**→P24
※ オートフォーカスの説明時は「サイドキー［AF▲］」と表記しています。

㉝ **サイドキー［▼］**→P24

お知らせ
- 操作の説明では各キーをここで説明したイラストで表しています。
- ICカードは取り外せません。

サイドキーでできる主な操作

FOMA 端末ではサイドキーを押してさまざまな操作ができます。

機能		FOMA 端末の状態	操作	機能を操作する主な状態	参照先
音	受話音量調整	開／閉	サイドキー［▲▼］を押す	通話中、通話中着信中、 通話中音声メモ録音中	P65
	音量調整	開	サイドキー［▲▼］を押す	待受ｉモーション再生中※1 動画／ｉモーション再生中 動画／ｉモーション編集中 メロディ再生中※2	P126 P360 P363 P376
	着信音の停止	開／閉	サイドキー［▲］を押す	着信中、 メール／メッセージ受信時	P66
	アラームの停止	開／閉	サイドキー［▲］を押す	アラーム鳴動中	P430 P436
伝言メモ／音声メモ	伝言メモ／音声メモメニューの表示	開	サイドキー［▲］を1秒以上押す	待受画面表示中	P72 P447
	伝言メモ録音（クイック伝言メモ）	開／閉	サイドキー［▲］を1秒以上押す	着信中	P74
	通話中音声メモの起動／停止	開／閉	サイドキー［▲］を1秒以上押す	通話中	P447
	音量調整	開	サイドキー［▲▼］を押す	伝言メモ／音声メモ再生中	P74 P447
カメラ	オートフォーカス	開／閉	サイドキー［AF▲］を半押しする	カメラ撮影待機中	P176
	撮影		サイドキー［AF▲］を全押しする		
その他	背面ディスプレイの表示	閉	サイドキー［▲▼］を押す	待受中	P28
	バイブレータの停止	開／閉	サイドキー［▲］を押す	着信中、アラーム鳴動中、 メール／メッセージ受信中	P66 P430
	ｉモード問合せ	開／閉	サイドキー［▼］を1秒以上押す	待受画面表示中	P265
	マナーモードの起動／解除	閉	サイドキー［▲］を1秒以上押す	待受画面表示中	P123

開：FOMA 端末を開いた状態　　閉：FOMA 端末を折り畳んだ状態
※1：マナーモード中は音量調整できません。
※2：FOMA 端末を折り畳んだ状態でも操作できます。

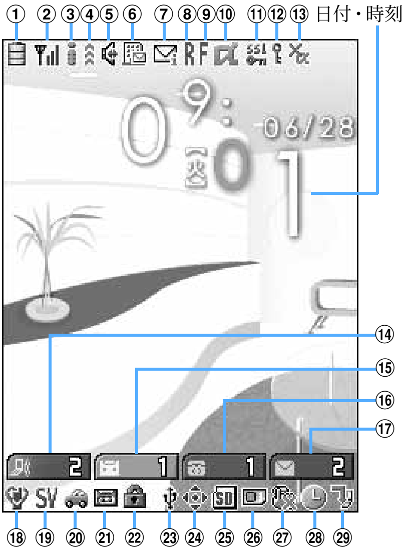
お知らせ

- サイドキー［▲］には、カメラのオートフォーカス機能で撮影するための半押しと全押しがあるため、押したときの感触がサイドキー［▼］とは異なります。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P379

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上下に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。



① ：電池残量表示→P41
／／／／／／／
：文字入力モード表示→P513

② ：受信レベル→P43
圏外：圏外表示→P43
：セルフモード中→P156
：データ転送モード中→P384
赤外線起動中→P402
miniSDメモリーカードアクセス中／
miniSDモード中→P477
データリンクソフトの使用中→P547

③ ：ｉモード中（ｉモード接続中）→P202
：ｉモード中（パケット通信中）→P202

④ ：赤外線通信中→P401
赤外線リモコン使用中→P407

⑤ ：スピーカーホン機能利用中→P49
：USBハンズフリー通信中→P58
：積算通話料金が上限を超過→P450

⑥ ※1 ：センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯※2→P226、P262
／／
：センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯→P226、P262
：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり→P226、P262
／／
：センターに未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり→P226、P262

⑦ ※1 ：未読ｉモードメール、SMS満杯かつFOMAカードにSMS満杯
→P262、P302
：未読ｉモードメール、SMS満杯
→P262、P302
：FOMAカードにSMS満杯→P302
：未読ｉモードメールとSMSあり
→P262、P302
：未読ｉモードメールあり→P262
：未読SMSあり→P302

⑧ ／（青／赤）
：未読メッセージRあり／満杯→P226

⑨ ／（青／赤）
：未読メッセージFあり／満杯→P226

⑩ ：ｉアプリ動作中→P314
：ｉアプリ待受画面表示中（αがグレー）
→P327
：ｉアプリ待受画面からのｉアプリ起動中に点滅（αがオレンジ）→P327
：ｉアプリDX動作中→P314
：ｉアプリDX待受画面表示中(dxがグレー)
→P327
：ｉアプリDX待受画面からのｉアプリ起動中に点滅（dxがオレンジ）→P327

⑪ ：SSLページ表示中→P203
SSLページからダウンロードしたｉアプリを使用中またはｉアプリでSSL通信中→P203

⑫ ：シークレットモード中→P161

⑬ ※3 ：ｉアプリ自動起動失敗→P326

⑭ ：不在着信件数→P33

⑮ ：伝言メモ件数→P33

⑯ ：留守番電話新メッセージ件数→P33

⑰ ：未読メール件数→P33

⑱ ：マナーモード中→P123
：オリジナルマナーモード中→P124

⑲ ：電話着信音消音設定中→P66
：音声電話着信のバイブレータ→P121
：電話着信音消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中→P66、P121

⑳ ：ドライブモード中→P70

㉑ ：伝言メモ設定中→P72
：伝言メモ満杯→P72

㉒ ：開閉ロック中→P160

㉓ ：USB経由で外部機器からテレビ電話中
→P93
USBケーブルで接続中→P477

㉔ ／
：フォーカスモード時の有効マルチカーソルキーの表示→P33

次ページへ続く

㉕ [SD]：miniSDメモリーカード装着中→P383
㉖ [FOMA]：FOMAカード読み込み中→P34
※1 [IC]：ICカードロック中→P345
㉗ [PIM]：PIMロック中→P157
※1 [ダイヤル]：ダイヤル発信制限中→P157
[サイドキー]：サイドキーロック中→P160

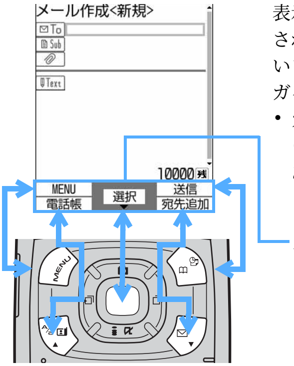
㉘ [アラーム]：アラーム設定中→P429
[スケジュール]：スケジュールアラーム設定中→P434
[同時]：アラームとスケジュールアラームを同時に設定中→P429、P434
㉙ [ソフトウェア]：ソフトウェア更新予約中→P567

※1：現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2：ｉモードメール、メッセージR/Fのうち1種類が満杯で、その他に未受信のメールやメッセージがある場合にも表示されます。
※3：待受画面以外では、時刻が表示されます。

ガイド行の見かた

ガイド行には、[MENU]、[ch]、[●]、[電話帳]、[メール]を押して実行できる操作が表示されます。

〈例〉メール作成画面表示中のガイド行

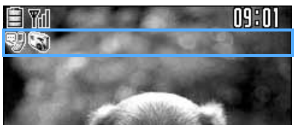


表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するキー（[MENU][ch][●][電話帳][メール]）を使って説明しています。
ガイド行に表示される操作は画面により異なります。
- ガイド行の[↕↔]は、マルチカーソルキーの[カメラ][iα][左][右]に対応しています（使用する機能や表示しているサイトの作りかたによっては異なる場合があります）。

タスクバーの見かた

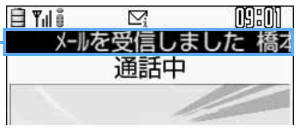
タスクバーには、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大9個表示されます。マルチアクセス中、マルチタスク中は、複数の機能を同時に実行しているため、2つ以上のアイコンが表示され、動作中の機能を確認できます。
また、メールやメッセージを受信すると、タスクバーに受信結果がスクロール表示されます。

〈例〉音声電話中にカメラを起動したとき



タスクバー

〈例〉音声電話中にメールを受信したとき



お知らせ

- 背面情報表示設定で「相手情報表示なし」に設定すると、メール受信時などに相手の名前やメールアドレスはタスクバーに表示されません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

タスクバーに表示されるアイコン一覧

タスクバーに表示されるアイコンは次のとおりです。

：音声電話
：テレビ電話（64K）
：テレビ電話（32K）
：64Kデータ通信
：メール
：ｉモードメール受信中
：SMS受信中
：チャットメール
：メッセージR/F
：ｉモード／SMS問合せ中
：ｉモード
：Bookmark／Internet／ラストURL／画面メモ／ツータッチサイト
：ｉアプリ
：USB経由でパケット発信・通信中
：USB経由でパケット送受信中
：マイピクチャ
：ｉモーション
：メロディ
：キャラ電
：マイドキュメント
：サウンドレコーダー
：カメラ
：ビデオカメラ
：バーコードリーダー
：電話帳
：伝言メモ／音声メモ
：メモ帳
：スケジュール帳
：スケジュールアラーム鳴動中
：電卓
：着信履歴
：リダイヤル
：外部データ連携中
：赤外線通信の受信設定中・INBOX表示中
／（青／グレー）
：miniSDメモリーカードへアクセス中／アクセス待機中
／（青／グレー）
：miniSDモード中（通信可能な状態）／miniSDモード中（miniSDメモリーカード未挿入・USBケーブル未接続）
：アラーム鳴動中
：プロフィール情報
／（青／グレー）
：各機能の設定中／保留中
：ソフトウェア更新中
：ソフトウェア更新の通知あり
：パターンデータ更新中／バージョン表示中
：各種ネットワークサービス設定中
：外部機器によるテレビ電話

一覧画面の見かた

〈例〉色選択画面



一覧が複数ページにわたる場合、現在表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

▲▼は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。

- を押してカーソルを移動します。
- ページの最後の項目で を押すと次ページが表示されます。
  ページの先頭の項目で を押すと前ページが表示されます。

◀▶は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。

- を押してページを切り替えます。
  ※ アイコンの選択画面などでは切り替わりません。

お知らせ

- 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
  - FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えない場合があります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
  - FOMA端末を開いた状態でしばらく同じ画面を表示していると、何か操作をして画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

背面ディスプレイの見かた

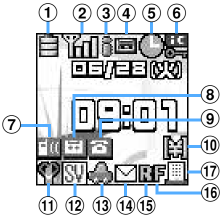
FOMA 端末を折り畳んでいても、設定されている機能やさまざまな情報を確認できます。

- 主な表示内容は次のとおりです。
  - 音声電話やテレビ電話、伝言メモの状態表示
  - ｉモードメールや SMS、メッセージ R/F の問合せ中・受信中
  - アラームやスケジュールアラーム中
  - パケット通信や 64K データ通信、USB 経由での通信、赤外線通信の状態表示

背面ディスプレイに表示されるアイコン一覧

背面ディスプレイの消灯中にサイドキー［▲▼］を押すと、日時や設定中の機能、使用中の機能などを示すアイコンが表示されます。

- サイドキー［▲］には、カメラのオートフォーカス機能で撮影するための半押しと全押しがあるため、サイドキー［▼］とは押したときの感触が異なります。サイドキー［▲］を押して背面ディスプレイを点灯させる場合は、サイドキー［▲］を全押しするためにしっかりと押し込んでください。



① ：電池残量表示→ P41
② ：受信レベル→ P43
：圏外表示→ P43
：セルフモード中→ P156
：データ転送中→ P384
③ ：ｉモード中（ｉモード接続中）→ P202
：ｉモード中（パケット通信中）→ P202
④ ：伝言メモ設定中→ P72
：伝言メモ満杯→ P72
⑤ ：アラーム設定中→ P429
：スケジュールアラーム設定中→ P434
：アラームとスケジュールアラームを同時に設定中→ P429、P434
⑥ ：IC カードロック中→ P345
⑦ ：不在着信あり→ P64
⑧ ：伝言メモあり→ P73
⑨ ：センター留守電あり→ P463
⑩ ：積算通話料金が上限を超過→ P450
⑪ ：マナーモード中→ P123
：オリジナルマナーモード中→ P124
⑫ ：電話着信音消音設定中→ P66
：音声電話のバイブレータ設定中→ P121
：電話着信音消音と音声電話のバイブレータを同時に設定中→ P66、P121
⑬ ：ドライブモード中→ P70
⑭ ：未読ｉモードメール、SMS あり→ P262、P302
：未読ｉモードメール、SMS 満杯→ P262、P302
⑮ ／ （グレー／赤）
：未読メッセージ R あり／満杯→ P226
⑯ ／ （グレー／赤）
：未読メッセージ F あり／満杯→ P226
⑰ ：センターにメール、メッセージ R/F あり→ P226、P262
：センターにメール、メッセージ R/F 満杯→ P226、P262

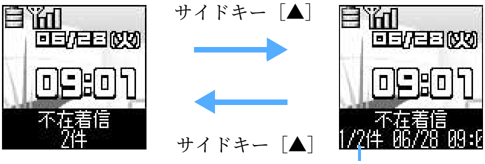
背面ディスプレイの表示を切り替える

FOMA 端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと日時が表示され、もう一度［▼］を押すと不在着信などがある場合に件数が確認できます。件数表示中に［▲］を押すと詳細情報が確認できます。

- 詳細情報が複数件ある場合は、［▼］を押すと次の詳細情報に切り替わります。ただし、10 件を超える詳細情報は表示できません。FOMA 端末を開いて確認してください。
- 上記の操作で確認できる主な内容は次のとおりです。
  - 不在着信
  - 伝言メモ
  - 未読メール
  - 未読メッセージ R/F
  - センター留守電

〈例〉不在着信件数を表示しているとき

受けられなかった電話（不在着信）の件数が表示されているときにサイドキー［▲］を押すと、電話がかかってきた日時と電話をかけてきた相手の情報がスクロール表示されます。



サイドキー［▼］を押して次の不在着信に切り替えます。

番号／総数、詳細情報

〈例〉1/2 件　06/28　09:01　橋本花子

- 電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されているときは、詳細情報に名前が表示されます。

お知らせ

- FOMA 端末を開くと、背面ディスプレイの表示は消えます。
- 背面情報表示設定を「相手情報表示なし」に設定すると、電話着信時やメール受信時などに、相手の電話番号や名前、メールアドレスは背面ディスプレイに表示されません。
- オールロック、遠隔ロック、サイドキーロック中は、サイドキー［▲▼］を押すとロックが設定されている旨のメッセージが表示され、しばらくたつと日付・時刻表示画面に切り替わります。

メニューから機能を選択する

お買い上げ時	タイルアイコン

メニューから各種機能を選択して実行します。

機能を選択する

待受中に MENU を押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。
機能を実行するには、メニュー項目に対応したダイヤルキーを押す方法と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法の 2 とおりがあります。
メニューの表示形式は、メニュー設定で次の 3 種類から選択できます。



リスト



タイルアイコン



3D アイコン

- 各種ロック機能や FOMA カード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが 🔒 で表示されたり文字が薄く表示されたりして選択できません。

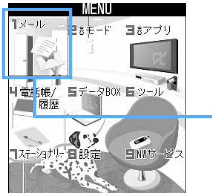
マルチカーソルキーでメニューを選択するには（タイルアイコンメニュー）

〈例〉「受話音量調整」を実行するとき

1 **待受画面で を押す**

- カスタムメニューが表示されたときは、 を押してノーマルメニューを表示させせます。

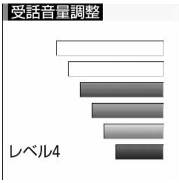
2 **を押して「設定」にカーソルを合わせ、を押す**



カーソル位置のアイコンが変わります。

3 **を押して「音／バイブ」にカーソルを合わせ、を押す**

4 **を押して「受話音量調整」にカーソルを合わせ、を押す**



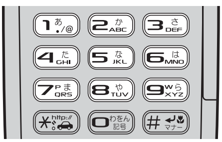
受話音量を調整します。

ダイヤルキーでメニューを選択するには（ショートカット操作）

メニュー項目にはそれぞれ番号が割り当てられており（項目番号）、対応するダイヤルキー（～）を押して選択できます。本書では主にこの方法で操作の説明をしています。



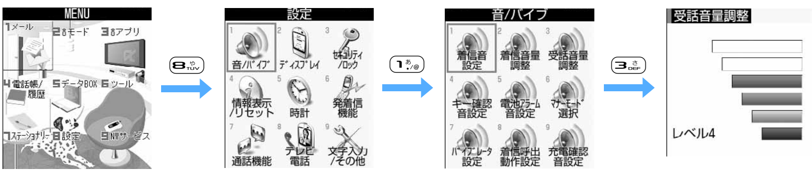
タイルアイコン



「タイルアイコン」のメニュー項目の位置は、ダイヤルキーの位置と対応しています。

〈例〉「受話音量調整」を実行するとき

1 **待受画面で を押す**



メニューの説明が見たいとき（機能説明表示）

を押し、メニュー項目にカーソルを合わせてしばらくたつと、機能説明が表示されます。



- 機能説明はしばらくたつと自動的に消えます。
- メニュー設定で機能説明を表示しないように設定できます。→P139

「メール」の説明が表示された状態

待受画面や1つ前のメニューに戻すには

メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには次のキーを押します。

：待受画面に戻ります。

：1つ前のメニューに戻ります。

リストメニューでの選択方法

リストメニューでは、項目番号と項目名のリストが表示されます。

を押してメニュー項目にカーソルを合わせ、を押します。



カーソル位置のメニュー項目の色が変わります。

選択できないメニュー項目は、文字が薄く表示されます。

▶ は次の階層のメニューがあることを示します。

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- を押してメニュー項目にカーソルを合わせ、を押しても選択できます。
- メニュー表示中に または を押すと1つ前の画面に戻ります。

3Dアイコンメニューでの選択方法

3Dアイコンメニューでは、機能のアイコンがリング状に並んで表示されます。

を押してアイコンのリングを回転させ、目的のメニュー項目を最前面にし、を押します。



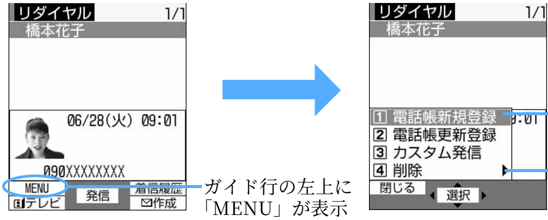
- を押すと時計回りで回転します。
- を押すと反時計回りで回転します。
- を押すと奥のアイコンが回転して、最前面に表示されます（で反時計回り、で時計回り）。
- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。項目番号はタイルアイコンやリストメニューに切り替えて確認してください。

サブメニューから機能を選択する

機能によっては、ガイド行の左上に「MENU」と表示される場合があります。このときには、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

〈例〉リダイヤルのサブメニューを表示するとき

1 リダイヤル一覧画面で を押す



ガイド行の左上に「MENU」が表示されます。

カーソル位置のサブメニュー項目の色が変わります。

▶ は次の階層のメニューがあることを示します。

2 を押してサブメニュー項目にカーソルを合わせ、 を押す

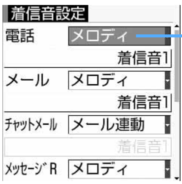
- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。項目番号は同じ機能でも操作する画面により異なる場合があります。
- を押してサブメニュー項目にカーソルを合わせ、 を押しても選択できます。
- サブメニュー表示中に を押すと、サブメニューが閉じます。

画面の各項目を設定する

プルダウンメニューから項目を選択するには

〈例〉電話の着信音を設定するとき

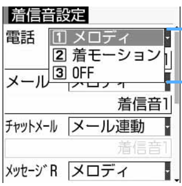
1 を押して設定する項目にカーソルを合わせる



カーソル位置の項目の色が変わります。

2 を押してプルダウンメニューを表示させ、 を押して項目にカーソルを合わせる

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。



プルダウンメニュー

3 を押す

チェックボックスで項目を選択するには

〈例〉スケジュール登録で繰り返しの設定をするとき

1 **を押してチェックボックスにカーソルを合わせ、を押す**



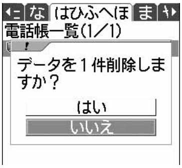
チェックボックスが□から☑に変わり、選択されます。
- 選択されている項目の場合は☑から□に変わり、選択が解除されます。
- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- 機能によっては、を押すとすべての項目を選択または解除できます。

確認画面で「はい／いいえ」を選択するには

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

〈例〉電話帳データを削除するとき

1 **を押して「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせ、を押す**



- 機能によっては、「はい」「いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

情報をすばやく表示する＜フォーカスモード＞

待受画面に次のマークが表示されているときに、マークを選択して、対応する情報をすばやく表示できます。

2：未確認の不在着信（電話に出なかった履歴）あり
選択すると、着信履歴一覧が表示され、着信日時や電話をかけてきた相手の情報を確認できます。

1：未再生の伝言メモあり
選択すると、伝言メモ一覧が表示され、伝言メモを再生できます。

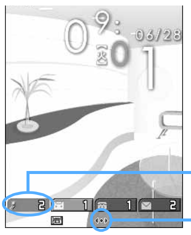
1：留守番電話サービスの新メッセージあり
選択すると、留守番電話サービスのメッセージ再生確認画面が表示され、メッセージを再生できます。

2：未読の受信メールあり
選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示され、未読メールを表示できます。

- マークの数字は、蓄積されている情報の件数です。

1 **待受画面でを押し、を押してマークにカーソルを合わせる**

- 待受画面にカレンダーやカスタム待受画面を設定している場合は、待受画面でを押してを押し、でカーソルを移動させてマークを選択します。



カーソル位置のマークの色が変わります。

有効なマルチカーソルキーの方向を表示します。

2 **を押す**

選択したマークに対応する画面が表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

- マークを選択して [クリア] を 1 秒以上押すと、マークは一時的に消えますが、新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。
- PIM ロックなど各種ロック機能の設定により、マークが表示されない場合があります。

FOMA カードを使う

FOMA カードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。FOMA 端末に挿入して使用します。

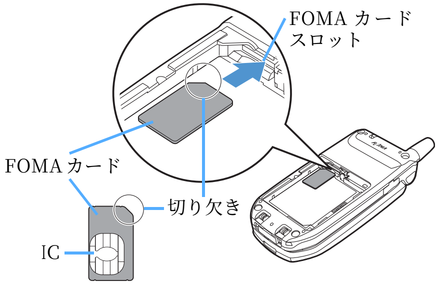
- FOMA カードを正しく取り付けていない場合や、FOMA カードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMA カードの詳しい取り扱いについては、FOMA カードの取扱説明書を参照してください。

FOMA カードの取り付けかた／取り外しかた

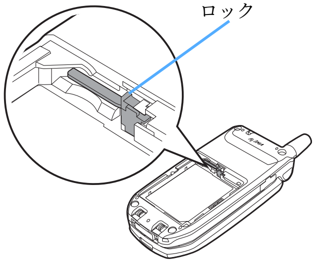
- FOMA カードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから FOMA 端末を折り畳み、手に持って行ってください。FOMA 端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- FOMA カードの取り付け／取り外しを行うときは、IC 部分に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付け／取り外しかた→ P36

取り付けかた

① FOMA カードの IC 面を下にして、図のような向きで FOMA カードスロットへ矢印方向に差し込みます。

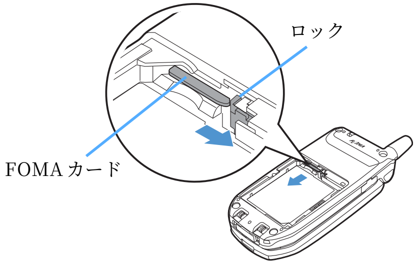


② 図のようにロックがスライドして FOMA カードが固定されるまで、さらに差し込みます。

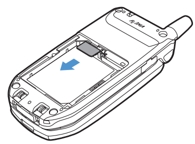


取り外しかた

① FOMAカードに指が触れないようにロックを矢印方向にスライドさせ、FOMA カードを少し飛び出させます。



② FOMA カードスロットから FOMA カードをまっすぐ静かに取り出します。
このとき FOMA カードが落ちないようにご注意ください。



＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P379

お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、引き抜こうとしたりすると、FOMAカードが壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。
- FOMAカードを取り外すときは、強く押し付けないでください。変形や破損するおそれがあります。
- ロックのスライド時にFOMAカードに指が触れるなどしたために、FOMAカードの飛び出し量が少なく取り外しにくい場合は、奥まで差し込んでもう一度ロックをスライドさせてください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4〜8桁の任意の数字に変更できます。→P146

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。

- 画面メモ	- メッセージR/F
- デコメール本文中に挿入されている画像	- iモードメールに添付されているファイル
- iアプリ（iアプリ待受画面を含む）	- iモーション
- 画像（アニメーション、Flashを含む）	- キャラ電
- メロディ	- PDFデータ

- FOMAカード動作制限機能が設定されているiアプリは、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、次の操作ができなくなります。
  - 起動
  - ソフト詳細情報の表示
  - ソフト動作設定
  - 自動起動
  - 自動起動設定の変更
  - iアプリ待受画面の設定
  - バージョンアップ

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを、待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。その場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信やminiSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した画像には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルやデータは、赤外線通信やminiSDメモリーカードへのコピーや移動ができません。
- FOMAカード動作制限機能によっておサイフケータイ対応iアプリが起動できない場合でも、FeliCaマークの面を読み取り装置（リーダー／ライター）にかざす機能は利用できます。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大26桁	最大20桁	P101
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P232
WORLD WINGサービスの利用	利用可	利用不可	P36
サービスダイヤル	利用可	利用不可	P469

WORLD WING

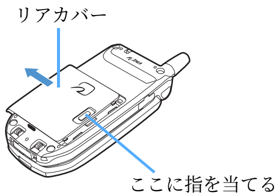
WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応の海外用携帯電話（GSM方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。WORLD WINGのご利用にはお申し込みが必要です。詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

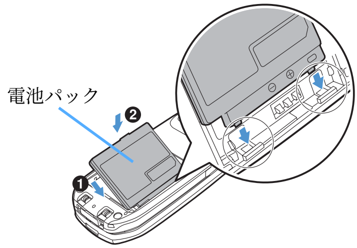
- 電池パックの交換や取り付け／取り外しは、電源を切ってからFOMA端末を折り畳み、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。

取り付けかた

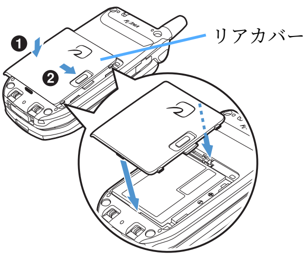
① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向に約3mmスライドさせて外します。



② 電池パックの印字面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

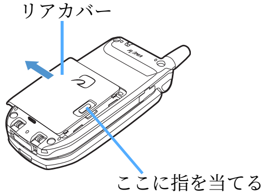


③ リアカバーの2箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。

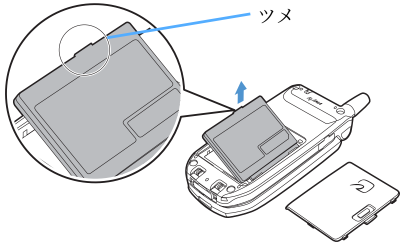


取り外しかた

①親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向に約3mmスライドさせて外します。

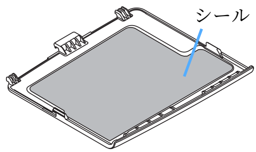


②電池パックのツメを持って、矢印方向に持ち上げて取り外します。



お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 力を入れすぎるとリアカバーが破損するおそれがあります。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行うと、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。
- リアカバー裏面に貼り付けられているシールをはがさないでください。シールをはがすと、ICカードが認識されずおサイフケータイがご利用できない場合があります。
  また、リアカバーの取り付け／取り外しを行う際は、シールがはがれないようご注意ください。



充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- 電池パック単体での充電はできません。
- FOMA端末の性能を十分に発揮するために、専用の電池パックをご利用ください。
- 電池パックF06の取り扱いについては、電池パックの取扱説明書を参照してください。

充電時間（目安）

FOMA端末の電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。
FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

FOMA ACアダプタ 01	約130分
FOMA DCアダプタ 01	約130分

十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間（静止時）	約550時間
連続待受時間（移動時）	約380時間
連続通話時間（音声電話時）	約160分
連続通話時間（テレビ電話時）	約100分

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。

次ページへ続く

- 連続待受時間はFOMA端末を折り畳んで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーション（音楽データ含む）の再生などを行うと、通話や通信、待受の時間は短くなります。

お知らせ

- ｉアプリによっては、FOMA端末を折り畳んでも常に動作状態となり、電力を消費し続ける場合があります。その場合、通話や通信、待受の時間が短くなることがあります。
- ｉアプリによっては、ｉアプリ動作中に充電を開始した場合、充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、ｉアプリを終了してから充電することをおすすめします。
- ｉアプリによってはダウンロードした後も通信を行う場合がありますが､あらかじめ設定することによって接続を行わないようにできます。→P316

電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- **電池パックの寿命は？**
  電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すたびに1回の使用時間が次第に短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分以下になったら、電池パックの寿命とお考えください（電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります）。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

Li-ion

充電時の留意事項

- 充電を開始すると、充電ランプが赤く点灯します。ただし、環境によっては、充電開始時に充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 高温環境下で充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末が高温になり、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 充電中にメールを受信したり、カメラ撮影をしたりして着信ランプが使用されると、充電ランプは一時的に消灯しますが、しばらくたつと赤色に点灯します。また、イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定しているときに不在着信や未読情報がある場合や、画面セーブモードが起動している場合などは、定期的に他の色で点滅しますが異常ではありません。
  これらの理由以外で充電中に充電ランプが点滅する場合は、「故障かな？と思ったら、まずチェック」を参照してください。
- 通話中や通信中、マナーモード中、ドライブモード中、充電確認音設定を「OFF」に設定しているときは、充電開始時や完了時の確認音は鳴りません。
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、充電ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

必ずFOMA ACアダプタ 01（別売）またはFOMA DCアダプタ 01（別売）の取扱説明書も参照してください。

（1）FOMA端末に電池パックを取り付けます。

（2）FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（①）、ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にしてFOMA端末と水平に差し込みます（②）。

（3）〈**ACアダプタの場合**〉
ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込みます。
〈**DCアダプタの場合**〉
DCアダプタのシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込みます。DCアダプタの動作ランプが赤色に点灯したことを確認します。

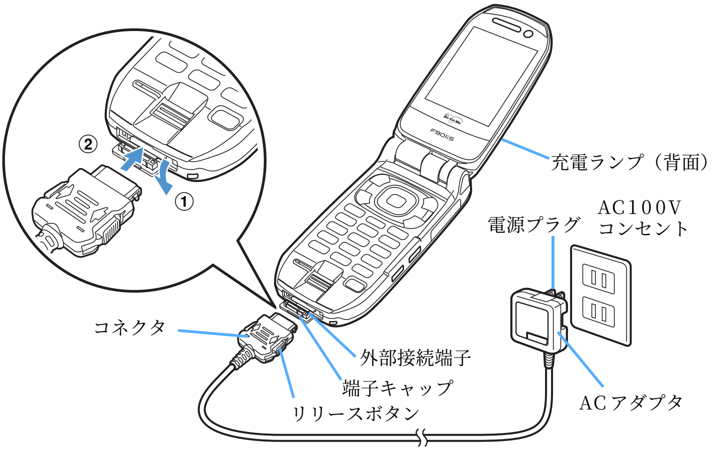
（4）充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
- 待受中に充電すると、ディスプレイの電池マークが点滅します。
  待受中にFOMA端末を折り畳んで充電すると、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
- 充電中はFOMA端末や電池パック､ACアダプタが温かくなる場合がありますが､異常ではありません。

（5）充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
- ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。

（6）ACアダプタをコンセントから抜き、シガーライタプラグの場合はシガーライタソケットから抜いて、コネクタの両側のリリースボタンを押して、FOMA端末から水平にコネクタを外します。

（7）端子キャップを閉じます。

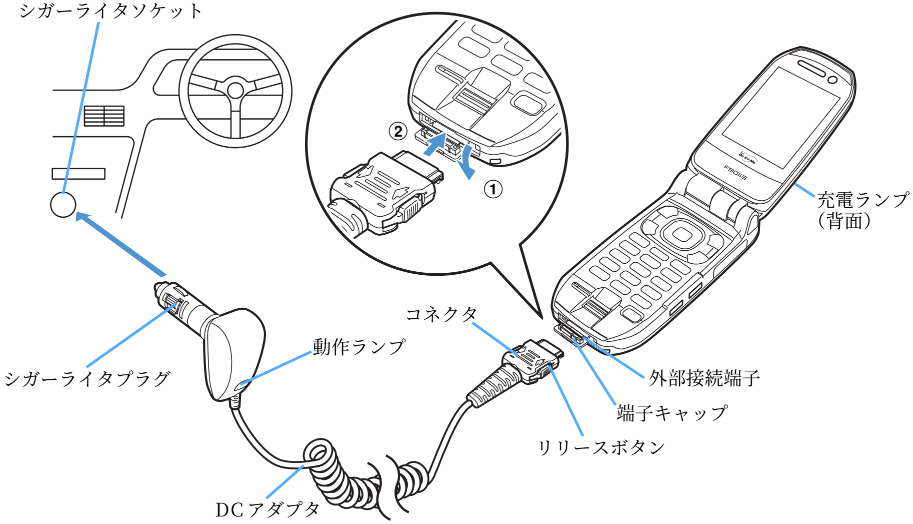
〈**ACアダプタ**〉



ご使用前の確認

次ページへ続く

〈DC アダプタ〉



お知らせ

- DC アダプタはエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。
- AC アダプタや DC アダプタのコネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- FOMA 端末を使用しないとき、または車から離れるときは、DC アダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA 端末から DC アダプタのコネクタを抜いてください。
- DC アダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。
- DC アダプタをシガーライタソケットから外しても、DC アダプタに接続した FOMA 端末の電源は切れません。
- DC アダプタは車内ホルダ F06（別売）と組み合わせてお使いになると便利です。

卓上ホルダを組み合わせて充電する

必ず卓上ホルダ F07（別売）の取扱説明書も参照してください。

- FOMA 端末を卓上ホルダへ取り付けるときは、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。
- 正しく取り付けるために、端子キャップは閉じた状態で卓上ホルダに取り付けてください。
- 卓上ホルダだけでは充電できません。AC アダプタが必要です。
- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。また、卓上ホルダへの取り付け／取り外しを行うときは、FOMA 端末を折り畳んだ状態で行ってください。

(1) AC アダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダに接続します。

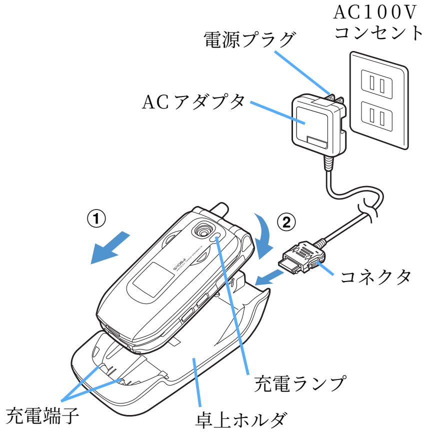
(2) AC アダプタの電源プラグを起こし、AC100V コンセントへ差し込みます。

(3) 電池パックを取り付けた FOMA 端末を卓上ホルダの充電端子に合わせ（①）、FOMA 端末を矢印方向（②）にカチッと音がするまで押し込みます。

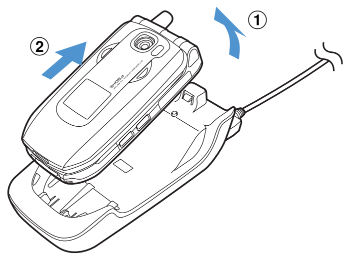
(4) 充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
- 待受中に充電すると、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
- 充電中は FOMA 端末や電池パック、卓上ホルダ、AC アダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。

(5)充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
- ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。

(6)FOMA 端末を卓上ホルダから取り外します。
- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。



取り外しかた
卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ（①）、矢印方向（②）に引き抜きます。



お知らせ
- ACアダプタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。

電池残量
電池残量の確認のしかた

ディスプレイに電池残量が3段階で表示されます。
- 電池残量表示は目安です。



	電池残量 3（十分残っています）	電池残量 2（少なくなっています）	電池残量 1（充電が必要です）
お買い上げ時			
マーク変更時 →P140			

TM & c WBE (s05)

- FOMA 端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイで電池残量を確認できます。

電池残量を音と表示で確認する

- 次の場合は確認音は鳴りません。
  - キー確認音を「OFF」に設定している場合
  - マナーモード中
  - 電話着信音量を消音に設定している場合

次ページへ続く

1 待受画面で MENU 8 4 3 を押す

電池残量が表示され、残量に応じてキー確認音が鳴ります。しばらくたつとメニュー一覧表示に戻ります。

（電池残量 3）



「ピッピッピッ」と鳴ります

（電池残量 2）



「ピッピッ」と鳴ります

（電池残量 1）

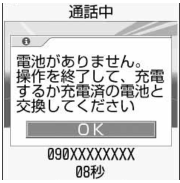


「ピッ」と鳴ります

電池が切れそうになると

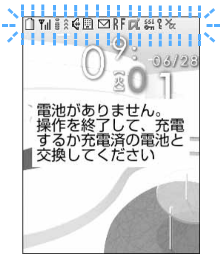
メッセージ表示や電池アラームでお知らせします。充電を開始すれば電池アラームは止まりますが、電池アラームをすぐに止めたい場合は 電源 を押してください。

〈例〉通話中



受話口から電池アラームが聞こえ、電池残量がない旨のメッセージがディスプレイに表示されます。●、クリア、電源 のいずれかを押すと、メッセージが消えます。電池アラームが聞こえてから約 20 秒後に通話が切れて、待受画面に戻ります。その約 1 分後に自動的に電源が切れます。

〈例〉待受中



電池残量がない旨のメッセージがディスプレイに表示されます。このメッセージは ● を押すと消えますが、しばらくたつと電池アラームが鳴り、再びメッセージが表示されます。このとき、左図のようにディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約 1 分後に自動的に電源が切れます。

- FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

電池アラームが鳴らないようにする＜電池アラーム音設定＞

お買い上げ時	ON

待受中に電池が切れそうになっても、電池アラームが鳴らないようにします。

1 待受画面で MENU 8 1 5 を押す

2 2 を押す

- 電池アラームが鳴るように設定するときは 1 を押します。

お知らせ

- 「ON」に設定しても、マナーモード中やドライブモード中は電池アラームは鳴りません。
- 「OFF」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは、受話口から電池アラームが鳴り、電池残量がない旨のメッセージがディスプレイに表示されます。

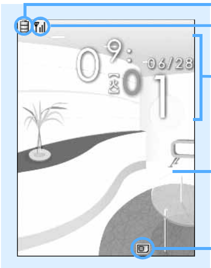
電源ON／OFF

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 [電源]を2秒以上押す

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。



待受画面

受信レベル表示				圏外
状態	強	中	弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- 日付・時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。[ ]を押して、日付時刻設定を行ってください。
- FOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。
- PIN1コードON／OFFを「ON」に設定した場合は、PIN1コードの入力が必要です。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定した場合は、PIN2コードの入力が必要です。
- 待受画像、電池マーク、日付・時刻の表示形式は変更できます。→P125、P140、P143

電源を切る

1 [電源]を2秒以上押す

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない所で圏外が表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える所まで移動してください。なお、[受信レベル強]が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。
- FOMA端末を開いたまま約5分間何も操作せずにいると、自動的にディスプレイが消灯します（画面セーブモード）。画面セーブモード中は着信ランプが白になり、6秒間隔で点滅します。キー操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。ただし、次の場合は画面セーブモードは起動しません。
  - 照明設定の点灯時間を「常時」に設定している場合
  - 照明設定のACアダプタ接続時動作を「常時点灯」に設定し、充電中の場合

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時	自動時刻補正：ON

自動で時刻を補正する < 自動時刻補正 >

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に時刻が正しく設定されます。

1 待受画面で MENU 8 5 1 を押す

- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定した場合や、通話料金上限通知を「ON」に設定した場合は、認証操作が必要です。

2 自動時刻補正にカーソルを合わせて ● を押し、1 を押す

3 ● を押す

お知らせ

- 電源を入れたときなどに補正を行います。i アプリによっては、i アプリ動作中に時刻情報を受信しても補正できない場合があります。
- FOMA カードを取り付けていないときや、電波の届かない所にいるとき、サービスエリア外にいるときは、電源を入れ直すなどしても補正は行われません。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 時計を5分進めるなど、時刻をずらして設定する場合は日付・時刻を手動で設定してください。

日付・時刻を手動で設定する

1 待受画面で MENU 8 5 1 を押す

2 自動時刻補正にカーソルを合わせて ● を押し、2 を押す

3 日付欄にカーソルを合わせて ● を押し、日付を入力する



西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

- 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
- を押しても数字を増減できます。
- を押して変更する数字にカーソルを合わせてから入力することもできます。

4 時刻欄にカーソルを合わせて ● を押し、時刻を入力する

24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

- 0時0分から23時59分まで設定できます。
- を押しても数字を増減できます。
- を押して変更する数字にカーソルを合わせてから入力することもできます。

5 ● を押す

お知らせ

- 設定した時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合は、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。
- 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
  - SSL通信（認証）
  - ユーザ証明書の操作
  - 時刻設定を必要とするｉアプリDX
  - ｉアプリの自動起動機能→P325
  - 再生制限が設定されているｉモーションの取得→P362
  - データ（スケジュール）送受信→P402、P404
  - 自動電源ON設定、自動電源OFF設定
  - アラーム設定
  - スケジュール帳
  - ソフトウェア更新
  - スキャン機能のパターンデータ更新
- 日付・時刻を設定していないと、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。さらに枝番（細分化するための番号）が付く場合もあります。
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 伝言メモ、待受中音声メモ、通話中音声メモ
  - カメラで撮影した静止画や動画の日時→P171
  - バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時→P194
  - 静止画やメロディ、キャラ電、ｉモーション、メールテンプレートなどのダウンロード日時→P254、P396
  - 送信メール、未送信メールの日時→P275
  - ｉアプリのダウンロード日時→P316
- 音声電話中に MENU 3 を押して、日付・時刻を設定できます。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話などで、発信者番号表示ができる場合に表示されます。
- 自分の電話番号を相手に通知／非通知にするには、次の方法があります。

通知／非通知の方法	説　明	参照先
あらかじめ一括して設定（ネットワークサービス）	電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。	P45
電話帳データに設定	電話帳データごとに、発信者番号の通知／非通知を設定します。	P113
電話をかけるときに設定	1回の通話ごとに、発信者番号の通知／非通知を設定します。	P53、P54

発信者番号を通知するように一括して設定する

- ネットワークサービスによる発信者番号通知はお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、発信者番号通知の設定操作はできません。電波状態のよい所で行ってください。
- 詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』を参照してください。

1 待受画面で MENU 9 5 1 を押す

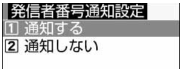
- 設定内容を確認するときは、MENU 9 5 2 を押し、「はい」を選択します。

次ページへ続く

2 ネットワーク暗証番号を入力する

入力したネットワーク暗証番号は「*」で表示されます。

3 1 を押す



- 通知しないときは 2 を押します。

お知らせ

- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。このとき、相手の電話番号が電話帳に登録されていれば、登録されている名前が表示されます。→P97
- 次の場合は、通知されない理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。

非通知理由	理　由
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

プロフィール情報

自分の電話番号を確認する

お買い上げ時	FOMAカードの設定に従う

プロフィール情報で自分の電話番号（自局電話番号）や名前、メールアドレスなどを確認します。

1 待受画面で MENU 0 を押す

- 自局電話番号には、ご契約の電話番号が設定されています。
- ｉモードのメールアドレスを確認するには、待受画面で iα 1 を押してｉMenuを表示し、「オプション設定」→「メール設定」→「アドレス確認」を選択します。

お知らせ

- 通話中に自分の電話番号（自局電話番号）を確認するには、TASK 0 を押します。
- 電話番号以外のプロフィール情報を登録する→P445
- 赤外線機能を搭載した他のFOMA端末などと、赤外線通信を利用してプロフィール情報を送受信できます。→P402

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

ここでは、音声電話のかけかたと、音声電話とテレビ電話での共通の操作を説明します。※

- 通話中はアンテナを手で覆わないでください。

※：ポーズとタイマーの操作については音声電話のみ有効であり、共通の操作ではありません。

1 待受画面で電話番号を入力する



一般電話にかける	市外局番－市内局番－電話番号 • 同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090 － XXXX － XXXX 080 － XXXX － XXXX
PHS にかける	070 － XXXX － XXXX

- 電話番号は最大80桁入力できます。12桁を超える場合は2行で表示されます。24桁を超えた場合は最後から24桁の電話番号が表示されます。
- 電話番号を訂正するときは[クリア]を押します。
- [クリア]を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

2 [文字]を押す



「プッ プッ プッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。[電源]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- 相手の携帯電話やPHSの電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない所にいるときには、ガイダンスで接続できないことをお知らせします。

3 通話が終わったら[電源]を押す

- FOMA端末を折り畳んでも電話が切れます。折り畳んでも電話が切れないようにするには、通話中クローズ設定の設定を変更します。

お知らせ

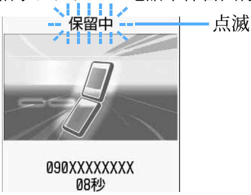
- 操作2→操作1の順でも電話をかけられます。[文字]を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
- 通話中に着信ランプを点灯または点滅させることもできます。→P141
- 他の機能を実行中に電話をかけられない場合があります。→P544
- 電話帳データの画像選択に動画／ｉモーションを設定した相手に電話をかけると、発信中の画面に動画／ｉモーションの最初のコマが表示されます。→P98
- 複数の通信機能を同時に利用できます。→P424、P542
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- 相手の電話番号の前に「186」や「184」を付けないで番号を入力したときや、カスタム発信で番号通知を「指定なし」にして電話をかけたときは、発信者番号通知の設定に従って動作します。
- 通話中クローズ設定を「保留」または「通話継続（マイクミュート）」に設定しているときは、発信中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに相手の情報と「発信中」「呼出中」など、そのときの状態が表示されます。「保留中」「テレビ電話保留中」「通話中」「テレビ電話通話中」の表示はしばらくたつと消えますが、サイドキー［▲▼］を押すともう一度表示されます。
- 音声電話中にパケット着信があった場合、優先通信モード設定に従った着信画面が表示されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけられます。
- ダイヤル発信制限中は、ダイヤルキーを押しても電話をかけられません。

通話中に保留にする<通話中保留>

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。
- 保留中も、電話をかけた側に通話料金がかかります。

1 通話中に□を押す

通話が保留になり、着信ランプが緑色で点滅し、メロディが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にはテレビ電話中保留画像が表示されます。



音声電話保留中



テレビ電話保留中

- 音声電話の保留を解除するときは、□または□を押します。
- テレビ電話の保留を解除するときは、次のいずれかの操作を行います。
  - □を押すと、保留前に送信していた画像に戻ります。
  - □を押すと、カメラ画像が送信されます。
  - □を押すと、代替画像が送信されます。

お知らせ

- 通話中クローズ設定で「保留」に設定すると、FOMA 端末を折り畳むことにより保留にできます。その場合、FOMA 端末を開いても保留は解除されません。
- 保留中に流れるメロディは変更できます。→P69
- テレビ電話中保留画像は変更できます。→P89
- 通話保留音に設定した 3D サウンド対応メロディには、通話相手の端末で音質が劣化して聞こえるものがあります。

スピーカーホン機能を利用する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で電話をかけられます。
- FOMA 端末に向かって約 50cm 以内の距離でお話しください。

1 待受画面で電話番号を入力し、□または□を 1 秒以上押す

- 発信中や通話中は、□を押すたびに通常の受話口からの通話と、スピーカーホン機能を利用した通話を切り替えられます。
- スピーカーホン機能利用中は、ディスプレイ上部に□が表示されます。
- 電話帳一覧、リダイヤル一覧、着信履歴一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。

お知らせ

- スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与えるおそれがあるため、FOMA 端末を耳から離して使用してください。
- 周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい場合は、通常の受話口からの通話を行ってください。
- マナーモード中でもスピーカーホン機能を利用できます。
- スピーカーホン機能は、通話を終了すると解除されます。

音声電話中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 着信履歴	着信履歴を表示します。	P63
2 リダイヤル	リダイヤルを表示します。	P51
3 日付時刻設定	日付・時刻を設定します。	P44
4 再接続アラーム設定※	電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラームを設定します。	P58
5 通話品質アラーム設定※	電波状態が悪くて通話が途切れそうになったときに、アラームで知らせるように設定します。	P123
6 通話中クローズ設定	FOMA端末を折り畳んで電話を切るかどうかを設定します。	P62
7 ダイヤル入力	キャッチホンをご利用の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。	P464

※：アラームが鳴っているときでも設定を変更できます。アラームが鳴り止んだ後に、変更した設定が反映されます。

音声電話中には、次の操作もできます。

- ：電話帳の起動
- サイドキー［▲］1秒以上：通話中音声メモの起動／停止
- （サイドキー［▲▼］）：受話音量調整
- ：着信履歴の表示
- ：リダイヤルの表示
- ：カメラの起動

音声電話中にテレビ電話へ切り替える

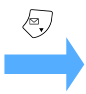
切り替えに対応した端末どうしの場合、音声電話中にテレビ電話に切り替えることができます。切り替えは、音声電話をかけた側の端末からのみ操作できます。（901iSシリーズのみ対応2005年5月現在）

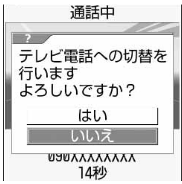
- テレビ電話と音声電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 音声電話中にテレビ電話へ切り替えるには、相手がテレビ電話切替機能通知サービスを開始している必要があります。→P93

1 通話中に を押す



相手が切り替えに対応している場合に表示





切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択する



切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

- 相手側にも同様の画面が表示され、ガイダンスが流れます。
- 切替中画面が表示されている間は、料金は加算されません。
- 「いいえ」を選択すると音声電話中の画面に戻ります。

3 画面に相手の画像が表示されたら、通話する



画面には相手側の操作により、相手の画像または代替画像が表示されます。
→P61
- （スピーカーホンキー）を押すとスピーカーホン機能を利用した通話ができます。

お知らせ

- 切り替えには5秒間程度かかります。電波状態によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状態によっては音声電話からテレビ電話に切り替えられず、接続が切れてしまう場合があります。
- テレビ電話から音声電話に切り替えられます。→P81
- 音声電話とテレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。
- 音声電話とテレビ電話の切り替え中に別の電話がかかってきたときは、着信は拒否され、着信履歴に記録されます。
- パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 音声電話接続中、通話中保留や応答保留中、伝言メモや音声メモの録音中、プッシュ信号（DTMF）送出中は、テレビ電話に切り替えられません。
- 相手側がパケット通信中は、テレビ電話に切り替えることはできません。切り替えができない旨のメッセージが表示され、音声電話が継続されます。
- スピーカーホン機能は、音声電話とテレビ電話を切り替えても継続されます。
- カメラの切り替えやフレーム選択、静止画の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。→P85

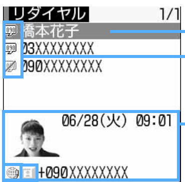
リダイヤル

前にかけた相手にかけ直す

こちらからかけた電話を発信履歴（リダイヤル）として記録しておく機能です。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに、簡単な操作でかけ直せます。

- リダイヤルは最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 日付・時刻が設定されていない場合は、リダイヤルに日時が記録されません。
- 同じ電話番号にかけた場合は、カスタム発信で設定した番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」のそれぞれについて最新の1件のみが記録されます。
- シークレットモード中でない場合、シークレット属性が設定されている電話帳の相手に発信したときは、リダイヤル一覧には相手の電話番号が表示されます。

1 待受画面で（リダイヤルキー）を押し、リダイヤル一覧でかけ直す相手にカーソルを合わせる



電話番号、名前（相手の電話番号が電話帳に登録されている場合）
（番号通知アイコン）：カスタム発信で発番号通知を設定した発信
（番号非通知アイコン）：カスタム発信で発番号非通知を設定した発信
選択されている相手への発信日時、電話番号（電話帳に相手の電話番号とともに画像が登録されているときは、その画像）
（テレビ電話アイコン）：テレビ電話の発信
（国際電話アイコン）：国際電話の発信

2 を押す

音声電話がかかります。
- テレビ電話をかけるときは を押します。
- を押すと、選択しているリダイヤルの発信方法（リダイヤルが音声電話ならば音声電話、テレビ電話ならばテレビ電話）で電話がかかります。

お知らせ

- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、認証操作が必要です。
- ダイヤル発信制限やPIMロックを起動すると、起動前のリダイヤルは削除されます。ただし、起動後の発信は記録され、リダイヤルから発信できます。
- 発信者番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加したりして電話をかけられます。→P54
- 32Kテレビ電話で発信したリダイヤルの場合でも、を押すと64Kテレビ電話で発信されます。32Kテレビ電話で発信する場合は、カスタム発信の発信方法から「32Kテレビ電話」を選択します。

リダイヤルを利用する

リダイヤル一覧から電話番号を電話帳に登録したり、SMSを作成したりできます。

■ 電話帳に登録するとき

① **登録するリダイヤルにカーソルを合わせ、 を押す**
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、 を押します。

② **または を押し、名前やメールアドレスなどを登録する→P97**
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、 または を押し、登録先の電話帳データを選択します。→P109

■ SMSを作成するとき

宛先にするリダイヤルにカーソルを合わせ、 を1秒以上押す

リダイヤルの電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。
- を押すと、リダイヤルの電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたｉモードメールの作成画面が表示されます。それ以外の場合は、リダイヤルの電話番号を宛先にしたｉモードメールの作成画面が表示されます。

■ 着信履歴一覧に切り替えるとき

を押す
- 押すたびにリダイヤル一覧と着信履歴一覧の画面が切り替わります。

リダイヤルを削除する

1件ずつ、またはすべてのリダイヤルをまとめて削除できます。

1 待受画面で を押す

2 削除するリダイヤルにカーソルを合わせ、 を押す

- 全件削除するときは を押します。

3 「はい」を選択する

186／184

1回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示ができるときに表示されます。

「186（＊31#）」／「184（#31#）」を付けて電話をかける

電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付加する方法です。

■ 発信者番号を通知するとき

「1 8 6（または ＊ 3 1 #）＋相手の電話番号＋ 発信」

- テレビ電話をかけるときは、「1 8 6（または ＊ 3 1 #）＋相手の電話番号＋ テレビ電話」を押します。

■ 発信者番号を通知しないとき

「1 8 4（または # 3 1 #）＋相手の電話番号＋ 発信」

- テレビ電話をかけるときは、「1 8 4（または # 3 1 #）＋相手の電話番号＋ テレビ電話」を押します。

お知らせ

- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- 複数の番号通知方法を同時に設定したり操作した場合、次のような順位（①→③）で番号通知動作が行われます。
  ① 発信時にサブメニューのカスタム発信から番号通知方法を選択した場合
  ② 相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合
  ③ 発信者番号通知を設定した場合
  また、上記の番号通知方法を同時に設定したり操作すると、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。
- 国際電話では「186（＊31#）」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 相手の電話番号に「186（＊31#）」または「184（#31#）」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号が付いた電話番号が記録されます。

プッシュ信号（DTMF）を送出する

FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送出して、ご自宅の留守番電話の操作や各種のプッシュホンサービスなどを利用できます。また、電話をかけるときにポーズ、タイマーを入力することにより、番号を区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出できます。

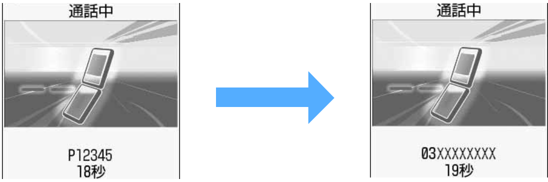
通話中にプッシュ信号（DTMF）を送出する

1 通話中に 0 ～ 9、#、＊ を押す

- 電話帳にポーズ、タイマーを含めた電話番号を登録することもできます。

次ページへ続く

〈例〉「03XXXXXXXXP12345」（ポーズ［P］を入力）で発信したとき
電話がつながった後に を押すと、ポーズ以降の番号が送出されます。



ポーズ「P」を入力する

ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。ポーズ（「P」）が入力された箇所で電話番号を区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出します。

1 電話番号を区切りたい位置で ＊ を1秒以上押す

- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 内線番号の前で ＃ を1秒以上押す

- タイマーは連続して入力できます。
- タイマー1つにつき、約1秒の間隔をとります。
- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- チケットの予約など、音声ガイダンスに従ってプッシュ信号（DTMF）を送出する必要がある場合には、スピーカーホン機能を利用すると、スピーカーで音声ガイダンスを聞きながらダイヤルできるため便利です。その場合、スピーカーホンに切り替えた後で、プッシュ信号（DTMF）を入力してください。
- キャッチホンをご利用の場合は、お話し中の通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。
- 通話中クローズ設定で「保留」に設定している場合、プッシュ信号（DTMF）の送出中にFOMA端末を折り畳んでも保留にならず通話は継続され、プッシュ信号（DTMF）を送出した後に通話は保留になります。

カスタム発信

条件を設定して電話をかける

音声電話やテレビ電話をかけるたびに、発信方法や発信者番号の通知／非通知、発信番号の選択、プレフィックスを付加するかどうかを設定できます。

1 待受画面で電話番号を入力し、MENU 3 を押す

- リダイヤル一覧、着信履歴一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。

2 各項目を選択して設定する

発信方法　：「音声電話」「64Kテレビ電話」「32Kテレビ電話」のいずれかを選択します。
番号通知　：発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」を選択すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。
マルチナンバー　：→P471

プレフィックス　：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。
• お買い上げ時は、国際電話用の「009130010」が登録されています。

3 [MENU]を押し、「はい」を選択する

設定した内容で電話がかかります。
• 発信方法で「64Kテレビ電話」または「32Kテレビ電話」を選択した場合には、「キャラ電選択発信」を選択して、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

お知らせ

• 電話帳の電話番号に「186（＊31#)」または「184（#31#)」を付けて登録していても、本機能の番号通知が優先されます。
〈例〉電話帳に184090XXXXXXXXを登録しているとき
番号通知を「通知」に設定すると「184」が削除され、発信者番号を通知して発信します。
• FOMA端末電話帳の電話帳一覧または詳細（TOP）画面、詳細（電話）画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面、プロフィール情報の詳細（電話）画面から操作する場合は[MENU]を押し、「カスタム発信」を選択します。
• 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
• 国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

WORLD CALL

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

• 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
• 通話方法は次のとおりです。

[0][0][9][1][3][0]▶[0][1][0]▶国番号▶市外局番▶相手の電話番号▶[発信]
※ 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。
※ 市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

• 通話先は世界約220の国と地域です。
• 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
• 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。
• 国際電話ダイヤル手順の変更について
携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合の入力手順が変更となりました。従来の入力手順（上記入力手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
• WORLD CALLについて詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。 • 接続可能な国および通信事業者等の情報についてはドコモのホームページを参照してください。 • 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

※：2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

簡単な方法で「WORLD CALL」を利用する＜国際ダイヤル自動付加設定＞

お買い上げ時	自動付加

国際ダイヤル自動付加設定を「自動付加」に設定すると、「+」の後に国番号からの電話番号を入力することで、国際電話用の「009130010」を自動的に付けて国際電話を簡単にかけられます。

- 「＋」の後に日本の国番号「81」を先頭に付けて発信した場合は、国際ダイヤル自動付加設定を「自動付加」に設定していても、国際電話用の「009130010」は付加されません。

1 **待受画面で MENU 8 7 6 を押す**

2 **1 を押す**

- 国際ダイヤル自動付加設定を利用しないときは 2 を押します。

国際ダイヤル自動付加設定を利用して国際電話をかけるとき

1 **待受画面で 0 を１秒以上押し、国番号、電話番号の順に入力する**

2 **発信キー を押す**

「WORLD CALL」以外の番号を設定する＜プレフィックス設定＞

お買い上げ時	プレフィックス1：009130010

電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ登録しておくと、電話番号を入力した後でも、簡単にプレフィックスを付加して国際電話をかけられます。

- お買い上げ時は、国際電話用の「009130010」が登録されています。「009130010」は、他のプレフィックスに変更もできます。

1 **待受画面で MENU 8 7 5 を押す**

2 **プレフィックス欄を選択し、番号を入力する**

- 最大３件、１件につき最大10桁入力できます。
- 電話番号にはポーズ、タイマーを含めないでください。ポーズ、タイマーを含めてプレフィックスを設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

3 **📖 を押す**

プレフィックスを選択して国際電話をかけるとき

1 **待受画面で国番号、電話番号の順に入力する**

2 **MENU 3 を押し、プレフィックスを選択する**

3 利用するプレフィックス番号を選択する



4 MENU を押し、「はい」を選択する

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時	ON

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN 回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。
  また、映像配信サービス「M-stage V ライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 待受画面で MENU 8 7 7 を押す

2 1 を押す

- 解除するときは 2 を押します。

サブアドレスを指定して電話をかけるとき

- 相手の電話機や通信機器にサブアドレスが設定されている必要があります。

1 電話番号の後に ＊（サブアドレスの区切り）を押し、サブアドレスを入力する

2 発信キー を押す

- テレビ電話のときは テレビ電話キー を押します。

お知らせ

- サブアドレス設定を「ON」に設定していても、電話番号の先頭に「＊」を入力した場合やプレフィックスで付加した番号内に「＊」がある場合は、「＊」以降の番号はサブアドレスとして認識されず、「＊」を含んだ番号として発信されます。
- サブアドレス設定を「ON」に設定していても、ポーズやタイマーを入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

再接続アラーム設定

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時	アラーム高音

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話やテレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続する際のアラームを設定します。

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 待受画面で MENU 8 7 2 を押す

2 1 または 2 を押す

- 鳴らさないときは 3 を押します。

ノイズキャンセラ設定

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時	ON

通話中の周囲の騒音を抑える機能（ノイズキャンセラ）を設定することにより、自分の声と相手の声を明瞭にして通話できます。

- 通常は、「ON」に設定した状態でのご使用をおすすめします。

1 待受画面で MENU 8 7 1 を押す

2 1 を押す

- 解除するときは 2 を押します。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

市販のハンズフリー機器（カーナビなど）とFOMA端末を専用の接続ケーブル（別売）で接続すると、運転中に手を使わずに電話をかけたり、受けたりできます。
この機能は、対応機器がリリースされた場合に利用できるオプション機能です。
2005年5月現在、対応機器はリリースされておりません。

- ハンズフリー機器の操作については、各ハンズフリー機器の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。ただし、ハンズフリー機器から音を鳴らす設定にしている場合、ハンズフリー機器の接続中は、FOMA端末でマナーモード中や着信音設定を「OFF」に設定していても、電話がかかってくるとハンズフリー機器から着信音が鳴ります。
- ドライブモード中の着信動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー機器からの通信速度設定に従います。設定されていない場合は、64K固定でテレビ電話を発信します。
- ハンズフリー機器からテレビ電話をかけたり受けたりした場合、相手には代替画像が送信されます。
- ハンズフリー機器と接続中にFOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中にFOMA端末を折り畳むと通話中クローズ設定の設定に従って動作します。ハンズフリー機器から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定の設定に関わらず、FOMA端末を折り畳んでも通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中は、ハンズフリー機器と接続中でも伝言メモの設定に従って動作します。
- ハンズフリー機器から着信音量や受話音量の調整はできません。

電話を受ける

ここでは、音声電話の受けかたと、テレビ電話と共通の操作を説明します。

- FOMA端末を開くだけでは電話を受けられません。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、着信ランプが点灯または点滅します。

- 電源 を押すと応答保留になります。

2 文字 を押す



お話しください。通話時間が表示されます。

- ダイヤルキーなどを押しても電話を受けられます(エニーキーアンサー)。
- を押すと通話中保留になります。
- 文字 を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えられます。

3 通話が終わったら 電源 を押す

- FOMA端末を折り畳んでも電話が切れます。折り畳んでも電話が切れないようにするには、通話中クローズ設定の設定を変更します。

ディスプレイの表示について

着信中の相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、相手の電話番号や名前、静止画、動画／ｉモーションなどがディスプレイに表示されます。

■ 相手の電話番号が通知されたとき



相手の電話番号が電話帳に登録されていない場合は、ディスプレイには相手の電話番号と電話着信設定またはテレビ電話着信設定で設定した画像が表示されます。

- 着信音設定の電話／テレビ電話に「着モーション」を設定している場合は、着モーションの映像が再生されます。着モーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、お買い上げ時の着信画像が表示されますが、「電話着信設定」や「テレビ電話着信設定」で画像を変更できます。

次ページへ続く



相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は、名前と電話番号が表示されます。また、人物画像表示設定が「ON」のときは、電話帳に設定している静止画または動画／ｉモーションが表示されます。→P135

- 各着信音の設定に「着モーション」を設定している場合は、「1.電話帳（メモリ番号）→ 2.電話帳（グループ）→ 3.着信音設定の電話／テレビ電話」の優先順位で設定した着モーションの映像が再生されます。着モーションや電話帳の画像を設定していない場合は、電話着信設定で設定した画像が表示されます。

■ 相手の電話番号が通知されなかったとき



発信者番号非通知理由が表示されます。

- 音声電話がかかってきた場合は、発番号なし動作設定で設定した着信動作やイメージ表示が優先されます。
- テレビ電話がかかってきた場合は、着信画像はテレビ電話着信設定に従って動作します。

着信中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。
通話中着信動作選択を「通常着信」に設定しているときは、通話中に別の電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 **留守番電話**※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターへ転送します。
2 **着信拒否**	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。
3 **転送でんわ**※2	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。

※1：留守番電話サービスをご利用いただき、音声電話がかかってきた場合に有効です。
※2：転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

着信中には、次の操作もできます。

- サイドキー［▲］1秒以上：伝言メモ録音（クイック伝言メモ）
- サイドキー［▲］：着信音、バイブレータの停止
- ：着信音量調整

FOMA端末を折り畳んでいるときの動作について

着信ランプの点灯または点滅と背面ディスプレイの表示、および着信音で、電話がかかってきたことをお知らせします。

- 発信者番号が通知された場合は、電話番号やFOMA端末電話帳に登録されている名前などが背面ディスプレイに表示されます。発信者番号が通知されていない場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。
- FOMA端末電話帳にシークレット属性が設定されている場合は、シークレットモード中のみ名前が表示されます。
- 背面情報表示設定で「相手情報表示なし」に設定すると、電話番号の通知／非通知に関わらず、相手の電話番号や名前などは表示されません。
- 着信中の画像は、背面画像設定で変更できます。

お話し中に「ププ・・・ププ・・・」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作ができます。

ご契約の内容	動　作	参照先
留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターへ転送します。	P462
キャッチホン	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答します。	P464
転送でんわサービス※	転送登録先へ転送します。	P465

※：通話中着信設定を「開始」に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定したときのみ選択できます。

- キャッチホンを契約されていない場合は、通話中着信音「ププ･･･ププ･･･」が鳴っても電話はとれません。

お知らせ

- 電話帳に登録されていない相手からの着信に対して、着信を拒否したり、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。→P164
- 電話帳に登録されている相手に対して、着信拒否を設定できます。→P161
- ビル電話やPBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へ電話をかけられません。
- 音声電話中にパケット着信があった場合には、優先通信モード設定に従った着信画面が表示されます。
- 複数の通信機能を同時に利用できます。→P424、P542
- FOMA端末から転送された電話を着信した場合は、転送元の電話番号が着信画面の左下に表示されます。ただし、転送元の電話番号が電話帳に登録されていても、名前は表示されず、電話番号のみ表示されます。転送元によっては、転送元の電話番号が表示されない場合があります。
- 電話帳や電話着信設定などで電話着信時にｉモーションを設定していても、音声電話中に音声電話の着信があった場合は、ｉモーションは再生されず、最初のコマが表示されます。
- ソフトウェア更新中に音声電話の着信があった場合、着信音に動画／ｉモーションを設定していても再生されません。
- 着信音設定でｉモーションを設定している場合、ｉモーションの削除や保存を行っているときに電話の着信があると、設定に関わらず着信音が「着信音1」になることがあります。メロディや着信時の画像を設定している場合も、メロディや画像の移動、削除や保存を行っているときに電話の着信があると、「着信音1」「標準画像」になることがあります。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話を受けられます。

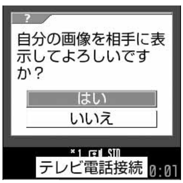
テレビ電話への切り替えに応じる

音声電話をかけてきた相手がテレビ電話に切り替えたときには、対応する操作が必要です。

- テレビ電話への切り替えに応じるには、テレビ電話切替機能通知サービスを開始しておく必要があります。→P93

1 音声電話中にテレビ電話への切り替え要求を受ける





- かけた側からテレビ電話への切り替え操作が行われると、切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

2 「はい」を選択する

テレビ電話に切り替わり、相手に自画像が送信されます。
- 「いいえ」を選択すると代替画像が送信されます。

3 画面に相手の画像が表示されたら、通話する

画面には相手の設定により、相手の画像または代替画像が表示されます。
- [スピーカーキー] を押すとスピーカーホン機能を利用した通話ができます。

お知らせ
- 通話保留や応答保留中、伝言メモや音声メモの録音中、FOMA 端末を折り畳んでいるときは、テレビ電話に切り替えられません。

エニーキーアンサー設定

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時	ON

電話がかかってきたとき、[スピーカーキー] 以外に [0] ～ [9]、[*]、[#] を押して電話に出られるようにします。
- 音声電話にのみ有効です。
- 通話中の着信に対しては無効です。

1 待受画面で [MENU] [8] [6] [8] を押す

2 [1] を押す

- 解除するときは [2] を押します。

通話中クローズ設定

FOMA 端末を折り畳んで通話を切断／保留／継続するように設定する

お買い上げ時	切断

- 64K データ通信中、パケット通信中は動作しません。

1 待受画面で [MENU] [8] [7] [8] を押す

2 [1] ～ [3] を押す

切断：通話を終了します。
保留：通話を保留し、相手には通話保留音が流れます。
通話継続（マイクミュート）
　：保留せずに通話を継続します。

お知らせ

- 「保留」に設定して FOMA 端末を折り畳むと、背面ディスプレイに相手の情報と、音声電話の場合は「保留中」が、テレビ電話の場合は「テレビ電話保留中」が表示されます。
- 「通話継続（マイクミュート）」に設定してFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに相手の情報と、音声電話の場合は「通話中」が、テレビ電話の場合は「テレビ電話通話中」が表示されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）やハンズフリー機器を接続して通話中にFOMA端末を折り畳んだ場合、接続中の機器から音を鳴らす設定にしているときは、本設定に関わらず通話は継続されます。また、通話中にFOMA端末を折り畳んだ状態で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）やハンズフリー機器を外した場合も、通話は継続されます。
- 「保留」に設定してテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、次のとおりです。
  - 自画像または自画像にフレームを重ねて送信中は、相手にはテレビ電話中保留画像が送信されます。また、フレームは解除されます。
  - 静止画を送信中は、静止画を解除して、相手には保留中画像が送信されます。
- 「保留」を設定していても、プッシュ信号（DTMF）の送出中、または音声電話とテレビ電話の切り替え中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、通話が継続されます。プッシュ信号（DTMF）の送出、または音声電話とテレビ電話の切り替えが終了すると保留になります。
- 「通話継続（マイクミュート）」に設定している場合や、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）やハンズフリー機器を接続してテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、次のとおりです。
  - 自画像または自画像にフレームを付けて送信中は、相手には代替画像が送信されます。ただし、フレームは解除されます。
  - 代替画像や静止画を送信中は、相手には継続して代替画像や静止画が送信されます。
- 伝言メモ録音中にFOMA端末を折り畳んだ場合、本設定に関わらず録音は継続されます。
- 通話中音声メモ録音中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、本設定に従って動作します。「保留」に設定している場合、保留直前までに録音していた内容が保存されます。

着信履歴

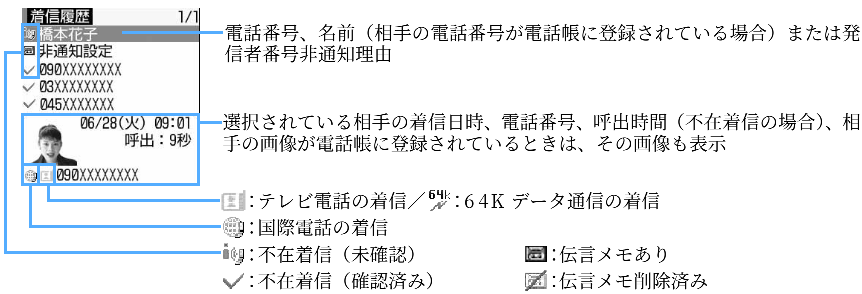
着信履歴を利用する

かかってきた電話に応答した履歴や、電話に出られなかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音されたときの履歴も記録されます。

- 着信履歴は最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 日付・時刻が設定されていない場合は、着信履歴に日時が記録されません。
- シークレットモード中でない場合、シークレット属性が設定されている電話帳の相手から着信があったときは、着信履歴一覧には相手の電話番号が表示されます。

〈例〉**着信履歴から電話をかけるとき**

1 待受画面で を押し、着信履歴一覧で目的の着信履歴にカーソルを合わせる



次ページへ続く

2 [キー]または[キー]を押す

- [キー]を押すと、選択している着信履歴の着信方法（音声電話またはテレビ電話）と同じ方法で電話をかけられます。
- 発信者番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加したりして電話をかけられます。→P54

■ 電話帳に登録するとき

①登録する着信履歴にカーソルを合わせ、[MENU][1]を押す

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、[MENU][2]を押します。

②[1]または[2]を押し、名前やメールアドレスなどを登録する→P97

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、[1]または[2]を押し、登録先の電話帳データを選択します。→P109

■ SMSを作成するとき

宛先にする着信履歴にカーソルを合わせ、[メール]を1秒以上押す

着信履歴の電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。
発信者番号非通知理由の着信履歴にカーソルを合わせた場合は、[メール]を1秒以上押すと宛先が設定されていないSMSの作成画面が表示されます。

- [メール]を押すと、着信履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたｉモードメールの作成画面が表示されます。それ以外の場合は、着信履歴の電話番号を宛先にしたｉモードメールの作成画面が表示されます。
発信者番号非通知理由の着信履歴にカーソルを合わせた場合は、[メール]を押すと宛先が設定されていないｉモードメールの作成画面が表示されます。

■ リダイヤル一覧に切り替えるとき

[キー]を押す

- 押すたびに着信履歴一覧とリダイヤル一覧の画面が切り替わります。

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）

待受画面に[不在着信アイコン 2]（数字は件数）が表示され、着信履歴に記録が残ります。

- 待受画面のマークを選択して着信日時などをすばやく確認できます。→P33
- FOMA端末を折り畳んだ状態で、不在着信件数などを確認できます。→P28
- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

お知らせ

- 着信呼出動作設定の着信呼出動作を「ON」に設定時、時間内不在着信表示を「表示しない」に設定しているときは、呼出開始時間内の不在着信は表示されません。該当する不在着信を表示する場合は、着信履歴一覧で[MENU][5][3]を押します。元の着信履歴に戻す場合は、[MENU][5][2]を押し、すべての着信履歴を表示する場合は、[MENU][5][1]を押します。
- 着信履歴に呼出開始時間内の不在着信のみ記録されている場合、待受画面で[キー]を押すと、表示されていない着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、呼出開始時間内履歴が表示されます。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、認証操作が必要です。
- ダイヤル発信制限やPIMロックを起動すると、起動前の着信履歴は削除されます。ただし、起動後の着信は記録され、PIMロック中の場合は着信履歴から発信できます。
- メモリ登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳に登録されていない相手からの着信は拒否され、着信履歴に記録されます。
- イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、FOMA端末を折り畳んでいる状態で不在着信があると、着信ランプが電話着信のイルミネーションカラーに従って6秒間隔で点滅します。
- 発信者番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加したりして電話をかけられます。→P54

着信履歴を削除する＜着信履歴削除＞

1 件ずつ、またはすべての着信履歴をまとめて削除できます。

1 **待受画面で ［左キー］ を押す**

2 **削除する着信履歴にカーソルを合わせ、［MENU］［4］［1］ を押す**

- 全件削除するときは［MENU］［4］［2］を押します。

3 **「はい」を選択する**

受話音量調整

相手の声の音量を調整する

お買い上げ時	レベル 4

- レベル 1（最小）～レベル 6（最大）の 6 段階で調整できます。
- キー確認音、伝言メモ、音声メモの再生音の音量にも反映されます。
- 通話中に変更した音量は、通話終了後も保持されます。
- 受話音量は電源を切っても保持されます。

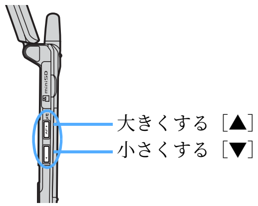
通話中に調整する

1 **通話中にサイドキー［▲▼］または ［上キー］［下キー］ を押す**

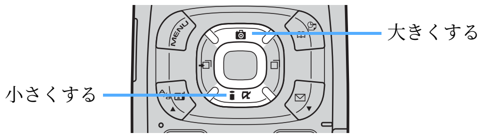
［決定キー］を押すか、キーの操作を止めてしばらくたつと、音量が設定されます。

- 次のキーで音量を調整できます。

サイドキーを使うとき



マルチカーソルキーを使うとき



- テレビ電話中は、サイドキーでのみ音量調整ができます。このとき、調整音量は画面右下に一時的に表示されます。

待受中に調整する

1 **待受画面で ［MENU］［8］［1］［3］ を押す**

2 **サイドキー［▲▼］または ［上キー］［下キー］［左キー］［右キー］ を押す**

3 **［決定キー］を押す**

着信音の音量を調整する

お買い上げ時	レベル 4

着信中や待受中に、電話の着信音の大きさを調整します。待受中には、メールやメッセージの着信音の大きさも調整できます。

- 消音、レベル 1 〜レベル 6 の 7 段階で調整できます。待受中はステップトーン（3 秒ごとに、消音→レベル 1…→レベル 6 で着信音が鳴る）も設定できます。
- 電話着信音量は、ｉアプリ、スケジュールアラームの音量にも反映されます。ただし、「ステップトーン」に設定した場合のｉアプリの音量は「レベル 4」です。
- 電話着信中に変更した着信音量は、電話を切ると元に戻ります。
- 待受中に変更した着信音量は、電源を切っても保持されます。

着信中に調整する

1 着信中に [カメラ] [iα] を押す

お知らせ

- 着信中にサイドキー［▲］を押すと、着信音、バイブレータの動作が止まります。
- 着信音量をステップトーンに設定している場合、着信中に調整を行うと、レベル 6 からの変更になります。

待受中に調整する

1 待受画面で [MENU] [8] [1] [2] [1] を押す

- メール着信音量を調整するときは、待受画面で [MENU] [8] [1] [2] [2] を押します。

2 サイドキー［▲▼］または [カメラ] [iα] [◁] [▷] を押す

- レベル 6 のときに [カメラ]、[▷]、サイドキー［▲］のいずれかを押すと、ステップトーンになります。また、レベル 1 のときに [iα]、[◁]、サイドキー［▼］のいずれかを押すと、消音になります。

3 [ ] を押す

お知らせ

- 電話の着信音量を消音に設定した場合は、待受画面に S が表示されます（S:SILENT（サイレント））。また、同時に電話のバイブレータを設定した場合は、SV が表示されます。FOMA 端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに S または SV が表示されます。
- 着信音量を消音に設定しても、電話がかかってきたときやメールを受信したときに、ディスプレイのメッセージ表示の他にバイブレータの振動や着信ランプの点灯または点滅、背面ディスプレイのメッセージ表示でお知らせするように設定できます。→P133、P135、P141

通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する

お買い上げ時	設定なし

音声電話中にパケット通信の着信があったとき、またはパケット通信中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。
- 画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

1 **待受画面で MENU 8 6 9 を押す**

2 **1 ～ 3 を押す**

設定なし　　　　　：表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示します。
音声通話表示優先　　：音声電話中の画面を表示します。
パケット通信表示優先：パケット通信中の画面を表示します。
- ｉモードのパケット着信時は、本設定に関わらず、音声電話中の画面が優先して表示されます。

表示される画面について

優先通信モード設定の設定内容によって、画面の表示は次のようになります。
- **音声電話中**

設定内容	ｉモード以外のパケット着信時
設定なし	音声電話中の画面
音声通話表示優先	音声電話中の画面
パケット通信表示優先	パケット着信中の画面

※ 電話着信時に表示される画面は、通話中着信動作選択の設定に従って動作します。→P470
※ ｉモード以外のパケット通信にはｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信は含まれません。

- **パケット通信中**

設定内容	電話着信時
設定なし	音声電話着信中の画面
音声通話表示優先	音声電話着信中の画面
パケット通信表示優先	ｉモード中の画面

※ ｉモード中にｉモード以外のパケット着信は受けられません。→P542

応答保留

すぐに電話に出られないとき保留にする

- 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に [電源] を押す

応答保留になります。相手には応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話の場合は、自分と相手にはテレビ電話応答保留画像が表示されます。

- イルミネーション設定の通話中イルミネーションを「ON」に設定している場合、イルミネーションカラーの設定に従って着信ランプが点滅します。



音声電話応答保留中



テレビ電話応答保留中

2 電話に出られる状態になったら [文字] を押す

- テレビ電話の場合は [カメラ] を押します。[カメラ] の代わりに [文字] を押すと、相手には代替画像が送信されます。→P88
- 応答保留中に [電源] を押すか、相手が電話を切ると、通話が終了します。

お知らせ

- テレビ電話応答保留画像は変更できます。→P89

応答保留ガイダンス設定

応答保留ガイダンスを設定する

お買い上げ時	保留音：内蔵音（ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。）

自分の声を応答保留ガイダンスとして録音できます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
- 音声電話、テレビ電話とも、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

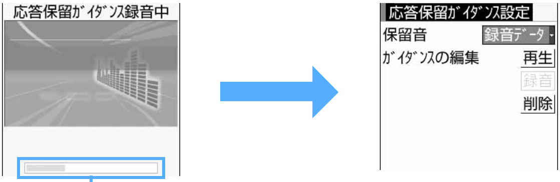
〈例〉録音データをガイダンスに設定するとき

1 待受画面で [MENU] [8] [6] [7] を押す

2 保留音を選択し、[2] を押す

- お買い上げ時のガイダンスに戻すときは [1] を押し、操作4に進みます。

3 ガイダンスの編集の「録音」を選択し、発信音の後に応答保留ガイダンスを話す



録音できる時間の目安

メッセージが表示された後、録音が開始されます。
- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは を押します。
- すでに録音データを登録してあるときは「録音」は選択できません。ガイダンスを録音し直すときは「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してから録音をしてください。
- 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。
- 録音したガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

4 [i] を押す

通話保留音設定

通話保留音を設定する

お買い上げ時	保留音：内蔵音（ENTERTAINER）

FOMA端末にあらかじめ登録されているメロディだけでなく、iモードのサイトやメールから保存したメロディも設定できます。
- 音声電話、テレビ電話とも、通話保留中はここで設定したメロディが流れます。
- 着信音設定の通話保留音にも反映されます。

1 待受画面で [MENU] [8] [7] [3] を押す

2 保留音を選択し、[1] を押す

- お買い上げ時のメロディに戻すときは [2] を押し、操作5に進みます。

3 保留音メロディを選択する

4 フォルダを選択し、メロディを選択する

メロディ一覧の見かた→P376
- メロディの再生の操作については、「FOMA端末から鳴る着信音を変える」のお知らせを参照してください。→P119

5 [i] を押す

お知らせ

- 通話保留音の音量は変更できません。
- 保留音を変更後にPIMロックを起動すると、内蔵音が再生されます。ただし、保留音メロディに「プリインストール」フォルダ内のメロディを設定している場合は、PIMロック中でも設定したメロディが再生されます。

ドライブモード

運転中に電話を受けないようにする

ドライブモードは、運転中の安全性を目的とした自動応答サービスです。ドライブモードを起動すると、相手に運転中のために電話に出られないことを伝えるガイダンスが流れ、切断されます。

- ドライブモード中でも、電話はかけられます。
- 電源が入っていないときや圏外にいるときは、相手にはドライブモードのガイダンスではなく、圏外時のガイダンスが流れます。
- 圏外が表示されているときでも、ドライブモードの起動や解除ができます。
- ドライブモードはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- 詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』を参照してください。

ドライブモードを起動する

1 待受画面で(*)を1秒以上押す



ドライブモード中のマーク

が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイにが表示されます。

- 解除するときは(*)を1秒以上押します。

ドライブモードを起動すると

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータや着信ランプも動作しません。画面セーブモード中も同様です。
  - 電話および64Kデータ通信の着信音
  - アラームやスケジュールアラームの音
  - メールやメッセージR/Fの着信音
  - iアプリのサウンド
- メールやメッセージR/Fを受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。ただし、iモード問合せを行った場合は、受信中画面や受信結果画面が表示されます。また、このときにメールやメッセージR/Fを受信すると受信中画面が表示され、受信が完了すると受信結果画面が更新されます。
- FOMA端末を折り畳んでいる場合に、電話の着信、メールやメッセージR/Fを受信したときなどは、サイドキー［▲▼］を押すと背面ディスプレイで新着情報を確認できます。
- 音声電話がかかってきたときは、相手にドライブモードのガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話がかかってきたときは、相手にドライブモード中である旨のメッセージが表示され、切断されます。いずれの場合も、お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には 2（数字は件数）が表示され、着信履歴に記録されます。

お知らせ

- マナーモード中でも、ドライブモードが優先されます。
- ドライブモード中でも、遠隔ロックで発信元に設定している電話番号から着信があると、着信回数としてカウントされ、遠隔ロックが起動します。
- データ通信中は起動できません。
- ドライブモード中に ｉ モードを利用している場合は、電話がかかってくると次の動作の後に切断されます。着信履歴には記録されます。
  - 音声電話の場合は、相手にドライブモードのガイダンスが流れます。
  - テレビ電話の場合は、通話中である旨のメッセージが表示されます。

  留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合、音声電話がかかってきたときは、それぞれの着信動作になります。
- ドライブモード中に緊急通報（110 番、119 番、118 番）を行うと、ドライブモードは解除されます。
- ドライブモード中は、通話料金上限通知の設定を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されず、アラームも鳴りません。

ネットワークサービスとドライブモード中の着信動作

- ドライブモードとネットワークサービスを同時にご利用のときは、次のように動作します。設定状態や相手の電話のかけかたによっては、ネットワークサービスが優先され、ドライブモードの動作や着信の記録（不在着信件数を示すマークの表示および着信履歴の記録）が行われません。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手にドライブモードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	留守番電話サービスセンターに接続されずに、切断されます。
転送でんわサービス	相手にドライブモードのガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1	相手にドライブモード中である旨のメッセージは表示されずに、転送先に転送されます。※2
キャッチホン	• 音声電話中の場合、相手にドライブモードのガイダンスが流れた後、切断されます。 • テレビ電話中の場合、相手に話中音が流れます。	相手に接続できなかった旨のメッセージが表示された後、切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、切断されます。※3	相手に接続できなかった旨のメッセージが表示された後、切断されます。※3
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手にドライブモードのガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、接続できなかった旨のメッセージが表示された後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、ドライブモード中である旨のメッセージが表示された後、切断されます。

※1：留守番呼出時間または転送でんわ呼出時間を「0 秒」に設定している場合は、ドライブモードのガイダンスは流れず、着信も記録されません。

※2：転送でんわ呼出時間を「0 秒」に設定している場合は、着信が記録されません。

※3：着信が記録されません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを起動しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音されます。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音できます。
- 録音日時や電話番号なども記録されます。ただし、日付・時刻が設定されていない場合や電話番号が通知されていない場合などは、録音日時や電話番号は記録されません。
- テレビ電話に伝言メモで応答した場合、音声電話と同様に音声のみ録音されます。
- 電話がかかってきてから応答ガイダンスを再生するまでの時間は変更できます。→P73
- 自分の声で応答ガイダンスを作成できます。→P73
- 伝言メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

伝言メモを起動する

お買い上げ時	停止する

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 待受画面でサイドキー［▲］を1秒以上押し、1 1を押す

- 待受画面にが表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイにが表示されます。
- 解除するときは伝言メモ起動中に待受画面でサイドキー［▲］を1秒以上押し、1 2を押します。

お知らせ

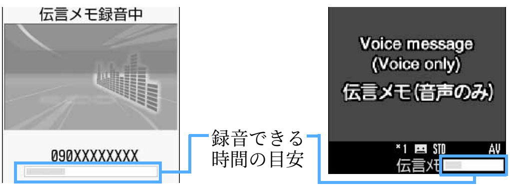
- 伝言メモが4件録音されると、待受画面にが表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときはサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイにが表示されます。これらのアイコンは、これ以上伝言メモを録音できないという意味です。伝言メモを解除してもアイコンは消えません。
- 伝言メモがすでに4件録音されている場合は、新たに伝言メモを起動できません。不要な伝言メモを削除してください。

伝言メモの起動中に電話がかかってくると

1 電話がかかってくる

応答時間の設定（お買い上げ時の設定は8秒）に従って着信音が鳴った後、伝言メモガイダンス中画面が表示されます。相手には伝言メモ応答ガイダンスが流れます。

2 相手のメッセージが録音される



音声電話伝言メモ録音中　テレビ電話伝言メモ録音中

- 録音の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音開始時から約25秒後に、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音が終了すると、電話が切れる

- 内容を確認していない伝言メモがあるときは、待受画面には[アイコン 1]（数字は件数）が表示されます。[アイコン 1]を選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。
- FOMA端末を折り畳んだ状態で、伝言メモ件数などを確認できます。→P28

お知らせ

- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音中でも電話に出られます。[キー]を押すと通常の音声電話またはテレビ電話（相手には代替画像を送信）になり、[キー]を押すと自画像を送信してのテレビ電話になります。このとき、電話を受けるまでの録音内容は記録されません。
- 圏外が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービス（有料）をご利用ください。
- 伝言メモがすでに4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は、各サービスが作動します。
- ドライブモード中はドライブモードが優先され、伝言メモ機能は動作しません。
- 電波の状態により、録音内容が途切れる場合があります。
- 伝言メモで応答した場合でも、着信履歴に記録されます。
- 伝言メモ録音中に別の電話がかかってきた場合は、着信を拒否して録音を継続します。この場合、着信を拒否した電話は着信履歴に記録されます。
- テレビ電話に伝言メモで応答した場合、相手にはテレビ電話伝言メモ録音中の画像が表示されます。テレビ電話伝言メモ録音中の画像は変更できます。→P89

応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する<伝言メモ応答時間設定>

お買い上げ時	8秒

電話がかかってきてから応答ガイダンスが流れるまでの時間を設定します。

1 待受画面でサイドキー［▲］を1秒以上押し、[1][3]を押す

2 応答時間を入力する

- [キー]を押してカーソルを移動し、0～120秒の範囲で入力します。
- [キー][キー]を押しても数字を増減できます。

お知らせ

- オート着信機能設定（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続時）、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間をオート着信機能設定、留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されない場合があります。その場合には、クイック伝言メモで応答してください。
- オート着信機能設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。

応答ガイダンスを設定する<伝言メモ応答ガイダンス設定>

お買い上げ時	伝言メモ応答ガイダンス：内蔵音（ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に30秒以内でメッセージをお話しください。なお、テレビ電話の場合でも音声メッセージのみのお預かりとなります。）

自分の声を応答ガイダンスとして録音できます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。

〈例〉録音データをガイダンスに設定するとき

1 待受画面でサイドキー［▲］を1秒以上押し、[1][4]を押す

次ページへ続く

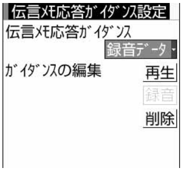
2 伝言メモ応答ガイダンスを選択し、2 を押す

• お買い上げ時の応答ガイダンスに戻すときは 1 を押し、操作 4 に進みます。

3 ガイダンスの編集の「録音」を選択し、発信音の後に応答ガイダンスを話す



録音できる時間の目安



メッセージが表示された後、録音が開始されます。

• ガイダンスの録音については、「応答保留ガイダンスを設定する」の操作 3 を参照してください。→P69

4 を押す

着信中の電話に出られないときに用件を録音する<クイック伝言メモ>

伝言メモ機能を起動していなくても、着信中にサイドキー［▲］を 1 秒以上押すと、その着信に限り伝言メモ機能を 1 回だけ動作させられます。

お知らせ

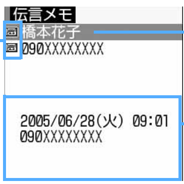
• 伝言メモがすでに 4 件録音されている場合は、クイック伝言メモで応答できません。着信中にサイドキー［▲］を 1 秒以上押して、クイックメモを動作させようとすると警告音（ピピッ）が鳴り、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は、各サービスが作動します。

伝言メモを再生／削除する

伝言メモを再生する

• 未再生の伝言メモがあるときは、待受画面からすばやく伝言メモを再生できます。→P33

1 待受画面でサイドキー［▲］を 1 秒以上押し、2 を押す



電話番号、名前（相手の電話番号が電話帳に登録されている場合）または発信者番号非通知理由

選択されている相手の録音日時、電話番号

:未再生の音声電話伝言メモ
:未再生のテレビ電話伝言メモ
:再生済みの音声電話伝言メモ
:再生済みのテレビ電話伝言メモ

2 再生する伝言メモを選択する



時間経過の目安

伝言メモが再生されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  ／サイドキー［▲▼］：音量調整
  ：停止

■ 電話帳に登録するとき

① **登録する伝言メモにカーソルを合わせ、を押す**
- 登録済みの電話帳に追加するときはを押します。

② **または を押し、名前やメールアドレスなどを登録する→P97**
- 登録済みの電話帳データに追加するときは または を押し、登録先の電話帳データを選択します。→P109

3 再生した伝言メモを削除するかどうかを選択する

- 「はい」を選択すると、伝言メモが削除されます。

お知らせ

- 伝言メモ一覧で相手にカーソルを合わせて を押すと音声電話、 を押すとテレビ電話をかけられます。また、サブメニューのカスタム発信から発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりすることもできます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、認証操作が必要です。

伝言メモを削除する

1 待受画面でサイドキー［▲］を１秒以上押し、 を押す

2 削除する伝言メモにカーソルを合わせ、 を押す

- 全件削除するときは を押します。

3 「はい」を選択する

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの画像を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電なども表示できます。

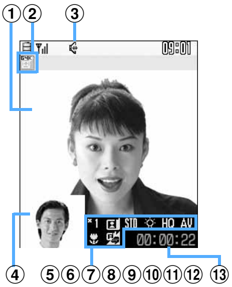
ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1： 3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体

※2： 3G-324M
第三世代携帯テレビ電話の国際規格

- テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
  - 64K：通信速度64kbpsで通信をします。
  - 32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話中の画面の見かた



①	親画面	お買い上げ時は、相手側のカメラ映像を表示
②	通信速度	：64K　　：32K
③	スピーカーホン機能	表示なし：通常の通話中 ：スピーカーホン機能利用中
④	子画面	お買い上げ時は、自分側のカメラ映像を表示
⑤	ズーム	：標準～ ：16倍（アウトカメラ） ：標準～ ：2倍（インカメラ）
⑥	状態	：自画像送信中　：代替画像送信中 ：キャラ電中　：フレーム送信中 ：静止画送信中　：通話保留中 ：応答保留中　：伝言メモ中 ：音声メモ録音中
	アクションモード	：全体アクション ：パーツアクション
⑦	撮影効果モード	：標準　：逆光　：セピア ：モノトーン　：海・雪　：夕焼け
⑧	ワンタッチライト	表示なし：消灯　：点灯
⑨	送信画質	表示なし：標準　：画質優先　：動き優先
⑩	チャンネル開設状態	：音声チャンネル開設 ：映像チャンネル開設 ：音声・映像チャンネル開設
	受話音量／スピーカーホン音量	通常：表示なし 受話音量／スピーカーホン音量調整中： ～
⑪	接写モード	表示なし：通常モード ：接写モード（アウトカメラ）
⑫	テレビ電話切替機能	表示なし：切り替え不可 ：切り替え可能
⑬	通話時間	HH:MM:SSの形式で表示

テレビ電話をかける

- 相手の顔を見ながらテレビ電話をするには、スピーカーホン機能を利用するか、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続してください。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話をかけられます。

1 待受画面で電話番号を入力する

- 音声電話の入力方法と同じです。
- 電話番号を入力して を押すと、カスタム発信から通信速度（64K または 32K）を指定してテレビ電話をかけられます。

2 を押す



テレビ電話接続中は、自分の画像が表示されます。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえ、ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。 を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。→P88
- 画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から通話料金がかかります。

3 通話する



画面には、相手の画像が表示されます。

- 通話中保留にすると、テレビ電話中保留画像が送信されます。テレビ電話中保留画像は変更できます。
- 相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。
- を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えられます。
- 通話中は を押すたびに相手に送信する画像が自画像と代替画像とで切り替わります。→P85

4 通話が終わったら を押す

- FOMA 端末を折り畳んでも電話が切れます。折り畳んでも電話が切れないようにするには、通話中クローズ設定の設定を変更します。

テレビ電話中の操作について

テレビ電話中にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 **カメラ切り替え**	インカメラとアウトカメラを切り替えます。	P90
2 **ワンタッチライト ON／OFF**	ワンタッチライトの点灯／消灯を切り替えます。	P91
3 **テレビ電話カメラ設定**	表示する画像に効果をかけたり、テレビ電話カメラ画像の明るさや色の濃さなどを設定したり、接写モードに切り替えたりします。	P86 P87 P90
4 **受信画像品質設定**	受信する画像の品質を設定します。ただし、相手の端末の機能によっては設定が有効にならない場合があります。	P91
5 **テレビ電話動作設定**	通話中に表示する画面の設定を変更します。	P91
6 **キャラ電設定**	キャラ電のキャラクタの変更、全体アクションとパーツアクションの切り替え、アクションの選択をします。また、テレビ電話画像選択の代替画像に設定されている静止画を表示します。	P84 P199
7 **ファイル再生**	相手に送信するフレームまたは静止画を変更します。	P86 P87
8 **DTMF送信**	テレビ電話中にプッシュ信号（DTMF）を送出します。	P90
9 **音声電話切替**	テレビ電話から音声電話へ切り替えます。	P81

テレビ電話中には、次の操作もできます。

- サイドキー［▲］１秒以上：通話中音声メモの起動／停止
- ／ ：送信画質の切り替え
- サイドキー［▲▼］ ：受話音量調整

お知らせ

- 操作２→操作１の順でもテレビ電話をかけられます。 を押して電話番号を入力した後、約５秒経過すると自動的にテレビ電話がかかります。
- 通話中に着信ランプを点滅させられます。
- 他の機能を実行中にテレビ電話をかけられない場合があります。→P544
- 代替画像やキャラ電を利用しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になるためご注意ください。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中、またはパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（Vライブやビジュアルネットなどへの発信時）。
音声電話でおかけ直しください	相手が留守番電話サービスを設定している場合や、転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合に表示されます。
接続できませんでした	発信者番号通知を「通知する」に設定してからおかけ直しください。 • 上記以外でも表示される場合があります。

- テレビ電話に対応したFOMA端末にテレビ電話をかける場合、通信速度は64Kでかけることをおすすめします。32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。音声自動再発信を「ON」に設定している場合も、32Kでの再発信が優先されます。→P92
  ※ 32Kで電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同じです。
- テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声自動再発信設定	再発信動作
64K	ON	64K → 32K → 音声
	OFF	64K → 32K → 切断
32K	ON	32K → 音声
	OFF	32K → 切断

- テレビ電話の通信速度（64Kまたは32K）をあらかじめ電話帳に登録しておくと、テレビ電話をかける相手によって通信速度を切り替えられます。
- 電話番号入力後にサブメニューのカスタム発信から通信速度を指定して発信した場合は、カスタム発信の指定が有効になります。いずれの指定もされていない場合は64Kで発信します。
- 音声自動再発信を「ON」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などに、自動的に音声電話に切り替えて再発信するため、相手へのアクセスがより確実になります。→P92
  ※ 音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。
- 音声自動再発信を「ON」に設定中にFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- テレビ電話中は、音声電話やテレビ電話をかけられません。発信ができない旨のメッセージが表示されます。また、ｉモード接続や、ｉモードメール、メッセージR/F、SMSの送受信もできません。
- テレビ電話非対応端末にかけた場合や、相手がテレビ電話対応端末でも圏外にいる場合、電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話非対応端末にかけた場合で、音声自動再発信を「ON」に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64kbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2005年5月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるためご注意ください。
- 発信者番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加したりしてテレビ電話をかけられます。→P54
- ポーズやタイマーを入力した場合、ポーズやタイマーの前のダイヤルで発信動作を行い、それ以降のダイヤルは無効となります。
- テレビ電話発信中や再発信中に着信があった場合、発信は中断され、着信音が鳴ることがあります。
- テレビ電話中の各種着信について→P542
- テレビ電話中に音声か映像、どちらかの通信が切れて A（音声のみ）または V（映像のみ）が表示になった場合でも、そのまま通話が継続されることがあります。
- テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になることがあります。

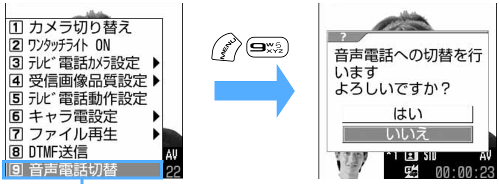
テレビ電話中に音声電話へ切り替える

切り替えに対応した端末どうしの場合、テレビ電話中に音声電話に切り替えることができます。切り替えは、テレビ電話をかけた側の端末からのみ操作できます。（901iSシリーズのみ対応 2005年5月現在）

- テレビ電話中に音声電話へ切り替えるには、相手がテレビ電話切替機能通知サービスを開始している必要があります。→P93

次ページへ続く

1 通話中に MENU 9 を押す



相手が切り替えに対応している場合に表示

切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択する



切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 相手側にも同様の画面が表示され、ガイダンスが流れます。
- 切替中画面が表示されている間は、料金は加算されません。
- 「いいえ」を選択するとテレビ電話中の画面に戻ります。

3 音声電話の通話中画面が表示されたら、通話する



お知らせ

- テレビ電話と音声電話を切り替える際の注意事項については、「音声電話中にテレビ電話へ切り替える」のお知らせを参照してください。→P51
- テレビ電話接続中、通話中保留や応答保留中、伝言メモや音声メモの録音中、プッシュ信号（DTMF）の送出中は、音声電話に切り替えられません。

テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる



着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、着信ランプが点灯または点滅します。
- 相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、静止画、動画／ｉモーションなどがディスプレイに表示されます。→P59
- 電源 を押すと応答保留になり、相手にはテレビ電話応答保留画像が表示されます。

2 を押す



テレビ電話接続中は、自分の画像がディスプレイに表示されます。
- テレビ電話の場合、エニーキーアンサーは無効です。

■ 代替画像でテレビ電話を受けるとき

を押す

テレビ電話がつながったときから、相手に代替画像が送信されます。
- 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には代替画像設定の標準画像が送信されます。

3 通話する



画面には相手の設定により、相手の画像または代替画像が表示されます。→P88
- 通話中保留にすると、テレビ電話中保留画像が表示されます。テレビ電話中保留画像は変更できます。
- を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えられます。
- 通話中は、を押すたびに相手に送信する画像が「自画像」と「代替画像」とで切り替わります。→P85

4 通話が終わったら を押す

- FOMA端末を折り畳んでもテレビ電話が切れます。折り畳んでもテレビ電話が切れないようにするには、通話中クローズ設定の設定を変更します。

着信中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1 転送でんわ※	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
2 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※：転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

着信中には、次の操作もできます。
- サイドキー［▲］1秒以上：伝言メモ録音（クイック伝言メモ）
- サイドキー［▲］：着信音、バイブレータの停止
- ：着信音量調整

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを1秒以上押すと代替画像でテレビ電話を受けられます。また、オート着信機能設定が設定されていると、自動的に代替画像を送信して応答できます。
- 留守番電話サービスは、テレビ電話には対応していません。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合、テレビ電話は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送先を設定してください。
- 迷惑電話ストップサービスで登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、相手に接続できなかった旨のメッセージが表示され、切断されます。
- テレビ電話中に音声か映像、どちらかの通話が切れて A（音声のみ）または V（映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続されることがあります。
- ソフトウェア更新中にテレビ電話がかかってくると、着信は拒否され、着信履歴に記録されます。
- テレビ電話を切るときに、端末の状態によっては、切断中の画像が表示されない場合があります。
- テレビ電話中は、キャッチホンを利用できません。

音声電話への切り替えに応じる

- 音声電話への切り替えに応じるには、テレビ電話切替機能通知サービスを開始しておく必要があります。→P93
- かけた側から音声電話への切り替え操作が行われると、切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

1 テレビ電話中に音声電話への切り替え要求を受ける



2 通話中画面が表示されたら、通話する

> **お知らせ**
> - 通話保留や応答保留中、伝言メモや音声メモの録音中、FOMA端末を折り畳んでいるときは、音声電話に切り替えられません。

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、自分の画像の代わりにキャラクタを送信します。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かせます。キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して自分で口を動かすものもあります。

1 待受画面で MENU 5 4 を押し、フォルダを選択する

2 キャラ電を選択し、 を押す

3 電話番号を入力し、 を押す



©BVIG
キャラ電

キャラ電を代替画像にしてテレビ電話がかかります。
- を押すとテレビ電話をかける相手を電話帳から選択できます。
- 通話中に次の操作ができます。
  - 1 ～ 9、# ：アクション
  - ：アクション一覧の表示（アクションを選択すると、キャラクタがダイヤルキーに該当するアクションをします）
  - 0 ：アクションの中止
- キャラ電の操作とアクション一覧については、「キャラ電を表示する」の操作4を参照してください。→P370

テレビ電話の代替画像に設定する

テレビ電話の代替画像として、キャラ電をあらかじめ設定します。

1 待受画面で MENU 5 4 を押し、フォルダを選択する

2 キャラ電にカーソルを合わせ、[メールキー]を押す

お知らせ

- キャラ電表示中に[iモードキー]を１秒以上押してもキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定できます。
- テレビ電話の代替画像設定でも代替画像に設定するキャラ電を変更できます。

相手側に送信する画像について設定する

テレビ電話中に相手に送信する画像などを設定します。

- 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
送信する画像を自画像／代替画像に切り替える	P85	テレビ電話で送信する画像を変更する	P88
送信する画像の品質を設定する	P85	送信する自画像の表示倍率を切り替える	P89
送信する画像にフレームを重ねる	P86	インカメラ／アウトカメラを切り替える	P90
送信する画像に特殊な効果をかける	P86	接写モードに切り替える	P90
送信する画像の明るさ／色の濃さを設定する※	P87	プッシュ信号（DTMF）を送出する	P90
静止画を送信する	P87		

※： 通話終了後も設定内容が保持されます。

送信する画像を自画像／代替画像に切り替える

お買い上げ時 | 自画像

1 通話中に[iモードキー]を押す



代替画像

- 押すたびに自画像（[アイコン]）と代替画像（[アイコン]または[アイコン]）が切り替わります。→P88
- 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。→P88
- 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電の切り替えやアクションの選択ができます。→P370

送信する画像の品質を設定する

お買い上げ時 | 標準

- 「動き優先」に設定すると、画像の動きはなめらかになりますが画質がやや粗くなります。
- 「画質優先」に設定すると、画像は細やかになりますが動きはやや鈍くなります。

1 通話中に[上下サイドキー]を押す

- [上サイドキー]を押すたびに次の順に切り替わります。[下サイドキー]を押すと逆の順になります。
  標準（表示なし）→ 画質優先（[HQ]）→ 動き優先（[アイコン]）

テレビ電話のかけかた／受けかた

送信する画像にフレームを重ねる<フレーム選択>

- 自画像送信中の場合のみフレームを重ねられます。
- 表示サイズが176×144（QCIF）以下のフレームのみ選択できます。ただし、ダウンロードしたフレームは、表示サイズが176×144（QCIF）のフレームのみ選択できます。

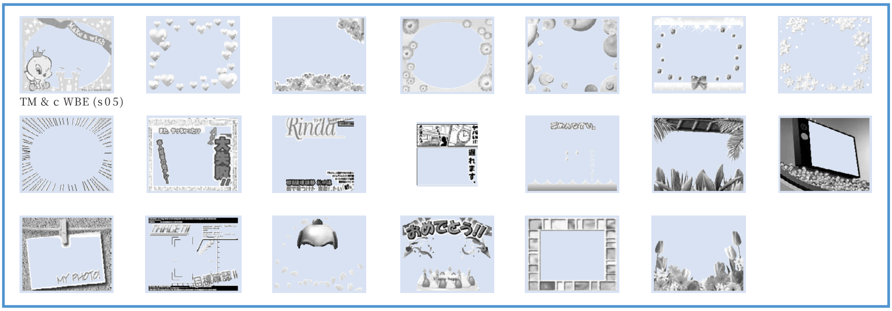
1 通話中に MENU 7 1 を押す

2 フレームを選択する



- インカメラを使用中は、ディスプレイに鏡像（左右逆向きの像）が表示され、相手には正像（正しい向きの像）が送信されます。アウトカメラを使用中は、ディスプレイの表示と同じ画像が相手にも送信されます。
- 自画像送信中に を押すと、フレーム送信が解除されます。

お買い上げ時は、次のフレームが登録されています。
- の部分に自画像が入ります。



- お買い上げ時に登録されているフレームを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P318

送信する画像に特殊な効果をかける<撮影効果モード>

相手に送信する自画像に次の効果をかけられます。
- 自画像送信中の場合のみ効果をかけられます。

項　目	アイコン	説　明
1 標準	STD	標準的な画像を送信します。
2 逆光		逆光になる被写体を撮影するときに使用します。
3 セピア		セピア調にするときに使用します。
4 モノトーン		白黒にするときに使用します。
5 海・雪		海や雪面などの光の反射をより美しく撮影します。
6 夕焼け		夕焼けをバックにした被写体を撮影するときに使用します。

1 通話中に MENU 3 1 を押す

2 [2]～[6]を押す



現在の効果のアイコン

- 効果を解除するときは[1]を押します。

送信する画像の明るさ／色の濃さを設定する

お買い上げ時	明るさ：3段階目　色の濃さ：3段階目

- 明るさや色の濃さは5段階で調整できます。
- 自画像送信中の場合のみ調整できます。

1 通話中に[MENU][3][2]を押す

2 [カメラ][iα]を押して明るさのスライダを選択し、[左][右]を押す



調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、明るさの変化が確認できます。→P190

3 [カメラ][iα]を押して色の濃さのスライダを選択し、[左][右]を押す

調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、色の濃さの変化が確認できます。→P190

4 [決定]を押す

- 調整後、しばらくの間何も操作しなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

静止画を送信する<画像選択>

相手に送信する画像を静止画から選択します。

- フレーム送信中の場合、静止画は設定できません。→P86
- ファイルサイズが176×144（QCIF）以下で、FOMA端末外への出力ができる静止画のみ設定できます。FOMA端末外への静止画の出力について→「ファイル制限」P398

1 通話中に[MENU][7][2]を押す

2 フォルダを選択し、静止画を選択する



画像一覧の見かた→P348

- 静止画にカーソルを合わせて[決定]を押すと、静止画が表示されます。
- 静止画像送信中に[ ]を押すと、設定が解除されて元の画像が表示されます。

テレビ電話で送信する画像を変更する<テレビ電話画像選択>

お買い上げ時	代替画像のイメージ表示：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像のイメージ表示：標準画像

テレビ電話で相手に送信する代替画像、テレビ電話伝言メモ録音中画像、テレビ電話応答保留中画像、テレビ電話中保留画像を変更します。

- 次の静止画は設定できません。
  - サイズが176 × 144（QCIF）より大きい静止画
  - アニメーション、パラパラマンガ、連写画像
  - JPEG形式、GIF形式以外の静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている静止画→「ファイル制限」P398

代替画像を変更する

1 待受画面で MENU 8 8 4 を押す

2 1 を押し、イメージ表示を選択する



©BVIG

■ 標準のキャラ電を設定するとき

1 を押す

「標準キャラ電（ブンブン（Dimo））」が設定されます。

■ 標準の静止画を設定するとき

2 を押す

「標準画像（カメラオフ（Camera off））」が設定されます。

■ その他のキャラ電を設定するとき

① 3 を押す

②「画像選択」を選択する

③ フォルダを選択し、キャラ電を選択する

キャラ電が設定され、代替画像設定画面に戻ります。

キャラ電一覧の見かた→P369

- 設定するキャラ電にカーソルを合わせて ⌂ を押すと、キャラ電が表示されます。

■ その他の静止画を設定するとき

① 4 を押す

②「画像選択」を選択する

③ フォルダを選択し、静止画を選択する

静止画が設定され、代替画像設定画面に戻ります。

画像一覧の見かた→P348

- 設定する静止画にカーソルを合わせて ⌂ を押すと、静止画が表示されます。

3 ⌂ を押す

お知らせ

- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は標準のキャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は「標準画像」に戻ります。
- イメージ表示で「イメージ」を選択し、代替画像を変更後に PIM ロックまたはプライバシーモードを起動（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）すると、標準画像が送信されます。

伝言メモ録音中／応答保留／通話中保留の画像を変更する

1 **待受画面で MENU 8 8 4 を押す**

2 **2 ～ 4 を押す**

〈例〉「伝言メモ画像」を選択したとき

3 **イメージ表示を選択し、2 を押す**



- お買い上げ時の画像に戻すときは 1 を押し、操作 5 へ進みます。

4 **「画像選択」を選択し、画像を選択する**

- 操作方法は、代替画像設定でイメージ表示の「イメージ」を設定する場合と同じです。

5 **⌂ を押す**

お知らせ

- 相手には、選択した画像に文字メッセージが重なって表示されます。
- 伝言メモ画像設定、応答保留画像設定、通話中保留画像設定のイメージ表示で「イメージ」を選択し、画像を変更後に PIM ロックまたはプライバシーモードを起動（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）すると、標準画像が送信されます。

送信する自画像の表示倍率を切り替える＜ズーム＞

お買い上げ時	標準

- 自画像送信中の場合のみ切り替えられます。

1 **通話中に 📷 i✉ を押す**

- 📷 を押すたびに次の順に切り替わります。i✉ を押すと逆の順になります。
  アウトカメラ：標準（×1）→2 倍（×2）→4 倍（×4）→6 倍（×6）→8 倍（×8）→10 倍（×10）→12 倍（×12）→16 倍（×16）
  インカメラ　：標準（×1）→2 倍（×2）

お知らせ

- インカメラとアウトカメラを切り替えると、ズームは解除されます。

インカメラ／アウトカメラを切り替える

お買い上げ時	インカメラ

- 自画像送信中の場合のみ切り替えられます。

1 通話中に を押す

切り替わったカメラからの画像が表示されます。



インカメラ選択時



アウトカメラ選択時

- 押すたびにインカメラとアウトカメラが切り替わります。

お知らせ

- カメラを切り替えても、次の設定は保持されます。
  - フレーム
  - 撮影効果モード
  - 送信する画像の明るさや色の濃さ

接写モードに切り替える

約8～11cmのごく近い距離の画像を送信するときは、接写モードに切り替えて画像のピントを合わせます。

- アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。接写モード中にインカメラに切り替えると、通常モードになります。

1 通話中に MENU 3 3 を押す

- 通常モードに戻すときは、MENU 3 3 を押します。

プッシュ信号（DTMF）を送出する＜DTMF送出＞

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- テレビ電話中で（自画像送信中）、（代替画像送信中）、（キャラ電中）の場合のみプッシュ信号（DTMF）の入力ができます。

1 通話中に MENU 8 を押し、ダイヤルキーを押す

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号（DTMF）が送出されます。

- プッシュ信号（DTMF）送出を解除するときは クリア を押します。

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）を送出すると、設定されたフレームや静止画は解除されます。

テレビ電話中の画面表示について設定する

テレビ電話中にディスプレイに表示される画像について設定します。

親子画面の表示を切り替える

お買い上げ時	親画面：相手画像　子画面：自画像

・通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に を押す

・押すたびに交互に切り替わります。
親画面：相手画像／子画面：自画像 ←→ 親画面：自画像／子画面：相手画像

親画面のサイズを変更する

お買い上げ時	大

・通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に を1秒以上押す

・押すたびに大→中→小→大→…の順に切り替わります。

ワンタッチライトを点灯する

夜間など周囲が暗い場合、相手に明るい画像を送信できます。
・アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。

1 通話中に を1秒以上押す

ワンタッチライトが点灯します。点灯していた場合は消灯します。
・押すたびに、点灯（ ）／消灯（表示なし）が切り替わります。

お知らせ

・通話中の設定操作などによって一時的にワンタッチライトが消灯する場合があります。

受信する画像の品質を設定する

お買い上げ時	標準

・「動き優先」に設定すると、画像の動きはなめらかになりますが画質がやや粗くなります。
・「画質優先」に設定すると、画像は細やかになりますが動きはやや鈍くなります。
・相手の端末の機能によっては設定が有効にならない場合があります。

1 通話中に MENU 4 を押す

2 1 ～ 3 を押す

通話中の画面表示を設定する＜通話中テレビ電話動作設定＞

・通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に MENU 5 を押す

次ページへ続く

2 各項目を選択して設定する

- 各設定項目については、「テレビ電話の設定を変更する」の操作2を参照してください。→P92

3 [キー]を押す

テレビ電話動作設定

テレビ電話の設定を変更する

お買い上げ時	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 発信時自画像送信：ON 送信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準）

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話中の画像を設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 待受画面で[MENU][8][8][3]を押す

2 各項目を選択して設定する

音声自動再発信：テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に音声電話で再発信するかどうかを設定します。

テレビ電話画面設定：通話中に自画像または相手画像のどちらか一方を表示するか、両方を表示するかを設定します。
- 「自画像」または「相手画像」に設定した場合、「子画面表示」は設定できません。

子画面表示：通話中の子画面に自画像と相手画像のどちらを表示するかを設定します。

画面サイズ設定：親画面の表示サイズを設定します。

発信時自画像送信：相手に自画像を送信するかどうかを設定します。

送信画質設定：相手に送信する画像の画質を設定します。

照明設定：通話中のディスプレイの照明を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従います。

3 [キー]を押す

お知らせ

- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われないことがあります。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合、パソコンとつないだパケット通信中にテレビ電話をかけると、テレビ電話には接続されずに再発信が行われ、音声電話に接続されます。音声電話中や64Kデータ通信中にはテレビ電話には接続されず再発信も行われません。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。
- テレビ電話がつながった場合、音声通話への再発信は行いません。

テレビ電話切替機能通知サービス

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

テレビ電話と音声電話を切り替えて通話するには、あらかじめテレビ電話切替機能通知サービスを開始しておく必要があります。電話切替機能通知サービスとは、自分の端末がテレビ電話と音声電話を切り替えられる端末であることをネットワークに通知しておく機能です。

- 音声電話中やテレビ電話中は、テレビ電話切替機能通知の設定を変更できません。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、テレビ電話切替機能通知サービスの操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替機能通知サービスは開始に設定されています。

1 待受画面で MENU 8 8 6 を押す

2 1 または 2 を押す

- 設定内容を確認するときは 3 を押します。

3 「はい」を選択する

テレビ電話使用機器設定

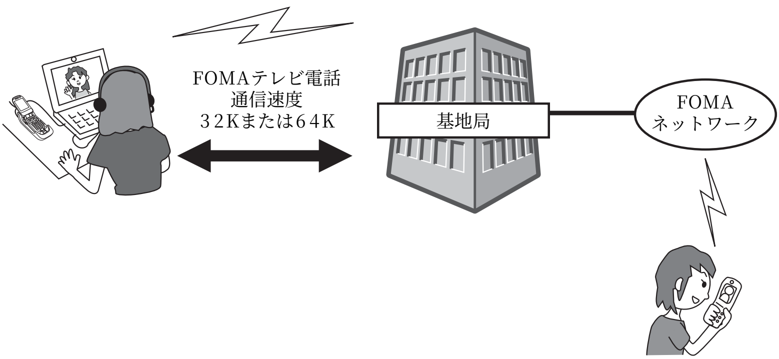
外部機器と接続してテレビ電話を使用する

お買い上げ時	本体

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の着信操作を行えます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器を用意する必要があります。

- FOMA端末が外部機器と接続されていないときは利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定、操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。

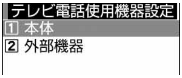
※本機能は、対応するアプリケーションや対応機器がリリースされた場合に利用できるオプション機能です。ただし、2005年5月現在、対応アプリケーションや対応機器はリリースされておりません。



1 待受画面で MENU 8 8 5 を押す

次ページへ続く

2 [1] または [2] を押す



お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA F901iSでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の違い

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳	参照先
電話帳登録件数		最大700件※1	最大50件	―
登録内容				
	名前・フリガナ	名前は全角で16文字、半角で32文字設定可能。フリガナは半角で32文字設定可能。	名前は全角で10文字、半角で21文字設定可能。フリガナは全角で12文字、半角で25文字設定可能。	P98 P101
	静止画・動画	1人につき1件	×	P98
	グループ	30グループおよび「グループなし」に分類可能。	10グループおよび「グループなし」に分類可能。	P99 P101
	電話番号・アイコン	1人につき最大5番号、電話帳全体で2105番号設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1番号のみ設定可能。アイコンは設定不可。	P99 P101
	メールアドレス・アイコン	メールアドレス・アイコン1人につき最大5アドレス、電話帳全体で2105アドレス設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1アドレスのみ設定可能。アイコンは設定不可。	P99 P101
	電話着信時の設定※2 ※3	○	×	P99
	メール受信時の設定※2	○	×	P99
	その他の設定※4	○	×	P99
	メモリ番号	○	×	P100
電話帳検索				
	全件表示（50音）	○	○	P103
	グループ検索	○	○	P104
	フリガナ検索	○	○	P105
	ランキング検索	○	×	P105
	メモリ番号検索	○	×	P106
	電話番号検索	○	○	P107
	ロケットサーチ検索	○	○	P107
	シークレット検索	○	×	P115
各種設定				
	発番号設定	○	×	P113
	シークレットコード設定	○	×	P114
	シークレット属性設定	○	×	P114
	メモリ別着信拒否／許可設定	○	×	P161
	テレビ電話通信速度設定	○	×	P113
その他				
	電話番号入替え・メールアドレス入替え・メモリ番号入替え	○	×	P110 P110
	クイックダイヤル	○	×	P116
	クイックメール	○	×	P261
	サイト表示	○	×	P104
	赤外線送信	○	○	P402

○：可　×：不可

※1：実際に登録できる件数は、各電話帳データの登録内容により少なくなる場合があります。

※2：設定できる項目は着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーです。また、グループ別の着信設定もできます。

※3：テレビ電話代替画像も設定できます。

※4：設定できる項目はURL、テキストメモ、郵便番号、住所、会社名、役職名、誕生日です。

名前の表示について

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、電話帳に登録されている名前が発信中、着信中、通話中の画面に表示されます。
電話帳に登録されている名前は、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、伝言メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、カスタムメニューの人物などにも表示されます。

- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に、同じ電話番号やメールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、電話帳を検索せずに電話番号やメールアドレスを入力したときは、FOMA端末電話帳に登録されている名前が表示されます。
- メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して登録しているときのみ電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。
- SMSを受信した際、電話帳に登録されている電話番号が一致した場合は電話帳の設定で動作します。

お知らせ

- FOMA端末電話帳にシークレット属性が設定されている場合は、シークレットモード中のみ名前が表示されます。シークレット属性が設定されているデータがリダイヤルや着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモなどに表示されている場合も同様です。
- シークレットモード中にシークレット属性が設定されている相手から着信やメールの受信があったときは、電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。シークレットモード中でない場合は、着信音設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定の各設定内容で動作します。
- PIMロック中またはプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、通常発着信時や履歴などには相手の名前は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。背面ディスプレイの表示も同様です。これらの制限を解除すると相手の名前が表示されます。
- 電話帳に登録した相手からメールの受信があると、電話帳に登録している名前がタスクバーにスクロール表示されます。ただし、シークレットモード中でない場合にシークレット属性が設定されている相手からメールの受信があると、タスクバーにはメールアドレスが表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳に登録する

- 最大登録件数 →P96

お知らせ

- 圏外と表示されている場合でも電話帳の登録はできます。
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルを利用して、パソコンに保管できます。
- FOMA端末の電話帳データをminiSDメモリーカードにバックアップできます。
- FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- シークレットモード中に登録した電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、認証操作が必要です。
- ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へコピーする際は、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1 待受画面で [MENU] [4] [2] を押す

2 名前を入力する



- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。→P518
- 全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。
- 名前を入力しないと、電話帳に登録できません。

3 [電話帳キー] を押す



名前、フリガナ

新規登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ 名前を修正するとき

名前欄を選択し、名前を修正して [電話帳キー] を押す

■ フリガナを修正するとき

フリガナ欄を選択し、フリガナを修正して [ ] を押す

- 半角で最大32文字入力できます。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 各項目を選択して設定する

- 電話帳データの各項目がすでに設定されているときは、その内容が表示されます。

画像選択　：発着信時や電話帳データ確認時に表示する静止画や動画／ｉモーションを設定します。

- お買い上げ時の状態に戻すときは [5] を押します。
- この設定は、登録相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。

■ 静止画を設定するとき

[1] を押し、画像一覧から静止画を選択する

画像一覧の見かた→P348

- 縦横（または横縦）のサイズが640×480より大きい静止画を選択すると、静止画を縮小するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して静止画を設定すると、電話帳用（96×72）を縮小した静止画が保存されます。
- 電話発着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガ、連写画像は最初のコマが表示されます。

■ カメラで静止画を撮影するとき

[2] を押し、静止画を撮影して保存する

- 撮影する静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

■ 動画／ｉモーションを設定するとき

[3] を押し、動画一覧から動画／ｉモーションを選択する

動画／ｉモーション一覧の見かた→P360

- 画像サイズがSub-QCIF（128×96）、またはQCIF（176×144）の映像のみの動画／ｉモーションが設定できます。

■ ビデオカメラで動画を撮影するとき

[4] を押し、動画を撮影して保存する

- 撮影する動画のサイズはQCIF（176×144）に自動的に設定されます。また、音声は録音されません。

グループ　：1～30および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定について→P102

電話番号　：市外局番から入力し、アイコンを選択します。最大26桁入力できます。
- 1人につき最大5番号登録できます。1件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- クイックダイヤルを利用する電話帳の電話番号は、1件目に設定してください。
- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「＋」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。

メールアドレス：メールアドレスを入力し、アイコンを選択します。半角で最大50文字入力できます。
- 1人につき最大5アドレス登録できます。1件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- クイックメールを利用する電話帳のメールアドレス（SMSの場合は電話番号）は、1件目に設定してください。
- メールアドレスは、メールアドレスの@以降のドメイン名まで正しく登録してください。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみ登録してください。
- 相手がシークレットコードを登録しているときの電話帳の登録について→P114

5 を押してその他画面を表示し、各項目を選択して設定する



URL　：半角で最大256文字入力できます。

テキストメモ
：全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

郵便番号：最大7桁入力できます。

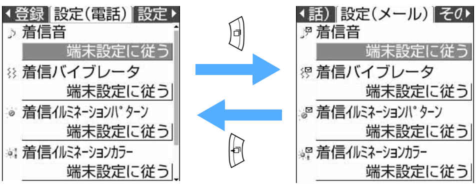
住所　：全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

会社名　：全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

役職名　：全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

誕生日　：誕生日入力画面で誕生日設定を「ON」に設定して誕生日を入力します。

6 を押して設定画面（電話／メール）を切り替え、各項目を選択して設定する



設定（電話）画面　　設定（メール）画面

- 「グループなし」で登録すると、すべての項目は「端末設定に従う」に設定されます。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されます。

/ 着信音：「着モーションを選択」または「メロディを選択」を選択し、動画／ｉモーションまたはメロディを選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P360
メロディ一覧の見かた→P376
- 詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ着信音に設定できます。
- 「端末設定に従う」に設定すると、着信音設定に従います。

/ 着信バイブレータ
：「はい」を選択し、電話がかかってきたとき、またはメールを受信したときの振動を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、バイブレータ設定に従います。
- バイブレータのパターン→P121

電話帳

次ページへ続く

/ 着信イルミネーションパターン
：「はい」を選択し、着信ランプの点灯パターンを設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、着信イルミネーションカラーは設定できません。「メロディ連動」の場合は「レインボー」に自動的に設定されます。
- 着信ランプのイルミネーションパターン→P141

/ 着信イルミネーションカラー
：「はい」を選択し、着信ランプの点灯色を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。
- 着信ランプのイルミネーションカラー→P141

テレビ電話代替画像（設定（電話）画面のみ表示）
：「はい」を選択し、通話中に表示するキャラ電を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、テレビ電話画像選択の設定に従います。

- メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作については、「FOMA端末から鳴る着信音を変える」のお知らせを参照してください。→P119

電話帳

7 を押す

最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

■ メモリ番号を入力して登録するとき

0～699までの番号を入力する
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。
- 登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択し、他のメモリ番号を指定してください。

8 を押す

お知らせ

- 画像選択で画像を設定しても、電話発着信時の画面に画像を表示しないように設定できます。→P135
- 「184」「186」を付けた電話番号を電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。また、メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にしている相手を「184」「186」を付けて電話帳に登録すると、ｉモードメール作成時の宛先を選択しても送信できません。
- 画像選択に動画／ｉモーションを設定している相手に電話をかけた場合、発信中はディスプレイに動画／ｉモーションの最初のコマが表示されます。相手から電話がかかってきた場合、着信中はディスプレイに動画／ｉモーションが再生され、電話帳データに設定された着信音が鳴ります。
- 電話帳データの電話着信音や電話／テレビ電話の着信音設定に動画／ｉモーションが設定されている場合は、画像選択の設定に関わらず、着信音に設定された音声と映像のある動画／ｉモーションが再生されます。ただし、着信音に設定した動画／ｉモーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合には、着信中はディスプレイに発着信時の画像に設定した画像が表示されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳データに登録されている相手の名前は表示されず、電話帳データに設定されている着信音やバイブレータなども動作しません。着信音やバイブレータは、FOMA端末の設定に従います。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に、シークレット属性が設定されているFOMA端末電話帳データにテレビ電話代替画像を設定した場合、着信時の代替画像はFOMA端末の設定に従います。

FOMA カード電話帳に登録する

• 最大登録件数 →P96

1 待受画面で MENU 4 3 を押す

2 名前を入力する



• 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。→P518
• 全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角と半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字しか登録できません。
• 名前を入力しないと、電話帳に登録できません。

3 を押す



名前、フリガナ

FOMA カード登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ 名前を修正するとき

名前欄を選択し、名前を修正して を押す

■ フリガナを修正するとき

フリガナ欄を選択し、フリガナを修正して を押す

• フリガナは、全角カタカナと半角英数字で入力できます。
• 全角で最大12文字、半角で最大25文字入力できます。ただし、全角と半角が混在している場合は、最大12文字しか登録できません。
• 名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 各項目を選択して設定する

• 電話帳データの各項目がすでに設定されているときは、その内容が表示されます。

グループ：1 ～ 10 および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定について→P102

電話番号：市外局番から入力します。最大26桁（FOMA カードの種類によっては最大20桁）入力できます。→P36
• 電話番号は1番号のみ登録できます。アイコンの設定はできません。
• ポーズ（「P」）、「＋」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。タイマー（「T」）は入力できますが、登録できません。また、電話番号の先頭以外に「＋」を入力すると、「＋」以降を登録できません。

メールアドレス：メールアドレスを入力します。半角で最大50文字入力できます。
• 1アドレスのみ登録できます。アイコンの設定はできません。

5 を押す

お知らせ

• プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、認証操作が必要です。

グループの名前や発着信動作を設定する

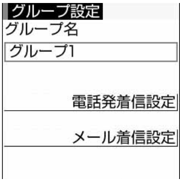
FOMA 端末電話帳や FOMA カード電話帳のグループ名を変更したり、FOMA 端末電話帳のグループごとに着信音を設定したりできます。

- 「グループなし」の名前の変更や発着信動作の設定はできません。
- FOMA カード電話帳ではグループ名のみ変更できます。

1 待受画面で [MENU][4][1][2] を押す

- FOMA カード電話帳のグループ名を変更するときは [MENU][4][1][2][□] を押します。

2 設定するグループにカーソルを合わせ、[MENU] を押す



3 グループ名欄を選択し、グループ名を入力する

- FOMA 端末電話帳のグループ名は、全角で最大 10 文字、半角で最大 20 文字入力できます。
- FOMA カード電話帳のグループ名は、全角で最大 10 文字、半角で最大 21 文字入力できます。ただし、全角と半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大 10 文字までしか登録できません。
- FOMA カード電話帳の場合は、操作 5 へ進みます。

4 各項目を選択して設定する

- 設定操作は、「FOMA 端末に電話帳を登録する」の操作 6 を参照してください。→ P99

電話発着信設定：電話着信音、発着信画像、電話着信バイブレータ、電話着信イルミネーションパターン、電話着信イルミネーションカラーが設定できます。

- 電話着信音設定の「着モーションを選択」を設定すると、発着信画像は「着信音連動」になります。ただし、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を「着モーション」に設定した場合は、「イメージを選択」「静止画を撮影」「初期値に戻す」を選択できます。

メール着信設定：メール着信音、メール着信バイブレータ、メール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーが設定できます。

5 [□] を押す

電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳データを、FOMA 端末電話帳またはFOMA カード電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけられます。

電話帳の検索手順

- 電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出せます。

検索方法	検索内容	参照先
全件表示（50 音）	50 音順に全件表示します。	P103
グループ検索	グループから検索します。	P104
フリガナ検索	フリガナから検索します。	P105
ランキング検索※	電話の通話回数やメールの送受信回数の多い電話帳データを検索します。	P105
メモリ番号検索※	メモリ番号から検索します。	P106
電話番号検索	電話番号の一部から検索します。	P107
ロケットサーチ	ダイヤルキーに割り当てられている文字から検索します。	P107
シークレット検索※	シークレット属性が設定されている電話帳データを検索します。	P115

※： FOMA カード電話帳では利用できません。
- 電話帳データの検索結果は一覧表示されます（電話帳一覧）。
- FOMA カード電話帳でも利用できる検索方法では、[電話帳キー]を押すたびにFOMA 端末電話帳一覧とFOMA カード電話帳一覧が切り替わります。
- シークレット属性が設定されている電話帳データも含めて検索する場合は、シークレットモードを起動してから検索してください。
- FOMA カード電話帳一覧では、相手の名前の前に[FOMAカードアイコン]が表示されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、認証操作が必要です。

50 音順に全件表示する＜全件表示（50 音）＞

電話帳データを50 音順（あ行→か行→さ行→…→アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）に表示します。

1 待受画面で [MENU] [4] [1] [1] を押す

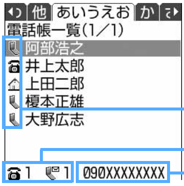
2 [←][→] を押して表示したい行を選択する

- ダイヤルキー [0] ～ [9]、[#]、[*] を押すと、それぞれのキーに割り当てられている行が表示されます。
  [1]：あ行　[2]：か行　[3]：さ行　[4]：た行　[5]：な行　[6]：は行
  [7]：ま行　[8]：や行　[9]：ら行　[0]：わ、を、ん
  [*]／[#]：その他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）

電話帳データを検索して利用する

電話帳を使って簡単に電話をかけられます。

1 待受画面で を押す



全件表示（50音）の場合

お買い上げ後、初めて操作したときは全件表示（50音）の電話帳一覧（あ行のフリガナが登録されている電話帳）が表示されます。その後は、前回電話帳を利用した際に選択した検索方法の電話帳一覧が表示されます。

1件目の電話番号に設定されているアイコン

選択した相手に登録されている電話番号およびメールアドレスの件数

選択されている相手の1件目の電話番号（表示しきれない部分は省略されます）

- 検索結果が複数ある場合は、サイドキー［▲▼］を押すと画面単位でスクロールします。押し続けると画面単位で連続スクロールします。

2 電話をかける相手にカーソルを合わせ、 を押す

- テレビ電話をかけるときは、テレビ電話をかける相手にカーソルを合わせて を押します。
- 電話番号を複数登録している場合は発信先選択画面が表示されます。発信する電話番号を選択してください。

■ ｉモードメールを作成するとき

メールを送信する相手にカーソルを合わせ、 を押す

- メールアドレスを複数登録している場合は、宛先選択画面でメールアドレスを選択します。
- ｉモードメールの作成・送信方法→P245
- 選択した相手の電話帳データに電話番号のみ登録している場合は、電話帳一覧または詳細画面から を押すとSMSの作成画面が表示されます。
- プロフィール情報の詳細画面で を押すと、ｉモードメールを作成できます。

■ SMSを作成するとき

SMSを送信する相手にカーソルを合わせ、 を1秒以上押す

- 電話番号を複数登録している場合は、宛先選択画面で電話番号を選択します。
- SMSの作成・送信方法→P300
- 選択した相手の電話帳データに電話番号のみ登録されている場合は、電話帳一覧または詳細画面から を押すとSMSを作成できます。プロフィール情報の詳細画面からも同様に操作できます。

■ サイトを表示するとき

①目的の相手を選択し、 を押して詳細（その他）画面を表示する

②URLにカーソルを合わせ、 を押す

- プロフィール情報の詳細画面からも同様に操作できます。

お知らせ

- 発信者番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加したりして電話をかけることもできます。→P54
- 電話帳一覧で を押すと、電話帳の検索方法を変更できます。

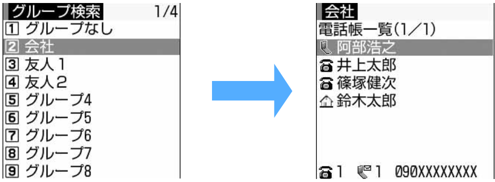
グループで検索する<グループ検索>

グループに登録されている電話帳データを検索します。

- グループを設定せずに登録した電話帳データはグループなしに登録されています。

1 待受画面で を押す

2　検索するグループを選択する



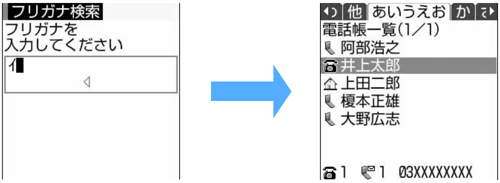
- 同じグループ内の電話帳データは次の順に表示されます。
  ① 50音順
  ② アルファベット順
  ③ 数字
  ④ 空白で始まるもの
  ⑤ 記号

名前で検索する＜フリガナ検索＞

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

1　待受画面で [MENU][4][1][3] を押す

2　フリガナを入力する



- フリガナは先頭の一部を入力することで検索できます。

お知らせ

- 何も入力せずに[ ]を押すと、全件表示の電話帳一覧が表示されます。

通話／メール回数の多い相手を検索する＜ランキング検索＞

FOMA端末電話帳には、電話帳データごとに累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時が記録されています。この情報を基にして、電話帳データを通話回数が多い順に表示したり（通話回数ランキング）、ｉモードメール送受信回数が多い順に表示したり（メール回数ランキング）できます。

- 通話回数、メール回数は最大9999回カウントされます。

通話回数ランキングを表示する

1　待受画面で [MENU][4][1][4][1] を押す



累積通話回数

- 累積通話回数は、お買い上げ時、または前回リセットしたときから現在までの電話発着信の回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からの通話がカウントの対象です。

メール回数ランキングを表示する

1 待受画面で MENU 4 1 4 2 を押す



累積メール回数
- 累積メール回数は、お買い上げ時、または前回リセットしたときから現在までのメール送受信の回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からのｉモードメールの送受信がカウントの対象です。

お知らせ

- 累積通話回数と累積メール回数が同じ場合は、次の順に表示されます。
  ①50音順 ②アルファベット順 ③数字 ④空白で始まるもの ⑤記号
- シークレット属性が設定されている相手も含めたすべての相手についてランキングを表示するときは、シークレットモードを起動してから操作してください。

通話回数／メール回数をリセットする

FOMA端末電話帳に記録されている累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時をお買い上げ時の状態に戻します。

1 待受画面で 電話帳キー を押し、電話帳を検索する

2 リセットする相手にカーソルを合わせ、MENU 9 3 を押す

3 「はい」を選択する

メモリ番号で検索する<メモリ番号検索>

FOMA端末電話帳から、メモリ番号を入力して検索します。

1 待受画面で MENU 4 1 5 を押す

2 メモリ番号を入力する





1件目の電話番号に設定されているアイコン

メモリ番号

入力したメモリ番号に登録されている相手が選択されています。

- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

お知らせ

- 何も入力せずに ● を押すと、全件表示の電話帳一覧が表示されます。

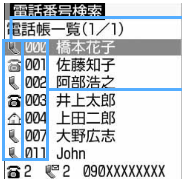
電話番号で検索する<電話番号検索>

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1 待受画面で [MENU][4][1][6] を押す

2 電話番号の一部を入力する





お知らせ

- 電話番号検索で該当する電話帳データが複数ある場合、FOMA端末の電話帳はメモリ番号順に表示されます。FOMAカード電話帳は次の順に表示されます。
  ①50音順 ②アルファベット順 ③数字 ④空白で始まるもの ⑤記号
- 何も入力せずに[ ]を押すと、全件表示の電話帳一覧が表示されます。

ロケットサーチで検索する

ダイヤルキー [0]～[9] に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。

- 前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）を検索します。

〈例〉「鈴木」を検索するとき

1 待受画面で [3][電話帳] を押す





- 結果画面では [0]～[9]、[#]、[*]、[◁][▷] を押して行を切り替えられます。

電話帳の登録内容を確認する

電話帳の詳細画面を表示して、登録内容や設定を確認します。

1 待受画面で [電話帳] を押し、電話帳を検索する

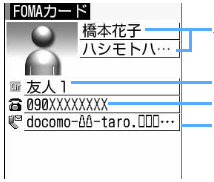
電話帳

2 詳細表示する電話帳データを選択する

- を押すと前後の電話帳データの詳細画面が表示されます。
- 電話帳データに着信拒否／許可設定や発番号設定、シークレットコードが設定されている場合は、メモリ番号の右側に が表示されます。



FOMA端末電話帳の詳細画面

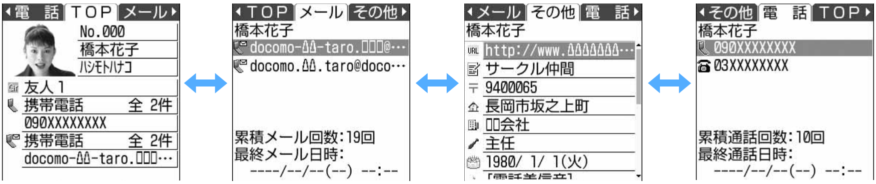


FOMAカード電話帳の詳細画面

■ 登録内容の詳細を表示するとき（FOMA端末電話帳のみ）

を押す

を押すたびに、詳細（TOP）画面、詳細（メール）画面、詳細（その他）画面、詳細（電話）画面の順に切り替わります。を押すと逆の順に切り替わります。



- 詳細（メール）画面には、累積メール回数と最終メール日時が表示されます。
- 詳細（電話）画面には、累積通話回数と最終通話日時が表示されます。

■ 詳細画面の登録内容をすべて表示するとき

を押す

- 全登録内容を表示中に を押すと、詳細画面に戻ります。

> **お知らせ**
>
> - 累積通話回数や累積メール回数、最終通話日時や最終メール日時は、発信・送信した場合だけでなく、着信・受信した場合も対象になります。ただし、相手が電話に応答しなかったり、電波状況などの理由でｉモードメールが送信できなかったりした場合は、対象になりません。

発信方法を選択する

FOMA端末の電話帳一覧から発信方法を選択したり、プレフィックスを付加したりして電話をかけます。

1 待受画面で を押し、電話帳を検索する

2 電話をかける相手にカーソルを合わせ、 を押す

- 電話番号を複数登録している場合は発信先選択画面が表示されます。発信する番号を選択してください。

3 各項目を選択して設定する

- 各設定項目については、「条件を設定して電話をかける」の操作2を参照してください。→P54

4 MENUを押し、「はい」を選択する

設定した方法で音声電話またはテレビ電話がかかります。

- テレビ電話をかけるときは、「キャラ電選択発信」を選択すると、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

電話帳修正

電話帳を修正する

電話帳データの内容を修正、コピーしたり、電話帳データ内の電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えたりします。また、2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えることもできます。

登録内容を修正する

1 待受画面で電話帳キーを押し、電話帳を検索する

2 修正する相手にカーソルを合わせ、MENU 3を押す

3 電話帳データを修正する

- 各設定項目については、「FOMA端末に電話帳を登録する」の操作3～4（→P98）、または「FOMAカード電話帳に登録する」の操作3～4（→P101）を参照してください。

4 電話帳キーを押す

- FOMA端末電話帳の電話帳データを修正した場合、メモリ番号入力画面が表示されます。メモリ番号入力後に表示されるメッセージに従って、上書き登録か新規登録を選択します。
  上書き登録を選択した場合は、メモリ番号入力で番号を変更していても、以前の電話帳データは破棄されます。新規登録を選択した場合は、再びメモリ番号入力が表示されます。必要に応じて番号（0～699）を入力してください。
- FOMAカード電話帳の電話帳データを修正した場合、登録方法を選択する旨の確認画面が表示されたら、上書き登録か新規登録を選択します。

お知らせ

- FOMAカード電話帳の電話帳データの電話番号に「*」が含まれている場合は、上書き登録ができないことがあります。その場合は新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、新規登録されます。
- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモード中のみ修正できます。
- シークレットモード中に電話帳データを修正した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目に登録されている電話番号やメールアドレスを削除すると、2件目以降が繰り上げ登録されます。

登録内容をコピーする

電話帳データの内容をコピーできます。コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

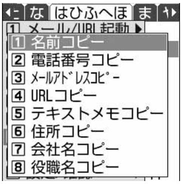
- コピーした内容は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

1 待受画面で電話帳キーを押し、電話帳を検索する

次ページへ続く

2 コピー元の電話帳データにカーソルを合わせ、[MENU][7]を押す

3 [1]～[8]を押す



該当項目のデータが一時的に記録されます。

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

- 文字の貼り付け方法→P521

お知らせ

- 次の画面から操作する場合は[MENU]を押し、「コピー」を選択します。
  - FOMA 端末電話帳の詳細画面
  - FOMA カード電話帳の電話帳一覧または詳細画面
  - プロフィール情報の詳細画面
- 電話番号コピー、メールアドレスコピーでは、1 件目に登録されている内容がコピーされます。2 件目以降の電話番号やメールアドレスをコピーするには、FOMA 端末電話帳やプロフィール情報の各詳細画面の編集画面で、コピーする電話番号やメールアドレスを選択します。

電話番号やメールアドレスの順番を入れ替える

電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合に、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。

〈例〉電話番号の順番を入れ替えるとき

1 待受画面で[電話帳]を押し、電話帳を検索する

2 目的の相手にカーソルを合わせ、[MENU][9][2][1]を押す



- メールアドレスの順番を入れ替えるときは[MENU][9][2][2]を押します。

3 1 件目に登録する電話番号を選択する

選択した電話番号と 1 件目の電話番号が入れ替わります。

お知らせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「設定／確認」→「入替え」→「電話番号入替え」または「メールアドレス入替え」を選択します。

メモリ番号を入れ替える

FOMA 端末電話帳の 2 つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えます。

1 待受画面で[電話帳]を押し、電話帳を検索する

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P379

2 目的の相手にカーソルを合わせ、[MENU][9][2][3]を押す



3 メモリ番号を入れ替える相手を選択する

お知らせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「設定／確認」→「入替え」→「メモリ番号入替え」を選択します。

電話帳をコピーする

FOMA 端末電話帳を FOMA カードにコピーしたり、FOMA カード電話帳を FOMA 端末にコピーしたりします。また、FOMA 端末電話帳を miniSD メモリーカードへ 1 件コピー、またはバックアップ（全件コピー）することもできます。

- コピーする電話帳データのグループと同じ名前のグループがコピー先の電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。
- コピーされる電話帳データの項目と登録内容は次のとおりです。

項　目	コピー後の電話帳の登録内容	
	FOMA 端末電話帳→FOMA カード電話帳	FOMA カード電話帳→FOMA 端末電話帳
名前	全角で最大 10 文字、半角で最大 21 文字コピーされます。ただし、全角と半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大 10 文字となります。※	登録内容がそのままコピーされます。
フリガナ	全角で最大 12 文字、半角で最大 25 文字コピーされます。半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。※	全角カタカナは半角カタカナに置き換えられます。
電話番号	1 件目に登録されている電話番号がコピーされます（最大 26 桁。FOMA カードの種類によっては最大 20 桁となります→P36）。タイマー（「T」）が登録されている場合は、タイマー（「T」）のみ削除されます。また、電話番号の先頭以外に「+」が入力されている場合、「+」以降の番号は削除されます。アイコンはすべて[電話アイコン]に置き換えられます。※	アイコンはすべて[電話アイコン]に設定されます。
メールアドレス	1 件目に登録されている電話番号がコピーされます（半角で最大 50 文字）。アイコンはすべて[メールアイコン]に置き換えられます。	アイコンはすべて[メールアイコン]に設定されます。

※：FOMA カード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

次ページへ続く

1 待受画面で を押し、電話帳を検索する

- FOMAカードを検索する場合は待受画面で を押します。

2 を押す

3 コピー元の電話帳データを選択する



FOMA端末電話帳をコピーする場合

- を押すとすべての電話帳データを選択☑または解除☐できます。

4 を押す

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は を押し、「赤外線／外部メモリ」→「FOMAカードへコピー」を選択します。
- FOMAカード電話帳の詳細画面から操作する場合は を押し、「赤外線／メモリ内へコピー」→「メモリ内へコピー」を選択します。
- コピー先の電話帳の最大登録件数を超えたときは、登録件数がいっぱいである旨のメッセージが表示されます。不要なコピー先の電話帳データを削除するか、コピーする電話帳データの件数を確認してからもう一度コピーしてください。

電話帳削除

電話帳を削除する

1人分の電話帳データを削除します。

1 待受画面で を押し、電話帳を検索する

2 削除する相手にカーソルを合わせ、 を押す

3 「はい」を選択する

お知らせ

- FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の詳細画面から操作する場合は、 を押し、電話帳削除を選択します。

電話帳に各種機能を設定する

FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データ内の電話番号ごとに、発信者番号の通知／非通知の設定や、テレビ電話をかけるときの通信速度の設定ができます。また、メールアドレスごとにシークレットコードを設定できます。

- FOMAカード電話帳の電話帳データに対しては設定できません。

電話番号ごとに発信者番号通知／非通知を設定する<発番号設定>

1 **待受画面で[電話帳]を押し、電話帳を検索する**

2 **設定する相手にカーソルを合わせ、[MENU][9][1][2]を押す**

3 **認証操作を行い、電話番号を選択する**

4 **[1]または[2]を押す**

- 解除するときは[3]を押します。

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「設定／確認」→「設定」→「発番号設定」を選択します。
- 「設定なし」に設定すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。
- 発番号設定をした電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右側に[!]が表示されます。
- 通話ごとの発信者番号の通知／非通知指定は、電話番号ごとの発番号設定より優先されます。→P53

電話番号ごとにテレビ電話をかけるときの通信速度を設定する<テレビ電話通信速度設定>

お買い上げ時	64K

1 **待受画面で[電話帳]を押し、電話帳を検索する**

2 **設定する相手にカーソルを合わせ、[MENU][9][1][5]を押す**

3 **電話番号を選択する**

4 **[1]または[2]を押す**



- FOMA端末にテレビ電話をかけるときは[1]を押します。

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「設定／確認」→「設定」→「テレビ電話設定」を選択します。
- 通話ごとにテレビ電話の通信速度を指定した場合は、電話番号ごとのテレビ電話通信速度設定よりも優先されます。→P54

メールアドレスにシークレットコードを設定する<シークレットコード設定>

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくと、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 待受画面で [電話帳] を押し、電話帳を検索する

2 設定する相手にカーソルを合わせ、[MENU] [9] [1] [4] を押す

3 認証操作を行い、メールアドレスを選択する

4 4桁のシークレットコードを入力する

- 解除するときは [クリア] を1秒以上押し、シークレットコードを削除します。

お知らせ

- 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認できます。
- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [MENU] を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレットコード設定」を選択します。
- シークレットコードを設定した電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右側に [!] が表示されます。
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメールの返信ができません。また、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合、シークレットコードを設定しても、その相手にメールの返信ができません。電話帳データの「@docomo.ne.jp」を削除してから設定してください。
- プロフィール情報にシークレットコードは設定できません。

シークレット属性

他人に見られたくない電話帳を守る

FOMA端末電話帳データを、認証操作をしないと呼び出せないシークレット属性をもったデータとして登録します。シークレット属性を設定するにはシークレットモード中に設定操作をする必要があります。

電話帳にシークレット属性を設定する

- FOMAカード電話帳データにはシークレット属性を設定できません。
- シークレットモード中のみシークレット属性の設定や解除ができます。

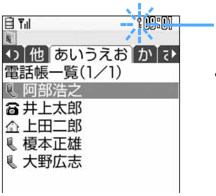
1 シークレットモードを起動する

- シークレットモードの起動については、「シークレットモードを起動する」を参照してください。→P161

2 待受画面で [電話帳] を押し、電話帳を検索する

電話帳

3 設定する相手にカーソルを合わせ、MENU 9 1 1 を押す



選択している相手にシークレット属性が設定されているときに点滅します。

- 解除するときはシークレット属性が設定されている電話帳データにカーソルを合わせ、MENU 9 1 1 を押します。

お知らせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性設定」を選択します。シークレット属性を解除するときはMENUを押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性解除」を選択します。
- シークレットモード中に電話帳データを登録・修正した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
- シークレットモード中のみ、着信画面、リダイヤル、着信履歴、受信メール一覧、背面ディスプレイなどに、シークレット属性が設定されている電話帳データの名前や登録された画像または動画／ｉモーションが表示されます。また、電話帳データに設定した着信音やバイブレータも動作します。→P97

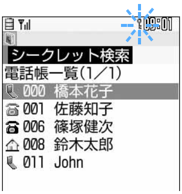
シークレット属性を設定した電話帳を検索する<シークレット検索>

シークレット属性が設定されている電話帳データだけを検索します。
- シークレットモード中のみ検索できます。

1 シークレットモードを起動する

- シークレットモードの起動については、「シークレットモードを起動する」を参照してください。→P161

2 待受画面で MENU 4 1 7 を押す



- 以降の操作は、「電話帳の検索手順」を参照してください。→P103

お知らせ

- シークレット属性が設定されている電話帳データが検索できるのは、シークレットモード中のみです。また、クイックダイヤルやクイックメールも同様です。
- シークレットモード中にシークレット検索以外の検索を行うと、シークレット属性が設定されている電話帳データと設定されていない電話帳データの両方が検索の対象となります。
- 前回シークレット検索を行った状態で電話帳一覧を表示した場合、シークレットモード中に電話帳キーを押すと、前回と同じシークレット検索の電話帳一覧が表示されます。シークレットモード中以外は、メモリ番号検索画面が表示されます。

登録状況確認

電話帳の登録状況を確認する

FOMA 端末電話帳の登録件数やシークレット設定されている件数などを表示します。

1 待受画面で を押し、電話帳を検索する

2 を押す

お知らせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は を押し、「設定／確認」→「登録件数確認」を選択します。
- FOMA カード電話帳で確認する場合は、電話帳一覧または詳細画面から を押し、「登録件数確認」を選択します。

クイックダイヤル

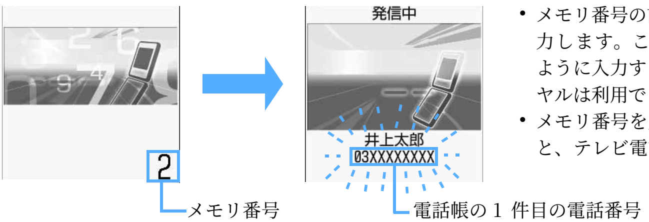
少ないキー操作で電話をかける

FOMA 端末電話帳のメモリ番号 0 ～ 99 の相手には、簡単な操作で電話をかけられます。

- 電話帳データの 1 件目の電話番号が電話をかける対象となります。

〈例〉メモリ番号 2 の電話番号に電話をかけるとき

1 待受画面でメモリ番号（この場合は ）を入力し、 を押す



- メモリ番号の前に 0 は付けずに入力します。この例で のように入力すると、クイックダイヤルは利用できません。
- メモリ番号を入力して を押すと、テレビ電話をかけられます。

お知らせ

- 入力したメモリ番号の電話帳データに電話番号が登録されていない、または FOMA 端末電話帳に電話帳データが 1 件も登録されていない場合は、 または を押すと該当するデータがない旨のメッセージが表示されます。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

FOMA端末から鳴る着信音を変える

お買い上げ時	電話：メロディ／着信音１　メール：メロディ／着信音１ チャットメール：メール連動　メッセージR：メロディ／着信音１ メッセージF：メロディ／着信音１　通話保留音：内蔵音（ENTERTAINER） テレビ電話：メロディ／ハープ

音声電話やテレビ電話着信時、メールやチャットメール、メッセージR/Fを受信時に鳴る音を設定します。また、通話保留中に鳴る音を設定します。着信音に動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。

- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定の着信音、および通話保留音設定の保留音にもそれぞれ反映されます。

1 待受画面で MENU 8 1 1 を押す

2 各項目を選択して設定する



■ 電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音を設定するとき

1～3（チャットメールの場合のみ1～4）を押す

メロディ　：着信音に設定するメロディをメロディ一覧から選択します。
メロディ一覧の見かた→P376

着モーション：着信音に設定する動画／ｉモーションを、動画一覧から選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P360

OFF　：着信音を鳴らしません。

メール連動　：チャットメールの着信音を設定する場合に選択でき、メール着信設定の着信音選択の設定に従います。

- メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作については、お知らせを参照してください。→P119

■ 通話保留音を設定するとき

1または2を押す

選択音　：保留音に設定するメロディを選択します。
メロディ一覧の見かた→P376

内蔵音　：通話保留中に内蔵音（ENTERTAINER）が鳴ります。

3 [閉じる]を押す

■ 3Dサウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカー（またはステレオイヤホンセット）を使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド機能によって、臨場感あふれるｉアプリのゲームや着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。

3Dサウンド機能は、FOMA端末を約20～30cm（個人差があります）程度離し、スピーカーを自分に向けて聞いた場合に最も効果が現れます。正面から左右にずらした位置で聞いたり、近すぎたり遠すぎたりすると、効果が薄れてしまいます。

メロディの動作設定のステレオ・3Dサウンドを「ON」に設定すると、3Dサウンドを立体音響でステレオスピーカーから再生できます。お買い上げ時は、「ON」に設定されています。→P378

- 3Dサウンドの感じかたには個人差があります。解除する場合は、ステレオ・3Dサウンドを「OFF」に設定してください。



お知らせ

- メロディにカーソルを合わせて を押すと再生できます。メロディ再生中は次の操作ができます。
  - （サイドキー［▲▼］）：音量調整
  - （サイドキー［▲▼］1秒以上）：前後のメロディ再生
  - ：メロディの選択
- 動画／ｉモーションにカーソルを合わせて を押すと再生できます。動画／ｉモーション再生中は次の操作ができます。
  - ：一時停止／再生
  - （サイドキー［▲▼］）：音量調整
  - ：早送り再生
  - ：停止
- サウンドレコーダーで録音した音声も「着モーション」に設定できます。ただし、その場合は音声のみが再生され、画面には着信時の画像に設定した画像が表示されます。
- 音声と映像のある動画／ｉモーションを着信音に設定し、着信時の画像を「着信音連動」に設定しているときに着信音を「OFF」に設定し直すと、着モーションは再生されますが着信音量は消音になります。
- 着信時の画像を「着信音連動」に設定しているとき、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）またはメロディを着信音に設定すると、着信時の画像には標準画像が設定されます。
- 着信時の画像に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定しても、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定すると、着信時の画像には自動的に標準画像が設定されます。
- 詳細情報（→P396）の着信音設定が「不可」になっている動画／ｉモーションは「着モーション」に設定できません。
- 着信音に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定し、着信画像にアニメーション（標準画像を除く）を設定している場合は、アニメーションは動作せず、着信画面にはアニメーションの最初のコマが表示されます。
- 音声電話中に音声電話の着信があった場合、着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されているか、または着信画像に動画／ｉモーションを設定していると、着信画面には最初のコマが表示されます。

着信音の優先順位について

- 複数の機能で着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
  ① FOMA 端末電話帳の設定
  ② FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③ 着信音設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定
- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信音は着信音設定／テレビ電話着信設定の設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像のデータが削除されると、自動的に設定内容が変更されます。その場合は、実際に鳴る音や表示される画像が設定内容と異なることがあります。
- 電話帳に着信音を設定していない場合、着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定していると、電話帳に画像を設定していても、着信音と着信画像は「着モーション」の設定が優先されます。
- 着信音の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定し、電話帳に画像を設定していると、着信音は「着モーション」に設定した音声のみの動画／ｉモーションが鳴り、着信時には電話帳に設定した画像が表示されます。

メロディ一覧

お買い上げ時は、着信音に設定できるメロディとして次のメロディが「プリインストール」フォルダに登録されています。
□ のメロディは 3D サウンドに対応しています。

分　類	メロディ名※		作曲者
固定着信音	着信音 1 ～ 6		――――
メロディ	THE RISING SUNS		石野　卓球
	イン･ザ･ムード		JOSEPH C GARLAND
	ミモザ		黒沢　薫、 佐々木　真里
	大きな古時計		HENRY CLAY WORK
	きらきら星		WOLFGANG AMADEUS MOZERT
	アイネクライネナハトムジーク		WOLFGANG AMADEUS MOZERT
	凱旋行進曲		GIUSEPPE VERDI
	アメージンググレース		アメリカ民謡
	愛の挨拶		EDWARD ELGAR
	一週間		ロシア民謡
	英雄ポロネーズ		FREDERIC FRANCOIS CHOPIN
	幻想即興曲		FREDERIC FRANCOIS CHOPIN
	ツァラトゥストラはかく語りき		RICHARD STRAUSS
	フニクリフニクラ		LUIGI DENZA
	ENTERTAINER		SCOTT JOPLIN
効果音／ボイス	癒やし 1 ～ 3	琉球水	――――
	競馬場	連続花火	
	ビール	電話です	
	メールはいかが？	起きなはれ	
	目覚まし時計 1	目覚まし時計 2	
	黒電話	ハープ	
	もうすぐ予定の時間です		
	時間になりました		

許諾番号:T- 0530247
※： ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時	すべてOFF

音声電話やテレビ電話着信時、メールやチャットメール、メッセージR/F受信時に振動でお知らせします。

- バイブレータを設定したまま机の上などに放置しないでください。バイブレータが動作したときに振動で落下するおそれがあります。
- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定のバイブレータにもそれぞれ反映されます。

1 待受画面で MENU 8 1 7 を押す

2 設定する項目を選択する

- チャットメールを選択したとき、チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメールの設定項目を選択できない旨のメッセージが表示されます。

3 1 ～ 5 を押す



パターンA：0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1.5秒停止の繰り返しで振動します。
パターンB：1秒振動→2秒停止の繰り返しで振動します。
パターンC：0.25秒振動→0.25秒停止の繰り返しで振動します。
メロディ連動：着信音設定で設定したメロディに合わせて振動します。
- メロディによっては連動しない場合があります。

OFF：振動しません。

- 📷/iα を押すとカーソル位置のパターンの振動を確認できます。ただし、「メロディ連動」の場合は振動しません。

4 ✉ を押す

バイブレータが設定され、着信時やアラーム通知時にFOMA端末が振動します。

- 音声電話のバイブレータを設定したときは、待受画面に V が表示されます。
- 電話の着信音量を「消音」に設定し、音声電話のバイブレータを設定しているときは SV が表示されます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに V または SV が表示されます。

お知らせ

- 通話中に着信があった場合は振動しません。
- スケジュールアラームは、電話のバイブレータ設定で振動します。
- 電話帳の電話着信バイブレータ、メール着信バイブレータを設定している場合は、電話帳の設定が優先され、次にグループ別の設定が優先されます。
- バイブレータ設定を「OFF」にしていても、一部のFlash画像が動作しているときに振動する場合があります。

キー確認音設定

キーを押したときに鳴る音を設定する

お買い上げ時	エレクトロニック

キーを押したときに鳴る音を変更します。音が鳴らないように設定することもできます。

- 音を鳴らさないように設定した場合は、キーを押したときの音以外に、次の音も鳴らなくなります。
  - 電池レベル表示時の確認音
  - 赤外線通信やデータ送受信時の通信終了音（終了音が鳴る設定になっている場合）

1 待受画面で MENU 8 1 4 を押す

2 1 ～ 3 を押す



- カメラ / iαppli を押すとカーソル位置のキー確認音が鳴ります。
- 鳴らさないときは 4 を押します。

お知らせ

- キー確認音を鳴るように設定しても、次の場合はキー確認音は鳴りません。
  - マナーモード中
  - ｉアプリを起動している場合（TASK を押すと鳴ります）
  - サイドキー［▲▼］を押した場合
- 「OFF」に設定していても、通話中にダイヤルキーを押すと相手にプッシュ信号（DTMF）を送出できます。このとき、受話口からはプッシュ音が聞こえます。
- キー確認音の音量は受話音量調整の設定に従います。

充電確認音設定

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時	ON

充電の開始時と終了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

1 待受画面で MENU 8 1 9 を押す

2 1 または 2 を押す

お知らせ

- 「ON」に設定しても、次の場合は充電確認音は鳴りません。
  - マナーモード中
  - ドライブモード中
  - 音声電話中
  - テレビ電話中
  - 64Kデータ通信中
  - ｉモード通信中
  - パケット通信中

通話品質アラーム設定

通話が切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時	アラーム高音

通話状態が悪く、途中で音声通話が途切れてしまうおそれのある場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- 音声電話にのみ有効です。

1 **待受画面で [MENU] [8] [7] [4] を押す**

2 **[1] または [2] を押す**

- 鳴らさないときは [3] を押します。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、FOMA 端末からの音を鳴らさないように設定できます。

1 **待受画面で [#] を 1 秒以上押す**



マナーモード選択で指定したマナーモードが起動し、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

- 解除するときは [#] を 1 秒以上押します。

■ FOMA 端末を折り畳んでいるとき

サイドキー［▲］を 1 秒以上押すと、マナーモードの起動／解除ができます。

- マナーモード中にサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。
- サイドキーロック中は、サイドキー［▲］を 1 秒以上押してもマナーモードの起動／解除はできません。先にサイドキーロックを解除してください。

通常マナーモードを起動すると

着信音、キー確認音、アラームなど FOMA 端末から出るすべての音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がるため、小さな声でも通話できます。

- 電話着信時やメール受信時などのバイブレータの動作は、バイブレータ設定の設定に関わらず、「パターン A」です。
- アラーム設定で指定した日時になると、着信ランプのイルミネーションパターンとバイブレータは、アラーム設定に従って動作します。
- スケジュールアラームで指定した日時になると、着信ランプはイルミネーション設定の電話着信の設定に、バイブレータはマナーモードの設定に従って動作します。
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して受信メールやメッセージ R/F を表示しても、メロディは自動再生されません。
- 音声のある動画／ｉモーションの再生時には、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。メロディの再生時には、再生するかどうかの確認画面が表示されます。

オリジナルマナーモードを起動すると

マナーモード選択のオリジナルマナーモードで設定した、バイブレータの動作、キー確認音、電話着信音量、メール着信音量、電池アラーム音、アラーム／スケジュール音、マイク感度UPの設定に従って動作します。

お知らせ

- マナーモード中でも、次の音は鳴ります。
  - カメラおよびビデオカメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）
  - サウンドレコーダー録音時の録音確認音（シャッター音）
- マナーモード中は、通話料金上限通知の設定を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージのみが表示されます。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの設定に従ってアラームが鳴ります。

マナーモード選択

マナーモードを変更する

お買い上げ時	通常マナーモード

通常マナーモードとオリジナルマナーモードのどちらのマナーモードを使用するかを選択します。オリジナルマナーモードでは、バイブレータ、キー確認音、着信音量などを変更できます。

- マナーモード中でもマナーモードを変更できます。

〈例〉**オリジナルマナーモードを選択するとき**

1 待受画面で MENU 8 1 6 を押す

2 2 を押す



- 1 を押すと通常マナーモードが設定され、1つ前の画面に戻ります。

通常マナーモード：FOMA 端末から出る音を消し、着信を振動でお知らせします。

オリジナルマナーモード：バイブレータ、着信音量やキー確認音などを自由に設定できます。

3 各項目を選択して設定する

バイブレータ：電話の着信中やメール受信中のバイブレータの動作を設定します。
- 「ON」に設定すると、着信や受信をバイブレータ設定に従って振動で知らせます。
- 「OFF」に設定すると、バイブレータは動作しません。

キー確認音：キー確認音を設定します。

電話着信音量：電話の着信があったときの着信音の音量やｉアプリの音量を設定します。ただし、「ステップトーン」に設定した場合のｉアプリの音量は「レベル4」です。

メール着信音量：メールを受信したときの着信音の音量を設定します。

電池アラーム音：電池が切れそうなとき、アラームを鳴らすかどうかを設定します。

アラーム／スケジュール音：アラームやスケジュールアラームの音を鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、アラームやスケジュールアラームの音は各設定に従って鳴ります。スケジュールアラームの音量は、オリジナルマナーモードの電話着信音量の設定に従います。
- 「OFF」に設定すると、アラームやスケジュールアラームの音は鳴りません。

マイク感度UP：マイクの感度を上げるかどうかを設定します。

4 を押す

待受画面設定

待受画面の表示を変更する

お買い上げ時	インテリア

待受画面に表示されている画像を、別の画像、動画／ｉモーション、キャラ電、カレンダーに変更します。また、ｉアプリ待受画面を設定したり、時計や各種情報表示を設定（カスタム待受画面）したり、フォルダ内の画像をランダムに表示したりします。

- 画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと、待受画面設定が無効になります。
- オールロック中やPIMロック中は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。ロックを解除すると設定した待受画面が再び表示されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内の画像を設定している場合は、PIMロック中でも設定した画面が表示されます。

画像／動画／ｉモーション／キャラ電を待受画面に設定する

ｉモードのサイトやメールから取得した画像、動画／ｉモーション、キャラ電、FOMA端末で撮影した静止画や動画などを待受画面に設定します。また、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像なども設定できます。

1 待受画面で[MENU][8][2][1]を押す

2 [1]または[3]～[4]を押す



3 フォルダを選択し、待受画面に設定する画像、動画／ｉモーション、キャラ電を選択する

- 画像一覧の見かた→P348
- 動画／ｉモーション一覧の見かた→P360
- キャラ電一覧の見かた→P369

■ キャラ電のアクションを設定するとき

①キャラ電一覧画面でキャラ電にカーソルを合わせ、[MENU]を押す
②待受アクション設定画面で各項目を選択して設定する
- 設定項目については、「■キャラ電を待受画面に設定するとき」の②を参照してください。→P370

③ を押す

4 「はい」を選択する

画像、動画／ｉモーション、キャラ電が待受画面に設定されます。
- 動画／ｉモーションを待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。
- 選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、等倍表示するか拡大表示するかの確認画面が表示されます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて画像が拡大されて待受画面に表示されます。
- すでにｉアプリ待受画面が設定されている場合は、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーションを再生するには

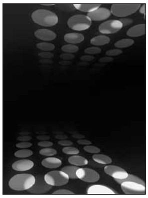
- 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
  [クリア]／FOMA端末を開く：再生
  [クリア]／[電源]：停止
  サイドキー［▲▼］：音量調整
- アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像の場合は次の操作ができます。
  FOMA端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる：再生
  [クリア]：一時停止／再生
  [電源]：停止／先頭から再生
- キャラ電の場合は次の操作ができます。
  [クリア]／FOMA端末を開く：再生
  [クリア]／[電源]：停止

お買い上げ時に登録されている待受用の画像／ｉモーション

お買い上げ時に登録されている画像


インテリア


ガール


スポットライト


飛行機


犬



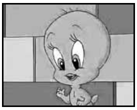
TM & c WBE (s05)
ワンスアポンアタイム


©BVIG
ブンブン（Dimo）


TM & c WBE (s05)
ベビートゥイティー※

※：時刻や電池残量によって画像が変化します。

お買い上げ時に登録されているｉモーション



TM & c WBE (s05)
Baby Tweety

※お買い上げ時に登録されているキャラ電は「キャラ電を表示する」を参照してください。→P369

お知らせ

- アニメーションは最大16回繰り返して再生されます。
- Flash画像やキャラ電を待受画面に設定すると、一定時間再生した後に一時停止します。
- アニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れることがあります。
- 再生回数や再生期限などの制限が設定されているコンテンツは、待受画面に設定できません。
- テロップ中にリンクのある動画／ｉモーションを待受画面に設定しても、待受画面からPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できません。
- 動画／ｉモーションやキャラ電が待受画面に表示される場合、待受時計のデザインが「デジタル1～3」のときは、数字のデザインはそのままで、サイズは「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。待受時計のデザインが「アナログ」のときは、「デジタル1」に変更され、サイズは「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。
- 開閉ロック中は、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像、ｉモーション、キャラ電が待受画面に設定されていても、再生や停止の操作はできません。待受画面には、停止した画像が表示されます。開閉ロックを解除すると再生が開始されます。

画像をランダムに表示する<ランダムイメージ設定>

マイピクチャ内のフォルダに保存されている複数の静止画を、指定したタイミングでランダムに切り替えて待受画面に表示します。

- 表示できる画像は待受用（240×320）サイズ以下のJPEG、GIF形式（アニメーションGIFは除く）の画像です。

1 **待受画面で MENU 8 2 1 2 を押す**

2 **各項目を選択して設定する**



フォルダ：画像が保存されているフォルダを選択します。
- 表示できる画像が1つもないフォルダは選択できません。

切替設定：画像を切り替えるタイミングを設定します。
- 「30分ごと」を選択したときは、毎時0分と30分に画像が切り替わります。
- 「60分ごと」を選択したときは、毎時0分に画像が切り替わります。
- 「開閉ごと」を選択したときは、FOMA端末を開いたときに画像が切り替わります。

3 **を押し、「はい」を選択する**

- すでにｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

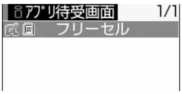
- 次の画像は表示できません。
  - パラパラマンガ　- 連写画像　- アニメーションGIF　- Flash画像　- 動画
- 選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動、削除したり、パラパラマンガを作成したりして、表示できる静止画が1つもないときは、お買い上げ時の画像が待受画面に表示され、ランダムイメージの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。ただし、現在、待受画面に表示されている静止画を移動したり、パラパラマンガとして作成した直後は、次に画像が切り替わるまでその画像が一時的に表示されます。

ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリを待受画面に設定します。

- ｉアプリ待受画面表示中に クリア を押すと、ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリが起動し、ｉアプリの操作や設定ができます。
- ｉアプリ待受画面に、複数のｉアプリは設定できません。
- お買い上げ時に登録されている次のｉアプリはｉアプリ待受画面に設定できます。
  - フリーセル

1 待受画面で MENU 8 2 1 5 を押す



ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリが一覧表示されます。

- ｉアプリ待受画面一覧の見かた→P314

2 ｉアプリを選択し、「はい」を選択する

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面に または が表示されます。

お知らせ

- ネットワークに接続して通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。また、ｉアプリや設定によっては自動的に通信を行います。
- ｉアプリ待受画面を解除すると、その前に設定していた待受画面に戻ります。
- プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）は、ｉアプリ待受画面を設定しても動作しません。また、ｉアプリ待受画面設定後にプライバシーモードを起動（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）すると、ｉアプリ待受画面は解除され、その前に設定していた待受画面が表示されます。プライバシーモードを解除すると、ｉアプリ待受画面に戻ります。
- PIMロック中はｉアプリ待受画面は表示されず、お買い上げ時の標準画像、または「プリインストール」フォルダ内の画像が表示されます。
- ｉアプリが待受画面に表示される場合、待受時計のデザインが「デジタル1～3」のときは、数字のデザインはそのままで、サイズは「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。待受時計のデザインが「アナログ」のときは、「デジタル1」に変更され、サイズは「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。
- 開閉ロック中にｉアプリ待受画面が表示されている場合、 クリア を押してもｉアプリは起動できません。

待受画面にカレンダーを設定する

1 待受画面で MENU 8 2 1 6 を押す

2 「はい」を選択する

- すでにｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

- 日付・時刻が設定されていないときは、待受画面にカレンダーは表示されません。
- カレンダーが待受画面に表示される場合、待受時計のデザインが「デジタル 1 ～ 3」のときは、数字のデザインはそのままで、サイズは「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。待受時計のデザインが「アナログ」のときは、「デジタル 1」に変更され、サイズは「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。
- 画像とカレンダーは同時に設定できますが、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像を設定している場合は、再生が停止または一時停止したときにカレンダーが表示されます。

待受画面の表示をカスタム設定する<カスタム待受>

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、それぞれのエリアに未読メールや不在着信などの新着情報、メモ、カレンダー、スケジュールを表示するように設定します。

- エリアの分けかたは次の 7 種類から選択できます。



パターン 1　パターン 2　パターン 3　パターン 4　パターン 5　パターン 6　パターン 7

1 **待受画面で MENU 8 2 1 8 を押す**

2 **◁▷を押してパターンを切り替え、エリアを選択する**

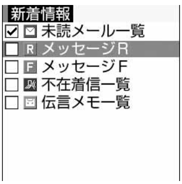


3 **1 ～ 5 を押す**



- 複数のエリアがある場合は、設定するエリアを選択して操作 3 を繰り返します。
- 画面の半分に満たないエリア（パターン 3 のエリア 1 設定など）には、カレンダーは設定できません。

■ 新着情報を設定するとき



① **2 を押す**
② **表示する情報を選択する**
- ◯で選択☑と解除☐が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。

③ **完了 を押す**

■ メモを設定するとき

① [3] を押す

登録済みのメモの一覧が表示されます。

② 表示するメモを選択する

- [i] を押すとメモの内容が表示されます。[クリア] を押すとメモ一覧に戻ります。

4 [i] を押し、「はい」を選択する

- すでに i アプリ待受画面が設定されているときは、さらに i アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、 i アプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

- 表示する情報を設定したエリアと待受画面の時計表示が重なる場合、待受時計のデザインが「デジタル1～3」のときは、数字のデザインはそのままで、サイズは「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。待受時計のデザインが「アナログ」のときは、「デジタル1」に変更され、サイズは「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。

カスタム待受画面の情報を確認する

1 待受画面で[ ]を押す



いちばん上のエリアが赤のカーソル枠で表示されます。

- [カメラ][iα] を押すとカーソル枠を移動できます。

2 エリアを選択する

お知らせ

- イメージ設定でアニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像を設定していた場合、再生が停止または一時停止したときに情報が表示されます。

各情報の表示内容について

カスタム待受画面と各種情報は次のように表示されます。

- 表示される情報の件数や行数は、エリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ 新着情報



未読メール、メッセージR、メッセージF、不在着信、伝言メモのうち、選択している項目が新しい順に一覧表示されます。エリアを選択すると、先頭の項目の一覧画面が表示されます。

[✉]**未読メール**：受信日時と題名の先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

[R]**メッセージR**／[F]**メッセージF**

：受信日時とタイトルの先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、メッセージRまたはメッセージFの一覧が表示されます。

不在着信　：着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、着信履歴一覧が表示されます。

伝言メモ　：録音日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

■ メモ



メモ帳に登録されている内容の先頭部分が表示されます。エリアを選択すると、メモの詳細が表示されます。

■ スケジュール



開始日時になっていないスケジュールが日時の早い順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールの詳細が表示されます。

- アイコン、日時、内容の先頭部分が表示されます。
- 長期間スケジュールの場合は、登録されているアイコンの代わりに「開始日付～」と表示されます。開始日時が当日の場合は、「開始日時」と表示されますが、開始日時が現在の日時を過ぎると、「開始日付～」と表示が変わり、当日のまだ開始日時になっていないスケジュールの次に表示されます（開始日時順）。長期間スケジュールは、終了日時が経過するまで表示されます。
- 終日に設定したスケジュールが当日の場合は、開始時刻の代わりに「終日」と表示されます。

■ カレンダー



当月のカレンダーが表示されます。スケジュールが登録されている日には、赤いマークが付きます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。

お知らせ

- 表示する内容がないエリアは表示されません。
- 同じ日に当日スケジュールと、長期間スケジュールが登録されている場合、カスタム待受画面には長期間スケジュールが表示されます。ただし、当日スケジュールが終日に設定されている場合や、当日スケジュールの開始時刻になっていない場合は、カスタム待受画面には両方のスケジュールが表示されます。
- シークレットモード中のみ、シークレット属性が設定されているスケジュールがカスタム待受画面に表示されます。また、シークレットモード中でない場合、シークレット属性が設定されている相手から電話の着信や伝言メモの録音があると、不在着信一覧や伝言メモ一覧を設定した新着情報エリアに名前は表示されず、電話番号が表示されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴、メール、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、すべての未読メール、不在着信履歴、伝言メモ、スケジュールが新着情報エリアに表示されません。
- プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、フォルダ設定のプライバシーが「ON」のフォルダ以外の未読メールが表示されます。
- PIM ロック中は、メモ帳やスケジュールのエリアに内容は表示されず、PIM ロック中である旨のメッセージが表示されます。

画像以外の設定を解除するとき

動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリ待受画面、待受カレンダー、カスタム待受画面の設定を解除し、画像を待受画面に表示します。

1 **待受画面で MENU 8 2 1 9 を押す**

2 **「はい」を選択する**

- 解除する前に画像を設定していた場合はその画像が、設定していなかった場合はお買い上げ時の画像が待受画面に表示されます。

音声電話やテレビ電話の発信時に表示する画像を変更する

音声電話の発信時の画面を変更する＜電話発信設定＞

お買い上げ時	イメージ表示：標準画像

1 **待受画面で MENU 8 6 1 を押す**

- MENU 8 2 2 1 を押しても、設定画面を表示できます。

2 **イメージ表示欄を選択し、1 または 2 を押す**

- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
  画像一覧の見かた→P348

3 **[メール] を押す**

テレビ電話の発信時の画面を変更する＜テレビ電話発信設定＞

お買い上げ時	イメージ表示：標準画像

1 **待受画面で MENU 8 8 1 を押す**

- MENU 8 2 2 3 を押しても、設定画面を表示できます。

2 **イメージ表示欄を選択し、1 または 2 を押す**

- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
  画像一覧の見かた→P348

3 **[メール] を押す**

お知らせ

- 「イメージ」にパラパラマンガ、連写画像を設定すると、最初のコマが表示されます。

発信画像の優先順位について

- 複数の機能で発信画像が設定されている場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
  ① FOMA 端末電話帳の設定※
  ② FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③ 電話発信設定／テレビ電話発信設定
  ※： 人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。

音声電話やテレビ電話の着信時の画像や着信音を変更する

音声電話の着信時の動作を変更する＜電話着信設定＞

お買い上げ時	着信音：メロディ／着信音１ イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／ライム

1 **待受画面で MENU 8 6 2 を押す**

- MENU 8 2 2 2 を押しても、設定画面を表示できます。

2 **各項目を選択して設定する**

着信音 ：音声電話がかかってきたときの着信音を設定します。
- 「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。
  メロディ一覧の見かた→P376
  動画／ｉモーションの見かた→P360
- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。

イメージ表示 ：音声電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
  画像一覧の見かた→P348
- 「 モーション」を選択したときは、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。
  動画／ｉモーションの見かた→P360

バイブレータ ：音声電話がかかってきたときの振動を設定します。
バイブレータのパターン→P121

イルミネーション：着信ランプの照明の点灯パターンや色を設定します。
イルミネーションのパターン・色→P141

- メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作については、「FOMA 端末から鳴る着信音を変える」のお知らせを参照してください。→P119

3 **を押す**

テレビ電話の着信時の動作を変更する<テレビ電話着信設定>

お買い上げ時	着信音：メロディ／ハープ　イメージ表示：標準画像　バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／ライム

1 待受画面で MENU 8 8 2 を押す



- MENU 8 2 2 4 を押しても、設定画面を表示できます。

2 各項目を選択して設定する

- 設定操作は、「音声電話の着信時の動作を変更する」の操作2を参照してください。→P133

3 [決定キー] を押す

お知らせ

- 「イメージ」にパラパラマンガや連写画像を設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているとき、着信画像を映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音は「着信音1（音声電話）」または「ハープ（テレビ電話）」になります。
- 音声と映像のある動画／ｉモーションを「着モーション」に設定した場合は、「イメージ表示」は「着信音連動」になり「イメージ一覧」で画像を選択できません。
- 動画／ｉモーションによってはイメージに設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。
- 着信音に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定し、イメージにアニメーション（標準画像を除く）、パラパラマンガ、連写画像を設定している場合は、アニメーションは動作せず、着信画面にはアニメーションの最初のコマが表示されます。
- 通話中に電話の着信があった場合、着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されているか、または着信画像に動画／ｉモーションを設定していると、着信画面には最初のコマが表示されます。
- 電話発着信設定やテレビ電話発着信設定のイメージを「着信音連動」以外に変更すると、着信音は「着信音1（音声電話）」または「ハープ（テレビ電話）」になります。

着信画像の優先順位について

- 複数の機能で着信画像が設定されている場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
  ①FOMA端末電話帳の設定※
  ②FOMA端末電話帳グループ別の設定
  ③着信音設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定
  ※：人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。
- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信画像はテレビ電話着信設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像のデータが削除されると、自動的に設定内容が変更されます。その場合は、実際に鳴る音や表示される画像が設定内容と異なることがあります。

人物画像表示設定

発着信時の電話帳の人物表示を設定する

お買い上げ時	ON

音声電話やテレビ電話の発着信時に、FOMA 端末電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で [MENU][8][2][2][5] を押す

2 [1] または [2] を押す

メール送信画像設定／メール受信画像設定／問合せ画像設定

メール送受信時や問合せ時の画面を変更する

お買い上げ時	イメージ表示：標準画像

メールの送受信時や ｉ モード問合せ時に表示される画像を設定します。

- ｉ モード問合せ時に表示される画像には、Flash 画像を設定できません。

1 待受画面で [MENU][8][2][2] を押す

2 [6] ～ [8] を押す

- ｉ モードメール、SMS の送信時に表示する画像を設定するときは [6] を押します。
- ｉ モードメール、SMS、メッセージ R/F の受信時に表示する画像を設定するときは [7] を押します。
- ｉ モード問合せ時に表示する画像を設定するときは [8] を押します。

3 画像を設定して [Center] を押す

- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
  画像一覧の見かた→P348

背面ディスプレイの表示を設定する

背面ディスプレイに表示する画像を設定する<背面画像設定>

お買い上げ時	待受画像：標準画像１　発着信画像、メール受信画像：メインディスプレイに連動 時計表示：日本語大　時計形式：24時間表示

待受画面や電話の着信時、メールの受信時などに背面ディスプレイに表示する画像を設定します。また、時計の大きさや時刻の表示形式も設定できます。

1 待受画面で [MENU][8][2][7][2] を押す

2 各項目を選択して設定する



待受画像：背面ディスプレイの待受画面に表示する画像を設定します。
- 「標準画像1～3」または「ベビートゥイティー」に設定すると、内蔵されている画像が表示されます。
- 「イメージ」に設定すると、画像フォルダに保存されている画像が選択できます。
  画像一覧の見かた→P348

発着信画像：電話の発着信時に背面ディスプレイに表示する画像を設定します。
- 「メインディスプレイに連動」に設定すると、音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の発着信時にディスプレイと同じ画像が表示されます。ただし、ディスプレイにFlash画像が設定されている場合は、背面ディスプレイには標準画像が表示されます。
- 「標準画像」に設定すると、内蔵されている画像が表示されます。

メール受信画像：メール受信時に背面ディスプレイに表示する画像を設定します。
- 「メインディスプレイに連動」に設定すると、メール受信時にディスプレイと同じ画像が表示されます。ただし、ディスプレイにFlash画像が設定されている場合は、背面ディスプレイには標準画像が表示されます。
- 「標準画像」に設定すると、内蔵されている画像が表示されます。

時計表示：時計表示を「日本語大」「日本語小」「英語」「なし」から選択します。

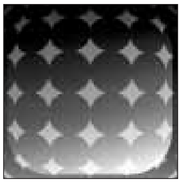
時計形式：時計の表示形式を「24時間表示」と「12時間表示」のどちらかに設定します。

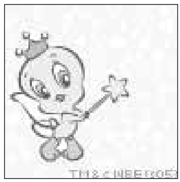
3 を押す

お買い上げ時に登録されている待受用の画像（背面ディスプレイ用）


標準画像1


標準画像2


標準画像3


TM & c WBE (s05)
ベビートゥイティー

お知らせ

- PIMロック中は、待受画像を「イメージ」にして画像フォルダから選択した画像を設定したり、その他の項目を「メインディスプレイに連動」に設定したりしていても標準画像が表示されます。PIMロックを解除すると選択した画像に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内の画像を設定している場合は、PIMロック中でも設定した画像が表示されます。
- 待受画像を「イメージ」に設定し、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像を選択した場合や、その他の項目を「メインディスプレイに連動」に設定し、背面ディスプレイでも同じ画像が表示されるように設定されている場合は、最初のコマが表示されます。

電話やメールの着信時に電話番号やメールアドレスなどを表示する<背面情報表示設定>

お買い上げ時	相手情報表示あり

1 待受画面で MENU 8 2 7 1 を押す

2 1 を押す

- 解除するときは 2 を押します。

お知らせ

- PIMロック中、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳に登録されている相手から電話の着信やメールの受信があった場合は、「相手情報表示あり」に設定しても名前は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。
- 「相手情報表示なし」に設定すると、背面ディスプレイには着信中などの状態のみ表示されます。また、表示される画像は標準画像になります。
- シークレットモード中でない場合、電話帳にシークレット属性が設定されている相手から電話の着信やメールの受信があると、名前は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。

照明設定

ディスプレイとキーの照明を設定する

お買い上げ時	照明方法：点灯　点灯時間：10秒　範囲：ディスプレイ＋キー ディスプレイの明るさ：標準　ACアダプタ接続時動作：端末設定に従う

1 待受画面で MENU 8 2 5 を押す

2 各項目を選択して設定する

照明方法：点灯するかしないかを設定します。
- 「点灯」に設定すると、点灯時間で設定した時間で点灯します。
- 「消灯」に設定すると、点灯しません。また、点灯時間、範囲、ディスプレイの明るさが設定できなくなります。

点灯時間：点灯時間を設定します。
- 「常時」以外に設定した場合、FOMA端末を開いたまま約5分間何も操作しないと、自動的にディスプレイが消灯します（画面セーブモード）。

範囲：ディスプレイのみを点灯させるか、ディスプレイとキー部分を点灯させるかを設定します。
- 「ディスプレイ＋キー」に設定したときに点灯するキーは、文字、電源、クリア、0〜9、*、#、TASKです。

ディスプレイの明るさ
：ディスプレイが点灯するときの明るさを設定します。

ACアダプタ接続時動作
：ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続したときのディスプレイの点灯動作を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイは照明方法、点灯時間、範囲、ディスプレイの明るさの設定に従って点灯します。
- 「常時点灯」に設定すると、ディスプレイは「高輝度」で点灯します。

3 ✉ を押す

画面のカラー配色を変更する

お買い上げ時	ナチュラルエレガント

24種類から選択できます。

1 待受画面で MENU 8 2 3 を押す

2 1 ～ 9 を押す



※ 色名はイメージです。

- [カメラ][iモード][左][右]を押して配色の種類にカーソルを合わせると、その配色で画面が表示されます。

お知らせ

- スクリーン設定を変更しても、サイト画面や背面ディスプレイの配色には反映されません。

メニューのデザインを変更する

お買い上げ時	ノーマル：タイルアイコン　カスタム：タイルアイコン　機能説明表示：ON アイコンデザイン：タイプ１　アイコン拡大表示：OFF　起動メニュー：ノーマル カスタムメニューショートカット：カスタム

メニューの表示形式やアイコンのデザインを変更したり、オリジナルのメニューを作成したりできます。

1 待受画面で（MENU）（i）を押す

2 各項目を選択して設定する



ノーマル　　　　：ノーマルメニュー使用時の表示形式を設定します。

カスタム　　　　：カスタムメニュー使用時の表示形式を設定します。

機能説明表示　　：メニュー項目にカーソルを合わせたときに機能説明を表示するかどうかを設定します。

アイコンデザイン：ノーマルメニュー使用時のタイルアイコンのデザインを設定します。
- アイコンデザインで設定するのは、（MENU）を押したとき最初に表示される１階層目のメニューのデザインです。
- 「カスタム１」「カスタム２」は、メニューアイコンを変更してオリジナルメニューを作成するときに設定します。

アイコン拡大表示：アイコン選択時にアイコンを拡大表示するかどうかを設定します。

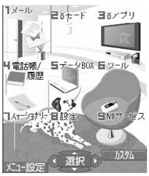
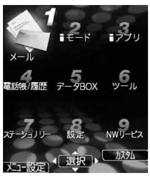
起動メニュー　　：待受画面で（MENU）を押したときにノーマルメニューとカスタムメニューのどちらを表示させるかを設定します。

カスタムメニューショートカット
：カスタムメニュー使用時のショートカット操作を設定します。
- 「ノーマル」に設定すると、起動メニューを「カスタム」にした場合でもノーマルメニューの項目番号でショートカット操作ができます。→P30

3 （選択キー）を押す

アイコンデザインとスクリーン設定のコーディネイトについて

アイコンデザインに合わせてスクリーン設定（→P138）の設定を変更することによって、画面全体をコーディネイトできます。

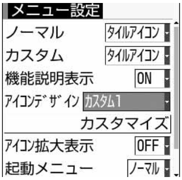
コーディネイトしたデザイン／設定項目				 TM & c WBE (s05)
アイコンデザイン	1 タイプ１	2 タイプ２	3 タイプ３	4 BabyTweety
スクリーン設定	1 ナチュラルエレガント	2 クリアベージュ	3 スポットライト	4 ベイビーピンク

オリジナルメニューを作成する

メニュー画面のアイコンや背景画像を変更して、２パターンのオリジナルメニューを作成できます。
- アイコンは９６×９６、背景画像は２４０×２４０より大きい画像は縮小して表示されます。

1 **待受画面で を押し、アイコンデザインを選択する**

2 **「カスタム１」または「カスタム２」を選択し、「カスタマイズ」を選択する**



3 **アイコンを変更する機能を選択し、画像フォルダ一覧から画像を選択する**

他の機能のメニューアイコンも同様に設定します。
画像一覧の見かた→Ｐ３４８
- メニューアイコンを解除するときは、解除するアイコンにカーソルを合わせて 1 を押し、「はい」を選択します。
- メニューアイコンを全件解除するときは 2 を押し、「はい」を選択します。

4 **を押し、画像フォルダ一覧からメニュー画面の背景画像を選択する**

- 背景を解除するときは 4 を押し、「はい」を選択します。

5 **を２回押す**

お知らせ

- パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」フォルダ内の画像は選択できません。また、アニメーションを選択すると最初のコマが表示されます。
- PIMロック中は、アイコンデザインの「カスタム１」「カスタム２」の設定内容を変更できません。

電池マーク設定

電池残量のマークを変更する

お買い上げ時	→→

- 背面ディスプレイの電池マークも変更されます。

1 **待受画面で 8 2 4 を押す**

2 **1 〜 3 を押す**

- 電池残量の確認のしかた→Ｐ４１

着信時、通話時の着信ランプの色と点灯パターンを設定する

お買い上げ時	新着通知：OFF　すべてのイルミネーションパターン：点滅 電話、テレビ電話着信のイルミネーションカラー：ライム メール、チャットメール、メッセージR/F着信のイルミネーションカラー：アクア 通話中イルミネーション：OFF

不在着信や未読メールなどの新着情報があるときや、音声電話やテレビ電話着信時およびメール・チャットメール・メッセージR/F受信時の着信ランプの点灯パターンと点灯色を設定します。また、音声電話中やテレビ電話中の着信ランプの点灯と点灯色も設定できます。

1 待受画面で MENU 8 2 6 を押す

2 新着通知を選択し、1 または 2 を押す



- 「ON」に設定すると、FOMA端末を折り畳んでいるときに、不在着信（音声電話／テレビ電話）があると、電話のイルミネーションカラーに従って6秒間隔で点滅します。未読情報（メール／チャットメール／SMS）があると、メールのイルミネーションカラーに従って6秒間隔で点滅します。新着情報を確認すると点滅は停止します。
- 「OFF」に設定すると、新着情報があっても着信ランプは点滅しません。

3 設定する項目のイルミネーションパターンを選択し、1 ～ 5 を押す

- 📷 iα を押すとカーソル位置のパターンで着信ランプが点灯または点滅します。「メロディ連動」の場合は点滅します。
- 「メロディ連動」に設定すると、着信時のイルミネーションカラーは「レインボー」になります。ただし、新着情報があるときは、設定しているイルミネーションカラーになります。
- 「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信の項目を選択できない旨のメッセージが表示されます。

4 設定する項目のイルミネーションカラーを選択し、1 ～ 9 を押す



※ 色名はイメージです。

- 📷 iα ◁▷ を押すとカーソル位置の色で着信ランプが点灯または点滅します。
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信の項目を選択できない旨のメッセージが表示されます。
- 他の項目の点灯パターンと点灯色を設定する場合は、操作3～4を繰り返します。

5 通話中イルミネーションを選択し、1 または 2 を押す

- 「ON」に設定すると、通話中に設定したカラーで着信ランプが点滅します。
- 「OFF」に設定すると、通話中に着信ランプは点灯しません。操作7に進みます。

6 イルミネーションカラーを選択し、1 ～ 9 を押す

- 設定方法は、操作4と同じです。

7 ✉ を押す

お知らせ

- 新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従って着信ランプが点滅します。
  ① 不在着信（音声電話／テレビ電話）
  ② 未読情報（メール／チャットメール／SMS）
- 新着通知を「ON」に設定した場合、最初に新着情報があったときから6時間経過しても新着情報がないときや、待受画面の（数字は件数）を消去したときは、情報を確認していなくても着信ランプの点滅は停止します。
- メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定しても連動しない場合があります。
- 着信音設定で電話やテレビ電話の着信音に「着モーション」を設定している場合、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定していても、着信ランプはイルミネーションカラーで設定した色で点滅します。
- 通話中イルミネーションを設定しても、保留中は着信ランプは緑色に点滅します。
- FOMA端末電話帳に着信動作を設定している相手から電話やメールを受けた場合は、その設定に従って動作します。

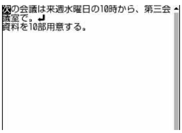
フォント設定

文字の大きさを変更する

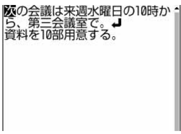
お買い上げ時	中（標準）

メモ帳などの全画面入力で文字を入力したり、画面メモを表示したりするときの、文字サイズを変更できます。

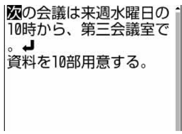
- 文字サイズは5種類から選択できます。



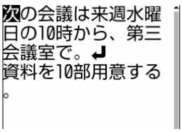
最小：12ドット



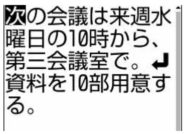
小：16ドット



中（標準）：20ドット



大：24ドット



最大：28ドット

1 **待受画面で MENU 8 2 8 を押す**

2 **1 ～ 5 を押す**



- を押すとカーソル位置の文字サイズの例が表示されます。

お知らせ

- メール本文を入力するときの文字サイズは変更されません。
- インライン入力時の文字サイズは変更されません。
- サイト画面やメッセージR/Fを表示するときの文字サイズも変更されます。ただし、「最小」は「小」で、「最大」は「大」で表示されます。

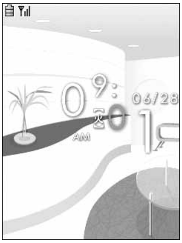
時計表示設定

時計の表示を設定する

お買い上げ時	待受時計 デザイン：デジタル１　サイズ：大きく表示　表示位置：上 曜日：バイリンガルに従う　形式：24時間表示

待受画面の時計表示の有無や、時計のデザイン、表示サイズ、表示位置を設定できます。また、曜日の表示言語や時刻の表示形式（24時間、12時間）も設定できます。

- 背面ディスプレイには反映されません。



デジタル1の時計を大きく、中段に12時間表示で表示したとき



デジタル２の時計を大きく、上段に24時間表示で表示したとき



デジタル３の時計を小さく、下段に12時間表示で表示したとき



アナログ時計を中段に表示したとき

1 待受画面で MENU 8 5 4 を押す

2 各項目を選択して設定する

待受時計：次の項目を選択できます。

- **デザイン**：表示するときの時計のデザインを設定します。
  - 「表示なし」に設定すると、時計を表示しません。
- **サイズ**：表示するときの時計のサイズを設定します。
  - デザインに「アナログ」を設定すると、サイズを設定できません。
- **表示位置**：時計を表示する位置を設定します。
- **曜日**：曜日の表示を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。
  - 「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。

形式：時計の表示形式を「24時間表示」と「12時間表示」のどちらかに設定します。

- 待受時計にアナログ時計を設定した場合は、形式の設定に関わらず12時間表示となります。

3 ［待受］を押す

次ページへ続く

お知らせ

- 待受画面設定で時計表示を設定するには、待受画面で MENU 8 2 1 7 を押します。
- 待受画面以外の画面では、ディスプレイ右上に時刻が表示されます。この表示は、形式で設定した時計の表示形式に従って「24時間表示」または「12時間表示」に変更されます。
- 次の場合に時計と表示エリアが重なるときは、本機能の設定に関わらず、待受時計のデザインが「デジタル1～3」のときは、数字のデザインはそのままで、サイズは「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。待受時計のデザインが「アナログ」のときは、「デジタル1」に変更され、サイズは「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。
  - 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、カレンダーが表示されている場合
  - ｉアプリ待受画面が表示されている場合
  - カスタム待受画面で、表示する内容が設定されているエリアと時計の表示位置が重なる場合
- オールロック中は、本機能の設定に関わらず時計の表示位置は「上」になります。
- アナログ時計の時刻表示（針の向き）は目安です。

バイリンガル

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時	FOMAカードの設定に従う

画面表示を日本語から英語に切り替えます。

1 待受画面で MENU 8 2 9 を押す

2 2 を押す

- 日本語表示に設定するときは 1 を押します。

お知らせ

- 英語表示に切り替えると、文字入力モードは「半角英字」→「半角数字」→「漢字」→「半角カタカナ」の順に切り替わります。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号の必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

端末暗証番号

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、数字4～8桁で自由に変更できます。

- FOMA端末の電源を入れてから端末暗証番号を累積5回間違えると、端末の電源が自動的に切れます。電源をもう一度入れるか、正しい端末暗証番号を入力すると、累積回数はクリアされます。
- 指紋設定で登録した指紋を利用するように設定している場合は、端末暗証番号を入力する代わりに指紋認証画面が表示されます。を押すと端末暗証番号入力画面に切り替わります。
- 万一、端末暗証番号をお忘れの場合は、FOMA端末※、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなどの窓口までお持ちいただくことが必要になりますのでご注意ください。
  ※：契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受け付けできない場合があります。

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモｅサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に設定します。

- ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。また、ドコモショップなどの窓口では、運転免許証などの確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、手続きさせていただきます。なお、「ユーザID」「パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモｅサイトでも手続きできます。

※「ドコモｅサイト」については、取扱説明書裏面を参照してください。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算料金リセットを行うとき、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、自由に変更できます。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、「0000」となります。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、数字4桁で自由に変更できます。

この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

- 万一、ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなどの窓口までお持ちいただくことが必要になりますのでご注意ください。

認証パスワード

赤外線通信で全件送信や全件受信するときに必要となる数字4桁のパスワードです。赤外線通信を行う前に、送信側と受信側で同じパスワードを決めておきます。

お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コード、iモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
- 電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時	0000

お買い上げ時や、現在設定している端末暗証番号を変更します。

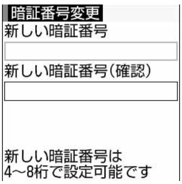
- 端末暗証番号には、4～8桁の数字を入力します。
- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

1 **待受画面で[MENU][8][3][5]を押す**

2 **現在の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う**

- 端末暗証番号を間違えると、認証に失敗した旨のメッセージが表示されます。[ ]を押して正しい端末暗証番号を入力してください。

3 **新しい暗証番号欄を選択し、新しい端末暗証番号を入力する**



4 **新しい暗証番号（確認）欄を選択し、操作3で入力した端末暗証番号を入力する**

5 **[ ]を押す**

PINコードを設定する

電源を入れたときにPIN1コードの入力要求をするように設定したり、お買い上げ時や、現在設定しているPIN1コード、PIN2コードを変更したりします。

- PIN1コード、PIN2コードには、4～8桁の数字を入力します。
- 入力したPIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する<PIN1コードON／OFF>

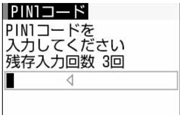
ご契約時	OFF

1 待受画面で MENU 8 3 4 3 を押す

2 1 を押す

• FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードの入力を要求しないように設定するには 2 を押します。

3 PIN1コードを入力する



• ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。

PIN1コードON／OFFを「ON」に設定すると

FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。

• 正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信や各種通信機能の操作ができません。
• PIN1コードを3回連続して間違えると、PIN1コードが自動的にロックされます。□を押してPINロック解除コードを入力してください。

お知らせ

• アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定している場合、アラーム設定やスケジュールで指定した日時になると、電源がONになり、PIN1コード入力画面が表示される前にアラームが鳴ります。電源 を押してアラームを停止させると、PIN1コード入力画面が表示されます。
このとき、アラームにダウンロードしたメロディまたはｉモーションを設定していても、お買い上げ時に登録されているメロディの「目覚まし時計1」が鳴ります。
• PIN1コード、PIN2コード、PINコードON／OFFの設定はFOMAカードに記録されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コード、PINコードON／OFFの設定のままご利用になれます。

PIN1／PIN2コードを変更する<PIN1／PIN2コード変更>

ご契約時	PIN1コード：0000　PIN2コード：0000

• PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFF設定を「ON」にする必要があります。

1 待受画面で MENU 8 3 4 を押し、1 または 2 を押す

2 認証操作を行い、現在のPIN1コードまたはPIN2コードを入力する



• 現在のPIN1コード、PIN2コードを間違えると、認証に失敗した旨のメッセージが表示されます。□を押して正しいPIN1コード、PIN2コードを入力してください。3回連続して間違えると、PIN1コード、PIN2コードが自動的にロックされます。□を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コード欄を選択し、新しいPIN1コード、PIN2コードを入力する

4 新しいPIN1コード／PIN2コード（確認）欄を選択し、操作3で入力したPIN1コード、PIN2コードを入力する

5 を押す

お知らせ

- PIN2コードを3回連続間違えてFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードを3回連続間違えてFOMA端末がロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1コード、PIN2コードを3回連続して間違えると、PINコードが自動的にロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PINロック解除コードは、お買い上げ時にお客様にお知らせします。
- PINロック解除コードはメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなどの窓口までお持ちいただくことが必要になりますのでご注意ください。
- 入力したPINロック解除コード、PIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1コードのロックを解除するとき

1 PINコードロックの確認画面でを押す

2 8桁のPINロック解除コードを入力する



3 新しいPIN1コード欄を選択し、新しいPIN1コードを入力する

4 新しいPIN1コード（確認）欄を選択し、操作3で入力したPIN1コードを入力する

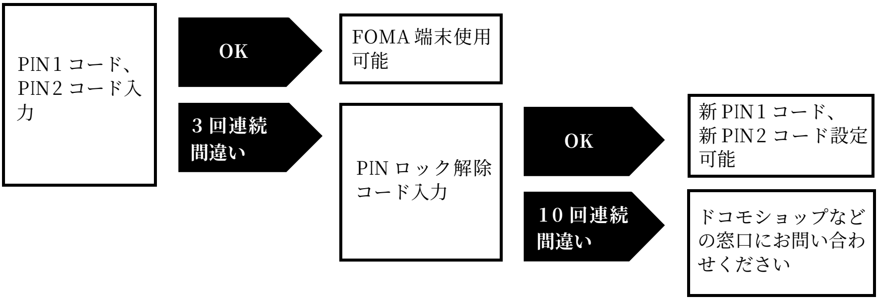
5 を押す

PINロックが解除され、新しいPIN1コードが設定されます。

次ページへ続く

お知らせ

- PIN ロック解除コードの入力を 10 回連続して失敗すると、FOMA 端末が自動的にロックされます。



指紋認証機能を利用する

指紋認証機能を利用すると、指紋センサー上で指をスライドさせるだけで認証を行い、ダイヤルキーで端末暗証番号を入力する操作を省略できます。

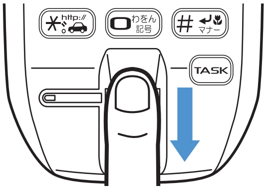
指紋認証機能利用時のご注意

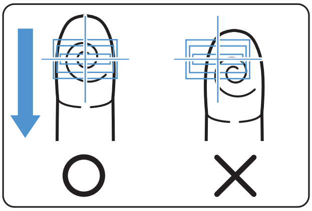
- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で 3 回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行うと、認証できない場合があります。
- 認証性能はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証時の状況が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけている
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
  - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
  - 指が泥や油などで汚れている
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 磨耗して指紋が薄くなった
  - 指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に異なる
  - 濡れたり、汗をかいたりしている
- 指紋センサー表面が濡れていたり結露していたりすると、誤作動の原因となります。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。
- 指紋の登録・認証を行う際には、図のように第 1 関節をセンサーに合わせ、指をスライドさせながら指紋センサーに指を接触させ、指紋センサーが見えるまで下の方向へスライドさせてください。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を減らせます。

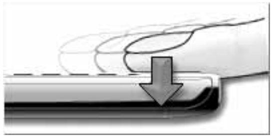


- スライドが速すぎたり遅すぎたりした場合、正常に認識できないことがあります。表示されるメッセージに従い、スライドの速さを調節してください。
- 指は図のように、端末と同じ方向に置くことをおすすめします。

- 親指などでは指紋の渦の中心が大きくずれたりゆがんだりすることがあります。
  その場合は、登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあるため、指紋の渦の中心を確認し、渦の中心が指紋センサーの中心を通過するように指紋センサー上をスライドさせてください。







- 指紋センサーに指をスライドさせる際には、指を指紋センサーに突き立てるのではなく、図のように、指を指紋センサーと平行になるように押し当てながらスライドさせてください。
- 指ごとに指紋が異なるため、必ず利用設定した指で認証操作を行ってください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。一定時間内に認証されなかったときは、確認メッセージが表示され1つ前の画面に戻ります。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保障するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋認証画面で MENU を押すと端末暗証番号入力画面に切り替わり、端末暗証番号を入力して認証操作ができます。

指紋センサーについて

- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - 指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりした
  - 指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦り、指紋センサー表面にキズが入った
  - 泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などで指紋センサー表面にキズが入っている、表面が汚れている
  - 指紋センサーの表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりした
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - 指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
  - 指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
  - 指紋センサー表面が結露している
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 「センサー表面の汚れを取り除いてください」というメッセージが表示される
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、メガネ拭きなどの乾いた柔らかい布で指紋センサー表面の汚れを取り除いてください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。
- 長期間使用することにより、指紋センサー周辺にゴミがたまることがありますが、先のとがったもので取り除かないでください。

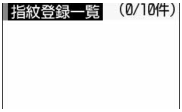
認証に利用する指紋を登録する

指紋認証機能を利用するには、最初に指紋を登録します。
- 指紋は最大10個登録できます。

1 待受画面で MENU 8 3 6 を押す

次ページへ続く

2 端末暗証番号を入力し、 を押す



3 を押し、メッセージに従って指紋センサーに指を押し当てスライドさせる

指紋が登録されます。
- 指紋の読み取りに失敗したり、指のスライドが速かったり遅かったりするとメッセージが表示されます。メッセージに従い読み取りを完了させてください。

4 登録名を入力し、 を押す

- 登録名は、全角で最大１０文字、半角で最大２０文字入力できます。

5 「はい」を選択する

- 登録した指紋データを認証に利用しない場合は、「いいえ」を選択します。「いいえ」を選択しても、指紋データは登録されます。

お知らせ
- 指紋登録中に電話がかかってきたり、アラーム設定やスケジュールで指定した日時になったりした場合、その時点で登録は中止されます。

認証に利用する指紋データを変更する

1 待受画面で を押す

2 認証操作を行う

3 認証に利用する指紋データを選択する

認証に利用する指紋データに設定されます。
- 認証に利用する指紋データには、登録名の左に が表示されます。
- 認証に利用している指紋データを選択すると、利用設定が解除されます。

■ 指紋データを削除するとき

①削除する指紋データにカーソルを合わせ、 を押す
②「はい」を選択する
- 認証に利用している指紋データを削除すると、指紋認証機能の利用が解除されます。

■ 登録名を変更するとき

①登録名を変更する指紋データにカーソルを合わせ、 を押す
②登録名を変更する
③ を押す

指紋認証を行う

指紋認証画面が表示されると、端末暗証番号を入力する代わりに指紋で認証を行えます。
- 指紋認証を行うときは、利用設定した指で認証操作を行ってください。

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上で指をスライドさせる



指紋が認証されると、それぞれの設定画面が表示されます。
- 指紋が正しく認証されなかった場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。
- (MENU)を押すかダイヤルキーを押すと、端末暗証番号入力画面に切り替わります。

お知らせ

- 指紋認証を5回連続して失敗すると、端末暗証番号入力画面が表示されます。このとき累積失敗回数がクリアされます。
- 認証性能が低いときは、指紋の登録からやり直してください。→P151

各種ロック機能について

FOMA端末を他人に不正に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。
- 複数のロック機能も同時に設定できます。
- シークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- ロック機能を設定しても、各種緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

ロック機能	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P154
遠隔ロック	FOMA端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックおよびICカードロックを起動し、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P154
セルフモード	電話の発着信やメールの送受信、赤外線通信などの通信機能を利用できないようにします。	P156
PIMロック	電話帳やプロフィール情報、スケジュールなどの個人情報機能を利用できないようにして、情報の表示や改ざんを防ぎます。PIMロック中は電話帳に登録されている相手と電話の発着信を行ったり、メールを受信しても、相手の名前は表示されません。	P157
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話をかけられないようにします。	P157
プライバシーモード設定	FOMA端末が一定時間操作されなかった場合、自動的に電話帳・履歴やメール、マイピクチャ、iモーション、スケジュール、iアプリの表示ができなくなり、他人が不正に閲覧するのを防ぎます。	P158
サイドキーロック	FOMA端末を折り畳んだときのサイドキーの操作を無効にし、誤動作を防ぎます。	P160
開閉ロック	FOMA端末を折り畳むたびにサイドキー以外のキー操作を無効にし、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P160
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは認証操作を行ってシークレットモードを起動したときのみ表示されます。	P161
ICカードロック	ICカード機能を利用できないようにします。	P345

オールロック

他の人が使用できないようにする

オールロックを起動すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。
オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して［発信］を押します。指紋認証を設定している場合は、［MENU］を押して指紋認証画面で緊急通報番号を入力し、［発信］を押します。
入力した緊急通報番号は、暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。

- オールロックを起動しても、ICカードロックは起動されません。ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してから、オールロックを起動してください。→P345
- オールロック中は、設定した待受画面が解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。オールロックを解除すると、設定した待受画面が再び表示されます。

1 待受画面で［MENU］［8］［3］［1］［1］を押す

2 認証操作を行う



- 解除するときは待受画面で端末暗証番号を入力します。指紋認証を設定している場合は、［MENU］を押してから認証操作を行います。

お知らせ

- 端末暗証番号を累積5回間違えると、FOMA端末の電源が自動的に切れます。電源をもう一度入れるか、正しい端末暗証番号を入力すると、累積回数はクリアされます。
- オールロック中に電話がかかってきたときは、着信が拒否され、相手に話中音が流れますが、着信履歴には記録されます。オールロックを解除すると待受画面には［2］（数字は件数）が表示されます。
- オールロック中もｉモードメールやSMS、メッセージR/Fは受信できますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。オールロックを解除すると、受信アイコンが表示されます。
- オールロック中は指定した日時になってもアラームやスケジュールアラームは動作しません。

遠隔ロック

他の人が使用できないように遠隔からロックする

お買い上げ時	遠隔ロック：OFF

FOMA端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックおよびICカードロックを起動し、他人が不正に使用するのを防ぎます。監視時間、着信回数、電話番号を条件として設定し、その条件でFOMA端末に着信があると、オールロックおよびICカードロックが起動します。

- オールロックおよびICカードロック中でも、遠隔ロックで設定した条件でFOMA端末に電話をかけると、遠隔ロックを起動できます。

遠隔ロックの動作を設定する

1 **待受画面で MENU 8 3 1 3 を押す**

2 **認証操作を行う**

3 **各項目を選択して設定する**

遠隔ロック　：遠隔ロックを有効にするかどうかを設定します。
・「ON」に設定すると、監視時間、着信回数、発信元を設定できます。

監視時間（分）：1回目の音声電話を着信してから、着信回数で設定した回数分の音声電話を着信し終わるまでに必要な時間を設定します。この時間内に、設定した回数の着信がないときは、遠隔ロックは動作しません。また、それまでカウントした着信回数は0になります。
・1～10分の範囲で設定します。

着信回数（回）：遠隔ロックが動作するまでの音声電話の着信回数を設定します。
・3～10回の範囲で設定します。

発信元1～3：遠隔ロックを起動させる発信元の電話番号を設定します。公衆電話も設定できます。

■ 発信元を設定するとき

①発信元1～3欄を選択する

②発信元選択欄を選択し、1 または 2 を押す

・「発信者番号」に設定したときは、電話番号入力欄に電話番号を入力します。 を押すと電話帳から入力できます。

③ を押す

4 **を押す**

お知らせ

・発信元1～3に同じ番号を設定しても、遠隔ロックの動作は変わりません。
・発信元に、ポーズ、タイマーが設定された電話帳データを登録した場合、ポーズ、タイマー以降は削除されます。

遠隔ロックを起動する

FOMA端末で発信元に設定した電話番号から監視時間内に設定回数だけ電話をかけると、遠隔ロックを起動できます。

・必ず発信者番号を通知して電話をかけてください。
・FOMA端末がサービスエリア外にあるときや、電源が入っていないときなどFOMA端末に電波が届かない場合は、遠隔ロックを起動できません。

1 **遠隔ロックで設定した条件でFOMA端末に音声電話をかける**

遠隔ロックが起動した旨のガイダンスが流れ、FOMA端末は遠隔ロック中になります。

・遠隔ロックを解除するときは、待受画面で端末暗証番号を入力します。指紋認証を設定している場合は、MENU を押してから認証操作を行います。次にICカードロックを解除する必要があります。
・ICカードロックの解除について→P345

あんしん設定

お知らせ

- 遠隔ロックを起動させるために発信元に登録した電話番号から電話をかけたとき、次の場合は設定のための着信回数としてカウントされず、遠隔ロックを起動できません。また、電話に応答した場合とFOMA端末の電源が入っていない場合に電話をかけるとカウントは0になります。
  - 通話中の場合　- 電話に応答した場合　- 電源が入っていない場合
  - カウントを開始した途中で電源が切れた場合
- 伝言メモまたはオート着信機能を設定しているときは、遠隔ロックで発信元に設定した電話番号から電話がかかってくると、伝言メモで設定した応答時間またはオート着信機能で設定した自動着信機能時間の4秒後に伝言メモまたはオート着信機能が動作します。遠隔ロックを起動するときは、伝言メモまたはオート着信機能が起動する前に電話を切ってください。伝言メモやオート着信機能が起動した場合は、設定のための着信回数としてカウントされず、遠隔ロックを起動できません。
- 着信回数のカウントは、設定している発信元の中で最初に着信回数としてカウントされた電話番号のみ有効です。カウントを開始してから、その他に設定した発信元の電話番号から着信があってもカウントされません。
- 着信拒否した電話や留守番電話サービス、転送でんわサービスに転送した電話も、着信回数としてカウントされます（呼出時間が0秒の場合を除く）。
- 遠隔ロック中は、電話がかかってきても切断されます。発信元に設定している電話番号の場合は、遠隔ロック中である旨のガイダンスが流れ、切断されます。
- 発信元に設定した電話番号の「186（＊31#）」や「184（#31#）」の設定に合わせて、発信時に「186（＊31#）」や「184（#31#）」を設定する必要はありません。

あんしん設定

セルフモード

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時	OFF

セルフモード中は、電話の発着信やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能が使えなくなります。また、赤外線通信や赤外線リモコンも利用できません。

1 待受画面で クリア を1秒以上押す

2 「はい」を選択する

待受画面に Self が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイには SELF が表示されます。

- 解除するときはセルフモード中に クリア を1秒以上押します。

お知らせ

- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中に受信したｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問合せを行ってください。
- セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、セルフモードは解除されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

PIMロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時	OFF

PIMロックを起動して、個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

- メモリ登録外着信拒否設定を「ON」に設定しているときは、本機能は起動できません。
- PIMロックを設定すると、起動前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、起動後の発信や着信は記録され、リダイヤルまたは着信履歴からの発信はできます。

1 待受画面で [MENU][8][3][1][2] を押す

2 認証操作を行い、[1] を押す

待受画面に が表示されます。

- PIMロックを解除するときは [2] を押します。

PIMロックを起動すると

- 次の操作（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。
  - メール、チャットメール、SMS、メッセージR/F※
  - iMenu
  - Bookmark
  - Internet
  - 画面メモ
  - ラストURL
  - iモード問合せ
  - iアプリ
  - iアプリのバージョンアップ
  - 電話帳
  - 伝言メモ、音声メモ
  - マイピクチャ
  - iモーション
  - メロディ
  - キャラ電
  - カメラ
  - ビデオカメラ
  - サウンドレコーダー
  - バーコードリーダー
  - miniSDカード
  - ICカードソフト一覧
  - スケジュール帳
  - 通話料金上限通知
  - メモ帳
  - イヤホンスイッチ発信設定
  - アラーム
  - ソフトウェア更新
  - プロフィール情報
  - スキャン機能
  - 赤外線によるデータ送受信

  ※：受信できますが、受信中画面、受信アイコン、受信結果画面は表示されません。
- メニューを表示すると、アイコンが で表示されたり文字が薄く表示されたりして選択できません。
- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 伝言メモ起動中でも伝言メモが動作しないため、待受画面に は表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。

お知らせ

- PIMロックの対象となっているデータを待受画面や背面ディスプレイ、着信音などに設定していると、PIMロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。PIMロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定は変更されません。
- 外部機器からのATコマンドによるPIMロックの設定や解除はできません。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時	OFF

電話帳とリダイヤルを利用する以外の方法では、電話をかけられないようにします。

- ダイヤル発信制限を起動すると、起動前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、ダイヤル発信制限中に電話帳から発信した電話はリダイヤルに記録されます。

次ページへ続く

1 待受画面で MENU 8 3 3 を押す

2 認証操作を行い、1 を押す

待受画面に が表示されます。

• 解除するときは 2 を押します。

ダイヤル発信制限を起動すると

• 次の操作ができなくなります。

- 着信履歴からの発信
- プロフィール情報の修正、リセット
- 外部機器との電話帳データの送受信
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- 電話帳の修正、登録、削除
- Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
- ｉモードメールやSMSの送信※

※：電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールへの返信はできます。

お知らせ

• 外部機器からのATコマンドによるダイヤル発信制限の設定や解除はできません。

プライバシーモード設定

他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする

FOMA端末の電話帳やリダイヤル・着信履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、ｉアプリ、スケジュールを利用できないように設定します。プライバシーモードは手動で起動したり、一定時間内に何も操作しなかった場合に自動的に起動したりできます。

プライバシーモードの動作を設定する

お買い上げ時	電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリ：表示する 自動起動：OFF

プライバシーモード中に電話帳、メール、マイピクチャなどを利用したとき、認証操作を行うかどうかを設定します。プライバシーモードを自動的に起動するようにも設定できます。

• プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。

1 待受画面で MENU 8 3 7 を押す

2 認証操作を行い、各項目を選択して設定する

電話帳・履歴：電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを表示するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

メール：メールを表示するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

• 「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されません。

マイピクチャ：マイピクチャを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

ｉモーション：ｉモーションを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

スケジュール：スケジュールを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

ｉアプリ：ｉアプリを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

自動起動：待受中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を「5分後」「15分後」「30分後」に設定します。

3 を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

4 ◯を押す

お知らせ

- プライバシーモード中（マイピクチャ、ｉモーション、ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、次の操作を行うと、認証操作を行った後に、プライバシーモードで非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。
  - 電話発信設定
  - テレビ電話発信設定
  - 電話着信設定
  - テレビ電話着信設定
  - テレビ電話画像選択
  - 電話帳新規登録、編集
  - グループ別電話発着信設定
  - 着信音設定
  - 背面画像設定（待受画像を除く）
  - 待受画面設定のｉアプリ設定
  - 発番号なし動作設定
  - メッセージ着信設定
  - メール着信設定
  - チャットメール着信設定
  - スケジュールアラーム編集
  - プロフィール情報編集
- プライバシーモード中（マイピクチャ・ｉモーションを「認証後に表示」に設定した場合）でも、待受画面設定、メニュー画面のアイコンや背景に設定した画像やｉモーションは通常どおり表示されます。
- 「自動起動」以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動しません。また、すでにプライバシーモードを起動していた場合には、自動的に解除されます。

プライバシーモードを起動する

1 待受画面で⊡を１秒以上押す

- プライバシーモードを解除するときは、⊡を１秒以上押し、認証操作を行います。
- メールを「指定フォルダを非表示」に設定し、受信メール、送信メール、未送信メールのフォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定している場合は、各フォルダ一覧画面でクリアを１秒以上押し、認証操作を行うと、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。

お知らせ

- プライバシーモードの制限対象である機能を利用中に、メニュー操作で一度認証操作を行うと、電源などを押して待受画面を表示するまで、その後の認証操作は不要です。プライバシーモード設定の複数の項目を「認証後に表示」に設定して起動中の場合も同様です。ただし、プライバシーモードの制限対象でない認証操作が必要な機能については、起動する際に認証操作が必要です。

  〈例〉
  - 電話帳を利用中に一度認証操作を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要です。
  - マイピクチャと電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定し、マイピクチャに保存されている画像をメールで送信しようとした場合、マイピクチャを起動するときに認証操作を行うため、メール作成画面で電話帳を起動しても認証画面は表示されません。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は、文字入力中の電話帳引用はできません。
- プライバシーモード中（マイピクチャ・ｉモーションを「認証後に表示」に設定している場合）は、FOMA端末電話帳で、着信音や画像に「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定していると、電話帳や電話帳グループ別の設定ではなく、着信音設定、電話着信設定、テレビ電話着信設定の各画像設定に従って動作します。ただし、着信音設定、電話着信設定、テレビ電話着信設定の各画像設定で、「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定していると、お買い上げ時の設定で動作します。
- プライバシーモード中（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）は、静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねての撮影はできません。また、FOMA端末電話帳をminiSDメモリーカードにコピーやバックアップしても、FOMA端末電話帳に設定された静止画はコピー、バックアップされません。
- プライバシーモード中（ｉモーションを「認証後に表示」に設定している場合）は、動画を撮影した直後のテロップ編集はできません。

サイドキーロック
サイドキーの誤操作を防止する

お買い上げ時	OFF

FOMA端末を折り畳んでいるときのサイドキーの操作を無効にし、かばんなどに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

1 待受画面で MENU を1秒以上押す

待受画面に が表示されます。
- 解除するときは MENU を1秒以上押します。

お知らせ

- サイドキーロック中でも次の操作はできます。
  - 伝言メモ録音（クイック伝言メモ）
  - 背面ディスプレイの表示

開閉ロック
FOMA端末を折り畳むたびにキーをロックする

お買い上げ時	OFF

開閉ロックを設定しておくと、FOMA端末を折り畳んだときにサイドキー以外のキーがロックされます。開くたびに認証操作が必要なので、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。開閉ロック中でも、かかってきた電話を通常の操作で受けたり、電源を切る操作はできます。

開閉ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面で緊急通報番号を入力して を押します。指紋認証を設定している場合は、MENU または TASK を押して指紋認証画面で緊急通報番号を入力し、 を押します。
入力した緊急通報番号は、暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。

開閉ロックを設定する

1 待受画面で MENU 8 3 1 5 を押す

2 認証操作を行い、1 を押す

- 無効にするときは 2 を押します。

開閉ロックを設定すると

待受画面でFOMA端末を折り畳むと開閉ロックが起動して、サイドキー以外のキーがロックされます。開閉ロック中は、待受画面に が表示されます。
- 待受画面以外でFOMA端末を折り畳んでも、開閉ロックは起動しません。
- 待受画面に何らかのメッセージが表示されている場合は、FOMA端末を折り畳んでも開閉ロックは起動しません。TASK 以外のキーを押してメッセージを消してから、FOMA端末を折り畳んでください。
- 開閉ロックを解除するときは、FOMA端末を開いて認証操作を行います。
- 開閉ロックが有効になっている間は、開閉ロックをいったん解除してもFOMA端末を折り畳むたびにロックがかかります。
- 開閉ロック中は、待受画面で TASK または MENU を押すと認証画面が表示されます。

お知らせ

• 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使っている場合は、開閉ロック中でも電話をかけられます。

シークレットモード

シークレット属性が設定されている情報を表示する

お買い上げ時	未設定

シークレットモードを起動すると、シークレット属性が設定されている電話帳データやスケジュールデータを表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にも、シークレットモードを起動する必要があります。

シークレットモードを起動する

1 待受画面で MENU 8 3 2 を押す

2 認証操作を行う

ディスプレイ上部に が表示されます。

• 解除するときは待受画面で を押します。

お知らせ

• 電話帳データにシークレット属性を設定する→P114

• スケジュールデータにシークレット属性を設定する→P440

メモリ別着信拒否／許可

指定した電話番号からの着信を拒否／許可する

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信の拒否／許可を設定できます。

• 本機能を利用するには、電話番号ごとの着信拒否／許可の設定と、メモリ別着信拒否／許可の設定をする必要があります。設定項目と着信の拒否／許可の動作は次のとおりです。

設　定		電話ごとの着信許可／拒否設定		
		着信許可	着信拒否	設定なし
メモリ別着信拒否／許可設定	許可設定	着信する	着信を拒否する※	着信を拒否する※
	拒否設定	着信する	着信を拒否する※	着信する
	設定解除	着信する	着信する	着信する

※：設定した電話番号から電話がかかってきても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手側には話中音が流れます。

• 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
• 着信を拒否しても、着信履歴には記録されます。
• 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
• 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

着信を拒否／許可する電話番号を指定する

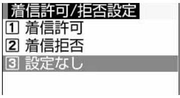
FOMA端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信拒否／許可を設定します。
- FOMAカード電話帳に登録されている電話番号には設定できません。

1 待受画面で［電話帳］を押し、電話帳を検索する

2 設定する相手にカーソルを合わせ、［MENU］［9］［1］［3］を押す

3 認証操作を行い、電話番号を選択する

4 ［1］または［2］を押す



- 着信拒否／許可を設定しないときは［3］を押します。
- 着信拒否／許可を設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に［!］が表示されます。

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は［MENU］を押し、「設定／確認」→「設定」→「着信許可／拒否設定」を選択します。
- 着信拒否／許可を設定している電話番号を変更・削除すると、本機能の設定は解除されます。その場合は、変更・登録後の電話番号に対して着信拒否／許可を設定してください。

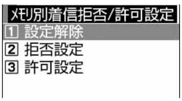
着信拒否／許可設定を有効にする

お買い上げ時	設定解除

着信拒否／許可を有効にするかどうかを設定します。
- 本機能の設定は着信拒否／許可を設定したすべての電話番号が対象になります。
- メモリ別着信拒否／許可を同時に有効にはできません。

1 待受画面で［MENU］［8］［6］［5］を押す

2 認証操作を行い、［2］または［3］を押す



- 無効にするときは［1］を押します。

お知らせ

- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。
- 本機能の設定に関わらず、着信拒否／許可を設定した電話番号に電話をかけられます。また、電話帳データも修正できます。

発番号なし動作設定

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

お買い上げ時	設定解除

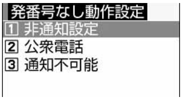
電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定、着信音設定より本機能の設定が優先されます。

1 待受画面で MENU 8 6 3 を押す

2 認証操作を行う

3 1 ～ 3 を押す



- 通知されない理由ごとに操作３～５を繰り返します。

4 各項目を選択して設定する



〈着信動作〉：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときの動作を設定します。
- 「設定解除」に設定すると、着信音設定の「電話」で設定した着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」に設定すると、相手からの着信を拒否します。
- 「着信音OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
- 「メロディ」または「着モーション」に設定したときは、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。
  メロディ一覧の見かた→P376
  動画／ｉモーション一覧の見かた→P360

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「イメージ」に設定したときは、「画像選択」を選択して画像を設定します。
  画像一覧の見かた→P348
- 「 モーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。
  動画／ｉモーション一覧の見かた→P360

- メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作については、「FOMA端末から鳴る着信音を変える」のお知らせを参照してください。→P119

5 を押す

お知らせ

- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話がかかってきた場合は、該当する発信者番号非通知理由の着信動作を「着信拒否」に設定しているときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、着信音設定とテレビ電話着信設定に従って動作します。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。
- 着信動作を「着モーション」に設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になり、着モーションが再生されます。
- 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash画像を除く）を変更できます。
- 着信動作を「着モーション」に設定した後、「着信音OFF」に設定し直した場合、「着モーション」に設定した動画／ｉモーションは再生されますが、着信音量は消音になります。

着信呼出動作設定

電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする

お買い上げ時	着信呼出動作：OFF

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、指定した時間が経過した後に着信音やバイブレータなどによる呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

1 待受画面で MENU 8 1 8 を押す

2 各項目を選択して設定する

着信呼出動作：着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、次の項目を設定できます。

呼出開始時間：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。
- 1～99秒の範囲で設定します。

時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

3 ［メール/カメラキー］を押す

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から電話がかかってきたとき、設定した時間内はディスプレイ表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答したりできます。その場合、時間内不在着信表示を「表示しない」に設定していても、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。
- PIMロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は、電話帳に登録されている相手からの着信でも本機能が動作します。
- シークレットモード中でない場合、電話帳にシークレット属性が設定されている相手から電話がかかってきたときも、本機能が動作します。

お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、次の機能が設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
  - ドライブモード
  - 伝言メモ
  - オート着信機能
  - 留守番電話サービス
  - 転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否／許可や発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりそれらの動作が優先されます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。
- 呼出開始時間を、オート着信機能設定、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

お買い上げ時	OFF

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
- 着信呼出動作設定を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

1 **待受画面で MENU 8 6 6 を押す**

2 **認証操作を行い、1 を押す**

- 解除するときは 2 を押します。

メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 着信を拒否しても、着信履歴には記録されます。
- 電話帳に登録されている相手でも発信者番号を通知しないで電話をかけてきたとき、またはシークレットモード中でない場合にシークレット属性が設定されている相手から着信があったときも、着信を拒否します。発信者番号を通知しない着信があった場合の動作は、発番号なし動作設定よりも本機能の設定が優先されます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

その他の「あんしん設定」について

FOMA 端末では、暗証番号や各種ロック機能以外にも、次のような「あんしん設定」を利用できます。

- 迷惑メールの対策に関する設定については、『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。

目　的	機能・サービスの内容	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信	P289
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
指定したドメインからのメールのみを受信します。	ドメイン指定受信	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否します。	ｉモードメールのみ受信／拒否	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承認広告※メール拒否	
1日に1台のｉモード携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録・確認します。	ｉモード災害用伝言板サービス	
受信するすべてのメールのうち、指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。	アドレス指定受信／拒否	
受信するすべてのSMSまたは非通知SMSの受信を拒否します。	SMS一括拒否／非通知SMS拒否	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P467
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P204 P232
ICカード機能を利用できないようにします。	ICカードロック	P345
パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	P563
障害を引き起こす可能性のあるデータを削除したり、アプリケーションの起動を中止したりして、FOMA端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P569

カメラ

カメラをご使用になる前に

FOMA 端末のカメラを使って静止画や動画を撮影できます。

- 撮影した静止画や動画、録音した音声は、FOMA 端末で表示、再生して楽しむ他に、ｉモードメールやデータ転送で他の FOMA 端末や他社携帯電話、パソコンなどに送信できます。
- 撮影した静止画や動画、録音した音声を、待受画面や電話の着信画面、着信音などに設定できます。
- 静止画や動画にフレームを重ねて撮影したり、モノトーン、セピアなどの効果をかけて撮影したりできます。さらに撮影後の静止画には、フレームを重ねたり、文字やスタンプを貼り付けたり、さまざまな効果をかけたりできます。
- 撮影した静止画や動画、録音した音声は、miniSD メモリーカードに保存できます。
- miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要です。miniSD メモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

カメラの使いかた

カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- レンズ部分に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色する場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては画像の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- またはサイドキー［▲］を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、またはサイドキー［▲］を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- カメラ起動時やオートフォーカス起動時、カメラ切り替え時などにモーター音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- FOMA 端末のインカメラは CMOS カメラです。薄暗い場所での撮影時などは、CCD カメラであるアウトカメラの映像と比較すると少し粗く見える場合がありますが、故障ではありませんのでご了承ください。

撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 撮影する場所に応じて明るさを設定してください。また、暗い場所ではワンタッチライトを補助光として利用してください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA 端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA 端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
- またはサイドキー［▲］を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。またはサイドキー［▲］を押してから少しの間、FOMA 端末を動かさないでください。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、画像が乱れる場合があります。
- インカメラで自画像を表示すると鏡像表示されますが、撮影した静止画や動画は正像になります。ただし、静止画の場合、自動保存を「しない」に設定しておくと、鏡像でも保存できます。
- ｉアプリからカメラ撮影を実行した場合、撮影した静止画や動画はマイピクチャやｉモーション内のフォルダには保存されず、ｉアプリ内（ｉアプリによっては、「 モード」フォルダや「デコメールピクチャ」フォルダ）に保存されます。また、撮影した静止画や動画は、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、カメラ使用中に miniSD メモリーカードを抜かないでください。FOMA 端末の故障の原因になります。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P379

- miniSDメモリーカードの空き容量が少なくなると撮影できない場合があります。miniSDメモリーカードに保存する場合は、十分な空き容量があることを確認してから撮影してください。
- 撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電池を非常に消費するため、カメラを長時間起動したり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に画像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などされたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

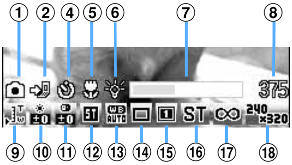
撮影画面とファイルについて

FOMA端末では、さまざまなサイズで静止画や動画を撮影したり、撮影前に効果を設定して撮影したりできます。撮影した静止画や動画は、FOMA端末だけでなく、miniSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信したりできます。

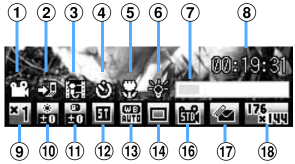
静止画撮影画面／動画撮影画面

撮影画面の見かたは次のとおりです。

- ｉアプリから起動したときは、インジケータ、カウンタ、サイズ制限は表示されません。また、カメラの切り替え、ワンタッチライト起動、セルフタイマー起動、ズーム以外は操作できません。
- 動画撮影時、画像サイズをQVGA横撮影（320×240）に設定している場合は、次のマークの代わりに STANDBY（撮影待機中）、REC（撮影中）、PAUSE（一時停止中）が表示されます。



静止画撮影画面



動画撮影画面

①撮影モード　：静止画、動画の撮影モードであることを示します。
　:静止画　:動画

②保存先　：保存先を示します。→P182
　:FOMA端末　:miniSDメモリーカード

③撮影種別　：撮影する動画の種類を示します。→P182

④セルフタイマー　：セルフタイマーのON／OFFを示します。→P185
　:ON　表示なし :OFF

オートフォーカス　：オートフォーカスの起動状態を示します（静止画撮影時のみ）。
　:オートフォーカス起動時　:ピントが合ったとき
　:ピントが合わないとき

⑤接写モード　：接写モードか通常モードかを示します。→P185
　:接写モード　表示なし :通常モード

⑥ワンタッチライト　：ワンタッチライトの点灯／消灯を示します。
　:点灯　表示なし :消灯

⑦インジケータ　：**撮影待機中**
通常の撮影時は保存先の保存領域の使用率を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。
- miniSDメモリーカードの保存領域の使用率は、撮影画像が保存されていなくても0にならない場合があります。

動画撮影時／一時停止中
サイズ制限で設定しているファイルサイズに対して、現在撮影している割合を示します。

⑧カウンタ　：**静止画撮影時**
通常の撮影時は、現時点でFOMA端末またはminiSDメモリーカードに撮影できる静止画の最大枚数（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。手動連写中は撮影枚数と総撮影枚数（最大で6）を示します。

動画撮影時
撮影待機中は、現時点でFOMA端末またはminiSDメモリーカードに撮影できる動画の最大時間（目安）を示します。撮影中は経過時間と残り時間（撮影停止するまでの時間）（目安）を表示します。

⑨ズーム　：画像の表示倍率を示します。→P184

⑩明るさ　：画像の明るさを示します。→P190

⑪色の濃さ　：画像の色の濃さを示します。→P190

⑫撮影効果　：画像にかける特殊効果を示します。→P189

カメラ

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

⑬ **ホワイトバランス** ：ホワイトバランスの設定状態を示します。→P189
⑭ **フレーム** ：フレームの設定状態を示します。→P187
⑮ **連続撮影** ：連続撮影の設定状態を示します。
⑯ **画質** ：静止画の画質を示します。→P188
品質 ：動画の品質を示します。→P188
⑰ **サイズ制限** ：保存するファイルサイズの制限値を示します。→P188
⑱ **画像サイズ** ：撮影する静止画、動画の画像サイズを示します。→P188

静止画像ファイル／動画ファイルについて

	静止画ファイル	動画ファイル
ファイル形式	JPEG	MP4（MobileMP4）
符号化方式	―――	映像：MPEG4 音声：AMR
拡張子	jpg	3gp
タイトル	撮影した日時が自動的に付けられます。 〈例〉2005年6月28日9時1分00秒に撮影したとき →20050628090100.jpg／20050628090100.3gp • 撮影後、ファイル名を変更できます。→P396 • 日付・時刻が設定されていない場合、表示名、タイトル（動画のみ）、ファイル名は「--------------」になります。	
メール添付・出力	メールに添付して送信したり、miniSDメモリーカードや他の端末、専用のデータリンクソフトを利用してパソコンに取り込んだりできます。	

静止画の保存枚数について

FOMA端末およびminiSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数は、画質、サイズ制限、画像サイズの設定や、撮影状況によって変わります。

• 画質、サイズ制限、画像サイズは静止画設定で設定します。

■ FOMA端末に保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

画質＼画像サイズ	96×72	128×96	176×144	240×320	352×288	640×480	480×640	960×1280	1200×1600	1224×1632
エコノミー	約719	約719	約719	約537	約415	約198	約198	約76	約56	約49
スタンダード	約719	約719	約703	約397	約315	約142	約138	約47	約34	約33
ファイン	約719	約703	約481	約240	約198	約83	約83	約26	約19	約19

■ miniSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

容量・画質＼画像サイズ		96×72	128×96	176×144	240×320	352×288	640×480	480×640	960×1280	1200×1600	1224×1632
16MB	**エコノミー**	約2057	約1600	約1309	約847	約654	約313	約313	約121	約89	約78
	スタンダード	約1800	約1440	約1107	約626	約496	約225	約218	約74	約54	約52
	ファイン	約1600	約1107	約757	約378	約313	約132	約130	約41	約30	約30
32MB	**エコノミー**	約4314	約3354	約2744	約1776	約1372	約656	約656	約253	約187	約164
	スタンダード	約3774	約3019	約2322	約1312	約1041	約471	約457	約156	約113	約109
	ファイン	約3354	約2322	約1589	約794	約656	約276	約274	約87	約63	約63

動画の撮影時間について

動画の撮影時間は品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限の設定や、撮影状況によって変わります。

- 品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限は動画／録音設定で設定します。

■ FOMA 端末に保存できる動画の撮影時間（目安）

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	1回あたりの撮影時間（単位：秒）				FOMA 端末の最大撮影時間（単位：分）			
			品　質				品　質			
			LP	STD	HQ	HQ+	LP	STD	HQ	HQ+
メール添付（290Kバイト）	128×96	画像＋音声	約112	約70	約51	約21	約65	約40	約29	約12
		画像のみ	約190	約96	約71	約24	約110	約55	約41	約13
	176×144	画像＋音声	約87	約44	約30	約11	約50	約25	約17	約6
		画像のみ	約128	約52	約36	約12	約74	約30	約20	約6
	320×240	画像＋音声	約32	約17	約13	約6	約18	約9	約7	約3
		画像のみ	約36	約18	約14	約6	約20	約10	約8	約3
大容量メール添付（490Kバイト）	128×96	画像＋音声	約189	約119	約86	約36	約64	約40	約29	約12
		画像のみ	約321	約161	約120	約41	約110	約55	約41	約14
	176×144	画像＋音声	約148	約74	約51	約19	約50	約25	約17	約6
		画像のみ	約217	約89	約61	約21	約74	約30	約20	約7
	320×240	画像＋音声	約54	約29	約23	約10	約18	約9	約7	約3
		画像のみ	約61	約30	約24	約10	約20	約10	約8	約3

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P379

■ miniSDメモリーカードに保存できる動画の撮影時間（目安）

単位：分

容量	ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	品質			
				LP	STD	HQ	HQ+
16MB	メール添付（290Kバイト）	128×96	画像＋音声	約92	約57	約42	約17
			画像のみ	約157	約79	約58	約19
		176×144	画像＋音声	約72	約36	約24	約9
			画像のみ	約105	約43	約29	約9
		320×240	画像＋音声	約26	約14	約10	約4
			画像のみ	約29	約14	約11	約4
	大容量メール添付（490Kバイト）	128×96	画像＋音声	約92	約58	約42	約17
			画像のみ	約157	約78	約58	約20
		176×144	画像＋音声	約72	約36	約24	約9
			画像のみ	約106	約43	約29	約10
		320×240	画像＋音声	約26	約14	約11	約4
			画像のみ	約29	約14	約11	約4
	制限なし	128×96	画像＋音声	約86	約54	約39	約16
			画像のみ	約146	約73	約54	約18
		176×144	画像＋音声	約67	約33	約23	約8
			画像のみ	約98	約40	約27	約9
		320×240	画像＋音声	約24	約13	約10	約4
			画像のみ	約27	約13	約10	約4
32MB	メール添付（290Kバイト）	128×96	画像＋音声	約194	約121	約88	約36
			画像のみ	約330	約166	約123	約41
		176×144	画像＋音声	約151	約76	約52	約19
			画像のみ	約222	約90	約62	約20
		320×240	画像＋音声	約55	約29	約22	約10
			画像のみ	約62	約31	約24	約10
	大容量メール添付（490Kバイト）	128×96	画像＋音声	約194	約122	約88	約37
			画像のみ	約330	約165	約123	約42
		176×144	画像＋音声	約152	約76	約52	約19
			画像のみ	約223	約91	約62	約21
		320×240	画像＋音声	約55	約29	約23	約10
			画像のみ	約62	約30	約24	約10
	制限なし	128×96	画像＋音声	約187	約118	約85	約35
			画像のみ	約319	約160	約119	約40
		176×144	画像＋音声	約147	約73	約50	約18
			画像のみ	約215	約78	約60	約20
		320×240	画像＋音声	約53	約28	約22	約10
			画像のみ	約60	約30	約23	約9

静止画撮影

カメラで静止画を撮影する

自動でピントを合わせるオートフォーカス機能の他、連続撮影やフレーム撮影など、さまざまな撮影方法で静止画を撮影します。

- 撮影前に撮影方法を選択できます。→P184
- 撮影時の設定を変更できます。→P186
- 着信音量を消音に設定した場合やマナーモード中でも、シャッター音は鳴ります。
- 最大保存件数→P171

FOMA端末を開いて静止画を撮影する

1 待受画面で を押す

カメラが起動して撮影待機状態になります。

- 撮影待機中は次の操作ができます。

　：ワンタッチライトの点灯（）と消灯（表示なし）の切り替え※1
　1秒以上：背面ディスプレイの表示と非表示の切り替え※2
　：全画面モードと標準画面モードの切り替え
　・全画面モードにすると設定アイコンやガイド行が消え、撮影画像を確認しやすくなります。
　：インカメラとアウトカメラの切り替え
　・カメラを切り替えても、ズームや撮影効果などの設定は保持されます。
　1秒以上：静止画撮影モードと動画撮影モードの切り替え

※1：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。
※2：アウトカメラ撮影時および手動連写の撮影待機中に操作できます。

2 被写体にカメラを向けて、またはサイドキー［▲］を押す



静止画撮影画面

シャッター音が鳴り、着信ランプが赤で点灯して静止画が撮影されます。

- サイドキー［AF▲］を使用してオートフォーカスで撮影できます。→P176
- 静止画設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず自動的に保存されます。このとき、操作3以降の操作は不要です。

3 撮影した静止画を確認する

- 画像サイズが待受用（240×320）より小さい場合は、 を押すと撮影した静止画を拡大表示できます。 を押すと元に戻ります。

■ すぐに保存するとき

操作4に進む

■ 保存しないで撮影し直すとき

** を押す**

■ 撮影した静止画をメールに添付して送信するとき

** を押す**

保存の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。→P255

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合も、FOMA端末に保存されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「9000バイト」を選択すると9000バイトよりも小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- 撮影、保存した静止画のファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ 待受画面に設定するとき

[MENU][2][1]を押し、「はい」を選択する

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- すでにｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ 電話帳の画像に登録するとき（画像サイズが電話帳用（96×72）の場合のみ）

[MENU][2]を押し、[2]または[3]を押して「はい」を選択する

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

■ タイトルを変更するとき

[MENU][3][1]を押す

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます（連続撮影した画像は30文字）。

■ 明るさや色のバランスを補正するとき

[メール]を押す

静止画を補正する編集画面が表示されます。→P358

- 画像サイズが横長VGA（640×480）以上の場合は、補正できません。

■ 鏡像で保存するとき（インカメラ撮影時のみ）

[MENU][4][1]を押す

- 撮影した画像にフレームが設定されている場合や、画像サイズが横長VGA（640×480）で撮影日時が「日付」または「日付＋時刻」に設定されている場合は、鏡像で保存できません。

■ 正像表示／鏡像表示を切り替えるとき（インカメラ撮影時のみ）

[MENU][4][2]を押す

■ 保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替えるとき

[MENU][6]を押す

■ 保存されている画像を一覧表示するとき

[MENU][7]を押し、[1]または[2]を押す

4 [●]またはサイドキー［▲］を押す

撮影した静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

■ 保存した静止画をすぐに確認するとき

①[メール]を押す

②確認したい静止画を選択する

- 確認後[クリア]を2回押すと、静止画撮影画面に戻ります。
- 電話帳またはｉアプリからカメラを起動したときは確認できません。

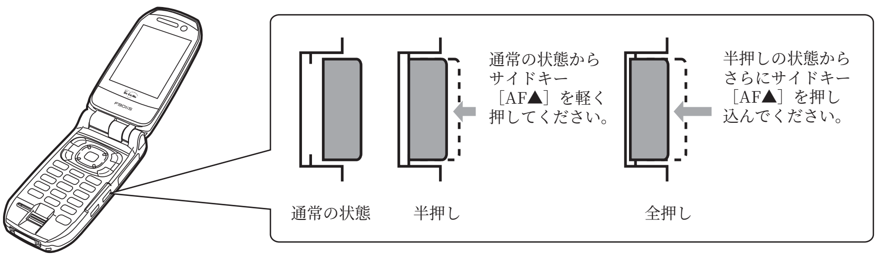
お知らせ

- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 撮影した静止画のファイルサイズがサイズ制限の設定値より大きくなる場合は、自動的に画質を落とすか画像サイズを小さくして保存します。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、静止画を撮影できません。表示される確認画面の指示に従って不要な画像を削除したり、画像サイズや画質を低い値に変更したりしてから撮影してください。
- 音声電話中に静止画を撮影すると、通話が途切れる場合があります。
- 静止画撮影待機中、シャッター音が鳴る前に電話がかかってきた場合は、撮影を中断します。シャッター音が鳴り、すでに静止画を撮影していた場合は、通話終了後に撮影後の保存確認画面に戻ります。自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画が自動で保存されます。
- 静止画の保存中に電話がかかってきた場合、着信画像が表示されますが、保存は継続されます。
- 静止画の撮影中にメールを受信しても撮影は中断されず、そのまま撮影を続けられます。
- 電話帳およびメール作成画面からカメラを起動した場合の保存確認画面では、を押してからの次の機能が利用できません。
  - メールの作成　　- 待受画面の設定　　- 電話帳の画像登録
  - 補正　　- 保存先の切り替え　　- 画像の一覧表示
- miniSDメモリーカードが取り付けられていないときやminiSDメモリーカードの起動中は、保存確認画面で利用できない機能があります。

オートフォーカスで撮影する＜オートフォーカス＞

サイドキー［AF▲］を半押ししてピントを合わせます。その状態のまま全押しすると、より鮮明な静止画を撮影できます。

- サイドキー［AF▲］には半押しと全押しがあるため、サイドキー［▼］と比べ押したときの感触が異なります。
- オートフォーカスでピントを合わせることができる距離は、通常モードで30cm以上、接写モードで8～40cmです。
- インカメラ撮影時とセルフタイマー使用中、および撮影効果を「夜景」に設定しているときは、オートフォーカスを操作できません。



1 待受画面で を押す

カメラが起動して静止画撮影モードになります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

2 被写体にカメラを向けて、サイドキー［AF ▲］を半押しする

オートフォーカスが起動し、オレンジのフォーカス枠とAF（黒）が表示されます。
ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の「＋」に、AFがAF（緑）に変わります。

- 解除するときはサイドキー［AF▲］から指を離します。
- ピントが合わないときは、フォーカス枠が赤の「＋」に変わり、AF（赤）が表示される場合があります。
- ピントを画面の中央以外に合わせたいときは、一度ピントを合わせた後、サイドキー［AF ▲］を半押ししたまま撮影したい位置にカメラを向けます。





3 サイドキー［AF ▲］を全押しする

シャッター音が鳴り、着信ランプが赤で点灯し、静止画が撮影されます。

- ◯を押しても撮影できます。

4 ◯またはサイドキー［AF ▲］を押す

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 確認画面で操作できる機能や、撮影した静止画を保存するときの動作は通常の撮影時と同じです。
→P174

お知らせ

- ピントを合わせることができない距離に被写体がある場合は、設定している撮影モードに応じた最良のピントで撮影されます。
- 自動連写時にオートフォーカスで撮影したときは、1枚目と同じピントで残りの静止画が撮影されます。手動連写時は、撮影するたびにオートフォーカスでピントを合わせられます。
- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - 色の濃淡がない被写体を撮影する場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - 暗い場所で撮影する場合
  - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
- オートフォーカス機能の使用中に有効なキー操作は◯、電源、TASKのみです。撮影機能の設定は変更できません。

連続撮影する<連続撮影>

静止画を連続で撮影できます。連続撮影には、設定した枚数分を自動で連写する「自動連写」と、設定した枚数分を1枚ずつ手動で連写する「手動連写」があります。

- 約0.4秒間隔で連続して6枚まで撮影できます。
- 静止画設定の連続撮影枚数で連続撮影する枚数を設定できます。
- 連続撮影ができるのは、画像サイズが次の場合のみです。
  - Sub-QCIF（128×96）
  - QCIF（176×144）
  - 待受用（240×320）
  - CIF（352×288）
- 電話帳、メール作成画面、ｉアプリからカメラを起動したときは、連続撮影できません。ただし、ｉアプリの種類によっては連続撮影できる場合もあります。

1 待受画面で📷を押す

カメラが起動して静止画撮影モードになります。

2 連続撮影の種類を選択する



連続撮影のマーク

■ 自動連写に設定するとき

[MENU][5][1]を押す

連続撮影のマークが[1]から[A]に変わります。

■ 手動連写に設定するとき

[MENU][5][2]を押す

連続撮影のマークが[1]から[M]に変わります。

- 解除するときは[MENU][5][3]を押します。
- [7]を押し、[カメラ][iα]で連続撮影の種類を選択してから、[ ]を押しても設定できます。

3 被写体にカメラを向けて、[ ]またはサイドキー［▲］を押す

■ 自動連写のとき

自動連写用のシャッター音が鳴り、設定されている撮影枚数分の静止画が連続で撮影されます。

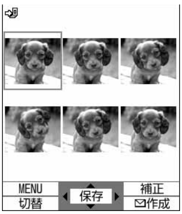
- 自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先に自動的に保存されます。このとき操作4以降の操作は不要です。
- 自動連写中にFOMA端末を折り畳んだ場合、背面ディスプレイは非表示のまま撮影が続行されます。

■ 手動連写のとき

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

- 続けて静止画を撮影するには、[ ]またはサイドキー［▲］を押します。
- 手動連写を行ってから[終了]を押すと、手動連写が中断されます。自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先へ自動的に保存されます。このとき操作4以降の操作は不要です。
- アウトカメラで手動連写中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに静止画撮影画面が表示され、サイドキー［▲］を押して撮影を続行できます。インカメラで手動連写中にFOMA端末を折り畳むと、その時点で撮影が中止されます。

4 連続撮影した静止画を確認する



- [☆]を押すたびに一枚表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 一枚表示時に[◁]を押すと前の画像に、[▷]を押すと次の画像に切り替わります。
- 手動連写で1枚だけ撮影した場合は、サムネイル表示されません。

5 [ ]またはサイドキー［▲］を押す

連続撮影した静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに1つの画像データとして保存されます。

- 静止画の確認画面での操作や静止画を保存するときの動作については、「FOMA端末を開いて静止画を撮影する」の操作3～4を参照してください。→P174

■ 表示されている静止画1枚だけを保存するとき（アウトカメラ撮影時）

[ ]を1秒以上押し、「はい」を選択する

- サムネイル表示のときはカーソル位置の画像が保存されます。

■ 表示されている静止画1枚だけを正像／鏡像を切り替えて保存するとき（インカメラ撮影時）

[ ]を1秒以上押し、「正像保存」または「鏡像保存」を選択する

- サムネイル表示のときはカーソル位置の画像が正像または鏡像で保存されます。

■ 連続撮影した静止画をすべて鏡像で保存するとき（インカメラ撮影時）

[MENU][4][1]を押す

■ 連続撮影した静止画の中から保存する画像を選択するとき（サムネイル表示時）

① MENU 5 2 を押す

② **保存する静止画を選択する**

- ● で選択☑と解除☐が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。
- ✉ を押すとカーソル位置の静止画が拡大表示されます。● を押すとサムネイル表示に戻ります。

③ **✉ を押し、「はい」を選択する**

選択した静止画だけが保存されます。

- インカメラ撮影時は、正像保存するか鏡像保存するかの確認画面が表示されます。「正像保存」または「鏡像保存」を選択してください。

お知らせ

- 連続撮影した静止画は、パラパラマンガの解除機能で1枚ずつの画像にできます。このとき、画像のファイル名の末尾にそれぞれ「-1」～「-6」の番号が付きます。
  静止画のファイル名について→P171
- 連続撮影中に電話がかかってきたりアラームやスケジュールアラームで指定した日時になると、手動連写時はその時点で撮影が中止され、確認画面が表示されます。自動連写時は撮影が続行され、通話やアラームの終了後に確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定している場合、撮影された静止画は自動的に保存されます。着信音およびアラームはシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。

動画撮影

ビデオカメラで動画を撮影する

音声付きの動画を撮影します。

- 撮影前に撮影方法を選択できます。→P184
- 撮影時の設定を変更できます。→P186
- 通話中や音声録音中は動画を撮影できません。他の機能をすべて終了してから動画を撮影してください。
- 着信音量を消音に設定した場合やマナーモード中でも、撮影確認音（シャッター音）は鳴ります。
- 最大保存件数→P573

FOMA端末を開いて動画を撮影する

1 待受画面で 📷 を1秒以上押す

ビデオカメラが起動して撮影待機状態になります。

- 動画の撮影待機中は次の操作ができます。

  ✉ ：ワンタッチライトの点灯（💡）と消灯（表示なし）の切り替え※1

  ✉ 1秒以上：背面ディスプレイの表示と非表示の切り替え※2

  ＊ ：縦撮影と横撮影の切り替え※1
  - 画像サイズがQVGA（320×240）の場合のみ切り替えられます。

  📷 ：インカメラとアウトカメラの切り替え
  - カメラを切り替えても、ズームや撮影効果などの設定は保持されます。

  📷 1秒以上：静止画撮影モードと動画撮影モードの切り替え

  ※1：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。

  ※2：アウトカメラ撮影時および一時停止中に操作できます。

2 被写体にカメラを向けて、またはサイドキー［▲］を押す



動画撮影画面

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプが最大5色（赤、黄、緑、青、紫）に2秒間隔で点滅し、動画の撮影が始まります。ディスプレイのがに切り替わります。

- 一時停止するときはを押します。一時停止中は着信ランプが緑に点灯し、がに切り替わります。もう一度を押すと、撮影を開始します。

3 またはサイドキー［▲］を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、動画の撮影が終了します。

- 動画の撮影中にファイルサイズが制限値に達すると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存対象になります。
- 一時停止中にを押して撮影を終了した場合は、その時点までに撮影した動画が保存対象になります。
- 動画／録音設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず自動的に保存され、撮影画面に戻ります。このとき、操作4以降の操作は不要です。
- 動画／録音設定の自動再生を「する」に設定している場合は、撮影した動画が自動的に再生されます。

4 撮影した動画を確認する

- を押すと撮影した動画が再生されます。

■ すぐに保存するとき

操作5に進む

■ 保存しないで撮影し直すとき

を押す

■ 撮影した動画をメールに添付するとき

を押す

保存の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した動画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合も、FOMA端末に保存されます。
- 次の場合はメールに添付できません。
  - 撮影した動画のファイルサイズが500Kバイトより大きい場合
  - 画像のサイズをQVGA（320×240）に設定している場合
  - 動画の品質を「HQ＋（最高品質）」に設定している場合

■ 待受画面（待受ｉモーション）に設定するとき

を押し、「はい」を選択する

撮影した動画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 撮影した動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのままで、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて動画を拡大して待受画面に表示されます。
- すでにｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ 電話帳の画像に登録するとき

を押し、またはを押して「はい」を選択する

撮影した動画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 画像サイズが128×96または176×144で、撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ電話帳の画像に登録できます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ タイトルを変更するとき

①[MENU][3][1]を押す

②タイトルを変更して、[i]を押す

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます。
- 変更したタイトルは、動画を保存すると有効になります。

■ テロップを作成するとき

[MENU][3][2]を押し、「はい」を選択する

撮影した動画がFOMA端末に保存され、テロップの作成画面が表示されます。

- 画像のサイズをQVGA（320×240）に設定している場合は、テロップを作成できません。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、テロップを作成できません。

■ 保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替えるとき

[MENU][5]を押す

- 撮影した動画のファイルサイズが490Kバイトより大きい場合は、保存先を切り替えられません。

■ 保存されている動画を一覧表示するとき

[MENU][6]を押し、[1]または[2]を押す

5 [ ]またはサイドキー［▲］を押す

撮影した動画がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「動画」フォルダに保存されます。

■ 保存した動画をすぐに確認するとき

①[i]を押す

②確認したい動画を選択する

- 確認後[CLR]を2回押すと、動画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、ｉアプリ、メール作成からビデオカメラを起動したときは確認できません。

カメラ

お知らせ

- アウトカメラで撮影中にFOMA端末を折り畳むと、撮影中の画像が背面ディスプレイに表示され、撮影を続行します。インカメラ撮影時にFOMA端末を折り畳むと撮影が中止され、確認画面が表示されます。
- 音声録音中にFOMA端末を折り畳むと、録音が中止され、確認画面が表示されます。ただし、自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されずに保存されます。
- 撮影中や録音中にキーを押したり充電を開始したりすると、操作音が録音される場合があります。
- 撮影中や録音中に、インジケータやカウンタ表示の更新が遅くなる場合があります。
- 撮影や録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影できない場合があります。
- サイズ制限を「制限なし」に設定している場合、撮影中や録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されないことがあります。
- 動画や音声の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、撮影や録音はできません。表示された確認画面の指示に従って不要な動画や音声を削除したり、サイズ制限の設定を変更したりしてから撮影してください。
- 連続10時間以上撮影した動画や音声をminiSDメモリーカードに保存した場合、動画が正しく表示、再生できないことがあります。
- 撮影中や録音中に電話がかかってきたりアラームが起動したりした場合は、その時点で撮影や録音が中止され、確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止するまでに撮影や録音したデータが自動で保存されます。
- 保存中に電話がかかってきた場合、着信画像が表示されますが、保存は継続されます。
- 撮影中や録音中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影や録音は中止されます。自動保存を「する」に設定していると、中止された時点で撮影または録音されたデータが保存され、▢を押すと撮影または録音画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定していると、▢を押した後に保存するかどうかの確認画面が表示されます。撮影画面や録音画面に戻っても電池がないため撮影ができない旨のメッセージが表示され、操作はできません。
- 撮影中や録音中にアラームや電池アラームが鳴り、撮影や録音が中止された場合、保存した動画の最後にアラームや電池アラームなどが録音されることがあります。
- 電話帳およびメール作成画面からビデオカメラを起動した場合の保存確認画面では、(MENU)を押してからの次の機能が利用できません。
  - メールの作成
  - 待受画面の設定
  - 電話帳の画像登録
  - テロップの作成
  - 保存先の切り替え
  - 動画の一覧表示
- miniSDメモリーカードが取り付けられていないときやminiSDメモリーカードの起動中は、確認画面で利用できない機能があります。

カメラ

静止画設定・動画／録音設定

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する

お買い上げ時	・静止画設定 画像サイズ：待受用（240×320）　画質：スタンダード　撮影日時：なし　サイズ制限：制限なし セルフタイマー間隔：10秒　連続撮影枚数：6枚　自動保存：しない　保存先：本体 自動終了時間：1分後　シャッター音：標準　照明設定：常灯 ・動画／録音設定 品質：STD（標準）　撮影種別：画像＋音声　サイズ制限：メール添付 撮影サイズ：QCIF（176×144）　セルフタイマー間隔：10秒　自動再生：しない 自動保存：しない　保存先：本体　自動終了時間：1分後　シャッター音：標準　照明設定：常灯

画像サイズ、撮影サイズ、画質、品質、撮影種別、サイズ制限、保存先など、撮影時の条件を設定できます。

- 電話帳、ｉアプリ、メール作成からカメラやビデオカメラを起動したときは、設定の操作はできません。その場合、自動終了時間が自動的に「1分後」になります。

〈例〉静止画設定を変更するとき

1 待受画面で(カメラ)を押し、(MENU)(8)を押す

- 動画設定を変更するときは(カメラ)を1秒以上押し、(MENU)(8)を押します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

2 各項目を選択して設定する

- 各項目については、「設定項目について」を参照してください。→P183

3 を押す

設定項目について

○：設定可　×：設定不可

項　目	静止画設定	動画／録音設定	説　明
画像サイズ／撮影サイズ	○	○	撮影する静止画や動画の画像サイズを設定します。 • 静止画撮影では、インカメラ撮影時に画像サイズを縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）、UXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）に設定すると、アウトカメラに切り替わります。→P188
画質	○	×	保存する静止画ファイルの画質を設定します。画質がよくなるほど、ファイルサイズは大きくなります。→P188
撮影日時	○	×	静止画の右下に撮影日時を入れるかどうかを設定します。
品質	×	○	保存する動画ファイルや音声ファイルの品質を設定します。
撮影種別	×	○	撮影する動画の種類を設定します。 ：画像＋音声　：画像のみ　：音声のみ（サウンドレコーダー）
サイズ制限	○	○	保存するファイルのサイズ制限値を設定します。 撮影中の静止画や動画のファイルサイズ、録音中の音声のファイルサイズが制限値より大きくなると、静止画は自動的に画質を落とすか画像サイズを小さくして保存し、動画や音声は自動的に撮影を終了します。 • 撮影または録音したファイルをｉモードメールに添付してｉモード端末に送信する場合は、「制限なし」以外に設定してください。
セルフタイマー間隔	○	○	セルフタイマー使用時のシャッターが切られるまでの時間を設定します。 • 2～15秒の範囲で設定します。
連続撮影枚数	○	×	連続撮影する枚数を設定します。 • 2～6枚の範囲で設定します。
自動再生	×	○	確認画面を表示したときに、撮影した動画や録音した音声を自動的に再生するかどうかを設定します。
自動保存	○	○	撮影した静止画や動画、録音した音声を自動で保存するかどうかを設定します。 •「する」に設定すると、設定されている保存先に自動的に保存されます。 •「しない」に設定すると、撮影後や録音後に確認画面が表示され、さまざまな操作ができます。
保存先	○	○	撮影した静止画や動画、録音した音声の保存先を設定します。
自動終了時間	○	○	何も操作していないときにカメラ、ビデオカメラ、サウンドレコーダーを終了するまでの時間を設定します。
シャッター音	○	○	撮影確認音（シャッター音）を設定します。 • 5種類から選択でき、シャッター音にカーソルを合わせると音が鳴ります。
照明設定	○	○	撮影中や録音中のディスプレイの照明を設定します。 •「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従います。 •「常灯」に設定すると、撮影画面や録音画面の表示中はディスプレイの照明が常に点灯します。

お知らせ

- 静止画の画像サイズを電話帳用（96×72）に設定すると、撮影日時は設定できません。
- 静止画の画像サイズのCIF（352×288）、横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）、UXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）とサイズ制限の「9000バイト」は同時に設定できません。
- 静止画の画像サイズのUXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）とサイズ制限の「500Kバイト」は同時に設定できません。
- 動画ファイルや音声ファイルの品質の「LP（長時間）」「HQ+（最高品質）」と、撮影種別の「音声のみ」は、同時に設定できません。
- 動画設定や録音設定で保存先を「本体」に設定している場合、サイズ制限を「制限なし」に設定できません。
- 各種設定リセットをしても、設定はお買い上げ時の状態に戻りません。

さまざまな方法で撮影する

ズーム機能やセルフタイマー撮影、接写モードなど、さまざまな撮影方法があります。
ここでは静止画撮影画面または動画撮影画面で各撮影モードに設定する方法を説明します。

- 設定後の撮影については、「カメラで静止画を撮影する」（→P173）または「ビデオカメラで動画を撮影する」（→P179）を参照してください。
- 背面ディスプレイ表示中は、フレームの解除以外にダイヤルキーによる設定の変更はできません。

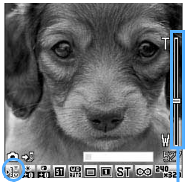
ズームする

画像の撮影倍率を変更して、被写体をアップで撮影します。

- 各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

カメラの種類	画像サイズ	ズーム段階		最大表示倍率
		静止画撮影時	動画撮影時	
アウトカメラ	電話帳用（96×72）	65段階	－	20倍
	Sub-QCIF（128×96）	65段階	9段階	20倍
	QCIF（176×144）	65段階	8段階	16倍
	待受用（240×320）	65段階	－	8倍
	QVGA縦撮影（320×240）	－	3段階	4倍
	QVGA横撮影（320×240）	－	5段階	8倍
	CIF（352×288）	65段階	－	6倍
	横長VGA（640×480）	65段階	－	3倍
	縦長VGA（480×640）	65段階	－	4倍
	SXGA（960×1280）	65段階	－	3倍
	UXGA（1200×1600）	6段階	－	2倍
	2M（1224×1632）	6段階	－	2倍
インカメラ	電話帳用（96×72）	2段階	－	2倍
	Sub-QCIF（128×96）	2段階	2段階	
	QCIF（176×144）	2段階	2段階	
	待受用（240×320）	2段階	－	
	QVGA縦撮影（320×240）	－	2段階	
	CIF（352×288）	2段階	－	
	横長VGA（640×480）	2段階	－	

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で [カメラ] [iα] を押す



スライダ

ズームのマーク

押すたびにスライダの目盛が移動し、ズームのマークが変わります。

- [1] を押し、[カメラ] [iα] を押して表示倍率を選択してから [●] を押しても変更できます。

■ 静止画撮影のとき

標準 ⟷ ⟷ ⟷ ⟷ 最大ズーム

■ 動画撮影のとき

×20：20倍　×16：16倍　×12：12倍　×10：10倍　×8：8倍
×6：6倍　×4：4倍　×2：2倍　×1：標準

セルフタイマーを使う<セルフタイマー>

セルフタイマーを使って静止画や動画を撮影します。設定した時間が経過すると自動でシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりできます。

- シャッターが切れるまでの時間は静止画設定または動画／録音設定のセルフタイマー間隔で設定できます。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で [MENU] [4] を押す

[セルフタイマー] が表示されます。

- 解除するときはもう一度 [MENU] [4] を押します。

2 被写体にカメラを向けて、[●] またはサイドキー［▲］を押す



セルフタイマーのマーク

カウントダウン音が鳴り、着信ランプが緑で点滅します。インジケータとカウンタには撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。撮影時間が近づくにつれ点滅間隔が短くなり、設定した時間になるとシャッター音が鳴り撮影されます。

- 途中で中止するときは [クリア] を押します。

お知らせ

- アウトカメラ撮影中はセルフタイマーのカウントダウン中にFOMA端末を折り畳んでも、背面ディスプレイに静止画撮影画面または動画撮影画面が表示され、カウントダウンが続行されます。インカメラ撮影中はカウントダウンを中止します。
- セルフタイマーのカウントダウン中にアラームが起動したり、[TASK] を押したりすると、撮影は中止されます。

近くのものを撮影する<接写モード>

オートフォーカスで約8～40cmのごく近い距離を撮影する場合は、接写モードで撮影すると被写体にピントを合わせられます。オートフォーカスを利用しない場合は、約8～15cmでピントが合います。

- インカメラ撮影時は接写モードを利用できません。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で [#] を押す

接写モードに切り替わり、[接写] が表示されます。

- 通常モードに戻すにはもう一度 [#] を押します。

FOMA端末を折り畳んで静止画／動画を撮影する

- インカメラ撮影時は背面ディスプレイを「ON」に設定できません。
- カメラを終了すると、次にカメラを起動したときに背面ディスプレイは非表示になります。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面を表示する

2 FOMA端末を折り畳む

カメラからの画像が背面ディスプレイに表示されます。

3 被写体にカメラを向けて、サイドキー［▲］を押す

- 静止画撮影のときは操作5に進みます。
- 静止画撮影のときはオートフォーカス撮影ができます。

4 サイドキー［▲］を押す

5 FOMA端末を開いて、撮影した静止画または動画を確認し、◯またはサイドキー［▲］を押す

撮影した静止画または動画が保存されます。

- 静止画の確認画面での操作や静止画を保存するときの動作については、「FOMA端末を開いて静止画を撮影する」の操作3～4を参照してください。→P174
- 動画の確認画面での操作や動画を保存するときの動作については、「FOMA端末を開いて動画を撮影する」の操作4～5を参照してください。→P180

お知らせ

- 自動連写中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイは非表示のまま撮影は続行されます。アウトカメラで手動連写中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに静止画撮影画面が表示され、サイドキー［▲］で撮影を続行できます。インカメラで手動連写中にFOMA端末を折り畳むと、その時点で撮影が中止されます。
  いずれの場合も、静止画設定で自動保存を「しない」に設定しているときは、撮影終了後にディスプレイに撮影画像がサムネイル表示されます。自動保存を「する」に設定しているときは、設定した保存先に自動的に保存され、保存終了後に背面ディスプレイに静止画撮影画面が表示されます。
- FOMA端末を折り畳んだときに、アウトカメラのレンズが上のほうにある状態が正方向です。下のほうにして撮影した場合、表示画像と保存画像の天地が逆になりますのでご注意ください。

撮影時の設定を変更する

お買い上げ時	・静止画設定 フレーム：なし　画像サイズ：待受用（240×320）画質：スタンダード 撮影日時：なし　サイズ制限：制限なし　撮影効果：標準　ホワイトバランス：オート 明るさ：±0　色の濃さ：±0 ・動画／録音設定 フレーム：なし　撮影サイズ：QCIF（176×144）品質：STD（標準） 撮影種別：画像＋音声　サイズ制限：メール添付　撮影効果：標準 ホワイトバランス：オート　明るさ：±0　色の濃さ：±0

フレームを撮影した画像に重ねたり、画像サイズ、画質、品質、サイズ制限、撮影効果、ホワイトバランス、明るさ、色の濃さの設定を変更できます。

- 動画撮影で、撮影種別が「音声のみ」のときに設定できるのは、品質、サイズ制限のみです。

〈例〉フレーム設定をするとき

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で◀▶を押し、フレームのマークにカーソルを合わせる

- 設定項目のマークには、左から順に0～9の番号が割り当てられています。対応するダイヤルキー（0～9）を押して選択できます。ここでは6を押してもフレームのマークを選択できます。

2 ▲▼を押してフレームを選択し、●を押す



フレームが設定され、[フレームアイコン]が表示されます。
- 6を押してもフレームが切り替わります。
- 解除するときは6を1秒以上押します。

フレームを重ねて撮影する

FOMA端末に保存されているフレーム用の画像やサイトからダウンロードしたフレームを、撮影した画像に重ねられます。

[フレームアイコン]：フレーム　　[フレーム解除アイコン]：フレーム解除

- お買い上げ時にFOMA端末に保存されているフレームは、QCIF（176×144）、待受用（240×320）の画像サイズに対応しています。
- 静止画の画像サイズが次の場合はフレームを設定できません。
  - 電話帳用（96×72）
  - 横長VGA（640×480）
  - 縦長VGA（480×640）
  - SXGA（960×1280）
  - UXGA（1200×1600）
  - 2M（1224×1632）
- 動画の撮影サイズをQVGA（320×240）に設定しているときは、フレームを設定できません。
- 電話帳、ｉアプリ、メール作成からカメラを起動したときは、フレームを設定できません。

お知らせ

- MENU 7 1（静止画撮影時）、MENU 6 1（動画撮影時）を押すと、フレーム画像の一覧からフレームを設定できます。
- 画像サイズに対して縦横が逆のサイズのフレームを選択した場合、フレームは自動的に画像の向きに合わせて右に90度回転して表示されます。MENU 7 3（静止画撮影時）、MENU 6 3（動画撮影時）を押すと、フレームを180度回転させることもできます。たとえば、画像サイズが176×144の場合、144×176のフレームを回転して使えます。
- 撮影中にサイトからフレームをダウンロードしたときは、MENU 7 4（静止画撮影時）またはMENU 6 4（動画撮影時）を押すとダウンロードしたフレームも使用できます。
- 静止画の場合、撮影した画像を保存した後でもフレームを重ねられます。
- お買い上げ時に保存されているフレームの一覧→P356

画像のサイズを設定する

設定できる画像サイズは次のとおりです。

撮影モード	画像サイズ／撮影サイズ	マーク	メール送信の可否
静止画撮影	電話帳用（96×72）	96×72	iモードメールに添付したり、デコメールへ貼り付けたりしてiモード端末やパソコンなどに送信できます。
	Sub-QCIF（128×96）	128×96	
	QCIF（176×144）	176×144	
	待受用（240×320）	240×320	
	CIF（352×288）	352×288	iモードメールに添付してiモード端末やパソコンなどに送信できます。 ファイル添付時に待受サイズ（240×320）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。
	横長VGA（640×480）	640×480	
	縦長VGA（480×640）※	480×640	
	SXGA（960×1280）※	960×1280	
	UXGA（1200×1600）※	1200×1600	
	2M（1224×1632）※	1224×1632	
動画撮影	Sub-QCIF（128×96）	128×96	iモードメールに添付してiモード端末やパソコンなどに送信できます。
	QCIF（176×144）	176×144	
	QVGA（320×240）	320×240	iモードメールに添付できません。

※：アウトカメラ撮影時のみ有効な画像サイズです。

- iモード端末に送信できる画像のファイルサイズは最大500Kバイトです。
- iモード端末で見る際に最も適したサイズは、待受用（240×320）サイズです。
- 0 を押しても画像サイズが切り替わります。

> **お知らせ**
> - 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。

静止画の画質／動画の品質を設定する

■ 静止画撮影のとき

ECO エコノミー　：最も低い画質です。
ST スタンダード：標準的な画質です。
FINE ファイン　：最も高い画質です。

- 8 を押しても画質が切り替わります。

■ 動画撮影のとき

LP LP（長時間）　：最も低い品質です。撮影時間は最も長くなります。
STD STD（標準）　：標準的な品質です。
HQ HQ（高品質）　：画像の動きがなめらかです。
HQ+ HQ+（最高品質）：最も高い品質です。撮影時間は最も短くなります。

- 8 を押しても品質が切り替わります。

ファイルサイズを制限する

■ 静止画撮影のとき

9k 9000バイト：ファイルサイズを9000バイトに制限します。iモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。
500k 500Kバイト：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。ファイルサイズを変更せずに、iモードメールに添付できます。
∞ 制限なし　：ファイルサイズを制限しません。

- 画像サイズがUXGA（1200×1600）または2M（1224×1632）以外の場合は、9 を押してもサイズ制限が切り替わります。

カメラ

■ 動画撮影のとき

メール添付：ファイルサイズを290Kバイトに制限します。iモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

大容量メール添付：ファイルサイズを490Kバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

制限なし：ファイルサイズを制限しません。

- 9 を押してもサイズ制限が切り替わります。

お知らせ

- 撮影した静止画ファイルをiモードメールに添付してFOMA端末に送信するときは、サイズ制限を「制限なし」以外に設定してください。
- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。
- 動画／録音設定で保存先を「本体」に設定している場合、「制限なし」には設定できません。

特殊な効果をかける

撮影状況や好みに合わせて、特殊な効果をかけます。

標準：標準的な撮影です。

逆光：被写体が逆光のときに光量を検出し、自動的に露出を補正します。

セピア：セピア色で撮影します。

モノトーン：白黒で撮影します。

夕焼け：夕焼けを背景に人物を撮影するときに使用します。

海・雪：海面や雪面などの光の反射をより美しく撮影します。

風景：コントラストが強調された鮮やかな画像になります。

夜景：長時間露光モードです。暗い所での撮影に使用します。

- 4 を押しても撮影効果が切り替わります。

お知らせ

- 自動連写時は「夜景」に設定できません。
- 動画撮影時は「風景」「夜景」に設定できません。

ホワイトバランスを調整する

自然光や照明光など、撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調整します。

オート：ホワイトバランスを自動的に調整します。

太陽光：晴天時の屋外で撮影するときに設定します。

くもり：曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに設定します。

蛍光灯：蛍光灯などの照明の下で撮影するときに設定します。

電球：電球などの照明の下で撮影するときに設定します。

- 5 を押してもホワイトバランスが切り替わります。

明るさを調整する

撮影する画像の明るさを調整します。

: －2　: －1　: ±0　: ＋1　: ＋2

- 2 を押し、 を押しても明るさを調整できます。

お知らせ

- カメラおよびビデオカメラを終了しても、明るさの設定は保持されます。
- 撮影する画像によっては、明るさを調整しても表示があまり変化しない場合があります。

色の濃さを調整する

撮影する画像の色の濃さを調整します。

: －2　: －1　: ±0　: ＋1　: ＋2

- 3 を押し、 を押しても色の濃さを調整できます。

お知らせ

- カメラおよびビデオカメラを終了しても、色の濃さの設定は保持されます。
- 撮影する画像によっては、色の濃さを調整しても表示があまり変化しない場合があります。
- 撮影効果で「セピア」または「モノトーン」を設定している場合、色の濃さを調整しても反映されません。
- アウトカメラ撮影中に撮影効果で「夕焼け」または「風景」を設定している場合、色の濃さを調整しても反映されません。

撮影時の設定を初期値に戻す

初期値に戻るのは次の設定です。

- 撮影効果　• ホワイトバランス　• ズーム　• 明るさ　• 色の濃さ

1 **静止画撮影画面で MENU 6 7、または動画撮影画面で MENU 5 7 を押す**

2 **「はい」を選択する**

ワンショットメール

通話中に撮影した画像を送信する

音声電話中に撮影した静止画を、 i モードメールに添付して通話中の相手に送信します。

- 本機能を使用するには、静止画設定で保存先を「本体」に設定してください。

1 **通話中に を押す**

2 **静止画を撮影する**

- 撮影のしかたについては「カメラで静止画を撮影する」を参照してください。→P173
- 連続撮影すると、撮影した画像がサムネイル表示されます。 を押して、送信する静止画にカーソルを合わせてください。
- 静止画設定で自動保存を「する」に設定している場合、撮影した画像をメールに添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した画像を確認できます。ただし、静止画設定で自動保存を「する」で、保存先を「miniSD カード」に設定している場合は、メール添付できません。設定を変更してから撮影し直してください。

 ＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P379

3 [メール]を押し、「はい」を選択する

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。→P255

- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで保存されます。「9000バイト」を選択すると9000バイトよりも小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- メール添付の際は、保存先をminiSDメモリーカードに設定していても、撮影した静止画はFOMA端末に保存されます。
- 撮影や保存した静止画のファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。
- 通話中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。ただし、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は入力されません。
- ｉモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときは[クリア]を押します。そのまま撮影を中止するときは、撮影画面で[クリア]を押します。

4 ｉモードメールを作成し、送信する

- ｉモードメールの作成・送信方法→P245

お知らせ

- 通話直前にキャラ電撮影を起動していると、撮影できない場合があります。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってJANコードやQRコードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報は電話帳やブックマークに登録したり、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toに利用したりできます。

- 読み取った情報は最大5件保存できます。
- バーコードリーダーはアウトカメラのみ利用できます。
- 読み取れるコードはJANコードとQRコードのみです。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力できます。→P519

JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。

4 942857 315721

左のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取れます。

QRコードとは

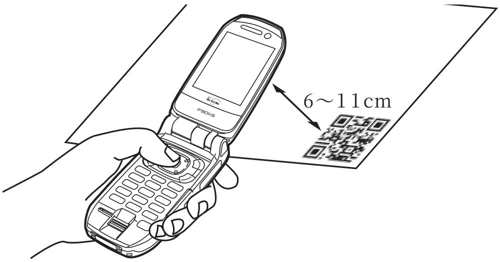
縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。

左のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

コードを読み取る

1 待受画面で MENU 6 4 を押す

バーコードリーダーが起動し、自動的に接写モードに切り替わります。アウトカメラをコードから6～11cm離して読み取ってください。



- コード読み取り待機中は次の操作ができます。
  - ✉：ワンタッチライトの点灯（ ）と消灯（表示なし）の切り替え
  - #：通常モード（表示なし）と接写モード（ ）の切り替え
    - サイズの大きいコードを読み取るときは通常モードに切り替えてください。

■ 通常の静止画撮影または動画撮影に切り替えるとき

MENU 3 を押し、1 または 2 を押す

- 待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は、切り替えられません。

2 コードを読み取る



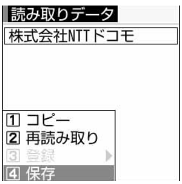
アウトカメラをコードに合わせて読み取りを開始すると が表示されます。自動的にコードを読み取ると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが保存はできます。

■ コードを読み取り直すとき

または MENU 2 を押す

3 MENU 4 を押す



読み取ったデータが保存されます。

- すでにデータが5件保存されているときやデータの保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して保存されているデータを削除してください。

■ 読み取ったデータの文字情報をコピーするとき

① MENU 1 を押す

②開始位置を選択する

- MENU を押すとすべての文字情報をまとめて選択できます。

③終了位置を選択する

選択した範囲の文字情報がコピーされます。

カメラ

分割されたQRコードを読み取る場合

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。



- 分割されたQRコードの読み取りを中止するには、[クリア]を押します。読み取ったデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択してください。読み取ったデータを破棄して、バーコードリーダーが終了します。

QRコードの総数分のマスが表示されます。読み取りが完了したマスは青、まだ読み取っていないマスはグレー、最後に読み取られたマスは緑で表示されます。

読み取りが必要な残りのQRコード数とQRコードの総数が表示されます。

お知らせ

- 読み取りデータの保存領域の空きが足りないときは、画面の指示に従って保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されている読み取りデータを削除してください。

保存した読み取りデータを利用する

〈例〉情報を電話帳に登録するとき

1 待受画面で[MENU][6][4]を押し、[カメラ]を押す

2 利用する読み取りデータを選択する

■ 読み取りデータを削除するとき

削除する読み取りデータにカーソルを合わせて[MENU][3][1]を押し、「はい」を選択する

- 読み取りデータをすべて削除するときは[MENU][3][2]を押して、認証操作を行い、「はい」を選択します。

3 電話帳に登録する情報にカーソルを合わせ、[MENU][3][1]（新規登録）または[MENU][3][2]（更新登録）を押す

4 [1]または[2]を押す

選択した情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

■ 情報を電話帳に一括登録するとき

「電話帳登録」を選択する

名前、フリガナ、電話番号、テレビ電話番号、メールアドレス、メモ、URL、住所、郵便番号、誕生日が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

■ メールを送信するとき

メールアドレスまたは「メール作成」を選択する

宛先が入力されているメール作成画面が表示されます。

- 「メール作成」を選択した場合は、宛先、題名、本文が入力されています。

■ サイトまたはインターネットホームページに接続するとき

URLを選択し、「はい」を選択する

■ URLをブックマークに登録するとき

①URLにカーソルを合わせて[MENU][3][3]を押す、または「ブックマーク登録」を選択する

②保存するフォルダを選択する

- 「ブックマーク登録」を選択した場合は、サイト名も登録されます。

次ページへ続く

■ｉアプリを起動するとき

「ｉアプリ起動」を選択する

■音声電話またはテレビ電話をかけるとき

①電話番号を選択する

②各項目を選択して設定する

③ を押す

カスタム発信について→P54

■静止画ファイルを保存するとき

①静止画ファイルを選択し、「保存」を選択する

- 「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。

②各項目を選択して設定する

- 設定項目の詳細について→P396

③ を押し、静止画の保存先を選択する

■メロディデータを保存するとき

①メロディデータを選択し、「保存」を選択する

- 「再生」を選択すると、メロディデータが再生されます。

②表示名を入力し、 を押す

メロディデータがメロディ内の「データ交換」フォルダに保存されます。

お知らせ

- カメラ起動中やバーコードリーダーに対応しているｉアプリから、バーコードリーダーの起動もできます。ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。
- バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名は変更できません。
- 読み取ったデータのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子になります。拡張子はJANコードの場合「jan」、QRコードの場合「qr」になります。たとえば、2005年6月28日9時1分にJANコードを読み取った場合は「20050628090100.jan」になります。すでに同じ日時で保存したデータがある場合は、ファイル項番が＋1されます。ただし、日付・時刻が設定されていない場合は「------------」＋ファイル項番＋拡張子になります。

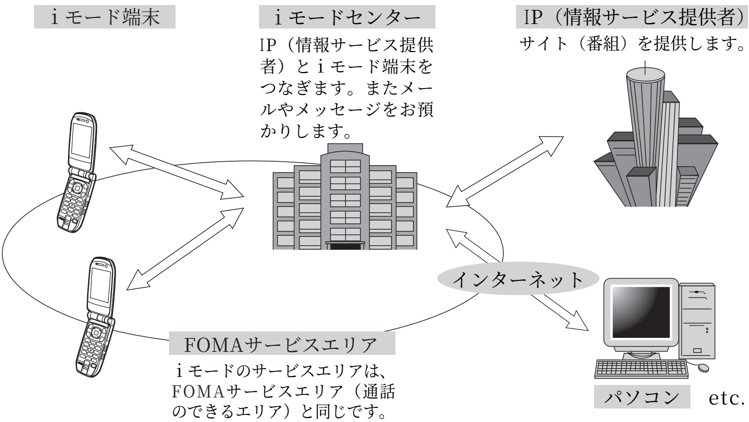
ｉモード

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスを利用できます。

- サイト（番組）接続
  ｉモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。
- インターネット接続
  ｉモード端末にインターネットホームページのアドレス（URL）を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなインターネットホームページを見られます。
- ｉモードメール
  ｉモード端末どうしだけでなくインターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが全角で最大5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。→P238

サービスのしくみ



- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面を参照してください。

お知らせ

- 新規でFOMAサービスをご契約いただきますと、当日からすべてのサービスが利用できます。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していたマイメニューの内容は引き継がれます。ただしサイトによってFOMAにマイメニューが引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。また、マイメニュー引継対応サイトについては、ｉMenuのお知らせ&ヘルプで確認できます。→P197
- ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などについては、『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
- ｉモードのサービス内容は変更する場合があります。詳しくは『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。

サイト（番組）接続

簡単なキー操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスを利用できます。
たとえば銀行の残高照会や振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなど、さまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や週刊ｉガイドなどにアクセスします。

• サイトの表示方法→P202



（全体イメージ）

メニュー名	機　能
①マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。→P208 ｉMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
②週刊ｉガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
③メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別、地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
④とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます（提供：D2コミュニケーションズ）。
⑤ｉエリア	今いる場所やその周辺に関する天気、地図、タウン情報などを簡単にご利用になれます。
⑥かんたん検索	ゲーム、待受画面などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。
ｉアプリサーチ	情報料が無料のｉアプリやゲームなど、利用シーン別に紹介しているメニューです。
便利サイトサーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
⑦マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
⑧オプション設定	ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
⑨お知らせ&ヘルプ	ドコモからのお知らせやｉモードの利用方法、ご利用規則などを掲載しています。
料金&お申込	料金の確認やお支払い、ご契約内容の変更や各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	ｉMenuを英語表記に変更できます。

※ 画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

お知らせ

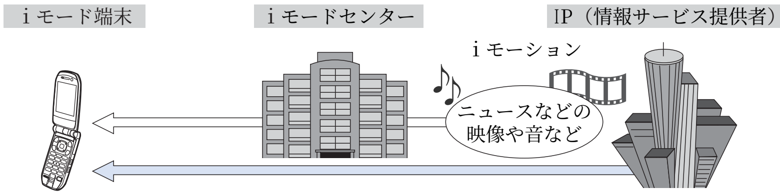
- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信が終了しているときは、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

■ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末で取得し、再生したり、待受画面として楽しんだりできます。

- ｉモーションを取得する→P336
- ｉモーションを再生する→P360
- ｉモーションを自動再生設定する→P339



■着モーション／着うた®

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末で取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます。ただし、一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません。

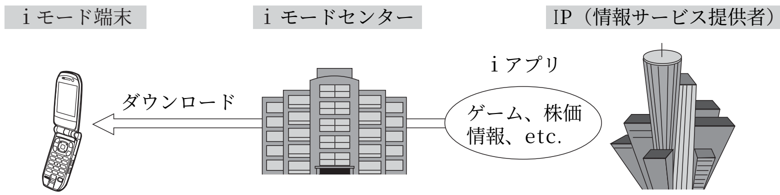
- 着モーションを設定する→P118、P362

「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末がより便利になります。たとえばｉモード端末にさまざまなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードして、株価を定期的に自動チェックしたりできます。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールができます。

- ｉアプリをダウンロードする→P312
- ｉアプリを起動する→P314
- ｉアプリを自動起動する→P325



■ｉアプリ待受画面

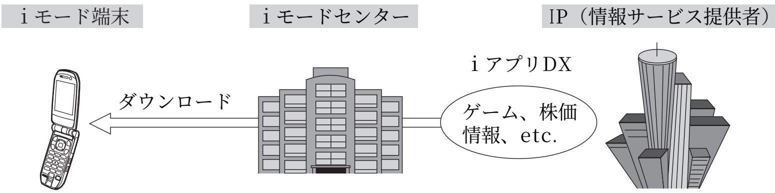
ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけたりもできます。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示したり、お好みのキャラクタにメールを受信やアラームを知らせてもらったり、より便利な待受画面にすることもできます。

- ｉアプリ待受画面を設定する→P327

■ｉアプリDX

ｉアプリDXは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

• ｉアプリDX→P310



■3Dサウンド

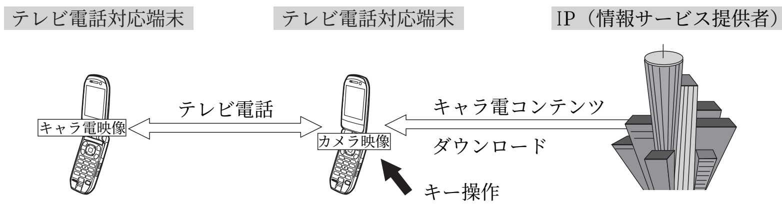
3Dサウンド対応ｉモード端末では、ステレオスピーカー（またはステレオイヤホンセット）により立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出すことができます。3Dサウンド対応のコンテンツでは臨場感あふれるｉアプリのゲーム、ｉモーションや着信音などをお楽しみいただけます。

• 3Dサウンドとは→ P119

■キャラ電

テレビ電話利用時に、相手のテレビ電話対応端末に、自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、キー操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードしてそのまま待受画像に設定したり、そのキャラ電を撮影した静止画ファイル、動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送信することもできます。ただし、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル、動画ファイルは送信できません。

• キャラ電をダウンロードする→P220
• キャラ電設定をする→P88、P375
• キャラ電の撮影→P372
• キャラ電の確認→P369
• キャラクタの操作方法→P369



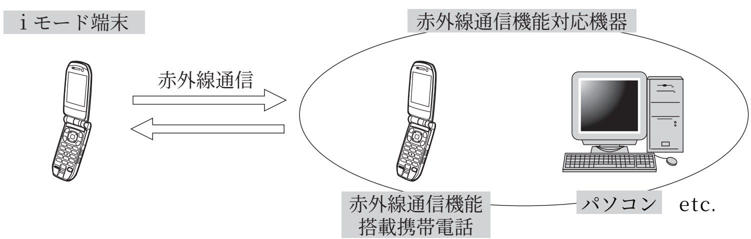
■赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと、電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用できます。

※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

• 赤外線通信モードにする→P334、P401



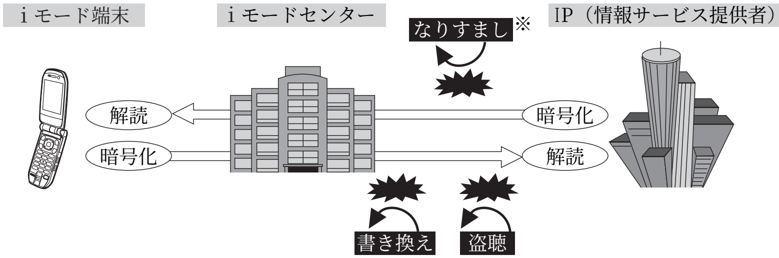
ｉモード

■ SSL通信

SSLとは認証技術と暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末からの特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものの2つがあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。→P231

- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信、メッセージR/Fの受信ができません。
- ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用する→P231
- FirstPassのユーザ証明書を利用する→P232



※：なりすましとは、第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■ FOMAカード動作制限機能

お客様情報（電話番号、電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入することによって、サイトからダウンロードしたり、メールで取得したメロディ、静止画、ｉモーションなどのファイルの動作を制限し、IP（情報サービス提供者）から提供された情報を保護する機能です。この機能によって、別のFOMAカードに差し替えたり未挿入の状態でｉモード端末の電源を入れた場合、取得したファイルの再生や表示ができなくなります。→P35

※ カメラ機能によりお客様が撮影した静止画や動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルは、本機能の対象外となります。

※ 着信音や待受画面設定などをｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がお買い上げ時の状態になります。

■ ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。→P218

■ ｉアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画像や着信画像に表示できます。→P125、P132

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージR）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージF）	パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

- メッセージサービスの受信方法→P226、P265
- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」になっています。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様自身で「受信しない」設定に変更していただく必要がありますので、ご了承ください。
  ※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっています。
- お客様のｉモード端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管期間を過ぎたメッセージR/Fは削除されます。最大保管件数を超えると、古いものから順に削除されます。

メッセージ名	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問合せにより受信できます。

■ トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見られます。

- メッセージRの画面の見かた→P229

■ ｉモードパスワード

有料サイトのお申し込みやマイメニューの登録／解除、ｉモードメールの設定などを行うときにはｉモードパスワードが必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自の4桁の数字に変更してください。→P209
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分ご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。

- 表示方法→P210

お知らせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末にダウンロードした文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード、ｉアプリ、ｉモーションでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトからダウンロードした静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディ）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMA カード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態になります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

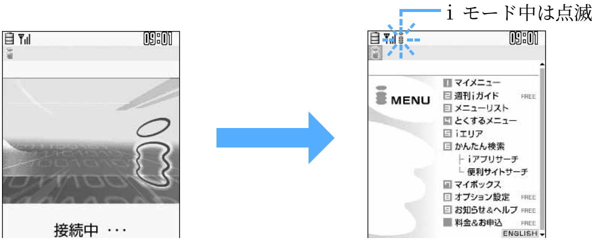
お知らせ

- パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルを利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに保管できます。
- miniSDメモリーカード（別売）にメール、ブックマークなどの内容を保存できます。

サイトを表示する

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

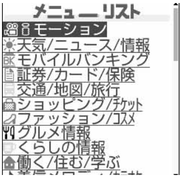
1 待受画面で [iα] [1] を押す



- ｉモード接続中画面で [　] を押すと、接続を中止します。
- サイト表示中に [8] を1秒以上押すと、ｉモードが切断されます。
- [1]、[2] などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途 miniSDメモリーカードが必要となります。→ P379

2 「3 メニューリスト」を選択する



- ページ読み込み中に を押すと、ページの読み込みを中止します。

3 見たい項目を選択する

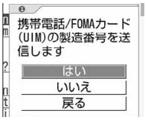
サイトに接続されます。以降同様にして目的のページを表示します。

4 サイトを見終わったら を押し、「はい」を選択する

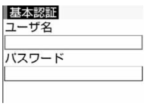
サイトの表示が終了します。

お知らせ

- サイト表示中にｉMenuに戻る場合は を押し、「Menu」を選択します。
- サイトによっては、項目選択時に次の画面が表示される場合があります。



- サイトから、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が要求されたときに表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信される携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定したりするために使われます。
送信するお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得される可能性があります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。



- サイトからユーザ名、パスワードの入力を要求されたときに表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、 を押します。

- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
  ：表示・効果設定で画像を表示しない設定にしているときや、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  ：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき
  ：画像のURLの誤りなどで画像をダウンロードできないとき
- ｉモードは通信を使ったサービスのため、圏外が表示されているときはご利用になれません。

SSLページに接続する

通常のサイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。

- 日付・時刻が未設定の場合、SSLページによっては接続できないことがあります。
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、緑色のFOMAカードに保存する必要があります。青色のFOMAカードを差し込んでいる場合はFirstPassセンターに接続できません。

SSLページに接続する

SSLページに接続する場合はSSL通信を開始する旨のメッセージが表示されます。
- SSLページが表示されると画面右上に SSL が表示されます。

■ SSLページ表示中に証明書を表示するとき

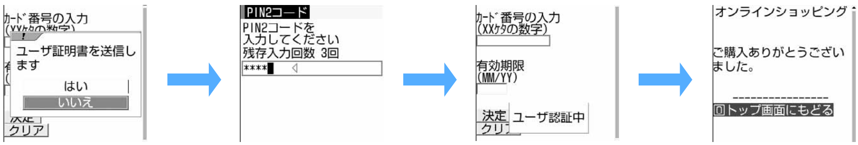
MENU 9 2 を押す
- 証明書の内容→P232

SSLページから通常ページに進む

SSLページから通常ページに進む場合は、確認画面が表示されます。
-「はい」を選択すると通常ページが表示され、画面右上の SSL が消えます。

FirstPass対応ページに接続する

FirstPass対応ページに接続する場合は次の画面が表示されます。



1 「はい」を選択し、PIN2コードを入力する

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。

> **お知らせ**
> - サイトとの通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「はい」を、接続しないときは「いいえ」を選択します。
> - SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→P231
> - FirstPass 対応ページに接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイの対象となります。

最後に表示したページに再接続する <ラストURL>

最後に表示したサイトやインターネットホームページのURLはFOMA端末に記録されています。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に再接続できます。

1 待受画面で i 5 を押す

- ラストURLが記録されていないときは、ラストURLがない旨のメッセージが表示されます。

2 ○を押す

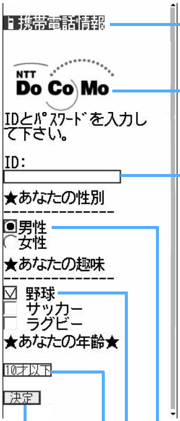
> **お知らせ**
> - 最後に表示したページによっては、表示できない場合があります。また、最後に表示したページと異なるページを表示する場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

リンク先や項目を選択する

ｉモード接続中、サイトによっては次のような操作ができます。



リンク先を表示する

表示中のページから関連するページに進むための項目をリンク項目といいます。リンク項目はカーソルを合わせると反転表示されます。

- を押して項目を選択すると、リンク先が表示されます。
- 画像にリンクが設定されている場合もあります。を押して画像にカーソルを合わせ（枠で囲まれます）を押すと、リンク先が表示されます。
- 1、2などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

文字を入力する

入力欄を選択して文字を入力します。

① を押し、入力欄を選択する

② 文字を入力する

- 入力できる文字種と文字数は、入力欄により異なります。
- ｉモードパスワードなどを入力した場合、「*」で表示されることがあります。
- 文字入力画面でを押すと、バーコードリーダーで読み取った内容を入力できます。

ラジオボタンを選択する

選択肢の中から１つだけ選択する場合のマークです。

：選択されていない状態　　：選択されている状態

を押してラジオボタンを選択します。

チェックボックスを選択する

選択肢の中から複数項目を選択できる場合のマークです。

：選択されていない状態　　：選択されている状態

- を押してチェックボックスを選択します。
- もう一度を選択するとに戻ります。

プルダウンメニューを選択する

選択すると、隠れている選択肢が表示されるメニューです。

を押してプルダウンメニューを選択し、を押してメニュー項目を選択します。

- サイトによっては、１つのプルダウンメニュー選択画面でを押して項目を選択する操作を繰り返して複数の項目が選択できます。選択後にを押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。

ボタンを選択する

ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、ページの設定内容を取り消したりできます。

- を押してボタンにカーソルを合わせ（実線枠で囲まれます）を押します。
- ボタンの名称はサイトによって異なります。

お知らせ

- ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、入力欄のそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモなどには反映されません。

Flash機能

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを表示できます。また、Flashを利用した画像（Flash画像）をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に設定することもできます。
Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、表示・効果設定の登録データ利用設定を「利用する」に設定してください。お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、画像が利用する登録データには次のものがあります。

- 電池残量
- 受信レベル
- 時刻情報
- 着信音量設定
- バイリンガル設定
- 機種情報

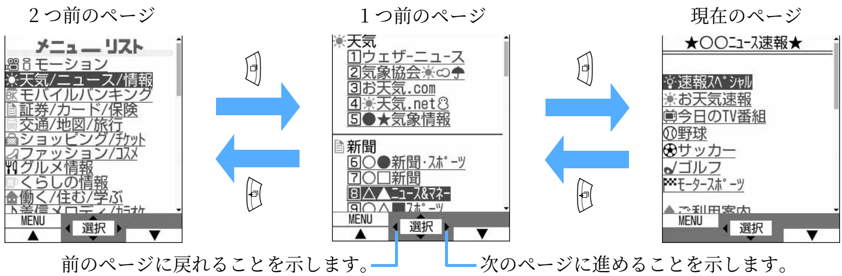
Flash画像について

- 表示・効果設定の画像を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像は表示されません。
- Flash画像を利用したサイトでは、通常のサイトと操作は同じですが、表示が異なる場合があります。
- Flash画像によっては、画面メモや画像保存をしても画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたが異なる場合があります。
- 待受画面や着信画面に設定されたFlash画像のメロディは再生されません。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては、マルチカーソルキー表示の有無によらず、Flash画像の操作ができない場合があります。
- Flash画像をもう一度動作させる場合は、[MENU][9][6]を押してください。
- Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量は電話着信音の音量設定に従います。効果音を鳴らさない場合は、[MENU][9][3]を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください。
- Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させる場合があります。バイブレータ設定を「OFF」に設定しても振動しますのでご注意ください。
- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生するには、[1]～[0]、[*]、[#]、[☎]、[▲]、[▼]、[◀]、[📷]、[i]、サイドキー［▲▼］のいずれかのキーを押してください。
- 再生中に他の画面に切り替えた場合、もう一度表示するとFlash画像の先頭から再生されます。

前のページに戻る／進む

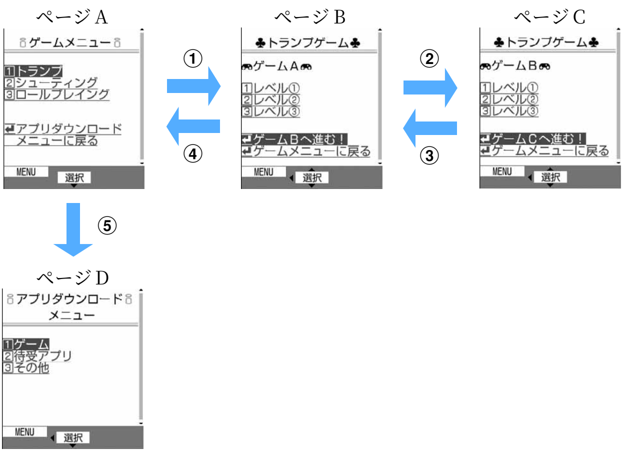
FOMA端末は、ページの履歴を最大20件記録しています。これにより前のページに戻ったり、次のページに進んだりできます。このように、表示したインターネットホームページなどの履歴を一時的に記録する端末内の場所のことを「キャッシュ」といいます。◁▷を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。
ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは、◁▷を押すと通信を行います。

・FirstPassセンター接続中（→P232）は本機能を利用できません。



お知らせ

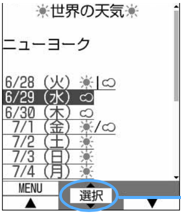
・ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが、さらにページBには戻れません。



・サイトの表示履歴が満杯になると、キャッシュに保存されている履歴が消去される場合があり、これによって◁を押しても前ページに戻れないことがあります。
・履歴が削除されたページをもう一度表示する場合や、最新情報を読み込むように設定されたページを表示する場合は、再び通信が行われ新しいページが表示されます。ただし、表示するページによっては履歴が記録されていても通信を行う場合があります。
・入力した文字や設定などの情報はキャッシュに記録されません。
・ｉモードを終了すると、キャッシュに記録された履歴はすべて消去されます。
・Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。

画面をスクロールする

サイトやインターネットホームページ、受信メールやメッセージR/Fなどの内容を表示中に、画面を上下にスクロールします。



すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目が選択できるときは▲や▼が表示されます。

- を押してスクロールします。押し続けると連続スクロールできます。
- を押すと画面単位でスクロールします。押し続けると画面単位で連続スクロールできます。

情報を再読み込みする

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中に を押す

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

お知らせ

- 接続が中断されるなどしてサイトが表示できなかった場合、操作1で再読み込みを行うとページを表示できることがあります。

URLを表示する

表示中のサイトのURLを表示します。

1 サイトを表示して を押す

お知らせ

- URL履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、を押し、「URL表示」を選択します。

マイメニュー

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。

- マイメニューには最大45件登録できます。
- マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要です。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していたマイメニューの内容は引き継がれます。ただし、サイトによっては、FOMAにマイメニューが引き継がれないものもありますので、その場合は再登録が必要です。なお、マイメニュー引継対応サイトについては、ｉMenuのお知らせ＆ヘルプで確認できます。→P197
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。
- ｉモードのサイトでも、マイメニューに登録できないものもあります。

マイメニューに登録する

1 **サイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択する**

- 各サイトによりページ構成が異なります。該当する番号のキーを押すか、該当する項目を選択してください。

2 **ｉモードパスワード欄を選択し、ｉモードパスワードを入力する**

入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

3 **「決定」を選択する**

マイメニューからサイトを表示する

1 **ｉMenuで「1マイメニュー」を選択する**

2 **表示するサイトを選択する**

ｉモードパスワード変更

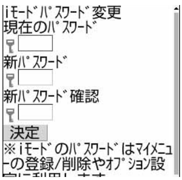
ｉモードパスワードを変更する

マイメニューの登録または削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込みまたは解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- ｉモードパスワード欄には、4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ドコモショップなどの窓口において運転免許証などの公的証明書によりご契約者本人であることを確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 **ｉMenuで「8オプション設定」を選択し、「2ｉモードパスワード変更」を選択する**

2 **現在のパスワード欄を選択し、ｉモードパスワードを入力する**



3 **新パスワード欄を選択し、新しいｉモードパスワードを入力する**

4 **新パスワード確認欄を選択し、操作3で入力したｉモードパスワードを入力する**

5 「決定」を選択する

ｉモードパスワードが変更されます。

- 入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択してｉモードパスワードの設定画面に戻り、操作２から操作し直します。

インターネット接続

インターネットホームページを表示する

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。接続する際は、インターネットホームページのアドレス（URL）で指定します。

- ｉモードに対応していないインターネットホームページは正しく表示されない場合があります。

1 待受画面で [i] [3] [1] を押す

- ２回目からは前回接続したURLが表示されます。

2 URLを入力し、[i] を押す

- 半角で最大256文字入力できます。
- URLによく使う「／」「．」「-」などの記号は、英字入力モード時に [1] を押して入力します。また、「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などは、英字入力モード時に [*] を押して入力できます。

お知らせ

- サイト表示中にインターネット接続の操作をする場合は [MENU] を押し、「Internet」→「URL入力」を選択します。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトと同じです。
- 受信データが１ページの最大サイズを超えたときは、メッセージが表示されます。[Clear] を押すとメッセージが消え、受信できた分のデータが表示されます。

URL履歴を使って表示する＜URL履歴＞

FOMA端末は、接続したインターネットホームページのURLを記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

- URL履歴は最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 待受画面で [i] [3] [2] を押す

2 表示するインターネットホームページのURLを選択する

- URLが途中までしか表示されていないときは、URLにカーソルを合わせて [i] を押すと表示できます。

■ URL履歴を削除するとき

①**削除するURLにカーソルを合わせ、[MENU] [4] [1] を押す**

- すべてのURLを削除するときは [MENU] [4] [2] を押し、認証操作を行います。

②**「はい」を選択する**

お知らせ

- サイト表示中に操作する場合は [MENU] を押し、「Internet」→「URL履歴」を選択します。

文字を正しく表示する<文字コード>

文字コードとは、文字をコンピュータで利用できるようにするために作られた文字の番号体系のことです。FOMA端末でサイトやインターネットホームページを表示する際に、文字を正しく表示させるためには、文字コードが一致している必要があります。サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。

1　サイトやインターネットホームページ表示中に[MENU][9][5][1]を押す

- [MENU][9][5][1]を押すたびに文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。

お知らせ

- 操作1を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。
- 文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

同じサイトの同じページを頻繁に見るときは、ブックマークに登録しておくと便利です。登録したブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示できます。

- 最大登録件数→P573
- ブックマークに登録できるのはURL文字数が半角で256文字までのサイトです。最大文字数を超えるサイトはブックマークに登録できません。
- サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

ブックマークに登録する

1　ブックマークに登録するサイトを表示し、[MENU][2][1]を押す

2　登録先フォルダを選択する

- ブックマークは20個のフォルダに分類できます。

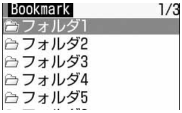
お知らせ

- サイト表示中にURL履歴からブックマーク登録するときは[MENU]を押し、「Internet」→「URL履歴」を選択してURL履歴一覧を表示します。登録するURLにカーソルを合わせて[MENU]を押し、「Bookmark登録」を選択します。
- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL履歴一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「Bookmark登録」を選択します。
- ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は上書きするブックマークを選択してください。
- すでに同じURLが登録されているときは、ブックマークを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択し、[ ]を押します。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1　待受画面で[i][2]を押す

2 フォルダを選択する



- マークの意味は次のとおりです。
  - ：ブックマークなし
  - ：ブックマークあり

3 表示するブックマークを選択する

- マークの意味→P213 操作3

■ URLを確認するとき

URLを確認するブックマークにカーソルを合わせ、を押す

お知らせ

- サイト表示中に操作する場合はを押し、「Bookmark」→「表示」を選択します。

ブックマークのフォルダ名を変更する

1 待受画面でを押す

2 フォルダ名を変更するフォルダにカーソルを合わせ、を押す

3 フォルダ名を入力し、を押す

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

ブックマークのタイトルを変更する

- 登録されているブックマークのURLを変更する操作ではありません。

1 待受画面でを押し、フォルダを選択する

2 タイトルを変更するブックマークにカーソルを合わせ、を押す

3 タイトルを変更し、を押す

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧にはURLが表示されます。
- ブックマーク一覧では、タイトルまたはURLが全角で10文字、半角で21文字まで表示され、ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

少ないキー操作でサイトに接続する<ツータッチ登録>

ブックマークをツータッチ登録すると、待受画面からすばやくサイトやインターネットホームページを表示できます。

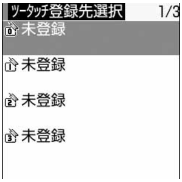
ツータッチ登録をする

1 待受画面でを押し、フォルダを選択する

2 ツータッチ登録するブックマークにカーソルを合わせ、[MENU][2] を押す

- 解除するときは、解除するブックマークにカーソルを合わせ、[MENU][2] を押します。

3 登録先を選択する



アイコンの番号（[0]～[9]）が、サイト表示に使用するキー（[0]～[9]）に対応しています。登録するキーの番号を選択してください。

- ブックマーク一覧で、登録されたブックマークのマークが から[0]～[9]に変わります。

お知らせ

- 待受画面で [iモード][8][1] を押すと、ツータッチ登録されているブックマーク一覧が表示されます。ブックマークにカーソルを合わせて [MENU][1] を押し、「はい」を選択するとツータッチ登録を解除できます。

ツータッチでサイトを表示する<ツータッチサイト表示>

1 待受画面でツータッチ登録した番号のダイヤルキー（[0]～[9]）を押し、[iモード] を押す

■ **ツータッチサイト一覧からサイトを表示するとき**

①待受画面で [iモード][8][1] を押す
②ブックマークを選択する

ブックマークを削除する

ブックマークを1件ずつ削除したり、フォルダ内のブックマークをまとめて削除したり、すべてのブックマークをまとめて削除したりできます。

- ブックマークのフォルダは削除できません。

1 待受画面で [iモード][2] を押し、フォルダを選択する

■ **ブックマークを全件削除するとき**

①フォルダ一覧で [MENU][2] を押す
②認証操作を行い、操作3に進む

■ **フォルダ内のブックマークを全件削除するとき**

①フォルダにカーソルを合わせ、[MENU][1] を押す
②認証操作を行い、操作3に進む

2 削除するブックマークにカーソルを合わせ、[MENU][3][1] を押す

■ **ブックマークを複数選択して削除するとき**

①[MENU][3][2] を押し、ブックマークを選択する
- [●] で選択 ☑ と解除 ☐ が切り替わり、[MENU] で全選択または全解除できます。

②[完了] を押す

■ **フォルダ内のブックマークを全件削除するとき**

①[MENU][3][3] を押す
②認証操作を行い、操作3に進む

iモード

次ページへ続く

3 「はい」を選択する

お知らせ

- ツータッチ登録されているブックマークを削除すると、ツータッチ登録も解除されます。

ブックマークを移動／コピーする

保存されているブックマークを別のフォルダに移動したり、miniSDメモリーカードにコピーしたりできます。また、赤外線通信を利用してブックマークを赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに送信できます。

〈例〉ブックマークを1件移動するとき

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 移動するブックマークにカーソルを合わせ、 を押す

■ 複数選択して移動するとき

① を押し、ブックマークを選択する

- で選択☑と解除☐が切り替わり、 で全選択または全解除できます。

② を押す

■ miniSDメモリーカードへ1件コピーするとき

① を押す

②「はい」を選択する

■ miniSDメモリーカードへバックアップ（全件）するとき

① を押す

② 認証操作を行い、「はい」を選択する

3 移動先のフォルダを選択する



ブックマークを並べ替える<ソート>

ブックマーク一覧の並び順（「アクセス日付順」）を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象です。

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 を押し、 ～ を押す



iモード

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

お知らせ

- ブックマークの表示を終了すると、並び順は「アクセス日付順」に戻ります。
- タイトルに全角や半角、英字、漢字、タイトルがなくURL表示になっているものが混在していると、「タイトル名順」の並び順の結果が50音順にならない場合があります。

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。

- 最大保存件数→P573

画面メモを保存する

- 保存できる画面メモのファイルサイズは、画面内の画像などを含め1件あたり最大100Kバイトです。

1 画面メモとして保存するサイトを表示し、MENU 4 1 を押す

- サイトのタイトルが自動的に保存されます。タイトルがない場合は「無題」として保存されます。

お知らせ

- 画面メモの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されている画面メモを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。画面メモを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまで画面メモを削除してください。
  - 保護されている画面メモは上書きできません。

画面メモを表示する

1 待受画面で iα 4 を押す

2 表示する画面メモを選択する

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：通常の画面メモ
  - ：保護されている画面メモ
- 画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。→P205

お知らせ

- サイト表示中に操作する場合は MENU を押し、「画面メモ」→「表示」を選択します。
- 画面メモ表示中にもう一度Flash 画像を動作させるときは、MENU を押し、「表示」→「リトライ」を選択します。

画面メモのタイトルを変更する

1 待受画面で iα 4 を押す

2 タイトルを変更する画面メモにカーソルを合わせ、A/a を押す

iモード

3 タイトルを変更し、[memo-key]を押す

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧には「無題」と表示されます。

お知らせ

- 画面メモ表示中にタイトルを変更する場合は[MENU]を押し、「タイトル変更」を選択します。

画面メモを保護する

画面メモを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→P573

〈例〉画面メモを1件保護するとき

1 待受画面で[i][4]を押す

2 保護する画面メモにカーソルを合わせ、[MENU][1][1]を押す

- 画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが から に変わります。

■ 複数選択して保護するとき

① [MENU][1][2]を押し、画面メモを選択する

- [ ]で選択☑と解除□が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。ただし、最大保護件数を超える場合は全選択できません。

② [memo-key]を押す

■ 保護を1件解除するとき

保護を解除する画面メモにカーソルを合わせ、[MENU][1][3]を押す

■ 保護を複数選択して解除するとき

① [MENU][1][4]を押し、画面メモを選択する

- [ ]で選択☑と解除□が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

② [memo-key]を押す

■ 保護を全件解除するとき

[MENU][1][5]を押す

お知らせ

- データ一括削除を行うと保護した画面メモもすべて削除されます。
- 画面メモ表示中に保護または解除する場合は[MENU]を押し、「保護」または「保護解除」を選択します。

画面メモを削除する

画面メモを1件ずつ削除したり、すべての画面メモをまとめて削除したりできます。

- 保護されている画面メモは削除できません。保護されている画面メモは全件削除しても削除されません。画面メモの保護を解除してから削除してください。

〈例〉画面メモを1件削除するとき

1 待受画面で[i][4]を押す

2 削除する画面メモにカーソルを合わせ、[MENU][2][1]を押す

■ 複数選択して削除するとき

①[MENU][2][2]を押し、画面メモを選択する
- [●]で選択☑と解除☐が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

②[i]を押す

■ 全件削除するとき

①[MENU][2][3]を押す
②認証操作を行う

3 「はい」を選択する

> **お知らせ**
> - 画面メモ表示中に画面メモを削除する場合は[MENU]を押し、「削除」を選択します。

画像保存

サイトから画像をダウンロードする

サイトやｉアプリなどから、画像やフレームなどをFOMA端末に保存します。保存した画像はマイピクチャから表示したり、待受画面などに設定したりできます。

- 保存できる画像のファイルサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- GIF形式、JPEG形式、Flash形式の画像を保存できます。
- 最大保存件数→P573

〈例〉サイトからダウンロードするとき

1 画像があるサイトを表示し、[MENU][6]を押す

2 保存する画像を選択する



保存する画像の枠

3 各項目を選択して設定する



- サイトからダウンロードした画像ファイルは、ファイル制限を変更できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限に「あり」と表示）は、表示名以外は変更できません。
- [MENU]を押すと画像の利用先一覧が表示され、待受画面などに設定できます。→P349
- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- ファイル名は半角英数字と「.」「-」「_」で最大36文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。
- コメントは全角・半角を問わず最大100文字入力できます。
- フレーム候補、スタンプ候補を設定する場合は、設定する項目を選択し、[1]または[2]を押します。

4 [i]を押し、保存先を選択する

お知らせ

- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像ファイルによっては選択できない項目があります。
- すでに保存している画像と同じ表示名、ファイル名で画像を保存できます。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式で640×480、JPEG形式で1224×1632より大きい画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合もあります。
- 横縦（または縦横）のサイズが352×288より大きい画像はフレーム候補にできません。
  横縦（または縦横）のサイズが240×320より大きい静止画はスタンプ候補にできません。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されている画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末内の画像を削除してください。
  - 削除する前に、画像一覧で を押すと画像を表示し、 を押すと画像の詳細情報を表示できます。

iメロディ

サイトからメロディをダウンロードする

サイトからメロディをダウンロードし、FOMA端末に保存します（iメロディ対応）。保存したメロディを再生したり、着信音に設定したりできます。

- 保存できるメロディのサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。
- 最大保存件数→P573

1 メロディのあるサイトを表示し、ダウンロードするメロディを選択する

- ダウンロード中に を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択する

- メロディを再生して確認するには、「再生」を選択します。
- メロディを保存しないときは、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。

3 を押す

ダウンロードしたメロディは、メロディ内の「 モード」フォルダに保存されます。→P376

- 表示名は全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

お知らせ

- メロディによっては正しく再生できない場合があります。
- マナーモード中のメロディ再生時には、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、電話着信音量調整で設定されている音量で再生されます。
- メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末内のメロディを削除してください。
  - 削除する前に、メロディ一覧で を押すとメロディを再生し、 を押すとメロディの詳細情報を表示できます。

サイトからPDFデータをダウンロードする

サイトからPDFデータをダウンロードし、表示したり、保存したりします。

- 保存できるPDFデータのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
- 最大保存件数→P573

1 PDFデータのあるサイトを表示し、ダウンロードするPDFデータを選択する

- ダウンロード中にを押すと、ダウンロードを中止します。
- PDFデータ表示中の操作方法→P414 操作4
- 部分的にダウンロードしたPDFデータの残りをダウンロードする場合は、を押します。

■ PDFデータにパスワードが設定されているとき

パスワードの入力画面が表示されます。

①**を押し、パスワードを入力する**

- 入力方式を英字に切り替えるにはを、数字に切り替えるにはを押します。

②**を押す**

2 を押す



- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

3 を押す

4 保存先を選択する

- ガイド行に「miniSD」が表示された場合にを押すと、miniSDメモリーカードに保存できます。
- すべてのページをダウンロードしていなくても、ダウンロードしたところまで保存されます。

お知らせ

- 次のPDFデータをダウンロードしようとすると、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。
  - 500Kバイトより大きいPDFデータ
  - 正しく表示できない可能性のあるPDFデータ
- 2Mバイトより大きいPDFデータをダウンロードしようとした場合、最大サイズを超えているためダウンロードできない旨のメッセージが表示され、ダウンロードできません。なお、サイズが不明の場合は2Mバイトまでダウンロードして表示されます。
- 同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、しおりやマークの内容が異なるときは、異なるしおりやマークが追加で保存されます。ただし、しおりやマークの合計がそれぞれ10件を超えると、最大登録件数を超えている旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従い登録可能件数になるまでしおりやマークを削除してください。
- 同じPDFデータをもう一度ダウンロードして保存する場合、PDFデータによっては、PDFデータを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択します。
- PDFデータの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、FOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存されているPDFデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。PDFデータを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまでPDFデータを削除してください。miniSDメモリーカード内のPDFデータを削除するときはネットワークが切断されます。
  - 削除する前に、PDFデータ一覧でを押すとPDFデータの詳細情報を表示できます。

次ページへ続く

・ を押してダウンロードを中止したり、通信が切断されたりして、途中までしか保存していないPDFデータは、保存先の一覧画面に で表示されます。マークを選択するともう一度ダウンロードが開始され、ダウンロードに成功するとPDFデータが表示されます。ただし、PDFデータによっては再ダウンロードや表示ができない場合があります。

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからキャラ電をダウンロードしてFOMA端末に保存します。保存したキャラ電はテレビ電話で自分の画像の代わりに送信したり、待受画面に設定したりできます。

・保存できるキャラ電のサイズは1件あたり最大100Kバイトです。

・最大保存件数→P573

1 キャラ電のあるサイトを表示し、ダウンロードするキャラ電を選択する

・ダウンロード中に を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択する

・キャラ電を表示して確認するには、「表示」を選択します。

・キャラ電を保存しないときは、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。

3 を押す



ダウンロードしたキャラ電は、キャラ電内の「 モード」フォルダに保存されます。→P369

・表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

・コメントは全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

お知らせ

・キャラ電の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されているキャラ電を削除するかどうかの確認画面が表示されます。キャラ電を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末内のキャラ電を削除してください。
  - 削除する前にキャラ電削除画面で を押してキャラ電を表示したり、 を押してキャラ電の詳細情報を表示したりできます。

・キャラ電撮影中にマルチタスクを利用してサイトからキャラ電をダウンロードした場合は保存できません。キャラ電の撮影を終了して保存してください。

・お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、「@ Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P318

ｉモードの便利な機能

表示中の画面に電話番号やメールアドレス、URLがあるとき、これらを選択して音声電話またはテレビ電話をかけたり（Phone To／AV Phone To）、ｉモードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。また、これらの情報を電話帳に登録することもできます。

・サイトによっては、利用できない機能があります。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

1 **サイトを表示し、電話番号、メールアドレス、URLにカーソルを合わせる**

- 反転表示される電話番号、メールアドレス、URLのみ選択できます。

2 **□を押す**

■ Phone To（AV Phone To）のとき

①カスタム発信の各項目を選択し、発信条件を設定する
②MENUを押し、「はい」を選択する
設定した内容で電話がかかります。

■ Mail Toのとき

ｉモードメールを作成し、送信する
選択したメールアドレスにｉモードメールが送信されます。
- ｉモードメールの作成・送信方法→P245

■ Web Toのとき

サイトに接続されます。

> **お知らせ**
> - 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。

URLをコピーする

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
- コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーすると、直前にコピーした文字は上書きされます。

〈例〉サイトのURLをコピーするとき

1 **サイトのURLを表示し、MENU 1 を押す**

2 **コピーする範囲の開始位置を選択し、終了位置を選択する**

- 開始位置を指定する前にMENUを押すと全文が選択されます。
- 開始位置を指定し直すときはクリアを押します。
- 開始位置指定後にMENUまたは□を押すとカーソルが文頭、または文末に移動します。

3 **貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける**

- 文字の貼り付け方法→P521

> **お知らせ**
> - URL履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合はMENUを押し、「URLコピー」を選択します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。
> - 表示中のサイトのURLをメールにコピーするには、サイト表示中にMENUを押し、「メール作成」を選択します。表示中のサイトのURLが本文に貼り付けられてメール作成画面が表示されます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスを電話帳に新規に登録したり、登録済みの電話帳データに追加したりできます。

• サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。

〈例〉サイト画面に表示されている電話番号やメールアドレスを新規登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

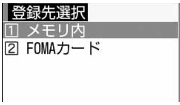
• 反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

2 登録する電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせ、[MENU][8][1]を押す

■ 登録済みの電話帳データに追加するとき

登録する電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせ、[MENU][8][2]を押す

3 [1]または[2]を押す



■ 登録済みの電話帳データに追加するとき

[1]または[2]を押し、更新する電話帳データを選択する

4 名前などを設定して登録する

• 登録済みの電話帳データに追加した場合は、内容を確認して登録してください。

• 電話帳の登録方法→P97、P101

お知らせ

• 登録済みの電話帳データに追加すると、以前に登録した内容が変更される場合があります。

• 画面メモ表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「電話帳」を、メッセージR/F詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「登録」を選択します。

• プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、認証操作が必要です。

URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧からURLを電話帳に新規に登録したり、登録済みの電話帳データに追加したりできます。

〈例〉ブックマーク一覧から新規登録するとき

1 待受画面で[iα][2]を押し、フォルダを選択する

2 登録するブックマークにカーソルを合わせ、[MENU][8][1]を押す

■ 登録済みの電話帳データに追加するとき

①登録するブックマークにカーソルを合わせ、[MENU][8][2]を押す

②更新する電話帳データを選択する

3 名前などを設定して登録する

• [◁][▷]を押して「その他」の画面を表示するとURLが確認できます。

• 登録済みの電話帳データに追加した場合は、内容を確認して登録してください。

• 電話帳の登録方法→P97

お知らせ

- 画面メモ一覧から操作する場合は [MENU] を押し、「電話帳」を選択します。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、認証操作が必要です。

iモード設定

iモードの設定を行う

iモード接続に関する各種機能を設定します。

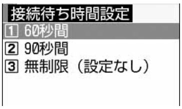
接続待ち時間を設定する＜接続待ち時間設定＞

お買い上げ時	60秒間

iモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続が中断されるため、キー操作で中断する必要はありません。

1 待受画面で [i] [8] [2] を押す

2 [1]～[3] を押す



お知らせ

- 「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりiモードセンターとの接続が中断される場合があります。

iモードから接続先を変更する＜ISP接続通信＞

お買い上げ時	[FOMAカード] モード（FOMAカード）

※ドコモのiモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは

ドコモのiモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続ができます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

- ISP接続を行った際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。
- 通信中は接続先を設定、変更できません。

※ ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号がサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。

次ページへ続く

1　待受画面で［i］［8］［3］を押す

2　編集するユーザ設定にカーソルを合わせ、［MENU］を押す

- ｉモード契約時の接続先は、ご契約いただいた地域により異なります。

■ ｉモードを利用する設定に戻すとき

「［i］モード（FOMA カード）」を選択して操作 6 に進む

■ 以前に設定した接続先に変更するとき

接続先を選択して操作 6 に進む

3　認証操作を行う

4　各項目を選択して入力し、［□］を押す

- 接続先名称は全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字入力できます。
- 接続先は半角英数字で最大 99 文字入力できます。
- 接続先アドレスは半角英数字で最大 30 文字入力できます。
- ［MENU］を押すと、すでに入力した項目の内容を一括削除できます。

5　編集した接続先を選択する

6　［□］を押す

画像表示／照明／効果音を設定する<表示・効果設定>

お買い上げ時	画像、アニメーション：表示する　登録データ利用設定：利用する 照明設定：常灯　効果音設定：ON

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像や照明、効果音（Flash再生時）を設定します。

1　待受画面で［i］［9］［1］を押す

2　各項目を選択して設定する

画像　：画像を表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、アニメーション、登録データ利用設定は設定できません。

アニメーション
：アニメーションを表示するかどうかを設定します。

登録データ利用設定
：Flash画像を表示するときにFOMA端末内の登録データを利用するかどうかを設定します。

照明設定　：ディスプレイの照明方法を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従います。
- 「常灯」に設定すると、サイトなどの表示中はディスプレイの照明が常時点灯します。

効果音設定：Flash効果音を再生するかどうかを設定します。

3　［□］を押す

お知らせ

- サイト表示中に操作する場合は MENU を押し、「表示」→「表示・効果設定」を選択します。
- 画像を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。
- 画像を「表示しない」に設定すると、画像もFlash画像も表示されません。画像の位置に ▲ が表示されます。
- 画像を「表示しない」に設定すると、ｉモードメールにWeb To機能を使用して添付されてきた画像の保存や表示もできなくなります。
- アニメーションを「表示しない」に設定すると、アニメーションの最初のコマが表示されます。なお、「表示しない」に設定してもFlash画像は再生されます。
- 画像の設定は、メッセージR/Fの本文に組み込まれている画像の表示／非表示にも反映されます。この設定は、添付ファイルとして添付されている画像の表示／非表示には影響しません。また、効果音設定のON／OFFもメッセージR/Fには影響しません。
- 登録データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量設定、バイリンガル設定、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

サイトの表示色を設定する<表示色設定>

お買い上げ時	文字／背景、リンク色：指定しない

サイトや画面メモの内容を表示するときの表示色を設定します。

1 待受画面で i 9 2 を押す

2 文字／背景を選択し、1 を押す



文字／背景：文字色と背景色を指定するかどうかを設定します。
- 「指定しない」に設定すると、文字色、背景色は設定できません。

リンク色：リンク色を指定するかどうかを設定します。
- 「指定しない」に設定すると、未表示、表示済、選択時は設定できません。

- 文字色と背景色を指定しないときは 2 を押し、操作5に進みます。

3 文字色を選択し、色を選択する



- 表示例が選択されている色で表示されます。
- 文字色の初期設定は黒です。
- 16色から選択できます。

4 背景色を選択し、色を選択する

- 背景色の初期設定は白です。
- 16色から選択できます。

5 操作2～4と同様にリンク色を設定する

- リンク色の初期設定は、未表示が「青」、表示済が「赤」、選択時が背景色と同色です。

6 [家] を押す

iモード

次ページへ続く

お知らせ

- 表示済に設定した色は、リンク先の画面が履歴に記録されている間だけ有効です。記録が消えると未表示の色になります。
- 色を設定すると、サイトによっては文字が見えにくくなったり、見えなくなったりする場合があります。その場合は色の設定を変更してください。

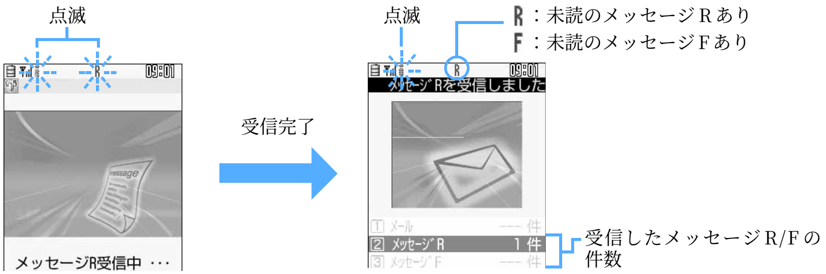
メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

- 最大保存件数→P573

1 メッセージR/Fを受信する



メッセージRを受信したときは と R が、メッセージFを受信したときは と F が点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。

メッセージR/F着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。

- メッセージ受信中画面で を押すと受信を中止します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P28
- 自動表示設定で設定したメッセージを受信した場合は、受信結果画面が表示されてから何も操作しないでいると、受信前の画面に戻る前に、未読メッセージR/Fの内容が表示されます。自動表示設定で設定されていないメッセージや「表示しない」に設定してメッセージを受信した場合は、受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないでいると自動的に受信前の画面に戻ります。それより前に受信前の画面に戻すときは クリア を押します。

■ 受信に失敗したとき

受信結果画面の「メッセージR」「メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。

お知らせ

- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。メッセージR/Fを受信する場合は、ｉモード問合せを行ってください。
  - 電源がOFFのとき
  - テレビ電話中
  - セルフモード中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古いものから順に上書きされます。ただし、未読のメッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fには上書きされません。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には R や F が表示されます。→P25

・ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは や (→P25）が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが や に変わります。
　ｉモードセンターの保管件数→P201
・途中で受信に失敗した場合などにメッセージR/Fを受信し直すには、メッセージR/Fのｉモード問合せを行ってください。ただし、メッセージR/Fが最大保存件数を超えたときは、未読メッセージR/Fの内容を表示したり、不要メッセージR/Fを削除したり、保護を解除したりする必要があります。

新着メッセージR/Fを表示する

1 メールやメッセージの受信結果画面で 2 または 3 を選択する



・1 を選択するとｉモードメールが表示されます。
・受信したメッセージRは「メッセージR」フォルダ、メッセージFは「メッセージF」フォルダに保存されます。

2 メッセージR/Fを選択する

・メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定することもできます。
・メッセージR/Fの見かた→P229

メッセージR/Fを自動的に表示する＜自動表示設定＞

お買い上げ時	メッセージR優先

メッセージR/Fを受信したときに、未読のメッセージR/Fの内容を自動的に表示できます。
メッセージRとメッセージFを両方受信したときに、どちらを優先して表示するかも設定できます。

1 待受画面で iα 7 3 1 を押す

2 1 ～ 4 を押す

・自動的に表示しないときは、5 を押します。

お知らせ

・自動表示設定をすると、メッセージR/Fの受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容が自動表示されます。
・メッセージR/Fの内容は約15秒間表示されます。自動表示中にキー操作をしなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
・待受画面表示中の場合のみ自動表示できます。受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作をした場合や、ｉモード問合せでメッセージR/Fを受信した場合は、自動表示されません。
・マルチタスク中は自動表示できません。

メッセージR/F着信時の動作を設定する＜メッセージ着信設定＞

お買い上げ時	着信音選択：メロディ／着信音1　着信イルミネーション設定：点滅／アクア バイブレータ設定：OFF　鳴動時間：10秒

1 待受画面で iα 7 3 4 を押す

2 1 または 2 を押す

3 各項目を選択して設定する

着信音選択　：「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。
- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。
  メロディ一覧の見かた→P376
  動画／ｉモーション一覧の見かた→P360

着信イルミネーション設定
：着信ランプの点灯または点滅パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると色は選択できません。

バイブレータ設定：バイブレータの動作パターンを設定します。
- バイブレータのパターン→P121

鳴動時間（秒）　：着信音が鳴る時間を１～30秒の間で設定します。

- メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作については、「FOMA端末から鳴る着信音を変える」のお知らせを参照してください。→P119

4 を押す

お知らせ

- メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定しても連動しない場合があります。
- メッセージ着信設定は着信音設定と連動しているため、本機能でメッセージR/Fの着信音を変更した場合は着信音設定も同様に変更されます。

メッセージR／メッセージF

保存されているメッセージR/Fを表示する

FOMA端末に保存されているメッセージR/Fを表示します。

- 未読のメッセージR/Fがあるときは待受画面に R または F が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに R または F が表示されます。

〈例〉メッセージRを表示するとき

1 待受画面で を押す

- メッセージFを表示するときは、 を押します。

2 表示するメッセージRを選択する

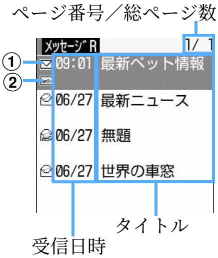
お知らせ

- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、着信音量調整で設定されている音量でメロディが自動的に再生されます。再生を途中で停止させるときは を押します。
- 本文中に画像が組み込まれている場合は画像が表示されます。
  - 画像をFOMA端末に取得できます。操作方法はサイトからの画像の保存と同じです。
  - 画像を受信できなかったときは、受信し直せます。→P229
  - 画像を受信できなかったときはマークが表示されます。マークはサイトで画像を表示できなかった場合と同じです。→P203
  - 本文中の画像は削除できません。

メッセージ一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージＲとメッセージＦの画面の見かたは同様です。

メッセージ一覧画面の見かた



- マークの意味は次のとおりです。
  - ① **状態マーク**
    ：未読　　：既読　　：保護
  - ② **添付マーク**
    ：画像　　：画像＋メロディ
    ：メロディ　　：ファイル異常
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

メッセージ詳細画面の見かた



- マークの意味は次のとおりです。
  ：受信日時　　：タイトル
- を押すと前後のメッセージR/Fを表示できます。

お知らせ

- 詳細画面から電話番号やメールアドレスを選択して電話帳に登録したり、URLを選択してブックマークに登録したりできます。→P211、P222
- 詳細画面中の電話番号やメールアドレス、URLから電話をかけたり、ｉモードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。→P221
- 添付ファイルがある場合、詳細画面にマークと添付ファイル名、ファイルサイズなどが表示されます。
  - 添付ファイルの操作方法はｉモードメールと同じです。

種　類	マーク	参照先
画像	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：画像データ異常	P267
メロディ	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：メロディデータ異常	P270

メッセージR/F内の画像を再読み込みする＜再読込み＞

メッセージR/Fの本文中に未受信の画像があるときに、画像を受信し直します。

- 表示・効果設定で画像を「表示しない」に設定しているときは、再読み込みを行っても画像は受信できません。画像を受信したいときは「表示する」に設定してください。→P224
- 画像によっては再読み込みを行っても表示できない場合があります。

1 **メッセージR/F一覧を表示する**

2 メッセージR/Fを選択する

- ▲は未受信の画像データがあることを示します。

3 MENU 1 を押す

画像が読み込まれます。

メッセージR/Fを保護する<メッセージ保護>

メッセージR/Fを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→P573
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。

〈例〉メッセージR/Fを1件保護するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する

2 保護するメッセージR/Fにカーソルを合わせ、MENU 2 1 を押す

メッセージR/Fが保護され、状態マークが✉から✉に変わります。

■ 複数選択して保護するとき

①MENU 2 2 を押し、メッセージR/Fを選択する

- ◯で選択☑と解除☐が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。ただし、最大保護件数を超える場合は全選択できません。

②✉を押す

■ 保護を1件解除するとき

保護を解除するメッセージR/Fにカーソルを合わせ、MENU 2 3 を押す

■ 保護を複数選択して解除するとき

①MENU 2 4 を押し、メッセージR/Fを選択する

- ◯で選択☑と解除☐が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。

②✉を押す

■ 保護を全件解除するとき

MENU 2 5 を押す

お知らせ

- データ一括削除を行うと保護したメッセージR/Fもすべて削除されます。
- メッセージR/F詳細画面から保護または解除する場合は MENU を押し、「保護」または「保護解除」を選択します。

メッセージR/Fを削除する<メッセージ削除>

メッセージR/Fを1件ずつ選択して削除したり、複数選択して削除したり、既読のメッセージR/Fやすべてのメッセージ R/F をまとめて削除したりします。

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。メッセージR/Fの保護を解除してから削除してください。

〈例〉1件削除するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する

iモード

2 削除するメッセージR/Fにカーソルを合わせ、MENU 1 1 を押す

■ 既読のメッセージR/Fのみを削除するとき

MENU 1 2 を押す

■ 複数選択して削除するとき

① MENU 1 3 を押し、メッセージR/Fを選択する

- ◯で選択☑と解除☐が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。

② ✉ を押す

■ 全件削除するとき

MENU 1 4 を押し、認証操作を行う

3 「はい」を選択する

お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から1件削除する場合は MENU を押し、「削除」を選択します。

表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ＜表示種別＞

メッセージR/F一覧に表示するメッセージR/Fの種別を選択します。

1 メッセージR/F一覧を表示する

2 MENU 3 を押す

3 1 ～ 4 を押す



選択した表示種別で表示されます。

お知らせ

- メッセージR/F一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」を選択すると、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

証明書を表示して有効／無効を設定する＜証明書表示／使用設定＞

お買い上げ時	CA証明書1～9 上記以外はFOMAカードの設定に従う

証明書を表示する

- ユーザ証明書はダウンロードすると、表示されます。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、ドコモ証明書、ユーザ証明書は表示されません。

1 待受画面で i 8 4 を押す

2 表示する証明書を選択する

- CA証明書 …認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
- ドコモ証明書…FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめ緑色のFOMAカード内に保存されています。
- ユーザ証明書…FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書です。FirstPassセンターで発行申請を行い、ダウンロードすると緑色のFOMAカード内に保存されます。

お知らせ

- 証明書の表示内容
  証明書の所有者
  CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  O= …（Organization）会社名など
  C= …（Country）国名
  証明書の発行者
  CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  OU= …（Organization Unit）会社の部署など
  O= …（Organization）会社名など
  有効期限
  シリアル番号
- 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

1 待受画面で i 8 4 を押す

2 設定する証明書にカーソルを合わせ、MENU を押す

- 押すたびに有効☑と無効□が切り替わります。

3 ⌂ を押す

チェックされている証明書が有効に設定されます。

FirstPassを設定する＜ユーザ証明書操作＞

FirstPassセンターに接続し、ユーザ証明書の発行申請をし、証明書のダウンロードを行います。

- 青色のFOMAカードではご利用になれません。
- 日付・時刻を設定していないとFirstPassセンターに接続できません。FirstPassセンターに接続する前に、日付・時刻の設定を行ってください。
- FirstPassセンター接続時の画面や操作方法は、変更される場合があります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

証明書の発行申請・証明書をダウンロードする

1 待受画面で i 8 5 を押す

2 「次へ」を選択する



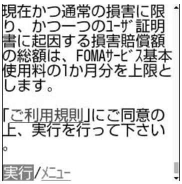
3 「証明書発行」を選択する



■ 発行された証明書を失効させるとき

① 「その他」を選択する
② 「証明書失効」を選択する
③ 「はい」を選択する
④ PIN2 コードを入力する
⑤ 「実行」を選択する
⑥ 「次へ」を選択する
⑦ 「実行」を選択する

4 「実行」を選択する

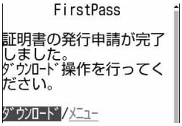


5 PIN2 コードを入力する

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

• 60秒以内にPIN2 コードを入力しないと発行申請はキャンセルされます。

6 「ダウンロード」を選択する



7 「実行」を選択する



完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

• ダウンロードされたユーザ証明書は、証明書一覧に追加されます。→P231

お知らせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色のFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。
- 添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、FirstPassを使った通信ができます。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassManual」を参照してください。「FirstPassManual」(PDF形式)を参照するには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証ができます。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
- PIN2コード入力後になされたすべての行為はお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に不正に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、ドコモショップなどの窓口でユーザ証明書の失効を行えます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関して保証するものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

iモード

証明書発行接続先を変更する＜証明書発行接続先設定＞

お買い上げ時	接続先：ドコモ

FirstPass以外のサービスを受けるときに、証明書発行の接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で [i] [8] [6] を押す

2 接続先を選択し、[2] を押す



- FirstPassに接続する設定に戻すときは、[1] を押し、操作5に進みます。

3 ユーザ設定接続先欄を選択し、接続先を入力する

- 半角英数字で最大99文字入力できます。

4 ユーザ設定初期画面URL欄を選択し、URLを入力する

- 半角英数字で最大100文字入力できます。

5 を押す

メール

メールの設定を行う

チャットメールを使う

SMS（ショートメッセージ）を使う

FOMA端末のメール機能について

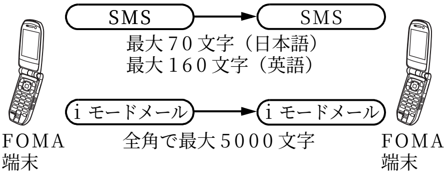
FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMSは、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

メール機能の送受信について

FOMA端末→FOMA端末

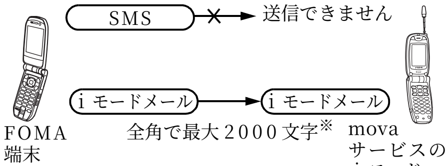
ｉモードメール、SMSのどちらも使用できます。



FOMA端末→movaサービスのｉモード端末

FOMA端末からmovaサービスのｉモード端末へのメッセージ送信にはｉモードメールを使用します。

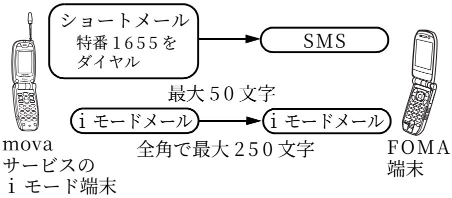
※ FOMA端末からはmova端末へSMSを送信できません。



※：movaサービスのｉモード端末の設定により異なります。

movaサービスのｉモード端末→FOMA端末

movaサービスのｉモード端末から送られたｉモードメールとショートメールを受信できます。ショートメールはSMSとして受信します。



※ ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA端末からはショートメールを送信できません。特番1655をダイヤルしても送信できません。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約すると、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。

ｉモードご契約時のメールアドレスは次のとおりです。

新規にｉモードをご契約の場合

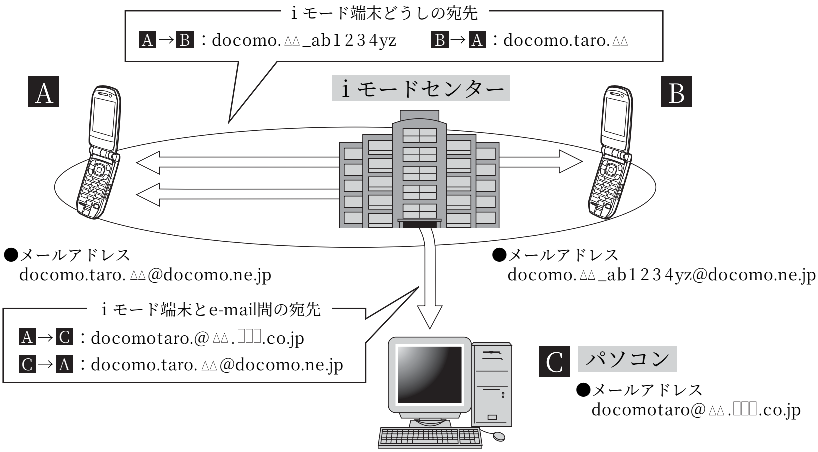
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっています。ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。

（例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

- **お客様のメールアドレスの確認方法**

  ｉMenu → 8 オプション設定 → 1 メール設定 → アドレス確認

- ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信できます。
- パソコンなどからFOMA端末にメールを送信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。



- メールの送信方法→P245　- メールの受信方法→P262　- 問い合わせ方法→P265

■ メールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信せずにｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。→P264

メール設定を行う

次の各種設定ができます。

設定方法
ｉMenu → 8 オプション設定 → 1 メール設定 → 【各設定】

- 詳しくは『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。

■ メールアドレスを変更する【アドレス変更】

たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの@マークより前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ シークレットコードを登録する【メールアドレス設定（その他設定）→シークレットコード登録】

「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードが付いたメール以外は受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ メールアドレスを電話番号にする（アドレスリセット）【メールアドレス設定（その他設定）→アドレスリセット】

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ メールアドレスを確認する【アドレス確認】

現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ メール受信／拒否設定

次のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。「ドメイン指定受信」「アドレス指定受信」「アドレス指定拒否」「ｉモードメールのみ受信」「ｉモードメールのみ拒否」は、同時に設定できません。

① **ドメイン指定受信【メール受信設定（受信／拒否設定）→ドメイン指定受信】**
- au、ボーダフォン、TU-KA、ウィルコムのうち、指定する会社からのメールを受信できます。
- 上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。
  ※NTT ドコモの i モード、i ショット、一定額到達通知サービス、e ビリング請求額お知らせメール、M-stage ビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② **アドレス指定受信／拒否**
【メール受信設定（受信／拒否設定）→ アドレス指定受信、アドレス指定拒否】
- 受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信または拒否します。

③ **i モードメールのみ受信／拒否**
【メール受信設定（受信／拒否設定）→ i モードメールのみ受信、i モードメールのみ拒否】
- i モードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）または拒否します。

④ **i モードメール大量送信者からのメール受信制限**
【メール受信設定（その他設定）→ i モードメール大量送信者からのメール受信制限】
- 1日に1台の i モード端末（mova 含む）から送信される 200 通目以降の i モードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤ **未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）→ 未承諾広告※メール拒否】**
- 受信者の同意なしに一方的に広告、宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信または拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角 6 文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

⑥ **SMS 拒否【メール受信設定（その他設定）→ SMS 拒否設定／確認】**
- すべての SMS または非通知 SMS のみを受信しないよう設定したり、設定の状況を確認したりできます。

■ メール設定状況を確認する【設定状況確認】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メールのサイズを制限する【メールサイズ制限】
サイズを指定して、受信する i モードメールを制限できます。

■ メール機能を停止する【メール機能停止】
メール機能を利用しない場合、メール機能を停止できます。

送受信できる文字数

i モードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15 文字	30 文字
メールアドレス	―	50 文字
本文	5000 文字	10000 文字

お知らせ
- i モードメールの本文は全角 5000 文字（10000 バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- mova サービスの i モード端末に i モードメールを送信する場合、本文として送信できるのは全角で最大 2000 文字です。また、i ショット、i モーションメールは URL が記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- 半角カタカナ、絵文字は i モード端末（mova 含む）どうしのみ使用できます。他の端末では正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合やｉモード圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。
ｉモードセンターに保管されたメールは、一定の時間をおいて3回再送されます。また、メール選択受信設定が「ON」のときは、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信できます。

お知らせ

- ｉモードセンターでのｉモードメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

最大保管件数	最大保管期間
207～1000件 （約2Mバイトまで）	720時間

- 保管期間が過ぎたｉモードメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、ｉモードメールのデータサイズにより異なります。最大保管件数を超えた場合、ｉモード端末にはまたはが表示されます。このときｉモードセンターではｉモードメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。
  ただし、メール選択受信設定が「ON」のときは、最大保管件数を超えてもまたはは表示されません。
- ｉモードセンターに保管されているｉモードメールは、ｉモード問合せやメール選択受信により受信できます。また新しいｉモードメールが届いたときは、保管されている他のｉモードメール、メッセージR/Fも合わせて受信できます。
- ｉモードメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。
- 極端に容量の大きいｉモードメールはｉモードセンターで受け付けない場合があります。

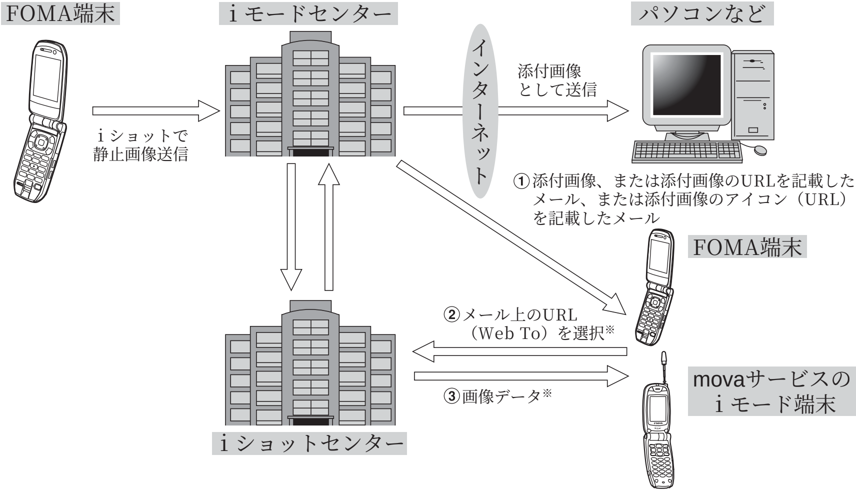
こんなこともできます

■ ファイル添付メール

- **メロディ添付メール**
  サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルをｉモードメールに添付して送受信できます。ただし、メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません。
  - 送信する→P255　　- 受信したとき→P270
- **画像添付メール**
  サイト、インターネットホームページまたは外部メモリから取り込んだ静止画ファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。ただし、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。
  - 送信する→P255　　- 受信したとき→P267

■ ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話との間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式、または画像閲覧用URL（またはアイコン）に画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。
movaサービスのｉモード端末に送信できるメール本文は、全角で最大184文字（369バイト）です。複数のファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ送信されます。
- 送信する→P255　　- 受信したとき→P262



※：添付画像のURLを記載したメールを受信した場合
- ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間を過ぎると自動的に削除されます。
- ｉモード端末が、送信できるのは最大500Kバイトまでの静止画です。20Kバイトより大きい画像を添付してｉモード端末に送信した場合、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

■ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画や、サイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末、パソコン、他社携帯電話との間で送受信できます。ただし、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません。

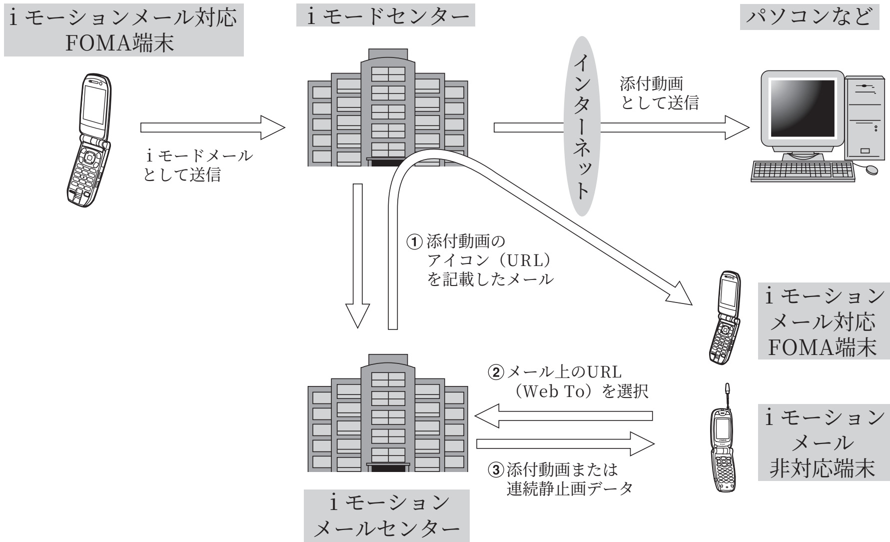
- 送信する→P255
- 受信したとき→P269

- **サービスのしくみ**

ｉモーションメールに添付された動画ファイルは、ｉモーションメールセンターに送信され、保存されます。送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。

ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを選択して動画を取得できます。

ｉモーションメール非対応端末に送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択し、連続静止画を取得します。



- ｉモーションメールセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間を過ぎると自動的に削除されます。
- ｉモーションメール対応端末が受信できるのは、最大500Kバイトまでの動画です。取得した動画は、ｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■ デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信できます。ただし、パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。
デコメールを非対応端末に送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択し、デコメールを閲覧できます。

- デコメール編集方法→P248
- デコメール送信方法→P248
- 対応機種･･･90Xiシリーズ、70Xiシリーズ、F880iES※
  ※：F880iESは受信のみ対応

■ メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。→P247

お知らせ

- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。

■ CC、BCC送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTO、CC、BCCから選択できます。
ただし、TOが1件もないメールは送信できません。→P247

■ チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールを交換できます。

お知らせ

- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、メール同報送信の場合と同じです。

SMS（ショートメッセージ）について

携帯電話番号のみで文字メッセージをやりとりできます。

- 送信方法→P300
- 受信方法→P302
- 問い合わせ方法→P303

SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

- ドコモ以外の海外通信事業者とお客様との間で送受信を行う場合の宛先は、ドコモのホームページを参照してください。

送受信できる文字数

送信文字種の設定（→P304）により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字のみ）	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※

※：半角の英数字と記号（｀。｢｣､･ﾞﾟを除く）を送信できます。
　　記号（｜＾{ } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

お知らせ

- SMSには、題名は付けられません。
- SMSの本文に半角カタカナや絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されない場合があります。

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

お客様のFOMA端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないか圏外などで受信できないときは、SMSセンターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信者が保管期間を指定することもできます。→P304
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問合せにより受信できます。→P303
- SMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。

こんなこともできます

■ **送達通知**

送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取れます。→P304

■ **FOMAカードへの保存**

受信したSMSや送信したSMSを、FOMAカードに保存できます。→P304

メールメニューを表示する

メールメニューにはFOMA端末に用意されているメールの機能が表示されます。機能によっては、ショートカットキーが用意されている場合があります。

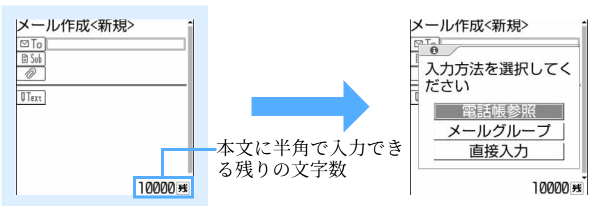
1 待受画面で を押す



メニュー	機　能	参照先
受信メール	受信メールを表示します。	P272
新規メール	ｉモードメールを新規に作成して送信します。	P245
チャットメール	相手と会話をするようにメールをやりとりします。	P294
未送信メール	送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールを表示します。	P272
送信メール	送信済みのメールを表示します。	P272
問合せ	ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR/Fがあるかどうか、またはSMSセンターにSMSがあるかどうかを問い合わせます。また、問い合わせ内容の設定とメール選択受信の設定をします。	P265 P303
SMS	SMSの作成・送信、各種設定やFOMAカード内の送受信SMSを表示します。	P300
テンプレート読込み	テンプレートの内容を表示してメールを作成します。	P257
メール設定	メールに関する各種機能の設定をします。	P285

ｉモードメールを作成して送信する

1 待受画面で を1秒以上押し、To を選択する



メール作成画面

2 「直接入力」を選択し、宛先を入力する

- 半角で最大50文字入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信する場合は、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- かな入力方式の場合、宛先によく使う「@」「.」「-」などの記号は、英字入力モード時に[1]を押すと入力できます。また、「.co.jp」「.ne.jp」「.com」などは、英字入力モード時に[*]を押すと入力できます。
- 相手がシークレットコードを登録している場合は、相手のｉモード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードの入力が必要です。

■ 電話帳から検索するとき

①「電話帳参照」を選択する

②電話帳から検索してメールアドレスを選択する

■ メールグループから入力するとき

- メールグループにあらかじめメールアドレスを登録しておく必要があります。

①「メールグループ」を選択する

②一覧からメールグループを選択する

- すでに入力されている宛先との合計が5件を超えるメールグループは追加できません。

3 [Sub]を選択し、題名を入力する

- 全角で最大15文字、半角で最大30文字入力できます。

4 [Text]を選択し、本文を入力する

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
- ファイルを添付しているときは入力できる文字数が減ります。
- かな入力方式の場合、[#]を押すと改行できます。改行も本文の文字数に含まれます。
- [▯]を押して文末に半角ずつ空白を入力できます。空白も本文の文字数に含まれます。
- 本文を装飾することもできます。→P248

■ 署名を挿入するとき

[MENU][5]を押す

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→P288
- 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

5 [✉]を押す

- 接続中画面で[ ]を押すと接続を中止します。送信中画面で[✉]を押すと送信を中止します。ただし、操作のタイミングによっては送信される場合があります。

お知らせ

- メールアドレスが登録されている電話帳データを選択して [メールキー] を押しても、ｉモードメールを作成できます。
- 本文入力時に定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。
- 10000バイトより大きいメールが他のアプリケーションとの競合により自動保存される場合は、作成中のメールを一部保存できないことがあります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが未送信メール内のフォルダに保存されます。未送信メール内のフォルダからｉモードメールを編集、送信できます。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールは送信メール内のフォルダに保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古いものから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。
- メールの本文に改行が含まれている定型文を挿入すると、改行は半角空白に置き換わります。
- 半角カタカナ、絵文字はｉモード端末（mova 含む）どうしのみ使用できます。他の端末では正しく表示されない場合があります。
- 一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に、ｉモードメールの宛先で電話帳を利用する場合は、認証操作が必要です。
- メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成できません。未送信メール内のフォルダから不要なｉモードメール、SMS を削除してください。→P281
- 宛先の種別（TO、CC、BCC）は変更できます。→P247
- テンプレートを利用してすばやくメールを作成することもできます。→P257
- メモリ番号 0 ～ 99 に登録されている相手には簡単な操作でｉモードメールを作成・送信できます（クイックメール）。

宛先を追加する<宛先追加>

ｉモードメールは宛先の種別に関わらず複数の相手に同時に送信（同報送信）できます。

- 最大 5 人の相手に送信できます。
- 宛先には [To]（TO）、[Cc]（CC）、[Bcc]（BCC）の 3 種類があります。
  - [To] には、直接の送信相手の宛先を入力します。
  - [Cc] には、直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。
  - [Bcc] には、他の送信相手に知らせたくない宛先を追加します。[Bcc] に入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。
- [To] の宛先が空欄のときは、メールを送信できません。

1 メール作成画面で宛先欄にカーソルを合わせ、[メールキー] を押す



宛先欄が追加されます。

- 送信する宛先数分の宛先欄ができるまで繰り返します。

メール

■ CC、BCCを追加するとき

① MENU 6 を押す

② 入力方法を選択する

- 電話帳から検索してメールアドレスを入力する場合は、「電話帳参照」を選択します。
- メールグループから入力する場合は、「メールグループ」を選択します。
- 直接メールアドレスを入力する場合は、「直接入力」を選択します。

③「CC」または「BCC」を選択し、メールアドレスを入力する

- 「TO」も選択できます。
- 「メールグループ」を選択した場合は、あらかじめメールグループに設定してあるTO、CC、BCCで表示されます。

■ 宛先の種別（TO、CC、BCC）を変更するとき

① 種別を変更するメールアドレスにカーソルを合わせ、MENU 8 を押す

② 変更する宛先種別を選択する

■ 追加した宛先を削除するとき

① 削除する宛先にカーソルを合わせ、MENU 7 を押す

②「はい」を選択する

- 宛先欄が複数あるときに宛先欄を指定して削除した場合は、宛先欄ごと削除されます。宛先欄が1件でメールアドレスが入力されているときに削除した場合は、メールアドレスのみ削除されます。

2 追加された宛先欄に宛先を入力し、送信する

- 操作方法は、「iモードメールを作成して送信する」の操作2～5を参照してください。→P246

お知らせ

- To と Cc に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。
- 送信に失敗した宛先があるときはエラーメッセージが表示されます。□を押すと、送信に失敗したメールアドレスの一覧が表示される場合があります。
- 同じ宛先は設定できません。同じ宛先を設定しようとすると、すでに同じ宛先がある旨のメッセージが表示されます。

デコメール

デコメールを作成して送信する

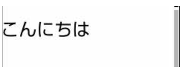
iモードメールの本文には、文字サイズや背景色を変更したり、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されている画像などを挿入したりするなどの装飾（デコレーション）ができます（デコメール）。デコメールの作成方法には、デコレーションを設定してから文字を入力する方法（→P249）と、入力された文字を範囲選択してからデコレーションを設定する方法（→P252）があります。作成したデコメールはプレビュー機能を使って確認できます。→P250 操作4

〈装飾例〉

❶ 文字色を変更する



❷ 文字サイズを変更する



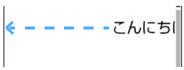
❸ 画像を挿入する



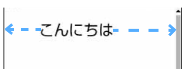
❹ 文字を点滅させる



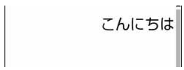
❺ 文字をテロップにする



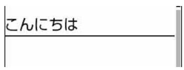
❻ 文字を左右にスウィングさせる



❼ 文字の表示位置を変更する



❽ ライン（罫線）を挿入する



❾ 背景色を変更する



デコメール作成の流れ

ステップ1　メール作成画面からメール本文の入力画面を表示する

ｉモードメール作成で本文を入力できる状態にします。

ステップ2　装飾した文字や画像を入力する

を押し、装飾方法を選択して文字を入力します。

- 編集中に を押すと、装飾を確認できます。

ステップ2　文字を入力して装飾する

を押して装飾する開始位置を選択し、を押して終了位置を選択した後、装飾方法を選択します。

ステップ3　装飾を確認して送信する

メール作成画面で装飾を確認します。

装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で Text を選択する

2 を押す

3 装飾を選択し、文字を入力する



装飾選択画面

- 装飾選択画面でマークにカーソルを合わせて を押すと、その装飾が選択状態になります。
- 複数のマークを選択状態にすることで、複数の装飾が設定できます。複数の装飾を連続して設定するときは、装飾選択画面でマークにカーソルを合わせ、 を押します。ただし、テロップ、スウィング、文字位置は同時に設定できません。
- 選択状態の装飾を解除して文字を入力するときは、入力位置にカーソルを合わせて を押し、 を押します。解除される装飾は文字色、文字サイズ、点滅、文字位置（空行時のみ）、テロップ（空行時のみ）、スウィング（空行時のみ）です。

文字色　：文字またはライン（罫線）の色を変更します。
文字サイズ：文字サイズを変更します。
画像挿入　：画像を挿入します。
点滅　：文字を点滅させます。
テロップ　：文字を流して表示（テロップ表示）します。
スウィング：文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）します。
文字位置　：文字または画像挿入時の位置を変更します。
ライン挿入：ライン（罫線）を挿入します。
背景色　：本文の背景色を変更します。
元に戻す　：1つ前の状態に戻します。

- 装飾の操作方法については、「デコメール装飾選択画面の操作手順」を参照してください。→P250

■ すでに設定した装飾を別の装飾に変更するとき

を押し、開始位置にカーソルを合わせ、 を押す

- 以降の操作は「範囲を指定してから文字を装飾する」の操作3以降を参照してください。→P253

■ 本文中の装飾をすべて解除するとき

を押す

4 を押し、装飾を確認する

設定した装飾と、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

5 確認が終わったらを２度押す

6 を押す

> **お知らせ**
>
> • メール本文の入力画面でを押し、「デコレーション」を選択しても装飾を選択できます。

デコメール装飾選択画面の操作手順

• （　）内の装飾例番号はＰ248〈装飾例〉の番号です。

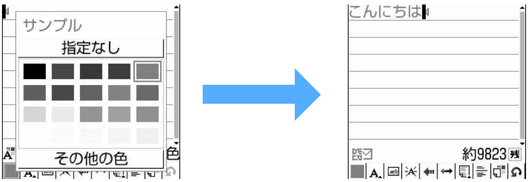
■ 文字色を変更するとき（装飾例❶）

① を選択する

② 文字色を選択し、文字を入力する

• 標準の20色、または「その他の色」の64色から選択できます。

• 絵文字の文字色も変更されますが、範囲を指定して元の色に戻せます。→Ｐ252



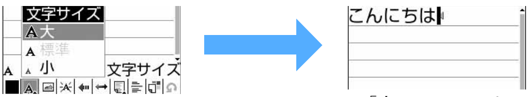
■ 文字のサイズを変更するとき（装飾例❷）

① を選択する

② 文字サイズを選択し、文字を入力する

• 「大」「標準」「小」から選択できます。

• すでに設定されている文字サイズは選択できません。を押すと、装飾選択画面に戻ります。



「大」にしたとき

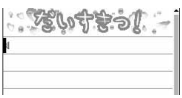
■ 画像を挿入するとき（装飾例❸）

① を選択し、挿入元を選択する

• miniSDメモリーカードが取り付けられている場合は、「本体」または「miniSDカード」を選択します。

• 「静止画を撮影」を選択すると、静止画を撮影して挿入できます。
撮影する静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

② フォルダを選択し、画像を選択する



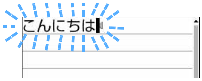
カーソル位置に画像が挿入されます。

• 動画／ｉモーションやファイルサイズが添付可能なデータ量より大きい画像は選択できません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→Ｐ379

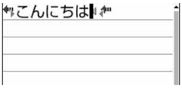
■ 文字を点滅させるとき（装飾例❹）

を選択して文字を入力する



■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき（装飾例❺）

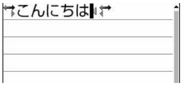
を選択して文字を入力する



- と の間に文字を入力します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき（装飾例❻）

を選択して文字を入力する



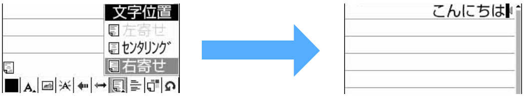
- と の間に文字を入力します。

■ 文字の表示位置を変更するとき（装飾例❼）

① を選択する

② 文字の表示位置を選択して文字を入力する

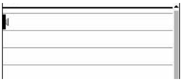
- 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」から選択できます。
- すでに設定されている文字位置は選択できません。 を押すと、装飾選択画面に戻ります。
- カーソル位置に文字が入力されている場合は、改行されて表示位置が設定されます。



「右寄せ」にしたとき

■ ライン（罫線）を挿入するとき（装飾例❽）

を選択する



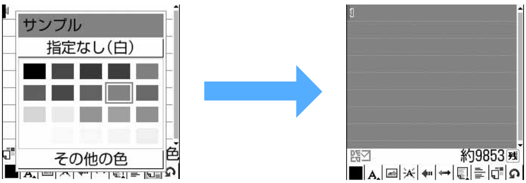
■（文字色）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

■ 本文の背景色を変更するとき（装飾例❾）

① を選択する

② 背景色を選択する

- 標準の20色、または「その他の色」の64色から選択できます。



■ 1つ前の状態に戻すとき

を選択する

直前に行った装飾が解除されます。または文字入力が取り消されます。

「デコメールピクチャ」フォルダに保存されている画像

- お買い上げ時は、「デコメールピクチャ」フォルダに次の画像が保存されています。



- お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P318

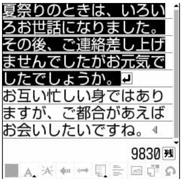
範囲を指定してから文字を装飾する

メール本文にすでに入力されている文字や、すでに装飾されている文字の装飾を変更します。
- 操作4（　）内の装飾例番号はP248〈装飾例〉の番号です。
- 「ライン挿入」「画像挿入」「背景色」は操作できません。装飾を指定してから操作してください。→P249

1 **メール作成画面で［Text］を選択する**

2 **装飾する文字範囲の開始位置にカーソルを合わせ、［キー］を押す**

3 装飾する文字範囲の終了位置にカーソルを合わせ、を押す



- カーソルを文頭に移動するときは MENU を押します。
- カーソルを文末に移動するときは を押します。
- 文章すべてを選択するときは を押します。

4 装飾方法を選択する



■ 文字色を変更するとき（装飾例❶）

1 を押し、文字色を選択する

- ライン（罫線）の色も変更されます。
- 元の色に戻すときは「指定なし」を選択してください。

■ 文字のサイズを変更するとき（装飾例❷）

2 を押し、1 ～ 3 を押す

■ 文字を点滅させるとき（装飾例❹）

3 を押し、1 を押す

- 解除するときは 2 を押します。

■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき（装飾例❺）

4 を押し、1 を押す

- 解除するときは 2 を押します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき（装飾例❻）

5 を押し、1 を押す

- 解除するときは 2 を押します。

■ 文字の表示位置を変更するとき（装飾例❼）

6 を押し、1 ～ 3 を押す

- 画像の表示位置も変更されます。

■ 文字をコピーするとき

7 を押す

■ 文字を切り取るとき

8 を押す

■ 1つ前の状態に戻すとき

9 を押す

- 直前に行った装飾が解除されます。または文字入力が取り消されます。

■ 続けて文字を装飾するとき

MENU を押し、操作4を繰り返す

- 装飾の確認や解除方法については、「装飾を指定してから文字を入力する」の操作3～4を参照してください。→P249

5 を押して範囲指定を解除し、を押す

次ページへ続く

6 を押す

お知らせ

- メール本文の入力画面で を押し、「デコレーション」→「デコレーション変更」を選択しても同様に操作できます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力可能な文字数が少なくなる場合があります。装飾を解除してから文字を削除してください。なお、 を1秒以上押すと、装飾データも含めて文字を削除できます。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間が経過すると自動的に停止します。
- パソコンなど、デコメール対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- 作成したメールはテンプレートとして登録できます。→P259

テンプレートをダウンロードする

サイトからメールテンプレートをダウンロードします。

- お買い上げ時は、30件のテンプレートが登録されています。
- 最大保存件数→P573

1 サイトを表示中に、ダウンロードするメールテンプレートを選択する

ダウンロードを開始します。

- ダウンロード中に を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択する

- メールテンプレートを保存しないときには、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。
- テンプレートの内容を確認するときは、「プレビュー」を選択します。

3 を押す

ダウンロードしたメールテンプレートは、テンプレート読込み内に保存されます。

- 登録済みのテンプレートに上書きするときは を押し、上書きするテンプレートを選択します。
- 表示名は全角・半角を問わず最大20文字入力できます。
- ファイル名は、半角英数字、「.」「-」「_」で最大36 文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書き保存はできません。
- サイトからダウンロードしたメールテンプレートは、メール作成画面で編集できます。
- テンプレート保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なテンプレートを削除するかどうかの確認画面が表示されます。テンプレートを登録する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでテンプレートを削除してください。

ファイルを添付する

ｉモードメールに静止画やメロディを添付して送信します。FOMA端末で撮影した動画などを添付して、ｉモーションメールとして送信することもできます。

- 添付可能なファイルは次のとおりです。

項　目	メロディ	10000バイト以内の静止画※1（JPEG、GIF）	10000バイトより大きい、500Kバイト以内の静止画※1	500Kバイト以内の動画／ｉモーション※2
1件のメールに添付可能な最大件数	10件※3		1件	
添付ファイルの条件	メロディ（MFi）は添付不可	パラパラマンガ、連写画像は添付不可	静止画（JPEG）のみ添付可能	再生制限が設定されているものは添付不可※4

※1：受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URLが記載されたメールとして受信したり、添付ファイルとして受信したりします。
※2：受信側の端末や機器によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
※3：静止画とメロディを合計最大10件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ただし、添付ファイルのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。
※4：再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

- 本文（添付したメロディ、静止画を含む）の残りのデータ量が全角で100文字、半角で200文字（デコメールでは全角で200文字、半角で400文字）より少ない場合は、動画／ｉモーションや10000バイトより大きい静止画を添付できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
- movaサービスのｉモード端末には、JPEG形式の静止画1枚のみ添付できます。その場合、相手の端末はURLが記載されたメール（ｉショットメール）として受信します。
- 10000バイトより大きいGIF形式の静止画はメールに添付できません。
- ｉモーションメールでは、撮影した動画などは本文を除き最大500Kバイトまで添付できます。また、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）以外の動画は容量に関わらず添付できません。
- サウンドレコーダーで録音したデータは、ｉモーションとして保存され、メールに添付できます。
- FOMA F901iS、F901iC、F900iC、F900iT、F900i 、F700i以外の端末やパソコンでは受信したメロディを正しく再生できない場合があります。

1 メール作成画面で を選択する

2 添付するファイルの種類とファイルを選択する

■ 静止画を添付するとき

①「イメージ」を選択し、「本体」を選択する

②フォルダを選択する

- 静止画にカーソルを合わせて を押すと静止画を表示できます。一覧に戻るには を押します。
- 添付できない静止画は表示されません。

③静止画を選択する

メール作成画面の添付欄に、選択した静止画のファイル名が表示されます。

- 画像サイズがQVGA（240×320）より大きいJPEG形式の静止画の場合は、待受サイズ（QVGA）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。変換された画像が10000バイトより大きい場合は、変換した画像をデータBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。データBOXに保存しない、または保存に失敗した旨のメッセージが表示された場合は、添付ファイルは保存されません。そのため、メールを未送信BOXに保存して編集するときには添付ファイルはありません。
- ファイルサイズが500Kバイトより大きいJPEG形式の静止画は、メールに添付可能なサイズに変換され、データBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 動画／ｉモーションを添付するとき（ｉモーションメール）

①「ｉモーション」を選択し、「本体」を選択する

②フォルダを選択する

- 動画／ｉモーションにカーソルを合わせ、 を押すと動画／ｉモーションを再生できます。一覧に戻るには を押します。
- 添付できない動画／ｉモーションは表示されません。

③動画／ｉモーションを選択する

メール作成画面の添付欄に選択した動画／ｉモーションのファイル名が表示されます。

■ メロディを添付するとき

①「メロディ」を選択し、「本体」を選択する

②フォルダを選択する

- メロディにカーソルを合わせ、 を押すとメロディを再生できます。一覧に戻るには を押します。
- 添付できないメロディは表示されません。

③メロディを選択する

メール作成画面の添付欄に選択したメロディのファイル名が表示されます。

■ 静止画や動画を撮影して添付するとき

①「イメージ」または「ｉモーション」を選択する

②「静止画を撮影」または「動画を撮影」を選択する

- 撮影する静止画のサイズは待受用（240×320）に自動的に設定されます。
- 撮影する動画のサイズはQCIF（176×144）に自動的に設定されます。

③撮影する

メール作成画面の添付欄に撮影した静止画や動画のファイル名が表示されます。

■ miniSDメモリーカード内のデータを添付するとき

①「イメージ」「ｉモーション」「メロディ」のいずれかを選択する

②「miniSDカード」を選択する

- 静止画にカーソルを合わせて を押すと静止画を表示できます。動画／ｉモーション、メロディにカーソルを合わせて を押すとそれぞれ再生できます。

③データを選択する

メール作成画面の添付欄に選択したデータのファイル名が表示されます。

- 各データ形式についての動作は、FOMA端末内のデータを選択するときと同じです。
- 10000バイト～500Kバイトの静止画、または10000バイト以内の動画の場合は、本体へコピーするかどうかの確認画面が表示されます。
- 添付できない動画／ｉモーションやメロディを選択すると、そのデータは選択できない旨のメッセージが表示されます。

3 を押す

お知らせ

- 10000バイトより大きい静止画をQVGAサイズ（240×320）に縮小できます。QVGAサイズは待受画面のサイズであり、ｉモード端末に送信するのに適したサイズです。
- 10000バイトより大きいJPEG形式の静止画を添付したメールをｉモード端末に送信した場合は、ｉショットセンターでｉモード端末に送信するのに適したサイズに変換されます。
- movaサービスのｉモード端末にメロディやGIF形式の静止画を添付すると、添付ファイルは削除されて相手に送信されます。
- マナーモード中にメロディを再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メロディの動作設定で設定されている音量で再生されます。

添付ファイルを変更／解除する

〈例〉添付ファイルを解除するとき

1 メール作成画面を表示する

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

2 解除する添付欄にカーソルを合わせ、 を押す

■ 添付ファイルを変更するとき

① 変更する添付欄にカーソルを合わせ、 を押す

② ファイルの添付をやり直す→P255

3 「はい」を選択する

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、本文の先頭に毎回同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするときに、あらかじめｉモードメールの内容を登録しておき、入力の手間を省略する機能です。メールテンプレートを呼び出して内容を追加、修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。

また、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形、デコメールテンプレートも利用できます。デコメールテンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成・送信できます。

- お買い上げ時は、次のテンプレートが登録されています。

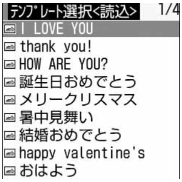


- SMSには使用できません。

メール作成時にテンプレートを使う<テンプレート読込>

1　メール作成画面で を押す

2　読み込むテンプレートを選択する



テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：10000バイト以内の静止画あり
  - ：メロディあり
  - ：10000バイト以内の静止画とメロディあり

3　メールを編集し、送信する

- iモードメールの作成・送信方法→P245

お知らせ

- すでにメール本文を入力したメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、現在入力中のメールに上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「本文のみ読込み」または「すべて読込み」を選択し、テンプレートを選択するとメールは上書きされます。読み込みを中止するときは を押してください。「本文のみ読込み」を選択すると、入力済みのメール本文のみがテンプレートの内容に上書きされます。「すべて読込み」を選択すると、宛先、題名、添付ファイル、本文がすべて消え、テンプレートが読み込まれます。
- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。
- 1件のメールに複数のテンプレートは読み込めません。
- メールテンプレートとデコメールテンプレートの読み込み方法は同じです。

テンプレートを表示してメールを作成する

登録されているテンプレートの一覧表示からテンプレートを選んでメールを作成します。

1　待受画面で を押す

2　テンプレートを選択する

- 詳細画面で を押すと前後のテンプレートを表示できます。

3　 を押す

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

4　メールを編集し、送信する

- iモードメールの作成・送信方法→P245

お知らせ

- テンプレートの表示名、ファイル名を変更する場合は、テンプレート一覧画面で を押し、変更後に を押します。ただし、お買い上げ時に登録されているテンプレートの内容は変更できません。
- 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているテンプレートを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは を押します。
- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。ただし、電話帳に登録されているアドレスが宛先に入力されているテンプレートは読み込めます。

テンプレートの内容を登録する<テンプレート登録>

作成したメールまたは送受信したメールをテンプレートとして登録できます。
- お買い上げ時は、30件のテンプレートが登録されています。
- お買い上げ時に登録されているテンプレートの内容を変更して、新しいテンプレートとして保存することはできますが、上書き保存はできません。
- 動画／iモーション、10000バイトより大きい静止画はテンプレートに登録できません。
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを入力、設定すると登録できます。
- 最大保存件数→P573

1 メール作成画面で [MENU] [5] [2] を押し、「はい」を選択する

2 表示名とファイル名を設定して [i] を押す



- 表示名は全角・半角を問わず最大20文字入力できます。
- ファイル名は半角英数字と「.」「-」「_」で最大36文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。
- 登録済みのテンプレートに上書きするときは [✉] を押し、上書きするテンプレートを選択し、「はい」を選択します。

> **お知らせ**
> - メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。
> - テンプレートを登録するときに日付・時刻が設定されていないと、ファイル名は「--------------」になります。また、題名が入力されていないと、表示名は「--------------」になります。
> - テンプレート保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なテンプレートを削除するかどうかの確認画面が表示されます。テンプレートを登録する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでテンプレートを削除してください。

テンプレートを削除する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは削除できません。

〈例〉テンプレートを1件削除するとき

1 待受画面で [✉] [8] を押す

2 削除するテンプレートにカーソルを合わせ、[MENU] [2] [1] を押す

■ テンプレートを複数選択して削除するとき

① [MENU] [2] [2] を押し、テンプレートを選択する
- [●] で選択☑と解除☐が切り替わり、[MENU] で全選択または全解除できます。

② [i] を押す

■ テンプレートを全件削除するとき

[MENU] [2] [3] を押し、認証操作を行う

3 「はい」を選択する

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

作成途中のｉモードメールを送信せずに保存したり、保存したｉモードメールを編集、送信したりできます。

ｉモードメールを保存する

作成途中のｉモードメールを、送信せずに保存します。
- 最大保存件数→P573
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを入力、設定すると保存できます。

1 メール作成画面で［MENU］［2］を押す

ｉモードメールが未送信メール内のフォルダに保存されます。

送信・保存したｉモードメールを編集・送信する

送信済みのｉモードメールやSMS、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたｉモードメールやSMSを編集、送信できます。

〈例〉未送信メールを編集するとき

1 待受画面で［✉］［4］を押し、フォルダを選択する

- SMSは［SMSアイコン］が表示されます。
- 送信メールのときは［✉］［5］を押し、フォルダを選択します。

2 編集するメールを選択する

- 送信済みのメールを再編集するときは、編集するメールにカーソルを合わせ、［iモード］を押します。

3 メールを編集し、送信する

- ｉモードメールの作成・送信方法→P245

お知らせ

- 送信メール一覧や未送信メール一覧から操作する場合は［MENU］を押し、「編集」を選択します。
- 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されている送信メールを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは［クリア］を押します。
- 送信が正常に終了すると、ｉモードメールは送信メール内のフォルダに保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古いものから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。

すばやくメールを作成する

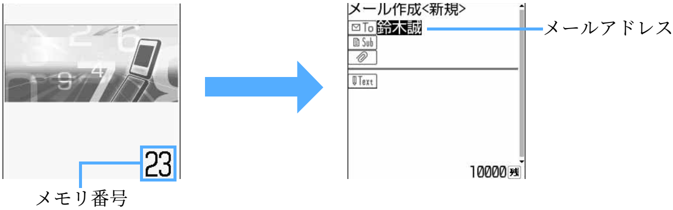
FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作でｉモードメールやSMSを送信できます。

- 1つの電話帳データに複数の電話番号、メールアドレスが登録されている場合、1件目のメールアドレスがｉモードメールの宛先に、1件目の電話番号がSMSの宛先になります。

〈例〉メモリ番号23のメールアドレスにｉモードメールを送信するとき

1 待受画面でメモリ番号（この場合は 2 3 ）を押し、✉ を押す

メールアドレスが宛先に設定されます。



- メモリ番号の前に0は付けません。上記の例で 0 2 3 のように入力しても、クイックメールは利用できません。
- ｉモードメールの作成・送信方法→P245

■ SMSを作成するとき

待受画面でメモリ番号を押し、✉ を1秒以上押す

- 入力したメモリ番号の電話帳データに登録されている電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。
- SMSの作成・送信方法→P300

お知らせ

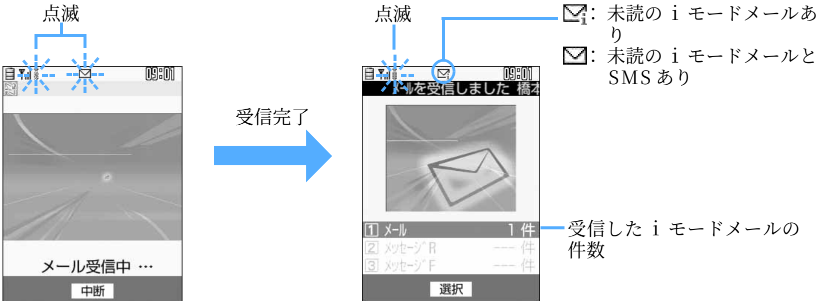
- 入力したメモリ番号の電話帳データにメールアドレス（SMSの場合は電話番号）が登録されていない場合、または電話帳データが登録されていない場合は、宛先または電話帳データが登録されていない旨のメッセージが表示されます。 を押すと宛先が設定されていないメール（メッセージ）作成画面が表示されます。
- シークレット属性が設定されている電話帳データの場合は、シークレットモードを起動してから操作してください。

ｉモードメールを受信したときは

ｉモードメールは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したｉモードメールは受信メール内のフォルダに保存されます。

・最大保存件数→P573

1 ｉモードメールを受信する



と が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。

メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。

- メール受信中に を押すと受信を中止できますが、受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P28
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。それより前に受信前の画面に戻すときは を押します。

■ 受信に失敗したとき

受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。

お知らせ

- 受信表示設定を「操作優先」に設定していると、FOMA端末で他の機能を使用中にｉモードメールを受信しても、受信中画面や受信結果画面が表示されません。
- メール選択受信設定を「ON」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。
- ｉモードセンターで保管しているｉモードメールやチャットメールは、新しいｉモードメールが届くと合わせて受信します。
- メールに添付された動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保存されます。→P269
- FOMA端末でｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
- TO、CC、BCCを設定できる相手からのメールを受信した場合、自分がTO、CC、BCCのどれに当てはまるかを確認できます。→P275
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずにエラーメッセージとともに送信者に返信される場合があります。
- ｉモードメールではメロディや静止画を添付ファイルとして送受信できますが、ｉモードメールに対応していない添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できません。添付ファイルが削除された場合は、題名の下に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。
- 受信可能なデータ量（添付可能なデータ量）より大きい添付ファイルは、ｉモードセンターで削除され、受信できません。
  添付可能なデータ量→P255
- 受信メールのデータ量（文字数、添付ファイル）が、オプション設定のメールサイズ制限で設定した文字数（データ量）より大きい場合、添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できません。

- FOMA 端末電話帳にメール着信設定のある相手からｉモードメールを受信した場合は、その設定に従って動作します。電話帳との照合は次のように行われます。
  - メールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると電話帳の設定に従って動作し、名前が表示されます。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録しているときのみ電話帳の設定に従って動作し、名前が表示されます。
  - 複数のｉモードメールを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールに設定されている条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、着信ランプが動作します。
  - 電話帳データにシークレット属性が設定されている相手の場合は、シークレットモード中のみ電話帳データに登録されている相手の名前が表示され、電話帳データの設定に従って着信音やバイブレータなども動作します。
  - プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳データに登録されている相手の名前は表示されず、電話帳データに設定されている着信音やバイブレータなども動作しません。
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  一定の時間をおいて最大３回再送されます。（※の場合を除く）
  - 電源が入っていないとき
  - 受信に失敗したとき
  - メール選択受信設定が「ON」に設定されているとき※
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
  - テレビ電話中
  - ｉモード圏外のとき
  - セルフモード中
  - SMS 受信中
  - 赤外線通信中
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古いものから順に上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。
- 未読メールと保護されているメールによって保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や が表示されます。→P25
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 や （→P25）が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数（→P241）が満杯になったときは、マークが や に変わります。
- 途中で受信に失敗した場合などにｉモードメールを受信し直すには、ｉモード問合せまたはメール選択受信を行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容表示（→P272）、不要メールの削除（→P281）、保護解除（→P280）などを行う必要があります。
- プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に自動受信したすべてのメールがフォルダ設定でプライバシーを「ON」に設定しているフォルダに保存された場合は、受信結果画面は表示されず、メール着信音と着信ランプも動作しません。
- 自分宛てのｉモードメールは送信直後に自動受信できない場合があります。ｉモード問合せを行ってください。

新着ｉモードメールを表示する

1 メールやメッセージの受信結果画面で 1 を押す



- 2 や 3 を押すとメッセージごとに表示できます。
- 受信したｉモードメールは受信BOX内に保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

2 フォルダを選択し、メールを選択する

- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定できます。
- 受信メール詳細画面の見かた→P275

お知らせ

- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定している場合）にフォルダ一覧を表示させるには、認証操作が必要です。また、プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）にメール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択するには、認証操作が必要です。

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを自動受信せずに、選択して受信します。

メールが届いたときは



メール選択受信設定を「ON」に設定しているときにｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターに保管され、左記のメッセージが表示されます。

- メールがｉモードセンターに保管されても着信音や着信バイブレータは動作しません。
- TASK 以外のキーを押すとメッセージが消えます。

お知らせ

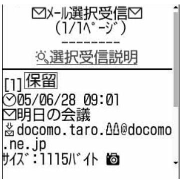
- オールロック中、PIMロック中、開閉ロック中はメッセージが表示されません。
- メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、ｉモード問合せを行うと全メールを受信します。不要なメールを受信したくない場合には、ｉモード問合せ設定で問い合わせの項目から「メール」のチェックを外してください。→P288
- メール選択受信設定を「ON」に設定しても、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。また、プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）にメール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択するには、認証操作が必要です。

メールを選択受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、必要なメールだけを選択して受信します。不要なｉモードメールを受信せずに削除することもできます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。

1 待受画面で ✉ 6 3 を押す



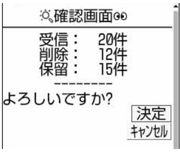
ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

- メール末尾のマークの意味は次のとおりです。
  - 📷：静止画ファイルの添付あり
  - ♪：メロディファイルの添付あり
  - 🎥：ｉモーションの添付あり

2 メールごとに「保留」を選択し、「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択する

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択する



- ｉモードセンターに保管されている全メールを削除するときは、「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択します。

4 「決定」を選択する

ｉモード問合せ

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などでメールを受信できないときにｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。
ｉモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせをするように設定している場合は、同時にメッセージR/Fもあるかどうかを問い合わせます。

- 電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。
- メールを受信できないとき→P241

1 待受画面でサイドキー［▼］を1秒以上押す

ｉモード問合せを開始します。ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていれば受信します。

- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。ただし、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。ｉモードメールを表示せずに待受画面に戻すときは CLR を押します。→P262

お知らせ

- FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▼］を1秒以上押しても、ｉモード問合せができます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときに新しいｉモードメールを受信したときは、背面ディスプレイの表示でお知らせします。→P28

ｉモードメール返信

ｉモードメールに返信する

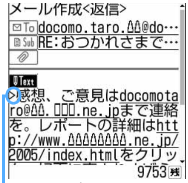
受信したｉモードメールやSMSに返信します。

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信SMSや、movaサービスのｉモード端末から送信されたショートメールには返信できません。

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

メール

2 返信するメールにカーソルを合わせ、を押す



引用文字

To には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、Sub には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）、Text には「＞受信メール本文」が入力されます。

- 返信する際に本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。→P290

■ 送られた受信メールの宛先すべてに返信するとき

を押す

- 発信元と、自分以外のすべての宛先に返信できます。

3 メールを編集し、送信する

- 返信すると、次回受信メール一覧を表示したときに受信メールの状態マークがから、またはからに変わります。
- ｉモードメールの作成・送信方法→P245

お知らせ

- 受信メール詳細画面から操作する場合はを押します。
- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は返信メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。
- 複数の宛先に送られた受信メールに返信する場合は、操作する画面により To に表示されるメールアドレスが異なります。
  受信メール一覧から返信する場合は、発信元のメールアドレスが表示されます。受信メール詳細画面から返信する場合は、発信元と、自分以外のすべての宛先のメールアドレスが表示されます。

ｉモードメール転送

ｉモードメールを他の宛先に転送する

受信したｉモードメールやSMSを他の宛先に転送します。

- 受信したメールによって、ｉモードメールはｉモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 待受画面でを押し、フォルダを選択する

2 転送するメールにカーソルを合わせ、を押す



Sub には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）、Text には受信メールの本文が入力されます。

- 添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されます。

3 メールを編集し、送信する

- 転送すると、次回受信メール一覧を表示したときに受信メールの状態マークがから、またはからに変わります。

お知らせ

- 受信メール詳細画面から操作する場合は を押し、「返信／転送」→「転送」を選択します。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されていなくても、メロディファイルの種類によっては添付されない場合があります。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信メールの添付ファイル（静止画、メロディ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
- 10000バイトより大きい静止画が添付されたメールで画像を取得していない場合は、転送時に画像は添付されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。また、転送時にサイズオーバーとなった場合は、（送信）を押すと送信できない旨のメッセージが表示されます。

画像表示・保存

添付されている静止画を表示・保存する

受信メールに添付されている静止画を表示、保存します。保存した静止画はマイピクチャから表示したり、待受画面などに設定したりできます。

- 最大保存件数→P573

静止画を表示する

1 **待受画面で を押し、フォルダを選択する**

2 **静止画が添付されているｉモードメールを選択する**



メール本文の下には、静止画とファイル名、ファイルサイズが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：メール添付やFOMA端末外への出力可
  - ：メール添付やFOMA端末外への出力不可
  - ：10000バイトより大きい静止画のメール添付、取得されていない10000バイトより大きい静止画
  - ：取得済みの10000バイトより大きい静止画
  - ：取得失敗の静止画の添付あり
  - ：静止画データ異常

■ 画像の表示／非表示を切り替えるとき

ファイル名を選択する

■ 静止画のタイトルを表示するとき

タイトルを表示する静止画のファイル名にカーソルを合わせ、 を押す

■ 10000バイトより大きい静止画のURLを表示するとき

URLを表示する静止画のファイル名にカーソルを合わせ、 を押す

- 取得前に表示するときは、メール本文の「保存期限」にカーソルを合わせ、 を押します。

お知らせ

- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細画面から添付画像のタイトルを確認する場合は、静止画のファイル名にカーソルを合わせて[MENU]を押し、「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択します。
- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細画面に添付されている静止画からも、同様の操作で画像の表示と非表示を切り替えられます。
- 取得できる静止画は、JPEG形式またはGIF形式で最大100Kバイトです。
- 静止画が添付されている受信メールを表示したときは、添付された静止画は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文に挿入されている静止画は自動的に表示されますが、添付された静止画は自動的に表示されません。画像を表示するときは静止画のファイル名を選択します。
- メール詳細画面で本文中に表示される画像のファイル名や表示名などは、デコメールでは表示されません。
- ｉモードメールに添付された10000バイトより大きいJPEG形式の画像は、自動的に取得します。自動で取得した画像は、マイピクチャ内の「[i]モード」フォルダに保存されます。
  メール受信を中断したり、画像の保存領域がいっぱいなどの理由により、自動的に取得できなかった場合は、ｉモードメール中の「保存期限」を選択すると、画像を取得できます。
- 静止画の横幅が画面より大きいときは、縮小して表示されます。
- データが壊れていると、正しく表示できない場合があります。

静止画を保存する

添付されている静止画を保存します。静止画の編集で使用するフレームやスタンプとしても保存できます。

1 待受画面で[✉][1]を押し、フォルダを選択する

2 静止画が添付されているｉモードメールを選択する

3 保存する静止画にカーソルを合わせ、[MENU][6][3]を押す

- メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されている静止画（ファイル制限に「あり」と表示）では各項目の内容を変更できません。操作5に進みます。

■ デコメール内に表示されている画像を保存するとき

[MENU][4][4]を押し、[ ]を押す

4 各項目を選択して設定する

- 設定方法については、「サイトから画像をダウンロードする」の操作3を参照してください。→P217

5 [✉]を押し、保存先を選択する

- 保存した静止画は待受画面などに設定できます。→P349

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

お知らせ

- 送信メールに添付した静止画も同様の操作で保存できます。
- 取得した静止画のファイル名は半角英数字と「.」「-」「_」で最大36文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。
- 横352×縦288より大きい静止画はフレーム候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×320より大きい静止画はスタンプ候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズがGIF形式は640×480、JPEG形式は1224×1632より大きい静止画は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できないものもあります。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されている画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末内の画像を削除してください。
  - 削除する前に画像一覧で を押して画像を表示したり、 を押して画像の詳細情報を表示したりできます。
- ｉモードメールに添付された10000バイトより大きいJPEG形式の画像は、自動的に取得します。自動で取得した画像は、マイピクチャ内の「iモード」フォルダに保存されます。
  メール受信を中断したり、画像の保存領域がいっぱいなどの理由により、自動的に取得できなかった場合は、ｉモードメール中の「保存期限」を選択すると、画像を取得できます。

ｉモーションメール

ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する

発信元がメールに添付した動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保管され、受信したメールにはｉモーション閲覧のためのURLが記載されます。このURLを選択して、ｉモーションを取得したり、再生したりできます。

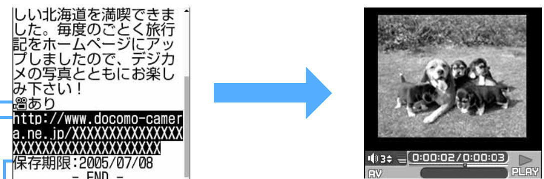
- 取得できるｉモーションは、最大500Kバイトです。
- 再生時の音量はｉモーションの動作設定に従います。
- 最大保存件数→P573

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 ｉモーションのURLが記載されたｉモードメールを選択する

3 ｉモーションのURLを選択し、「はい」を選択する

ｉモーションメールセンターに接続され、ｉモーションの取得、再生が始まります。



ｉモーションメールセンターでのｉモーションの保存期限
ｉモーション閲覧のためのURL
ｉモーションが添付されていることを示す

- 再生画面の操作方法→P360

4 再生が終了したら「保存」を選択する

- 「再生」を選択するとｉモーションがもう一度再生されます。
- 「情報表示」を選択するとｉモーションの情報が表示されます。

5 表示名を確認し、[key]を押す

取得したｉモーションは、ｉモーション内の「[icon]モード」フォルダに保存されます。
- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 待受画面に設定するとき

[MENU][1]を押し、「はい」を選択する

- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。
- 動画／ｉモーションを待受画面に設定したときの動作→P126
- 音声のみ（歌手の歌声など映像のない）の動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320×240より大きいｉモーションは待受画面に設定できません。

6 「戻る」を選択する

お知らせ

- 送信メールに添付されている動画／ｉモーションも、ファイル名を選択して、同様に再生できます。ただし、動画／ｉモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。
- ｉモード端末にｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得できます。50回を超えると、取得ができなくなります。
- マナーモード中の音声のある動画／ｉモーション再生時には、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションの動作設定で設定されている音量で再生されます。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生するには、対応ソフトが必要です。→P549

メロディ再生・保存

ｉモードメールに添付されているメロディを再生・保存する

受信メールに添付されているメロディを再生、保存します。保存したメロディを再生したり、着信音に設定したりできます。

- FOMA F901iS、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F700i以外の端末やパソコンから送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。
- 最大保存件数→P573

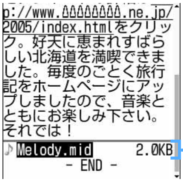
メロディを再生する

1 待受画面で[mail][1]を押し、フォルダを選択する

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

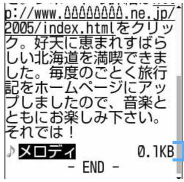
2 メロディが添付されているｉモードメールを選択する

- 添付メロディの表示形式には、メロディファイルの種類によって2種類あります。



メロディのマークとファイル名、ファイルサイズ

本文の後に表示（SMF形式）



メロディのマークとタイトル名、ファイルサイズ

本文中に表示（MFi形式）

- マークの意味は次のとおりです。
  - ♪：メール添付やFOMA端末外への出力可
  - ♪©：メール添付やFOMA端末外への出力不可
  - ♪× ♪×©：メロディデータ異常

3 再生するメロディを選択する

- 再生を途中で止めるときは[CLR]を押します。

■ メロディのタイトルを確認するとき

タイトルを確認するメロディにカーソルを合わせ、[MENU][6][5]を押す

- 本文中に表示されているメロディのタイトルを確認するときはメロディにカーソルを合わせ、[MENU][6][4]を押します。

■ メロディのデータを文字として表示するとき（データ表示）

データ表示するメロディを選択し、[MENU][6][5]を押す

- タイトル表示に戻すには、データ表示されているメロディの先頭行を選択し、[MENU][6][5]を押します。
- 本文の後に表示されるメロディではこの機能は利用できません。

お知らせ

- メロディ再生中はサイドキー［▲▼］で音量調整ができます。
- データ表示時にメロディを再生、保存するにはメロディにカーソルを合わせ、[MENU]を押して「添付ファイル」を選択します。
- MFi形式のメロディにタイトル名が設定されていない場合、メールの受信日時が表示されます。
- 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されている受信メールを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。
- マナーモード中のメロディ再生時には、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、電話着信音量調整で設定されている音量で再生されます。
- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細画面の添付メロディも同様にして再生できます。

メロディを保存する

1 待受画面で[✉][1]を押し、フォルダを選択する

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択する

3 保存するメロディにカーソルを合わせ、[MENU][6][2]を押す

- 表示名は全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

4 を押す

取得したメロディは、メロディ内の「モード」フォルダに保存されます。

お知らせ

- 送信メール詳細画面から操作する場合はメロディにカーソルを合わせてを押し、「添付ファイル」→「保存」を選択します。
- メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。
  - 削除する前にメロディ一覧でを押すとメロディを再生し、を押すとメロディの詳細情報を表示できます。

添付ファイル削除

添付ファイルを削除する

受信メールに添付されている静止画やメロディを削除します。

- 本文中に表示されるメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除できません。
- 10000バイトより大きい静止画を削除する場合は、マイピクチャの「ｉモード」から削除してください。

〈例〉添付されている静止画を削除するとき

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 静止画が添付されているｉモードメールを選択する

3 削除する静止画のファイル名にカーソルを合わせ、を押す

- 静止画ファイルが複数添付されている場合、一括削除するときはを押します。

4 「はい」を選択する

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

お知らせ

- 10000バイトより大きい静止画を削除した受信メールを表示すると、保存期間が薄く表示され、選択できなくなります。
- 送信メール詳細画面から操作する場合は、静止画、メロディにカーソルを合わせてを押し、「添付ファイル」→「削除」または「一括削除」を選択します。

受信メールBOX／送信メールBOX

受信／送信メールBOXのメールを表示する

受信、送信、未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。受信済みのメールは受信メール内のフォルダに、送信済みのメールは送信メール内のフォルダに保存されています。また、送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールは未送信メール内のフォルダに保存されています。

- 最大保存件数→P573

〈例〉受信メールを表示するとき

1 待受画面で [✉][1] を押す

■ 送信メールを表示するとき

[✉][5] を押す

■ 未送信メールを表示するとき

[✉][4] を押す

2 フォルダを選択する

受信メールの一覧が表示されます。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されているメールを、ｉアプリを起動せずに表示するときは、メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択し、[MENU][1] を押します。

3 表示するメールを選択する

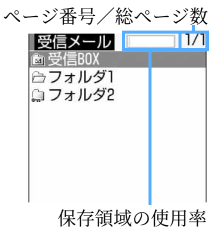
- 電話番号やメールアドレス、URLを選択して電話帳に登録したり、URLを選択してブックマークに登録したりできます。
- 電話番号やメールアドレス、サイトなどから電話をかけたり、ｉモードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。→P220

お知らせ

- パソコンで装飾された受信メールは、パソコン上と同じ動作にならない場合があります。
- メール本文の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）が複数添付されていると、添付データは無効になります。このとき添付マークには [?] が表示されます。
- デコメールを表示した場合、デコメールの背景色によっては画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なってURLが見えないことがあります。
- プライバシーモード中は、メールのプライバシーモード設定の設定内容により、フォルダ一覧やフォルダが表示されません。
  - 「認証後に表示」に設定している場合、フォルダ一覧を表示させるには認証操作が必要です。
  - 「指定フォルダを非表示」に設定している場合、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定しているフォルダは表示されません。
    受信メールのフォルダ一覧画面で [CLR] を1秒以上押し、認証操作を行うと一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。

フォルダ一覧画面の見かた

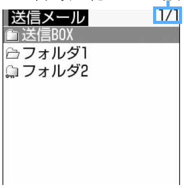
受信メールフォルダ一覧画面の見かた



- マークの意味は次のとおりです。
  - （グレー）：メールなし
  - （青）：未読メールなし
  - ：未読メールなし（プライバシーON）
  - ：未読メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
  - ：未読メールあり
  - ：未読メールあり（プライバシーON）
  - ：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）

送信／未送信メールフォルダ一覧画面の見かた

ページ番号／総ページ数



- マークの意味は次のとおりです。
  - （グレー）：メールなし
  - （青）　：メールあり
  - ：プライバシーON
  - ：メール連動型 i アプリ

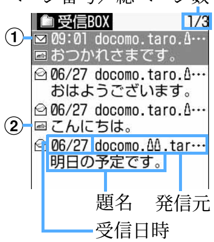
お知らせ

- 受信メールは「受信BOX」フォルダと最大45個のフォルダ（メール連動型 i アプリ用のフォルダ5個を含む）に分類して保存できます。お買い上げ時の設定では、新たに受信した i モードメールとSMSは「受信BOX」フォルダに保存されます。設定を変更すれば、受信時に自動的に他のフォルダに振り分けることもできます。→P285
- 送信メール、未送信メールはそれぞれ「送信BOX」「未送信BOX」フォルダと最大15個のフォルダ（メール連動型 i アプリ用のフォルダ5個を含む）に分類して保存できます。お買い上げ時の設定では、新たに送信した i モードメールとSMSは「送信BOX」フォルダに保存されます。設定を変更すれば、送信時に自動的に他のフォルダに振り分けることもできます。→P285
- プライバシーを「ON」に設定したフォルダは、フォルダ内のメールの有無に関わらず、が表示されます。
- メール連動型 i アプリ用のフォルダを選択すると、それに対応する i アプリが起動します。
- メール連動型 i アプリを削除した場合でも、それに対応したメールフォルダが残っていればメールを表示できます。

受信／送信／未送信BOXの一覧画面／詳細画面の見かた

受信BOX一覧画面の見かた

ページ番号／総ページ数



- マークの意味は次のとおりです。

①状態マーク

：未読	：未読（返信不可）
：既読	：既読（返信不可）
：既読（返信済み）	：既読（転送済み）
：保護	：保護（返信不可）
：保護（返信済み）	：保護（転送済み）

※返信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

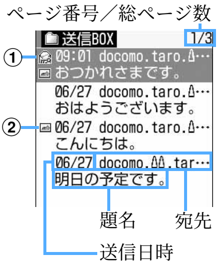
②添付ファイル／SMS／メール連動型 i アプリマーク

- ：10000バイト以内の静止画
- ：メロディ
- ：10000バイト以内の静止画＋メロディ
- ：10000バイトより大きい静止画
- ：添付ファイルあり（1行表示の場合）
- ：SMS
- ：メール連動型 i アプリで利用されるメール
- ： i アプリToあり

※10000バイトより大きい静止画と一緒に、10000バイト以内の静止画やメロディが添付されていても、しか表示されません。

- 発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 受信した i モードメールによっては題名が表示されない場合があります。また、SMSの場合、題名には本文の先頭が表示されます。
- データ異常のSMSにはが表示され、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）になります。発信元は表示されません。
- メール一覧の表示形式を変更できます。

送信／未送信BOX一覧画面の見かた



- マークの意味は次のとおりです。

①**状態マーク**

マークなし：未保護

：保護

②**添付ファイル／SMS／メール連動型ｉアプリマーク**

：10000バイト以内の静止画

：メロディ

：10000バイト以内の静止画＋メロディ

：ｉモーション

：10000バイトより大きい静止画

：添付ファイルあり（1行表示の場合）

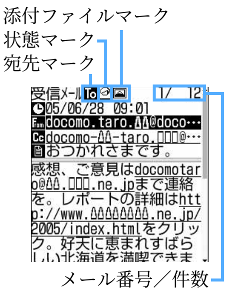
：SMS

：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

※ｉモーションまたは10000バイトより大きい静止画と一緒に、10000バイト以内の静止画やメロディが添付されていても、 または しか表示されません。

- 送信日時には、当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 送信日時を表示するには日付・時刻の設定が必要です。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
  SMSの場合、題名には本文の先頭が表示されます。
- 未送信メール一覧からメールを選択すると、メール作成画面が表示されます。
- メール一覧の表示形式を変更できます。

受信メール詳細画面の見かた



- マークの意味は次のとおりです。

：受信日時　　：発信元

：宛先（TO）　　：宛先（CC）（ｉモードメールのみ）

：宛先（BCC）（ｉモードメールのみ）

：題名（SMSは「受信SMS」「SMS送達通知」「留守番 着信通知」）

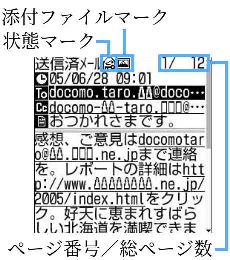
：発信元（返信不可）

：宛先（TO）（返信不可）（ｉモードメールのみ）

：宛先（CC）（返信不可）（ｉモードメールのみ）

- ｉモードメールでは発信元からどの宛先（TO、CC、BCC）で送られてきたのかを、宛先マークで確認できます。
- 文字サイズは変更できます。→P292
- データ異常のSMSには の代わりに が表示され、 以外は表示されません。

送信済みメール詳細画面の見かた



- マークの意味は次のとおりです。

：送信日時

：宛先（TO）

：宛先（CC）（ｉモードメールのみ）

：宛先（BCC）（ｉモードメールのみ）

：題名

- 文字サイズは変更できます。→P292

メール

お知らせ

- ｉモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。SMSでは、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。
  - メールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると名前が表示されます。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略してメールアドレスを電話帳に登録しているときや、電話帳に登録している電話番号が一致したときに名前が表示されます。
  - シークレット属性が設定されている電話帳データにメールアドレスや電話番号が登録されている場合は、シークレットモード中のみ名前が表示されます。
  - プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、名前は表示されません。
- SMSおよび送達通知、着信通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項　目	SMS	送達通知	着信通知
題名	受信SMS	SMS送達通知	留守番 着信通知
発信元	電話番号	SMS Center	DoCoMo SMS

※電話番号が電話帳に登録されているときは、名前が表示されます。
ただし、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、名前は表示されません。
※発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
「非通知設定」（非通知に設定して送られてきた場合）
「公衆電話」（公衆電話から送られてきた場合）
「通知不可能」（発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合）

- 添付ファイルやｉアプリが起動できるリンク項目がある場合、詳細画面にマークと添付ファイル名などが表示されます。

種　類	マーク	参照先
静止画	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：10000バイトより大きい静止画のメール添付／取得されていない10000バイトより大きい静止画 ：取得済みの10000バイトより大きい静止画 ：取得失敗の静止画の添付あり ：静止画データ異常	P267
メロディ	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：メロディデータ異常	P270
ｉアプリが起動できるリンク項目		P326

- 受信メール一覧表示中にMENU 5を押すと、受信メールの既読と未読を変更できます。
  - 選択している未読メールを既読にするときは、1を押します。
  - 選択している既読メールを未読にするときは、2を押します。
  - 複数の未読メールを既読にするときは3を押し、既読にする受信メールを選択してを押し、「はい」を選択します。
  - 複数の既読メールを未読にするときは4を押し、未読にする受信メールを選択してを押し、「はい」を選択します。
  - 受信BOX内のメールをすべて既読にするときは5を押し、「はい」を選択します。
  - 受信BOX内のメールをすべて未読にするときは6を押し、「はい」を選択します。
  - 保護されている受信メールの未読／既読は変更できません。

フォルダを作成・削除する

フォルダを作成する

- 受信メールフォルダ内には、「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大40個作成できます。
- 送信メール、未送信メールフォルダ内には、「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大10個作成できます。
- 「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダは、フォルダ設定を変更できません。

1 メールフォルダ一覧を表示する

- 受信メール→P272
- 送信メール→P272
- 未送信メール→P272

2 [MENU][1] を押す

■ フォルダ設定を変更するとき

フォルダ設定を変更するフォルダにカーソルを合わせ、[MENU][3] を押す

3 各項目を選択して設定する

フォルダ名　：メールのフォルダ名称を設定します。
全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

プライバシー：プライバシーモード中にフォルダを表示するかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）はフォルダを表示しません。

4 [✉] を押す

お知らせ

- メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、メールのフォルダ一覧にそのメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名にはダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定され、変更できません。

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してからフォルダを削除してください。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応するｉアプリがあるときは削除できません。

1 メールフォルダ一覧を表示する

- 受信メール→P272
- 送信メール→P272
- 未送信メール→P272

2 削除するフォルダにカーソルを合わせ、[MENU][2] を押す

3 認証操作を行い、「はい」を選択する

メールの件数を確認する＜フォルダ内メール件数＞

受信メール、送信メール、未送信メールの未読、既読、保護の保存件数をフォルダごとに確認します。

1 メールフォルダ一覧を表示する

- 受信メール→P272
- 送信メール→P272
- 未送信メール→P272

2 件数を確認するフォルダにカーソルを合わせ、[MENU][5]を押す

お知らせ

- メール一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「表示」→「メール件数確認」を選択します。

メールアドレスを確認する＜アドレス表示＞

発信元や宛先のメールアドレスを表示します。メールアドレスが途中までしか表示されない場合や、電話帳に登録されている名前が表示される場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。ただし、未送信メール詳細画面からは確認できません。

1 メールを表示する

- 受信メール→P272
- 送信メール→P272
- メールテンプレート→P257

2 メールアドレスを確認する発信元または宛先を選択する

お知らせ

- 複数のメールアドレスをまとめて確認する場合は、メール詳細画面で[MENU]を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。
- 受信メール、送信メール、未送信メール一覧から操作する場合は、アドレスを表示するメールにカーソルを合わせて[MENU]を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。送信メール、未送信メールの場合、宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスが、受信メールの場合は自分以外の宛先（「TO：」「CC：」）が表示されます。

受信／送信メールをフォルダに移動する＜メール移動＞

保存してあるメールを別のフォルダやminiSDメモリーカードに移動、コピーします。

〈例〉1件の受信メールを他のフォルダに移動するとき

1 待受画面で[✉][1]を押し、フォルダを選択する

- 送信メール→P272
- 未送信メール→P272

2 移動するメールにカーソルを合わせ、[MENU][4][1][1]を押す

■ 複数選択して移動するとき

① [MENU][4][1][2]を押し、メールを選択する

- [●]で選択☑と解除☐が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

② [✉]を押す

■ すべてのメールを移動するとき

[MENU][4][1][3]を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ miniSD メモリーカードへ1件コピーするとき

MENU 4 4 1 を押し、「はい」を選択する

■ miniSD メモリーカードへバックアップ(全件)するとき

① MENU 4 4 2 を押す

② 認証操作を行い、「はい」を選択する

3 □を押し、移動先フォルダを選択する

4 「はい」を選択する

お知らせ

- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

受信/送信メールを並べ替える<ソート>

受信メールと送信メールのメール一覧の並び順(「日付順」)を一時的に並べ替えます。

- 未送信メールとFOMAカード内のSMSの並び順は変更できません。

〈例〉受信メール一覧を並べ替えるとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

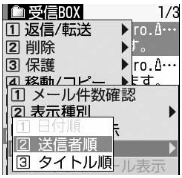
- 送信メール→P272

2 MENU 7 4 を押す

■ 送信メールを並べ替えるとき

MENU 5 を押す

3 1 〜 3 を押す



メールが一時的に並び替わります。

お知らせ

- 受信メール一覧や送信メール一覧の表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。
- 「送信者順」または「宛先順」の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」の並び順の結果が50音順と一致しない場合があります。
- 同じフォルダ内にSMSが含まれていると、一覧画面ではSMSはメッセージの本文の先頭が表示されるため、「タイトル順」でソートした場合、50音順と一致しません。

受信／送信メールから電話をかける＜電話発信＞

受信メールの送信者や送信メールの宛先に電話をかけられます。
- 電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しておく必要があります。相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は電話番号のみの登録で電話をかけられます。
- シークレット属性が設定されている電話帳データにメールアドレスが登録されている場合は、シークレットモード中のみ電話をかけられます。

〈例〉受信メールから電話をかけるとき

1 待受画面で[メール][1]を押し、フォルダを選択する
- 送信メール→P272

2 電話をかけるメールにカーソルを合わせ、[MENU][6]を押す
- 受信メールまたは送信メールの詳細画面から操作する場合は[MENU][7]を押します。

3 カスタム発信の各項目を選択して[MENU]を押し、「はい」を選択する

受信／送信メールを保護する＜メール保護＞

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。
- 最大保護件数→P573
- 未読メールは保護できません。

〈例〉受信メールを1件保護するとき

1 待受画面で[メール][1]を押し、フォルダを選択する
- 送信メール→P272
- 未送信メール→P272

2 保護するメールにカーソルを合わせ、[MENU][3][1]を押す
- 状態マークが次のいずれかに変わります。
  受信メール　：(既読)、(返信不可)、(返信済み)、(転送済み)
  送信メール　：
  未送信メール：

■ 複数選択して保護するとき
①[MENU][3][2]を押し、メールを選択する
- [決定]で選択☑と解除☐が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。ただし、保護されていない受信メールが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

②[クリア]を押す

■ フォルダ内の受信メールを全件保護するとき
[MENU][3][3]を押す

■ 保護を1件解除するとき
保護を解除するメールにカーソルを合わせ、[MENU][3][4]を押す

■ 保護を複数選択して解除するとき
①[MENU][3][5]を押し、メールを選択する
- [決定]で選択☑と解除☐が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

②[クリア]を押す

■ 保護を全件解除するとき
[MENU][3][6]を押す

お知らせ

- データ一括削除を行うと保護したメールもすべて削除されます。
- メール詳細画面から保護する場合は[MENU]を押し、「保護」を選択します。保護解除する場合には[MENU]を押し、「保護解除」を選択します。
- 送信メールまたは未送信メールの一覧から保護する場合は[MENU]を押し、「保護」→「1 件保護」「複数保護」「全件保護」のいずれかを選択します。保護解除する場合には[MENU]を押し、「保護」→「1 件保護解除」「複数保護解除」「全件保護解除」のいずれかを選択します。
- 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。
- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

受信／送信メールを削除する＜メール削除＞

受信メール、送信メール、未送信メールから不要なメールを削除します。

- 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合、次の削除方法の条件に該当していても保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

受信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	全メール（未読も削除）	○	－	－
フォルダ内 - 既読	フォルダ内の既読メール	○	○	－
フォルダ内 - 全件	フォルダ内の全メール（未読も削除）	○	○	－
フォルダ内 -7 日経過	フォルダ内の受信後指定日数経過したメール（未読も削除）	○	○	－
フォルダ内 -14 日経過		○	○	－
フォルダ内 -30 日経過		○	○	－
1 件削除	選択したメール 1 件	－	○	○
複数削除	選択した複数メール	－	○	－

1　待受画面で[✉][1]を押す

- メール全件を削除するときは、[MENU][4][6]を押し、認証操作を行い、操作 4 に進みます。

2　フォルダを選択し、[MENU][2]を押す

- 受信メールを 1 件だけ削除するときは、削除する受信メールにカーソルを合わせ、[MENU][2]を押します。

3　[1]～[7]を押す



■ **複数選択して削除するとき**

① [2]**を押し、メールを選択する**

- [●]で選択☑と解除☐が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

② [✉]**を押す**

■ **フォルダ内の受信メールを全件削除するとき**

[4]**を押し、認証操作を行う**

メール

4 「はい」を選択する

お知らせ

- メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

送信／未送信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	全メール	○	－	－
全件削除	フォルダ内の全メール	○	○	－
1件削除	選択したメール1件	－	○	○ （送信メールのみ）
複数削除	選択した複数メール	－	○	－

〈例〉**送信メールを1件削除するとき**

1 待受画面で [メール][5] を押す

- 未送信メール→P272
- メール全件を削除するときは、[MENU][4][2] を押して認証操作を行い、操作4に進みます。

2 フォルダを選択する

3 削除するメールにカーソルを合わせ、[MENU][2][1] を押す

■ 複数選択して削除するとき

①[MENU][2][2] **を押し、メールを選択する**
- [ ] で選択☑と解除☐が切り替わり、[MENU] で全選択または全解除できます。

②[メール] **を押す**

■ フォルダ内の送信メールを全件削除するとき

[MENU][2][3] **を押し、認証操作を行う**

4 「はい」を選択する

お知らせ

- 未送信メールも同様の操作で削除できます。
- フォルダ一覧から操作する場合は [MENU] を押し、「メール削除」を選択します。
- メール詳細画面から操作する場合は [MENU] を押し、「削除」を選択します。

メールの便利な機能

ｉモードメールやSMSの本文に電話番号やメールアドレス、URLがあるとき、これらを選択して音声電話またはテレビ電話をかけたり（Phone To／AV Phone To）、ｉモードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。また、本文などの文字をコピーしたり、電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録することもできます。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能を使う

1 メールを表示し、電話番号、メールアドレス、URLにカーソルを合わせる

- カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URLのみ選択できます。
- 以降の操作は「Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う」の操作2を参照してください。→P221

お知らせ

- パソコンなどからメールを受信した場合、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が利用できないことがあります。

本文などをコピーする

ｉモードメール、SMS中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- FOMAカード内のSMSの場合、本文、宛先、送信者をコピーできます。
- デコメールの場合、装飾情報はコピーされず、テキストのみコピーできます。
- コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーすると前にコピーした文字に上書きされます。

〈例〉受信メール詳細画面からコピーするとき

1 コピー元のメールを表示する

- 受信メール→P272
- 送信メール→P272
- メールテンプレート→P257
- FOMAカード内のSMS→P305

2 MENU 2 を押す

- 選択項目コピーをする場合は、コピーする項目にカーソルを合わせてから操作2を行います。

3 コピー方法を選択する



- 次のコピーができます。

本文コピー　：本文中の指定した範囲の文字をコピーします。詳しくは、「URLをコピーする」の 操作2を参照してください。→P221

題名コピー　：題名をコピーします。

選択項目コピー：項目（メールアドレス、電話番号など）を選んでコピーします。

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

- 文字の貼り付け方法→P521

お知らせ

- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、FOMAカード内のSMS詳細画面から操作するときは[MENU]を押し、「移動／コピー」または「コピー」を選択します。
- Date To形式の本文は、いったんメモ帳に貼り付けるとスケジュール登録できます。

電話番号やアドレス、URLを電話帳に登録する

ｉモードメール、SMS中のメールアドレス、電話番号、URLを電話帳に登録できます。

〈例〉メールに表示されている電話番号やメールアドレスを新規登録するとき

1 登録元のメールを表示する

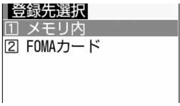
- 受信メール→P272
- 送信メール→P272
- FOMAカード内のSMS→P305

2 登録元にカーソルを合わせ、[MENU][4][1]を押す

■ 登録済みの電話帳データに追加するとき

登録元にカーソルを合わせ、[MENU][4][2]を押す

3 [1]または[2]を押す



■ 登録済みの電話帳データに追加するとき

[1]または[2]を押し、更新する電話帳データを選択する

4 名前などを設定して登録する

- 登録済みの電話帳データに追加した場合は、内容を確認して登録してください。
- 電話帳の登録方法→P98、P101

お知らせ

- 送信メール詳細画面、FOMAカード内のSMS詳細画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細画面から操作するときは[MENU]を押し、「登録」を選択します。
- 表示中のｉモードメールやSMSのメールアドレス、電話番号、URLにカーソルを合わせていなければ登録操作はできません。ただし、受信メールでは発信元に、送信メールでは宛先（複数宛先のときは選択可能）にカーソルを合わせても電話帳に登録できます。
- デコメールからは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URLをブックマークに登録する

ｉモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、メール詳細画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

1 登録するURLを含むメールを表示する

- 受信メール→P272
- 送信メール→P272
- FOMAカード内のSMS→P305

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

2 URLにカーソルを合わせ、MENU 4 3を押す

3 登録先フォルダを選択する

お知らせ

- 送信メール詳細画面、FOMAカード内のSMS詳細画面から操作するときはMENUを押し、「登録」を選択します。
- デコメールからは登録できない場合があります。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

設定できるメール機能は次のとおりです。

機能名	内　容	参照先
メール振り分け設定	受信メール、送信メールを自動的にフォルダに振り分けます。	P285
署名設定	メールに添付する署名を設定します。	P288
iモード問合せ設定	iモードセンターに問い合わせる内容を設定します。	P288
メール選択受信設定	メールを自動受信せず、選択して受信できるようにします。	P289
メールグループ設定	複数の宛先をメールグループとして設定します。	P289
メール返信引用設定	メールに返信するときに、受信メールを引用するかどうかを設定します。	P290
メール一覧表示設定	受信メール、送信メールの表示形式を設定します。	P291
メール受信添付ファイル設定	受信メールの添付ファイルを受信するかどうかを設定します。	P291
添付ファイル自動再生設定	メロディが添付されたメールを表示したときに、自動再生するかどうかを設定します。	P291
表示種別	受信メール、送信メールのメール一覧に表示するメール種別を設定します。	P292
フォントサイズ	メールを表示したときの文字の大きさを設定します。	P292
メール着信設定	メールを受信したときの動作を設定します。	P293
受信表示設定	FOMA端末操作中にメールを受信したときの表示を優先するかどうかを設定します。	P293

メールを自動的にフォルダに振り分ける＜メール振り分け設定＞

受信または送信したiモードメールやSMSに振り分け条件を設定し、自動的にフォルダに振り分けるかどうかを設定します。

- 受信メール、送信メールの振り分け条件は、それぞれ30件登録できます。
- 通常のメールをメール連動型iアプリ用のフォルダに振り分けることもできます。その場合、メール連動型iアプリの振り分け条件が優先されます。

振り分け条件を設定する

- 設定した振り分け条件を実行するには、自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。お買い上げ時は、「ON」に設定されています。→P287
- 条件設定後に受信または送信するメールに対して有効です。受信済みまたは送信済みのメールは振り分け直しできません。

〈例〉受信メールを振り分けるとき

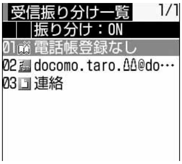
1 待受画面で✉ 9 3を押す

メール

次ページへ続く

2 1 を押す

送信メールを振り分けるときは 2 を押します。



1行目には、自動振り分け設定のON／OFFが表示されます。また、登録済みの振り分け条件が優先順位順に一覧表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

To：送信メールアドレス	From：受信メールアドレス
No.：メモリ番号	：電話帳登録なし
：題名	Gr.：グループ
：条件なし	

3 MENU 1 を押し、振り分け条件を設定する



■ メールアドレスを指定するとき

指定したメールアドレスのメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角で最大50文字）。アドレスの一部の文字では振り分けられません。電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。

1 を押す

- 電話帳から選択する場合
  1 を押し、指定する電話帳データのメールアドレスを選択する
  →P103
- 直接入力する場合
  2 を押し、メールアドレスを入力して 押す

■ 題名を指定するとき

指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角で最大15文字）。
SMSは題名では振り分けられません。

① **2 を押し、題名を入力する**
② ** を押す**

■ メモリ番号を指定するとき

指定したメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。iモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

① **3 を押し、メモリ番号を入力する**
② ** を押す**

■ グループを指定するとき

指定した電話帳のグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

① **4 を押し、1 または 2 を押す**
② **指定するグループを選択する**

■ 電話帳登録なしを指定するとき

電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

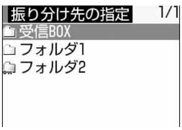
5 を押す

■ 条件なしを指定するとき

条件を設定せずにすべてのメールを操作4で指定するフォルダに振り分けます。

6 を押す

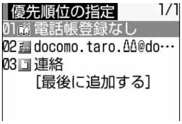
4 振り分け先フォルダを選択する



- メール連動型 i アプリ用のフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールが i アプリで利用される旨のメッセージが表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

メール

5 優先順位を指定する



選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

- 1つ目の振り分け条件を登録する場合は、「最後に追加する」を選択します。
- 最後に追加するときは「最後に追加する」を選択します。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。
- 登録済みの条件を変更したときは「最後に追加する」は、「最後に移動する」と表示されます。

お知らせ

- 条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を2件設定した場合、次のように振り分けられます。
  ① 優先順位1の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは②に進みます。
  ② 優先順位2の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信BOX」または「送信BOX」フォルダに保存されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定、またはメールを「認証後に表示」か「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に振り分け条件を設定する場合は、認証操作が必要です。
- 発信元の端末がｉモード端末で、メールアドレスが携帯電話番号の場合、受信するアドレスは携帯電話番号のみになるので、振り分け条件には携帯電話番号のみを登録してください。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。

振り分け条件を確認・変更する

1 待受画面で ✉ 9 3 を押す

2 1 または 2 を押す

3 確認する振り分け条件を選択する

■ 登録済みの振り分け条件を変更するとき

①変更する振り分け条件にカーソルを合わせ、MENU 2 を押す

- 振り分け条件の指定の操作は、「振り分け条件を設定する」の操作3～5を参照してください。
  →P286

②「変更する」を選択する

■ 優先順位を変更するとき

①変更する振り分け条件にカーソルを合わせ、MENU 5 を押す

②移動する位置を選択する

- 一覧の最後に移動するときは、「最後に移動する」を選択します。

■ 条件を削除するとき

①削除する振り分け条件にカーソルを合わせ、MENU 3 を押す

- 条件をすべて削除するときは MENU 4 を押し、認証操作を行います。

②「はい」を選択する

振り分けるかどうかを設定する

お買い上げ時	受信振り分け設定：ON　送信振り分け設定：ON

設定した振り分け条件に従って振り分けを開始します。「ON」に設定する他、振り分け条件を設定する必要があります。

〈例〉受信メールを振り分けるとき

1 **待受画面で [✉][9][3] を押す**

2 **[1] を押し、[MENU][6] を押す**

- 送信メールを設定するときは [2] を押し、[MENU][6] を押します。

3 **[1] を押す**

- メールを自動振り分けしないときは、[2] を押します。

メールの署名を登録する＜署名設定＞

お買い上げ時	自動挿入：する　署名：値なし

ｉモードメールやSMSの本文に付ける署名を登録します。また、メール作成時に署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。

- 署名は全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

1 **待受画面で [✉][9][4] を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

自動挿入：署名を自動挿入するかどうかを設定します。
- 自動挿入しない場合は [2] を選択します。

署名　　：署名を入力します。

3 **[✉] を押す**

メール

お知らせ

- 署名も本文の文字数に含まれます。
- 署名を自動挿入しない設定にしたときは、メール作成時にサブメニューから選択して挿入できます。
- 署名に電話番号やメールアドレス、URLを入れておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手がPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を使えます。
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合、署名は挿入できません。

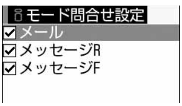
センター問い合わせの内容を設定する＜ｉモード問合せ設定＞

お買い上げ時	すべて選択

ｉモード問合せをする際に、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

1 **待受画面で [✉][6][4] を押す**

2 **問い合わせ項目を選択する**



- [○] で選択 ☑ と解除 □ が切り替わり、[MENU] で全選択または全解除できます。
- 全解除のまま登録できません。いずれかを ☑ にしてください。

3 **[✉] を押す**

メールを選択して受信できるようにする < メール選択受信設定 >

お買い上げ時	OFF

メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するように設定します。

1 待受画面で [✉] [9] [6] を押す

2 [1] を押し、[ ] を押す

- メールを選択して受信しないときは、[2] を押します。

> **お知らせ**
>
> - メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、チャットメールを利用できません。

宛先をメールグループに登録する＜メールグループ設定＞

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメールを簡単な操作で複数の宛先に送信できます。

- メールグループは最大 20 件登録できます。1 つのメールグループには、最大 5 件のメールアドレスを登録できます。

1 待受画面で [✉] [9] [8] を押す

2 [📖] を押す

■ メールグループ名を編集するとき

編集するメールグループにカーソルを合わせ、[MENU] [2] を押す

■ メールグループをコピーするとき

コピーするメールグループにカーソルを合わせ、[MENU] [3] を押す

■ メールグループを 1 件削除するとき

①削除するメールグループにカーソルを合わせ、[MENU] [4] [1] を押す

②「はい」を選択する

■ メールグループを全件削除するとき

[MENU] [4] [2] を押し、認証操作を行い、「はい」を選択する

3 メールグループ名を入力し、[📖] を押す

- 全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字入力できます。
- 続けて別のメールグループを登録する場合は、[📖] を押します。

4 メールアドレスを登録するメールグループを選択する

5 [✉] を押し、各項目を選択して設定する

宛先種別：「TO」「CC」「BCC」を設定します。

- 「TO」は、直接の送信相手の宛先に設定します。
- 「CC」は、直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい宛先に設定します。
- 「BCC」は、他の送信相手に知らせたくない宛先に設定します。「BCC」に設定したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

次ページへ続く

アドレス：登録するメールアドレスを入力します。
- 半角で最大50文字入力できます。
- 電話帳からメールアドレスを入力するときは、を押します。→P103

■ 登録済みのメールアドレスを編集するとき

①編集するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせ、を押す
②メールアドレスを変更してを押す

■ 登録済みのメールアドレスを1件削除するとき

①削除するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせ、を押す
②「はい」を選択する

■ 登録済みのメールアドレスの詳細を表示するとき

①メールアドレス一覧でを押す
- メールアドレスが電話帳に登録されていない場合や、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳の名前は表示されません。

②メールアドレスの確認が終わったらを押す

6 を押す

- すでに電話帳に登録されているメールアドレスは、電話帳で登録している名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスが表示されます。
- 他のメールアドレスを追加する場合は、操作5から繰り返します。

7 を押す

お知らせ

- 電話帳に登録しているメールアドレスをメールグループに登録している場合は、電話帳の名前を変更するとメールグループ内の表示も変更されます。
- 宛先種別にTOがないと、メールを送信できません。
- メールグループから宛先を入力する→P246

返信時に本文を引用するかどうかを設定する <メール返信引用設定>

お買い上げ時	引用：する　引用文字：>（半角）

ｉモードメールやSMSに返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

1 待受画面でを押す

2 各項目を選択して設定する

引用：メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。
- 「しない」を選択したときは、操作3に進みます。

引用文字：引用文字を入力します。
- 全角で1文字、半角で最大2文字入力できます。
- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

3 を押す

メール一覧の表示形式を設定する＜メール一覧表示設定＞

お買い上げ時	2 行表示

受信メール、送信メールのメール一覧の表示形式を 1 行表示または 2 行表示に設定します。



1 行表示



2 行表示

- 1 行表示に設定すると、受信メールの場合にはカーソルを合わせているメールの発信元が、送信メールの場合にはカーソルを合わせているメールの宛先（1 件目）が、画面下部に表示されます。
- 未送信メール、FOMA カード内の SMS 一覧の表示形式は、本設定に関わらず 2 行表示です。

1 **待受画面で [メール] [9] [9] [1] を押す**

2 **[1] または [2] を選択する**

添付ファイルを受信するかどうかを設定する＜メール受信添付ファイル設定＞

お買い上げ時	画像、メロディ：受信する

i モードメールに添付されている静止画、添付メロディを受信するかどうかを設定します。

1 **待受画面で [メール] [9] [7] を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

画像　：画像を受信するかどうかを設定します。
メロディ：メロディを受信するかどうかを設定します。

3 **[i] を押す**

お知らせ

- 画像を「受信しない」に設定した場合、デコメールに挿入された画像も受信できません。
- 受信しない添付ファイルは i モードセンターで削除され、受信できません。
- メール本文中に貼付された MFi 形式のメロディは、本設定に関わらず受信します。

メロディを自動再生するかどうかを設定する＜添付ファイル自動再生設定＞

お買い上げ時	自動再生する

メロディが添付されている i モードメールやメッセージ R/F を表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 **待受画面で [メール] [9] [9] [2] を押す**

2 **[1] または [2] を押す**

次ページへ続く

お知らせ

- 「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、メロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。

表示するメールの種別を選ぶ＜表示種別＞

受信メール、送信メールのメール一覧に、指定した種別のメールだけを一時的に表示します。
- 未送信メール、FOMAカード内のSMSの表示種別は選択できません。

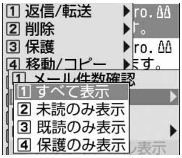
〈例〉受信メールの表示種別を選択するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

- 送信メール→P272

2 MENU 7 2 を押す

3 1 ～ 4 を押す



選択した種別で表示されます。
- 送信メールの場合、すべて表示、保護のみ表示が選択できます。

お知らせ

- 受信メール一覧や送信メール一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」を選択すると、保護されている受信メールは表示されません。

メールの文字の大きさを変更する＜フォントサイズ＞

お買い上げ時	中（標準）

受信メールや送信メール、メールテンプレートなどの内容を表示するときの文字サイズを変更します。
- 本機能の設定は受信メール、送信メール、メールテンプレート、miniSDメモリーカード内のメールすべてに反映されます。
- メール作成時および編集時の文字サイズは変更できません。



大：24ドット



中（標準）：20ドット



小：16ドット

1 メールを表示する

- 受信メール→P272
- 送信メール→P272
- メールテンプレート→P257
- FOMAカード内のSMS→P305

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

2 [MENU][3][1] を押す

- メールテンプレートを表示しているときは[MENU][4][1]を押します。

3 [1]～[3] を押す

お知らせ

- miniSDメモリーカード内の受信メールや送信メール、未送信メールの詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し、「フォントサイズ」を選択します。
- 文字サイズの変更は、次に設定を変更するまで保持されます。

メール着信時の動作を設定する<メール着信設定>

お買い上げ時	着信音選択：メロディ／着信音1　着信イルミネーション設定：点滅／アクア バイブレータ設定：OFF　鳴動時間（秒）：10

ｉモードメール、SMSを受信したときの動作を設定します。

1 待受画面で[✉][9][1] を押す

2 各項目を選択して設定する

着信音選択：「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。
- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。

メロディ一覧の見かた→P376
動画／ｉモーション一覧の見かた→P360

着信イルミネーション設定
：着信ランプの点灯または点滅パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると色は選択できません。

バイブレータ設定：バイブレータの動作パターンを設定します。
- バイブレータのパターン→P121

鳴動時間（秒）：着信音が鳴る時間を1～30秒の間で設定します。

- メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作については、「FOMA端末から鳴る着信音を変える」のお知らせを参照してください。→P119

3 [📖] を押す

お知らせ

- 電話帳でメール着信設定をしている相手からのメールを受信した場合は、電話帳の設定で動作します。→P99 操作6
- メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定でメロディ連動に設定しても、連動しない場合があります。

操作中のメール受信通知を設定する<受信表示設定>

お買い上げ時	通知優先

FOMA端末の操作中にｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で[✉][9][9][3] を押す

メール

2 1 または 2 を押す

操作優先：受信中画面および受信結果画面を表示しません。
通知優先：受信中画面および受信結果画面を表示します。

お知らせ

- 「通知優先」に設定していても、音声電話中やデータ通信中、カメラ起動中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、ｉアプリ動作中、アラーム鳴動中などの場合は、受信中画面および受信結果画面は表示されないだけではなく、着信音と着信ランプも動作しません。
- 「操作優先」に設定すると、次の場合には受信中画面や受信結果画面が表示されないだけではなく、着信音と着信ランプも動作しません。
  - 待受中以外のとき（他の機能が起動中）
  - ドライブモード中
  - カメラ起動中
  - 開閉ロック中（FOMA端末を開いているとき）
  - オールロック中
  - PIMロック中
  - アラーム鳴動中

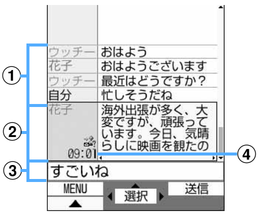
チャットメール作成・送信

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。メールのやりとりは1つの画面で確認できます。

- あらかじめ相手のメールアドレスをメンバーリストに登録しておく必要があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、または受信、送信、未送信メールの保存領域に空きがない場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、相手の端末には「チャットメール」（半角または全角）の題名が付いたメールとして受信されます。非対応端末からこのメールへ返信した場合、チャットメールとして受信できます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、メール同報送信の場合と同じです。

チャットメール画面



チャットメール画面

チャットメール画面の見かたは次のとおりです。

①**送受信履歴**
　でスクロールできます。
- 送受信履歴が一画面内に表示しきれない場合は、チャットメール画面で 5 1 を押すと先頭行に移動し、5 2 を押すと最終行に移動して表示されます。

②**詳細表示欄**
最新またはカーソルを合わせたチャットメールの詳細を表示します。チャットメールの表示可能文字数は全角で最大250文字、半角で最大500文字です。
左右の欄下に◀ ▶が表示されているときは、でページを切り替えます。
- マークの意味は次のとおりです。
  ：メンバーリストに未登録の同報アドレスあり

③**本文入力欄**

④**最新のチャットメールを送信または受信した日付・時刻**

チャットメンバーを登録する <チャットメンバー設定>

チャットメールをやりとりする相手を登録します。
- チャットメンバーに登録できるのは、最大5件です。

1 待受画面で を押す

メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- メンバーがすでに登録されている場合は、チャットメール画面が表示されます。メンバーを追加登録するときは、 を押して操作3に進みます。

2 「はい」を選択する

3 を押す

4 アドレス欄を選択し、メールアドレスを入力する



- 半角で最大50文字入力できます。
- ｉモード端末のメールアドレスをチャットメンバーに登録する際は、「@docomo.ne.jp」を省略せずに登録してください。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は「@docomo.ne.jp」を省略してください。
- メンバーに登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、電話帳に相手のメールアドレスを登録してからシークレットコードを設定し、相手の携帯電話番号のみをメンバーに登録します。

■ 電話帳から検索するとき

① を押す
②電話帳から検索し、メールアドレスを選択する

5 ニックネーム欄を選択し、ニックネームを入力する

- 全角で最大4文字、半角で最大8文字入力できます。
- ニックネームを入力しなかった場合は、チャットメール画面では、メールアドレスの@マークより前の部分の先頭から8文字が表示されます。

6 文字色を選択し、色を選択する

- 青、赤、緑、オレンジ、黒の順に、登録済みのチャットメンバーに使用していない色から表示されます。
- チャットメール画面ではニックネームが選択した色で表示されます。

7 を押す

メンバーリストが表示されます。

- 他のメンバーを追加登録する場合は を押して、操作4～7を繰り返します。

8 を押す

お知らせ

- 同じメールアドレスは複数登録できません。
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定している場合）にチャットメールを起動する場合は、認証操作が必要です。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、認証操作が必要です。

チャットメールを作成して送信する

- チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送信する設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、設定は元に戻ります。
- 送信したチャットメールは、ｉモードメールの送信BOX内のフォルダに保存されます。
- メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに振り分けられます。

次ページへ続く

1 待受画面で を押す

- メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 本文入力欄を選択し、本文を入力する

- 全角で最大250文字、半角で最大500文字入力できます。

■ チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付けるとき

① コピーするチャットメールにカーソルを合わせ、を押す

- 文字のコピー方法→P521

② 本文入力欄を選択し、貼り付ける位置にカーソルを合わせ、を押す

- 文字の貼り付け方法→P521

■ 受信したメールの同報アドレス全員に返信するとき

を押す

■ 送信するメンバーを選択するとき

① を押し、メンバーを選択する



- で選択☑と解除□が切り替わり、で全選択または全解除できます。

② を押す

宛先が設定されます。

3 を押す

- 正常に送信されると、送信されたチャットメールがチャットメール画面に表示されます。

お知らせ

- チャットメールは、次の操作でも表示できます。
  - 受信メール一覧で「チャットメール」（半角または全角）の題名が付いたメールにカーソルを合わせを押します。
  - 送信メール一覧で「チャットメール」（半角または全角）の題名が付いたメールにカーソルを合わせを押します。
  - 「チャットメール」（半角または全角）の題名が付いた受信または送信メール詳細画面でを押します。
- 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダにはチャットメールは1件のみ保存できます。別のチャットメールの送信に失敗すると、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文入力欄に表示されます。
- ｉモードメールまたはメッセージR/Fの受信中は、チャットメールを送信できません。受信中に送信したチャットメールは、自動的に最大3回再送されます。
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定している場合）にチャットメールを起動する場合は、認証操作が必要です。

チャットメールを受信する＜チャットメール受信＞

チャットメールを受信したときは、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。

チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手から、「チャットメール」（半角または全角）の題名が付いたメールを受信した場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、受信したチャットメールがチャットメール画面に追加されます。

- チャットメンバーに登録していない相手からチャットメールが送信されてきた場合は「受信 BOX」フォルダに保存されるため、次の「チャットメールを起動していないとき」の操作に従ってチャットメール画面に読み込んでください。

チャットメールを起動していないとき

チャットメールはｉモードメールとして「受信 BOX」フォルダに保存されます。

- メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに振り分けられます。

1 **受信メール一覧で、チャットメール画面に読み込む受信メールにカーソルを合わせ、MENU 7 5 を押す**

- 受信メール詳細画面から操作する場合は MENU 3 3 を押します。
- 読み込むメールの発信元アドレスがチャットメンバーに登録されていない場合は、送信者アドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録するときは「はい」を選択し、以降は「チャットメンバーを登録する＜チャットメンバー設定＞」の操作５～８を参照してください。→P295
- デコメールやパソコンなどから受信した HTML メールは、チャットメール画面に読み込めません。

ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

1 **チャットメール画面で MENU 1 を押す**

チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、受信したチャットメールがチャットメール画面に追加されます。

お知らせ

- チャットメールを起動していないときに、チャットメンバーに登録している相手からチャットメールを受信すると、次回のチャットメール起動時にチャットメール画面に読み込まれます。
- ｉモード問合せでチャットメールを受信すると、同時にｉモードメールも受信します。
- チャットメールにｉモードメールとして返信するときは、ｉモードメールと同じ操作で返信します。
- チャットメール画面では、本文中に電話番号やメールアドレス、URL が含まれていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To は使用できずｉアプリ To の機能も使用できません。また、添付ファイルも表示されません。チャットメールを削除せずに終了し、受信メールからチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
- 受信 BOX からチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--/--」、本文が「削除されました」と表示されます。
- チャットメール画面で受信したチャットメールは、受信 BOX では既読になります。
- メール連動型ｉアプリからメールを送受信した場合、「チャットメール」（半角または全角）の題名が付いたメールはチャットメール画面に表示できます。

同報アドレスを表示する

受信したチャットメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面で、同報アドレスを確認するチャットメールにカーソルを合わせ、MENU 4 を押す

- メンバー登録されていない同報者はニックネームの代わりに「未登録」と表示されますが、メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。□を押すとメールアドレスを確認できます。

■ 未登録の同報者をチャットメンバーとして登録するとき

□を押し、以降は「チャットメンバーを登録する <チャットメンバー設定>」の操作5～8を参照してください。→P295

■ 同報アドレスをコピーするとき

MENU 2 を押す

チャットメールの履歴をすべて削除する

チャットメール画面に表示されているすべてのチャットメールの履歴を削除します。

- 受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

1 チャットメール画面で MENU 9 を押し、「はい」を選択する

チャットメンバーを編集する

チャットメンバーの登録内容の変更や、メンバーの追加、削除を行います。
メンバー全員の登録内容の詳細を確認したり、メンバーを入れ替えたりすることもできます。

1 待受画面で ✉ 3 を押す

- メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 MENU 7 を押す

3 編集するメンバーにカーソルを合わせ、MENU 1 を押して編集する

- チャットメンバー設定方法→P294「チャットメンバーを登録する」操作4～7

■ チャットメンバーを1件削除するとき

①削除するメンバーにカーソルを合わせ、MENU 2 を押す
②「はい」を選択する

■ チャットメンバーの詳細を表示するとき

①詳細を表示するメンバーを選択する
- メンバー全員の詳細をまとめて確認するときは MENU 3 を押します。

②詳細の確認が終わったら□を押す

■ チャットメンバーを追加するとき

MENU 4 を押す

- チャットメンバー設定方法→P294「チャットメンバーを登録する」操作4～7

■ チャットメールのメンバー全件をメールグループと入れ替えるとき

① MENU 5 を押す
②入れ替えるメールグループを選択し、「はい」を選択する
チャットメールのメンバーが、選択したメールグループに登録されているメンバーと入れ替わります。

4 [key]を押す

個人情報を設定する

チャットメール画面に表示する自分のニックネームとその文字色を設定します。

1 待受画面で[key][3]を押す

2 [MENU][8]を押す

3 ニックネーム欄を選択し、ニックネームを入力する

- 全角で最大 4 文字、半角で最大 8 文字入力できます。
- ニックネームを入力しなかった場合、チャットメール画面では「自分」と表示されます。

4 文字色を選択し、色を選択する

5 [key]を押す

チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で[電源]または[クリア]を押す

2 「はい」または「いいえ」を選択する

- 「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。その場合、受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。
- 「いいえ」を選択すると、次回のチャットメール起動時に前回のチャットメールが表示されます。

お知らせ

- 未送信、作成中のチャットメールは、「未送信 BOX」フォルダに保存され、次回のチャットメール起動時に表示されます。ただし、メールの保存領域の空きが足りないときは保存されません。

チャットメール着信時の設定を行う<チャットメール着信設定>

お買い上げ時	着信動作設定：メール着信動作に従う

チャットメールを受信したときの動作を設定します。

1 待受画面で[key][9][2]を押す

2 各項目を選択して設定する

着信動作設定　：着信時の動作を設定するか、メールの着信動作に従うかを設定します。
- 「設定する」に設定すると、次の項目を設定できます。

着信音選択　：「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。
- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。

メロディ一覧の見かた→P376
動画／ｉモーション一覧の見かた→P360

メール

着信イルミネーション設定
：着信ランプの点灯または点滅パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると色は選択できません。
- 着信イルミネーションの設定について→P141

バイブレータ設定：バイブレータの動作を設定します。
- バイブレータのパターン→P121

鳴動時間（秒）：着信音が鳴る時間を1～30秒の間で設定します。

- メロディまたは動画／iモーションの再生の操作については、「FOMA端末から鳴る着信音を変える」のお知らせを参照してください。→P119

3 [キー]を押す

お知らせ

- チャットメール起動中にFOMA端末を開いている場合は、着信設定が動作しません。ただし、FOMA端末を折り畳んでいるときは、着信設定が動作します。
- 同時に複数のメールを受信した場合、上記設定どおりの動作になるのは、チャットメールを最後に受信したときのみです。

SMS作成・送信

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

SMSを作成して送信します。
送信せずに保存することもできます。

- 半角カタカナや絵文字を使うと受信側に正しく表示されない場合があります。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも、送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページを参照してください。
- 最大保存件数→P573

〈例〉宛先を直接入力してSMSを作成・送信するとき

1 待受画面で[キー][7][1]を押す

2 [To]を選択する

3 「直接入力」を選択し、宛先を入力する

相手の電話番号を入力します。

- 宛先が電話帳に登録されている場合は、[To]に電話帳の名前が表示されます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（[0]を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

■ 電話帳から検索するとき

①「電話帳参照」を選択する
②電話帳を検索して電話番号を選択する

4 [Text]を選択し、本文を入力する

- SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず最大70文字入力できます。
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、最大160文字入力できます。半角の英数字と記号（｀。「」、・゛゜を除く）を使用できます。
- 文中で改行できます。かな入力方式の場合、改行するときは[#]を押します。改行も本文の文字数に含まれます。
- [キー]を押して文末に半角ずつ空白を入力できます。空白も本文の文字数に含まれます。

メール

■ 署名を挿入するとき

[MENU][4] を押す

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。
- 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

5 [送信キー] を押す

- 送信せずに保存する場合は、[MENU][2] を押すと未送信メール内のフォルダに保存されます。ただし、宛先と本文がどちらも入力されていない場合は保存できません。

お知らせ

- 本文入力時に、定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。
- 文字の装飾（デコレーション）はできません。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はSMSの作成開始後に変更することもできます。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが未送信メール内のフォルダに保存されます。未送信メール内のフォルダからSMSを編集、送信できます。→P260
- 送信が正常に終了したときは、SMSが送信メール内のフォルダに保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古いものから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信メール内のフォルダに保存されます。
- 発信者番号通知が「通知しない」に設定されていても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- 本文入力時に、改行が含まれている定型文を挿入すると、改行は半角空白に置き換わります。
- 送信する文字種により送信できない文字があります。→P244
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合、署名は挿入できません。
- 送信文字種が英語の場合、一部の記号（| ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できないことがあります。その場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、認証操作が必要です。
- メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できません。未送信メール内のフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→P281
- メモリ番号0～99に登録されている相手には簡単にSMSを作成・送信できます（クイックメール）。
- 受信、送信、未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた→P274

送信・保存したSMS（ショートメッセージ）を編集・送信する

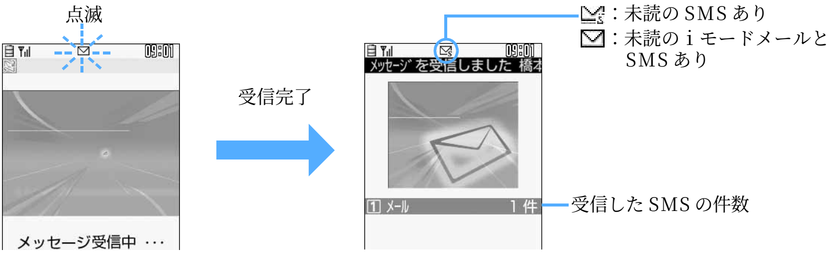
送信済みのSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集、送信できます。→P260

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

SMSは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したSMSは受信メール内のフォルダに保存されます。

- 最大保存件数→P573

1 SMSを受信する



[✉]が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。

メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。

- メッセージ受信中に[電源]を押すと受信を中止します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P28
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。それより前に受信前の画面に戻すときは[クリア]を押します。

■ 受信したSMSをすぐに読むとき

受信結果画面で[ ]または[1]を押す

- 受信したSMSに返信する→P265
- 受信したSMSを転送する→P266

■ 受信に失敗したとき

受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。

お知らせ

- 受信表示設定を「操作優先」に設定していると、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されているSMSは削除されます。
- movaサービスのｉモード端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。
- FOMA端末内の電話帳に、メール着信設定のある相手からSMSを受信した場合は、その設定に従って動作します。電話帳との照合は次のように行われます。
  - 複数のSMSを同時に受信したときは、最後に受信したSMSに設定されている条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、着信ランプが動作します。
  - 電話帳データにシークレット属性が設定されている相手の場合は、シークレットモード中のみ電話帳データに登録されている相手の名前が表示され、電話帳データの設定に従って着信音やバイブレータなども動作します。
  - プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳データに登録されている相手の名前は表示されず、電話帳データに設定されている着信音やバイブレータなども動作しません。
- ｉモードメール、メッセージR/F受信中はSMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。
- 途中で受信に失敗した場合などにSMSを受信し直すには、SMS問合せを行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの既読への変更、未読メールの内容表示（→P272）、不要メールの削除（→P281）、保護解除（→P280）などを行う必要があります。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古いものから順に上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。
- 未読メールと保護されているメールでフォルダ内が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面には や が表示されます。→P25
- FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは、受信メール内のフォルダに空きがあっても、SMSを受信できない場合があります。このとき、画面には や が表示されます（→P25）。FOMA端末に移動するか（→P306）、FOMAカード内のSMSを削除してください。→P307
- 受信したSMSが直接FOMAカードへの保存を指定している場合は、直接FOMAカードに保存されます。ただし、FOMAカード内に保存されているSMSが20件に達している場合は、SMSを受信できません。不要なSMSを削除してから、もう一度SMS問合せを行ってください。

SMS問合せ

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間にSMSが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

1 待受画面で 6 2 を押す

SMSセンターにSMSが保管されていれば受信します。

お知らせ

- 受信するまでに時間がかかる場合があります。

SMS設定

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

お買い上げ時	送達通知：要求しない 上記以外はFOMAカードの設定に従う

SMSを利用する際の各種条件を設定します。

SMSC、アドレス、Type of Numberの設定は、通常変更する必要はありません。

1 待受画面で [メール] [7] [4] を押す

2 各項目を選択して設定する

送信文字種：日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。

送達通知：SMSを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

有効期間：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

SMSC：ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。
- 「その他」に設定したときは、アドレス欄を選択し、メールアドレスを入力します。半角で最大20文字入力できます。

Type of Number
：「international」「unknown」のどちらかを設定します。SMSCに「その他」を選択し、かつメールアドレスに数字のみ、あるいは「＊」「＃」を含んだ番号を設定した場合は、Type of Numberを「unknown」に設定する必要があります。

3 [i-mode] を押す

お知らせ

- SMSの作成画面から操作する場合は [MENU] を押し、「SMS設定」を選択します。その場合には、送達通知、有効期間のみ設定できます。また、作成中のSMSにだけ有効です。
- SMS一括拒否または非通知SMS拒否は「ｉMenu」→「8オプション設定」→「1メール設定」で設定できます。→P239

FOMAカード保存SMS

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

送受信したSMSを、FOMA端末からFOMAカードに移動またはコピーします。

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに移動／コピーする

- 未送信メールのSMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送達通知のある送信SMSを移動またはコピーすると、対応する送達通知が同時にFOMAカードの受信メール内のフォルダに移動またはコピーされます。送信SMSだけ、または送達通知だけを移動またはコピーできません。
- 最大保存件数→P573

〈例〉受信SMSをFOMAカードに1件移動するとき

1 待受画面で[✉][1]を押し、フォルダを選択する

• 送信SMS→P272

2 移動するSMSにカーソルを合わせ、[MENU][4][2][1]を押す

■ 複数選択して移動するとき

① [MENU][4][2][2]を押し、SMSを選択する

• [○]で選択☑と解除□が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

② [✉]を押す

■ 1件コピーするとき

コピーするSMSにカーソルを合わせ、[MENU][4][3][1]を押す

■ 複数選択してコピーするとき

① [MENU][4][3][2]を押し、SMSを選択する

• [○]で選択☑と解除□が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

② [✉]を押す

3 「はい」を選択する

お知らせ

• 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「移動／コピー」→「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」を選択します。

• FOMAカードにSMSが20件保存されているときは、移動またはコピーできません。FOMAカードから不要なSMSを削除してください。

メール

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を表示する

〈例〉受信SMSを表示するとき

1 待受画面で[✉][7][2]を押す



FOMA受信SMS一覧画面では、SMSは2行で表示されます。1行目には受信日時と発信元または宛先が表示され、2行目には本文の先頭または「SMS送達通知」が表示されます。

• マークの意味は次のとおりです。

✉：未読（返信可）　　[✉×]：未読（返信不可）

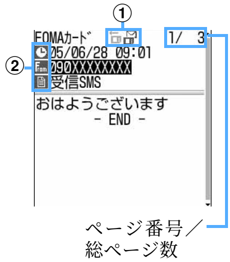
なし：既読（返信可）　　[×]：既読（返信不可）

[✉✓]：送達通知

• 一覧の既読、未読のマークは、FOMAカード内のSMSを表示したかどうかを示します。移動またはコピー前の未読、既読の状態も引き継がれます。

• 送信SMSを表示するときは[✉][7][3]を押します。

2 SMSを選択する



- マークの意味は次のとおりです。

①マーク
：受信（返信可）　：既読（返信不可）
：送信　：送達通知
：FOMAカード内のSMS

②マーク
：日時
：宛先　：発信元
：題名「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」

- 送達通知の詳細画面には、宛先が表示されます。発信元は「SMS Center」と表示されます。
- 送信SMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカード内の送信SMSから送信日時のデータが消去されます。

お知らせ

- FOMAカード内のSMSからも、受信SMSの返信や転送、送信SMSの再送信、フォントサイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は受信SMS、送信SMSと同じです。
- FOMAカード内のSMSから返信や転送、再送信などを行った場合の送信済みメールは、FOMA端末の送信メール内のフォルダに保存されます。
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）に、FOMAカード内の受信SMS、送信SMSを表示するには、認証操作が必要です。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末に移動／コピーする

FOMAカードに保存されているSMSを、FOMA端末の受信メール、送信メール内のフォルダに移動またはコピーします。

- 送達通知のある送信SMSを移動またはコピーすると、対応する送達通知が同時に受信メール内のフォルダに移動またはコピーされます。送信SMSだけ、または送達通知だけを移動またはコピーできません。

〈例〉受信SMSをFOMA端末に1件移動するとき

1 待受画面で 7 2 を押す

- 送信SMS→P305

2 移動するSMSにカーソルを合わせ、 3 1 を押す

■ 複数移動するとき

① 3 2 を押し、SMSを選択する
- で選択☑と解除□が切り替わり、 で全選択または全解除できます。

② を押す

■ 1件コピーするとき

コピーするSMSにカーソルを合わせ、 3 3 を押す

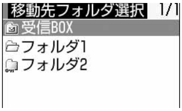
■ 複数コピーするとき

① 3 4 を押し、SMSを選択する
- で選択☑と解除□が切り替わり、 で全選択または全解除できます。

② を押す

メール

3 を押す



4 移動先フォルダを選択し、「はい」を選択する

お知らせ

- FOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合はを押し、「移動／コピー」→「本体メモリへ移動」または「本体メモリへコピー」を選択します。
- メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、移動またはコピーできません。保護されていないｉモードメールやSMSがあっても上書きされません。受信メール、送信メール内のフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を削除する

SMSを削除します。1件削除、まとめて削除、送達通知だけまとめて削除ができます。

- 送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にある場合は、同時に削除されます。

〈例〉FOMAカード内の受信SMSを1件削除するとき

1 待受画面で を押す

- 送信SMS→P305

2 削除するSMSにカーソルを合わせ、 を押す

■ 複数削除するとき

①を押し、SMSを選択する

- で選択☑と解除☐が切り替わり、で全選択または全解除できます。

②を押す

■ 全件削除するとき

を押し、認証操作を行う

■ 送達通知を全件削除するとき

を押し、認証操作を行う

3 「はい」を選択する

お知らせ

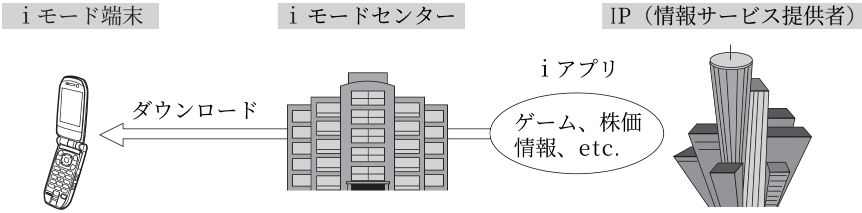
- FOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合はを押し、「削除」を選択します。

メール

ｉアプリ

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード対応FOMA端末（以下、iモード端末）がさらに便利になります。たとえば、iモード端末にさまざまなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックしたりできます。さらに、地図のiアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズにスクロールできます。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存、画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。



- iアプリをダウンロードする→P312
- iアプリを起動する→P314
- iアプリを自動起動する→P325

お知らせ

- iアプリによってはiモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
- iアプリによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。→P316

登録データを利用する

iアプリには、お客様のiモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存

お知らせ

- iアプリにより画像が保存される場合は、マイピクチャ内の「iモード」「デコメールピクチャ」フォルダ、またはiアプリ内に保存されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャ、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないiアプリがあります。

iアプリDXとは

iアプリDXは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの情報やゲームの進行をよりリアルタイムに更新したりするなど、iアプリをより便利に楽しく利用できます。

登録データを利用する

ｉアプリDXには、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）だけでなく、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照・登録・操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更（電話、メール、メッセージR/F）
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存
- ｉモーションへの動画保存
- メロディへの着信音保存
- 画像設定の変更（待受画面、電話の発着信、テレビ電話の着信、メール送受信、メッセージR/F受信）

お知らせ

- ｉアプリDXでは、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはｉアプリによって異なります。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないｉアプリDXがあります。
- ｉアプリDXにより画像、動画、着信音が保存される場合は、それぞれマイピクチャ内の「モード」「デコメールピクチャ」フォルダ、ｉモーション、メロディ内の各「モード」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。
- ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリはｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応ｉアプリとは

おサイフケータイ対応ｉアプリを使ってICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴をFOMA端末上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにICカード内の情報が送信されます。
- おサイフケータイとは→P342

こんなこともできます

■ ｉアプリ待受画面
ｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることもできます。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタにメール受信やアラームを知らせてもらったり、より便利な待受画面にできます。→P327
- ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリで利用できる機能です。

■ ｉアプリの自動起動
時刻や日付、曜日などを指定して、ｉアプリを自動起動できます。あらかじめｉアプリに設定されている時間間隔で自動起動できるｉアプリもあります。→P325

■ カメラ撮影
ｉアプリからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。→P333
- カメラ撮影機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。

■ 赤外線通信
ｉアプリから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。※→P334
- 赤外線通信機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。

※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン
ｉアプリから赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。→P407
たとえばお買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用できます。→P324
- 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。相手の機器に対応したｉアプリが必要です。

ｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。
- 電波状況などによりｉアプリのダウンロードに失敗した場合、そのｉアプリはFOMA端末に保存されません。
- 最大保存件数→P573

1 ｉアプリのあるサイトを表示し、ｉアプリを選択する
選択したｉアプリがダウンロードされます。
- ダウンロードを中止するには[ボタン]を押し、「はい」を選択します。

■ ソフト情報表示設定を「ON」に設定しているとき
ｉアプリの情報が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリがダウンロードされます。
- [ボタン]を押すと、ダウンロードするｉアプリの詳細情報を確認できます。

■ 登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用するｉアプリをダウンロードするとき
ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリがダウンロードされます。
- ガイド行に「ガイド」と表示された場合に[ボタン]を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

■ 選択したｉアプリがすでにダウンロードされているとき
「ダウンロード済みです」というメッセージが表示されます。ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリがダウンロード（バージョンアップ）されます。

■ 選択したｉアプリがすでに異なるFOMAカードでダウンロードされているとき

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ダウンロードしたｉアプリが上書きされます。

2 ｉアプリを保存するフォルダを選択する



3 各項目を選択して設定する

アプリ待受画面：ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリをｉアプリ待受画面に設定するかどうかを選択します。

通信設定：ｉアプリに通信させるかどうかを設定します。

アイコン情報：ｉアプリにメールや電池残量などの各種アイコンを利用させるかどうかを設定します。

- ｉアプリによっては設定できない項目があったり、動作の設定画面が表示されない場合があったりします。

4 を押し、「はい」を選択する

ダウンロードしたｉアプリが起動します。

- 「いいえ」を選択すると、サイト画面に戻ります。

お知らせ

- プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）にｉアプリをダウンロードする場合は、認証操作が必要です。
- ｉアプリの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って、保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されているｉアプリを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したｉアプリは元に戻りません。
- アイコン情報を「利用しない」に設定すると、ｉアプリが動作しない場合があります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール、受信メール、未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名に設定され、変更できません。

- メール連動型ｉアプリは最大５件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるとダウンロードできません。その場合は、メール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してからダウンロードしてください。→P277
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにFOMA端末に保存されている場合はダウンロードできません。ただし、ｉアプリが新しくなった場合はバージョンアップできます。

次ページへ続く

お知らせ

- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとすると、すでにあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メール連動型ｉアプリがダウンロードされます。メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除してからメール連動型ｉアプリをダウンロードしてください。また、プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）に再ダウンロードやバージョンアップを行う場合は、認証操作が必要です。認証操作を行うとプライバシーモードが解除され、ダウンロードやバージョンアップが継続されます。
- ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応した受信メールがすでにFOMA端末に保存されている場合、ダウンロード時に自動的に作成されたフォルダに受信メールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、受信メールが振り分けられます。ただし、プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、振り分けられません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る<ソフト情報表示設定>

お買い上げ時	OFF

ｉアプリをダウンロードするときに、ｉアプリの情報を表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で [MENU][3][2][3] を押す

2 [1] を押す

- ｉアプリ情報を表示しない場合は、[2] を押します。

ｉアプリを起動する

1 待受画面で [iα] を1秒以上押す

■ **ICカードソフト（おサイフケータイ対応ｉアプリ）のみ表示するとき**

[MENU][6][7] を押す

ICカードソフト一覧が表示されます。操作3に進みます。

2 フォルダを選択する



- マークの意味は次のとおりです。
  ：ｉアプリなし
  ：ｉアプリあり

3 起動するｉアプリを選択する



- マークの意味は次のとおりです。
  - ① ：通常のｉアプリ　：ｉアプリDX
  - ：メール連動型ｉアプリ
  - ② ：ｉアプリ待受画面に設定可（背景色なし）
  - ：ｉアプリ待受画面に設定中（背景色緑）
  - ③ ：自動起動設定中
  - ：IP（情報サービス提供者）によって停止状態のｉアプリ
  - ④ 0～9：ツータッチ登録中
  - ⑤ ：SSLページからダウンロードしたｉアプリ
  - ：保護されているｉアプリ
  - ：SSLページからダウンロードした保護されているｉアプリ
  - ⑥ ：ワンタッチボタン登録中
  - ⑦ ：おサイフケータイ対応ｉアプリ

■ 通信するｉアプリのとき

起動するｉアプリの通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。

- 通信設定について→P316

ｉアプリを終了するには

ｉアプリごとに設定されている方法で終了してください。

- を押し、「終了する」を選択してもｉアプリを終了できます。

お知らせ

- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  ※：多角形（三角形や四角形など）を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ｉアプリによっては、マルチカーソルキーが4方向または8方向に有効になります。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は、電話着信音の音量調整に従います。ただし、音量調整で「ステップトーン」に設定している場合は「レベル4」になります。
- ドライブモード中は、ｉアプリ動作中のバイブレータ、サウンドは動作しません。
- プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）にｉアプリを起動する場合は、認証操作が必要です。
- 次のような場合、ｉアプリは中断されます。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、を押して「ｉアプリ」を選択すると動作中の機能を継続したままｉアプリを再開できます。ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
  - 電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合を除く）
  - アラーム設定やスケジュールで指定した日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 圏外にいる場合や登録データが使用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
- 指定されたｉアプリを起動するｉアプリがあります。このようなｉアプリを利用すると、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを継続して利用できます。ただし、起動するｉアプリが設定されていない場合は、ｉアプリを選択する必要があります。また、起動するｉアプリが設定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像や、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報のみ表示できます。もう一度ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。

- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、[アンテナ]が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ｉアプリを作成中、正常動作しないときはトレース表示が参考になる場合があります。
  待受画面で[MENU][3][3][4]を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するように作られているｉアプリがソフト一覧にないときは、トレース情報は表示できません。

登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する＜セキュリティエラー履歴＞

ｉアプリが、登録データなどを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときは、ｉアプリ名、日時、セキュリティエラー理由が記録されます。

- セキュリティエラー履歴は最新の20件まで記録されます。

1 待受画面で[MENU][3][3][3]を押す

- 履歴をすべて削除するときは、[ｉモード]を押して「はい」を選択します。

ｉアプリの詳細情報を表示する＜ソフト詳細情報＞

ｉアプリの名前やバージョンなど、ｉアプリの詳細情報を確認します。

1 待受画面で[iα]を１秒以上押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を確認するｉアプリにカーソルを合わせ、[ｉモード]を押す

3 詳細情報を確認する

- 表示される項目はｉアプリによって異なります。

■ サイトの証明書を確認するとき

[ｉモード]を押す

SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合のみ確認できます。

ｉアプリの動作条件を設定する＜ソフト動作設定＞

ｉアプリごとに動作条件を設定します。

- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは１件のみです。

1 待受画面で[iα]を１秒以上押し、フォルダを選択する

2 設定するｉアプリにカーソルを合わせ、[MENU][7]を押す

3 各項目を選択して設定する

- ｉアプリが対応していない項目は選択できません。

[i]アプリ待受画面　：ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリを、待受画面に設定するかどうかを設定します。

[i]アプリ待受画面通信設定　：ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信させるかどうかを設定します。

通信設定　：ｉアプリ動作中に自動的に通信させるかどうかを設定します。

アイコン情報　：ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、受信レベルの各種アイコンを利用できるようにするかどうかを設定します。

ブラウザからの起動：サイトからｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。
メールからの起動　：メールからｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。
外部機器からの起動：外部機器からｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。
ソフトからの着信音／画像変更を※
：ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を変更することを許可するかどうかを設定します。
- 「許可する」に設定すると、自動的に着信音や待受画面の画像が変更される場合があります。

変更ごとに確認画面を※
：ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。

ソフトからの電話帳／履歴参照を※
：ｉアプリが電話帳や履歴を参照することを許可するかどうかを設定します。
- 「許可する」に設定すると、自動的に電話帳や履歴が参照される場合があります。

※：ｉアプリDXのみ設定できます。

4 [ｉモードキー]を押す

- ｉアプリ待受画面を「設定する」に設定したときは、現在の待受画面の設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 通信を許可する設定にすると、ｉアプリが自動的にネットワークに接続します。ネットワークに接続したときは通信料がかかりますのでご注意ください。
- ネットワークに接続して通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、ｉアプリによっては自動的に通信を行うことがあります。
- 本機能の設定によっては、ネットワークへの接続やアイコン情報（未読メール、電池残量など）の利用ができなくなります。
- 通信設定を「許可しない」に設定すると、ｉアプリが起動できない場合や、株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合があります。
- ｉアプリ待受画面のアイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内／圏外のアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。
- プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、ｉアプリ待受画面に設定しても、ｉアプリ待受画面は起動しません。

ｉアプリ動作中の照明とバイブレータの動作を設定する<照明設定・バイブレータ設定>

照明動作を設定する

お買い上げ時	端末設定に従う

1 待受画面で[MENU][3][2][4]を押す

2 [1]または[2]を押す

端末設定に従う：ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。
ソフトに従う　：照明の点灯をｉアプリが制御します。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面の照明動作はディスプレイの照明設定に従います。
- ドライブモード中は、「ソフトに従う」に設定した場合、ｉアプリ動作中の照明は動作しません。

バイブレータを設定する

お買い上げ時	ON

ｉアプリ動作中に、ｉアプリによるバイブレータの動作を許可します。

1 **待受画面で MENU 3 2 5 を押す**

2 **1 を押す**

• バイブレータを動作させないときは、2 を押します。

お知らせ

• ドライブモード中は、本設定に関わらずｉアプリ動作中のバイブレータは動作しません。

プリインストールｉアプリを使う

お買い上げ時は、次のｉアプリが内蔵されています。

ゲームソフト	• RIDGE RACER FOR F • お出かけ♪姫さま	• ZOOKEEPER F • フリーセル	• スーパーパズルボブル F
その他のソフト	• 電子マネー「Edy」	• Gガイド番組表リモコン	

ソフト一覧から選択すると各ｉアプリが起動します。

• フリーセルはｉアプリ待受画面に設定できます。
• ｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。

アクセス方法（2005年5月現在）

Menu → メニューリスト → ケータイ電話メーカー → @Fケータイ応援団

※ 右のQRコードをバーコードリーダーで読み取ると、@Fケータイ応援団のサイトに接続できます。

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

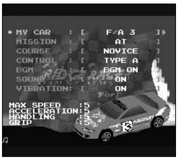
サイトアクセス用QRコード

RIDGE RACER FOR F

美しい3Dグラフィックと迫力の3Dサウンドが演出する、スピード感あふれる究極のレーシングゲームです。制限時間内に決められた周回数を走破するとコースクリアとなります。

車種やコースなどの選択のしかた

タイトル画面で を押すと、車種やコースなどの選択画面が表示されます。



レースを始める前に、使用する車の種類やコース、キー操作などを選択します。 を押すと設定項目を選択できます。黄色の項目が現在設定できる項目です。 を押すと設定内容を選択できます。設定終了後 を押すと、ゲームがスタートします。

MY CAR：使用する車を選択します。現在選択している車のグラフィックと性能が画面の下部に表示されます。ライバルカーに勝利すると選択できる車種が増えます。

MISSION：シフトチェンジをAT（オートマチック）またはMT（マニュアル）に設定します。

COURSE：走行するコースをNovice（初級）、Intermediate（中級）、Advanced（上級）、Time Trial（タイムトライアル）から選択します。Time Trial（タイムトライアル）では制限時間はなく、ライバルカーとの勝負になります。

CONTROL：操作キーの設定を4種類から選択します。各設定は次のとおりです。

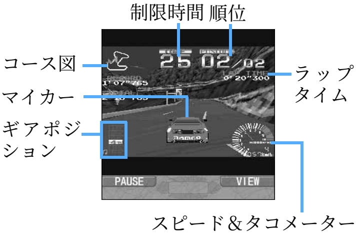
操作 / 種類	ハンドル	アクセル	ブレーキ	シフトアップ※	シフトダウン※
TYPE A	[サイドキー]／[サイドキー]	自動	[決定]／5	1／2／6	4／8／9
TYPE B		[決定]／2／5／8	0	3／6／9	1／4／7
TYPE C		[決定]／5	0	[カメラ]／1／2／6	[iモード]／4／8／9
TYPE D		[決定]／[カメラ]／5	[iモード]／0	1／2／6	4／8／9

※：シフトアップ、シフトダウンの操作は、シフトチェンジを MT（マニュアル）に設定したときのみ有効です。

BGM　　　：BGM の ON ／ OFF を切り替えます。（「ON」に設定しても、SOUND を「OFF」に設定した場合、BGM は鳴りません。）
SOUND　　：サウンドの ON ／ OFF を切り替えます。
VIBRATION：振動の ON ／ OFF を切り替えます。

遊びかた

ライバルカーと競いながらコースに沿ってハンドルを切り、カーブの角度によってブレーキやアクセルを使い分けて、制限時間内に決められた周回数を走破してください。ライバルカーに勝つとウィニングランとなり、ラップタイムとトータルタイムが表示されたまま同じコースを周回します。制限時間内にコースを周回できないとゲームオーバーとなります。



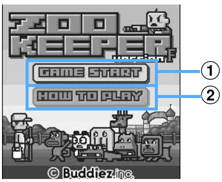
[*]：サウンドの ON ／ OFF 切り替え
[MENU]：一時停止／再開
一時停止中は、次のメニューを選択できます。
PLAY　　　：ゲーム再開
RESTART：ゲームを最初からスタート
EXIT　　　：ゲームを終了し、タイトル画面に戻る
[iアプリ]：ドライバーズビュー（運転席から見た視点）／ビハインドビュー（マイカーの後方から見た視点）切り替え

※ マイカーの操作方法については、「CONTROL」を参照してください。→ P318
※ タイトル画面で [MENU] を押すと、レコード（成績）を表示できます。

ZOOKEEPER F

動物を入れ替えて、同じ動物をタテヨコ 3 匹以上の組にして捕まえていきます。制限時間付きのハラハラ、ドキドキのアクションパズルゲームです。

タイトル画面について

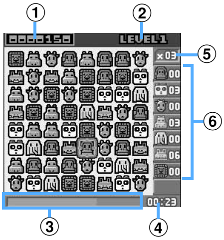


[MENU]：サウンドの ON ／ OFF 切り替え（「♪×」または「♪○」が表示されます）
[iアプリ]：ｉアプリの終了（ゲーム中はゲームの休止）
①：[決定] を押すとゲームがスタートします。
②：[サイドキー] を押して「HOW TO PLAY」「STORY」「HI SCORE」「CREDIT」を選択します。
・「HOW TO PLAY」を選択すると、基本ルールを確認できます。

ｉアプリ

遊びかた

交換したい動物を選んでを押し、入れ替えたい動物の方向に合わせてを押すと、動物が入れ替わります。タテかヨコに同じ動物を３匹以上並べ、動物が消えれば得点になります。ノルマ数をクリアしていくと、レベルが最大１２までアップしていきます。レベルがアップするに従って残りタイムの減少速度はどんどん速くなっていきますが、動物を消すことでタイムは回復します。
レベル１～６は７種類（サル、パンダ、キリン、カバ、ゾウ、ワニ、ライオン）の動物、レベル７以降はウサギが加わり、８種類の動物が出現します。



©Buddiez, inc.

（2）／（8）：カーソルを上下に移動
（4）／（6）：カーソルを左右に移動
（5）：動かす動物の決定またはキャンセル

①：得点を表示します。
②：現在のゲームレベルを表示します。
③：横長のメーターで残りタイムが表示されます。残りタイムが少なくなると点滅します。
④：経過時間を表示します。
⑤：捕まえなければならない各動物のノルマ数を表示します。
⑥：捕まえた各動物の数を表示します。

ラッキー動物　：各レベルのゲーム開始時にラッキー動物がランダムに表示されます。ラッキー動物を捕まえると通常の倍の得点が入ります。
スペシャルパネル：ランダムに出現し、選ばれた種類の動物をすべて捕獲します。

- 動物が消せなくなった場合は、「NO MORE MOVE」と表示され、動物がすべて入れ替わります。このとき、レベル×１０００が得点に加算されます。
- ゲームの進行状況により、ゲーム終了後に表示される「園長メッセージ」や「園長アニメーション」が変化します。

スーパーパズルボブルＦ

画面に配置されているバブルに向かって方向舵からバブルを打ち出し、同じ色のバブルを３つ以上並べてバブルを消していくゲームです。

メニューについて

タイトル画面で　または（1）を押すと、メニュー画面が表示されます。

ぱずるも～ど　：フィールド内のすべてのバブルを消すと、ラウンドクリアとなるモードです。ステージはＡ～Ｊの１０ステージあり、ステージごとに５ラウンド用意されています。
「ぱずるも～ど」を選択すると、ステージの選択画面が表示されます。を押してステージを選択してください。５ラウンドクリアすると、次のステージを選択できます。また、一度クリアしたステージは、次回からとばせます。

たいせんも～ど：コンピュータとの対戦モードです。バブルがラインを超えた方が負けとなります。先に２勝するとゲーム勝利となり、５つのキャラクタにすべて勝利するとゲームクリアとなります。
「たいせんも～ど」を選択すると、難易度の選択画面が表示されます。バブルンを移動させて難易度を決定してください。

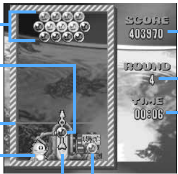
へるぷ　：次の操作ができます。
操作説明　：ゲームの操作方法を表示します。
ゲーム説明：モードの内容やバブルの種類などの説明を表示します。
背景変更　：ゲーム画面の背景をマイピクチャから選択できます。
背景を戻す：ゲーム画面の背景をお買い上げ時の設定に戻します。
はいすこあ：「ぱずるも～ど」と「たいせんも～ど」のハイスコアと最大ちぎり数（同じ色のバブルを３つ以上並べて消したときに、同時に消えた異なる色のバブルの数）を表示します。

遊びかた

ぱずるも～ど　：方向舵を操作してバブルを打ち出します。同じ色のバブルが３つ以上並ぶとバブルが消えます。すべてのバブルを消すとラウンドクリアとなります。
ゲーム中は一定の間隔でバブルが１段下がります。バブルが画面下側のラインを超えるとゲームオーバーです。

たいせんも～ど：自分のフィールドのバブルを消すと、消したバブルの量に応じて相手のフィールドにバブルを送り込むことができ、相手のフィールドをあふれさせます。また、バブルを消すごとに、１段下がる間隔が短くなります。バブルがあふれて、フィールド内のラインを超えた方が負けです。

※ 操作方法は「ぱずるも～ど」も「たいせんも～ど」も同じです。



／（4／6）	：方向舵を左右に回転
（2）	：方向舵を真上にセット
（5）	：バブル発射
MENU	：休憩（一時休止）
	：タイトル画面の表示
＊	：サウンドのON/OFF切り替え

※ モードの内容やバブルの種類などの詳細については、ヘルプの「ゲーム説明」を参照してください。

お出かけ♪姫さま

江戸時代、ある城に住むおてんばなお姫さま。城下に見えた神社のお祭りに行くためにお城を抜け出します。お姫さまの行く手をふさいでいる家来たちを動かして、お姫さまを無事お祭りにたどりつかせるゲームです。

タイトル画面について



ゲームスタート：ゲームモード（ストーリー、コインチャレンジ）選択画面に進みます。

コイン　：ゲームで貯めたコインをコインサーバーに預け入れられます。
コインの預け入れには通信料がかかります。コインは最後に預け入れした日を含め180日間保持されます。

オプション　：「サウンドオン／オフ」と「バイブレーションオン／オフ」を切り替えできます。

ヘルプ　：「操作方法（対応キー）」と「遊び方」を見られます。

ゲームモードの選択

このゲームには、「ストーリー」モードと「コインチャレンジ」モードの２つのゲームが用意されています。

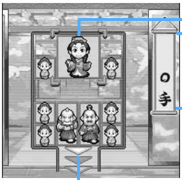
ストーリー　：お姫さまがお祭りに行くまでのストーリーに沿ってステージが進んでいきます。ステージをクリアすると、手数と獲得コイン枚数が表示されます。
ステージは全24ステージです。「ふつう（8ステージ）」をクリアすると「ひろびろ（8ステージ）」、「ひろびろ」をクリアすると「おまけ（8ステージ）」と進みます。

コインチャレンジ：ランダムに選ばれたステージをクリアして、コインを獲得していくゲームモードです。ステージは「ふつうマップ」24ステージです。ストーリーモードで「ふつう」をクリアすると「ひろびろマップ（16ステージ）」で遊べます。

次ページへ続く

遊びかた

進路をふさぐ駒を動かしてお姫さまの駒をゴール地点まで動かしていきます。駒を動かすと手数が増えていき、99手になってもお姫さまの駒がゴール地点にない場合、ゲームオーバーになります。駒は移動できるスペースがある場所に移動できます。また、選択した駒で他の駒を押すことにより、一手で複数の駒を動かせます。



（2）／（8）：カーソルを上下に移動
（4）／（6）：カーソルを左右に移動
（5）：動かす駒の決定／キャンセル
0：バイブレーションのON／OFF切り替え
：メニュー画面の呼出※
：サウンドのON／OFF切り替え

※：メニュー画面からは、ゲームのやり直し、タイトル画面への移動、ヘルプの閲覧ができます。

フリーセル

52枚のカードをカーソルで選択して移動させながら、数の小さい順に並べ直す手軽なカードゲームです。

メニューについて

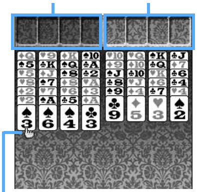
タイトル画面やゲーム画面でを押すと、メニューを選択できます。

やり直し：プレイ中のステージを最初からやり直します。
パス：プレイ中のステージを中止し、別のステージに移ります。ステージはランダムで自動選択されます。
ステージ選択：ステージ一覧画面が表示され、各ステージのクリア状況を確認できます。クリア済みはピンク、未クリアは青です。他のステージを選択するときは、画面右側のステージ移動矢印にカーソルを合わせ、を押します。
省電力モード設定：省電力モードが動作するまでの時間を「15秒」「1分」「5分」から選択します。

• タイトル画面からメニューを表示した場合は、省電力モード設定のみ設定できます。

遊びかた

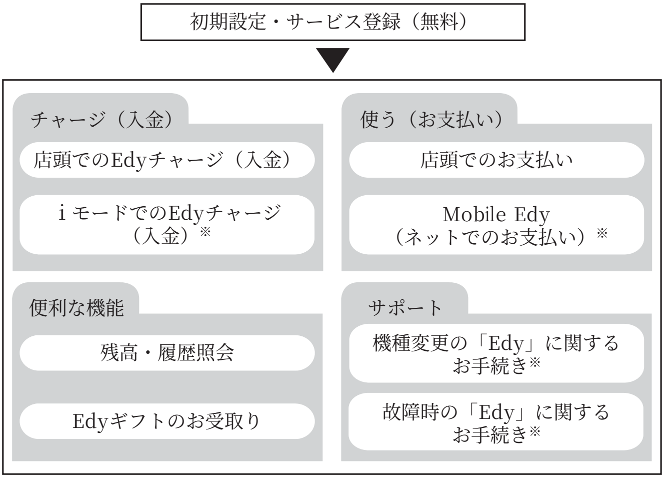
タイトル画面でを押すと、ゲームがスタートします。
52枚のカードをマークごとに1のカードから順にホームセルに移動させます。フリーセルには、ホームセルにカードを移動する際に妨げとなっているカードを、一時的に4枚まで置けます。途中で手詰まりするとゲームオーバーです。



：カーソルを上下左右に移動
：カードの選択、移動
カードにカーソルを合わせて2回押すと、カードが自動的にフリーセルへ移動します。
：カードの選択解除、タイトル画面の表示

電子マネー「Edy」

タッチするだけで支払いができる、簡単、便利なプリペイド型の電子マネーサービスです。
電子マネー「Edy」はビットワレット株式会社が提供するサービスです。ご利用の際には注意事項、利用約款などをご確認の上、初期設定を実行してください。



※：事前にサービス登録が必要です。

電子マネー「Edy」の詳しいサービス内容やご利用可能店舗、およびFOMAの機種変更、故障、紛失時などに発生する電子マネー「Edy」に関する諸手続きにつきましては、インターネットホームページおよびｉモードサイトを参照していただくか、Edy救急ダイヤルまでご連絡ください。

- 本サービスについてのお問い合わせ：ビットワレット株式会社
- Edyに関する情報については、Edyのｉモードサイトおよびホームページを参照してください。
  ｉモードサイト：http://imode.edy.jp
  ホームページ　：http://www.edy.jp
- Edyに関する諸手続きでお困りの場合：
  Edy救急ダイヤル　0570-081-999（PHSは不可）
  受付時間：全日9:00 ～ 21:00
  ※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- FOMA端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

サイトアクセス用QRコード

お知らせ

- 電子マネー「Edy」の初期設定や「主なメニュー」機能の使用時など、ｉモード通信を利用する際はパケット通信料がかかります。
- ソフト動作設定の通信設定を「通信しない」に設定している場合やセルフモード中は、ｉモード通信を行えないため、電子マネー「Edy」の初期設定や「主なメニュー」機能を使用できませんのでご注意ください。
- Mobile Edy（ネットでのお支払い）をご利用の際は、Edyセンターからの決済開始メールを受信する必要があります。ドメイン指定受信を設定している場合は、ドメインに「@bitwallet.co.jp」を登録してください。
- 機種変更しても、変更前に使用されていたEdy対応携帯電話は、Edyカードとしてご利用いただけます。廃棄する際にはご注意ください。

Gガイド番組表リモコン



※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報が簡単に取得できます。番組タイトル・番組内容・開始／終了時間・Gコード®を知ることができます。好きな番組を予約リストに登録するとスケジュール帳に登録され、番組開始時にアラームを鳴らすことができます。さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索ができます。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』を参照してください。

iアプリをすばやく起動する

待受画面から簡単な操作でiアプリを起動できます。

ワンタッチボタン・ツータッチiアプリを登録する

- ワンタッチボタンに登録できるiアプリは1件です。
- ツータッチiアプリに登録できるiアプリは最大10件です。

〈例〉ツータッチを登録するとき

1 待受画面で[iα]を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 登録するiアプリにカーソルを合わせ、[MENU][9][2]を押す

- 解除する場合の操作も同様です。
- ワンタッチを登録／解除するときは[MENU][9][1]を押します。

3 登録先を選択する

- 番号「0」〜「9」は、iアプリを起動するときに使用するダイヤルキー[0]〜[9]に対応しています。

ワンタッチ・ツータッチで起動する

〈例〉ツータッチでiアプリを起動するとき

1 待受画面でダイヤルキー（[0]〜[9]）を押し、[iα]を1秒以上押す

ダイヤルキーに対応するiアプリが起動します。

■ ワンタッチでiアプリを起動するとき

待受画面で[ ]を1秒以上押す

> **お知らせ**
>
> - ソフト情報表示で、どのiアプリがワンタッチボタンに登録されているかを確認できます。
> - 待受画面で[MENU][3][2][6]を押すと、ツータッチに登録しているiアプリの一覧を表示させることができます。

ｉアプリを自動起動する

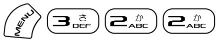
ｉアプリごとに自動起動の日付と時刻を設定し、一括して自動起動を行うかどうかを設定します。

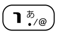
- ｉアプリを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。

自動起動するかどうかを設定する＜自動起動設定＞

お買い上げ時	ON

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのｉアプリの自動起動を一括して設定します。

1 待受画面で  を押す

2  または  を押す

- 「OFF」に設定すると、自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したｉアプリも自動起動しません。

自動起動の日時を設定する＜自動起動情報登録＞

ｉアプリごとに自動起動のON/OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

- 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
- ｉアプリによっては自動起動できない場合があります。
- 自動起動設定を「OFF」に設定しているときは、自動起動情報を登録できません。

1 待受画面で  を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 設定を行うｉアプリにカーソルを合わせ、 を押す

3 各項目を選択して設定する

ユーザ設定：次の設定する条件で自動起動するかどうかを選択します。
- 「ON」に設定すると、次の項目を設定できます。

時刻：自動起動する時刻を入力します。

繰り返し：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
- 「1回のみ」にした場合は、日付欄で自動起動する日付を設定します。
- 「毎日」にした場合は、毎日自動起動します。
- 「毎週」にした場合は、毎週欄で自動起動する曜日を設定します。

毎週：繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。

日付：繰り返しを「1回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。

ソフト設定：ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。

ｉアプリ設定1～4
：ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4つ設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

4  を押す

次ページへ続く

お知らせ

- 自動起動を設定しても、次の状態のときに起動時刻になった場合は、ｉアプリは起動しません。また、次の理由でｉアプリが起動しなかった（※の場合を除く）ときは、待受画面にが表示され、ｉアプリ名、日時、起動しなかった理由が起動失敗履歴に記録されます。
  - FOMA 端末の電源が入っていない場合※
  - FOMA カード動作制限中（プリインストールアプリを除く）
  - FOMA カードを認識できない場合（プリインストールアプリを除く）
  - 自動起動設定を「OFF」に設定している場合※
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき※
  - 通話中、通信中
  - 待受画面以外が表示されているとき、ｉアプリ待受画面の操作中
  - 他の機能が動作中（マイピクチャの一覧表示中とフレーム合成中、ｉモーションの一覧表示中と再生中または編集中、およびメロディの一覧表示中と再生中を除く）
  - オールロック中、PIM ロック中、開閉ロック中
  - プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）
  - アラームやスケジュールアラーム鳴動中（自動起動と同じ時刻の場合も含む）
  - IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき
- 複数のｉアプリを同時刻に自動起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか 1 つです。起動できなかったｉアプリの情報は起動失敗履歴に記録されますが、待受画面には表示されません。
- FOMA 端末の日付・時刻の設定よりも前の日時のみを設定した場合、自動起動は無効になります。

自動起動できなかったときの履歴を表示する＜起動失敗履歴＞

ｉアプリの自動起動に失敗したときに、ｉアプリ名、日時、起動失敗理由が記録されます。

- 起動失敗履歴は最大 20 件記録されます。20 件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面のが消えます。

1 待受画面で MENU 3 3 1 を押す

- 履歴を削除するときは を押し、「はい」を選択します。

ｉアプリ

ｉアプリ To

サイトやメールからｉアプリを起動する

サイトやｉモードメールのｉアプリを起動できるリンク項目を選択したときや、FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたときに、ｉアプリが起動します（ｉアプリ To）。

1 サイトやｉモードメールのｉアプリを起動できるリンク項目を選択する

2 「はい」を選択する

サイト接続が終了し、ｉアプリが起動します。

お知らせ

- ｉアプリToで起動するｉアプリはFOMA端末に保存されていないと、指定されたｉアプリがない旨のメッセージが表示され、起動できません。ただし、ｉアプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
- サイトからダウンロード後すぐに起動するｉアプリは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- サイトからダウンロード後すぐに起動したｉアプリを終了するときは、保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- FOMA端末に保存できないｉアプリもあります。
- ｉアプリToでｉアプリを起動しないように設定している場合はメッセージが表示され、ｉアプリを起動できません。→P316
- 赤外線通信やバーコードリーダーを利用して、ｉアプリを起動することもできます。

ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面を操作する

ｉアプリを待受画面に設定し、待受画面からｉアプリを起動して操作します。ｉアプリ待受画面を設定しているときは、画面上部に（αがグレー）または（dxがグレー）が表示されます。

- ｉアプリ待受画面を利用するには、あらかじめｉアプリを待受画面に設定しておく必要があります。→P128、P312、P316
- ｉアプリ待受画面からはサイトに接続（Web To）できません。

ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動する

ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリを起動するには、ｉアプリ待受画面からｉアプリの画面に切り替えます。

1 ｉアプリ待受画面で クリア を押す

ｉアプリの画面に切り替わり、画面上部の（αがオレンジ）または（dxがオレンジ）が点滅します。

2 ｉアプリを操作する

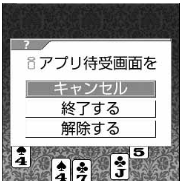
お知らせ

- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。
  「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が起動します。
  「いいえ」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。
  確認画面が表示されてから何も操作せずに約5秒経過すると、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
  自動電源ONによって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- ｉアプリ待受画面を設定中にオールロックまたはPIMロックを起動すると、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。ロックを解除するとｉアプリ待受画面が再起動します。
- ｉアプリ待受画面に設定されているｉアプリがIP（情報サービス提供者）によって使用を停止されると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- ｉアプリ待受画面の起動中にｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生すると、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。このとき、ｉアプリ名と終了日時が異常終了履歴に記録されます。

ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る

1 **ｉアプリ動作中に[電源]を押す**

2 **「終了する」を選択する**



ｉアプリが終了し、ｉアプリ待受画面が起動します。画面上部のマークがから、またはからに変わります。
ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。[クリア]を押すと、ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻るｉアプリもあります。

- 「終了する」を選択してもｉアプリ待受画面は解除されません。解除するときは「解除する」を選択します。画面上部の、が消えます。
- ｉアプリを終了しないときは「キャンセル」を選択します。

お知らせ

- ソフト一覧から解除をする場合は、ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]を押し、「アプリ待受画面」を選択します。

ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する＜異常終了履歴＞

ｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生したときに記録されたｉアプリ名と日時を表示したり、削除したりします。

- 異常終了履歴は最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 **待受画面で[MENU][3][3][2]を押す**

- 履歴すべてを削除するときは[メール]を押して「はい」を選択します。

ｉアプリ

ｉアプリを管理する

ｉアプリのバージョンアップやフォルダの作成、不要なｉアプリの削除など、ｉアプリをより使いやすくするためのさまざまな管理ができます。

ｉアプリをバージョンアップする＜バージョンアップ＞

新しいバージョンのｉアプリがサイトにあるかどうかをチェックし、あればｉアプリをバージョンアップします。

- IP（情報サービス提供者）によって使用を停止されているｉアプリはバージョンアップできません。

1 **待受画面で[iα]を１秒以上押し、フォルダを選択する**

2 **バージョンアップするｉアプリにカーソルを合わせ、[MENU][5]を押して「はい」を選択する**

ｉアプリのバージョンアップを開始します。

- ｉアプリのバージョンアップが必要ない場合は、最新である旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- バージョンアップによって、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
- ｉアプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合は、バージョンアップするかどうかを確認した上でバージョンアップできます。
- ｉアプリによっては、実行時に更新情報を自動確認して、自動的にバージョンアップするものがあります。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成してカテゴリごとにｉアプリを整理します。また、フォルダの並び順の変更や、不要なフォルダの削除もできます。

フォルダを作成する

- フォルダは最大20個作成できます。

1 待受画面で を1秒以上押す

2 を押す

■ フォルダ名を変更するとき

フォルダ名を変更するフォルダにカーソルを合わせ、 を押す

■ フォルダの並び順を変更するとき

順番を変更するフォルダにカーソルを合わせ、 を押して、 または を押す

選択したフォルダの並び順が1つ上または下に変わります。

3 フォルダ名を入力し、 を押す

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

フォルダを削除する

- ｉアプリが保存されているフォルダを削除すると、フォルダ内のｉアプリもすべて削除されます。ただし、保護されているｉアプリがある場合は、フォルダを削除できません。

1 待受画面で を1秒以上押す

2 削除するフォルダにカーソルを合わせ、 を押す

- フォルダ内にｉアプリが保存されたままの場合は、認証操作を行います。

3 「はい」を選択する

- 削除するフォルダ内にメール連動型ｉアプリが含まれている場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。
  「はい」を選択すると、メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ｉアプリのみ削除されます。
  ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- 削除するフォルダに、ICカード内のデータを削除しないと削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メール一覧のサブメニューからメールを見られます。→P272
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用のフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）にメール連動型ｉアプリを削除する場合は、画面の指示に従いプライバシーモードを解除してから削除してください。

ｉアプリを保護する

ｉアプリを保護すると、誤って削除してしまうことを防げます。
- 最大保護件数→P573

1 待受画面で ｉα を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 保護するｉアプリにカーソルを合わせ、MENU 3 1 を押す

保護したｉアプリには、ソフト一覧画面で 🔑 または SSL🔑 が表示されます。
- マークの意味→P315

■ 保護を解除するとき

解除するｉアプリにカーソルを合わせ、MENU 3 1 を押す

■ 複数保護／解除するとき

①MENU 3 2 を押す
②保護または解除するｉアプリを選択する
- ● で選択☑と解除☐が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。

③ 📷 を押す

■ フォルダ内のすべてのｉアプリを保護／解除するとき

①MENU 3 3 を押す
②認証操作を行う

お知らせ

- データ一括削除を行うと、保護したｉアプリもすべて削除されます。

ｉアプリを削除する

ｉアプリを1件ずつ削除したり、フォルダ内のすべてのｉアプリをまとめて削除したりします。
- ｉアプリによっては、ICカード内のデータも削除されます。
- ｉアプリによっては、削除する前にｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しておく必要があります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。

1 待受画面で ｉα を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 削除するｉアプリにカーソルを合わせ、MENU 2 1 を押す

■ 複数削除するとき

①[MENU][2][2]を押す

②削除するｉアプリを選択する

• [　]で選択☑と解除□が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

③[メール]を押す

■ フォルダ内のすべてのｉアプリを削除するとき

①[MENU][2][3]を押す

②認証操作を行い、「すべて削除」または「保護以外削除」を選択する

フォルダ内のすべてのｉアプリまたは保護されていないすべてのｉアプリが削除されます。

3 「はい」を選択する

• メール連動型ｉアプリを削除する場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。
「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。
「いいえ」を選択すると、ｉアプリのみ削除されます。
ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリもメールフォルダも削除できません。

• 「複数削除」または「全件削除」するｉアプリに、ICカード内のデータを削除しておく必要があるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

• フォルダ一覧からフォルダ内のｉアプリをすべて削除する場合は、フォルダにカーソルを合わせて[MENU]を押し、「削除」→「ソフト削除」を選択します。
• ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メール一覧のサブメニューからメールを見られます。→P272
• 保護されているｉアプリは「1件削除」または「複数削除」で削除できません。保護されているｉアプリを削除するには保護を解除してから削除するか、「全件削除」を選択して認証操作を行い、「すべて削除」を選択してください。
• お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P318
• プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）にメール連動型ｉアプリを削除する場合は、画面の指示に従いプライバシーモードを解除してから削除してください。

ｉアプリを他のフォルダに移動する

1 待受画面で[iα]を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 移動するｉアプリにカーソルを合わせ、[MENU][4][1]を押す

■ 複数移動するとき

①[MENU][4][2]を押す

②移動するｉアプリを選択する

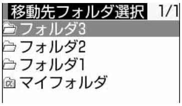
• [　]で選択☑と解除□が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

③[メール]を押す

■ フォルダ内のすべてのｉアプリを移動するとき

[MENU][4][3]を押す

3 移動先のフォルダを選択し、「はい」を選択する



お知らせ

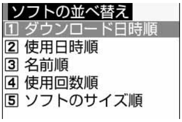
- 待受画面で MENU 6 7 を押しておサイフケータイ対応ｉアプリのみを一覧表示したときは、ｉアプリを他のフォルダに移動できません。

ｉアプリを並べ替える＜ソフトの並べ替え＞

お買い上げ時	ダウンロード日時順

1 待受画面で MENU 3 2 1 を押す

2 1 ～ 5 を押す



お知らせ

- ダウンロード日時および使用日時は、FOMA 端末の日付・時刻で設定されている日時で記録されます。
- ｉアプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えの結果が、50 音順と一致しない場合があります。
- 使用回数はｉアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 「使用回数順」にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。
- 「ソフトのサイズ順」を選択すると、ｉアプリのファイルサイズと使用データ記録領域の合計が大きい順に並べ替えられます。

フォルダ内のｉアプリの件数を確認する＜フォルダ内ソフト件数＞

フォルダ内に保存されているｉアプリの件数を、ｉアプリの種類ごとに確認します。

1 待受画面で iα を 1 秒以上押す

2 ｉアプリの件数を確認するフォルダにカーソルを合わせ、 を押す



- マークの意味は次のとおりです。
  - ：通常のｉアプリ
  - ：ｉアプリ DX
  - ：メール連動型ｉアプリ
  - ：おサイフケータイ対応ｉアプリ

ｉアプリの設定状況を確認する＜ソフト情報表示＞

ｉアプリの保存領域や保存件数、ｉアプリ待受画面などの設定状況を確認します。

1 **待受画面で［ｉアプリキー］を１秒以上押す**

2 **［メールキー］を押す**

ソフト保存領域　：保存されているｉアプリの総容量がバーと数値で表示されます。
ソフト保存件数　：保存されているｉアプリの総件数が表示されます。
アプリ待受画面：ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。
ワンタッチボタン：ワンタッチボタンに設定しているｉアプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。
自動起動　：次回の自動起動に設定しているｉアプリの名前や保存先のフォルダ、起動日時が表示されます。

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

ｉアプリによっては、電話をかけたり、サイトに接続したりできるものがあります。また、カメラ撮影やバーコードリーダー、赤外線通信などの機能を利用できるものもあります。

- それぞれの機能に対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

ｉアプリから電話をかける

1 **カスタム発信の各項目を選択し、発信条件を設定する**

- カスタム発信の設定方法→P54

2 **［MENUキー］を押し、「はい」を選択する**

設定した内容で電話がかかります。電話をかけるとｉアプリは中断されます。

- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、電話をかけられない場合があります。

ｉアプリからサイトに接続する

1 **サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択する**

ｉアプリが終了し、サイトが表示されます。

- ｉアプリ待受画面からはサイトに接続できません。
- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、サイトに接続できない場合があります。

ｉアプリからカメラ機能を利用する

1 **ｉアプリを操作し、カメラ撮影を行う**

- ｉアプリによっては、自動的にカメラが起動するものがあります。

お知らせ

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はマイピクチャまたはｉモーション内の「カメラ」フォルダには保存されず、「iモード」フォルダ、「デコメールピクチャ」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。また、撮影した画像はｉアプリから通信により自動的にサーバへ送られる場合があります。
- ｉアプリによっては、画像サイズ、撮影サイズなどの変更やフレームなどを設定できる場合があります。

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

1 ｉアプリを操作してコードを読み取る

- 読み取ったデータはｉアプリで利用、保存される旨のメッセージが表示されます。

ｉアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 ｉアプリを操作して赤外線通信を行う

- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。
- 赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していたりした場合、サイト接続やメールの送受信は中止されます。

ｉモーション

ｉモーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生したり、保存したりします。保存した映像や音はｉモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音として利用できます（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません）。

- ｉモーションには大きく分けて次の2種類があります。取得時にデータの種類を変更したり、選択したりできません。

種類		説明
タイプ	再生動作	
標準タイプ（保存可※）	データを取得しながら再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
	データを取得後に再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータをすべて取得後に再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データを取得しながら再生（最大2Mバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったｉモーションのデータは消去され、FOMA端末に保存できません。

※：ｉモーションによっては、保存できないものもあります。

ｉモーションを取得する

サイトからｉモーションを取得し、再生したり保存したりします。

1 ｉモーションのあるサイトを表示し、ｉモーションを選択する



受信済みのデータ量／全体のデータ量

ｉモーションの取得が始まり、完了するとその旨のメッセージが表示されます。

- ストリーミングタイプのｉモーションを選択した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションを取得しながら再生します。再生が終了すると取得が完了した旨のメッセージが表示されますが、保存はできません。
- ｉモーションタイプ設定を「標準タイプ」に設定しているときにストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとすると、ｉモーションタイプを変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択してｉモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定すると、ストリーミングタイプのｉモーションを取得できます。

■ データを取得しながら再生する i モーションのとき



i モーションを取得しながら再生します。

- 再生中は次の操作ができます。再生終了後は、データを取得後に再生する i モーションと同様に操作できます。
  - ：一時停止／再生（標準タイプのみ）
  - （サイドキー［▲▼］）：音量調整
  - ：中断（ストリーミングタイプ）（確認画面で「はい」を選択すると中断）停止（標準タイプ）（を押すと先頭から再生）
  - ：詳細情報の表示
- 再生を一時停止または停止しても、データの取得は継続します。
- i モーションの自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、 i モーションは自動的に再生されません。

■ データを取得後に再生する i モーションのとき



取得が完了すると、 i モーションが自動的に再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  - ：一時停止／再生
  - （サイドキー［▲▼］）：音量調整
  - ：早送り再生
  - ：停止（ i モーションの取得が完了した旨のメッセージが表示されます）
  - ：詳細情報の表示
- i モーションの自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、 i モーションは自動的に再生されません。

2 「保存」を選択する

- ストリーミングタイプの i モーションは保存できません。

■ i モーションをもう一度再生するとき

「再生」を選択する

■ i モーションの詳細情報を表示するとき

「情報表示」を選択する

■ i モーションを保存しないとき

①「戻る」を選択する

- ストリーミングタイプの i モーションの場合はサイト画面に戻ります。

②「いいえ」を選択する

サイト画面に戻ります。

3 表示名を入力し、 を押す

取得した i モーションは、 i モーション内の「 モード」フォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 取得したｉモーションのテロップにリンクが設定されているとき

テロップ中に電話番号（Phone To、AV Phone To）やメールアドレス（Mail To）、サイト（Web To）などのリンクが設定されているときは、再生を終了するか中断すると、リンク先に接続するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、リンク先に接続します。

- Phone To（AV Phone To）の場合は、を押すと電話番号を電話帳に登録できます。Mail Toの場合は、「電話帳登録」を選択するとメールアドレスを電話帳に登録できます。
- ｉモーションが保存されていない場合は、リンク先に接続する前に保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- 複数のリンク項目があるときは、１つのみ有効です。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

■ 待受画面に設定するとき

を押し、「はい」を選択する

- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除され、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。

■ 着モーションに設定するとき

を押し、～を押す

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

①を押し、またはを押す

②メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択する

③内容を確認し、を押す

- すでに着信音が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- メモリ番号入力については、「登録内容を修正する」の操作４を参照してください。→P109

■ 着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定するとき

を押し、またはを押す

- すでに着信画像が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- 動画／ｉモーション設定の制限事項→P362

お知らせ

- ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。
- ｉモーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていれば取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- データを取得しながら再生するｉモーションでも、接続するサイトの状況などによりデータ取得中は再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときにFOMA端末を折り畳んだり、電話がかかってきたり、アラーム設定やスケジュールで指定した日時になった場合は、取得が中断され、再生が中止されます。標準タイプのｉモーションを再生しているときにFOMA端末を折り畳んだ場合は、取得は継続されたまま、再生が停止します。
- ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを削除してください。

ｉモーションの自動再生と取得するタイプを設定する

お買い上げ時	自動再生設定：自動再生する　ｉモーションタイプ設定：標準タイプ

ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定したり、取得するｉモーションのタイプを設定したりします。

1 待受画面で iα 9 3 を押す

2 各項目を選択して設定する

自動再生設定：標準タイプのｉモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかどうかを設定します。
- 「自動再生しない」に設定しても、取得の完了画面で「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定に関わらず自動的に再生されます。

ｉモーションタイプ設定
：取得するｉモーションのタイプを設定します。
- ストリーミングタイプのｉモーションを再生するときは「標準・ストリーミングタイプ」を選択します。

3 [保存] を押す

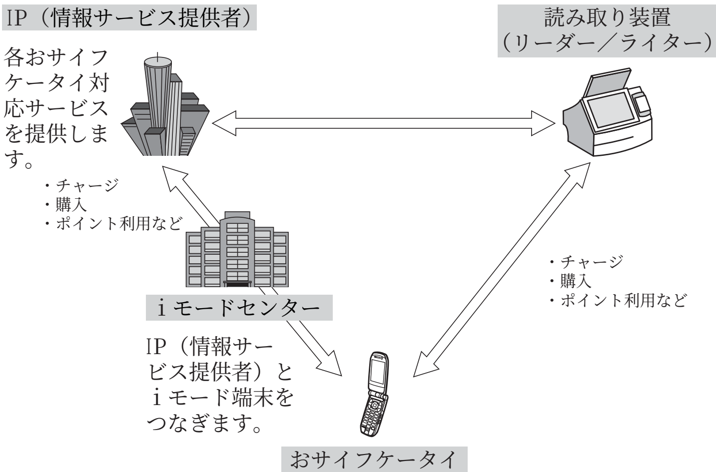
お知らせ
- サイト画面から操作する場合は、[MENU] を押して「表示」→「ｉモーション設定」を選択します。

おサイフケータイ　ｉモード FeliCa

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能であるｉモードFeliCaや、ICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCaとは、ICカードの読み書きを行う装置（リーダー／ライター）にかざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の1つです。
対応店舗の読み取り装置（リーダー／ライター）に携帯電話をかざすことで電子マネーを使ったショッピングの支払いができたり、携帯電話を飛行機のチケットやポイントカードとして利用できたりするなど、おサイフケータイの機能によって、携帯電話が実生活の中でますます便利な道具になります。
また、従来のFeliCaに対応した非接触ICカードと比べても、サイトから携帯電話内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、おサイフケータイはさまざまな面でより便利に利用できるようになっています。

- ICカード機能を利用するには、ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードしてください。



- 各おサイフケータイ対応サービスの申し込みと利用方法については、それぞれのサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。また、各おサイフケータイ対応サービスのご利用にあたっての注意事項については『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
- 端末暗証番号および各サービスのパスワードの管理にはご注意ください。
- ご利用の各おサイフケータイ対応サービスのサービス名や問い合わせ先などは、メモをとり保管してください。おサイフケータイの故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、ICカード内のデータが消失、変化してしまう場合があります。修理の場合、データは原則としてお客様自身で消去していただきますので、あらかじめご了承ください。万一、ICカード内のデータが消失、変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。ICカード内のデータを消去する場合や、消失、変化してしまった場合の対応は、各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。
- ドコモショップなどの窓口で、他のおサイフケータイへの交換時、および故障取替時には、ICカード内のデータを新機種へコピーできません。対応方法につきましては各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリも通常のｉアプリと同じように、自動起動や削除、フォルダ管理などの操作ができます。
- おサイフケータイの紛失にはご注意ください。万一紛失してしまった場合、ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関することは、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。ただし、ICカード機能の制限はできませんのでご注意ください。

おサイフケータイの利用方法

次の手順でおサイフケータイを利用できます。

ステップ1　おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする→P312

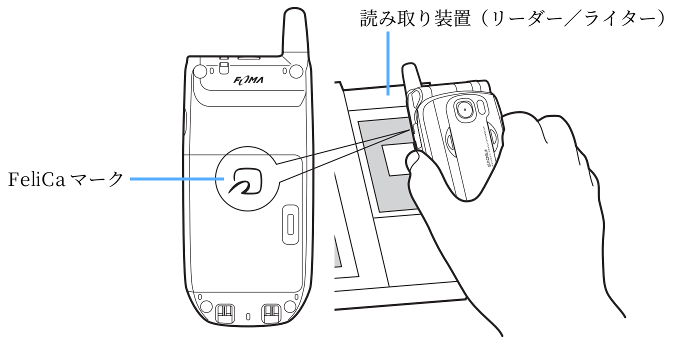
- お買い上げ時にはおサイフケータイ対応ｉアプリ電子マネー「Edy」が登録されています。
- ICカードロック中はおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできません。
- ICカード内のデータ容量によっては、ｉアプリの保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。その場合は、画面の指示に従いICカード内の保存領域に保存可能な空き容量が確保できるまでｉアプリを削除してから、もう一度ダウンロードしてください。ただし、ダウンロードするｉアプリの種類によっては、削除対象とならないｉアプリがあります。また、ｉアプリによっては、ｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しておく必要があります。

ステップ2　おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータの読み書きを行う→P344

- おサイフケータイ対応ｉアプリで電子マネーや乗車券にお金をチャージ（入金）したり、その残高や利用履歴をｉモード端末で確認したりできます。

ステップ3　FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざす

- FOMA端末のFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用できます。この機能はおサイフケータイ対応ｉアプリを起動せずに利用できます。



お知らせ

- FOMA端末のFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてもICカードが認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 通話中やｉモード接続中でもおサイフケータイを利用できますが、ｉモード接続中におサイフケータイ対応ｉアプリを起動できません。
- 電源が入っていない状態でもFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカードを利用できますが、電池パックを装着していない場合は利用できません。また、電池パックを装着していても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電しなかった場合は、利用できなくなることがあります。その場合は電池パックを充電してください。
  また、電源が入っていない状態では、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータを読み書きできません。
- FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたとき、ｉアプリが起動する場合があります。ただし、起動対象のｉアプリがFOMA端末にあらかじめ保存されていない場合や、ｉアプリToで起動しないように設定されている場合、ｉアプリは起動しません。
- FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

保存されているICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリや、ダウンロードしたおサイフケータイ対応ｉアプリを起動します。

1 待受画面で MENU 6 7 を押す

2 起動するおサイフケータイ対応ｉアプリを選択する

- 各ｉアプリの設定内容を示すマークの意味→P315 操作3

おサイフケータイ対応ｉアプリを終了するには

おサイフケータイ対応ｉアプリごとに設定されている方法で終了してください。

- 電源 を押してから「終了する」を選択しても、おサイフケータイ対応ｉアプリを終了できます。

お知らせ

- おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてもおサイフケータイを利用できない場合があります。
- テレビ電話中はおサイフケータイ対応ｉアプリの一部の操作ができない場合があります。
- 次のような場合、動作中のおサイフケータイ対応ｉアプリは中断され、ICカードへのデータの読み書きも中断されます。その場合、読み書きしようとしていたデータが破棄されることがあります。
  - 電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合を除く）
  - アラーム設定やスケジュールで指定した日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 通話中やアラーム鳴動中に TASK を押しておサイフケータイ対応ｉアプリの画面に切り替えたときの動作は、ご利用のおサイフケータイ対応サービスによって異なります。
- 圏外で通信できなかったり、登録データが使用できない場合、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。
- プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）におサイフケータイ対応ｉアプリを起動する場合は、認証操作が必要です。

ICカード機能を使用できないようにする

お買い上げ時	OFF

ICカードロックを起動すると、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカードを利用したり、おサイフケータイ対応ｉアプリを使用したりできなくなります。

- オールロック中は起動できません。ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してから、オールロックを起動してください。
- 遠隔ロックを起動すると、オールロックと同時にICカードロックも起動します。

1 待受画面で を1秒以上押し、「はい」を選択する

ICカードロックが起動し、待受画面に が表示されます。

- FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに が表示されます。
- 解除するときは を1秒以上押し、認証操作を行います。

お知らせ

- 電池パックを取り外すと自動的にICカードロックが起動します。解除するときは、電池パックを取り付けて電源を入れてください。
- ICカードロック中に電源を切ったり、電池残量が空になって電源が切れても、設定は解除されません。

データ表示／編集／管理

画像を表示する

マイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 待受画面で MENU 5 1 を押す

2 フォルダを選択する



各フォルダには次のような画像が保存されています。

カメラ：カメラやキャラ電で撮影した画像や PDF データから切り出した画像

モード：サイトやｉモードメール、ｉアプリから取得した画像

デコメールピクチャ
：お買い上げ時に内蔵されている画像、サイトからダウンロードした画像、バーコードリーダーで読み取った画像

アイテム：お買い上げ時に内蔵されている画像、サイトからダウンロードしたアイテム画像

プリインストール
：お買い上げ時に内蔵されている画像

データ交換：バーコードリーダーで読み取った画像、miniSDメモリーカードから移動またはコピーした画像、データ通信で受信した画像

マイアルバム：他のフォルダから移動した画像
- アルバムを作成すると表示されます。マイアルバム（アルバム名）は作成時に任意の名称に変更できます。→P393

■ miniSDメモリーカードの画像一覧に切り替えるとき

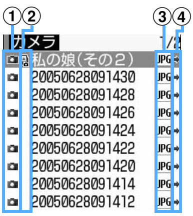
を押す

- miniSDメモリーカードの操作方法→P388

3 表示する画像にカーソルを合わせる



サムネイル表示



リスト表示

カーソル位置のファイルの表示名と画像の詳細を示すマークが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

① **取得元**
：プリインストール　：ｉモード　：カメラ
：フレーム、スタンプ　：データ交換　：キャラ電

② **画像の種類**
表示なし：静止画　：連写画像、パラパラマンガ
：アニメーション、Flash

③ **ファイル形式**
GIF：GIF画像　JPG：JPEG画像　：SWF（Flash画像）

④ **ファイル制限**
（青）　：メール添付、FOMA端末外出力可
（グレー）：メール添付、FOMA端末外出力不可

- FOMAカード動作制限機能が設定されている画像は、サムネイル表示では で表示されます。
- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- 表示名などの詳細情報を変更できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ 画像をメールに添付するとき

送信する画像にカーソルを合わせ、を押す

選択した画像が添付されているメール作成画面が表示されます。

- 選択した静止画のファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。
- 選択した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。→P255

4 を押し、画像を確認する



画像表示画面では、画像の表示名とコメントが表示されます。

- 縦横のどちらかのサイズが240ドット以上のときは、を押すと原寸表示され、画像をスクロールできます。
- を押すと、前後の画像に切り替わります。

■ アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像のとき

表示すると、自動的に再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  - ：一時停止／再生
  - ：スロー再生（パラパラマンガおよび連写画像の一時停止中のみ）
  - ：リトライ（先頭から再生）

お知らせ

- プライバシーモード起動中（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）に画像を表示する場合は、認証操作が必要です。
- 画像によってはサムネイル表示が正しく表示されない場合があります。

画像を待受画面や電話帳などに設定する

1 待受画面でを押し、フォルダを選択する

2 設定する画像にカーソルを合わせ、を押す

3 設定する項目を選択する

■ 待受画面に設定するとき

を押し、「はい」を選択する

- 画像サイズが240×320以下で、拡大表示できる画像の場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- すでにｉアプリ待受画面が設定されている場合は、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

■ 電話帳に新規登録するとき

を押す

- 電話帳登録について→P97

■ すでに登録されている電話帳に更新登録するとき

①を押す

②更新する電話帳データを選択する

- すでに画像が設定されている場合は、選択した画像に置き換わります。

■ 電話発着信画面に設定するとき

4を押し、1または2を押す

■ テレビ電話の発着信画面や代替画像、保留画像などに設定するとき

5を押し、1～6を押す

- 画像サイズが176×144より大きい画像、およびFOMA端末外に出力不可の画像は発信画像と着信画像のみ設定できます。

■ メール送受信画面、問合せ画面に設定するとき

6を押し、1～3を押す

- メール送受信画面に設定した画像は、メッセージR/F、SMSを送受信したときにも表示されます。

■ メニューアイコンに設定するとき

① 7または8を押す

② 0～9を押す

選択した画像がアイコンデザインの「カスタム1」または「カスタム2」のメニューアイコンに設定されます。

- パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像はメニューアイコンに設定できません。

お知らせ

- 画像表示画面から操作する場合は、MENUを押して「イメージの利用」を選択します。
- 待受画面や電話帳に設定している画像を削除すると、それぞれの画像はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 画像のサイズによっては、画面に表示しきれない場合があります。

パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画を複数選択してパラパラマンガを作成します。

- 最大6枚の静止画を設定できます。
- アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像、およびサイズが640×480より大きい静止画はパラパラマンガに登録できません。
- パラパラマンガに登録した静止画は、個別に表示したり編集したりできなくなります。

1 **待受画面でMENU 5 1を押し、フォルダを選択する**

2 **MENU 4 1を押す**

■ パラパラマンガを解除するとき

解除するパラパラマンガにカーソルを合わせ、MENU 4 2を押す

選択したパラパラマンガが1枚ずつの静止画に戻ります。

- 連写画像を1枚ずつの静止画に分けることもできます。

3 **パラパラマンガに登録する画像を選択する**



選択した順に画像の上に1～6の番号が表示されます。

■ すべての選択を解除するとき

MENUを押す

- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

4 **を押す**

5 表示名を入力し、[○] を押す

画像一覧にパラパラマンガの最初のコマが表示され、[アイコン]と表示名が表示されます。
- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

お知らせ

- 画像表示画面から操作する場合は、[MENU]を押して「パラパラマンガ」→「作成」または「解除」を選択します。
- パラパラマンガを表示する方法は、通常の画像と同じです。

静止画を編集する

サイズや明るさなど、マイピクチャに保存されている静止画を編集します。編集項目とその内容は次のとおりです。

編集項目	内　容	編集可能な最大画像サイズ（ドット）
サイズ変更	サイズを変更します。	1224×1632 (拡大／縮小は352×288)
切出し	任意のサイズに切り出します。	1224×1632
明るさ／色調	明るさと色調を変更します。	352×288
効果	特殊な効果をかけます。	240×320
反転／回転	反転または回転します。	480×640
フレーム	フレームを重ねます。	352×288
スタンプ貼付	スタンプを貼り付けます。	352×288
テキスト貼付	テキストを貼り付けます。	352×288
切抜き	任意の部分を切り抜きます。	240×320
サイズ制限保存	ファイルサイズを制限して保存します。	1224×1632
補正	色や明るさのバランスを補正します。	352×288

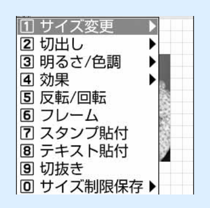
- 次の画像は編集できません。
  - アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - サイズが1224×1632より大きい静止画
  - 縦横のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画
- 編集した画像をパソコンなどで表示した場合、FOMA端末で透過表示されていた部分は白く表示されます。

1 待受画面で[MENU][5][1]を押し、フォルダを選択する

2 編集する静止画にカーソルを合わせ、[○]を押して[MENU]を押す

次ページへ続く

3 編集項目を選択し、静止画を編集する



編集メニュー画面

1：サイズ変更→P352
2：切出し→P353
3：明るさ／色調→P354
4：効果→P354
5：反転／回転→P355
6：フレーム→P355
7：スタンプ貼付→P356
8：テキスト貼付→P357
9：切抜き→P358
0：サイズ制限保存→P358

4 編集が終わったら［ ］を押し、「保存」を選択する

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- フレームまたはスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。

お知らせ

- 静止画が画面より大きいとき、編集時には縮小表示されます。ただしスタンプ貼付、テキスト貼付、切抜き、拡大または縮小の場合は等倍で表示されます。
- 静止画や編集方法によっては、編集結果がイメージと異なる場合があります。
- 編集と保存を繰り返し行うと、画質が劣化する場合があります。
- 編集後、静止画のファイルサイズが大きくなる場合があります。
- 静止画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは保存できません。不要な画像を削除してから、保存し直してください。

サイズを変更する

静止画を拡大または縮小したり、特定のサイズに変更したりします。

- 静止画のサイズを変更すると、画質が劣化する場合があります。

1 編集メニュー画面で 1 を押す

2 画像サイズを選択する



■ 静止画を指定したサイズに変更するとき

1 ～ 8 を押す

サイズが変更され、静止画編集画面に戻ります。



- 指定したサイズと静止画の縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。［ ］［ ］［ ］［ ］を押してサイズ枠の位置を調整し、［ ］を押すと、サイズ枠で囲まれた部分が指定したサイズに変更されます。
- 縦横比を無視して静止画を指定したサイズに収める場合は、［MENU］を押します。
- 縦横比を保持したまま静止画を指定したサイズに収める場合は、［ ］を押します。

■ 静止画のサイズを拡大／縮小するとき

① を押す

② を押し、サイズを拡大または縮小する



縦横比を保持したまま、5% ずつ拡大または縮小します。画面の右上には拡大または縮小後の画像サイズと、拡大または縮小率が表示されます。

- を押すと 20% ずつ縮小、 を押すと 20% ずつ拡大します。
- 横縦（または縦横）のサイズは 352 × 288 まで拡大できます。
- 縦横どちらかのサイズが 8 ドットになるまで縮小できます。

③ を押す

静止画が拡大または縮小され、静止画編集画面に戻ります。

任意のサイズに切り出す

静止画を特定のサイズ、または任意のサイズに切り出します。

- 16 × 16 より小さい画像は切り出しできません。

1 編集メニュー画面で を押す

2 切り出し方法を選択する



■ 特定のサイズに静止画を切り出すとき

① ～ を押す

② を押して切り出し枠の位置を調整し、 を押す



- を押すたびに、切り出し枠の縦横が切り替わります。
- を押すたびに、切り出しサイズが切り替わります。
- 切り出す範囲を指定するには、 を押します。

③ を押す

静止画が選択したサイズに切り出され、静止画編集画面に戻ります。

■ 範囲を指定して静止画を切り出すとき

① を押す

範囲指定枠が点線で表示され、範囲指定枠の左上に ✥ が表示されます。

次ページへ続く

②　を押して始点を決め、　を押す
範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下に　が表示されます。

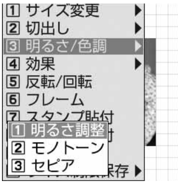


③　を押して終点を決め、　を押す
切り取り範囲が決定され、範囲指定枠が実線で表示されます。この状態で　を押して、範囲指定枠を移動できます。
④　を押す
指定した範囲で静止画が切り出され、静止画編集画面に戻ります。

明るさと色調を変更する

1 編集メニュー画面で 3 を押す

2 調整の方法を選択する



■ 明るさを調整するとき

① 1 を押す
②　を押し、明るさを調整する



一段階ずつ明るさが増減します。
- 明るさを最大にするには　を押します。
- 明るさを最小にするには　を押します。

③　を押す
静止画編集画面に戻ります。

■ 色調をモノトーンまたはセピアにするとき

2 または 3 を押す
色調が変更され、静止画編集画面に戻ります。

特殊な効果をかける

1 編集メニュー画面で 4 を押す

データ表示／編集／管理

2 特殊効果を選択する

静止画に特殊な効果がかかり、静止画編集画面に戻ります。

ぼかし　：画像をぼかします。
球面　　：中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。
エンボス：鉛色にし、凸凹を強調します。
うずまき：中心から渦状に回転させたような効果をかけます。
きらきら：きらきら光っているようなマークを入れます。
モザイク：モザイクをかけます。

反転／回転させる

1 編集メニュー画面で を押す

2 静止画を反転または回転させる



- 上下に反転させるには を、左右に反転させるには を押します。
- 左回りまたは右回りに90度回転させるには、 または を押します。

3 を押す

静止画編集画面に戻ります。

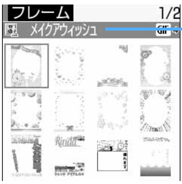
フレームを重ねる

1 編集メニュー画面で を押す

編集している静止画と同じサイズのフレームが表示されます。

- 詳細情報変更でフレーム候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズと異なっていても表示されます。

2 フレームを選択する



TM & c WBE (s05)

3 フレームを重ねた画像を確認したら を押す



静止画編集画面に戻ります。

- フレームを切り替えるには を押します。
- フレームを180度回転させるには を押します。

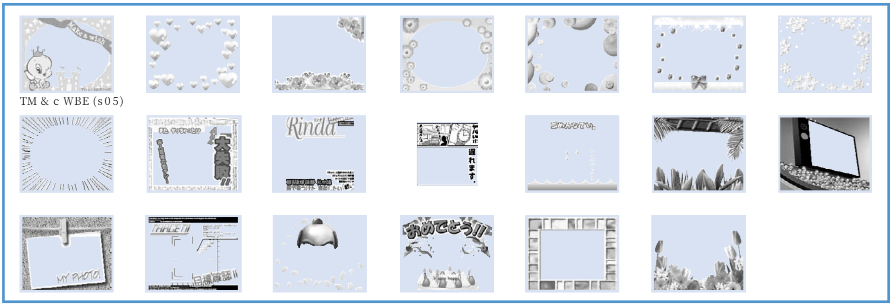
お買い上げ時に登録されているフレーム

- の部分に静止画が入ります。

■ 待受用（240×320）サイズ



■ QCIF（176×144）サイズ



- お買い上げ時に登録されているフレームを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P318

スタンプを貼り付ける

1 編集メニュー画面で 7 を押す

編集している静止画よりも小さいサイズのスタンプが表示されます。

- 詳細情報変更でスタンプ候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズより大きくても表示されます。→P397

2 スタンプを選択する



スタンプ名

選択したスタンプが画面の中央に表示されます。

3 を押してスタンプを貼り付ける位置を調整し、を押す



効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。
- 続けて別の位置にスタンプを貼り付けられます。
- 貼り付けたスタンプをすべて削除するには を押します。
- 効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

4 を押す

貼り付けたスタンプが合成され、静止画編集画面に戻ります。

お買い上げ時に登録されているスタンプ



テキストを貼り付ける

1 編集メニュー画面で を押す

2 各項目を選択して設定する

テキスト　：貼り付けるテキストを入力します。
- 全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。

文字の種類　：テキストの種類を設定します。
文字のサイズ：テキストのサイズを設定します。
文字色　：テキストの色を設定します。
文字縁取り色：テキストの縁取りの色を設定します。
背景色　：テキストの背景色を設定します。
貼り方　：テキストの貼り付けかたを設定します。
- 「まとめて」に設定すると、設定したテキストがまとめて貼り付けられます。
- 「一字ごと」に設定すると、設定したテキストを1文字ずつ異なる位置に貼り付けられます。

3 を押す

設定したテキストが画面の中央に表示されます。
- 貼り方を「一字ごと」に設定した場合は、最初の文字が画面の中央に表示されます。

4 を押して文字を貼り付ける位置を調整し、を押す



効果音が鳴り、テキストが貼り付けられます。
- 続けて別の位置にテキストを貼り付けられます。
- 貼り付けたテキストをすべて消去するには を押します。
- 貼り方を「一字ごと」に設定した場合は、を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字がもう一度表示されます。
- 効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

5 を押す

静止画編集画面に戻ります。

任意の部分を切り抜く

選択した色と近似している部分を切り抜きます。

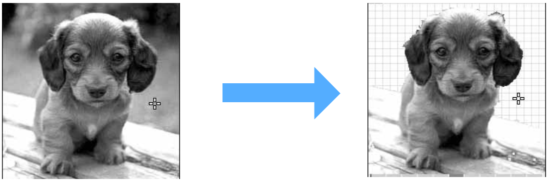
1 編集メニュー画面で 9 を押す

画面の中央に切り抜く色を指定する ✜ が表示されます。

2 を押して切り抜く色に✜を合わせ、を押す

✜ の位置の色と近似している部分が切り抜かれます。

- 続けて別の部分の切り抜きができます。



3 を押す

静止画編集画面に戻ります。

ファイルサイズを制限して保存する

1 編集メニュー画面で 0 を押す

2 サイズを選択する



設定したファイルサイズ以下で、同じフォルダに新しい静止画として保存されます。

- サイズが352×288より大きい静止画は、「9000バイト」に設定できません。

明るさや色のバランスを補正する

1 待受画面で 5 1 を押し、フォルダを選択する

2 補正する静止画にカーソルを合わせ、 を2回押す

画像補正モードになり、画面の右上に現在の補正モードが表示されます。

3 を押し、補正モードを選択する



静物　：静物や植物などの画像を適切に補正します。
背景　：背景を適切に補正します。
風景　：風景画像に明るさや色のメリハリを出します。
美肌　：人物画像の肌を白くなめらかに表現します。
日焼け　：人物画像の肌を小麦色に表現します。
青ざめ　：人物画像の肌を青ざめたように表現します。
酔っ払い：人物画像の肌を赤らめたように表現します。

- 補正効果を増減するにはを押します。
- 補正効果を最大にするにはを押します。
- 補正効果を最小にするにはを押します。
- を押して～を押しても、補正モードを選択できます。

4 を押し、「保存」を選択する

補正した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- フレームまたはスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。

お知らせ

- 静止画によっては、明るさや色のバランスを補正しても状態があまり変化しない場合があります。

動作設定

画像の動作条件を設定する

お買い上げ時	一覧の画像表示：あり　タイトル表示：あり　番号表示：あり　コメント表示：あり 小さい画像の拡大：なし　大きい画像の縮小：あり　効果音再生：あり

1 待受画面でを押す

2 を押す

3 各項目を選択して設定する

一覧の画像表示　：画像一覧をサムネイル表示（あり）にするかリスト表示（なし）にするかを設定します。
タイトル表示　：画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。
番号表示　：画像表示画面でフォルダ内またはアルバム内での件数と総件数を表示するかどうかを設定します。
コメント表示　：画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。
小さい画像の拡大：表示領域よりも小さい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。
大きい画像の縮小：表示領域よりも大きい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示するかどうかを設定します。
効果音再生　：画像を表示したとき、画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。

4 を押す

お知らせ

- 画像一覧、画像表示画面から操作する場合は、を押して「動作設定」を選択します。

動画／ｉモーションを再生する

ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを再生します。

- 画像サイズが48×48～320×240の動画／ｉモーションを再生できます。

1 待受画面で MENU 5 2 を押す

2 フォルダを選択する



ｉモーションの各フォルダには次のような動画／ｉモーションが保存されています。

カメラ：ビデオカメラやキャラ電で撮影した動画、サウンドレコーダーで録音した音声

ｉモード：サイトやｉモーションメールから取得したｉモーション

プリインストール：お買い上げ時に内蔵されている動画

データ交換：miniSDメモリーカードから移動／コピーした動画／ｉモーション、データ通信で受信した動画／ｉモーション

マイアルバム：他のフォルダから移動した動画／ｉモーション

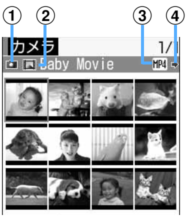
- アルバムを作成すると表示されます。マイアルバム（アルバム名）は作成時に任意の名称に変更できます。→P393

■ miniSDメモリーカードのフォルダを選択するとき

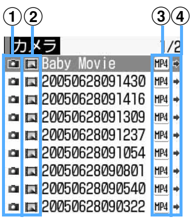
を押す

- miniSDメモリーカードの操作方法→P388

3 再生する動画／ｉモーションにカーソルを合わせる



サムネイル表示



リスト表示

ファイルの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

① **取得元**

：プリインストール　：ｉモード　：カメラ
：データ交換　：キャラ電

② **再生制限**

：再生制限なし　：回数制限あり
：期限制限あり　：期間制限あり

③ **ファイルの種類**

MP4（白）：MP4　MP4（青）：しおり付きMP4
ASF（白）：ASF※　ASF（青）：しおり付きASF※

※：ASFファイルは、miniSDメモリーカードに保存されているもののみ再生できます。

④ **ファイル制限**

（青）：メール添付、FOMA端末外出力可
（グレー）：メール添付、FOMA端末外出力不可

- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- サウンドレコーダーで録音した音声、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、FOMAカード動作制限機能が設定されている動画／ｉモーションは、サムネイル表示では で表示されます。
- 表示名などの詳細情報を変更できます。

■ 動画／ｉモーションをメールに添付するとき（ｉモーションメール）

送信する動画／ｉモーションにカーソルを合わせ、 または MENU 1 を押す

選択した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

4 を押す



再生中の動画／ｉモーションの下に再生状態や動画／ｉモーションの種類などを示すマークが表示されます。

- しおりを設定した動画／ｉモーションの場合は、しおりの位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、しおりの位置から再生され、「いいえ」を選択すると、先頭から再生されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ① **再生音量** ：現在の音量を示します。
  - ② **再生状態**
    - PLAY：再生中　STOP：停止中　PAUSE：一時停止中
  - ③ **ファイルの種類**
    - A：音声のみ　AV：音声＋映像
    - T：テキストのみ　VT：映像＋テキスト
    - V：映像のみ　AVT：音声＋映像＋テキスト
    - AT：音声＋テキスト
  - ④ **拡大／縮小表示**
    - ：拡大表示中　：縮小表示中
  - ⑤ **再生時間** ：現在の再生時間と総再生時間を数字とバーで示します。
- 動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。
  - ：一時停止／再生
  - ：早送り再生
  - （サイドキー［▲▼］）：音量調整
  - ：停止
  - （停止中）：先頭から再生
  - ：一覧画面に戻る

■ しおりを設定するとき

再生中、しおりを設定したい場面で を押し、「はい」を選択する

- すでにしおりが設定されている場合は、破棄されて新しい位置にしおりが設定されます。
- 解除するときは、再生を停止させてから を押します。
- しおりは、データBOX内のｉモーションから再生したとき、miniSDメモリーカードから再生したとき、動画撮影画面で （一覧）を押して再生したときに設定できます。ただし、再生制限が設定されているｉモーションには設定できません。

■ 画像の縦横を切り替えるとき

** を押す**

- を押すたびに画像の縦横が切り替わります。

お知らせ

- アルバムに保存されている動画／ｉモーションは、まとめて再生もできます（アルバム再生）。
- 他のアプリケーションの影響により、動画／ｉモーションの保存時にサムネイル画像を取得できない場合があります。そのような動画／ｉモーションは、サムネイル表示では で表示されます。
- 着信やスケジュールアラームが鳴るなど、動画／ｉモーションの再生中に他の機能が起動すると、再生が中断されます。他の機能を終了して を押すと、中断した位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、中断した位置から再生されます。「いいえ」を選択すると、先頭から再生されます。
- ｉアプリで動画／ｉモーションを再生しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信すると、正しく再生できない場合があります。
- プライバシーモード中（ｉモーションを「認証後に表示」に設定している場合）に動画／ｉモーションを再生する場合は、認証操作が必要です。
- 音声電話中およびテレビ電話中は、動画／ｉモーションを再生できません。
- マナーモード中に音声のある動画／ｉモーションを再生しようとすると、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションの動作設定で設定されている音量で再生されます。

ｉモーションに再生制限が設定されているとき

ｉモーションに再生制限が設定されている場合は、再生を開始する前に確認画面が表示されます。再生制限の種類と確認する内容は次のとおりです。

再生制限	状　態	確認内容
回数制限	**再生回数残あり**	「あと×回（×／総再生回数）再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。
期限制限	**期限内**	「（年/月/日 時:分）まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	期限後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。
期間制限	**期間内**	「（年/月/日 時:分）～（年/月/日 時:分）まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。□を押すと、動画／ｉモーション一覧に戻ります。
	期間後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

- 残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報参照で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。
- 長い間電池パックを外していると、FOMA端末で保持されている日付・時刻情報がリセットされる場合があります。その場合、再生期限または再生期間が設定されているｉモーションは再生できなくなります。

動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320×240より大きいｉモーションは待受画面に設定できません。
- 着信音、着信画像、電話帳に設定できるのは、画像サイズがSub-QCIF（128×96）、またはQCIF（176×144）の動画／ｉモーションです。ただし、着信画像と電話帳に設定できるのは映像のみの動画／ｉモーションです。
- 詳細情報の着信音設定および着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ、着モーションおよび着信画像に設定できます。

1 **待受画面でMENU 5 2を押し、フォルダを選択する**

2 **設定する動画／ｉモーションにカーソルを合わせ、MENU 2を押す**

3 **設定する項目を選択する**

■ 待受画面に設定するとき

1を押し、「はい」を選択する

- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- 動画／ｉモーションを待受画面に設定したときの動作→P125

■ 電話帳に新規登録するとき

2を押す

- 電話帳登録について→P97

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ すでに登録されている電話帳に更新登録するとき

①［3］を押す

②更新する電話帳データを選択する

- すでに動画／ｉモーションが設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ 着モーションに設定するとき

［4］を押し、［1］～［6］を押す

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

①［4］を押し、［7］または［8］を押す

②設定する電話帳データを選択する

③内容を確認し、［i］を押す

- すでに着信音が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ 着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定するとき

［5］を押し、［1］または［2］を押す

- すでに着信画像が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

お知らせ

- 次の動画／ｉモーションは、着モーションや着信画像に設定できません。
  - 赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻したもの
  - miniSDメモリーカードから、FOMA端末本体にコピーまたは移動したもの（FOMA端末本体からminiSDメモリーカードにコピーまたは移動してから、もう一度FOMA端末本体にコピーまたは移動したものを含む）

動画／ｉモーションを編集する

静止画の切り出しや任意の範囲の切り出しなど、ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。

- 編集できる動画／ｉモーションは次のとおりです。
  - 自端末で撮影した動画
  - 自端末で撮影した動画以外の動画／ｉモーションで、ファイル制限がないもの
- 再生制限付きのｉモーション、お買い上げ時に登録されている動画／ｉモーションは編集できません。また、ASF形式の動画などファイルの形式などにより編集できない動画／ｉモーションがあります。
- 編集中に動画／ｉモーションを再生したときのマークの意味とキー操作については、「動画／ｉモーションを再生する」の操作4を参照してください。→P361

静止画を切り出す（キャプチャ）

動画／ｉモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出し（キャプチャ）します。

- テロップはキャプチャした静止画に表示されません。

1 待受画面で［MENU］［5］［2］を押し、フォルダを選択する

2 キャプチャする動画／ｉモーションを選択する

選択した動画／ｉモーションが再生されます。

3 再生中の任意の位置で［MENU］［3］を押す

- 切り出しの操作をやり直すときは、［CLR］または［MENU］（中断）を押します。

4 画像を確認して を押す



キャプチャした静止画が、マイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。
- 続けてキャプチャするには、を押して再生を再開してから、操作3～4を繰り返します。

■ キャプチャした静止画をメールに添付するとき

を押す

キャプチャした静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存され、キャプチャした静止画が添付されているメール作成画面が表示されます。
- キャプチャした静止画のファイルサイズが9000バイト以下の場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。
- キャプチャした静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、メールに添付できません。→P255

お知らせ

- 一時停止中または再生終了後でもキャプチャできます。
- キャプチャした静止画ファイルをメールに添付して、movaサービスのｉモード端末に送信すると、相手はURL付きのメール（ｉショットメール）として受信します。

動画を切り出す

動画／ｉモーションを先頭から任意の位置まで切り出します。

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせ、 を押す

選択切り出しモードになり、再生時間の下に が表示されます。
- 切り出す動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合、テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択切り出しモードになります。このとき、切り出す位置によっては、テロップが消去される場合があります。

3 （始点）を押し、切り出す位置で（終点）を押す



切り出し中は、現在のファイルサイズと最大ファイルサイズが表示されます。
- 切り出しの操作をやり直すときは を押します。
- 動画の再生中に切り出しを中断するときは （中断）を押します。
- 動画／ｉモーションを を押さずに最後まで切り出したときは、自動的に切り出しを終了し、終点がファイルの最大サイズより約1000バイト小さい位置に設定されます。

■ 切り出しサイズの上限を設定するとき

- 切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

①（始点）を押す前に（設定）を押す

②「メール添付（小）」（290Kバイト）、「メール添付（大）」（490Kバイト）、「設定なし」（切り出し元の動画のファイルサイズ）を選択する

- 切り出し中の動画／ｉモーションのファイルサイズが設定した切り出しサイズの上限に達したときは、自動的に切り出しを終了します。
- 切り出し元の動画のファイルサイズが490Kバイトより大きい場合は、「設定なし」に設定できません。

4 表示名を入力し、を押す



切り出した動画／ｉモーションは新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 切り出した動画／ｉモーションを再生するとき

を押す

■ 切り出した動画／ｉモーションをメールに添付するとき

を押す

切り出した動画／ｉモーションは、新しいデータとして元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、切り出した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

お知らせ

- 同じ動画／ｉモーションから複数切り出せます。

ファイルサイズを指定して切り出す

動画／ｉモーションを先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。

- 指定できるファイルサイズは10～490Kバイトです。
- 指定できるファイルサイズの上限は、切り出す動画／ｉモーションにより異なります。

1 待受画面で 5 2 を押し、フォルダを選択する

2 切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせ、 4 2 を押す

- 切り出す動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合、テロップが削除される可能性がある旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、サイズ切り出しモードになります。このとき、切り出す位置によっては、テロップが消去される場合があります。

3 切り出すサイズを入力する



指定したファイルサイズで動画／ｉモーションが切り出されます。

■ メール添付のサイズで切り出しサイズを設定するとき

- 切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

①サイズ切り出しの画面で（設定）を押す

②「メール添付（小）」（290Kバイト）、「メール添付（大）」（490Kバイト）を選択する

- 「メール添付（小）」に設定すると「290」が、「メール添付（大）」に設定すると「490」が、切り出しサイズに自動的に設定されます。

次ページへ続く

4 表示名を入力し、[i-mode key] を押す



切り出した動画／ｉモーションが、新しいデータとして元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 切り出した動画／ｉモーションを再生するとき

[key] を押す

■ 切り出した動画／ｉモーションをメールに添付するとき

[mail key] を押す

元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、切り出した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

お知らせ

- 同じ動画／ｉモーションから複数切り出せます。
- サイズ切り出しした動画／ｉモーションは、指定したファイルサイズよりも小さくなる場合があります。

テロップを挿入する

動画／ｉモーションには文字情報（テロップ）を挿入できます。

- テロップは最大10個挿入できます。ただし、テロップを挿入する動画／ｉモーションによっては10個より少なくなる場合があります。
- すでに挿入されているテロップの内容は変更できません。新しくテロップを挿入するには、すでに挿入されているテロップをすべて削除します。

1 待受画面で [MENU] [5] [2] を押し、フォルダを選択する

2 テロップを挿入する動画／ｉモーションにカーソルを合わせ、[MENU] [4] [3] [1] を押す

- すでにテロップが挿入されている場合は、削除して新しいテロップを作成するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、すでに挿入されているすべてのテロップが削除されます。

■ テロップを削除するとき

[MENU] [4] [3] [2] を押し、「はい」を選択する

挿入されているすべてのテロップが削除されます。

3 各項目を選択して設定する



表示間隔　：テロップの配置のしかたを設定します。

- 「ユーザ指定」に設定すると、テロップを設定する位置を任意に指定できます。
- 「等間隔」に設定すると、テロップ数を設定できます。動画／ｉモーションの再生時間内に、指定した数のテロップが等間隔で挿入されます。

テロップ数：1～10の範囲で入力します。

4 [i-mode key] を押す

- 表示間隔を「ユーザ指定」に設定したときは確認メッセージが表示され、再生画面の下に [icon] が表示されます。
- 表示間隔を「等間隔」に設定したときは、操作7に進みます。

データ表示／編集／管理

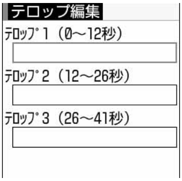
5 を押して再生を開始し、テロップの設定位置でを押す



再生は中断しません。を押すたびに、テロップの位置が設定されます。
- 再生を開始すると先頭に１つ目の位置が設定されます。
- テロップの位置の設定を終了するにはを押します。
  設定位置を９箇所設定するか、動画／ｉモーションの再生が終了すると、自動的にテロップの位置の設定を終了します。
- 先頭にだけ配置するときは、を押して再生を開始し、を押します。

6 「はい」を選択する

7 テロップ欄を選択し、テロップに表示する文字を入力する



- 全角で最大２０文字、半角で最大４０文字入力できます。

■ テロップを装飾するとき

①**装飾するテロップにカーソルを合わせ、を押す**
②**各項目を選択して設定する**

テロップ１～１０：テロップ編集画面で入力した文字が表示されます。選択すると、文字を入力できます。

文字色：文字の色を設定します。
- 「指定なし」に設定すると、文字色は白になります。
- 文字色を設定しても絵文字には反映されません。

背景色：テロップの背景色を設定します。
- 「指定なし」に設定すると、背景は黒になります。

スクロール動作：文字のスクロール動作を設定します。
- 「スクロール・イン」に設定すると、最初は見えない文字が移動しながら徐々に表示されます。
- 「スクロール・アウト」に設定すると、最初は表示されている文字が移動しながら徐々に見えなくなります。
- 「スクロール・イン＆アウト」に設定すると、最初は見えない文字が移動しながら徐々に表示され、その後徐々に見えなくなります。
- 「なし」に設定すると、文字はスクロールしません。

スクロール方向：スクロール動作を「なし」以外に設定したときの文字のスクロール方向を設定します。

文字位置：文字の表示位置を設定します。

文字サイズ：文字の大きさを設定します。

下線：文字に下線を付けるように設定します。

点滅：文字が点滅するように設定します。

③**を押す**

8 を押す

- テロップを挿入する前の動画／ｉモーションのファイルサイズが３００Ｋバイト以下で、テロップを挿入した結果が３００Ｋバイトより大きくなった場合、メール添付（小）サイズを超える旨のメッセージが表示されます。そのままテロップを挿入する場合はを押します。

9 表示名を入力し、を押す



テロップを挿入した動画／ｉモーションが、新しいデータとして元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ テロップを挿入した動画／ｉモーションを再生するとき

を押す

■ テロップを挿入した動画／ｉモーションをメールに添付するとき

を押す

元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、テロップを挿入した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

動作設定

動画／ｉモーションの動作条件を設定する

お買い上げ時	一覧の画像表示：あり　表示画像の拡縮：なし　アルバムリピート再生：ON 照明設定：常灯　音量：レベル３　サラウンド；OFF

動画／ｉモーションの再生時の照明や音量などの条件を設定します。

1 待受画面で を押す

2 を押す

3 各項目を選択して設定する

一覧の画像表示：動画／ｉモーション一覧をサムネイル表示（あり）にするかリスト表示（なし）にするかを設定します。

表示画像の拡縮：表示領域（横再生時：320×240、縦再生時：240×200）と再生する動画／ｉモーションのサイズが合わないときに、拡大または縮小表示をするかどうかを設定します。

- 「なし」に設定すると、拡大または縮小表示しません。ただし、表示領域より大きいサイズの動画／ｉモーションを再生したときは、縦横比を保持したまま、表示領域に合わせて動画／ｉモーションを縮小表示します。
- 「あり」に設定すると、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／ｉモーションを拡大または縮小表示します。

アルバムリピート再生：アルバム再生時にリピート再生するかどうかを設定します。

照明設定：ｉモーション再生中の照明の動作を設定します。

- 「常灯」に設定すると、「ｉモーション」再生中は常に照明が点灯します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。

音量：動画／ｉモーション再生時の音量を設定します。

サラウンド：動画／ｉモーション再生時にサラウンド効果を有効にするかどうかを設定します。

4 を押す

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧から操作する場合は、を押して「動作設定」を選択します。

キャラ電とは

テレビ電話利用時に、自分の画像の代わりに画面に表示させるキャラクタのことです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かし、そのときの気持ちを手軽に表現できます。また、キャラ電を待受画面に設定して、待受時や不在着信があるときに特定のアクションを動作させたり、表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存したりもできます。

- キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。
- サイトなどからダウンロードしたキャラ電を保存できます。
- キャラ電のアクションには、キャラクタの全体が動く「全体アクション」と部分的に動く「パーツアクション」があります。キャラ電によっては、パーツアクションがないものもあります。



全体アクション
：うれしい！



全体アクション
：うわっ！？



パーツアクション
：パチパチ

キャラ電を表示する

- お買い上げ時は、次のキャラ電が「プリインストール」フォルダに保存されています。



©BVIG
ブンブン（Dimo）



アイ



ケン



TM & c WBE (s05)
Tweety

1 待受画面で MENU 5 4 を押す

2 フォルダを選択する



キャラ電の各フォルダには次のようなキャラ電が保存されます。

- **iモード**：サイトからダウンロードしたキャラ電
- **プリインストール**：お買い上げ時に FOMA 端末に内蔵されているキャラ電
- **マイフォルダ**：他のフォルダから移動したキャラ電
  - フォルダを作成すると表示されます。マイフォルダ（フォルダ名）は作成時に任意の名称に変更できます。→P393

3 表示するキャラ電を選択する



キャラ電一覧画面では、各キャラ電の表示名とその詳細を示すマークが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - ① **取得元**
    - ：i モード
    - ：プリインストール
  - ② **ファイル制限**
    - （グレー）：メール添付、FOMA 端末外出力不可
- 表示名などの詳細情報を変更できます。

■ キャラ電を利用してテレビ電話をかけるとき

①利用するキャラ電にカーソルを合わせ、 を押す

②電話番号入力欄を選択して電話番号を入力し、 を押す

- を押して電話帳から電話番号の入力もできます。→P103
- を押して発信方法や番号通知などの設定の変更もできます。→P54
- テレビ電話の操作のしかた→P79

■ キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定するとき

代替画像に設定するキャラ電にカーソルを合わせ、 を押す

- キャラ電表示画面で を１秒以上押しても、テレビ電話の代替画像に設定できます。

■ キャラ電を待受画面に設定するとき

①設定するキャラ電にカーソルを合わせ、 を押す

②待受アクション設定画面で、各項目を選択して設定する

- 「全体アクション」「パーツアクション」を設定した場合は、アクション一覧からアクションを選択します。
- 「直接入力」を設定した場合は、アクションに対応したダイヤルキーを押してください。
- 「OFF」に設定すると、あらかじめ設定されている動作になり、アクションは設定できません。
- アクション間隔ではアクションを繰り返す間隔（1～5 秒）を選択します。「OFF」を設定すると選択したアクションが１回だけ動作します。
- 通常、不在着信、未読メールのすべての項目でアクションを設定した場合は、不在着信と未読メールの設定が優先されます。優先順位については、お知らせを参照してください。→P372

③ を押す

④「はい」を選択する

- キャラ電は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- すでに i アプリ待受画面が設定されている場合は、さらに i アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、i アプリ待受画面が解除されます。

4 キャラ電を操作する



アクションモード

ダイヤルキーを押すと、その数字に応じたアクションをします。

- アクションを中止するには を押します。
- を押すと表示領域に合わせて拡大表示されます。 を押すと等倍表示されます。

■ キャラ電を切り替えるとき

① を押し、フォルダを選択する

②表示するキャラ電を選択する

■ アクション名を確認するとき

を押す

設定中のアクションモードのアクション一覧が表示されます。

- アクションを選択すると、キャラ電が動きます。

■ 全体アクションとパーツアクションを切り替えるとき

を1秒以上押す

1秒以上押すたびに全体アクション Action とパーツアクション Parts が切り替わります。

■ お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧

ブンブン（Dimo）

全体アクション	1	喜ぶ	4	ありがとう	7	ノーリアクション
	2	怒る	5	ラブラブ	8	バイバイ
	3	悲しむ	6	ごめんなさい	9	びっくり

アイ

全体アクション	1	うれしい！	4	ZZZ・・・	7	シクシク
	2	ムカッ！！	5	うわっ！？	8	？？？
	3	ガックリ	6	ゴメンネ	9	はずかしい
パーツアクション	11	笑う	19	照れる	33	左向きっ
	12	怒る	21	右手でハーイ！	34	キック！
	13	悲しむ	22	ばんざーい	35	お座り
	14	目を閉じる	23	左手でハーイ！	41	右ひねり
	15	驚く	24	パチパチ	42	のけぞる
	16	謝る	25	バイバイ	43	左ひねり
	17	泣く	31	右向きっ	44	右！
	18	わからない	32	跳ねる	45	左！

ケン

全体アクション	1	面白いっ！	4	ZZZ・・・	7	ううう。。。
	2	ムカッ！！	5	うわっ！？	8	？？？
	3	うぁーん！！	6	ゴメン	9	はずかしい
パーツアクション	11	笑う	19	照れる	33	左向きっ
	12	怒る	21	右手あげ	34	キック！
	13	悲しむ	22	ばんざーい	35	お座り
	14	目を閉じる	23	左手あげ	41	右ひねり
	15	驚く	24	パチパチ	42	のけぞる
	16	謝る	25	バイバイ	43	左ひねり
	17	泣く	31	右向きっ	44	右！左！
	18	わからない	32	足踏み	45	ペコペコ

Tweety

全体アクション	1	うれしい	6	ごめんなさい	#2	おどろく
	2	おこる	7	のび	#3	なく
	3	かなしい	8	いやいや	#4	OK
	4	YES	9	バイバイ	#5	だめだめ
	5	NO	#1	らぶりー	#6	なやむ

- キャラ電表示中に、表内の数字と同じダイヤルキーを押すと、該当するアクションをします。
- アイとケンのパーツアクションにはスペシャルモードがあります。
  - アイ：#222# を押すと、「好きっ！」の動作を行います。
  - ケン：#888# を押すと、「ギャグ！」の動作を行います。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電は、同じパーツアクションでもキャラ電によって動きかたが異なる場合があります。

次ページへ続く

お知らせ

- キャラ電を編集したり、メール添付やデータ転送でFOMA端末外に保存はできません。
- キャラ電表示中に電話をかけたり受けたりしたとき、通話終了後はキャラ電表示に戻りません。音声電話の場合はキャラ電一覧に、テレビ電話の場合は待受画面に戻ります。
- キャラ電の待受アクション設定画面で複数の項目にアクションを設定している場合は、次の優先順位に従ってキャラ電はアクションします。
  ①不在着信、未読メール
  ②通常
  ①で不在着信と未読メールの両方が設定されている場合、不在着信と未読メールの両方が存在するときは、それぞれに設定されているアクションを交互に繰り返します。①と②が同時に設定されている場合、不在着信と未読メールの両方が存在しないときは、通常のアクションが動作します。
- お買い上げ時に保存されているキャラ電を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P318

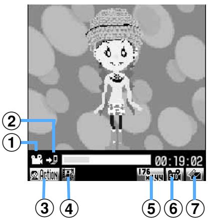
キャラ電撮影

キャラ電を撮影する

キャラ電の静止画や動画を撮影します。

- 撮影した静止画や動画は、カメラで撮影した静止画や動画と同様のファイル形式で保存されます。
  画像ファイルの保存形式→P171

キャラ電撮影画面



キャラ電撮影画面の見かたは次のとおりです。

①撮影モード
：静止画撮影モード　　：動画撮影モード

②保存先※
：FOMA端末　　：miniSDメモリーカード

③アクション種別
：全体アクション　　：パーツアクション

④撮影種別
：動画＋音声　　：動画のみ（マイクあり）
：動画のみ（マイクなし）　　：静止画

⑤画像サイズ
：(静止画、動画ともに固定)

⑥画質※
静止画撮影時
：エコノミー　　：スタンダード　　：ファイン
動画撮影時
：LP　　：STD　　：HQ　　：HQ＋

⑦サイズ制限
静止画撮影時：制限はありません。
動画撮影時※
：メール添付（290Kバイト）
：大容量メール添付（490Kバイト）

※：静止画設定または動画設定で設定を変更できます。

静止画を撮影する

1 待受画面でMENU 5 4 を押し、フォルダを選択する

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

2 撮影するキャラ電にカーソルを合わせ、 を押す

キャラ電撮影モードになります。

3 撮影種別に が表示されるまで を繰り返し押す



- 撮影種別は次の順序で切り替わります。

動画＋音声 → 動画のみ（マイクあり） → 動画のみ（マイクなし） → 静止画 → （動画＋音声に戻る）

4 キャラ電を操作し、撮影したいアクションに切り替える

- 静止画撮影画面でもキャラ電表示画面と同様に、キャラクタを動かしたりアクションを切り替えたりできます。→P370 操作4

■ キャラ電を切り替えるとき

① を押す
②フォルダを選択する
③撮影するキャラ電を選択する

5 を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。→P348

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されます。→P380

■ 保存した静止画をすぐに確認するとき

① を押す
②確認したい静止画を選択する

- 確認後 を2回押すと、静止画撮影画面に戻ります。

■ 静止画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき



静止画確認画面が表示されます。

- 静止画確認画面では次の操作ができます。
  - ：静止画の保存
  - ：保存先の切り替え
  - ：取消
  - ：メール作成

お知らせ

- 詳細情報の、撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した静止画は、編集、転送、メール添付ができません。
- キャラ電撮影中に電話をかけたり受けたりすると、通話終了後はキャラ電撮影に戻りません。音声電話の場合はキャラ電一覧に、テレビ電話の場合は待受画面に戻ります。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、キャラ電を撮影できません。表示された確認画面の指示に従って、不要な画像を削除してから撮影してください。
- 電話着信音量調整を「消音」に設定したときや、マナーモード中は、シャッター音は鳴りません。

動画を撮影する

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 撮影するキャラ電にカーソルを合わせ、 を押す

キャラ電撮影モードになります。

3 を押して動画の撮影種別を選択する



キャラ電の動画撮影画面に切り替わります。

動画＋音声：キャラ電と送話口からの音声を撮影します。送話口からの音声に反応するキャラ電の場合は、音声に合わせて口を動かします。

動画のみ（マイクあり）
：キャラ電のみを撮影します。マイクは送話口からの音声に反応するキャラ電のみ有効となり、送話口からの音声に反応してキャラ電が口を動かします。音声は録音されません。

動画のみ（マイクなし）
：キャラ電のみを撮影します。マイクは無効となります。

4 キャラ電を操作し、撮影したいアクションに切り替える

- 動画撮影画面でもキャラ電表示画面と同様に、キャラクタを動かしたりアクションを切り替えたりできます。→P370 操作4

■ キャラ電を切り替えるとき

①を押す
②フォルダを選択する
③撮影するキャラ電を選択する

5 を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、動画が撮影されます。撮影を開始すると、が に切り替わります。

- 撮影を一時停止するときは を押します。一時停止すると、が に切り替わります。もう一度 を押すと、撮影を開始します。

6 を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した動画がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存されます。→P360

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「動画」フォルダに保存されます。→P380
- 動画の撮影中にファイルサイズが制限値に達すると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存されます。

■ 保存した動画をすぐに確認するとき

①を押す
②確認したい動画を選択する

- 確認後 を2回押すと、動画撮影画面に戻ります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ 動画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき



動画確認画面が表示されます。

- 動画確認画面では次の操作ができます。
  - ：動画の保存
  - ：保存先の切り替え
  - ：取消
  - ：動画の再生
  - ：メール作成

お知らせ

- 撮影中にキーを押したり充電を開始したりすると、操作音が録音される場合があります。
- 送話口からの音声に反応するキャラ電は、送話口からの音声の大きさによっては正しく動作しない場合があります。
- キャラ電やアクションの操作によっては、ファイルサイズに達する前に撮影を終了する場合があります。
- 動画撮影画面の時間表示はサイズ制限に達するまでの目安を示しています。キャラ電やアクションの操作により誤差が生じます。
- 詳細情報の、撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した動画は編集、転送、メール添付ができません。
- 撮影中または一時停止中にFOMA端末を折り畳むと、その時点で撮影が中止されます。動画設定の自動保存を「する」に設定しているときは、中止するまでに撮影した動画が保存されます。
- 撮影中または一時停止中に電話がかかってくると、その時点で撮影が中止されます。動画設定の自動保存の設定に関わらず、中止するまでに撮影した動画が保存されます。
- 動画の撮影中にアラームが起動した場合は、その時点で撮影が中止されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止するまでに撮影された動画が自動で保存されます。
- 撮影中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影は中止されます。自動保存を「する」に設定していると、中止された時点で撮影されたデータが保存され、を押すと撮影画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定していると、を押した後に保存するかどうかの確認画面が表示されます。撮影画面に戻っても電池がないため撮影ができない旨のメッセージが表示され、撮影はできません。
- 撮影中にアラームや電池アラームが鳴り、撮影が中止された場合、保存した動画の最後にアラームや電池アラームなどが録音されることがあります。
- 動画撮影待機中に電話をかけたり受けたりすると、通話終了後は動画撮影に戻りません。音声電話の場合はキャラ電一覧に、テレビ電話の場合は待受画面に戻ります。
- 動画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、キャラ電を撮影できません。表示された確認画面の指示に従って、不要な動画を削除してから撮影してください。
- 電話着信音量調整を「消音」に設定した場合やマナーモード中は、撮影確認音（シャッター音）は鳴りません。

静止画／動画の撮影動作を設定する<静止画設定／動画設定>

お買い上げ時	・静止画設定 画質：スタンダード　撮影確認音：標準　撮影後ファイル制限：なし　自動保存：する 保存先：本体　表示サイズ：拡大 ・動画設定 品質：STD（標準）　サイズ制限：メール添付　撮影確認音：標準　撮影後ファイル制限：なし 自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大

キャラ電の静止画または動画を撮影するときの画質、品質や表示サイズなどを設定します。

〈例〉**静止画設定を変更するとき**

1 **キャラ電の静止画撮影画面で を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

次ページへ続く

3 を押す

設定項目について

○：設定可　×：設定不可

項　目	静止画設定	動画設定	説　明
画質	○	×	保存する静止画ファイルの画質を設定します。画質がよくなるほど静止画のファイルサイズは大きくなります。
品質	×	○	撮影する動画の品質を設定します。品質がよくなるほど、動画のファイルサイズは大きくなります。
サイズ制限	×	○	保存する動画ファイルのサイズ制限値を設定します。撮影中の動画ファイルサイズが制限値に達すると、自動的に撮影を終了します。
撮影確認音	○	○	撮影開始と終了時の撮影確認音（シャッター音）を設定します。 • 撮影確認音（シャッター音）の選択中は音が鳴ります。
撮影後ファイル制限	○	○	メール添付やデータ転送によって他の携帯電話に静止画、動画を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に静止画、動画を送信することを制限するかどうかを設定します。 • ダウンロードしたキャラ電で最初から「あり」に設定されている場合は、「なし」に変更できません。
自動保存	○	○	撮影した静止画や動画を自動で保存するかどうかを設定します。 •「する」に設定すると、設定されている保存先に自動的に保存されます。 •「しない」に設定すると、最後に確認画面が表示され、保存先の切り替えやメール作成などの操作ができます。
保存先	○	○	保存先を設定します。
表示サイズ	○	○	キャラ電を表示領域に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。 • 撮影画面を表示したときから有効になります。

お知らせ

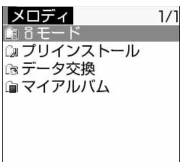
- 動画設定を変更するときは、動画撮影画面で を押し、「動画設定」を選択します。
- 詳細情報の、撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電で撮影した静止画や動画（自端末で、撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）は編集、転送、メール添付ができません。

メロディを再生する

データBOXのメロディに保存されているメロディを再生します。

1 待受画面で 5 3 を押す

2 フォルダを選択する



メロディの各フォルダには次のようなメロディが保存されます。

- **モード**　：サイトやｉモードメールから取得したメロディ
- **プリインストール**　：お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているメロディ
- **データ交換**　：バーコードリーダーで読み取ったメロディやminiSDメモリーカードから移動またはコピーしたメロディ、データ通信で受信したメロディ

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

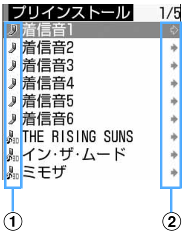
マイアルバム：他のフォルダから移動したメロディ
- アルバムを作成すると表示されます。マイアルバム（アルバム名）は、作成時に任意の名称に変更できます。→P393

■ miniSDメモリーカードのメロディ一覧に切り替えるとき

を押す

- miniSDメモリーカードの操作方法→P388

3 再生するメロディにカーソルを合わせる



メロディ一覧画面では、各メロディの表示名とその詳細を示すマークが表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  ① **取得元**
  ：iモード　　　：iモード＋3Dサウンド対応
  ：データ交換　　：データ交換＋3Dサウンド対応
  ：プリインストール
  ：プリインストール＋3Dサウンド対応
  - 3Dサウンドとは→P119

  ② **ファイル制限**
  （青）　：メール添付、FOMA端末外出力可
  （グレー）：メール添付、FOMA端末外出力不可
- 表示名などの詳細情報を変更できます。

■ メロディをメールに添付するとき

メロディにカーソルを合わせ、 または を押す

- FOMA F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900i以外では、受信したメロディを正しく再生できない場合があります。
- メールに添付できるメロディについて→P255

4 を押してメロディを再生する



メロディ再生画面では、再生しているメロディの表示名と再生位置や音量を示すマークが表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  ① **再生バー**：現在の再生位置を示します。
  ② **再生音量**：現在の音量を示します。
- メロディの再生中は次の操作ができます。
  （サイドキー［▲▼］）：音量調整
  （サイドキー［▲▼］1秒以上）
  　：前後のメロディ再生
  ／　：停止

お知らせ

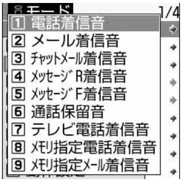
- アルバムに保存されているメロディは、まとめて再生もできます（アルバム再生）。
- 動作設定で、メロディの再生中に着信ランプを点灯させたり、FOMA端末が振動するように設定したりできます。
- 音声電話中またはテレビ電話中は、メロディを再生できません。
- マナーモード中にメロディを再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メロディの動作設定で設定されている音量で再生されます。

メロディを着信音や保留音に設定する

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 設定するメロディにカーソルを合わせ、MENU 2 を押す

3 設定する着信音の種類を選択する



■ 音声電話、メール、チャットメール、メッセージR/F、テレビ電話の着信音または通話保留音に設定するとき

1 ～ 7 を押す

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

①8 または 9 を押す

②メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択する

③内容を確認し、 を押す

- メモリ番号入力については 、「登録内容を修正する」の操作4を参照してください。→P109
- すでに着信音が設定されているときは、選択したメロディに置き換わります。

お知らせ

- メロディ再生画面から操作する場合は、MENU を押して「メロディの利用」を選択します。

動作設定

メロディの動作条件を設定する

お買い上げ時	音量：レベル3　イルミネーションパターン：点滅　イルミネーションカラー：ライム バイブレータ：OFF　再生位置：フルコーラス再生　再生画面背景：標準　ステレオ・3Dサウンド：ON

メロディの再生時の音量やイルミネーションパターンなどの条件を設定します。

1 待受画面で MENU 5 3 を押し、MENU 5 を押す

2 各項目を選択して設定する

音量　：音量を設定します。

イルミネーションパターン
：着信ランプの点灯パターンを設定します。

イルミネーションカラー
：着信ランプの点灯色を設定します。

バイブレータ：振動パターンを設定します。

再生位置　：全体を再生（フルコーラス再生）するか一部分を再生（ポイント再生）するかを設定します。

再生画面背景：背景に表示する画像を設定します。

ステレオ・3Dサウンド
：「ON」に設定すると、広がりや奥行きのある立体音響でメロディを再生します。「OFF」に設定すると、立体音響のないモノラル再生となります。
- 3Dサウンドとは→P119

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ 再生時の背景画像をマイピクチャから選択するとき

①再生画面背景を選択し、を押す

②画像選択を選択する

③フォルダを選択する

④背景に設定する画像を選択する

- 画像にカーソルを合わせてを押すと、画像が表示されます。

3 **を押す**

お知らせ

- メロディ一覧およびメロディ再生画面から操作する場合は、を押して「動作設定」を選択します。
- メロディによっては、イルミネーションパターンやバイブレータを「メロディ連動」に設定しても連動しない場合があります。
- メロディによっては、再生位置を「ポイント再生」に設定しても、ポイント再生しない場合があります。

miniSDメモリーカードについて

FOMA端末では、撮影した静止画や動画、メロディなどのデータをminiSDメモリーカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータをバックアップしたりできます。また、パソコンなどの外部機器で作成した動画をminiSDメモリーカードに保存してFOMA端末で再生したり(→P549)、パソコンからminiSDメモリーカード内のデータを操作したりできます(→P547)。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要です。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないminiSDメモリーカードは、FOMA端末で初期化してから使用してください。なお、初期化を中断したminiSDメモリーカードの動作は保証できません。→P391
- miniSDメモリーカードは、SDメモリーカード規格に準拠したフォーマット（FAT12／FAT16）でお使いください。それ以外のフォーマット（FAT32、NTFSなど）で初期化されたminiSDメモリーカードは、FOMA端末で利用できません。
- miniSDメモリーカード内の静止画は、アイコンや背景画像、待受画面には設定できません。FOMA端末に移動またはコピーしてから設定してください。
- FOMA端末では市販の128MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています（2005年5月現在）。
  最新の対応状況は次の方法でご確認いただけます。
  - ｉモードから［@Fケータイ応援団］（2005年5月現在）
    Menu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→@Fケータイ応援団
    ※ 右のQRコードをバーコードリーダーで読み取ると、「@Fケータイ応援団」のサイトに接続できます。
  - パソコンから
    http://www.fmworld.net/product/phone/

  サイトアクセス用QRコード
- FOMA端末とパソコンを接続するには、FOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルが必要です。

miniSDメモリーカード使用時の留意事項

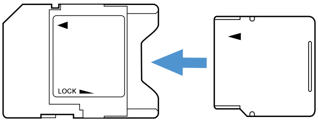
- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、miniSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる場合があります。
- miniSDメモリーカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。miniSDメモリーカードが飛び出す場合があります。
- miniSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着しているminiSDメモリーカードや、変形しているminiSDメモリーカードはFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。

次ページへ続く

• データのコピー中、移動中、削除中やminiSDメモリーカードの初期化中、情報更新中は画面上部に 🔄 が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、TASK を押して他の機能に切り替えることもできません。
• オールロック中、PIMロック中はminiSDメモリーカードを使用できません。
• パソコンなど他の機器で書き込み保護されたminiSDメモリーカードは、データの保存、削除、初期化などができません。
• パソコンなど他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
• ご利用になるminiSDメモリーカードによっては、保存した動画に乱れが発生する場合があります。
• miniSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

SDメモリーカード対応機器で使用するには

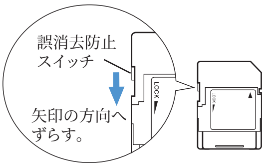
miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタを組み合わせると、miniSDメモリーカードをSDメモリーカード対応機器で使用できます。



miniSDメモリーカードをminiSDメモリーカードアダプタの奥まで差し込みます。
• 取り外すときは反対の方向に引き出します。

■ 誤消去を防ぐには

miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタを組み合わせて使用する場合は、miniSDメモリーカードアダプタに付いている誤消去防止スイッチを使用することにより誤消去を防げます。



誤消去防止スイッチを「LOCK」の方向にスライドします。
• 先の細いものでスライドさせてください。
• miniSDメモリーカードを傷つけないように注意してください。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

■ FOMA端末で表示したとき

miniSDメモリーカードのフォルダ構成は次のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

項目名		保存されるデータ	最大保存件数※2
マルチメディア	マイピクチャ	カメラで撮影した静止画、DCF※1規格のJPEG、GIF	9999件
	その他の画像	DCF※1規格外のJPEG、アニメーションGIF	9999件
	動画	カメラで撮影した動画／ｉモーション	4095件
	メロディ	メロディ	9999件
PIM	電話帳	電話帳データ、電話帳のバックアップデータ	合計9999件
	スケジュール	スケジュールデータ、スケジュールのバックアップデータ	
	受信メール	受信メールデータ、受信メールのバックアップデータ	
	未送信メール	未送信メールデータ、未送信メールのバックアップデータ	
	送信メール	送信メールデータ、送信メールのバックアップデータ	
	メモ	メモデータ、メモのバックアップデータ	
	Bookmark	ブックマークデータ、ブックマークのバックアップデータ	
マイドキュメント		PDFデータ	999件

※1：DCFはDesign rule for Camera File systemの略でファイルシステムの規格です。
※2：miniSDメモリーカードの容量に関係なく、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存できるデータ件数です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

お知らせ

- 横縦（または縦横）のサイズが1224×1632より大きい静止画をminiSDメモリーカードに保存しても、FOMA端末では表示できません。
- F901iSでminiSDメモリーカードに保存したメロディは、F2102Vでは再生できません。
- F901iSでminiSDメモリーカードに保存した大きなサイズの画像、動画／ｉモーション、メロディは、データサイズの制限の違いにより、F900iC、F900iT 、F900i、F2102Vで再生できない場合があります。

■ パソコンなどに挿入して表示したとき

FOMA端末からminiSDメモリーカードにデータを移動またはコピーしたときや､カメラで撮影した静止画や動画を直接miniSDメモリーカードに保存をしたときなどは、そのファイルに対応したフォルダが miniSDメモリーカードに自動的に作成されます。

パソコンなどを使うとminiSDメモリーカードの内容を表示できます。miniSDメモリーカードのフォルダとファイルの構成は次のようになっています。

パソコンなどからminiSDメモリーカードにデータを保存するときは、次のファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。保存先フォルダを間違えたり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。

```
miniSDメモリーカード
├─DCIM（撮影画像、静止画［ファイル形式：JPEG<DCF規格>、GIF］）
│ └─xxxF901I ----------------------------- yyyyxxxx.JPG
│                                       └-- yyyyxxxx.GIF
├─SD_VIDEO（動画／ｉモーション［音楽データ含む］）
│ └─PRLzzz ------------------------------- MOLzzz.3GP※1
│                                       ├-- MOLzzz.MP4※1
│                                       └-- MOLzzz.ASF
├─PRIVATE
│ └─DOCOMO
│   ├─STILL（アニメーション GIF、静止画［ファイル形式：JPEG<DCF※1規格外>］）
│   │ ├------------------------------------ STILxxxx.JPG
│   │ ├------------------------------------ STILxxxx.GIF
│   │ └─SUDxxx ---------------------------- STILxxxx.JPG
│   │                                   └-- STILxxxx.GIF
│   ├─RINGER（メロディ［ファイル形式：MFI、SMF］）
│   │ ├------------------------------------ RINGxxxx.MLD
│   │ ├------------------------------------ RINGxxxx.MID
│   │ ├------------------------------------ RINGxxxx.SMF
│   │ └─RUDxxx ---------------------------- RINGxxxx.MLD
│   │                                   ├-- RINGxxxx.MID
│   │                                   └-- RINGxxxx.SMF
│   ├─Document（PDFデータ）
│   │ └─PUDxxx ---------------------------- PDFDCxxx.PDF※2
│   │     ├-------------------------------- PDFDCxxx.$DF※3
│   │     ├-------------------------------- PDFDCxxx.DDF※4
│   │     └-------------------------------- PDFDCxxx.JPG※5
│   └─TABLE※6
│     ├─RINGER
│     ├─STILL
│     ├─DCIM
│     ├─SD_VIDEO
│     └─Document
└─SD_PIM（電話帳、スケジュール、受信メール、未送信メール、送信メール、メモ、ブックマーク）
    ├-------------------------------------- PIMxxxxx.VCF
    ├-------------------------------------- PIMxxxxx.VCS
    ├-------------------------------------- PIMxxxxx.VMG
    ├-------------------------------------- PIMxxxxx.VNT
    └-------------------------------------- PIMxxxxx.VBM
```

※1：拡張子が「3GP」「MP4」のファイルは、MP4形式として扱われます。
※2：拡張子を含めて半角64文字までのロングファイルネーム形式にも対応しています。
※3：ダウンロードに失敗したPDFデータです。残りのデータをダウンロードして保存すると、ファイル名が「PDFDCxxx.PDF」に変更されます。
※4：PDFデータのしおり情報やマーク情報などを管理するファイルです。ファイル名は対応するPDFデータと同じです。
※5：PDFデータをサムネイル表示するファイルです。ファイル名は対応するPDFデータと同じです。
※6：データを管理するフォルダです。このフォルダにあるファイルは、削除したりファイル名を変えたりしないでください。FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。

- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角です。
  - 「xxxF901I」のxxxは100～999
  - 「yyyyxxxx」のyyyyは任意の半角英数字、xxxxは0001～9999
  - 「SUDxxx」「RUDxxx」「PUDxxx」「PDFDCxxx」のxxxは001～999
  - 「STILxxxx」「RINGxxxx」のxxxxは0001～9999
  - 「PRLzzz」「MOLzzz」のzzzは001～FFFまでの16進数（16進数では1つの桁を0～9とA～Fの16種類の文字で表します）
  - 「PIMxxxxx」のxxxxxは00001～65535

お知らせ

- パソコンなどでminiSDメモリーカードにコピーしたデータをFOMA端末で利用するには、FOMA端末でminiSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。
- パソコンなどでminiSDメモリーカード内のフォルダ名を変更したり削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。
- パソコンなどでminiSDメモリーカードに保存したデータをF2102Vで再生できても、F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900iでは再生できない場合があります。
- F900iCでminiSDメモリーカードに保存した電話帳をF901iSで利用するには、F901iSでminiSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。

■ miniSDメモリーカードで利用できるマルチメディアデータ、マイドキュメントデータ

ファイル形式＼操作		miniSDメモリーカードへコピー／移動	FOMA端末へコピー／移動	メール添付※1	内容表示
JPEG形式の静止画	ファイルサイズ	無制限	500Kバイト	500Kバイト	1.5Mバイト
	画像サイズ	無制限	1224×1632	無制限	1224×1632
GIF形式の静止画	ファイルサイズ	無制限	500Kバイト	10000バイト	1.5Mバイト
	画像サイズ	無制限	480×640	無制限	480×640
MP4、3GP形式の動画／iモーション	ファイルサイズ	無制限	500Kバイト	500Kバイト	無制限
	画像サイズ	無制限	無制限	176×144、128×96	48×48～320×240※2
ASF形式の動画／iモーション	ファイルサイズ	不可	不可	不可	無制限
	画像サイズ	不可	不可	不可	176×144、320×240
MLD形式のメロディ	ファイルサイズ	無制限	100Kバイト	不可	100Kバイト
MID、SMF形式のメロディ	ファイルサイズ	無制限	100Kバイト	10000バイト	100Kバイト
PDF形式のドキュメント	ファイルサイズ	無制限	2Mバイト	不可	無制限

※1：メール添付の詳細については、「ファイルを添付する」を参照してください。→P255
※2：再生可能な画像サイズより大きい動画／iモーションでも、再生可能な音声形式であったり、表示可能なテロップがデータ内に存在する場合は、音声やテロップの再生を行います。

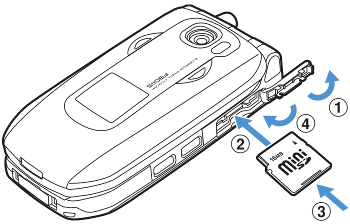
＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

miniSDメモリーカードは、FOMA端末のminiSDメモリーカードスロットに取り付けて使用します。

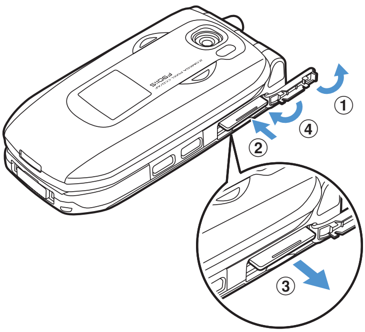
- miniSDメモリーカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- miniSDメモリーカードスロットには、miniSDメモリーカード以外は挿入しないでください。
- miniSDメモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- miniSDメモリーカードは正しく取り付けてください。miniSDメモリーカードを正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- miniSDメモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、miniSDメモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着しているminiSDメモリーカードや、変形しているminiSDメモリーカードはFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。

miniSDメモリーカードの取り付けかた



①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く
②印字面を上にして、miniSDメモリーカードをスロットにゆっくり差し込む
③「カチッ」と音がするまで、さらにminiSDメモリーカードを差し込む
④miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

miniSDメモリーカードの取り外しかた



①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く
②miniSDメモリーカードを軽く押し込み、手を放す
miniSDメモリーカードが少し飛び出します。
③miniSDメモリーカードをゆっくりと取り出す
まっすぐに取り出してください。
④miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータをやりとりする

FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータをコピーまたは移動したり、FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにバックアップしたりします。
やりとりできるデータの種類と操作内容は次のとおりです。

データの種類		操作内容
マルチメディアデータ	静止画	1件コピー、複数コピー、全件コピー、1件移動、複数移動、全件移動
	動画／ｉモーション	
	メロディ	
PIMデータ	電話帳	1件コピー、バックアップ、復元
	スケジュール	
	メール（受信、未送信、送信）	
	ブックマーク	
	メモ	バックアップ、復元
マイドキュメントデータ	PDFデータ	1件コピー、複数コピー、全件コピー、1件移動、複数移動、全件移動

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

miniSDメモリーカードの保存容量を確認する

miniSDカード画面に、miniSDメモリーカードの最大保存容量や空き容量などが表示されます。miniSDメモリーカードの空き容量を確認してから、データのコピーやバックアップなどを行ってください。

1 待受画面で MENU 6 6 を押す



使用状況：全容量に対する使用領域の割合をバーで示します。
使用領域：現在使用している容量を数値で示します。
空き領域：現在の空き容量を数値で示します。
全容量：FOMA端末に取り付けているminiSDメモリーカードの全容量を数値で示します。

お知らせ

- データが1件も保存されていない状態でも使用領域が「0KB」にならない場合は、miniSDメモリーカードを初期化してください。
- 実際に使用できるminiSDメモリーカードの容量は、miniSDメモリーカードに記載されている容量よりも少なくなります。
- miniSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、別のminiSDメモリーカードを取り付けてからデータを保存してください。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピー／移動する

- 連写画像、パラパラマンガ、FOMA端末外への出力が禁止されているデータはコピーまたは移動できません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ変換」フォルダ内のデータは除きます。
- PIMデータの移動はできません。
- 電話帳に登録されている動画はコピーされません。
- スケジュールに登録されているメンバーリストやイメージ（静止画）はコピーされません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

〈例〉静止画をminiSDメモリーカードへコピー／移動するとき

1 **待受画面で MENU 5 1 を押し、コピーまたは移動する静止画が保存されているフォルダを選択する**

2 **コピーまたは移動する静止画にカーソルを合わせ、MENU 5 を押し、4 または 5 を押す**

3 **1 ～ 3 を押す**

■ 複数コピー／複数移動のとき

① **コピーまたは移動する静止画を選択する**

- ［●］で選択☑と解除□が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。

② ［✉］**を押す**

4 **「はい」を選択する**

選択した静止画、またはフォルダ内に保存されているすべての静止画が、miniSDメモリーカードにコピーまたは移動されます。

- コピーまたは移動を中止するときは［●］を押します。

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、マイドキュメント一覧から操作する場合は、MENU を押して「移動／コピー」→「miniSDカードへ移動」または「miniSDカードへコピー」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」「1件コピー」「複数コピー」「全件コピー」を選択します。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータは、miniSDメモリーカードに移動／コピーができません。
- 電話帳一覧から操作する場合は、MENU を押して「赤外線／外部メモリ」→「miniSDへコピー」または「miniSDへバックアップ」を選択します。
- スケジュールのデイリービュー画面から操作する場合は、MENU を押して「赤外線／miniSD」→「miniSDへコピー」または「miniSDへバックアップ」を選択します。
- 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧から操作する場合は、MENU を押して「移動／コピー」→「miniSDカードへコピー」→「1件コピー」または「バックアップ」を選択します。
- メールの添付データ（動画／ｉモーションは除く）が、本文を含めて10000バイトより大きい場合は、メール本文だけがminiSDメモリーカードに移動／コピーされます。
- 送信メールや未送信メールに添付されている動画／ｉモーションは、miniSDメモリーカードに移動／コピーされません。
- ブックマーク一覧から操作する場合は、MENU を押して「移動／コピー」→「miniSDカードへコピー」→「1件コピー」または「バックアップ」を選択します。
- FOMA端末内のデータをminiSDメモリーカードへコピー／移動すると、「マイピクチャ」「ｉモーション」「メロディ」フォルダ内のデータの場合は、ファイル名が自動的に管理用の名称に変更されます。「マイドキュメント」フォルダ内のデータの場合は、データによってはファイル名が管理用の名称に変更されることがあります。→P381
- 静止画をFOMA端末本体からminiSDメモリーカードに移動またはコピーすると、データサイズが大きくなる場合があります。ただし、静止画をminiSDメモリーカードからFOMA端末に移動またはコピーした場合は、データサイズは変わりません。
- FOMA端末の電話帳データをminiSDメモリーカードにコピー、バックアップした場合の静止画は、miniSDメモリーカードにコピー、バックアップされますが、表示はできません。ただし、本体にその電話帳データを戻すと、静止画は表示されます。
- 待受画面や着信音などに設定されているデータをminiSDメモリーカードに移動すると、待受画面や着信音などはお買い上げ時の設定に戻ります。

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピー／移動する

- 最大保存件数→P573

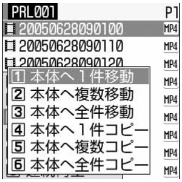
マルチメディアデータをFOMA端末にコピー／移動する

1 **待受画面で MENU 6 6 1 を押す**

2 [1]～[4]を押し、コピーまたは移動するデータが保存されているフォルダを選択する

3 コピーまたは移動するデータにカーソルを合わせ、[MENU][3]を押す

4 [1]～[6]を押す



■ 複数コピー／複数移動するとき

① [2]または[5]を押し、コピーまたは移動するデータを選択する

- 表示しているページの最大9件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。
- [ ]で選択☑と解除□が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

② [メール]を押す

5 「はい」を選択する

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがマイピクチャ、iモーション、メロディ内の各「データ交換」フォルダにコピーまたは移動されます。

- コピーまたは移動を中止するときは[ ]を押します。

> **お知らせ**
>
> - マルチメディア内のデータを検索したときの一覧画面では、全件移動または全件コピーはできません。

PIMデータをFOMA端末にコピーする

- バックアップデータ（[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]が付いているデータ）はFOMA端末に復元することでコピーできますが（→P387）、バックアップデータ自体はFOMA端末にコピーできません。

1 待受画面で[MENU][6][6][2]を押す

2 [1]～[7]を押す

3 コピーするデータにカーソルを合わせて[MENU][1][1]を押し、「はい」を選択する

選択したデータがFOMA端末へコピーされます。

マイドキュメントデータをFOMA端末にコピー／移動する

1 待受画面で[MENU][6][6][3]を押す

2 コピーまたは移動するデータが保存されているフォルダを選択する

3 コピーまたは移動するデータにカーソルを合わせ、[MENU][2]を押す

4 [1]～[6]を押す

■ 複数コピー／複数移動するとき

① コピーまたは移動するデータを選択する

- [ ]で選択☑と解除□が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

② を押す

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがマイドキュメント内の「データ交換」フォルダにコピーまたは移動されます。

5 「はい」を選択する

お知らせ

- マイドキュメント内のデータを検索したときの一覧画面では、全件移動または全件コピーはできません。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにバックアップする

FOMA端末の各PIMデータを、一括してminiSDメモリーカードにバックアップします。

1 待受画面で   を押す

2 〜 を押す

3   を押す

4 認証操作を行い、「はい」を選択する

選択したPIMデータが1つにまとめられてminiSDメモリーカードにバックアップされます。

- バックアップを中止するときは を押します。中止すると、途中までバックアップしたデータは破棄されます。

miniSDメモリーカードのバックアップデータを復元する

miniSDメモリーカードにバックアップされている各PIMデータを、FOMA端末に復元します。

- 復元の方法には追加復元と上書き復元があります。上書き復元の場合、FOMA端末の各PIMデータは上書きされ、元のデータは消去されますのでご注意ください。

1 待受画面で   を押す

2 〜 を押す

3 バックアップデータにカーソルを合わせて を押し、 または を押す

追加復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータとは別のデータとして保存されます。上書き復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータを上書きします。

- バックアップデータのマークの意味は次のとおりです。
  - ：電話帳
  - ：スケジュール
  - ：受信メール、未送信メール、送信メール
  - ：メモ
  - ：ブックマーク

4 認証操作を行い、「はい」を選択する

- 復元を中止するときは を押します。中止する前に処理されたバックアップデータはFOMA端末に復元されます。

miniSDメモリーカード内のデータを表示する

- パソコンなどでminiSDメモリーカード内のデータを変更したり削除したりすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。その場合は、miniSDメモリーカードの情報を更新してください。

マルチメディアデータを表示する

1 **待受画面で MENU 6 6 1 を押す**

2 **1 〜 4 を押す**

3 **フォルダを選択する**

■ FOMA端末のフォルダ一覧に切り替えるとき

を押す

- 「マイピクチャ」「その他の画像」内のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のマイピクチャ内のフォルダ一覧画面に切り替わります。
- 動画内のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のｉモーション内のフォルダ一覧画面に切り替わります。
- メロディ内のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のメロディ内のフォルダ一覧画面に切り替わります。

4 **確認するデータにカーソルを合わせる**

- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります（メロディデータを除く）。

■ データをメールに添付するとき

送信するデータにカーソルを合わせ、 または MENU 1 を押す

■ データの詳細情報を表示するとき

詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせ、 MENU 2 を押す

■ データを1件削除するとき

①削除するデータにカーソルを合わせ、 MENU 4 1 を押す

②「はい」を選択する

■ データを複数削除するとき

① MENU 4 2 を押す

②削除するデータを選択する

- 表示しているページの最大9件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。
- で選択☑と解除☐が切り替わり、 MENU で全選択または全解除できます。

③ を押し、「はい」を選択する

■ データを全件削除するとき

① MENU 4 3 を押す

②認証操作を行い、「はい」を選択する

■ 指定したページにジャンプするとき

① を押す

②ジャンプするページ数を入力する

- ページ数を入力しないときは1ページ目が表示されます。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ miniSD メモリーカード内のデータを検索するとき

①[MENU][5]を押す

②日時を入力し、[i]を押す

• 検索を中止するときは[●]を押します。

③表示するデータを選択する

■ 動画を連続再生するとき（動画データのみ）

[MENU][6]を押す

• 連続再生中は次の操作ができます。

[▲]／[▼]（サイドキー［▲▼］１秒以上）：前後の動画再生

[●]：一時停止／再生

[▲][▼]（サイドキー［▲▼］）：音量調整

[i]：連続再生停止

連続再生中にFOMA 端末を折り畳むと再生中の動画／ｉモーションのタイトルが背面ディスプレイに表示され、再生は継続されます。

5 [●]を押してデータを確認する

• 静止画表示中の操作について→P349 操作4
• 動画再生中の操作について→P361 操作4
• メロディ再生中の操作について→P377 操作4

■「マイピクチャ」「その他の画像」フォルダ内の画像のファイル名を非表示に切り替えるとき

[i]を押す

• [i]を押すたびに非表示と表示が切り替わります。

お知らせ

• マナーモード中にメロディや音声のある動画／ｉモーションを再生しようとすると、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メロディやｉモーションの動作設定で設定されている音量で再生されます。

PIM データを表示する

1 待受画面で[MENU][6][6][2]を押す

2 [1]～[7]を押す

3 確認するデータにカーソルを合わせる

■ データを１件削除するとき

①削除するデータにカーソルを合わせ、[MENU][2][1]を押す

②「はい」を選択する

■ データを複数削除するとき

①[MENU][2][2]を押す

②削除するデータを選択する

• 表示しているページの最大９件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。
• [●]で選択☑と解除□が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

③[i]を押し、「はい」を選択する

■ データを全件削除するとき

①[MENU][2][3]を押す

②認証操作を行い、「はい」を選択する

■ 指定したページにジャンプするとき

① を押す

②ジャンプするページ数を入力する

- ページ数を入力しないときは１ページ目が表示されます。

■ miniSDメモリーカード内のデータを検索するとき

① を押す

②日時を入力し、 を押す

- 検索を中止するときは を押します。

③表示するデータを選択する

4 を押してデータを確認する

- 詳細画面については、それぞれのPIMデータのページを参照してください。
  - 電話帳→P107 - スケジュール→P437
  - メール→P275 - ブックマーク→P211
- １件のPIMデータを選択したときは、選択したデータの詳細が表示されます。
- バックアップデータを選択したときは、バックアップデータに含まれているすべてのデータがタイトルで一覧表示されます。 を押すと一覧画面に戻ります。

お知らせ

- miniSDメモリーカードに保存されている電話帳やスケジュールの詳細画面から、電話をかけたりメールを送信したりできません。また、メールの詳細画面から返信、転送、編集、保護はできません。
- miniSDメモリーカードに保存されているスケジュールは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。
- メールの詳細画面で、メールアドレスにカーソルを合わせ、   を押すと電話帳に新規登録、   を押すと電話帳に更新登録できます。また、添付されている画像やメロディにカーソルを合わせ、   を押すと表示または再生、   を押すとタイトルを確認できます。
  ただし、10000バイトより大きい静止画やｉモーションの表示、件数表示などはできません。
- F900iCでminiSDメモリーカードに保存した電話帳をF901iSで利用するには、F901iSでminiSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。
- FOMA 端末の電話帳データを miniSD メモリーカードにコピー、バックアップした場合の静止画は、miniSDメモリーカードにコピー、バックアップされますが、表示はできません。ただし、本体にその電話帳データを戻すと、静止画は表示されます。

マイドキュメントデータを表示する

1 待受画面で   を押す

2 フォルダを選択する

■ FOMA端末のフォルダ一覧に切り替えるとき

 を押す

3 確認するデータにカーソルを合わせる

- を押すたびに９枚のサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

■ データの詳細情報を表示するとき

詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせ、 を押す

■ データを１件削除するとき

①削除するデータにカーソルを合わせ、   を押す

②「はい」を選択する

データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ データを複数削除するとき

①MENU 3 2 を押す

②削除するデータを選択する

• ●で選択☑と解除□が切り替わり、MENUで全選択または全解除できます。

③「はい」を選択する

■ データを全件削除するとき

①MENU 3 3 を押す

②認証操作を行い、「はい」を選択する

■ 指定したページにジャンプするとき

①📖を押す

②ジャンプするページ数を入力する

• ページ数を入力しないときは1ページ目が表示されます。

■ miniSDメモリーカード内のデータを検索するとき

①MENU 4 を押す

②日時を入力し、📖を押す

• 検索を中止するときは●を押します。

③表示するデータを選択する

4 ●を押してデータを確認する

• PDFデータ表示中の操作について→P413

miniSDメモリーカードを管理する

miniSDメモリーカードをFOMA端末で正しく使用できるように、miniSDメモリーカードを初期化したり、情報更新したりします。

miniSDメモリーカードを初期化する<初期化>

miniSDメモリーカードに保存してあるデータをすべて削除するときや、新たに購入したminiSDメモリーカードをFOMA端末で使用するときに初期化します。

1 待受画面でMENU 6 6 を押し、📖を押す

2 初期化の方法を選択する

簡易初期化：miniSDメモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。miniSDメモリーカードが一度初期化済みで、miniSDメモリーカードに問題がない場合のみ実行してください。

完全初期化：miniSDメモリーカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。新しく購入したminiSDメモリーカードを初期化するときなどに実行してください。

3 認証操作を行い、「はい」を選択する

初期化が始まります。

• 初期化を中断するときは●を押します。

miniSDメモリーカードの情報を更新する<情報更新>

他の機器でminiSDメモリーカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、miniSDメモリーカードの情報を更新します。データの種類ごとに情報を更新するかどうかを設定できます。

- 情報更新を行うとデータの表示名が次のように変更されます。
  - 「マイピクチャ」と「その他の画像」内のデータの場合は、ファイル名と同じ名称に変更されます。
  - 「メロディ」「動画」「マイドキュメント」内のデータの場合は、タイトル名と同じ名称に変更されます。ただし、タイトル名が存在しないときはファイル名と同じ名称に変更されます。

1 **待受画面で 6 6 を押し、 を押す**

2 **情報を更新する項目を選択する**



- で選択☑と解除☐が切り替わり、 で全選択または全解除できます。

3 **を押し、「はい」を選択する**

選択した項目の情報が更新されます。

- 情報更新を中断するときは を押します。

お知らせ

- miniSDメモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
- 他の機器でminiSDメモリーカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するための必要な空き容量が不足し、miniSDメモリーカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

miniSD メモリーカードをチェックする<カードチェック>

miniSDメモリーカードに保存されているデータをチェックして、問題があれば修復します。

1 **待受画面で 6 6 を押し、 を押す**

2 **「はい」を選択する**

お知らせ

- miniSDメモリーカードの状態によっては、データを修復できない場合があります。

アルバムを利用する

アルバムを作成してデータを整理したり、アルバムのデータをまとめて再生したりします。

- キャラ電、マイドキュメントではアルバムを「フォルダ」と表記しています。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更や削除ができません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

アルバムを作成する

データの種類ごとにアルバムを作成します。
- アルバムはマイピクチャで最大100個、ｉモーション、メロディ、キャラ電、マイドキュメントでそれぞれ最大10個作成できます。
- お買い上げ時は、アルバムはありません。

〈例〉マイピクチャのアルバムを作成するとき

1 **待受画面で MENU 5 1 を押す**

2 **MENU 1 を押す**

■ アルバム名を変更するとき

変更するアルバムにカーソルを合わせ、MENU 2 を押す

■ アルバムを削除するとき

①削除するアルバムにカーソルを合わせ、MENU 3 を押す
- 削除するアルバムにデータが保存されているときは、認証操作を行います。

②「はい」を選択する

3 **アルバム名を入力し、 を押す**
- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

お知らせ

- ｉモーション、メロディのアルバム一覧から操作する場合は、MENU を押して「アルバム作成」を選択します。
- キャラ電、マイドキュメントのフォルダ一覧から操作する場合は、MENU を押して「フォルダ作成」を選択します。
- すでに作成されているアルバムと同じ名前のアルバムも作成できます。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータが保存されているアルバムを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータが削除されたときは、着信音設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。

データをアルバムに移動／コピーする

データをアルバムに移動する

固定フォルダのデータをアルバムに移動させたり、アルバム間でデータを移動したりします。
- マイピクチャ内の「デコメールピクチャ」フォルダと他のフォルダ間でデータを移動させることもできます。
- 「プリインストール」フォルダに保存されているデータは移動できません。

〈例〉マイピクチャのデータを移動するとき

1 **待受画面で MENU 5 1 を押し、フォルダを選択する**

2 **移動するデータにカーソルを合わせ、MENU 5 1 1 を押す**

次ページへ続く

■ データを複数移動するとき

①MENU 5 1 2 を押す

②移動するデータを選択する

- ● で選択☑と解除☐が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。
- 表示切替キーを押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

③確定キーを押す

■ フォルダ内のすべてのデータを移動するとき

MENU 5 1 3 を押す

3 移動先のアルバムを選択し、「はい」を選択する

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、MENU を押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- 画像表示画面から操作する場合は、MENU を押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、MENU を押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電一覧から操作する場合は、MENU を押し「移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電表示画面から操作する場合は、MENU を押し「移動」を選択します。
- PDFデータ一覧から操作する場合は、MENU を押し「移動／コピー」→「フォルダへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。

アルバムのデータを元の固定フォルダに戻す

〈例〉マイピクチャのアルバムのデータを元の固定フォルダに戻すとき

1 待受画面で MENU 5 1 を押し、アルバムを選択する

2 元に戻すデータにカーソルを合わせ、MENU 5 2 1 を押す

■ データを複数戻すとき

①MENU 5 2 2 を押す

②元に戻すデータを選択する

- ● で選択☑と解除☐が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。
- 表示切替キーを押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

③確定キーを押す

■ アルバム内のすべてのデータを戻すとき

MENU 5 2 3 を押す

3 「はい」を選択する

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧から操作する場合は、MENU を押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「複数戻す」「全件戻す」を選択します。
- 画像表示画面から操作する場合は、MENU を押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、MENU を押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「全件戻す」を選択します。
- 「デコメールピクチャ」フォルダで元の固定フォルダに戻す操作をすると、お買い上げ時に登録されている画像は「iモード」フォルダに移動します。
- キャラ電はフォルダへ戻す操作はできません。

データをコピーする

次のデータはコピーできません。

- マイピクチャのパラパラマンガ、連写画像、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
- 再生制限が設定されているｉモーション
- メロディ
- ファイル制限「あり」のデータ
- キャラ電のキャラクタ

〈例〉マイピクチャのデータをコピーするとき

1 待受画面で[MENU][5][1]を押し、フォルダを選択する

2 コピーするデータにカーソルを合わせ、[MENU][5][3]を押す

コピーしたデータはコピー元のデータと同じフォルダ内に保存されます。

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、PDFデータ一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「移動／コピー」→「コピー」を選択します。
- アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

アルバム再生する

指定したアルバム内の動画／ｉモーション、メロディのデータをまとめて再生できます。

- 作成したアルバムのみアルバム再生できます。

1 待受画面で[MENU][5][2]（ｉモーション）または[MENU][5][3]（メロディ）を押す

2 再生するアルバムにカーソルを合わせ、[MENU][4]を押す

アルバム内の動画／ｉモーション、メロディが順番に再生されます。



動画／ｉモーションの
アルバム再生画面



メロディのアルバム
再生画面

アルバム再生画面では、再生位置や音量を示すマークが表示されます。

- マークの意味→P361、P377

データ表示／編集／管理

次ページへ続く

■ 動画／ｉモーションのアルバムを再生するとき

- 次の操作ができます。
  - （中央キー）：一時停止／再生
  - ／（サイドキー［▲▼］1秒以上）：前後のデータ再生
  - （サイドキー［▲▼］）：音量調整
  - ：停止
- アルバム再生中にFOMA端末を折り畳むと、再生中の動画／ｉモーションのタイトルが背面ディスプレイに表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは次の操作ができます。
  サイドキー［▲▼］1秒以上：前後のデータ再生
  サイドキー［▲▼］：音量調整
- 動作設定のアルバムリピート再生を「ON」に設定している場合は、が表示され、アルバムが繰り返し再生されます。

■ メロディのアルバムを再生するとき

- 次の操作ができます。
  - （サイドキー［▲▼］1秒以上）：前後のメロディ再生
  - （サイドキー［▲▼］）：音量調整
  - ／：停止
- アルバム再生中にFOMA端末を折り畳んでも再生を継続します。FOMA端末を折り畳んでいるときは次の操作ができます。
  サイドキー［▲▼］1秒以上：前後のメロディ再生
  サイドキー［▲▼］：音量調整

お知らせ

- マナーモード中にアルバム再生しようとすると、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションはｉモーションの動作設定で、メロディはメロディの動作設定で設定されている音量で再生されます。
- 再生制限が設定されているｉモーションは再生されません。

詳細情報参照／変更

データの詳細情報を確認／変更する

表示名やファイルサイズなど、データの詳細情報を確認します。また、一部の情報は変更できます。

データの詳細情報を確認する＜詳細情報参照＞

〈例〉画像の詳細情報を表示するとき

1 **待受画面で MENU 5 1 を押し、フォルダを選択する**

2 **詳細情報を確認する画像にカーソルを合わせ、MENU 3 1 を押す**

- Flash画像の場合、ファイル種別は「---」と表示されます。
- Flash画像の場合、表示サイズは表示されません。
- を押すと、詳細情報の一部を変更できます。
- 詳細情報については、「表示項目と変更可否一覧」を参照してください。→P398

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

お知らせ

- 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧画面、キャラ電表示画面、メロディ再生画面、PDFデータ一覧画面から操作する場合は、[MENU]を押して「詳細情報」→「参照」を選択します。
- キャラ電撮影画面から操作する場合は、[MENU]を押して「詳細情報参照」を選択します。
- miniSDメモリーカードに保存されているデータの詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なる場合があります。
- ファイル制限に関わらず、自端末で撮影した静止画や動画、およびデータ転送やminiSDメモリーカードから取得した静止画、動画／ｉモーション、メロディは、メールに添付したり、データ転送ができます。
- 自端末で撮影種別を「画像＋音声」または「音声のみ」で撮影した動画や、その動画から切り出した動画は、着信音設定が必ず「可」になります。ただし、表示サイズが320×240の動画は「不可」になります。

データの詳細情報を変更する＜詳細情報変更＞

〈例〉画像の詳細情報を変更するとき

1 **待受画面で[MENU][5][1]を押し、フォルダを選択する**

2 **詳細情報を変更する画像にカーソルを合わせ、[MENU][3][2]を押す**

3 **各項目を選択して設定する**

- 詳細情報については、「表示項目と変更可否一覧」を参照してください。→P398

4 **[メール]を押す**

お知らせ

- 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧画面、キャラ電表示画面、メロディ再生画面、PDFデータ一覧画面から操作する場合は、[MENU]を押して「詳細情報」→「変更」を選択します。

表示項目と変更可否一覧

詳細情報の表示項目の内容と変更の可否は次のとおりです。
- お買い上げ時に登録されているデータの種類やコンテンツによっては、表中で「変更可」となっている場合でも変更できない場合があります。

●：表示および変更可　○：表示のみ　－：表示されない

表示項目	画　像	動画／iモーション	キャラ電	メロディ	PDFデータ	内　容
表示名	●	●	●	●	●	FOMA端末で表示するタイトル • 変更する場合、メロディ以外では全角・半角を問わず最大36文字、メロディでは全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。
タイトル	－	○	○	○	－	データにあらかじめ設定されていたオリジナルタイトル
ファイル名	●	●	○	●	○	データをメールに添付したときに表示されるファイル名 • 変更する場合、半角英数字、「.」、「-」、「_」で、最大36文字入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に入力できません。
作成者	－	●	－	－	－	作成者の名前など • 自端末で撮影した動画では、自局番号に登録した名前が表示されます。自局番号に名前が登録されていない場合は設定されません。 • 変更する場合、全角・半角を問わず最大256文字入力できます。
コピーライト	－	●	－	－	－	著作者名や著作物の公表年月日など • 変更する場合、全角・半角を問わず最大256文字入力できます。
種類	○	－	－	－	－	画像の種類
ファイル制限	●	●	○	●	○	メール添付によって他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかしないか • サイトなどからダウンロードしたiモーション、メロディでは変更できません。
撮影後ファイル制限	－	－	○	－	－	キャラ電を撮影した静止画や動画にファイル制限が設定されるかどうか
説明	－	●	－	－	－	動画／iモーションの説明 • 変更する場合、全角・半角を問わず最大256文字入力できます。
ファイル種別	○	○	－	○	○	ファイルの種別（Flash画像では「---」）
音	－	○	－	－	－	音声データの種別
表示サイズ	○	○	○	－	－	データの表示サイズ（Flash画像では表示されません）

表示項目	画　像	動画／iモーション	キャラ電	メロディ	PDFデータ	内　容
ファイルサイズ	○	○	○	○	○	データのファイルサイズ
再生時間	－	○	－	○	－	データの再生時間
保存日時	○	○	○	○	○	データを保存した日時
フレーム候補	●	－	－	－	－	画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうか • サイズが352×288より大きい画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。 •「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。
スタンプ候補	●	－	－	－	－	画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうか • サイズが240×320以上の画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。 •「する」に設定した場合、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。
コメント	●	－	●	－	－	データの説明など • 変更する場合、全角・半角を問わず最大100文字入力できます。
着信音設定	－	○	－	－	－	動画／iモーションを着信音に設定できるかどうか
着信画面設定	－	○	－	－	－	動画／iモーションを着信画像に設定できるかどうか
再生制限	－	○	－	－	－	動画／iモーションの再生制限
取得元	○	○	○	○	○	データの取得元
故障時退避可否	○	－	－	○	○	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうか※

※：万一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

データを削除する

固定フォルダやアルバムに保存されているデータを削除します。

•「プリインストール」フォルダに保存されているデータは削除できません。

〈例〉マイピクチャのデータを削除するとき

1 **待受画面で MENU 5 1 を押し、フォルダを選択する**

2 削除するデータにカーソルを合わせ、MENU 6 1 を押す

■ データを複数削除するとき

① MENU 6 2 を押す
② 削除するデータを選択する
- ○で選択☑と解除□が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。
- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

③ を押す

■ フォルダ内のすべてのデータを削除するとき

① MENU 6 3 を押す
② 認証操作を行う

3 「はい」を選択する

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDFデータ一覧から操作する場合は、MENU を押し「削除」→「1件削除」「複数削除」「全件削除」を選択します。
- 画像表示画面、キャラ電表示画面から操作する場合は、MENU を押し「削除」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、MENU を押し「削除」→「1件削除」「全件削除」を選択します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除すると、着信音設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している画像も削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P318

ソート

データを並べ替える

お買い上げ時	対象：保存日時　順序：降順

一覧画面のデータの並び順を変更します。

〈例〉マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 待受画面で MENU 5 1 を押し、フォルダを選択する

2 MENU 7 を押す

- キャラ電のキャラクタを並べ替えるときは MENU 8 を押します。

3 各項目を選択して設定する

対象: 並び替えの方法を設定します。
順序: データの並び順を設定します。

4 を押す

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDFデータ一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「ソート」を選択します。
- 表示名に全角と半角の文字が混在していると、並べ替えが50音順と一致しない場合があります。

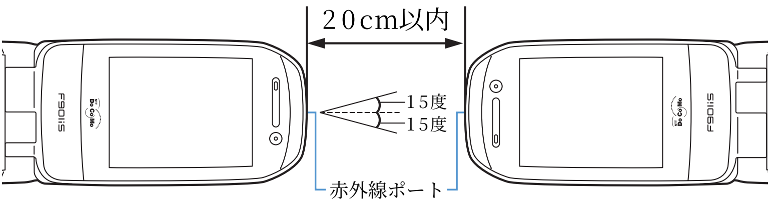
赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。また、赤外線通信に対応したｉアプリを利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

- オールロック中、遠隔ロック中、PIMロック中、セルフモード中、開閉ロック中は、赤外線通信を行えません。
- 赤外線通信とUSB接続は同時に使用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送受信できません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
- 赤外線通信中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。また、[TASK]を押して他の機能に切り替えることもできません。
- 本端末の赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。
- 相手の端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- ｉモード端末以外に絵文字を入力したデータを送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、絵文字2を入力してデータを送信すると、正しく表示されないことがあります。

赤外線通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は20cm以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 赤外線放射角度は中心から15度以内です。



お知らせ

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常にできない場合があります。

F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F2102V、F2051のデータを赤外線受信するときの留意事項

- F2102V、F2051のメールデータを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にはなりません。
- メールデータを受信したとき、受信メール、送信メール、未送信メールのメール連動型ｉアプリ用のフォルダに通常のメールデータが保存される場合があります。
- ブックマークデータを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。
- F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F2102V、F2051以外の端末からブックマークデータを受信した場合は、先頭のフォルダに保存されます。
- 画像、動画／ｉモーション、メロディの各データは全件受信できません。
- F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F2102V、F2051以外の端末から画像、動画／ｉモーション、メロディを受信したとき、メモとして登録される場合があります。

- ファイルのサイズ制限の違いにより、大きなサイズの画像、動画／ｉモーション、メロディは受信側で保存できない場合があります。

赤外線送信

赤外線通信を使ってデータを送信する

赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに電話帳や自局番号などのデータを送信します。赤外線送信には、送信するデータを選択して1件ずつ送信する方法と、データの種類ごとに全件送信する方法があります。
送信できるデータは次のとおりです。

データの種類	留意事項
電話帳※	• シークレット属性が設定されている電話帳はシークレットモード中のみ1件送信できます。 • 全件送信すると、プロフィール情報も送信されます。 • ダイヤル発信制限中は送信できません。 • データ送受信設定の電話帳の画像送信を「あり」に設定している場合は、電話帳データに登録されている静止画も一緒に送信されます。 • 相手の機種によっては、電話帳の画像が送信されない場合があります。
スケジュール※	• シークレット属性が設定されているスケジュールはシークレットモード中のみ1件送信できます。 • 送信には日付・時刻の設定が必要です。
受信メール※	• メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目）は削除されます。
送信メール※	
未送信メール※	
メモ※	――――
ブックマーク※	• 相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
画像	• タイトルを全角で最大9文字、半角で最大18文字送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。 • ファイルサイズが500Kバイトより大きいデータは送信できません。 • ダウンロードした画像など、ファイル制限が「あり」に設定されているデータは送信できません。
動画／ｉモーション	• タイトルを全角で最大9文字、半角で最大18文字送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
メロディ	• タイトルを全角で最大25文字、半角で最大50文字送信できます。
プロフィール	• 相手の機種によっては、画像が送信されない場合があります。

※：全件送信できます。
- F901iS以外のｉモード端末や赤外線通信機器へデータを送信した場合、送信先で登録できない項目は破棄されます。

データを1件送信する

〈例〉1件の電話帳データを赤外線送信するとき

1 **相手のFOMA端末を受信待機状態にする**

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

2 電話帳を検索し、送信する電話帳データにカーソルを合わせ、MENU 8 1 を押す

3 「はい」を選択する

- 赤外線送信を中断するときは CLR を押します。

お知らせ

- ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧から操作する場合は、MENU を押し「赤外線送信」→「送信」を選択します。
- 画像一覧、動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、MENU を押し「赤外線送信」を選択します。
- スケジュールのデイリービュー画面から操作する場合は、MENU を押し「赤外線／miniSD」→「赤外線送信」を選択します。
- プロフィール情報の詳細画面から操作する場合は、MENU を押し「プロフィール送信」を選択します。

データを全件送信する

電話帳、スケジュールなど、選択した機能のすべてのデータを赤外線送信します。

- 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ4桁の数字（0000～9999）の認証パスワードを決めておいてください。

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 待受画面で MENU 6 5 1 を押す

3 1 ～ 7 を押す



4 認証操作を行う

5 4桁の認証パスワードを入力する

- 入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

6 「はい」を選択する

- 赤外線送信を中断するときは CLR を押します。

次ページへ続く

お知らせ

- ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧から操作する場合は、MENUを押し「赤外線送信」→「全件送信」を選択します。
- ブックマークのフォルダ一覧、送信メールのフォルダ一覧、未送信メールのフォルダ一覧、受信メールのフォルダ一覧から操作する場合は、MENUを押し「赤外線全件送信」を選択します。
- 電話帳一覧から操作する場合は、MENUを押し「赤外線／外部メモリ」→「赤外線全件送信」を選択します。
- スケジュールのカレンダーから操作する場合は、MENUを押し「赤外線／miniSD」→「赤外線全件送信」を選択します。
- 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。

赤外線受信

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどから、電話帳やメールなどのデータを受信します。受信したデータは直接FOMA端末に保存したり、赤外線受信のINBOXに一時的に保存して、受信したデータを確認してからFOMA端末に保存したりできます。
赤外線受信には、データを1件ずつ受信する方法と、種類ごとに全件受信する方法があります。
受信できるデータは次のとおりです。

データの種類	受信後の保存場所	保存順
電話帳※	電話帳 • 電話帳データを全件受信した場合、自局番号以外のプロフィール情報が上書きされます。 • ダイヤル発信制限中は受信できません。	最も小さい空きメモリ番号
スケジュール※	スケジュール帳 • 日付・時刻の設定が必要です。	日時順
受信メール※	受信メール	受信日時順
送信メール※	送信メール	送信日時順
未送信メール※	未送信メール	保存日時順
メモ※	メモ帳	受信順
ブックマーク※	Bookmark	一覧の先頭
動画／ｉモーション	ｉモーション内の「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
メロディ	メロディ内の「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
画像	マイピクチャ内の「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
プロフィール	電話帳	最も小さい空きメモリ番号

※：全件送信されたデータを全件受信できます。

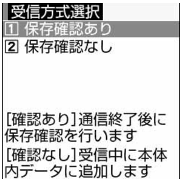
データを1件受信する

相手側の機器に保存されている1件のデータを赤外線受信します。
- 500Kバイト以上のデータは受信できません。

1 **待受画面でMENU 6 5 2 1を押す**

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

2 1 または 2 を押す



が表示されます。

保存確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。→P406

保存確認なし：受信したデータはFOMA端末に保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、受信方式選択画面に戻ります。

3 「はい」を選択する

受信待機状態になります。

4 送信側でデータを1件送信する

- 赤外線受信を中断するときはを押します。

5 受信が完了したら、を押す

- 受信終了後は、操作2で「保存確認あり」を選択していると、INBOX画面が表示されます。「保存確認なし」を選択していると、操作2の画面に戻ります。

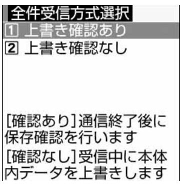
データを全件受信する

電話帳、スケジュールなど、機能ごとのすべてのデータを赤外線受信できます。

- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ4桁の数字（0000～9999）の認証パスワードを決めておいてください。

1 待受画面で MENU 6 5 2 2 を押す

2 1 または 2 を押す



が表示されます。

上書き確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。→P406

上書き確認なし：受信したデータはFOMA端末に上書き保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、全件受信方式選択画面に戻ります。

- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますので、ご注意ください。
- 「上書き確認あり」を選択したときは、操作5に進みます。

3 「はい」を選択する

受信待機状態になります。

4 認証操作を行う

5 4桁の認証パスワードを入力する

- 入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

6 「はい」を選択する

7 送信側でデータを全件送信する

- 赤外線受信を中断するときはを押します。

8 受信が完了したら、[ ]を押す

受信完了後は、操作2で「上書き確認あり」を選択していると、INBOX画面が表示されます。「上書き確認なし」を選択していると、操作2の画面に戻ります。

> **お知らせ**
> - 本端末ではToDo（用件を管理するリスト機能）データを保存できません。ToDoデータとスケジュールデータの両方を全件受信した場合、スケジュールデータのみが保存されます。ToDoデータのみを全件受信した場合、本端末に登録されているスケジュールはすべて削除されますのでご注意ください。
> - 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。

受信したデータを保存する

INBOXに一時的に保存されているデータをFOMA端末に保存します。

- 1件受信時に「保存確認あり」、全件受信時に「上書き確認あり」を選択した場合、赤外線通信を終了すると自動的にINBOXの画面が表示されます。

1 待受画面で[MENU][6][5][2][3]を押す

2 保存するデータを選択する



- マークの意味は次のとおりです。
  - ／：電話帳1件データ／複数件データ
  - ／：ブックマーク1件データ／複数件データ
  - ／：メール1件データ／複数件データ
  - ：画像データ
  - ：動画／ｉモーションデータ
  - ：メロディデータ
  - ／：スケジュール1件データ／複数件データ
  - ／：メモ1件データ／複数件データ

■ データを1件削除するとき

削除するデータにカーソルを合わせ、[MENU][2]を押す

■ データを全件削除するとき

[MENU][3]を押し、認証操作を行う

3 「はい」を選択する

■「複数件データ」を選択したとき

①認証操作を行う

②追加保存する場合は「追加」を選択し、上書き保存する場合は「上書き」を選択する

- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますので、ご注意ください。

> **お知らせ**
> - 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存件数、登録件数より少なくなる場合があります。
> - メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールデータの場合、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択して[MENU][1]を押してください。

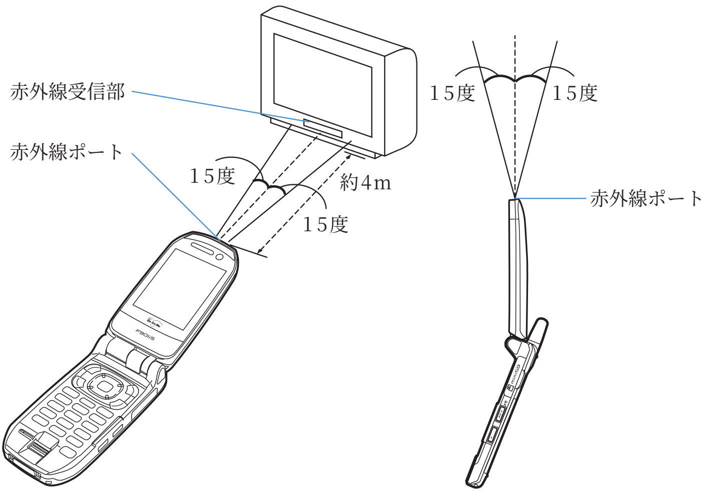
赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。

- 各機器に対応したｉアプリをダウンロードしてください。操作はｉアプリによって異なります。
- セルフモード中および赤外線通信中は本機能を利用できません。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受ける場合があります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。



お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリのＧガイド番組表リモコンを起動すると、FOMA端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。

データ送受信設定

データ送受信時の動作を設定する

お買い上げ時	通信終了音：OFF　自動認証：なし　電話帳の画像送信：あり

赤外線通信やUSB接続によるデータ送受信時の動作を設定します。

1 **待受画面で MENU 6 5 3 を押す**

データ表示／編集／管理

2 各項目を選択して設定する

通信終了音：通信終了時に終了音を鳴らすかどうかを設定します。

自動認証　：USB接続による通信時に、通信相手と認証コードを自動でやりとりするかどうかを設定します。

- 「あり」に設定するときは、認証操作を行い、4～8桁の携帯側認証コード（FOMA端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、を押してください。

電話帳の画像送信

：電話帳データの全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

3 を押す

お知らせ

- 通信終了音を「ON」に設定しても、キー確認音設定が「OFF」の場合、終了音は鳴りません。

サウンドレコーダー

サウンドレコーダーで音声を録音する

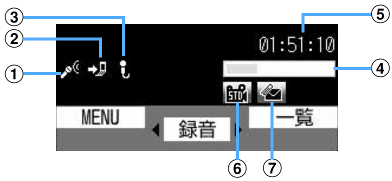
録音画面とファイルについて

サウンドレコーダーを使用して音声を録音できます。録音した音声はFOMA端末だけでなくminiSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信したりできます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

録音画面

録音画面の見かたは次のとおりです。



①**撮影モード**　：音声の録音モード中であることを示します。

②**保存先**　　　：保存先を示します。→P182

　：FOMA端末　　　：miniSDメモリーカード

③**撮影種別**　　：撮影する動画の種類を示します。→P182

④**インジケータ**：**録音待機中**

保存先の保存領域の使用率を示します。

- miniSDメモリーカードの保存領域の使用率は、音声が保存されていなくても0にならない場合があります。

録音時／一時停止中

サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する、録音したサイズの割合を示します。

⑤**カウンタ**　　：**録音待機中**

現時点でFOMA端末およびminiSDメモリーカードに録音できる最大時間（目安）を示します。

録音中

経過時間と残り時間（録音停止するまでの時間）（目安）を表示します。

⑥**品質**　　　　：保存する音声の品質を示します。→P411

⑦**サイズ制限**　：保存するファイルのサイズ制限値を示します。→P411

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

音声ファイルについて

ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	AMR
拡張子	3gp
タイトル	録音した日時が自動的に付けられます。 〈例〉2005年6月28日9時1分00秒に録音したとき →20050628090100.3gp • 音声の録音後、ファイル名を変更できます。→P397 • 日付時刻が設定されていない場合、表示名、タイトル、ファイル名は「--------------」になります。
メール添付・出力	メールに音声を添付して送信したり、miniSDメモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に送ったりできます。

音声の録音時間について

音声の録音時間は、品質やサイズ制限の設定によって変わります。
• 品質やサイズ制限は動画／録音設定で設定できます。→P182

■ FOMA端末に保存できる音声の録音時間（目安）

単位：分

項　目	品質	ファイルサイズ制限	
		メール添付（290Kバイト）	大容量メール添付（490Kバイト）
1回あたりの録音時間	STD	約4	約7
	HQ	約3	約5
FOMA端末本体の最大録音時間	STD	約163	約163
	HQ	約106	約107

■ miniSDメモリーカードに保存できる音声の録音時間（目安）

単位：分

容　量	品　質	ファイルサイズ制限		
		メール添付（290Kバイト）	大容量メール添付（490Kバイト）	制限なし
16MB	STD	約232	約232	約216
	HQ	約152	約152	約142
32MB	STD	約488	約488	約472
	HQ	約319	約320	約311

音声を録音する

サウンドレコーダーを使用して音声を録音できます。
• 音声は送話口から録音されます。
• 周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。
• 着信音量調整を「消音」に設定している場合やマナーモード中でも、録音確認音（シャッター音）は鳴ります。

1 待受画面で MENU 6 3 を押す

サウンドレコーダーが起動して録音待機状態になります。
• 動画／録音設定の撮影種別を「音声のみ」に設定した場合でも、サウンドレコーダーを起動できます。

次ページへ続く

2 またはサイドキー［▲］を押す



音声録音画面

録音確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプが最大５色（赤、黄、緑、青、紫）の２秒間隔で点滅し、録音が始まります。ディスプレイのが に切り替わります。

- 録音を一時停止するときはを押します。一時停止中は着信ランプが緑に点灯し、がに切り替わります。もう一度を押すと、録音を開始します。

3 またはサイドキー［▲］を押す

録音確認音（シャッター音）が鳴り、録音が終了します。

- 録音中にファイルサイズが制限値に達すると、録音が自動的に終了し、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 一時停止中に を押して録音を終了した場合は、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 動画／録音設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず、自動的に保存されます。このとき、操作４以降の操作は不要です。

4 録音した音声を確認する

- を押すと録音した音声が再生されます。

■ すぐに保存するとき

操作５に進む

■ 保存しないで録音し直すとき

を押す

■ 録音した音声をメールに添付するとき

を押す

録音した音声を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、録音した音声がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定していても、録音した音声はFOMA端末に保存されます。
- 録音した音声のファイルサイズが500Kバイトより大きい場合は、メールに添付できません。

■ タイトルを変更するとき

を押す

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます。

■ テロップを作成するとき

を押し、「はい」を選択する

録音した音声がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存され、テロップの作成画面が表示されます。

- 動画／録音設定で、保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、テロップを作成できません。

■ 保存先をFOMA端末／ miniSDメモリーカードに切り替えるとき

を押す

- 録音した音声のファイルサイズが490Kバイトより大きい場合は、保存先を切り替えられません。

■ 保存されている音声を一覧表示するとき

を押し、 または を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

5 またはサイドキー［▲］を押す

録音した音声がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存されます。→P360

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「動画」フォルダに保存されます。→P380

お知らせ

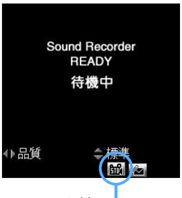
- 静止画撮影画面や動画撮影画面からサウンドレコーダーを起動するには、 を押し「モード切り替え」→「サウンドレコーダー」を選択します。
- サウンドレコーダーを利用する際の注意事項については、「FOMA端末を開いて動画を撮影する」のお知らせを参照してください。→P182
- 録音した音声を再生する方法については、「動画／ｉモーションを再生する」を参照してください。→P360

録音時の設定を変更する

品質やサイズ制限など、音声に関する設定を変更します。

音声の品質を設定する

1 音声録音画面で を押し、品質のマークにカーソルを合わせる



品質のマーク

- を押しても品質のマークを選択できます。

2 を押して品質を選択し、を押す

設定した品質がマークで表示されます。

標準　：標準的な品質です。

高品質：音質はよくなりますが、録音できる時間が短くなります。

- を押しても品質が切り替わります。

ファイルサイズを制限する

1 音声録音画面で を押し、サイズ制限のマークにカーソルを合わせる



サイズ制限のマーク

- を押してもサイズ制限のマークを選択できます。

データ表示／編集／管理

2 を押してサイズ制限を選択し、を押す

設定したサイズ制限がマークで表示されます。

メール添付

：ファイルサイズを290Kバイトに制限します。i モードメールに添付して既存の機種に送信できるファイルサイズです。

大容量メール添付

：ファイルサイズを490Kバイトに制限します。i モードメールに添付して大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

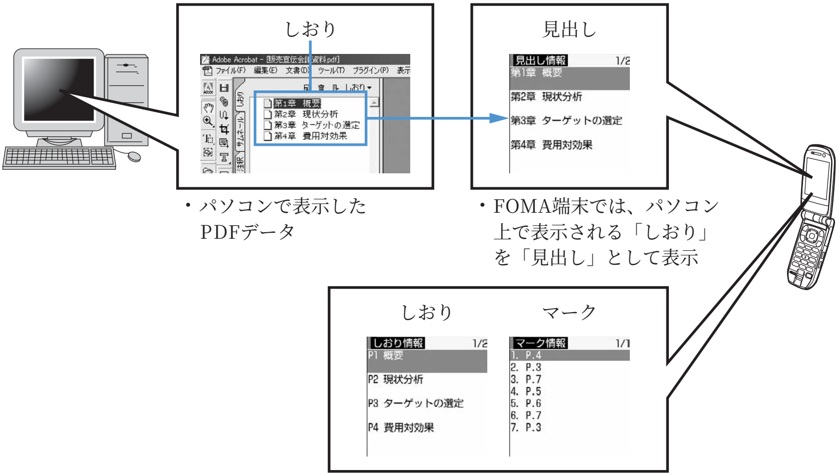
制限なし：ファイルサイズを制限しません。動画／録音設定で保存先を「本体」に設定している場合、選択できません。

- を押してもサイズ制限が切り替わります。

PDF データとは

i モードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたPDF データを表示できます。PDF データの表示中は、拡大・縮小、文字検索、リンク表示、画面の切り出しなど、さまざまな操作ができます。

- miniSD メモリーカードに保存した PDF データも表示できます。操作方法については、「マイドキュメントデータを表示する」を参照してください。→P390
- PDF データの表示では、ページを移動するための機能として、「見出し」「しおり」「マーク」を使用できます。



・パソコンで表示したPDFデータ

・FOMA端末では、パソコン上で表示される「しおり」を「見出し」として表示

・FOMA端末では、「しおり」や「マーク」を登録

見出し：PDFデータにあらかじめ登録されている、ページ移動のための項目のことです。パソコンなどでPDFデータを表示したときの「しおり」に該当します。項目を選択すると関連付けられているページを表示できます。登録されている内容を変更したり削除したりできません。
見出しの使いかたについて→P415

しおり：PDF データに登録できるページ移動のための項目の 1 つです。項目を選択すると関連付けられているページを表示できます。しおりには、ページ番号と説明やメモを登録できます。登録した項目は自由に変更できます。しおりがあらかじめ登録されている PDF データもあります。
しおりの登録と使いかたについて→P419

マーク：PDF データに登録できるページ移動のための項目の 1 つです。項目を選択すると関連付けられているページを表示できます。マークにはページ番号のみを登録できます。登録した項目は自由に変更できます。マークがあらかじめ登録されている PDF データもあります。
マークの登録と使いかたについて→P419

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P379

PDFデータを表示する

マイドキュメントに保存されているPDFデータを表示します。

• お買い上げ時は、次のPDFデータが「プリインストール」フォルダに保存されています。



F901iS 使いこなし術

1 待受画面で MENU 5 5 を押す

2 フォルダを選択する



マイドキュメントの各フォルダには次のようなPDFデータが保存されます。

iモード　：サイトからダウンロードしたPDFデータ

プリインストール
：お買い上げ時に内蔵されているPDFデータ

データ交換　：miniSDメモリーカードから移動またはコピーしたPDFデータ

マイフォルダ：他のフォルダから移動またはコピーしたPDFデータ
• フォルダを作成すると表示されます。マイフォルダ（フォルダ名）は、作成時に任意の名称に変更できます。→P393

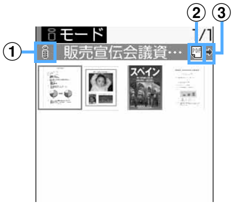
■ miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替えるとき

を押す

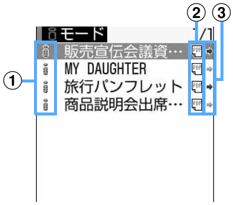
• miniSDメモリーカードの操作方法（マイドキュメントデータ）→P390

次ページへ続く

3 表示するPDFデータにカーソルを合わせる



サムネイル表示

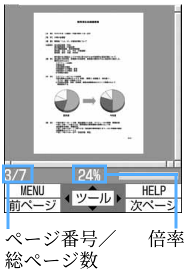


リスト表示

PDFデータ一覧画面では、カーソル位置のファイルの表示名とPDFデータの詳細を示すマークが表示されます。

- サムネイル表示ではPDFデータのサムネイル画像が表示されます。サムネイル画像を表示できない場合は、次のようなアイコンが表示されます。
  - ：FOMAカード動作制限機能が設定されているもの、ダウンロードしてから一度も表示していないもの、サムネイル画像を取得できないもの
  - ：部分的にデータをダウンロードしたもの
  - ：データのダウンロードに失敗したもの
- マークの意味は次のとおりです。
  - ① **取得元**
    - ：プリインストール　：iモード
    - ：データ交換
  - ② **ファイルの種類**
    - ：すべてのデータをダウンロードしたPDFデータ
    - ：部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ
    - ：データのダウンロードに失敗したPDFデータ
  - ③ **ファイル制限**
    - （青）　：FOMA端末外出力可
    - （グレー）：FOMA端末外出力不可
- を押すたびに12枚のサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- 表示名などの詳細表示を変更できます。

4 を押してPDFデータを確認する



通常表示



全画面表示

PDFデータ表示中は次の操作ができます。

- ：スクロール（1秒以上押すと高速スクロール）
- ／：前ページと次ページの切り替え
- ：ヘルプ→P419
- 1：縮小
- 2：全体表示→P417
- 3：拡大
- 4：最初のページ
- 5：検索→P416
- 6：最後のページ
- 7：右90°回転→P418
- 8：リンク表示→P417
- 9：画面切り出し→P421
- 0：ドキュメント情報→P418
- ＊：通常表示と全画面表示の切り替え

- マークが登録されているページには、が表示されます。
- 部分的にダウンロードしたPDFデータの表示中に、ページ移動などで未取得のページを表示しようとすると、未取得のデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとページのダウンロードが開始されます。それ以降は未取得のページを表示しようとしても、確認画面は表示されずにページがダウンロードされます。
- データのダウンロードに失敗したPDFデータを選択すると、残りのPDFデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータの残りのデータをダウンロードするときは、8を押します。

■ PDFデータにパスワードが設定されているとき

パスワードの入力画面が表示されます。

① **パスワードを入力する**

- 入力方式を英字に切り替えるには0を、数字に切り替えるには＊を押します。

② **を押す**

データ表示／編集／管理

5 PDFデータを確認したら を押し、「はい」を選択する

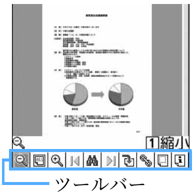
PDFデータに変更を加えた場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存するときは「はい」を選択して保存してください。

お知らせ

- 画像データが多い場合など、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
- 複雑な描画が含まれている場合などは、元のPDFデータと異なる表示になることがあります。

ツールバーを利用する

1 PDFデータ表示中に を押す



ツールバー表示中は、アイコンを選択して次の操作ができます。

：縮小
：全体表示→P417
：拡大
：最初のページ
：検索→P416
：最後のページ
：右90°回転→P418
：リンク表示→P417
：画面切り出し→P421
：ドキュメント情報→P418

- ツールバーを消すときは、 を押します。
- ツールバーの上に表示される機能名の、先頭の数字と同じキーを押しても操作できます。

ページを移動する

ページを指定して移動する

1 PDFデータ表示中に を押す

■ **最初のページに移動するとき**
を押す

■ **最後のページに移動するとき**
を押す

■ **1つ前のページに移動するとき**
を押す

■ **次のページに移動するとき**
を押す

2 ページ数を入力する

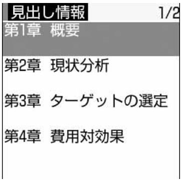
見出しを使って移動する

PDFデータにあらかじめ登録されている見出しを使って、ページを移動できます。

- 見出しが登録されていないPDFデータもあります。
- 見出しと同様の機能として、しおりやマークを登録してページを移動する機能があります。しおりやマークの使いかたについては、「しおりやマークを登録して使う」を参照してください。→P419

次ページへ続く

1 PDFデータ表示中にMENU 1 4を押す



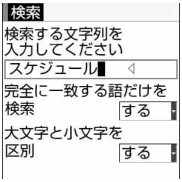
2 見出しを選択する

文字列を検索する

- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータの場合は、表示中のページのみ検索されます。

1 PDFデータ表示中にMENU 5 1を押す

2 を押し、文字列を入力する



- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

■ 部分的に一致する語を検索するとき

完全に一致する語だけを検索の「しない」を選択する

- 完全に一致する語だけを検索を「する」に設定すると、「mini」という文字列を検索した場合、部分的に一致する「miniSD」などは検索されません。

■ 英字の大文字と小文字を区別しないとき

大文字と小文字を区別の「しない」を選択する

3 を押す



検索結果画面

検索が実行され、入力した文字列に一致した語が反転表示されます。検索結果画面では次の操作ができます。

MENU：検索終了
：1つ前の候補（一致した語）へ移動
：ヘルプ→P419
：次の候補（一致した語）へ移動

画面の表示設定を変更する

お買い上げ時	全画面表示：しない　ステータス表示：あり　スクロールバー：あり

通常表示から全画面表示に切り替えたり、ページ番号、表示倍率、スクロールバーの表示と非表示を切り替えます。

- この設定は、現在表示している画面にのみ有効です。別のPDFデータを表示するとお買い上げ時の設定に戻ります。

1 PDFデータ表示中にMENU 5 2を押す

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

2 各項目を選択して設定する

全画面表示　：「する」に設定すると全画面表示に切り替わります。
ステータス表示：通常表示の場合、ページ番号と総ページ数、倍率を表示するかしないかを設定します。
スクロールバー：通常表示の場合、スクロールバーを表示するかしないかを設定します。「なし」に設定してもスクロール操作はできます。

3 [メール] を押す

拡大／縮小して表示する

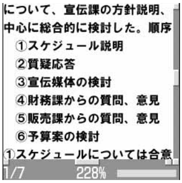
表示する大きさを選択する

表示する大きさを 3 種類から選択します。

1 PDF データ表示中に [MENU][6][1] を押し、[1]～[3] を押す



1 全体表示



2 実際の大きさ



3 幅に合わせる

お知らせ

- 表示する大きさをあらかじめ設定しておく場合は、PDF データ表示中に [MENU][5][3] を押し、[1] ～ [3] を押します。

倍率を指定する

1 PDF データ表示中に [MENU][6][4] を押す

2 倍率を入力する

- 2～1000（%）の範囲で入力できます。

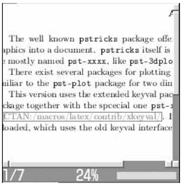
リンクを利用する

PDF データのリンク項目を利用してページ移動したいときは、リンク表示を ON に切り替えます。
また、リンク表示を ON にすると、文中の電話番号やメールアドレス、URL を利用して音声電話またはテレビ電話をかけたり（Phone To／AV Phone To）、i モードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。

1 リンク項目が設定されているページを表示し、[MENU][6][3] を押す

- リンク表示が ON のときは「リンク OFF」と表示されます。

2 リンク項目にカーソルを合わせ、[ ]を押す



リンク表示

- リンク表示をOFFにするときは MENU を押します。

■ Phone To（AV Phone To）･Mail To･Web To機能を使うとき

操作方法はサイトからのPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toと同じです。→P221

お知らせ

- リンク表示がONのとき、スクロール操作やページ移動はできません。

ページのレイアウトを変更する

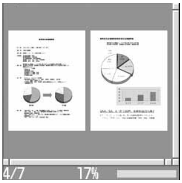
ページレイアウトを2種類から選択します。

- 1ページしかないPDFデータや、部分的にデータをダウンロードしたPDFデータは、ページレイアウトを変更できません。

1 PDFデータ表示中に MENU 7 を押し、1 ～ 2 を押す



1 単一ページ



2 見開きページ

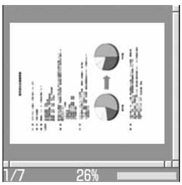
表示を回転する

90度または180度回転して表示します。

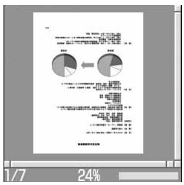
1 PDFデータ表示中に MENU 6 2 を押し、1 ～ 3 を押す



1 右90°回転



2 左90°回転



3 180°回転

お知らせ

- 回転後のスクロール方向は、ページの向きに関係なく元の表示と同じです。

PDFデータのドキュメント情報を見る

PDFデータに登録されているタイトル、著作者、作成アプリケーション、作成日、更新日、ファイルサイズなどの情報を確認します。

1 PDFデータ表示中に MENU 9 を押す

ヘルプを見る

PDF データ表示中の操作、または検索結果画面の操作をヘルプ画面で確認します。

〈例〉PDF データ表示中の操作を確認するとき

1 PDF データ表示中に を押す



■ 検索結果画面の操作を確認するとき

検索結果画面で を押す



しおりやマークを登録して使う

保存した PDF データに、ページを移動するための項目として、しおりやマークを登録できます。よく利用するページやあとで見直したいページを登録しておくと便利です。しおりにはページ番号の他にしおり情報としてページの説明やメモを登録できます。マークにはページ番号のみ登録できます。

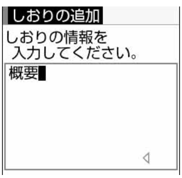
- しおりとマークは、あらかじめ登録されているものを含めてそれぞれ最大 10 件登録できます。
- 同様の機能として、PDF データにあらかじめ登録されている見出しを使用してページを移動する機能があります。見出しの使いかたについては、「見出しを使って移動する」を参照してください。→P415
- しおりやマークが登録されている PDF データをパソコンなどで表示した場合、ご使用のソフトウェアがしおりやマークの表示に対応していないときは、しおりやマークは表示されません。

しおりを登録する

しおりを登録すると、登録したページの現在の表示状態（倍率、回転方向、表示範囲）が記録されます。しおりを登録したページは、登録したときの状態で表示されます。

1 しおりを登録するページを表示し、MENU 4 2 を押す

2 を押し、しおりの情報を入力する



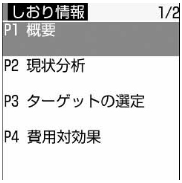
- 全角で最大 64 文字、半角で最大 128 文字入力できます。

3 を押す

しおりからページを表示する

1 PDFデータ表示中に[MENU][4][1]を押す

2 しおりを選択する



■ しおりの情報を変更するとき

①変更するしおりにカーソルを合わせ、[MENU][1]を押す
②しおりの情報を入力する
③[i]を押す

しおりを削除する

1 PDFデータ表示中に[MENU][4][1]を押す

2 削除するしおりにカーソルを合わせ、[MENU][2][1]を押す

■ しおりを複数選択して削除するとき

①[MENU][2][2]を押し、削除するしおりを選択する
- [●]で選択☑と解除□が切り替わり、[MENU]で全選択または全解除できます。

②[i]を押す

■ しおりを全件削除するとき

[MENU][2][3]を押し、認証操作を行う

3 「はい」を選択する

お知らせ

- PDFデータ表示中に[MENU]を押し、「しおり関連」→「しおりの削除」を選択しても、しおりを削除できます。

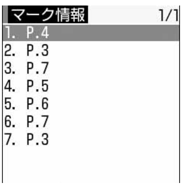
マークを登録する

1 マークを登録するページを表示し、[MENU][4][5]を押す

マークからページを表示する

1 PDFデータ表示中に[MENU][4][4]を押す

2 マークを選択する



＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

マークを削除する

1 PDFデータ表示中に MENU 4 4 を押す

2 削除するマークにカーソルを合わせ、MENU 1 を押す

■ マークを複数選択して削除するとき

① MENU 2 を押し、削除するマークを選択する

- ● で選択☑と解除□が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます。

② ✉ を押す

■ マークを全件削除するとき

MENU 3 を押し、認証操作を行う

3 「はい」を選択する

お知らせ

- PDFデータ表示中に MENU を押し、「しおり関連」→「マークの削除」を選択しても、マークを削除できます。

PDFデータの画面を切り出す

表示中のページをJPEG形式の画像ファイルにして保存します。切り出した画像ファイルはマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

1 切り出すページを表示し、MENU 3 を押す

お知らせ

- 切り出される画像のサイズは、PDFデータが表示されている画面領域の大きさによって異なります。
- PDFデータのセキュリティ設定によっては、画面の切り出しができない場合があります。
- 切り出した画像ファイルは、メール添付、miniSDメモリーカードへのコピーや移動、赤外線送信、データリンクソフトなどを利用して、FOMA端末の外へ出力することはできません。

動作設定

PDFデータの動作条件を設定する

お買い上げ時	一覧の画像表示：あり

PDFデータ一覧を12枚のサムネイル表示にするか、リスト表示にするかを設定します。

1 待受画面で MENU 5 5 を押す

2 MENU 4 を押す

3 1 または 2 を押す

- 「あり」に設定すると12枚のサムネイル表示になり、「なし」に設定するとリスト表示になります。

お知らせ

- PDFデータ一覧から設定する場合は、MENU を押して「動作設定」を選択します。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話とパケット通信、SMSの3つの機能を同時に使用できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 機能を実行中に TASK を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示し、新たな機能を起動したり、画面を切り替えたりできます。
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - 音声電話：1通信
  - ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信：いずれか1通信
  - SMS：1通信

お知らせ

- マルチアクセスの組み合わせ→P542
- マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。
- 動画やアニメーションの再生中、カメラの操作中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しない場合や、再生中の音声が途切れる場合があります。

マルチアクセスでできる主な操作

通信中にｉモードメールやSMS（ショートメッセージ）、音声電話を受ける

〈例〉音声電話中にｉモードメールを受信するとき

1 音声電話中にメールを受信する



メール受信中はディスプレイ上部に と が点滅表示され、受信が完了すると が表示されます。

〈例〉ｉモード中・パケット通信中に音声電話を受けるとき

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様に音声電話を受けられます。

1 ｉモード中・パケット通信中に電話がかかってくる



- 音声電話がかかってきたときの画面は、優先通信モード設定によって異なります。

2 を押す

電話がつながります。

- 通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。→P427
- サイト表示を終了するにはサイトの画面で を押し、「はい」を選択します。
- 通話を終了するには通話中の画面で を押します。

通信中に他の通信を行う

接続中の通信を中断せずに別の通信を同時に行えます。

〈例〉音声電話中にｉモードに接続するとき

1 音声電話中に [TASK] [2] [1] を押す



新規起動メニュー

- 音声電話はつながったままなので、そのまま話せます。スピーカーホン機能を利用すると、画面を見ながら話せます。
- 通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。→P427
- サイト表示を終了するにはサイト画面で [電源] を押し、「はい」を選択します。
- 通話を終了するには通話中画面で [電源] を押します。

〈例〉音声電話中にｉモードメールを送信するとき

1 音声電話中に [TASK] [1] [2] を押す



- 音声電話はつながったままなので、そのまま話せます。スピーカーホン機能を利用すると、画面を見ながら話せます。
- 通話中画面とメール作成画面を切り替えながら操作できます。→P427
- メール作成を終了するにはメール作成画面で [電源] を押します。
- 通話を終了するには通話中画面で [電源] を押します。

2 ｉモードメールを作成・送信する

ｉモードメールを送信すると通話中画面に戻ります。

〈例〉音声電話中にパケット通信を行うとき

1 音声電話中にパソコンから発信操作を行う

パケット通信が始まります。

- パケット通信実行時の画面は優先通信モード設定によって異なります。
- 音声電話はつながったままなので、そのまま話せます。通話中画面に切り替えてスピーカーホン機能を利用すると、画面を見ながら話せます。
- 通話を終了するには通話中画面で [電源] を押します。

〈例〉ｉモード中・パケット通信中に電話をかけるとき

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様にして電話をかけられます。

1 ｉモード中・パケット通信中に [TASK] [発信/文字] を押す

- 電話帳や着信履歴、リダイヤルから電話をかけるときは [TASK] を押し、「電話帳・履歴」を選択します。

2 電話番号を入力し、[発信/文字] を押す

電話がかかります。

- サイト表示を終了するにはサイト画面で [電源] を押し、「はい」を選択します。
- 通話を終了するには通話中画面で [電源] を押します。

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 機能を実行中に[TASK]を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示し、新たな機能を起動したり、画面を切り替えたりできます。
- 同時に実行できる機能は2つまでです。ただし、「ダイヤル発信」および「プロフィール情報」の機能は、他の機能が2つ実行されていても起動できます。

新しい機能を実行する

通話中や通信中などの機能を実行中に別の機能を実行できます。

- 機能によっては同時に起動できない場合や制限のある場合があります。→P544

〈例〉通話中にスケジュールを表示・登録するとき

1 通話中に[TASK][7][1]を押す



- 電話はつながったままなので、そのまま話せます。スピーカーホン機能を利用すると、画面を見ながら話せます。

2 スケジュールを表示・登録する

- スケジュールの表示・登録のしかた→P432、P434
- スケジュール画面と通話中画面を切り替えながら操作できます。→P427
- スケジュールを終了するにはスケジュール画面で[電源]を押します。
- 通話を終了するには通話中画面で[電源]を押します。

お知らせ

- マルチタスクで利用できる機能は、起動状況やロック設定の状況などによって制限される場合があります。
  また、赤外線送受信中、ソフトウェア更新中、パターンデータ更新（スキャン機能）中などは、マルチタスクによる操作はできません。→P544
- 動画やアニメーションの再生中、カメラの操作中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しない場合や、再生中の音声が途切れる場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

操作する機能を切り替える

複数の機能を実行中に TASK を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えながら操作できます。

〈例〉音声電話中の画面からサイトの画面へ切り替えるとき

1 音声電話中に TASK を押し、「iモード」を選択する



画面切替メニュー

- 画面切替メニューには、実行中の機能が一覧表示されます。
- 通話中画面に戻すには、もう一度 TASK を押し、画面切替メニューから「電話」を選択します。
- 画面切替メニュー表示中に MENU を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。もう一度 MENU を押すと画面切替メニューに戻ります。

画面切替メニューに表示される項目名

- 画面切替メニューの項目名は、メニューの項目名などとは異なる場合があります。

項目名	対応する機能・画面
プロフィール情報	プロフィール情報
電話	音声電話
ダイヤル入力	電話番号入力
リダイヤル	リダイヤル
着信履歴	着信履歴
伝言メモ	伝言メモ
テレビ電話	テレビ電話
AV通信	外部機器によるテレビ電話
電話帳	電話帳
カメラ	カメラ
ビデオカメラ	ビデオカメラ
バーコードリーダー	バーコードリーダー
iモード	サイト、インターネットホームページ、ブックマーク、画面メモ
メッセージR/F	メッセージR/F
メール作成	ｉモードメール、SMS（作成画面）
iモードメール着信	ｉモードメール、メッセージR/Fの受信画面
問合せ	ｉモードメール、メッセージR/F、SMSのセンター問合せ
メール	ｉモードメール、SMS（一覧画面や詳細画面など）
チャットメール	チャットメール
SMS受信	SMSの受信画面
iアプリ	ｉアプリ（ｉアプリの一覧画面や動作中の画面）
iモーション	ｉモーション
マイピクチャ	マイピクチャ
キャラ電	キャラ電
メロディ	メロディ
miniSDカード	miniSDカード
サウンドレコーダー	サウンドレコーダー
マイドキュメント	マイドキュメント（PDFデータ）
PDF対応ビューア	マイドキュメント（PDFデータ表示中の画面）

次ページへ続く

項目名	対応する機能・画面
通知（アラーム）	アラームで指定した時刻になったときのアラーム画面
スケジュール帳	スケジュール帳
通知（スケジュール）	スケジュールで指定した日時になったときのアラーム画面
音声メモ	音声メモ
電卓	電卓
メモ帳	メモ帳
64Kデータ通信	64Kデータ通信
PPPデータ通信	パソコンとつないだパケット通信
ソフトウェア更新	ソフトウェア更新
パターンデータ更新	パターンデータ更新

お知らせ

- 「マルチタスクの組み合わせ」で選択不可になっている組み合わせでは、画面を切り替えられません。

実行中のすべての機能を終了する

マルチタスクを実行中の全機能を一度に終了します。

1 マルチタスク中にTASK 📖を押し、「はい」を選択する

自動電源ON／OFF設定

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

お買い上げ時	自動電源ON：OFF　自動電源OFF：OFF

指定した時刻にFOMA端末の電源を自動的に入れるようにしたり、切るようにしたりします。

- 日付・時刻の設定が必要です。
- 自動電源ONと自動電源OFFを同時刻に設定できません。

〈例〉自動電源ONを設定するとき

1 待受画面でMENU 8 5 2を押す

- 自動電源OFFを設定するときは待受画面でMENU 8 5 3を押します。

2 各項目を選択して設定する

自動電源ON：自動電源ONを設定／解除します。
- 「OFF」に設定すると、「時刻」「繰り返し」は選択できません。

時刻：自動的に電源を入れる時刻を設定します。
- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

繰り返し：自動電源ONの繰り返しを設定します。
- 「OFF」に設定すると、指定した時刻に一度だけFOMA端末の電源が入った後、自動電源ONの設定は解除されます。

3 📖を押す

お知らせ

- アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定し、アラームやスケジュールアラームと自動電源ONを同時刻に設定すると、自動で電源が入った後にアラーム設定やスケジュールに設定した動作が行われます。
- PIN1コードON／OFF設定を「ON」に設定している場合は、自動電源ONによって指定した時刻に電源が入った後、PIN1コードの入力が必要です。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定している場合は、自動電源ONによって指定した時刻に電源が入った後、PIN2コードの入力が必要です。
- アラームやスケジュールアラームと自動電源OFFを同時刻に設定すると、アラーム設定やスケジュールに設定した動作が行われた後に電源が切れます。アラームが鳴り止んだ後にスヌーズ動作が開始すると、スヌーズ動作を解除した後に電源が切れます。
- 自動電源OFF設定を「ON」に設定しても、待受中以外のときに指定した時刻になった場合には、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了した後、電源が切れます。ただし、待受画面からの認証操作画面や、FOMA端末の電源を入れた際に表示されるPIN1コード、PIN2コード入力画面を表示中に指定した時刻になった場合は、電源は切れます。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、自動電源ONの設定も解除してください。

アラーム設定

指定した時刻にアラームを鳴らす

指定した時刻になったことを、アラームや振動などでお知らせします。1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、毎週同じ曜日に行うかを選択できます。また、アラーム、着信ランプの点灯、バイブレータ動作などを設定できます。

- 日付・時刻の設定が必要です。

1 待受画面でMENU 7 3を押す

2 1～9を押す

- アラームは9件登録できます。登録済みのアラームには、タイトルの左に が表示されます。

■ アラームを設定／解除するとき

タイトルにカーソルを合わせ、MENUを押す

- 押すたびに設定／解除されます。

■ アラームを編集するとき

①アラーム一覧から編集するアラームタイトルを選択する

②アラーム設定を編集する

3 各項目を選択して設定する



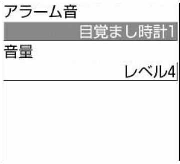
時刻　：アラームを設定する時刻を入力します。
- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

繰り返し：1～3を押してアラームの繰り返し設定を選択します。
- 「曜日指定」を選択したときは、曜日選択欄を選択し、アラームを鳴らす曜日を選択して を押します。

タイトル：アラーム設定のタイトルを入力します。
- 全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。
- お買い上げ時のタイトルは、「アラーム1～9」に設定されています。
- タイトルが空白のアラームは設定できません。

次ページへ続く

4 [キー]を押して音設定画面に切り替え、各項目を選択して設定する



アラーム音：「iモーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラーム音を動画／ｉモーションまたはメロディから選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P360
メロディ一覧の見かた→P376

音量：アラームの音量を選択します。
- 音量の調整方法→P66

5 [キー]を押してその他設定画面に切り替え、各項目を選択して設定する



バイブレータ：アラームの日時になったときの振動を設定します。
- バイブレータのパターン→P121

イルミネーションパターン
：アラームの日時になったときの着信ランプのイルミネーションパターンを設定します。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。

イルミネーションカラー
：アラームの日時になったときの着信ランプの点灯色を設定します。

6 [キー]を押してアラームを登録する

- アラーム設定を設定すると、待受画面に[アイコン]または[アイコン]（スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに[アイコン]または[アイコン]（スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

指定した時刻になると



ディスプレイに左の画面（または設定した動画／ｉモーション）が表示され、設定した音量でアラームが鳴ります。また、イルミネーションやバイブレータを設定している場合は、その設定に従って動作します。
FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにアラームの画面と時刻が表示されます。

- アラームが鳴っているときに[電源キー]を押すとアラームなどが止まり、鳴る前の画面に戻ります。
- アラームが鳴っているときに約1分間何も操作をしないか、[電源キー]またはサイドキー［▼］以外を押すと、アラームなどが止まり、「1分間鳴った後、4分間停止」する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。このとき、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されます。アラームが鳴っているときに音声電話やテレビ電話の着信があったときにも、同様にスヌーズ動作になります。
- 指定した時刻に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。

通話中の場合	アラームではなく警告音が鳴り、アラーム画面が表示されます。また、バイブレータの振動で通知する設定になっていても、バイブレータは動作しません。 • 通話保留中の場合は保留解除後に上記動作となります。
電源が入っていない場合	アラームは鳴りません。鳴らしたい場合は、アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。
データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話の発着信、切断中の場合	動作終了後にアラームが動作します。

お知らせ

- マナーモード中はアラームが鳴らず、アラーム設定で設定しているバイブレータが動作し、着信ランプが点灯または点滅します。ただし、オリジナルマナーモード設定で、バイブレータとアラーム／スケジュール音を「ON」に設定している場合は、アラーム設定に従って動作します。
- FOMA 端末を折り畳んでいるときにアラームを止めるには、サイドキー［▲］を押してください。サイドキー［▼］を押してもアラームは止まりません。
- 同時刻に複数のアラームを設定していると、アラーム一覧の最も小さい項目番号に設定しているアラームが動作します。
- アラームとスケジュールアラームが同じ日時に設定されていると、最初にアラームを通知する画面が表示されますがすぐにスヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。□を押すとスケジュールアラームは終了しますが、アラームのスヌーズ動作は継続されます。
- アラームを指定した時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームが数秒遅れることがあります。

アラーム自動電源ON設定

アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する

お買い上げ時	OFF

アラーム設定やスケジュールで指定した日時に電源が入っていなかったとき、電源を自動的に入れてアラームが鳴るように設定します。

1 待受画面で MENU 8 5 5 を押す

2 1 を押す

- アラームが鳴る日時に自動的に電源を入れないようにするには 2 を押します。

お知らせ

- PIN1 コード ON／OFF 設定を「ON」に設定している場合は、アラーム設定やスケジュールで指定した日時に電源が入りアラームが鳴り止んだ後、PIN1 コードの入力が必要です。
  このときアラームに、ダウンロードしたメロディまたは i モーションを設定していても、お買い上げ時に登録されているメロディの「目覚まし時計 1」が鳴ります。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定している場合は、アラーム設定やスケジュールで指定した日時に電源が入りアラームが鳴り止んだ後、PIN2 コードの入力が必要です。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、アラーム自動電源 ON の設定も解除してください。

スケジュール帳

スケジュールを管理する

仕事の予定などを登録します。指定した日時になると画面表示やアラームでお知らせします。

カレンダーを表示する

1 待受画面で を1秒以上押す



カレンダー画面

カーソル　用件アイコン

当日はピンク、土曜日は青、休日・祝日は赤で表示されます。

- 複数のスケジュールが設定されている日は、最も早い時刻に登録されているスケジュールの用件アイコンが表示されます。
- 繰り返しのスケジュールが設定されている日は、右上に◥が、長期間スケジュールが設定されている日は、右上に◺が表示されます。
- を押して日付を移動します。を押すとデイリービュー画面が表示されます。
- を押して前月、を押して翌月に切り替えます。
- カレンダーは、前回終了したときの設定で表示されます。

■ 特定の日を指定して表示するとき

①カレンダー画面で を押す

②年月日を入力する

- 当日に戻すときは を押します。
- デイリービュー画面から操作する場合は を押します。当日の日付に戻す場合は を押します。

お知らせ

- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- スクリーン設定により、表示される色は異なる場合があります。
- カレンダーの祝日設定は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年6月22日・法律第59号）」に基づいています（2005年5月現在）。ただし、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、変更しなければならない場合があります。また、上記法律は2003年1月から施行されていますが、2002年までの海の日と敬老の日については改正前の日付では表示されないため、ご注意ください。
- 休日や祝日を設定できます。→P433

カレンダーの表示形式を設定する<カレンダーモード設定>

お買い上げ時	動作モード：マンスリーモード　表示モード：ノーマルモード

1 待受画面で を1秒以上押す

2 を押す

3 各項目を選択して設定する

動作モード：カレンダーの表示方法を設定します。
- 「マンスリーモード」に設定すると、1か月ごとに画面が切り替わります。
- 「スライドモード」に設定すると、1週間ごとに画面がスクロール表示されます。

表示モード：1週間の始まり（左側に表示）の曜日を設定します。
- 「ノーマルモード」に設定すると、日曜日になります。
- 「ビジネスモード」に設定すると、月曜日になります。

4 [キー] を押す

設定したカレンダーモードでカレンダーが表示されます。

休日を設定する<休日設定>

会社や学校の休日を設定します。
- 最大30件登録できます。

日にちを指定して休日を設定する

1 待受画面で [キー] を1秒以上押す

2 休日にする日にカーソルを合わせ、[MENU][6][2][1] を押す

- 休日に設定された日付の色が変わります。
- 毎年繰り返して休日にするときは [MENU][6][2][2] を押します。

■ 休日設定を解除するとき

休日設定を解除する日にカーソルを合わせ、[MENU][6][2][3] を押す
- すべての休日設定を解除するときは [MENU][6][2][4] を押します。

■ 曜日を指定し、休日を設定するとき

① **[MENU][6][3] を押す**

② **[1]～[7] を押して休日に設定する曜日を選択する**
- お買い上げ時は、日曜日が休日に設定されています。
- 日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除したりすると、ガイド行に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときは [MENU] を押します。

③ **[キー] を押す**
- 曜日を1つも選択しない状態で登録すると、自動的に日曜日が休日に設定されます。

祝日を設定する<祝日設定>

祝日を変更したり、新規に登録したりできます。
- 最大5件新規登録できます。

1 待受画面で [キー] を1秒以上押す

2 [MENU][6][4] を押す

■ 祝日を変更するとき

変更する祝日を選択し、操作4に進む

■ 祝日を削除するとき

削除する祝日にカーソルを合わせて [MENU] を押し、「はい」を選択する
- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

次ページへ続く

3 を押す

4 各項目を選択して設定する

祝日名：祝日名を入力します。
- 全角で最大11文字、半角で最大22文字入力できます。
- お買い上げ時に設定されている祝日の祝日名は変更できません。

表示　：設定した祝日を表示するかしないかを選択します。
- 「OFF」を選択すると祝日を表示しません。また、日付は設定できません。

日付　：祝日に設定する日付を入力します。
- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、「カスタマイズ」を選択してから日付を入力してください。

5 を押す

スケジュールを登録する

仕事や遊びの予定などを登録します。指定した日時になると画面表示やアラームでお知らせします。
- 最大300件登録できます。同じ日に複数のスケジュールを登録できます。
- 日付・時刻の設定が必要です。

1 待受画面で を1秒以上押す

2 スケジュールを登録する日にカーソルを合わせ、 を押す

- デイリービュー画面で を押しても、スケジュールを登録できます。

3 各項目を選択して設定する



（用件アイコン）
：用件アイコンを選択します。
- 選択したアイコンがスケジュールの先頭に表示されます。

予定（内容欄）：選択した用件アイコンに対応した内容が表示されます。必要に応じて変更します。
- 内容変更後にアイコンを変更しても、内容は変更されません。
- 全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

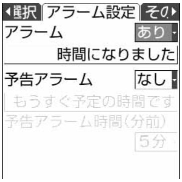
終日：時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは を押します。
- 終日に設定しないときは を押します。
- 終日に設定すると、デイリービュー画面のスケジュールの日付・時刻表示部分には「終日」と表示されます。長期間スケジュールを終日に設定すると、日付の後に「終日」と表示されます。
- 終日に設定した場合は日時を設定できません。

開始日時：スケジュールの開始日時を入力します。
- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。2060年12月31日まで設定できます。
- 時刻は24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

終了日時：スケジュールの終了日時を入力します。
- 日時の入力方法は開始日時と同じです。

要約・メモ：スケジュールの詳細などを入力します。
- 全角で最大300文字、半角で最大600文字入力できます。

4 を押してアラーム設定画面に切り替え、各項目を選択して設定する



アラーム　：アラームを設定するときは 1 を押します。
アラーム選択から「i モーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラームを動画／ｉモーションまたはメロディから選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P360
メロディ一覧の見かた→P376
- アラームを設定しないときは 2 を押します。

予告アラーム：スケジュールの開始日時より前にアラームを設定するときは 1 を押します。
- 予告アラームの選択方法はアラームと同じです。

予告アラーム時間（分前）
：予定の何分前に予告アラームを鳴らすかを、1 ～ 5 を押して設定します。

5 を押してその他の設定画面に切り替え、各項目を選択して設定する



繰り返し：1 ～ 6 を押してスケジュールの繰り返し設定を選択します。
- スケジュールの開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返し設定を「毎月」または「毎年」を選択した場合など該当する日が存在しない月や年には、その月、年の月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となります。
- 「曜日指定」を選択したときは、曜日選択を選択し、アラームを鳴らす曜日を選択して を押します。

イメージ：スケジュールアラーム画面にイメージを表示するときは、1 を押して画像選択から静止画を選択します。
- 画像一覧の見かた→P348
- Flash画像は設定できません。

6 を押してメンバーリスト選択に切り替える

7 「<メンバーリスト選択>」を選択し、電話帳から登録するメンバーを選択する

- 最大5名登録できます。登録したメンバーには、メンバーリストから電話をかけたりメールを送信したりできます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるには を押します。
- 電話帳の1件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URLが登録されます。
- メンバーを削除するときは、削除するメンバーにカーソルを合わせて を押します。

8 [メニューキー]を押す

- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面に[アイコン]または[アイコン]（アラーム設定も設定しているとき）が表示されます。
  FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに[アイコン]または[アイコン]（アラーム設定も設定しているとき）が表示されます。

待受画面から簡単なキー操作でスケジュールを登録するには

① 待受画面でスケジュールを登録する日時を8桁の数字で入力し、[メニューキー]を押す
- 6月28日9時1分の場合、[0][6][2][8][0][9][0][1]と入力します。
- 当日の時刻を入力するときは、時間2桁、分2桁の4桁を入力します。

② スケジュールを登録する

お知らせ

- プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、認証操作が必要です。
- スケジュール帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルを利用して、パソコンに保管することもできます。
- miniSDメモリーカードへのコピー、バックアップ→P384
- スケジュールを知らせる画面は、アラーム設定のアラーム・予告アラームで映像のある動画／ｉモーションを選択するか、「その他の設定」のイメージで画像を選択すると変更できますが、両方で設定を行った場合は後からの設定が有効になります。このとき、アラームに音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されているときに後からイメージを設定した場合は、アラームが標準のメロディになります。イメージが設定されているときに後から音声と映像のある動画／ｉモーションをアラームに設定した場合は、イメージが「なし」になります。

指定した日時になると



ディスプレイに日時、スケジュールの内容、設定したイメージや動画／ｉモーションが表示され、電話着信音量調整で設定した音量でアラームが鳴ります。また、イルミネーション設定やバイブレータ設定で電話着信時の動作を設定している場合は、その設定に従って動作します。
FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「スケジュールアラーム」というメッセージ、スケジュールの内容、アラーム起動時刻、イメージが表示されます。

- 予告アラームを設定していると、開始日時の前に予告アラームが鳴ります。
- アラームが鳴っているときに[電源キー]を押すとアラームなどが止まり、鳴る前の画面に戻ります。
- アラームが鳴っているときに1分間何も操作しないか、[電源キー]またはサイドキー［▼］以外を押すと、イメージを設定していた場合はディスプレイの表示はそのままで、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されてアラームなどが止まります。指定した日時に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。

通話中の場合	設定したアラームではなく、警告音が鳴り、スケジュールアラーム画面が表示されます。このとき、バイブレータは動作しません。 • 通話保留中の場合は保留解除後に上記動作となります。
電源が入っていない場合	アラームは鳴りません。鳴らしたい場合は、アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。
データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話の発着信、切断中の場合	動作終了後にアラームが動作します。ただし、データ通信でスケジュールデータを受信した場合は動作しません。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

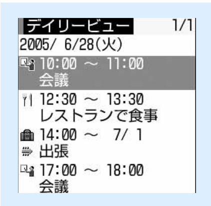
お知らせ

- マナーモード中はアラームが鳴らず、バイブレータは「パターンA」で動作します。オリジナルマナーモード中は、バイブレータとアラーム／スケジュール音、電話着信音量の設定に従って動作します。
- イメージにパラパラマンガ、連写画像を設定している場合は、最初のコマが表示されます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときにアラームを止めるには、サイドキー［▲］を押してください。サイドキー［▼］を押してもアラームは止まりません。
- 同じ日時に複数のスケジュールを設定している場合、アラームなどを停止してから、[左右キー]を押すと、同じ日時に設定していた他のスケジュール内容を確認できます。
- スケジュールアラームとアラームが同じ時刻に設定されていると、最初にアラームを通知する画面が表示されますがすぐにスヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。[キー]を押すとスケジュールアラームは終了しますが、アラームのスヌーズ動作は継続されます。
- スケジュールアラームを設定した日時にキャラ電を表示している場合は、アラームが数秒遅れることがあります。

登録したスケジュールを確認する

登録したスケジュールを表示します。表示した画面から、スケジュールの追加や変更、削除を行います。

1 待受画面で[スケジュールキー]を1秒以上押し、確認するスケジュールの登録日を選択する



デイリービュー画面

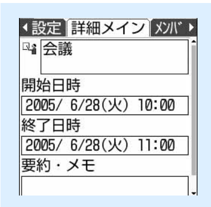
- デイリービュー画面で[左右キー]を押すと、日付が切り替わります。

■ 用件の種類を指定してスケジュールを表示するとき

①[スケジュールキー]を1秒以上押し、[MENU][3][2]を押す
- 全用件表示にするときは[MENU][3][1]を押します。

②用件アイコンを選択する
- デイリービュー画面から操作する場合は、[MENU][4][2]を押します。
- 全用件表示に戻す場合は[MENU][4][1]を押します。

2 確認するスケジュールを選択する



スケジュール詳細画面

■ スケジュールを変更するとき

①スケジュール詳細画面で[スケジュールキー]を押す
- デイリービュー画面から操作する場合は、[MENU][2]を押します。

②スケジュールの内容を変更し、[スケジュールキー]を押す

③「はい」を選択する

お知らせ

- シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモード中のみ表示されます。
- 表示中のスケジュール内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。

スケジュールをコピーして貼り付ける

スケジュールをコピーして別の日のスケジュールとして貼り付けます。
- 長期間スケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定されていた日付分のスケジュールが貼り付けられます。
- コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

1 **待受画面で［スケジュール］を1秒以上押し、コピーするスケジュールの登録日を選択する**

2 **コピーするスケジュールにカーソルを合わせ、［MENU］［6］［1］を押す**

スケジュールがコピーされます。

3 **［クリア］を押し、カレンダー画面を表示させる**

4 **スケジュールを貼り付ける日にカーソルを合わせ、［MENU］［5］を押す**

スケジュールが貼り付けられます。
- デイリービュー画面から操作する場合は、［MENU］［6］［2］を押します。

スケジュールからメールを作成する

スケジュールをｉモードメールの本文として送信します。
- 操作する画面によって、送信できるスケジュールの件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

操作する画面／送信件数	カレンダー	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1件	×	○	○
1日分／全件※	○	○	×

※：登録されているすべてのスケジュール（過去のスケジュールも含む）が送信されます。

- スケジュールはメール本文にDate To形式で設定されます。→P454
- メール本文の容量を超えたスケジュールは、超過した分が削除されます。
- 用件別に表示されているときは、表示されている用件だけがメール送信の対象になります。
- シークレット属性が設定されているスケジュールを送信するときは、シークレットモードを起動してください。

〈例〉デイリービュー画面から1件のスケジュールをメール送信するとき

1 **待受画面で［スケジュール］を1秒以上押し、メール送信するスケジュールの登録日を選択する**

- カレンダー画面から操作する場合は［MENU］を押し、「メール作成」→「1日送信」または「全件送信」を選択します。スケジュール詳細画面から、［メール］を押してもｉモードメールを作成できます。

2 メール送信するスケジュールにカーソルを合わせ、を押す



- 選択した日に登録されているすべてのスケジュールをメール送信するときはを押します。
- 登録されているすべてのスケジュールをまとめてメール送信するときはを押します。
- ｉモードメールの作成・送信方法→P245

スケジュールを削除する

スケジュールを次のように1件または複数件まとめて削除できます。

○：実行可　×：実行不可

操作する画面 / 削除件数	カレンダー	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1件	×	○	○
1日分／前日まで／全件	○	○	×

- 繰り返し設定されているスケジュールは、カレンダー画面からは「全件削除」、デイリービュー画面からは「1件削除」または「全件削除」、詳細画面からは「削除」を選択して削除します。

〈例〉デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

1 待受画面でを1秒以上押し、削除するスケジュールの登録日を選択する

- カレンダー、スケジュール詳細画面から操作する場合はを押し、「削除」を選択します。

2 を押す

- 1件のみ削除するときは、削除するスケジュールを選択し、を押します。

3 ～を押す

- 全件削除するときはを押し、認証操作を行います。ただし、シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモード中のみ削除されます。
- 選択した日を含む長期間スケジュールを削除するときは、またはを押し、「長期間も削除」を選択します。なお、「前日まで削除」を選択した場合でも、長期間スケジュールが前日にかかっているときには、当日以降にかけてのスケジュールもすべて削除されます。

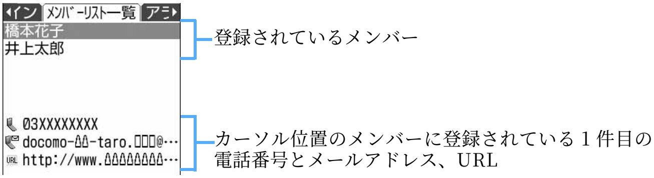
4 「はい」を選択する

メンバーリストを利用する

スケジュールに登録されているメンバーリストを選択して、電話をかけたり、ｉモードメールを作成したりします。また、メンバーリストの電話帳データに登録されているURLからサイトを表示できます。

1 待受画面でを1秒以上押し、利用するスケジュールの登録日を選択する

2 利用するスケジュールを選択し、を押してメンバーリスト一覧画面を表示する



- シークレット属性が設定されているメンバーは、シークレットモード中以外では名前と詳細情報が「*」で表示されます。また、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、すべてのメンバーの名前と詳細情報が「*」で表示されます。

3 電話帳データを利用する

■ 音声電話またはテレビ電話をかけるとき

メンバーにカーソルを合わせ、音声電話のときは、テレビ電話のときはを押す

表示されている電話番号に音声電話またはテレビ電話をかけます。

- 発信者番号の通知／非通知や通信速度を選択するときは、MENUを押して「カスタム発信」を選択します。
- メンバーを選択してまたはを１秒以上押すと、スピーカーホン機能を利用した通話ができます。

■ ｉモードメールを送信するとき

① **メンバーにカーソルを合わせ、を押す**

選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に設定されます。

- メンバー全員にｉモードメールを送信するときはMENU52を押します。全員のメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に設定されます。

② **ｉモードメールを編集し、送信する**

- ｉモードメールの作成・送信方法→P245

■ サイトを表示するとき

メンバーにカーソルを合わせ、MENU6を押す

お知らせ

- 電話帳データに登録されている２件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して電話帳の詳細画面（電話またはメール）を表示します。ここから、利用したい電話番号またはメールアドレスにカーソルを合わせて音声電話やテレビ電話をかけたり、ｉモードメールを作成したりできます（→P107、P245）。ただし、電話帳の詳細画面からｉモードメールを作成するとスケジュールは本文に設定されず、Date To機能は使用できません。
- メンバーリスト一覧画面でを押すと、メンバーリスト選択画面が表示され、メンバーを登録、削除できます。
- 電話帳データの発番号設定が「設定なし」に設定されている場合は、発信者番号通知設定の設定に従って音声電話またはテレビ電話がかかります。

他人に見られたくないスケジュールを守る<シークレット属性>

他人に見せたくないスケジュールにシークレット属性を設定します。シークレット属性を設定したスケジュールは、シークレットモード中しか表示できなくなります。

1 シークレットモードを起動する

- シークレットモードの起動については、「シークレットモードを起動する」を参照してください。→P161

2 待受画面で を1秒以上押し、利用するスケジュールの登録日を選択する

3 設定するスケジュールにカーソルを合わせ、MENU 9 を押す



選択されているスケジュールにシークレット属性が設定されていると が点滅します。

- 解除するときは、スケジュールにカーソルを合わせ、MENU 9 を押します。

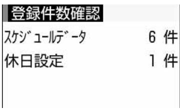
お知らせ

- シークレットモード中のみシークレット属性の設定／解除ができます。
- シークレットモード中に作成したスケジュールは、自動的にシークレット属性が設定されます。
- シークレット属性が設定されているスケジュールのアラームと予告アラームは、シークレットモード中のみ動作します。

スケジュールの登録件数を確認する<登録件数確認>

登録したスケジュールと休日設定の件数を確認します。

1 待受画面で を1秒以上押し、MENU 7 を押す



- を押すとカレンダーに戻ります。

カスタムメニュー

よく使う機能を登録する

あらかじめ登録されているメニュー（ノーマルメニュー）の他に、よく使う機能や電話帳データなどのメニュー項目を自由に登録して、自分だけのオリジナルのメニューを作れます（カスタムメニュー）。

- カスタムメニューに登録した機能は、待受画面で対応するダイヤルキー（1 ～ 9）を1秒以上押すことで起動できます。ただし、メニュー項目が人物やグループのとき、および2階層目以降にメニューがある機能のときは、ダイヤルキーを1秒以上押しても起動できません。

テンプレートを読み込む

ここではあらかじめ登録されているテンプレートを読み込む手順を説明します。

- カスタムメニューには、あらかじめ4種類のテンプレートが用意されています。
- テンプレートを読み込んでからメニュー項目を追加または削除することで、オリジナルのカスタムメニューを作成することもできます。
- テンプレートを読み込むと、カスタムメニューの登録内容はすべて上書きされます。

1 待受画面で MENU を押す

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で MENU を押します。

2 [MENU][7][1]を押し、[1]～[4]を押す

データ／セキュリティ（お買い上げ時）
：マイピクチャ、iモーション、マイドキュメント、開閉ロック、プライバシーモード設定、遠隔ロック、ICカードソフト一覧、ICカードロック、指紋設定

シンプルメニュー：電話帳／履歴、メール、着信音設定、着信音量調整、受話音量調整、データBOX、iモード

ユーザデータ：Bookmark、画面メモ、電話帳検索、スケジュール帳、アラーム、メモ帳、単語登録、定型文登録、miniSDカード

メール：新規メール、チャットメール、メールグループ、テンプレート読込み、受信メール

3 認証操作を行う



テンプレートが読み込まれ、カスタムメニューに設定されます。

- すでにカスタムメニューが設定されているときは新しいカスタムメニューにするかどうかの確認画面が表示されるので、「はい」を選択してください。

カスタムメニューを作成する

- カスタムメニューの1つの階層には最大9個のアイコンが登録できます。
- テンプレートのうち、データ／セキュリティとユーザデータには9個のアイコンが登録されています。このテンプレートが選択されている場合など、すでに9個のアイコンが登録されている場合は、操作2の「登録済みの項目に上書き登録するとき」の操作方法で不要な項目に上書き登録します。
- すべての項目を新規に登録する場合は、リセットします。→P445

1 待受画面で[MENU][スケジュール]を押す

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で[MENU]を押します。

2 項目を登録する

■ 人物を登録するとき

- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモード中のみ表示されます。
- Flash画像、動画やｉモーションを設定している電話帳データをカスタムメニューに登録すると、Flash画像、動画やｉモーションではなく、あらかじめ登録されている人物アイコンがメニュー画面に表示されます。

① [MENU][1][1]を押す
- 検索方法を変えて検索し直すときは、[MENU]を押します。
- 前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

② 登録する人物を選択する



人物が登録されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ 機能を登録するとき

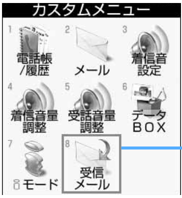
〈例〉タイルアイコン表示のとき

①［MENU］［1］［2］を押す



- 機能選択の画面は、メニュー設定のノーマルの設定に従った表示形式で表示されます。

②登録するメニュー項目にカーソルを合わせ、［ ］を押す



「受信メール」を登録した場合

メニュー項目が登録されます。

- 下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目を選択するか、ショートカット操作で登録できます。

■ グループを登録するとき

①［MENU］［1］［3］を押し、グループ名を入力する

- 全角で最大9文字、半角で最大18文字入力できます。

②［ ］を押す

■ グループ内にメニュー項目を登録するとき

カスタムメニューは3階層までです。すでに2階層目を表示しているときは、機能または人物だけが登録できます。

①グループを選択する

グループ内の項目が表示されます。

- 空のグループを選択したときは項目選択画面が表示されます。

②追加登録または上書き登録の操作を行う

■ 登録済みの項目に上書き登録するとき

①上書きする項目にカーソルを合わせ、［MENU］［2］を押す

項目選択画面が表示されます。

②［1］～［3］を押し、登録する項目を選択する

- グループに上書きすると、グループ内の項目はすべて削除されます。

> **お知らせ**
>
> ・登録した項目を入れ替えたり、アイコンを変更したりできます。→P444

カスタムメニューを利用する

カスタムメニューを利用して、機能を実行したり、人物に電話をかけたり、メールを送ったりします。

- カスタムメニュー表示中もショートカット操作ができます。ショートカット操作の番号は、ノーマルメニューと同じ方法と、カスタムメニューの項目位置に対応したダイヤルキーで行う方法のどちらかを選択できます。

1 **待受画面で［MENU］［ ］を押す**

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で［MENU］を押します。

2 項目を選択する



機能
- 機能が実行されます。下位の階層があるメニューを選択したときは、メニュー項目が表示されます。

人物
- カスタム発信や詳細情報の確認などができます。

グループ
- グループ内に登録された項目が表示されます。

人物を利用する

1 待受画面で を押す

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で を押します。

2 人物にカーソルを合わせ、目的に応じた操作を行う

■ 電話をかけるとき

音声電話のときは 、テレビ電話のときは を押す

- 電話番号が2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（電話）画面で電話番号を選択します。
- 電話番号が1件のみ登録されているときは、 または を1秒以上押すと、スピーカーホン機能を利用した通話ができます。

■ iモードメールを送信するとき

を押す

- メールアドレスが2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（メール）画面でメールアドレスにカーソルを合わせて または を押します。
- メールアドレスが登録されていないときは、宛先は空欄になります。

■ SMSを送信するとき

を1秒以上押す

- 電話番号が2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（電話）画面が表示されます。
  電話番号にカーソルを合わせて または を押します。
- 電話番号が登録されていないときは、宛先は空欄になります。

お知らせ

- シークレット属性が設定されている電話帳データの人物は、シークレットモード中以外はアイコンは に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- PIMロック中、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、人物の選択はできません。アイコンが に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- シークレット属性とPIMロックの両方が設定されている場合は、PIMロック中のアイコン、動作になります。

カスタムメニューを編集する

カスタムメニューに表示される項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更や項目の削除を行います。

1 待受画面で を押す

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で を押します。

2 編集する項目にカーソルを合わせ、目的に応じた操作を行う

- グループ内の項目を編集するときは、グループを選択し、グループ内の画面を表示します。

■ 項目を入れ替えるとき

①を押す

②入れ替え先の項目を選択し、「はい」を選択する

■ アイコンを変更するとき

を押し、アイコンを選択する

- アイコンを元に戻すにはを押します。

■ グループ名を変更するとき

①を押す

②グループ名を入力し、を押す

■ 項目を削除するとき

を押し、「はい」を選択する

- グループを削除するとグループ内の項目も削除されます。

カスタムメニューをリセットする

カスタムメニューのメニュー項目をすべて削除します。カスタムメニューを新規に作成する際に行います。

1 **待受画面でを押す**

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面でを押します。

2 **を押す**

3 **認証操作を行い、「はい」を選択する**

カスタムメニューの登録内容がすべて削除されます。

- を押すと、項目選択画面が表示されます。項目を選択すると、人物、機能、グループの登録ができます。→P442

プロフィール情報

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

お買い上げ時	FOMAカードの設定に従う

お客様の電話番号、名前、メールアドレスなどを登録します。

プロフィール情報を登録する

1 **待受画面でを押す**

- 自局電話番号には、ご契約の電話番号が設定されています。

2 **を押し、認証操作を行う**

3 **名前やメールアドレスなどを入力する**



- 各項目の入力方法は、「FOMA端末に電話帳を登録する」の操作3～4と同じです。ただし、グループは設定できません。→P98
- すでに入力されている項目は、その内容が表示されます。
- 1件目の電話番号には、ご契約の電話番号（自局電話番号）が表示されます。変更はできません。

その他の便利な機能

4 を押し、その他の情報を設定する

- 初期登録時はいずれも入力されていません。
- すでに入力されている項目は、その内容が表示されます。
- 各項目の入力方法は、「FOMA 端末に電話帳を登録する」の操作 5 と同じです。→P99

5 を押す

お知らせ

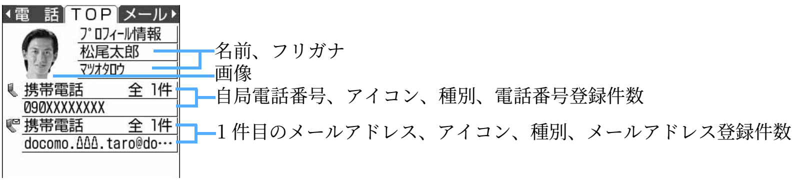
- 自局電話番号はFOMA カードに登録されています。それ以外の項目を登録すると、FOMA 端末に記録されます。
- 圏外と表示されている場合でもプロフィール情報の登録・変更はできます。
- プロフィール情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール情報のメールアドレスは変更されません。
  - メールアドレスを変更する→P239

プロフィール情報の詳細を表示する

1 待受画面で を押す

2 を押し、認証操作を行う

- すでに設定されている内容が表示されます。
- 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。 を押すと、名前、フリガナ、および電話番号とメールアドレスの各 1 件目が表示されます。



■ プロフィール情報を修正するとき

を押し、プロフィール情報を修正する

■ 登録内容をリセットするとき

を押し、「はい」を選択する

お知らせ

- プロフィール情報に記録されている情報を利用して、電話帳と同様にさまざまな操作ができます。
  - 電話帳データを検索して利用する→P104
  - プロフィール情報を転送する（赤外線プロフィール送信）→P402

通話中／待受中音声メモ

相手の声や自分の声を録音する

- 通話中音声メモと待受中音声メモは、それぞれ 1 件につき最大 30 秒、合わせて 4 件録音できます。
- 電波の状態により、通話中音声メモの録音内容が途切れる場合があります。また、圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。

通話中に相手の声を録音する

通話中音声メモでは通話相手の声だけが録音されます。テレビ電話の画像は撮影されません。

1 通話中にサイドキー［▲］を1秒以上押す

録音が開始されます。





録音時間の経過

音声電話中音声メモ　　テレビ電話中音声メモ

- 残り約5秒になると、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります（この予告音は録音されません）。また、録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります（録音開始時にこの音は鳴りません）。
- 録音を途中で停止するときはサイドキー［▲］を1秒以上押します。
- 通話中に[TASK][4][4][2]を押しても、音声メモは録音できません。

待受中に自分の声を録音する

1 待受画面でサイドキー［▲］を1秒以上押し、[3]を押す



録音時間の経過

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

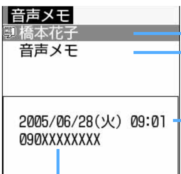
- 残り約5秒になると、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります（この予告音は録音されません）。また、録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは[電源]、[クリア]、[ ]のいずれかを押します。

音声メモを再生する

録音した音声メモを再生します。

1 待受画面でサイドキー［▲］を1秒以上押し、[4]を押す

音声メモ一覧には、通話中音声メモと待受中音声メモの両方が表示されます。



通話中音声メモ
相手の電話番号（通知されなかったときは発信者番号非通知理由）、または電話帳に登録した名前が表示されます。

待受中音声メモ

録音日時
日付・時刻が設定されていない場合は記録されません。

相手の電話番号
待受中音声メモの場合は、音声メモと表示されます。

次ページへ続く

2 再生する音声メモを選択する



再生時間の経過

音声メモが再生されます。
- 音声メモの再生を途中で停止するときは を押します。
- サイドキー［▲▼］または を押して音量を調整します。
- 再生中に を押すと音声メモがスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。もう一度 を押すと受話口から聞こえるようになります。

3 再生した音声メモを削除するかどうかを選択する

- 「はい」を選択すると、音声メモが削除されます。

■ 音声メモを削除するとき

削除する音声メモにカーソルを合わせ、 を押して「はい」を選択する
- 音声メモを全件削除するときは を押します。

■ 電話番号を電話帳に登録するとき

① 登録する通話中音声メモにカーソルを合わせ、 を押す
- 登録済みの電話帳に追加するときは、 または を押し、登録先の電話帳データを選択します。→P97、P101

② または を押し、名前やメールアドレスなどを登録する

お知らせ

- 通話中音声メモの場合、一覧画面で相手にカーソルを合わせて を押すと音声電話、 を押すとテレビ電話をかけられます。また、サブメニューのカスタム発信から発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりできます。
- 音声メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。
  FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合があります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

通話時間／通話料金

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの通話時間と通話料金を確認します。
- 通話時間は、音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間に分けて表示され、それぞれかけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0YEN」または「******」と表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードに蓄積されていますが、表示はできません。
- 通話時間および通話料金はリセットできます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の時間や料金とは異なる場合があります。
- 表示される通話料金に消費税は含まれていません。

通話時間を確認する

1 待受画面で MENU 8 4 1 を押す

直前通話時間	：直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の時間
積算通話時間（音声）	：音声電話で通話した積算時間
積算通話時間（テレビ電話）	：テレビ電話で通話した積算時間
積算通話時間（データ）	：データ通信を行った積算時間

- 以前に通話時間を積算リセットした場合は、その時点からの積算時間が表示されます。

■ 積算通話時間をリセットするとき

① [メニューキー] を押し、認証操作を行う

② リセットしたい通話時間を選択し、「はい」を選択する

- 音声電話、テレビ電話、データ通信すべての通話時間をリセットしたいときは、「全積算情報リセット」を選択します。
- 通話時間画面に戻るときは [メニューキー] を押します。

通話料金を確認する

1 待受画面で MENU 8 4 4 1 を押す

直前通話料金（音声）	：直前に行った音声電話の料金
直前通話料金（テレビ電話）	：直前に行ったテレビ電話の料金
直前通話料金（データ）	：直前に行ったデータ通信の料金 • 直前通話料金の情報がない場合は、「****** YEN」と表示されます。
積算通話料金	：音声電話、テレビ電話、データ通信の通話料金と通信料金の積算料金 • 以前に通話料金を積算リセットした場合は、その時点からの積算料金が表示されます。
前回リセット日時	：前回積算リセットした日時

■ 積算通話料金をリセットするとき

[メニューキー] を押して PIN2 コードを入力し、「はい」を選択する

積算通話料金を自動的にリセットする < 通話料金自動リセット設定 >

お買い上げ時	OFF

積算通話料金を毎月 1 日 0 時に自動的にリセットします。

1 待受画面で MENU 8 4 4 4 を押す

2 認証操作を行い、1 を押す

- 解除するときは 2 を押します。

3 PIN2 コードを入力する

お知らせ

- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
- FOMA端末の電源を切ると、直前通話時間は保持されますが、直前通話料金は「****** YEN」と表示されます。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金には、音声電話、テレビ電話ごとの合計額が表示されます。なお、切り替え中は、料金は加算されません。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しても、1日0時に電源が入っていないときや音声電話中、テレビ電話中の場合はリセットされません。それぞれ、電源が入った後、通話終了後にリセットされます。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定し、日付時刻設定で翌月以降の日時を設定したときは、その時点でリセットされます。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定すると、電源を入れるときにはPIN2コードの入力、日付時刻設定を行うときには認証操作が必要です。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しても、設定時と異なるFOMAカードに差し替えて電源を入れると設定は解除されます。設定時のFOMAカードを差し込んでも、設定は元の状態に戻りません。

通話料金の上限を通知する＜通話料金上限通知＞

お買い上げ時	通話料金上限通知：OFF

積算通話料金が設定した金額を超えたとき、アイコン表示などでお知らせします。

1 待受画面で MENU 8 4 4 2 を押し、認証操作を行う

2 各項目を選択して設定する

通話料金上限通知：上限金額を超えたら通知するかどうかを設定します。
料金上限（円）：上限金額を10～100000円の間で、1円の位は省略して入力します。
通知方法：アイコンとアラームで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。
アラーム音：通知に使うアラームをメロディから選択します。
アラーム時間（秒）：アラームが鳴る時間を1～60秒の間で設定します。

3 を押す

通話料金が上限を超えると



上限通知アイコン

- 通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイに ¥ が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるとき、通話や通信終了後にサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに ¥ が表示されます。
- 通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定した場合は、設定した料金の上限を超えた通話または通信が終了し、待受画面に戻ると設定したアラームが鳴り、ディスプレイに左の画面が表示されます。ただし、FOMA端末を折り畳んで通話や通信を行っている場合や、FOMA端末を折り畳んで通話を終了した場合は動作しません。
- アラームは、電話着信音量調整で設定した音量で鳴ります。
- アラームが鳴っているときにキー操作を行ったりFOMA端末を折り畳んだりすると、アラームが止まります。アラームが鳴っているときに他の機能が起動した場合も同様です。

上限通知アイコンを消去する <上限通知アイコン消去>

1 待受画面で MENU 8 4 4 3 を押し、認証操作を行う

2 「はい」を選択する

お知らせ

- 通知方法を「アラーム ＋ アイコン表示」に設定していても、次の場合はアラームは鳴らず、メッセージも表示されません。
  - ドライブモード中
  - 開閉ロック中
  - 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しているときに、1日0時に通話料金の上限を超える通話を行なった場合
- 通知方法を「アラーム ＋ アイコン表示」に設定していても、マナーモード中は上限通知のアラームは鳴りません。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの電話着信音量に従ってアラームが鳴ります。
- 通話料金上限通知を「ON」に設定すると、日付時刻設定を行うときに認証操作が必要です。
- 通話料金上限通知を「ON」に設定後に異なるFOMAカードに差し替えた場合でも、設定は保持されます。

電卓

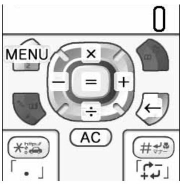
電卓として使う

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）ができます。

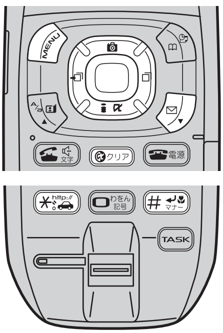
- 最大8桁入力できます。
- スケジュールやメモ帳の入力欄から電卓を利用し、その結果を元の画面の入力欄に貼り付けられます。→P519

1 待受画面で MENU 7 4 を押す

2 計算する



電卓画面



ダイヤルキー（0～9）と（×、÷、－、＋）を使って計算します。

- 入力した数字を1桁削除するときは を押します。
- 小数点を入力するときは ＊ を押します。
- 表示中の数字の＋と－を切り替えるときは ＃ を押します。
- 電卓画面には、端末のキーの働きが表示されます。

3 ●を押す

計算結果が表示されます。

- クリア を押すと計算結果が削除されます。

お知らせ

- 表示されている数値をコピーするには MENU 1 を押します。コピーされている数値を貼り付けるには MENU 2 を押します。コピーした数値は電源を切るまで記録され、メモやメール作成画面などの入力欄に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると数値は上書きされます。
- 計算結果の整数部分が8桁を超えるとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには CLR を押します。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。
- メモやメール作成画面などの入力欄から最大上位8桁の半角数字をコピーして、電卓画面に貼り付けられます。8桁を超えた分はコピーされません。
- 電卓画面に貼り付けた数値に続けて数字を入力できません。また、全角数字や数字以外の文字が含まれている場合は貼り付けられません。

メモ帳

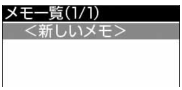
メモを作成する

大切な情報や覚書などを、メモ帳に入力できます。

- 最大50件登録できます。

1 待受画面で MENU 7 2 を押す

2 「<新しいメモ>」を選択する



3 メモ内容欄にメモ内容を入力する

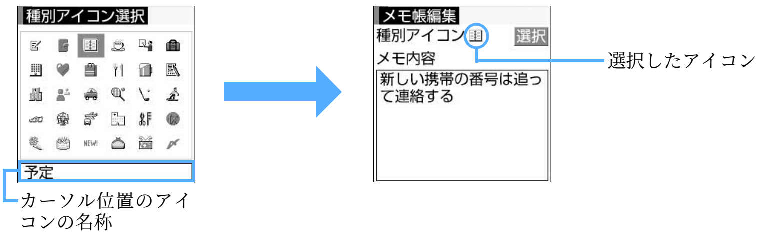


- 全角で最大300文字、半角で最大600文字入力できます。

■ 電卓で計算した数値を入力するとき

①文字入力画面で MENU 8 2 を押す
②計算を行い、□を押す

4 種別アイコンの「選択」を選択し、アイコンを選択する



5 □ を押す

- メモ内容が入力されていないときは登録できません。

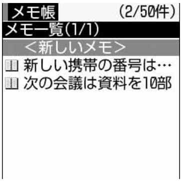
お知らせ

- メモ帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルを利用して、パソコンに保管することもできます。

メモを確認する

1 待受画面で MENU 7 2 を押す

2 確認するメモを選択する



- 表示中のメモ内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。
- ✉ を押すと、メモを修正できます。

■ メモを削除するとき

①削除するメモにカーソルを合わせ、MENU 2 を押す

- 全件削除するときは MENU 3 を押し、認証操作を行います。

②「はい」を選択する

■ メモからメールを作成するとき

メールの本文にするメモにカーソルを合わせ、MENU 4 を押す

メモからスケジュールを登録する<Date To 機能>

- メールの本文にDate To形式の記述が含まれている場合は、メールの本文をメモ帳にコピーすることでスケジュールへ登録できます。

1 待受画面で MENU 7 2 を押す

2 Date To形式で記述してあるメモを選択する

3 Date To形式の記述を選択する



4 スケジュールを登録する

Date To形式

Date Toはメモ内容に次の形式の文字列があるときに有効です。項目はすべて必須です。

〈例〉2005/06/28□17:00□～□2005/06/28□18:00□講習会 ↵

開始年月日　開始時刻　終了年月日　終了時刻　内容　改行までが内容とみなされます。

※□は半角空白を示します。画面には表示されません。

- 年月日と時刻はすべて半角文字で入力してください。
- 開始年月日、開始時刻、～（全角）、終了年月日、終了時刻、内容の間は半角空白で区切ります。
- 内容は全角で最大100 文字、半角で最大200 文字入力できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
- 年は西暦、時刻は24 時間制です。月、日、時、分が1 桁のときは前に0 を付ける必要はありません。
- 定型文を利用すると、簡単に現在日時のDate To形式の文をメモに入力できます。→P517

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に別売の平型スイッチ付イヤホンマイク（ステレオイヤホンセット含む）を接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりできます。

- スイッチを押してもテレビ電話はかけられません。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P23

- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをアンテナに近づけると、ノイズが入る場合があります。
- プラグは確実に差し込んでください。プラグが途中で止まっているなど差し込みが不完全な状態では、音が聞こえない場合があります。

スイッチを押して電話をかける

イヤホンスイッチ発信設定で設定した相手には、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで音声電話をかけられます。

イヤホンマイクからの発信を設定する <イヤホンスイッチ発信設定>

お買い上げ時	イヤホン自動発信設定：OFF

1 待受画面で MENU 8 6 4 3 を押す

2 イヤホン自動発信設定を選択し、1 を押す

- 解除するときは 2 を押し、操作5 に進みます。

3 電話帳メモリ番号を選択し、FOMA端末電話帳を検索する

4 設定する相手にカーソルを合わせ、□を2 回押す

5 ✉ を押す

その他の便利な機能

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

電話をかける

1 **「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す**

イヤホンスイッチ発信設定で設定した相手に音声電話がかかります。

2 **通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す**

- 電源を押しても通話を終了できます。

お知らせ

- イヤホンスイッチ発信設定で指定した電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に音声電話がかかります。
- イヤホンスイッチ発信設定で指定した電話帳にシークレット属性が設定されている場合は、スイッチを押して電話をかける前にシークレットモードを起動してください。
- 通話中に第三者の電話番号を入力し、スイッチを押しても電話はかけられません。スイッチを押すと、通話が終了するため、ご注意ください。
- FOMA端末とminiSDメモリーカード間でデータを移動またはコピーしている場合は、スイッチを押しても電話はかけられません。
- イヤホンスイッチ発信設定で設定した電話帳データを削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳データで上書きしたりすると、イヤホンスイッチ発信設定は解除されます。

スイッチを押して電話を受ける

1 **電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す**

- 着信音はイヤホン切替設定で設定した所から聞こえます。

2 **通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す**

- 電源を押しても通話を終了できます。

お知らせ

- オート着信機能が設定されていると、かかってきた電話をスイッチを押さずに自動で受けられます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続して通話中にFOMA端末を折り畳んだ場合の動作は、次のとおりです。
  - 通話中クローズ設定の設定に関わらず通話を継続
  - テレビ電話中の場合は、相手にはテレビ電話画像選択の代替画像で設定した静止画またはキャラ電を表示
  - 自画像にフレームを付けて送信中の場合は、フレームは解除され、相手にはテレビ電話画像選択の代替画像で設定した静止画またはキャラ電を表示
- キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合は、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチを1秒以上押して出られます。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける < オート着信機能設定 >

お買い上げ時	自動着信機能：OFF

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答できます。
音声電話またはテレビ電話を受けたとき、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。
- 通話中の着信に対しては動作しません。
- ドライブモード中は動作しません。

1 待受画面で MENU 8 6 4 2 を押す

2 自動着信機能を選択し、1 を押す

- 解除するときは 2 を押し、操作 4 に進みます。

3 自動着信機能時間（秒）欄を選択し、自動着信するまでの時間を入力する

- 0～120秒の範囲で入力します。

4 （メール/✉）を押す

お知らせ

- オート着信機能設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。
- テレビ電話をオート着信で受けた場合、テレビ電話画像選択の代替画像設定で設定された代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと同時に設定している場合、設定した呼出時間により優先順位が異なります。
- メモリ別着信拒否／許可やメモリ登録外着信拒否を設定しているときに、着信拒否の対象となる電話番号から着信があった場合は動作しません。

イヤホンからのみ着信音を鳴らす<イヤホン切替設定>

お買い上げ時	イヤホン＋背面スピーカー

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンからのみ鳴らすように設定します。

1 待受画面で MENU 8 6 4 1 を押す

2 2 を押す

- イヤホンとスピーカーの両方から着信音を鳴らすときは 1 を押します。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、設定に関わらずスピーカーから鳴ります。
- 「イヤホンのみ」に設定した場合でも、着信音は初めイヤホンのみから鳴りますが、20秒経過しても電話に出ないと背面スピーカーからも着信音が鳴ります。

NW検索方法
利用する通信事業者を設定する

お買い上げ時	検索方法：ネットワーク自動検索

FOMAサービスを提供する通信事業者を設定します。自動検索で設定するか手動設定するかを選択できます。手動選択にするときは、通信事業者を指定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で MENU 8 9 5 を押す

2 各項目を選択して設定する



検索方法：ネットワークの検索方法を設定します。
- 「ネットワーク手動選択」に設定したときは、「手動選択」を設定します。

手動選択：通信事業者を設定します。
- ドコモ以外の通信業者は選択できません（2005年5月現在）。
- ドコモ以外の通信業者を選択したときは、パケ・ホーダイの対象になりません。

3 を押す

設定状況確認
各種機能の設定状況を確認する

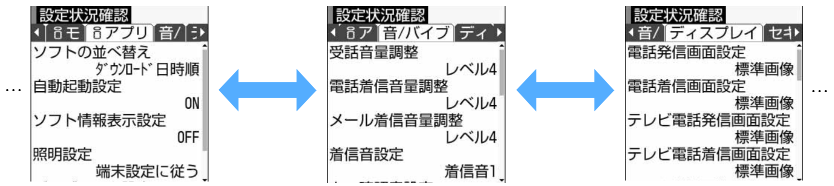
FOMA端末の各種設定状況を確認します。
- PIMロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。

1 待受画面で MENU 8 4 2 を押す

「音／バイブ」のメニューの各種設定状況が表示されます。

2 を押して各種設定状況を確認する

現在の画面



- を押すたびに、メニューが「音／バイブ」「ディスプレイ」「セキュリティ／その他」「時計」「発着信機能」「通話機能」「テレビ電話」「メール」「モード」「アプリ」の順に切り替わります。を押すと逆の順に切り替わります。

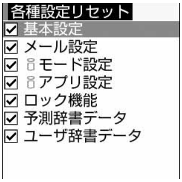
各種機能の設定をリセットする

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」を参照してください。
  「メニュー一覧」に記載されていない機能で、お買い上げ時の状態に戻る機能は次のとおりです。
  - マナーモード（基本設定を選択するとリセットされます）
  - ドライブモード（基本設定を選択するとリセットされます）
  - 予測辞書データ
  - ユーザ辞書データ（単語登録で登録したデータが削除されます）

1 待受画面で MENU 8 4 5 を押す

2 認証操作を行い、リセットする項目を選択する



- で選択☑と解除□が切り替わり、MENU で全選択または全解除できます（選択状況によってガイド行の表示が異なります）。

3 を押し、「はい」を選択する

お知らせ

- メニュー構成は本機能でリセットされませんが、アイコンデザインの「カスタム 1」「カスタム 2」を変更していた場合、それらはお買い上げ時の状態に戻ります。

登録データを一括して削除する

FOMA 端末に保存、登録、設定したデータを一括して削除します。

- 保護したデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
  - 電子マネー「Edy」以外のｉアプリ
  - キャラ電
  - データ BOX 内のマイピクチャの「デコメールピクチャ」と「アイテム」フォルダ内の画像
- 保存、登録した次のデータは削除されます。
  - メッセージ R/F、ｉモードメール、チャットメール（チャットメンバー設定含む）、SMS
  - メールテンプレート
  - メールグループ
  - ブックマーク
  - URL 入力
  - URL 履歴
  - 画面メモ
  - ラスト URL
  - ｉアプリ
  - ｉアプリの履歴表示
  - 電話帳データ
  - 着信履歴
  - リダイヤル
  - 伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
  - 音声メモ
  - データ BOX 内のマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメントの「プリインストール」フォルダ以外のデータ
  - キャラ電
  - バーコードリーダーで読み取ったデータ
  - 指紋認証登録
  - アラーム
  - スケジュール（登録、変更した祝日を含む）
  - メモ帳
  - 通話時間
  - 単語、定型文
  - USSD 登録
  - 応答メッセージ登録
  - プロフィール情報（自局電話番号以外）
  - 作成したフォルダ、アルバム
  - ソフトウェア更新（予約更新）

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P379

- 各種設定リセットの対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
  - メール振り分け設定
  - ブックマークのツータッチ登録
  - ｉアプリ（ｉアプリ一覧から設定する機能）
  - 伝言メモ設定
  - マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電、マイドキュメントの各動作設定
  - カメラ
  - ビデオカメラ
  - サウンドレコーダー
  - 赤外線通信のデータ送受信設定
  - バイリンガル
  - PIMロック
  - 端末暗証番号
  - プライバシーモード設定
  - 日付時刻設定
  - テレビ電話使用機器設定
  - 通話料金自動リセット設定
  - NW検索方法
  - 通話中着信動作選択
  - メニュー設定
  - 変更したフォルダ名

1 待受画面でMENU8 4 6を押す

2 認証操作を行い、「はい」を選択する

再起動中にデータ一括削除されます。

お知らせ

- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
  - おサイフケータイ対応ｉアプリとその関連データ
  - FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存、登録、設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- 機能ごとにお買い上げ時の設定に戻すには、各種設定リセットから行ってください。
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかるときがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- お買い上げ時に登録されているデータ、ｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P318

ネットワークサービス

FOMA 端末から利用できるネットワークサービス

FOMA 端末を便利に利用するために、次のネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	必要	有料	P462
キャッチホン	必要	有料	P464
転送でんわサービス	必要	無料	P465
迷惑電話ストップサービス	必要	無料	P467
番号通知お願いサービス	不要	無料	P468
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P469
英語ガイダンス	不要	無料	P469
サービスダイヤル	不要	無料	P469
追加サービス（USSD 登録）	不要	無料	P471

- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。→P471

- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では各ネットワークサービスの概要説明のみ記載しています。詳しい操作や注意事項については『ネットワークサービス操作ガイド』を参照してください。
- ネットワークサービスの開始や停止などの操作は、サービスエリア外や電波の届かない所では操作できません。電波状態のよい所で操作してください。

留守番電話

留守番電話サービスを利用する

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
日本全国どこからでも伝言メッセージを聞けます。

- 応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続し、伝言メッセージをお預かりします。待受画面のマークや着信履歴で、着信があったことをお知らせします。
- 留守番電話サービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。

お知らせ

- 伝言メッセージは 1 件あたり最長 3 分、最大 20 件録音でき、最長 72 時間保存されます。
- 留守番電話サービスを開始に設定していても、電話の発着信はできます。
- 着信中の音声電話を、手動で留守番電話サービスセンターに転送できます（→P60）。また、通話中にかかってきた電話も自動で留守番電話サービスセンターに転送できます。→P470
- テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスセンターに転送されません。
- 留守番電話サービスと転送でんわサービスの両方をお申し込みになっても、2 つのサービスを同時にはご利用になれません。転送でんわサービスを開始に設定すると、留守番電話サービスは、自動的に停止します（その後、転送でんわサービスを停止に設定しても、留守番電話サービスは自動的には再開しません）。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、番号通知お願いガイダンスが流れます。伝言メッセージはお預かりできません。
- 電話に出られないことをお伝えするだけの不在案内機能もあります。
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して留守番電話サービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。
- 留守番電話サービスを停止しても留守番電話サービスの契約は継続されます。留守番電話サービスの停止は、留守番電話サービスの契約そのものを解約するものではありません。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1　サービスを開始に設定する

↓

ステップ2　電話をかけてきた方が伝言を録音する

↓

ステップ3　伝言メッセージを再生する

※留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答メッセージが流れているときに # を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えられます。

留守番電話サービスの料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要です。詳しい内容については『ネットワークサービス操作ガイド』を参照してください。

留守番電話サービスを開始する

留守番電話サービスを開始または停止します。また、設定内容を確認します。

1 待受画面で MENU 9 1 1 1 を押す

2 「はい」を選択する

3 「はい」を選択する

- 「いいえ」を選択すると、呼出時間を設定せず、現在設定されている時間（ご契約時の呼出時間は10秒）で留守番電話サービスを開始します。

4 呼出時間を入力する

留守番電話サービスが開始されます。

- 呼出時間を0～120秒の範囲で入力します。
- （ソフトキー）を押しても数字を増減できます。

■ 留守番電話サービスを停止するとき

待受画面で MENU 9 1 1 3 を押し、「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で MENU 9 1 1 4 を押し、「はい」を選択する

お知らせ

- 設定確認画面で、サブメニューから選択して設定を変更できます。
  MENU 1 ：留守番電話サービス開始
  MENU 2 ：留守番電話サービス停止
  MENU 3 ：留守番電話呼出時間設定
- 待受画面で MENU 9 1 1 2 を押すと、呼出時間だけ設定できます。
- 呼出時間の設定は、留守番電話サービスを停止した後も保持されます。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する

音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。

1 待受画面で MENU 9 1 1 6 を押す

2 「はい」を選択し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

留守番電話サービスが設定されます。

- 新しい伝言メッセージがあるか確認したり伝言メッセージを聞く場合は、一度電話を切ってから操作してください。

伝言メッセージを聞く

新しい伝言メッセージがあると、待受画面には 1（数字は件数）が表示されます。

1 待受画面で MENU 9 1 1 5 を押す

2 「はい」を選択し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

伝言メッセージが再生されます。

お知らせ

- 新しい伝言メッセージがあるときは、1 を選択すると、すばやく伝言メッセージを再生できます。→P33
- FOMA 端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイにが表示されます。
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は、含まれません。

新しい伝言メッセージがあるか確認する＜メッセージ問合せ＞

新しい伝言メッセージがあるかどうかを留守番電話サービスセンターに問い合わせます。

1 待受画面で MENU 9 1 1 7 を押す

2 「はい」を選択する

問い合わせが開始されます。

新しい伝言メッセージがあると、待受画面に 1（数字は件数）が表示されます。

- 件数増加鳴動設定を設定している場合、新しい伝言メッセージがあると通知音が鳴り、バイブレータの設定に従って振動します。

お知らせ

- 件数増加鳴動設定の件数通知音が「ON」の場合、バイブレータ設定を「OFF」に設定していても、マナーモード中にメッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあったときはマナーモードの設定に従って振動します。
- メッセージ問合せ後にお預かりした伝言メッセージは、もう一度メッセージ問合せを行っても確認できない場合があります。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする＜件数増加鳴動設定＞

お買い上げ時	件数通知音：ON 通知メロディ：着信音 1

着信後、相手が新しい伝言メッセージを残した場合や、メッセージ問合せを行ったときに伝言メッセージの件数が増加していた場合は、通知音が鳴るようにします。

- メッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、バイブレータ設定に従って振動します。
- メッセージ問合せの直後にお預かりしたメッセージについては、件数増加の通知音が鳴らない場合があります。
- オールロック中、PIM ロック中、開閉ロック中、ドライブモード中、アラーム鳴動中は通知音は鳴らず、バイブレータも振動しません。

1 待受画面で MENU 9 1 2 を押す

2 件数通知音を選択し、1 を押す



- 通知音を鳴らさないときは 2 を押し、操作 5 に進みます。

3 通知メロディを選択する

4 フォルダを選択し、メロディを選択する

メロディが設定され、件数増加鳴動設定画面に戻ります。

メロディ一覧の見かた→P376

- メロディの再生の操作については「FOMA 端末から鳴る着信音を変える」のお知らせを参照してください。→P119

5 を押す

件数増加鳴動設定が設定されます。

伝言メッセージのマークを消す

1 待受画面で MENU 9 1 4 を押す

2 「はい」を選択する

伝言メッセージの件数を示すマークが消えます。

圏外にいても着信があったことを通知する＜着信通知＞

FOMA 端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことを SMS でお知らせします。

着信通知を開始する

1 待受画面で MENU 9 1 3 1 を押す

2 「はい」を選択する

3 「はい」または「いいえ」を選択する

- 「はい」を選択すると、発信者番号通知の着信のみ通知します。
- 「いいえ」を選択すると、すべての着信を通知します。

着信通知が開始されます。

■ 着信通知を停止するとき

待受画面で MENU 9 1 3 2 を押し、「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で MENU 9 1 3 3 を押し、「はい」を選択する

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。通話中の電話を保留にして、第三者と通話できます。

- 通話中の電話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけられます。
- キャッチホンは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定中、「非通知設定」の着信があった場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、キャッチホンはご利用できません。
- 次のとき、キャッチホンは動作しません。
  - 104、110、117※、118、119 にかけているとき
    ※：117と通話中に音声電話を着信した場合は「ププ…ププ…」という音が聞こえますが、電話に出られません（着信履歴には不在着信として残ります）。
  - 電話番号入力中、および相手を呼出中のとき
  - 留守番電話サービスをご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間

- 1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
- テレビ電話中（着信履歴には不在着信として残ります）
- 音声電話中にテレビ電話がかかってきたとき（着信履歴には不在着信として残ります）

• 保留中も電話をかけた側に通話料金がかかります。

キャッチホンを開始する

キャッチホンを開始または停止します。また、設定内容を確認します。

1 待受画面で[MENU][9][2][1]を押す

2 「はい」を選択する

キャッチホンが開始されます。

■ キャッチホンを停止するとき

待受画面で[MENU][9][2][2]を押し、「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で[MENU][9][2][3]を押し、「はい」を選択する

> **お知らせ**
> - キャッチホンを利用するときは、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定してください。通話中着信設定の開始／停止操作に関わらず、キャッチホンが利用できます。
> - 通話中着信動作選択が「通常着信」に設定されていない場合は、キャッチホンを開始しても着信動作は行いません。
> - キャッチホンを停止してもキャッチホンの契約は継続されます。キャッチホンの停止は、キャッチホンの契約そのものを解約するものではありません。

お話し中の通話を保留にしてかかってきた電話を受けるとき

1 通話中に[文字]を押す

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けられます。

• ディスプレイに「マルチ接続中」と表示されます。
• [メール]を押すたびに通話の相手が切り替わります。
• ガイド行に「保留」と表示されているときは、[ ]を押すと現在通話中の相手も保留にできます。もう一度[ ]を押すと保留が解除されます。
• 保留中の通話を終わらせるときは、キャッチホン中（マルチ接続中）に[MENU][1]を押します。

2 一方の相手との通話が終わったら[電源]を押す

一方の相手との通話が終了し、着信音が鳴ります。

• [文字]を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

お話し中の通話を終わらせてかかってきた電話を受けるとき

1 通話中に[電源]を押す

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 [文字]を押す

新しくかかってきた電話と通話できます。

お話し中の通話を保留にして別の相手に電話をかけるとき

1 通話中に[MENU][7]を押し、電話番号を入力する

• 着信履歴から電話をかける場合は[MENU][1]を、リダイヤルから電話をかける場合は[MENU][2]を押します。電話帳に登録されている相手に電話をかける場合は[電話帳]を押し、電話帳から相手にカーソルを合わせて[文字]を押します。

2 [文字]を押す

新しくかけた相手と通話できます。話し中の通話は自動的に保留になります。

• [メール]を押すたびに通話の相手が切り替わります。
• ガイド行に「保留」と表示されているときは、[ ]を押すと現在通話中の相手も保留にできます。
• 保留中の通話を終わらせるときは、キャッチホン中（マルチ接続中）に[MENU][1]を押します。

3 新しくかけた相手との通話が終わったら[電源]を押す

新しくかけた相手との通話が終了します。

• [文字]を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

> **お知らせ**
> - マルチ接続中に別の電話がかかってきても受けられません。ただし、着信履歴には不在着信として残ります。

転送でんわ

転送でんわサービスを利用する

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、FOMA端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどに自動的に転送します。

• 転送でんわサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。月額使用料は無料です。

次ページへ続く

お知らせ

- 転送先の登録は1件です。
- 転送でんわサービスを開始に設定していても、電話の発着信はできます。
- 着信中の電話を手動で転送できます（→P60）。また、通話中にかかってきた電話も自動で転送できます。→P470
- 転送でんわサービスと留守番電話サービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時には利用できません。留守番電話サービスを開始に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止します（その後、留守番電話サービスを停止に設定しても、転送でんわサービスは自動的には再開しません）。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送先を設定してください。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1　転送先の電話番号を登録する

↓

ステップ2　転送でんわサービスを開始に設定する

↓

ステップ3　お客様のFOMA端末に電話がかかる

↓

ステップ4　電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの利用料金

通話料

発信者 → 転送でんわサービスのご契約者 → 転送先

電話をかけた方のご負担です。

転送でんわサービスのご契約者のご負担です。

※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止、呼出時間の設定の通話料は無料です。

転送でんわサービスを開始する

1 待受画面で MENU 9 3 1 を押す

2 「はい」を2回選択する

3 転送先電話番号を入力する

- 転送先として、フリーダイヤルおよび110番などの3桁の電話番号は指定できません。
- 最大26桁入力できます。

■ 転送先電話番号を電話帳から設定するとき

①ガイド行に 📖 が表示されている状態で MENU を押す

- 前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。
- 検索方法を変えて検索し直すには MENU を押します。

②転送先電話番号を選択する

電話番号が入力され、転送先電話番号の設定画面に戻ります。

4 ● を押す

5 「はい」を選択する

- 「いいえ」を選択すると、呼出時間を設定せず、現在設定されている時間（ご契約時は7秒）で転送でんわサービスを開始します。

6 呼出時間を入力する

- 0 ～ 120 秒の範囲で入力します。
- ▽ △ を押しても数字を増減できます。

お知らせ

- 電波の届かない場合や電源が入っていない場合は、着信音が鳴らずに自動的に転送されます。その場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
- 転送先から申し出があり、当社が必要と認めた場合は、お客様に代わってその転送を中止させていただくことがあります。
- PBX、ポケットベル※、FAX を転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがあるため、ご注意ください。
- 転送でんわサービスを停止しても転送でんわサービスの契約は継続されます。転送でんわサービスの停止は、転送でんわサービスの契約そのものを解約するものではありません。
- 呼出時間の設定は、転送先を変更したり、転送でんわサービスを停止した後も保持されます。

■ 転送でんわサービスを停止するとき

待受画面で MENU 9 3 2 を押し、「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

転送でんわサービスの利用の有無や転送先の電話番号などを確認します。

待受画面で MENU 9 3 5 を押し、「はい」を選択する

■ 転送先を変更するとき

①待受画面で MENU 9 3 3 を押す
②転送先電話番号を入力し、 を押す
③「はい」を選択する

■ 転送ガイダンスの有／無を設定するとき

①待受画面で 1 4 2 9 ☎ を押す
②ガイダンスに従って操作する

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで対応する＜転送先通話中時設定＞

転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応答するように設定します。

- 留守番電話サービスのご契約が必要です。

1 待受画面で MENU 9 3 4 を押す

2 「はい」を選択する

転送先が通話中のときは、留守番電話サービスが動作するように設定されます。

- 留守番電話サービスでの応答を解除するときは「いいえ」を選択します。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話を自動的に着信拒否します。迷惑電話の登録操作をすると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否する旨のガイダンスが流れて切断されます。

- 最大30件登録できます。
- 迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。月額使用料は無料です。
- 着信拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、着信を拒否するガイダンスを流さずにテレビ電話は切断されます。

最後に着信した電話番号を着信拒否に登録する

1 迷惑電話がかかってきた後に待受画面で MENU 9 4 1 を押す

2 「はい」を選択する

最後に通話した電話番号が、着信拒否する迷惑電話番号として登録されます。不在着信など通話していない場合は登録の対象になりません。

■ すでに30件登録されているとき

最も古い電話番号を上書きするかどうかの問い合わせ画面が表示されます。「はい」を選択すると、最も古い電話番号が削除され、新しい電話番号が登録されます。

指定した電話番号を着信拒否に登録する

1 待受画面で 1 4 4 ☎ を押し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

指定した電話番号が登録されます。

※：2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

次ページへ続く

お知らせ

- 迷惑電話ストップサービスを設定中の着信と、各サービスとの関係は次のとおりです。

サービス名	着信拒否登録した電話番号からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 番号通知お願いサービスのガイダンスは流れません。
ドライブモード	着信拒否ガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

- 発信者番号非通知の電話でも着信拒否登録できます。
- 着信拒否登録した電話番号は、確認や問い合わせができません。着信拒否登録した電話番号をメモなどに控えておくことをおすすめします。
- 国際電話は着信拒否登録できません。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも残りません。

拒否登録した電話番号を削除する

最後に登録した電話番号から1件ずつ削除できます。すべての電話番号をまとめて削除することもできます。

1 **待受画面でMENU 9 4 3を押す**

2 **「はい」を選択する**

最後に登録した電話番号が削除されます。

■ 電話番号を全件削除するとき

待受画面でMENU 9 4 2を押し、「はい」を選択する

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、番号通知お願いガイダンスで応答します。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を利用できます。

- 発信者番号の非通知理由が、「非通知設定」の場合に、番号通知お願いサービスが動作します。非通知理由が「通知不可能」および「公衆電話」の場合は動作しません。
- ガイダンスが応答している間は、発信者に通話料金がかかります。
- 番号通知お願いサービスはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- 非通知設定のテレビ電話がかかってきたときは、相手に番号通知お願いガイダンスは流れず、接続できなかった旨のメッセージが画面に表示されます。

番号通知お願いサービスを開始する

1 **待受画面でMENU 9 6 1を押す**

2 **「はい」を選択する**

番号通知お願いサービスが開始されます。

■ 番号通知お願いサービスを停止するとき

待受画面でMENU 9 6 2を押し、「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面でMENU 9 6 3を押し、「はい」を選択する

お知らせ

- 番号通知お願いサービス開始中の着信と、各サービスの関係は次のとおりです。

サービス名	発信者番号を通知しない着信の取り扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	着信拒否に登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。番号通知お願いガイダンスは流れません。
ドライブモード	番号通知お願いガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、非通知設定の音声電話がかかってきたときは、着信音は鳴らず、着信履歴にも記録されません。
- 番号通知お願いサービスは、お客様ご自身のFOMAカードを取り付けたFOMA端末からのみ開始／停止の操作ができます。遠隔操作はできません。→P470
なお、開始／停止の操作には通話料金はかかりません。
- FOMA 端末の発番号なし動作設定と本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。

デュアルネットワーク

デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末を利用できます。
これによって、FOMAサービスエリア外であっても、movaサービスエリア内であれば、mova端末で音声電話をかけたり、受けたりできます。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用できません。
- デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用できない状態のFOMA端末またはmova端末から行います。

mova端末を使えるようにする

1 **mova端末で「1540」とダイヤルする**

2 **ガイダンスに従って操作する**

FOMA端末を使えるようにする

mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替える操作です。

1 **待受画面で MENU 9 9 5 1 を押す**

2 **「はい」を選択する**

3 **ネットワーク暗証番号を入力する**
ネットワークが切り替わります。

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で MENU 9 9 5 2 を押し、「はい」を選択する

> **お知らせ**
> - mova端末でもFOMAのｉモードサービスを利用できますが、一部利用できないサービスがあります。また、ｉモード利用時や各種ネットワークサービスにおいてはFOMA、movaそれぞれに制限事項や注意事項があります。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』を参照してください。

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

発着信時の音声ガイダンス、留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを、英語に設定できます。

- 利用できるガイダンス言語は、「日本語」と「英語」です。
- 英語ガイダンスはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- テレビ電話で発信または着信したときは、英語ガイダンスは利用できません。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

1 **待受画面で MENU 9 9 4 1 を押す**

2 **「はい」を選択する**

3 **1 または 2 を押す**

日本語：発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。
英語　：発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。

4 **「はい」を選択する**

5 **1 ～ 3 を押す**

日本語　　　：着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。
日本語＋英語：着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。
英語＋日本語：着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。
音声ガイダンスが切り替えられます。

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で MENU 9 9 4 2 を押し、「はい」を選択する

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

ドコモ指定の故障取扱窓口や、ドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

- サービスダイヤルはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- お使いのFOMAカードによっては、ドコモ指定の故障取扱窓口とドコモ総合案内・受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。→P36

故障の問い合わせをする

1 待受画面で MENU 9 9 6 1 を押す

2 「はい」を選択する

ドコモ故障問合せに電話がかかります。

総合案内・受付へ電話をかける

1 待受画面で MENU 9 9 6 2 を押す

2 「はい」を選択する

DoCoMo インフォメーションセンターに電話がかかります。

通話中着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの応対を設定する

音声電話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なオプションサービスです。
- 通話中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合、または64Kデータ通信中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信拒否」になります。詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』を参照してください。

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する

お買い上げ時	通常着信

1 待受画面で MENU 9 8 を押す

2 1 ～ 4 を押す

通常着信：通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、応答、切断の操作ができます。キャッチホンをご契約の上、サービスを開始している場合に有効です。

留守番電話：通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話を留守番電話サービスで応答します。

転送でんわ：通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、あらかじめ登録されている転送先に転送されます。

着信拒否：通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、着信を拒否し、拒否した着信は着信履歴に記録されます。

通話中着信動作が設定されます。

- 選択した通話中着信動作を有効にするには、通話中着信設定を開始してください。
  ただし、キャッチホンを契約し、サービスを開始している場合には、通話中着信設定の開始／停止に関わらず、通話中着信動作は有効です。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを停止中でも、本機能を「留守番電話」または「転送でんわ」に設定した場合は、通話中着信設定を開始すれば自動的にそれらの設定が開始されます。

通話中着信設定を開始する ＜通話中着信設定＞

通話中着信動作選択で選択した応答方法を開始／停止します。また、設定内容を確認します。

- キャッチホンを契約し、サービスを開始している場合には、本機能に関わらず、通話中着信動作選択で設定した動作となります。

1 待受画面で MENU 9 7 1 を押す

2 「はい」を選択する

通話中着信設定が開始されます。

■ 通話中着信設定を停止するとき

待受画面で MENU 9 7 2 を押し、「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で MENU 9 7 3 を押し、「はい」を選択する

遠隔操作

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話から操作できるようにします。

遠隔操作を開始する

1 待受画面で MENU 9 9 3 1 を押す

2 「はい」を選択する

遠隔操作が開始されます。

■ 遠隔操作を停止するとき

待受画面で MENU 9 9 3 2 を押し、「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で MENU 9 9 3 3 を押し、「はい」を選択する

マルチナンバー

マルチナンバーを利用する

- マルチナンバーは、2005年5月現在サービスを開始しておりません。

追加サービス（USSD登録）

新しいネットワークサービスを登録する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

- 最大10件登録できます。

ネットワークサービスを登録する

1 **待受画面で MENU 9 9 1 を押す**

2 **サービスを登録する番号にカーソルを合わせ、 を押す**



- サービスを変更する操作も同様です。

3 **各項目を選択して設定する**

USSDコード

：ドコモから通知されたサービスコードを入力します。

- サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。

名称：名称（サービス名）を入力します。

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

4 ** を押す**

サービスが登録されます。

登録したネットワークサービスを利用する

1 **待受画面で MENU 9 9 1 を押す**

2 **1 ～ 8 を押す**



登録されたコードがサービスセンターに発信されます。

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。

- 最大10件登録できます。

1 **待受画面で MENU 9 9 2 を押す**

2 **1 ～ 8 を押し、応答メッセージを登録する番号を選択する**



- 応答メッセージを変更する操作も同様です。

3 **各項目を選択して設定する**

USSDコード：ドコモから通知されたUSSDコードを入力します。

応答メッセージ：応答メッセージを入力します。

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

4 ** を押す**

応答メッセージが登録されます。

■ 登録したサービスを削除するとき

①**待受画面で MENU 9 9 1 を押す**

- 応答メッセージを削除するときは MENU 9 9 2 を押します。

②**削除するサービスにカーソルを合わせ、MENU 1 を押す**

- サービスを全件削除するときは MENU 2 を押します。

③**「はい」を選択する**

データ通信

データ通信について

ここでは、データ通信の形態や接続方法、利用時の留意点について説明します。

利用できる通信形態

利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、添付のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- FOMA端末はFAX通信に対応していません。
- FOMA端末をドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱと接続してデータ通信を行う場合は、museaやsigmarion Ⅱをアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64kbpsのアクセスポイントを利用します。

データ転送

データ転送は次の接続方法を使ってデータを転送、交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどと接続して利用できます。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA USB接続ケーブルで接続する

FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って、FOMA端末をUSBポートを装備したパソコンと接続します。

卓上ホルダで接続する

FOMA端末を卓上ホルダにセットし、市販のUSBケーブルを使って、卓上ホルダとUSBポートを装備したパソコンと接続します。卓上ホルダにACアダプタを接続すると、充電しながら通信できます。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。パケット通信、64Kデータ通信は利用できません。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
  mopera Uはブロードバンド接続や国際ローミングなどに対応しています。使用した月だけ月額使用料がかかるプランも利用できます。
  moperaはお申し込みが不要で、月額使用料は無料です。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳しくは添付のCD-ROM内の「FirstPassManual」を参照してください。
「FirstPassManual」（PDF形式）を参照するには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページからダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

■ FirstPass PCソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 98SE、Me、2000、XP
必要メモリ※	Windows 98SE、Me、2000：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上

※：パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと市販のUSBケーブルを使って接続する場合は、これに対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応していること

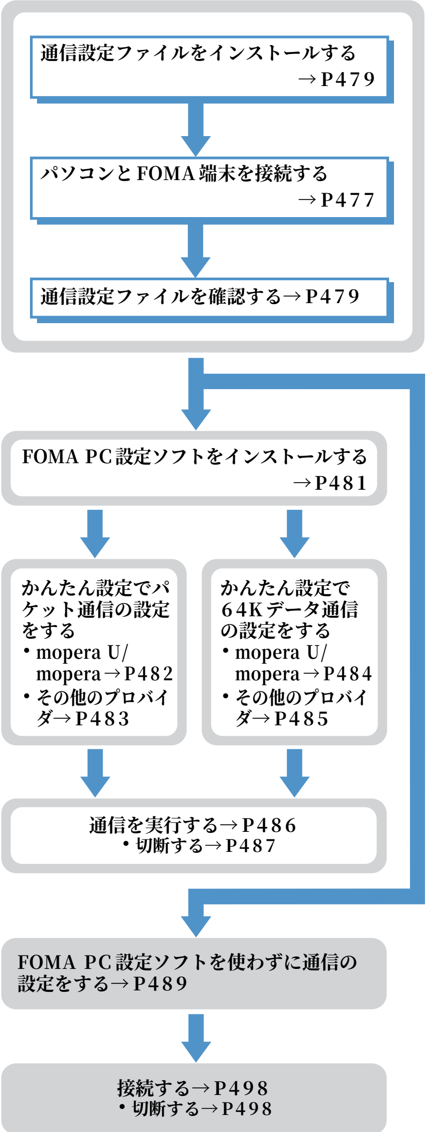
ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できない場合があります。

■ データ通信の用語集

- **APN（Access Point Name）**
  パケット通信で接続するプロバイダや社内LANを識別する文字列。たとえば、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。
- **cid（Context Identifier）**
  パケット通信の接続先（APN）に対応して、FOMA端末に登録したAPNに割り当てられる登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
- **DNS（Domain Name System）**
  ドメインネーム（例：mopera.net）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。
- **IrMC（Ir Mobile Communications）**
  携帯電話どうしやPDAとの間でデータを転送する目的で作られた規格。この規格に準拠した機器の間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。
- **OBEX（Object Exchange）**
  データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。
- **QoS（Quality of Service）**
  サービスの品質。通信時にユーザの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。
- **W-TCP**
  FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。
- **管理者権限**
  Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバのインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。



通信設定ファイル（ドライバ）について

FOMA端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末とパソコンを接続してデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単な操作で設定できます。

動作環境の確認

通信設定ファイルおよびFOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 98、Me、2000、XP
必要メモリ※2	Windows 98、Me：32MB以上 Windows 2000　：64MB以上 Windows XP　　：128MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量

※1：USB接続の場合は、USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。

※2：「FOMA PC設定ソフト」の動作環境です。パソコンのシステム構成によっては異なる場合があります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データ通信の説明は、主にWindows XPでの操作方法を例にしています。他のOSでは画面の表示が異なる場合があります。

インストール／アンインストール前の注意点

- Windows XP、2000で通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザで行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 操作を始める前に、稼動中の他のプログラムがないことを確認してください。稼動中のプログラムがある場合は、プログラムを保存、終了してください。
- パソコンの操作方法、管理者権限の設定等については、パソコンの取扱説明書も参照してください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

- 通信モードで初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。→P479
- miniSDモードで初めてパソコンに接続する場合は、OSが自動的にドライバをインストールします。あらかじめ通信設定ファイルをインストールする必要はありません。なお、miniSDモードに対応しているOSはWindows XP、2000のみです。

USB接続時にパソコンで操作する内容を設定する＜USBモード設定＞

お買い上げ時	通信モード

ここでは、パソコンとFOMA端末を接続したときにパソコンでデータ通信を行うか、パソコンからFOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカード内のデータを操作するかを設定します。

1 **待受画面でMENU 6 5 4を押す**

2 **1または2を押す**



通信モード：パソコンなどでデータ通信を行うモードです。

miniSDモード
：パソコンからFOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカード内のデータを操作するモードです。miniSDモード中は着信ランプが青色で点滅します。

3 **「はい」を選択する**

お知らせ

- パソコンとFOMA端末を接続中でも本機能の設定を変更できます。
- パソコン側で、FOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、miniSDモードに設定できないことがあります。
- パソコンからminiSDメモリーカードを操作しているときは通信モードに設定できません。また、通話中やｉモード中はminiSDモードに設定できません。
- 電話帳データなどをパソコンで編集するには、データリンクソフトが必要です。→P547

- miniSDモード中に、FOMA端末にパソコンを接続していない状態でminiSDメモリーカードへのアクセスがないまま90秒が経過すると、自動的に通信モードに切り替わります。
- miniSDモード中は、電話やｉモードなどの通信ができません。
- miniSDメモリーカードの操作を終了するときは、画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックして、「USB大容量記憶装置デバイスードライブ(E:)※1を安全に取り外します※2」をクリックし、「'USB大容量記憶装置デバイス'は安全に取り外すことができます。」が表示されることを確認してください。

  ※1：ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。

  ※2：Windows 2000の場合は「停止します」
- パソコンから操作したときのminiSDメモリーカードのフォルダ構成について→P381

FOMA USB接続ケーブルで接続する

- FOMA USB接続ケーブルは別売りです。

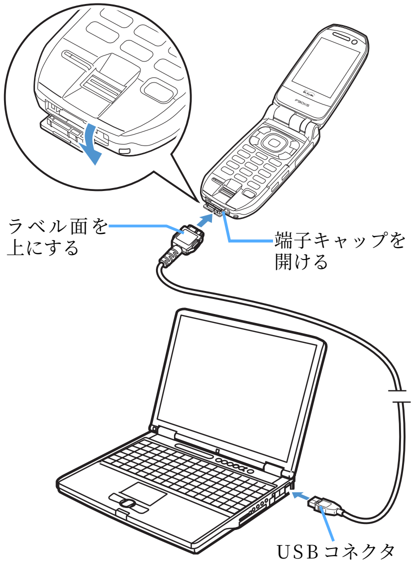
1 **FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側をFOMA端末の外部接続端子に差し込む**

2 **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに差し込む**

- 通信モードで通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。

データ通信

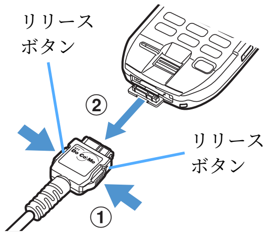
次ページへ続く



- 通信モードでパソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の画面に ψ が表示されます。

取り外しかた

1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）



2 パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

> **お知らせ**
> - データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。

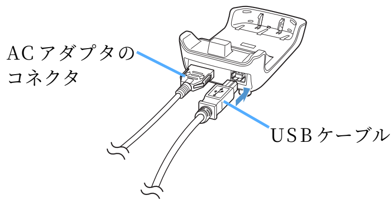
卓上ホルダで接続する

パソコンとFOMA端末を、卓上ホルダを使って充電しながら接続できます。

- 市販のUSBケーブルは、USB仕様1.1/2.0に準拠したもので、シリーズA、シリーズBコネクタを有するものを使用してください。
- 卓上ホルダへの取り付けや取り外しを行うときは、FOMA端末を折り畳んだ状態にしてください。
- 必ず卓上ホルダF07取扱説明書も参照してください。

1 ACアダプタが接続された卓上ホルダとパソコンを市販のUSBケーブルで接続する

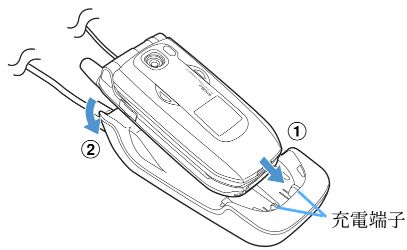
- ACアダプタはコンセントに差し込んでおいてください。



2 FOMA端末を卓上ホルダにセットする

FOMA端末と卓上ホルダの充電端子を合わせ（①）、FOMA端末を矢印方向（②）に「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- 通信モードでパソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の画面に ψ が表示されます。
- 通信設定ファイルのインストール前に通信モードでパソコンに接続した場合は、市販のUSBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。



> **お知らせ**
> - データ通信中に市販のUSBケーブルを外したり、卓上ホルダからFOMA端末を外したりしないでください。また、FOMA端末を開いたり、FOMA端末や卓上ホルダに衝撃を与えたりすると、データ通信の切断、誤動作、データ消失などの原因となるため、ご注意ください。
> - 電源が入っているパソコンと卓上ホルダを市販のUSBケーブルで接続した状態で充電した場合、充電時間が長くなります（約4時間）。
> - データ通信中に充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了したい場合は、データ通信を終了してから充電することをおすすめします。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続するときに、あらかじめインストールしておきます。

- miniSDモードでパソコンと接続する場合は、通信設定ファイルのインストールは不要です。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。→P476

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする

FOMA端末は操作1～3を行った後にパソコンに接続してください。

2 ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「名前」に「＜CD-ROMドライブ名＞：¥USBDRIVE¥F901iSin.exe」と入力して［OK］をクリックする

- CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

3 ［はい］をクリックする



4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続する

インストール中の画面表示後に自動的に完了します。

- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。
  接続方法→P477
- インストールされたデバイスの種類とデバイス名を確認してください。→P479

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- 通信設定ファイルをインストールする前にパソコンとFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作2でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってアンインストールを行った後、もう一度通信設定ファイルをインストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし、もう一度インストールしてください。

通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows XPで確認するとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンをクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、［システム］アイコンをダブルクリックする

2 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイス マネージャ］をクリックする

「デバイス マネージャ」画面が表示されます。

■ Windows Me、98のとき

［デバイス マネージャ］タブをクリックする

3 各デバイスをクリックし、インストールされたデバイス名を確認する

インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

デバイスの種類	デバイス名
ポート（COM/LPT）または（COM と LPT）	• FOMA F901iS Command Port（COMx）※1 • FOMA F901iS OBEX Port（COMx）※1
モデム	• FOMA F901iS
ユニバーサル シリアル バス コントローラ または USB（Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA F901iS • FOMA F901iS Command※2 • FOMA F901iS Modem※2 • FOMA F901iS OBEX※2

※1：x はパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。
※2：Windows Me、98 の場合のみ表示されます。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。→P476
- アンインストールを実行する前に、必ずパソコンから FOMA 端末を取り外してください。

〈例〉Windows XP でアンインストールするとき

1 **［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックする**

■ Windows 2000、Me、98 のとき

［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

2 **「FOMA F901iS USB」を選択し、［変更と削除］をクリックする**



3 **削除するプログラム名を確認し、［はい］をクリックする**

通信設定ファイルのアンインストールを開始します。

4 **［OK］をクリックする**

お知らせ

- インストールに失敗したとき、または操作 2 の画面に「FOMA F901iS USB」が表示されていないときは、［スタート］→「ファイル名を指定して実行」をクリックして「<CD-ROM ドライブ名>：¥USBDRIVE¥F901iSin.exe」を指定し、［OK］をクリックして直接実行してください。
- Windows Me、98 では通信設定ファイルのアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できない場合があります。その場合は、FOMA USB 接続ケーブルまたは市販の USB ケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC 設定ソフトを利用して通信する

FOMA PC 設定ソフトを利用すると、簡単な操作でパケット通信や 64K データ通信が行えます。

FOMA PC 設定ソフトについて

FOMA PC 設定ソフトでは次の設定ができます。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMA データ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に W-TCP 設定などを自動で行います。

W-TCP の設定

パケット通信を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP 設定」による通信設定の最適化が必要です。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。

パケット通信の接続先には、64K データ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA 端末に APN と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cid の 1 には mopera に接続するための APN「mopera.ne.jp」が、3 には mopera U に接続するための APN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内 LAN に接続する場合は APN 設定が必要です。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- N2001、N2002、P2401、P2002、F2611、T2101V添付の「W-TCP環境設定ソフト」および「FOMAデータ通信設定ソフト」、901iSシリーズより前に発売されたFOMA端末に添付の「FOMA PC設定ソフト」をインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。→P476
- 「FOMA PC設定ソフト」は、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする

2 ［スタート］→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「<CD-ROMドライブ名>：¥FOMA_PCSET¥SETUP.EXE」を指定し、［OK］をクリックする

- CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

3 ［次へ］をクリックする

FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリックする

［いいえ］をクリックすると、インストールを中止します。

5 「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」が常駐します。→P487

- 「W-TCP 通信」の最適化の設定、解除を操作する機能です。常駐をおすすめします。
- インストール後に常駐の設定は変更できます。



6 インストール先を確認し、［次へ］をクリックする

- 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［次へ］をクリックします。

7 「プログラム フォルダ」のフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックする

- 変更する場合はフォルダ名を入力し、［次へ］をクリックします。



8 ［完了］をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

- このまま各種設定を始められます。

お知らせ

- 「W-TCP環境設定ソフト」「FOMAデータ通信設定ソフト」「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、インストールを中断する旨のメッセージが表示されます。［OK］をクリックし、それらのソフトをアンインストールしてから「FOMA PC設定ソフト」をインストールしてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストール画面の説明に従って［はい］または［いいえ］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

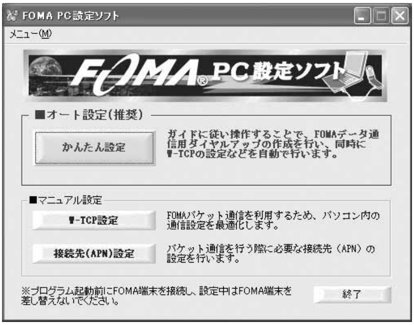
FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択や入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 設定する前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P477

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 **［スタート］→「すべてのプログラム」（Windows XP以外のOSの場合は、「プログラム」）→「FOMA PC 設定ソフト」を順に選択し、「FOMA PC 設定ソフト」をクリックする**

「FOMA PC 設定ソフト」が起動します。

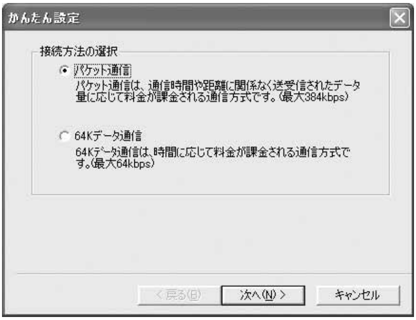


mopera U/moperaを利用する場合

- その他のプロバイダを利用する場合→P483

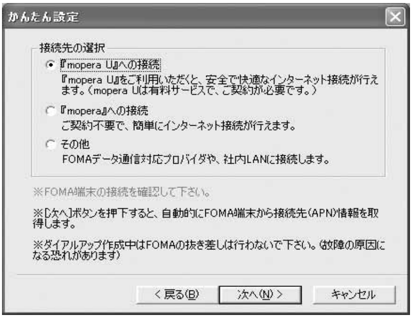
1 **FOMA PC設定ソフトを起動し、［かんたん設定］をクリックする**

2 **「パケット通信」を選択し、［次へ］をクリックする**



3 **「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、［次へ］をクリックする**

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。「『mopera U』への接続」を選択し、［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。



4 **FOMA端末設定取得画面で［OK］をクリックする**

FOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

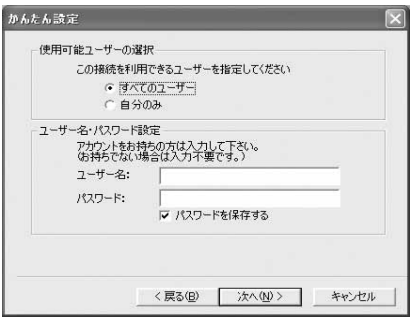
5 **「接続名」に任意の接続名を入力し、［次へ］をクリックする**

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/:＊?!<>｜”



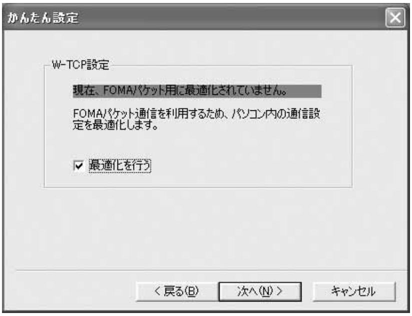
6 **［次へ］をクリックする**

- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも構いません。
- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

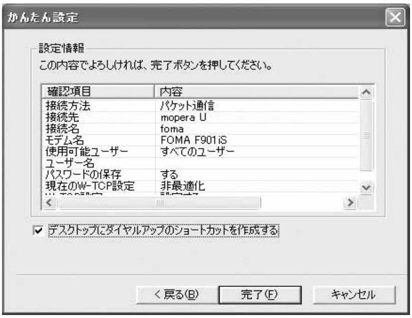


7 「最適化を行う」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックする

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。



8 「設定情報」を確認し、［完了］をクリックする



9 ［OK］をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

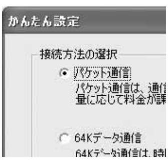
- すでにW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する→P486

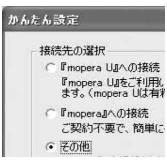
その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U/moperaを利用する場合→P482

1 P482の操作1～4を行う

操作3の接続先は「その他」を選択します。





2 「接続名」に任意の接続名を入力し、［接続先（APN）設定］をクリックする

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。



■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」と「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。プロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に、各種アドレスを登録してください。

3 接続先（APN）を設定する

番号(cid)1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。番号（cid）は2または4～10に設定することをおすすめします。

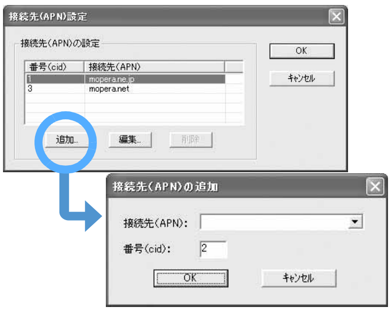
① ［追加］をクリックする

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

② 「接続先（APN）」にプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力し、［OK］をクリックする

「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。



データ通信

4 ［OK］をクリックする

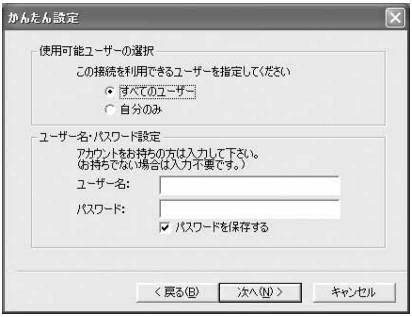
操作2の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作3で設定した「接続先（APN）」が表示されます。

5 「接続先（APN）の選択」の接続先名を確認し、［次へ］をクリックする

6 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［次へ］をクリックする

「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。

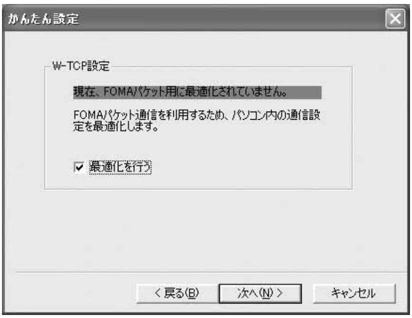
- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。



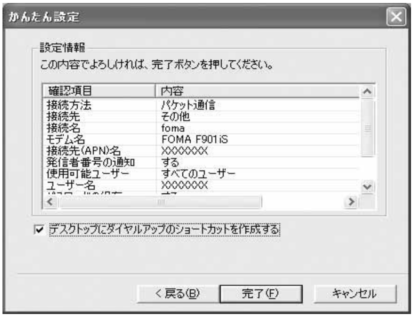
7 「最適化を行う」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックする

パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。

- すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。



8 「設定情報」を確認し、［完了］をクリックする



9 ［OK］をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- すでにW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する→P486

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

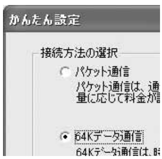
〈例〉Windows XPで設定するとき

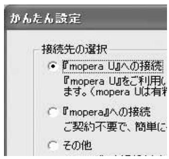
mopera U/moperaを利用する場合

- その他のプロバイダを利用する場合→P485

1 P482の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。





データ通信

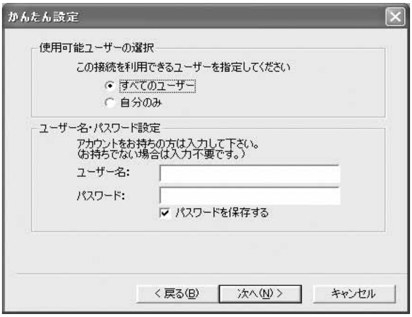
2 「接続名」に任意の接続名を入力し、［次へ］をクリックする

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 「モデムの選択」が「FOMA F901iS」に設定されていることを確認します。

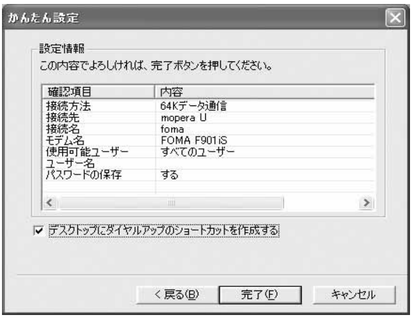


3 ［次へ］をクリックする

- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも構いません。
- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。



4 設定情報を確認し、［完了］をクリックする



5 ［OK］をクリックする

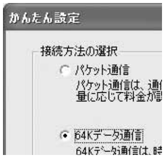
- 通信を実行する→P486

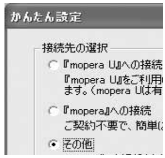
その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U/moperaを利用する場合→P484

1 P482の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を、操作3の接続先は「その他」を選択します。





2 各項目を設定し、［次へ］をクリックする

ISDN同期64kbpsアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に次の項目をそれぞれ登録します。

- 「接続名」：任意
- 「モデムの選択」：「FOMA F901iS」
- 「電話番号」：プロバイダ情報を基に、正しく入力してください。入力できる文字は次のとおりです。
  0123456789ABCDPTWabcdpt
  w!@$-.()+＊#,&および半角空白
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。



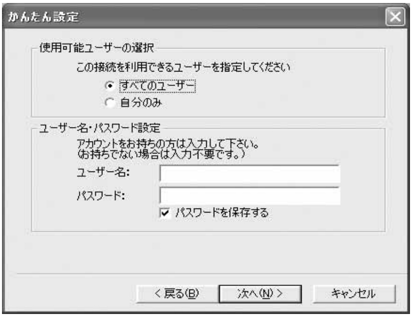
■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」と「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。プロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に各種アドレスを登録してください。

3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［次へ］をクリックする

「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。



4 「設定情報」を確認し、［完了］をクリックする



5 ［OK］をクリックする

- 通信を実行する→P486

通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P477

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする



- アイコンはOSによって異なります。
- 設定中に「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」を選択しなかった場合は、接続アイコンは作成されません。次のスタートメニューからの接続方法を利用してください。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

■ Windows 2000、Me、98のスタートメニューから接続するとき

［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

3 接続を実行する

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも構いません。そのまま、［ダイヤル］をクリックします。
- その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」「パスワード」を入力して［ダイヤル］をクリックします。
  設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- OSによっては、接続完了画面が表示される場合があります。［OK］をクリックしてください。



お知らせ

- FOMA 端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼び出し中の画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。



パケット通信のとき



64Kデータ通信のとき

- FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- データ通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA 端末を接続した場合のみ有効です。
- F901iS以外のFOMA端末を接続する場合は、ご利用になるFOMA 端末の通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要があります。

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 **タスクトレイの をクリックする**

- Windows Me、98の場合はダブルクリックします。

2 **［切断］をクリックする**



パケット通信の設定を最適化する

「W-TCP 設定」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMA ネットワーク用に最適化する方法と最適化を解除する方法について説明します。
「W-TCP 設定」とは、FOMA ネットワークでパケット通信を行う際にTCP/IP の伝送能力を最適化するためのTCP パラメータ設定ツールです。FOMA 端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

Windows XP での最適化の設定と解除

Windows XP の場合は、ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 **FOMA PC 設定ソフトを起動し、［W-TCP 設定］をクリックする**

- 起動方法→P481

■ **タスクトレイからW-TCP 設定を起動するとき**

タスクトレイの をクリックする

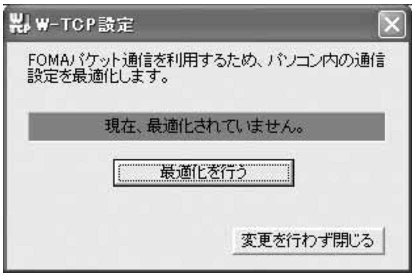
2 **次の操作を行う**

■ **システム設定が最適化されていないとき**

①**「W-TCP 設定」画面で［最適化を行う］をクリックする**

②**最適化するダイヤルアップを選択し、［実行］をクリックする**

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。



■ **システム設定が最適化されているとき**

次の画面が表示されます。
内容を変更する場合は設定を行ってください。



■ 最適化を解除するとき

①「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面で［システム設定］をクリックする

「W-TCP設定」画面が表示されます。

②［最適化を解除する］をクリックする

③［OK］をクリックする

3 画面に従ってWindowsを再起動する

・設定した内容は再起動後有効になります。

Windows 2000、Me、98での最適化の設定と解除

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、［W-TCP設定］をクリックする

・起動方法→P481

■ タスクトレイからW-TCP設定を起動するとき

タスクトレイのをクリックする

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

［最適化を行う］をクリックする

■ システム設定が最適化されているとき

［最適化を解除する］をクリックする

・FOMA端末以外で通信を行う場合などに解除します。

3 画面に従ってWindowsを再起動する

設定した内容は再起動後有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

・接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）の1～10に登録して管理します。
・お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
・設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P477
・mopera U、mopera以外の接続先（APN）については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、［接続先（APN）設定］をクリックする

FOMA端末設定取得画面が表示されます。

・起動方法→P481

2 ［OK］をクリックする

FOMA端末に登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う



■ 接続先（APN）を追加するとき

［追加］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を編集・修正するとき

対象の接続先（APN）を一覧から選択し、［編集］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

対象の接続先（APN）を一覧から選択し、［削除］をクリックする

・番号（cid）の1に登録されている接続先（APN）は削除できません。また、番号（cid）の3に登録されている接続先（APN）を削除しても、番号（cid）の3に新たに接続先（APN）を追加しない場合は、FOMA端末から「mopera.net」の情報は削除されません。

■ ファイルへ保存するとき

「ファイル」メニュー→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリックする

・FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込むとき

「ファイル」メニュー→「開く」をクリックする

・パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりするときに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

「ファイル」メニュー→「FOMA端末から設定を取得」をクリックする

・FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末に接続先（APN）情報を書き込むとき

［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックする

・表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成するとき

①**追加、編集した接続先（APN）を選択し、［ダイヤルアップ作成］をクリックする**
「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されます。

②**［はい］をクリックする**
FOMA端末へ接続先（APN）情報の書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③**任意の接続名を入力し、［アカウント・パスワードの設定］をクリックする**
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、［アカウント・パスワードの設定］はしなくても構いません。その場合は、操作⑤に進みます。

④**ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックする**
- Windows XP、2000の場合は、「使用可能ユーザー」を選択してください。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤**［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックする**
上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑥**［はい］をクリックする**

お知らせ

- 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。
- 通信設定ファイルの確認でFOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得、書き込みができません。その場合は「パケット通信の接続先（APN）を設定する」を参照して設定してください。→P490

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。→P476

アンインストールを実行する前に

タスクトレイの![icon]を右クリックし、「常駐させない」をクリックして、「W-TCP設定」の常駐を解除してください。

アンインストールする

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックする

■ Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択し、［変更と削除］をクリックする



3 削除するプログラム名を確認し、［はい］をクリックする
FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

■「W-TCP最適化」を解除するとき

W-TCPが最適化されている場合は最適化を解除するかどうかを確認する画面が表示されます。
アンインストールする場合は［はい］をクリックします。
「W-TCP最適化」の解除は、再起動後に行われます。

4 ［OK］をクリックする

FOMA PC設定ソフトを利用しないで通信する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信または64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P476

接続先（APN）を設定する→P490
※ 64Kデータ通信の場合と、パケット通信で接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

↓

発信者番号の通知／非通知を設定する→P491
※ 必要に応じて設定してください。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	参照先	
	接続先の設定 ▶	TCP/IP設定
Windows XP	P491 ▶	P492
Windows 2000	P493 ▶	P495
Windows Me	P496 ▶	P496
Windows 98	P497 ▶	P497

※ 設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信の接続先（APN）を設定する

設定するためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P477

2 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリック（Windows 98ではさらに［Hypertrm］アイコンをダブルクリック）する

- Windows XP以外のOSをお使いの場合は､「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力し、［OK］をクリックする



4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を仮入力し、「接続方法」から「FOMA F901iS」を選択し、［OK］をクリックする

- 市外局番は接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。



5 接続画面が表示されたら［キャンセル］をクリックする

6 接続先（APN）を入力し、⏎を押す

「AT+CGDCONT＝＜cid＞,“PPP”,“APN”」の形式で入力します。

＜cid＞：2または4～10の間で任意の番号を入力します。
“PPP”：そのまま“PPP”と入力します。
“APN”：接続先（APN）を“　”で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

■ 接続先（APN）設定をリセットするとき

AT+CGDCONT= ↵ :
すべての cid をお買い上げ時の状態にリセットします。
＜cid＞=1 は「mopera.ne.jp」、＜cid＞=3 は「mopera.net」に戻り、＜cid＞=2 および 4 ～ 10 の設定は未登録になります。
AT+CGDCONT= ＜cid＞ ↵ :
特定の cid をリセットします。

■ 接続先（APN）設定を確認するとき

AT+CGDCONT? ↵

■ AT コマンドを入力しても画面に表示されないとき

ATE1 ↵

7 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」メニュー→「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

- 「“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されたら、「いいえ」をクリックします。

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA 端末の登録番号 cid1 ～ cid10 に設定できます。お買い上げ時、cid の 1 には mopera に接続するための APN「mopera.ne.jp」が、3 には mopera U に接続するための APN「mopera.net」が登録されています。mopera U または mopera を利用する場合は本設定は不要です。その他のプロバイダや社内 LAN などに接続する場合は、cid2 または 4 ～ 10 に APN を登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目を FOMA 端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA 端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録した cid はダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

- mopera U または mopera を利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

1 P490 の操作 1 ～ 5 を行う

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=＜n＞」の形式で入力します。
AT＊DGPIR=1 ↵ :
パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。
AT＊DGPIR=2 ↵ :
パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。
AT＊DGPIR=0 ↵ :
設定なし（お買い上げ時）に戻ります。

3 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」メニュー→「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

- 「“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されたら、「いいえ」をクリックします。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けられます。

- ＊DGPIR コマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIR コマンドによる設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3 の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

Windows XP でダイヤルアップネットワークを設定する

Windows XP で「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先と TCP/IP プロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択し、「ネットワーク接続」をクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリックする

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 「インターネットに接続する」を選択し、［次へ］をクリックする

準備画面が表示されます。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択し、［次へ］をクリックする

インターネット接続画面が表示されます。

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、［次へ］をクリックする

7 「モデム－FOMA F901iS（COMx）」を選択し、［次へ］をクリックする

- x はパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。
- インストールされているモデムが1台しかない場合、デバイスの選択画面は表示されません。操作8へ進みます。



8 「ISP名」に任意の接続名を入力し、［次へ］をクリックする



9 「電話番号」に接続先の番号を半角で入力し、［次へ］をクリックする

■ パケット通信のとき

「＊99＊＊＊<cid>#」を入力します。
<cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。
たとえば、mopera Uへ接続する場合は、「＊99＊＊＊3#」となります。

■ 64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊8701」を、moperaへ接続する場合は「＊9601」を入力します。



10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」を入力し、各項目を画面例のようにすべて選択し、［次へ］をクリックする

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でも構いません。各項目を画面のようにすべて選択し、［次へ］をクリックします。



11 ［完了］をクリックする

12 設定内容を確認し、［キャンセル］をクリックする

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」をクリックする



2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム-FOMA F901iS（COMx）」を選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。



3 ［ネットワーク］タブをクリックし、各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- 「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は「インターネットプロトコル」を選択し、「プロパティ」をクリックして必要な情報を設定してください。



4 ［設定］をクリックする

5 すべての項目を非選択（□）にし、［OK］をクリックする



6 ［OK］をクリックする

- ダイヤルアップ接続する→P498

Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

Windows 2000で「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 ［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリックする

「所在地情報」画面が表示されます。

- この画面は［新しい接続の作成］アイコンを初めてダブルクリックしたときに表示されます。2回目以降の場合は、操作5へ進みます。

3 「市外局番」を入力し、［OK］をクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 ［OK］をクリックする

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5 ［次へ］をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、［次へ］をクリックする

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

7 **「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択し、［次へ］をクリックする**

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

8 **「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、［次へ］をクリックする**

モデムの選択画面が表示されます。

9 **「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA F901iS」に設定されていることを確認し、［次へ］をクリックする**

インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

- 「FOMA F901iS」に設定されていない場合は、「FOMA F901iS」に設定してください。
- パソコンに複数のモデムがインストールされていない場合はこの画面は表示されません。

10 **「電話番号」に接続先の番号を半角で入力し、［詳細設定］をクリックする**

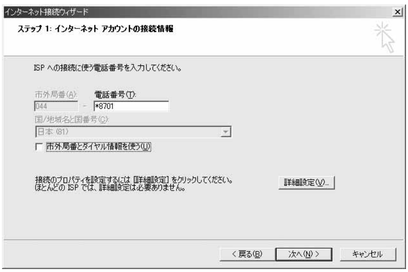
■ パケット通信のとき

「＊99＊＊＊＜cid＞#」を入力します。
＜cid＞には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。
たとえば、mopera Uへ接続する場合は、「＊99＊＊＊3#」となります。

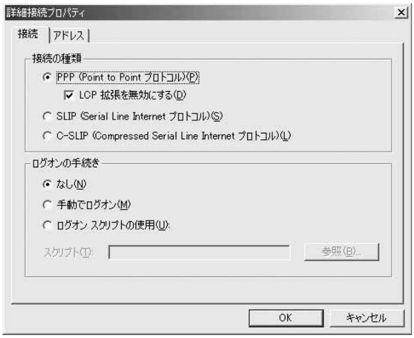
■ 64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊8701」を、moperaへ接続する場合は「＊9601」を入力します。

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（ ）にします。

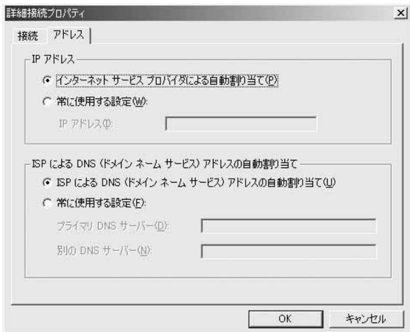


11 **［接続］タブの各項目を画面例のように設定する**



12 **［アドレス］タブをクリックし、各項目を設定する**

- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は必要な情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくても構いません。



13 **［OK］をクリックする**

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

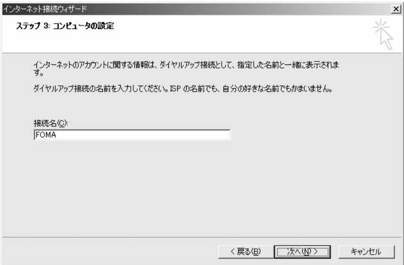
14 **［次へ］をクリックする**

インターネットアカウントのログオン情報画面が表示されます。

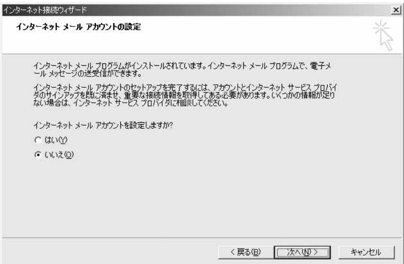
15 **「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［次へ］をクリックする**

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも構いません。

16 「接続名」に任意の接続名を入力し、[次へ] をクリックする



17 「いいえ」を選択し、[次へ] をクリックする



18 [完了] をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」→「プロパティ」をクリックする



2 [全般] タブの各項目の設定を確認する

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム-FOMA F901iS (COMx)」を選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
  モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。



3 [ネットワーク] タブをクリックし、各項目の設定を確認する

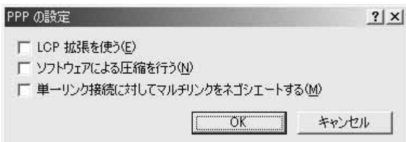
- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。
- コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。



4 [設定] をクリックする

5 すべての項目を非選択（□）にし、[OK] をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。



6 [OK] をクリックする

- ダイヤルアップ接続する→P498

Windows Meでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 **[スタート] →「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする**

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

- この画面は「ダイヤルアップネットワーク」を初めて選択したときに表示されます。2回目以降の場合は、操作3へ進みます。

2 **[次へ] をクリックする**

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 **[新しい接続] アイコンをダブルクリックする**

4 **「接続名」に任意の接続名を入力し、[次へ] をクリックする**

- 「モデムの選択」が「FOMA F901iS」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA F901iS」に設定します。



5 **接続先の番号を半角で入力し、[次へ] をクリックする**

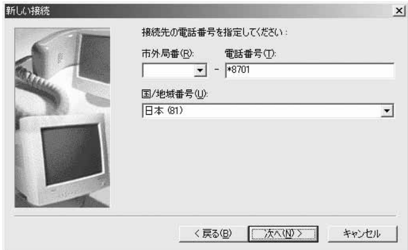
■ **パケット通信のとき**

「＊99＊＊＊<cid>＃」を入力します。
<cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。
たとえば、mopera Uへ接続する場合は「＊99＊＊＊3＃」となります。

■ **64Kデータ通信のとき**

接続先の電話番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊8701」を、moperaへ接続する場合は「＊9601」を入力します。

- 「市外局番」には何も入力しません。



6 **接続先名を確認し、[完了] をクリックする**

TCP/IPプロトコルを設定する

1 **作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」→「プロパティ」をクリックする**



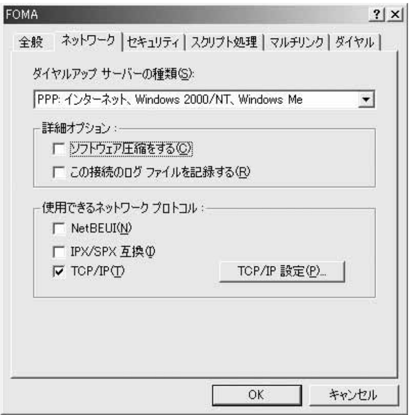
2 **[全般] タブの各項目の設定を確認する**

- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択（☐）にします。
- 「接続方法」が「FOMA F901iS」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA F901iS」に設定します。



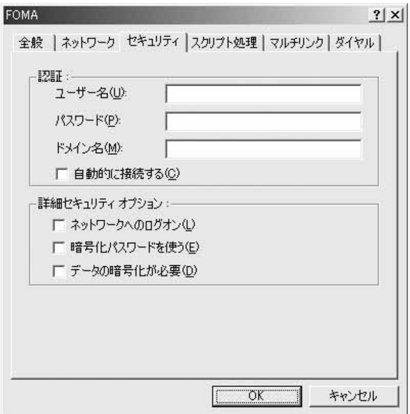
3 ［ネットワーク］タブをクリックし、各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」に設定します。
- 「詳細オプション」はすべて非選択（□）にします。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は［TCP/IP設定］をクリックし必要な情報を設定してください。



4 ［セキュリティ］タブをクリックし、「ユーザー名」と「パスワード」を入力する

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも構いません。



5 ［OK］をクリックする

- ダイヤルアップ接続する→P498

Windows 98でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

操作方法はWindows Meの接続先設定と同様です。→P496

TCP/IPプロトコルを設定する

1 P496「TCP/IPプロトコルを設定する」の操作1～2を行う



2 ［サーバーの種類］タブをクリックし、各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は［TCP/IP設定］をクリックし必要な情報を設定してください。



3 ［OK］をクリックする

- ダイヤルアップ接続する→P498

ダイヤルアップ接続する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPでダイヤルアップ接続するとき

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P477

2 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択し、「ネットワークとダイヤルアップ接続」(Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」)をクリックして接続アイコンをダブルクリックする

3 各項目を確認し、［ダイヤル］をクリックする

- Windows Me、98の場合は、各項目を確認し、［接続］をクリックします。
- 「ダイヤル」または「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも構いません。



切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をクリックする

接続の画面が表示されます。

- Windows Me、98の場合はダブルクリックします。

2 ［切断］をクリックする

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。次に入力例を示します。

ATD＊99＊＊＊1#↵

リターンマーク：Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容です。

コマンド：コマンド名です。

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、「AT」を含み最大160文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。

- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合があります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※：USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

ATコマンド一覧

- FOMA F901iS Modem Portで使用できるATコマンドです。
- ATコマンド入力時に、使用しているパソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「＼」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示します。	AT%V↵ Ver1.00 OK
AT&C＜n＞	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n=0：常にON n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定する場合は、接続完了時の"CONNECT"を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、"NO CARRIER"を送出する直前にCD信号をOFFにします。	AT&C1↵ OK
AT&D＜n＞	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。※1	n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）	AT&D1↵ OK
AT&E＜n＞	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンと FOMA 端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）	AT&E1↵ OK
AT&F	FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の状態にリセットします。通信中に実行した場合は、回線を切断してからリセットします。	――	AT&F↵ OK
AT&S＜n＞	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0：常時ON（お買い上げ時） n=1：回線接続時にON	AT&S0↵ OK
AT&W	現在の設定値をFOMA端末に記録します。	――	AT&W↵ OK
AT＊DANTE	FOMA端末の受信レベルを数字で表示します。	実行すると"＊DANTE:＜n＞"の形式で表示します。 n=0：圏外 n=1： n=2： n=3：	AT＊DANTE↵ ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=？↵ ＊DANTE:(0-3) OK (表示可能な値の範囲を表示する)
AT＊DGANSM=＜n＞	パケット着信呼に対する着信拒否/許可設定のモードを設定します。※2	n=0：着信拒否設定 OFF、着信許可設定 OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON n=2：着信許可設定ON	AT＊DGANSM=0↵ OK AT＊DGANSM？↵ ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=＜n＞[,＜cid＞]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先(APN)を設定します。※2 APN設定は「+CGDCONT」コマンドで定義された＜cid＞パラメータを使用します。	＜n＞パラメータによって着信許可リストへの追加または削除を指定します。＜cid＞パラメータを省略した場合は、＜cid＞のすべてをリストに追加または削除します。追加または削除する＜cid＞が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加または削除します。 n=0：＜cid＞で定義されたAPNを着信許可リストに追加 n=1：＜cid＞で定義されたAPNを着信許可リストから削除	AT＊DGAPL=0,1↵ OK AT＊DGAPL？↵ ＊DGAPL:1 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ / 説明	コマンド実行例
AT*DGARL=<n> [, ＜cid＞]	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。※2 APN設定は「+CGDCONT」コマンドで定義された＜cid＞パラメータを使用します。	＜n＞パラメータによって着信拒否リストへの追加または削除を指定します。＜cid＞パラメータを省略した場合は、＜cid＞のすべてをリストに追加または削除します。追加または削除する＜cid＞が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加または削除します。 n=0：＜cid＞で定義されたAPNを着信拒否リストに追加 n=1：＜cid＞で定義されたAPNを着信拒否リストから削除	AT＊DGARL=0,1↵ OK AT＊DGARL？↵ ＊DGARL:1 OK
AT*DGPIR=<n>	パケット通信確立時に、番号を通知するかどうかを設定します。※2 発信時、着信時に有効です。	n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時） n=1：APNに「184」を付けて接続 n=2：APNに「186」を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で「186」（通知）/「184」（非通知）を設定した場合→P491	AT＊DGPIR=0↵ OK AT＊DGPIR?↵ ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。	実行すると"＊DRPW:＜n＞"の形式で表示します。	AT＊DRPW↵ ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=？↵ ＊DRPW:(0-75) OK （表示可能な値の範囲を表示する）
+++	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は「1秒」の固定値です。	――	――
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。	「切断理由一覧」を参照→P506	AT+CEER↵ +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P506	「ATコマンドの補足説明」を参照→P506
AT+CGEQMIN	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P506	「ATコマンドの補足説明」を参照→P506
AT+CGEQREQ	パケット通信を確立時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P506	「ATコマンドの補足説明」を参照→P506
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	――	AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK
AT+CGREG=<n>	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。※1 通知される内容は圏内/圏外です。	＜n＞ 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり n=1に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CGREG：<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 ＜stat＞ 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 「AT+CGREG?」のとき"+CGREG:<n>, <stat>"を表示します。	AT+CGREG=1↵ OK AT+CGREG?↵ +CGREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	――	AT+CGSN↵ 123456789012345 OK

データ通信

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ / 説明	コマンド実行例
AT+CLIP=＜n＞	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示します。※1	＜n＞ 0：リザルトを表示しない（お買い上げ時） 1：リザルトを表示する 「AT＋CLIP？」のとき、"AT+CLIP＝＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0↵ OK
AT+CLIR=＜n＞	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。※2	＜n＞ 0：サービスご契約の設定に従う 1：通知しない 2：通知する（お買い上げ時） 「AT+CLIR？」のとき、"AT+CLIR＝＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：CLIRは未起動（常時通知） 1：CLIRは常時起動（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリーモード(非通知デフォルト) 4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=2↵ OK
AT+CMEE=<n>	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 ＜n＞ 0：リザルトコードを使用せずに　"ERROR"を表示（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示 n=1またはn=2でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは次のように表示されます。 "+CME ERROR：xxxx"（xxxxには、数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」→P506）	AT+CMEE=0↵ OK AT+CNUM↵ ERROR AT+CMEE=1↵ OK AT+CNUM↵ +CME ERROR:10
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	実行すると"+CNUM:<number>,＜type＞"の形式で表示されます。 ＜number＞電話番号 ＜type＞ 129：国際アクセスコード＋を含まない 145：国際アクセスコード＋を含む	AT+CNUM↵ +CNUM："+8190 12345678",145 OK
AT+CR=<mode>	回線接続時に"CONNECT"のリザルトコードが表示される前に、パケット通信/64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1	<mode> 0：表示しない（お買い上げ時） 1：表示する パケット通信のときは、"GPRS"と表示され64Kデータ通信のときは"SYNC"と表示されます。	AT+CR=1↵ OK ATD＊99＊＊＊1#↵ +CR:GPRS CONNECT
AT+CRC=＜n＞	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：使用する	AT+CRC=0↵ OK
AT+CREG=<n>	ネットワークの圏内/圏外情報を表示するかを設定します。※1	<n> 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり 「AT+CREG＝1」に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 <stat> 0：圏外 1：圏内 4：不明 「AT+CREG?」のとき"+CREG：<n>, <stat>"を表示します。	AT+CREG=1↵ OK AT+CREG？↵ +CREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+GMI	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。	――――	AT+GMI↵ FUJITSU OK

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+GMM	FOMA端末の製品名の略称が半角英数字で表示されます。	――――	AT+GMM↵ FOMA F901iS OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示します。	AT+GMR↵ Ver1.00 OK
AT+IFC=＜n,m＞	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（＜n＞） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） DTE by DCE（＜m＞） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時）	AT+IFC=2,2↵ OK
AT+WS46=＜n＞	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響は与えません。	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46=22↵ OK
ATA	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。	パケット着信中には、「ATA184↵」（発信者番号通知なし着信動作）および「ATA186↵」（発信者番号通知あり着信動作）を入力できます。	RING ATA↵ CONNECT
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。	前の応答が"ERROR"の場合"ERROR"が返ります。	A/ OK
ATD	発信処理を行います。※3	パケット通信：「ATD＊99＊＊＊＜cid＞#↵」 「ATD＊99#」を入力した場合は「＜cid＞= 1」を使います(＜cid＞を省略した場合は､「＜cid＞= 1」になります)。 「ATD184＊99」で始まる書式を入力した場合は指定した＜cid＞に設定したAPNに対して"184"が付加されます（186でも同様の操作ができます)。 64Kデータ通信:「ATD[パラメータ][電話番号]↵」 電話番号に「0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、空白、T、t、P、p、!、W、w、@、,（カンマ）」以外を設定した場合は、発信できません。 の文字は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。	ATD＊99＊＊＊1#↵ CONNECT
ATE＜n＞	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。	ATE1↵ OK
ATH	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。	――――	(通信中) +++ OK ATH↵ NO CARRIER
ATI＜n＞	確認コードを表示します。	n=0：NTT DoCoMo n=1：製品名の略称を表示する（FOMA F901iS） n=2：製品のバージョンを "VerX.XX"などの形式で表示する	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。	――――	ATO↵ CONNECT
ATQ＜n＞	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0：表示する（お買い上げ時） n=1：表示しない	ATQ0↵ OK
ATV＜n＞	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0：数字表記で表示する n=1：英文字表記で表示する（お買い上げ時）	ATV1↵ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATX＜n＞	接続の"CONNECT"表示に速度を表示するかどうかを設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1 ビジートーン検出： 接続先が通話中の場合は、"BUSY"応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。	n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、「AT&E」コマンドおよび「AT¥V」コマンドが無効になります。	ATX1↵ OK
ATZ	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に実行した場合は、回線を切断してからリセットします。	（オンライン時） ATZ↵ NO CARRIER （オフライン時） ATZ↵ OK
ATS0=＜n＞	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。※1	n=0　　：自動着信なし（お買い上げ時） n=1～255：指定したリング数で自動着信	ATS0=0↵ OK
ATS2=＜n＞	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK
ATS3=＜n＞	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=13）。	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=＜n＞	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、[CR]キャラクタの後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=10）。	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=＜n＞	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません（お買い上げ時n=8）。	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK
ATS6=＜n＞	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時n=5）	ATS6=5↵ OK
ATS7=＜n＞	接続完了までの待ち時間（秒）を設定します。※1	n：1～255（お買い上げ時n=60） 64Kデータ通信およびパケット通信の発呼時に、FOMA端末がパソコンから「ATD」入力を受信してから設定した秒数が経過しても、FOMA端末がパソコンに"CONNECT"を送出できない場合は、"NO CARRIER"のリザルトを返し、切断処理へ移行します。値を「121～255」に設定した場合、"OK"のリザルトを返しますが、値は「120」に設定されます。	ATS7=60↵ OK
ATS8=＜n＞	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。 n＝0：ポーズしない n　：1～255（お買い上げ時n=3）	ATS8=3↵ OK
ATS10=＜n＞	自動切断の遅延時間（秒）を設定します。(1/10秒)※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255（お買い上げ時n=1）	ATS10=1↵ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ / 説明	コマンド実行例
ATS30=＜n＞	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。	n：0～255（お買い上げ時n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=＜n＞	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	n=0：＊アスタリスク n=1：/スラッシュ（お買い上げ時） n=2：¥マークあるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS104=＜n＞	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	n=0：#シャープ n=1：%パーセント（お買い上げ時） n=2：&アンド	ATS104=0↵ OK
AT¥S	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。	――	AT¥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000　S002=043 S003=013　S004=010 S005=008　S006=005 S007=060　S008=003 S010=001　S030=000 S103=001　S104=001 OK
AT¥V＜n＞	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0↵ OK

※1：「&W」コマンドでFOMA端末に記録されます。
※2：「&F」「Z」コマンドによるリセットは行われません。
※3：「ATDN↵」や「ATDL↵」でリダイヤル発信ができます。
※4：「&W」コマンドを使用する前に「Z」コマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側が呼出中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
- **書式**
  +CGDCONT＝[＜cid＞[,"PPP"[,"＜APN＞"]]] ↵
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞　：1～10
  ＜APN＞：任意
  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。
- **実行例**
  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞＝2の場合）
  AT+CGDCONT=2，"PPP"，"abc" ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=
  すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞
  指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=？
  設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGDCONT？
  現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,，＜Maximum bitrate UL＞[,＜Maximum bitrate DL＞]]］ ↵

- **パラメータ説明**

＜cid＞：1～10

＜Maximum bitrate UL＞

：なし（お買い上げ時）または64

＜Maximum bitrate DL＞

：なし（お買い上げ時）または384

※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。
「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

- **実行例**

(1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）

AT+CGEQMIN=2↵

OK

(2) 上り64kbps、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=3の場合）

AT+CGEQMIN=3,,64,384↵

OK

(3) 上り64 kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）

AT+CGEQMIN=4,,64↵

OK

(4) 上りすべての速度、下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）

AT+CGEQMIN=5,,,384↵

OK

- **パラメータを省略した場合の動作**

AT+CGEQMIN=

すべての＜cid＞の設定をクリアします。

AT+CGEQMIN=＜cid＞

指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQMIN=?

設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQMIN?

現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**

パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。

- **書式**

AT+CGEQREQ=［＜cid＞］↵

- **パラメータ説明**

上り64kbps、下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。

＜cid＞：1～10

※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。

- **実行例**

（＜cid＞=3の場合）

AT+CGEQREQ=3↵

OK

- **パラメータを省略した場合の動作**

AT+CGEQREQ=

すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=＜cid＞

指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=?

設定可能な値のリスト値を表示します。

AT+CGEQREQ?

現在の設定を表示します。

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末ーパソコン間を速度1200 bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末ーパソコン間を速度2400 bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末ーパソコン間を速度4800 bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末ーパソコン間を速度7200 bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末ーパソコン間を速度9600 bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末ーパソコン間を速度14400 bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末ーパソコン間を速度19200 bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末ーパソコン間を速度38400 bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末ーパソコン間を速度57600 bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末ーパソコン間を速度115200 bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末ーパソコン間を速度230400 bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末ーパソコン間を速度460800 bpsで接続しました。

お知らせ

- 「ATV」コマンドがn=1に設定されている場合には英文字表記（お買い上げ時）、n=0に設定されている場合には数字表記でリザルトコードが表示されます。→P503
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末ーパソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
2	AV32K	AV（テレビ電話）32Kで接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）64Kで接続
5	PACKET	PACKETで接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0が設定されているとき

「AT¥V」コマンドの設定に関わらず、接続完了の際に"CONNECT"のみの表示となります。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
　　　　　　CONNECT
数字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
　　　　　　1

ATX 1が設定されているとき

- ATX1、AT¥V0が設定されている場合（お買い上げ時）
  接続完了のときに、"CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞"の書式で表示します。
  文字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
  　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
  　　　　　　1 21
- ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  "CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞/＜上り方向(FOMA端末→無線基地局間)の最高速度＞/＜下り方向(FOMA端末←無線基地局間)の最高速度＞"※2
  文字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
  　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384
  　　　　　　(mopera.netに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。)
  数字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
  　　　　　　1 21 5

※1：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2：AT¥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はPACKETで接続している場合のみ表示されます。

文字入力

文字入力について

ここでは、電話帳やメールなどで文字を入力する方法を説明します。

- 文字の入力方式にはかな入力方式とスロット入力方式があります。
  かな入力方式では、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が替わります。文字の割り当てについては「ダイヤルキーの文字割り当て一覧」を参照してください。
  スロット入力方式では、上下2段の入力バーに表示された文字から、を使って入力文字を指定します。
  入力方式によって、入力できる文字の種類は次のように異なります。

○：入力可　×：入力不可　－：入力文字なし

入力方式 / 文字の種類	かな入力方式		スロット入力方式	
	全角	半角	全角	半角
ひらがな／漢字／絵文字	○	－	○	－
カタカナ／英字／数字	○	○	×	○
記号	○	○	○	○

- 文字の種類には「全角文字」と「半角文字」があります。
  全角の文字や空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点と半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 区点コードを使って文字を入力できます。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。

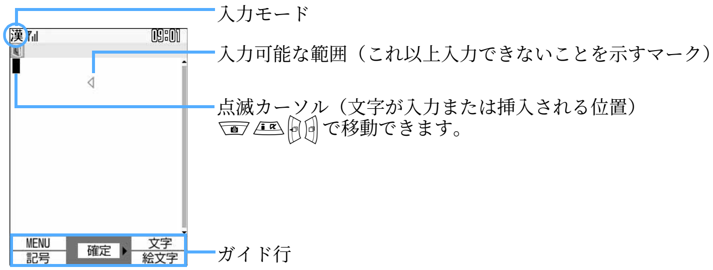
文字入力画面の見かた

文字の入力方法には、画面を切り替えて文字を入力する全画面入力と、画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて文字を直接入力するインライン入力の2種類があります。

- 入力欄によっては、どちらか一方の方法しか利用できない場合があります。
- 貼り付けや定型文入力などで入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。
- 本書では最後にを押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

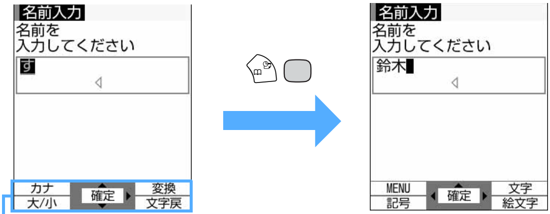
■ 全画面入力

入力欄を選択すると、入力エリアが全画面表示されます。



■ インライン入力

入力欄にカーソルを合わせて 0 〜 9 、 * 、 # を押し、文字を直接入力します。



ガイド行は文字入力用のものに変わります。

文字を確定した状態

文字入力画面での操作について

サブメニューから次の操作ができます。ただし、文字が確定される前やデコメールの装飾画面では、サブメニューは表示されません。

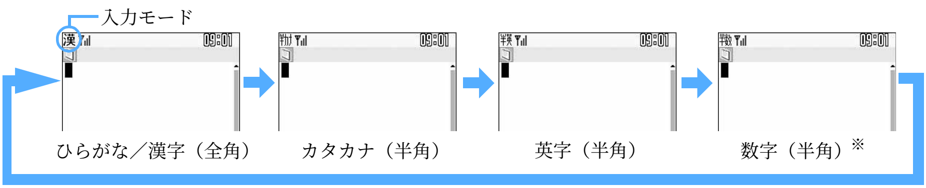
項　目	説　明	参照先
1 コピー	文字をコピーします。	P521
2 切り取り	文字を切り取ります。	P521
3 貼り付け	コピーまたは切り取りした文字を貼り付けます。	P521
4 電話帳引用	電話帳データの内容を引用します。	P518
5 単語登録	文字を単語登録します。	P522
6 定型文登録	文字を定型文登録します。	P519
7 入力設定	文字入力の設定を行います。	P524
8 データ引用	プロフィール情報の内容や電卓の計算結果、バーコードリーダーを起動して読み取ったデータをURL入力画面やｉモード中の入力画面などで引用します。 • 入力欄によって表示される項目が異なります。	P518
9 編集終了	文字入力を終了します。スロット入力方式で文字を入力中にのみ表示されます。	―

入力モードを切り替える

• 文字入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。

（文字キー）で切り替えるには

（文字キー）を押すたびに次のように切り替わります。



※：スロット入力方式では表示されません。

文字入力

入力モードリストで切り替えるには

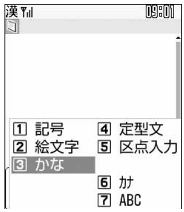
文字入力画面で（メニューキー）を押すと、次の入力モードを選択できます。
• ひらがなしか入力できない場合は（全カナ）が表示されます。

項　目	モード		項　目	モード	
かな	ひらがな／漢字	漢	ｶﾅ	半角カナ	半カナ
カナ※	全角カナ	全カナ	ABC	半角英字	半英
ＡＢＣ※	全角英字	全英	123※	半角数字	半数
１２３※	全角数字	全数			

※： スロット入力方式では表示されません。



かな入力方式



スロット入力方式

• （カメラキー）（iモードキー）（左右キー）、または対応するダイヤルキーを押して入力モードを選択します。
• 入力モードリストから選択して、次の操作もできます。
　「記号」　　：記号を入力できます。→P518
　「絵文字」　：絵文字を入力できます。→P518
　「定型文」　：定型文を入力できます。→P517
　「区点入力」：区点コードで文字を入力できます。→P521

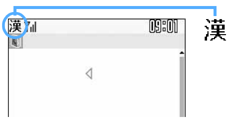
かな入力方式

かな入力方式で文字を入力する

文字を入力する＜かな漢字変換＞

〈例〉電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1　名前の入力欄を選択する



漢 と表示されます。

2 「すずき」と入力する



「す」→ を3回押します。
「ず」→カーソルが右に移動したら、 を3回押し、 を押します。
「き」→ を2回押します。
- 入力中は次の操作ができます。
  ：全角カタカナに変換
  ：大文字と小文字の切り替え
  ：1つ前の文字に戻す（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）
  ：文字の取り消し
  ：濁点、半濁点の付加（例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）

3 を押す



- 予測変換候補が表示されていないときは、 を押してもかな漢字変換されます。→P516
- を押すと、変換前の状態に戻ります。
- ひらがなのまま変換しないときは、 を押さずに操作4に進みます。

■ 変換候補を一覧表示するとき

を押しても目的の文字が表示されないときは、 またはもう一度 を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、 を押すと次ページ、 を押すと前ページに切り替わります。 を押して変換候補を選択するか、各候補に割り当てられている番号のダイヤルキーを押して選択します。



4 を押す

文字が確定します。

■ 文字を挿入するとき

を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ 文字を削除するとき

- カーソルが入力文字の途中にある場合（例：鈴木一郎 ）
  - を押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
  - を1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合（例：鈴木一郎 ）
  - を押すと、カーソル位置の左の1文字が削除されます。
  - を1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

■ 改行するとき

改行する位置にカーソルを移動し、 を押します。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 を押す

文字入力が終了します。

お知らせ

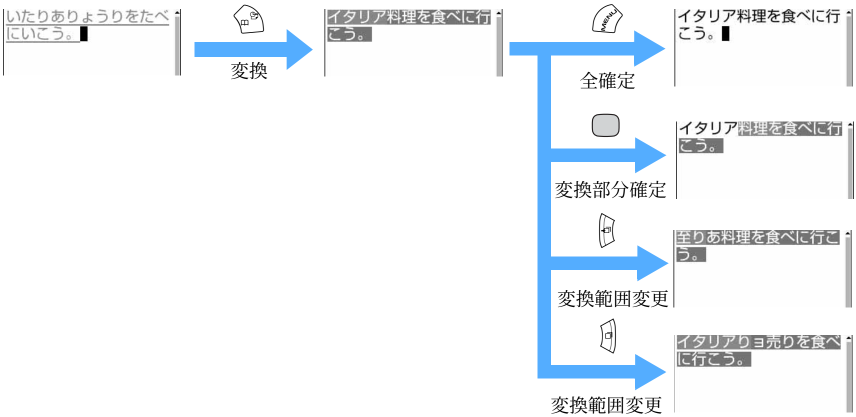
- 濁点、半濁点を入力してから を押しても、1つ前の文字には戻せません。
- 濁点、半濁点が付けられない文字を入力した後に を押すと、「゛」「゜」が全角で入力されます。
- 入力中に を押してカーソルを右に移動した場合は、次の操作はできません。
  - ：大文字と小文字の切り替え（ひらがな、全角／半角カタカナ、全角／半角英字）
  - ：1つ前の文字に戻す
  - ：濁点、半濁点の付加（ひらがな、全角／半角カタカナ）
- ｉモードメールの本文入力画面では、文字を装飾できます。→P248
- 「ダイヤルキーの文字割り当て一覧」→P530

複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換し、文章を簡単に入力できます。

- 全角で最大24文字変換できます。

〈例〉「イタリア料理を食べに行こう。」と入力するとき



お知らせ

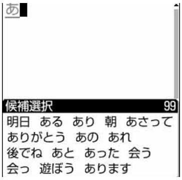
- ひらがなで読みを入力して、記号や絵文字、アルファベット、ギリシャ文字などを入力できます。読みと文字の対応は、付録の「特殊記号入力変換表」「絵文字入力変換表」を参照してください。

入力予測機能を使って文字を入力する

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される機能です。予測変換候補には、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

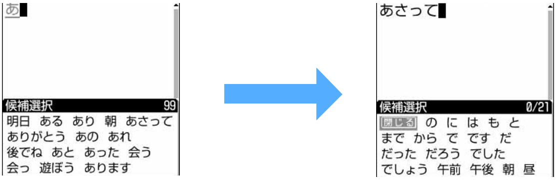
- 次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - 標準搭載の単語
  - かな漢字変換で入力した単語
  - 単語登録した文字列
- 予測変換は、ひらがな／漢字モードでのみ利用できます。ただし、次の場合は予測変換できません。
  - インライン入力（入力欄を選択して文字を直接入力する方法）をする場合
  - スロット入力方式の場合
- 予測変換候補を表示しないように設定できます。→P524

1 文字を入力する



予測変換候補リストが表示されます。
- 1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。

2 を押し、 を押して候補にカーソルを合わせ、を押す



- 予測変換候補リストにカーソルがあるときは、次の操作ができます。
  ／ ：前ページ／次ページ切り替え
  ：かな漢字変換（予測変換候補リストの表示は消えます）
  ：文字確定
- 該当する用語がない場合は を押し、かな漢字変換から目的の文字を選択します。

3 「閉じる」を選択する

予測変換候補リストが消えます。

定型文を入力する

定型文を一覧から入力します。
- 選択した定型文はカーソル位置に挿入されます。

1 文字入力画面で を押す

2 ～ を押す



「顔文字」を選択した場合

- 定型文を作成・登録した場合は、 を押して選択できます。

3 ～ を押す



定型文が入力されます。
- 定型文の内容を確認するときは、定型文にカーソルを合わせ、 を押します。 を押すと定型文が入力されます。

文字入力

次ページへ続く

お知らせ

- 顔文字を使ったメールを送信する場合、相手の端末の表示文字数やフォント、ディスプレイの大きさによっては、形がくずれたり見えかたが異なるなど、正しく表示されない場合があります。
- 一部の顔文字は「かお」の変換候補で表示されます。→P531

記号・絵文字を入力する

記号、絵文字を一覧から入力します。
- 記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。
- 絵文字の読み（入力）については、付録の「絵文字入力変換表」を参照してください。

〈例〉記号を入力するとき

1 文字入力画面で を押す



- 絵文字を入力するときは を押します。
- を押して記号一覧、 を押して絵文字一覧を表示することもできます。
- 記号一覧、絵文字一覧は複数ページあります。 または を押すと一覧のページが切り替わります。

2 記号を選択する

- 次のかっこの左側（例：{ ）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。
  () [] {} 「」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】
- 記号一覧または絵文字一覧で を押すと一覧の上部に連続入力エリアが表示され、記号または絵文字を連続して選択できます。記号の場合は全角で最大10文字、半角で最大20文字、絵文字の場合は最大10文字まで連続入力でき、 を押すと選択した記号または絵文字をまとめて入力できます。ただし、連続入力エリアで上記のかっこの左側を選択しても、右側のかっこは入力されません。

お知らせ

- 記号や絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- ｉモード端末以外の相手に絵文字を入力したメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 「記号・絵文字一覧」の絵文字２を入力したメールを送信すると、相手の端末によっては正しく表示されない場合があります。

データを引用して文字を入力する

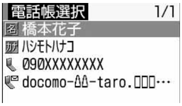
電話帳データやプロフィール情報の登録内容、電卓の計算結果やバーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力します。
- 引用できない文字入力画面では、メニューがグレーなどで表示されたり、メニュー自体が表示されないため操作できません。

電話帳データの内容を引用する

- 文字入力画面を全画面入力に切り替えて操作してください。
- 電話帳の文字入力画面では、電話帳データを引用できません。

1 文字入力画面で を押す

2 引用する電話帳データを選択する



3 引用する内容を選択する

引用した内容が入力されます。

プロフィール情報の内容を引用する

- プロフィール情報の文字入力画面では、プロフィール情報を引用できません。

1 文字入力画面で を押す

2 認証操作を行う



3 引用するプロフィール情報を選択する

引用した内容が入力されます。

電卓の計算結果を引用する

- 電卓の計算結果を引用できるのは、スケジュール帳とメモ帳の文字入力画面です。

1 文字入力画面で を押す

2 計算を行う

3 を押す

計算結果が入力されます。

バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

- バーコードリーダーの読み取りデータを引用できるのは、Internet メニューの URL 入力と i モード中の文字入力画面です。

1 文字入力画面で を押す

起動時に接写モードになります。

2 JAN コードまたは QR コードを読み取る

読み取りデータの文字列が入力されます。

定型文登録

定型文を登録する

登録した定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

- 最大 50 件登録できます。

次ページへ続く

1 **待受画面で を押す**

2 **「＜新しい定型文＞」を選択する**

- 登録済みの定型文を確認するときは、定型文の一覧で定型文にカーソルを合わせて を押します。 を押すと編集できます。
- 登録した定型文を削除するときは、削除する定型文にカーソルを合わせて を押し、「はい」を選択します。

3 **定型文を入力する**

- 全角で最大64文字、半角で最大128文字入力できます。

4 **を押す**

- 登録済みの定型文を修正したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、登録を中止するときは「いいえ」を選択します。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 **文字入力画面で を押す**

2 **開始位置にカーソルを合わせ、を押す**

- 全文を選択する場合は、 を押して を押します。

3 **終了位置にカーソルを合わせ、を押す**

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する場合は、 を押して を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、 を押して を押します。

4 **を押す**

お知らせ

- 上記操作で選択した入力済みの文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
  - 空白のみ　　　　　　：定型文として登録不可
  - 文字列の前後に空白　：文字列のみ有効
  - 文字と文字の間に空白：空白も有効
- メール本文の入力画面から操作する場合は を押しても登録できます。
- メール本文の入力画面以外では、文字が入力されていない場合に を押すと、すぐに定型文編集画面が表示されます。
- 定型文がすでに50件登録されている場合は、定型文登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は一覧から登録データを削除するか、登録済みの定型文を修正してください。

文字コピー

文字をコピー／切り取りして貼り付ける

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

- コピーまたは切り取った文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーまたは切り取りを行うと内容は上書きされます。

文字をコピー／切り取りする

入力済みの文字を選択してコピーしたり切り取ったりします。

〈例〉文字をコピーするとき

1 文字入力画面で MENU 1 を押す

- 文字を切り取るときは MENU 2 を押します。

2 開始位置にカーソルを合わせ、を押す

- 全文を選択する場合は、MENU を押してを押します。

3 終了位置にカーソルを合わせ、を押す

選択した範囲の文字がコピーされます。

- 開始位置から文頭までを選択する場合は、MENU を押してを押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、を押してを押します。

お知らせ

- メール本文の入力画面から操作する場合は MENU を押し、「コピー」または「切り取り」を選択しても操作できます。

文字を貼り付ける

コピーまたは切り取りした文字を文字入力画面に貼り付けます。

- 貼り付けたとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、入力可能な文字数以降が消去された文章が貼り付けられます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせ、MENU 3 を押す

文字がカーソル位置に挿入されます。

お知らせ

- メール本文の入力画面から操作する場合は MENU を押し、「貼り付け」を選択します。
- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレス欄（半角英数字）にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コードで入力する

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を４桁の区点コードを使って入力します。

〈例〉「携」（区点コード２３４０）を入力するとき

1 文字入力画面で 8 を押す

2 ４桁の区点コード（この場合は 2 3 4 0）を入力する

「携」が入力されます。

- 有効な区点コードは０１０１～８４０６です。
- 対応する文字、数字、記号がない区点コードの入力は無効です。

単語登録

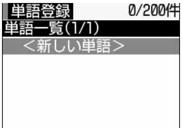
よく使う単語をあらかじめ登録する

よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、文字の変換のときに簡単に呼び出せます。

- 最大200件登録できます。

1 待受画面で を押す

2 「＜新しい単語＞」を選択する



- 登録済みの単語を確認するときは、単語にカーソルを合わせて を押します。 を押すと編集できます。
- 単語を削除するときは、削除する単語にカーソルを合わせて を押し、「削除」を選択します。登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」を選択します。

3 単語欄を選択し、登録する単語を入力する



- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- 登録できる文字の種類は次のとおりです。
  - ひらがな／漢字
  - 全角／半角英字
  - 全角／半角記号
  - 全角／半角カタカナ
  - 全角／半角数字
  - 絵文字

4 読み欄を選択し、読みを入力する

- ひらがなで最大16文字入力できます。

5 を押す

- 登録済みの単語を修正したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を、元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

お知らせ

- 単語と読みは必ず入力してください。
- 読みはひらがなと長音、濁点、半濁点のみ登録できます。空白を入力すると、その空白は保存後に削除されます。
- 単語と読みの組み合わせで、同じ単語がすでに登録されている場合は、登録できません。
- 同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更するか、同じ読みの不要な単語を削除してください。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 文字入力画面で を押す

2 開始位置にカーソルを合わせ、 を押す

- 全文を選択する場合は、 を押して を押します。

3 終了位置にカーソルを合わせ、を押す

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する場合は、を押してを押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、を押してを押します。

4 読みを入力し、を押す

お知らせ

- メール本文の入力画面から操作する場合はを押しても登録できます。
- メール本文の入力画面以外では、文字が入力されていない場合にを押すと、すぐに単語編集画面が表示されます。
- 単語がすでに200件登録されている場合は、単語登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データを削除するか、登録済みの単語を修正してください。

スロット入力方式

スロット入力方式で文字を入力する

スロット入力ボードに表示された文字から、を使って入力文字を指定します。

- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。→P524
- スロット入力方式では入力予測機能は利用できません。



入力モード

スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアの操作（文字の削除やカーソル移動など）をするときはを押します。スロット入力ボードの操作に戻すときはもう一度を押します。

スロット入力ボード

〈例〉電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 名前の入力欄を選択する

2 「すずき」と入力する



「す」→を2回、を2回押し、を押します。
「ず」→を押し、を3回押し、を押します。
「き」→を4回、を1回押し、を押します。

- 上段と下段の入力バーを入れ替えるときは、を押します。

3 を押す



変換されます。

- 変換方法はかな入力方式と同じです。
- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるにはを押します。
- ひらがなのまま確定するときはを押します。確定と同時にスロット入力ボードが有効になります。

4 を押す

文字が確定します。
- 続けて文字を入力できます。

5 を押し、を押す

文字入力が終了し、電話帳の登録画面に戻ります。

お知らせ

- 「入力バーの文字割り当て一覧」→ P531
- 文字入力画面のサブメニュー→ P513

入力設定

入力方法を設定する

お買い上げ時	入力方式：かな入力　入力予測：ON　自動カーソル：普通

文字を入力するときの入力方法を設定します。

1 待受画面で MENU 8 9 3 を押す

2 各項目を選択して設定する

入力方式　：「かな入力」方式にするか「スロット入力」方式にするかを設定します。
- 「スロット入力」に設定した場合は、入力予測、自動カーソルを設定できません。

入力予測　：予測変換候補を表示するかどうかを設定します。

自動カーソル：カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。
- 「OFF」に設定すると、カーソルは自動移動しません。
- 「遅い」に設定すると、約 1.5 秒経過するとカーソルが移動します。
- 「普通」に設定すると、約 1 秒経過するとカーソルが移動します。
- 「速い」に設定すると、約 0.5 秒経過するとカーソルが移動します。

3 を押す

文字入力中に設定を変更するには

- 文字が確定される前やデコメールの装飾画面では変更できません。
- インライン入力中は自動カーソルの変更しかできません。

1 文字入力画面で MENU 7 を押す

2 1 ～ 3 を押す

- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替えるときは 1 を押します。
- 入力予測の ON ／ OFF を切り替えるときは 2 を押します。
- 自動カーソルの移動時間を選択するときは 3 を押し、1 ～ 4 を押して設定します。

お知らせ

- 自動カーソルを「OFF」に設定した場合、同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力した後 を押してカーソルを右に移動させてから次の文字を入力します。たとえば、「あい」と入力するときは、1 1 1 の順に押します。

付録

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

待受画面からショートカット操作で選択できるメニューの一覧です。

一覧表の見かた

- 　は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
- （MENU）を押してからメニューの左に記載されている数字（項目番号）を順番に押すと、メニューが選択できます。メニューの項目番号を選択する以外の方法がある場合には、（　）内に該当するキーを記載しています。

〈例〉カメラを起動する方法

次の２とおりがあります。

＜方法１＞
待受画面で（MENU）→（6）→（1）を順番に押す

＜方法２＞
待受画面で（カメラキー）を押す

6 ツール

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 カメラ（カメラキー）	―――	P174
2 ビデオカメラ（カメラキー１秒以上）	―――	P179

1 メール（メールキー）

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 受信メール	―――	P272
2 新規メール（メールキー１秒以上）	―――	P245
3 チャットメール	―――	P294
4 未送信メール	―――	P272
5 送信メール	―――	P272
6 問合せ		
1 iモード問合せ（サイドキー［▼］１秒以上）	―――	P265
2 SMS問合せ	―――	P303
3 メール選択受信	―――	P264
4 iモード問合せ設定	すべて選択	P288
7 SMS		
1 SMS作成	―――	P300
2 FOMAカード（UIM）受信SMS	―――	P305
3 FOMAカード（UIM）送信SMS	―――	P305
4 SMS設定※1	送達通知：要求しない 上記以外はFOMAカードの設定に従う	P304
8 テンプレート読込み	―――	P258
9 メール設定		
1 メール着信設定	着信音選択： メロディ／着信音1 着信イルミネーション設定： 点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P293
2 チャットメール着信設定	着信動作設定： メール着信動作に従う	P299
3 メール振り分け設定	振り分け：ON	P285
4 署名設定	自動挿入：する 署名：値なし	P288
5 メール返信引用設定	引用：する 引用文字：＞	P290
6 メール選択受信設定	OFF	P289
7 メール受信添付ファイル設定	画像、メロディ：受信する	P291

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 メール設定		
8 メールグループ	―――	P289
9 表示設定		
1 メール一覧表示設定	2行表示	P291
2 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P291
3 受信表示設定	通知優先	P293

2 iモード（iモードキー）

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 iMenu	―――	P202
2 Bookmark	―――	P211
3 Internet		
1 URL入力	―――	P210
2 URL履歴	―――	P210
4 画面メモ	―――	P215
5 ラストURL	―――	P204
6 iモード問合せ（サイドキー［▼］１秒以上）	―――	P265
7 メッセージ		
1 メッセージR	―――	P228
2 メッセージF	―――	P228
3 メッセージ設定		
1 自動表示設定	メッセージR優先	P227
2 iモード問合せ設定	すべて選択	P288
3 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P291
4 メッセージ着信設定	着信音選択： メロディ／着信音1 着信イルミネーション設定： 点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P227
8 iモード設定		
1 ワンタッチサイト表示	―――	P213
2 接続待ち時間設定	60秒間	P223
3 接続先設定	iモード（FOMAカード）	P223

付録

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

メニュー	お買い上げ時	参照先
8 モード設定		
4 証明書表示／使用設定※2	CA証明書1～9 上記以外はFOMAカードの設定に従う	P231
5 ユーザ証明書操作	―――	P232
6 証明書発行接続先設定	接続先：ドコモ	P234
9 表示設定		
1 表示・効果設定	画像、アニメーション：表示する 登録データ利用設定：利用する 照明設定：常灯 効果音設定：ON	P224
2 表示色設定	文字／背景、リンク色：指定しない	P225
3 モーション設定	自動再生設定：自動再生する モーションタイプ設定：標準タイプ	P339

3 アプリ

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 ソフト一覧（ 1秒以上）	―――	P314
2 アプリ設定		
1 ソフトの並べ替え	ダウンロード日時順	P332
2 自動起動設定	ON	P325
3 ソフト情報表示設定	OFF	P314
4 照明設定	端末設定に従う	P317
5 バイブレータ設定	ON	P318
6 ツータッチ アプリ表示	―――	P324
3 履歴表示	―――	P316 P326 P328

4 電話帳／履歴

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 電話帳検索（ ）	―――	P103
2 電話帳登録	―――	P97
3 FOMAカード（UIM）登録	―――	P101
4 着信履歴（ ）	―――	P63
5 リダイヤル（ ）	―――	P51
6 伝言メモ／音声メモ（サイドキー［▲］1秒以上）		
1 伝言メモ設定	停止する	P72 P73
2 伝言メモ一覧	―――	P74
3 音声メモ録音	―――	P447
4 音声メモ一覧	―――	P447

5 データBOX

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 マイピクチャ	―――	P348
2 モーション	―――	P360
3 メロディ	―――	P376
4 キャラ電	―――	P369
5 マイドキュメント	―――	P413

6 ツール

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 カメラ（ ）	―――	P174
2 ビデオカメラ（ 1秒以上）	―――	P179
3 サウンドレコーダー	―――	P408
4 バーコードリーダー	―――	P191
5 赤外線／PCデータ連携		
1 赤外線全件送信		
1 電話帳	―――	P402
2 スケジュール	―――	P402
3 受信メール	―――	P402
4 送信メール	―――	P402
5 未送信メール	―――	P402
6 メモ	―――	P402
7 Bookmark	―――	P402
2 赤外線受信	―――	P404
3 データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	P407
4 USBモード設定	通信モード	P477
6 miniSDカード	―――	P384
7 ICカードソフト一覧	―――	P344

7 ステーショナリー

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 スケジュール帳（ 1秒以上）	―――	P432
2 メモ帳	―――	P452
3 アラーム	―――	P429
4 電卓	―――	P451

8 設定

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 音／バイブ		
1 着信音設定	電話、メール、メッセージR/F：メロディ／着信音1 チャットメール：メール連動 通話保留音：内蔵音 テレビ電話：メロディ／ハープ	P118
2 着信音量調整	レベル4	P66
3 受話音量調整	レベル4	P65
4 キー確認音設定	エレクトロニック	P122
5 電池アラーム音設定	ON	P42
6 マナーモード選択	通常マナーモード	P124
7 バイブレータ設定	すべてOFF	P121
8 着信呼出動作設定	着信呼出動作：OFF	P164
9 充電確認音設定	ON	P122
2 ディスプレイ		
1 待受画面設定	インテリア	P125
2 発着信画面選択		
1 電話発信設定	イメージ表示：標準画像	P132
2 電話着信設定	着信音：メロディ／着信音1 イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／ライム	P133
3 テレビ電話発信設定	イメージ表示：標準画像	P132
4 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／ハープ イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／ライム	P134
5 人物画像表示設定	ON	P135

付録

次ページへ続く

メニュー	お買い上げ時	参照先
2 ディスプレイ		
2 発着信画面選択		
6 メール送信画像設定	イメージ表示：標準画像	P135
7 メール受信画像設定	イメージ表示：標準画像	P135
8 問合せ画像設定	イメージ表示：標準画像	P135
3 スクリーン設定	ナチュラルエレガント	P138
4 電池マーク設定		P140
5 照明設定	照明方法：点灯 点灯時間：10秒 範囲：ディスプレイ＋キー ディスプレイの明るさ：標準 ACアダプタ接続時動作：端末設定に従う	P137
6 イルミネーション設定	新着通知：OFF すべてのイルミネーションパターン：点滅 電話、テレビ電話着信のイルミネーションカラー：ライム メール、チャットメール、メッセージR/F着信のイルミネーションカラー：アクア 通話中イルミネーション：OFF	P141
7 背面ディスプレイ設定		
1 背面情報表示設定	相手情報表示あり	P137
2 背面画像設定	待受画像：標準画像1 発着信画像、メール受信画像：メインディスプレイに連動 時計表示：日本語大 時計形式：24時間表示	P135
8 フォント設定	中（標準）	P142
9 バイリンガル	FOMAカードの設定に従う	P144
3 セキュリティ／ロック		
1 ロック		
1 オールロック	――――	P154
2 PIMロック	OFF	P157
3 遠隔ロック	遠隔ロック：OFF	P154
4 ICカードロック	OFF	P345
5 開閉ロック	OFF	P160
2 シークレットモード	――――	P161
3 ダイヤル発信制限	OFF	P157
4 FOMAカード（UIM）	FOMAカードの設定に従う	P147
5 暗証番号変更	0000	P147
6 指紋設定	――――	P150
7 プライバシーモード設定	電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、iモーション、スケジュール、iアプリ：表示する 自動起動：OFF	P158
8 スキャン機能		
1 パターンデータ更新	――――	P569
2 スキャン機能設定	有効	P569
3 バージョン表示	――――	P571
4 情報表示／リセット		
1 通話時間		
2 設定状況確認	――――	P457
3 電池レベル表示	――――	P41
4 通話料金		
1 通話料金表示	――――	P449
2 通話料金上限通知	通話料金上限通知：OFF	P450
3 上限通知アイコン消去	――――	P451
4 通話料金自動リセット設定	OFF	P449
5 各種設定リセット	――――	P458
6 データ一括削除	――――	P458
5 時計		
1 日付時刻設定※3	自動時刻補正：ON	P44
2 自動電源ON設定	自動電源ON：OFF	P428
3 自動電源OFF設定	自動電源OFF：OFF	P428
4 時計表示設定	待受時計デザイン：デジタル1 サイズ：大きく表示 表示位置：上 曜日：バイリンガルに従う 形式：24時間表示	P143
5 アラーム自動電源ON設定	OFF	P431
6 発着信機能		
1 電話発信設定	イメージ表示：標準画像	P132
2 電話着信設定	着信音：メロディ／着信音1 イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／ライム	P133
3 発番号なし動作設定	設定解除	P163
4 イヤホン機能設定		
1 イヤホン切替設定	イヤホン＋背面スピーカー	P456
2 オート着信機能設定	自動着信機能：OFF	P456
3 イヤホンスイッチ発信設定	イヤホン自動発信設定：OFF	P454
5 メモリ別着信拒否／許可	設定解除	P161
6 メモリ登録外着信拒否	OFF	P165
7 応答保留ガイダンス設定	保留音：内蔵音	P68
8 エニーキーアンサー設定	ON	P62
9 優先通信モード設定	設定なし	P67
7 通話機能		
1 ノイズキャンセラ設定	ON	P58
2 再接続アラーム設定	アラーム高音	P58
3 通話保留音設定	保留音：内蔵音	P69
4 通話品質アラーム設定	アラーム高音	P123
5 プレフィックス設定	プレフィックス1：009130010	P56
6 国際ダイヤル自動付加	自動付加	P56
7 サブアドレス設定	ON	P57
8 通話中クローズ設定	切断	P62
8 テレビ電話		
1 テレビ電話発信設定	イメージ表示：標準画像	P132
2 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／ハープ イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／ライム	P134

メニュー	お買い上げ時	参照先
8 テレビ電話		
3 テレビ電話動作設定	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 発信時自画像送信：ON 送信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準）	P92
4 テレビ電話画像選択	代替画像のイメージ表示：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像のイメージ表示：標準画像	P88
5 テレビ電話使用機器設定	本体	P93
6 テレビ電話切替機能通知		
1 切替機能通知開始	―	P93
2 切替機能通知停止	―	P93
3 切替機能通知設定確認	―	P93
9 文字入力／その他		
1 単語登録	―	P522
2 定型文登録	―	P519
3 入力設定	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P524
4 セルフモード設定（クリア 1秒以上）	OFF	P156
5 NW検索方法	検索方法：ネットワーク自動検索	P457
6 ソフトウェア更新	―	P565

9 NWサービス

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 留守番電話		
1 留守番サービス		
1 留守番サービス開始	―	P463
2 留守番呼出時間設定	―	P463
3 留守番サービス停止	―	P463
4 留守番設定確認	―	P463
5 留守番メッセージ再生	―	P463
6 留守番サービス設定	―	P463
7 メッセージ問合せ	―	P463
2 件数増加鳴動設定	件数通知音：ON 通知メロディ：着信音1	P464
3 着信通知		
1 着信通知開始	―	P464
2 着信通知停止	―	P464
3 着信通知設定確認	―	P464
4 表示消去	―	P464
2 キャッチホン		
1 キャッチホン開始	―	P465

メニュー	お買い上げ時	参照先
2 キャッチホン		
2 キャッチホン停止	―	P465
3 キャッチホン設定確認	―	P465
3 転送でんわ		
1 転送サービス開始	―	P466
2 転送サービス停止	―	P467
3 転送先変更	―	P467
4 転送先通話中時設定	―	P467
5 転送サービス設定確認	―	P467
4 迷惑電話ストップ		
1 迷惑電話着信拒否登録	―	P467
2 迷惑電話全登録削除	―	P468
3 迷惑電話1登録削除	―	P468
5 発信者番号通知		
1 発信者番号通知設定	―	P45
2 発信者番号通知確認	―	P45
6 番号通知お願いサービス		
1 番号通知開始	―	P468
2 番号通知停止	―	P468
3 番号通知確認	―	P468
7 通話中着信設定		
1 通話中着信設定開始	―	P470
2 通話中着信設定停止	―	P470
3 通話中着信設定確認	―	P470
8 通話中着信動作選択	通常着信	P470
9 その他のNWサービス		
1 USSD登録	―	P471
2 応答メッセージ登録	―	P471
3 遠隔操作設定		
1 遠隔操作開始	―	P470
2 遠隔操作停止	―	P470
3 遠隔操作設定確認	―	P471
4 英語ガイダンス		
1 ガイダンス設定	―	P469
2 ガイダンス設定確認	―	P469
5 デュアルネットワーク		
1 デュアルネットワーク切替	―	P469
2 デュアルネットワーク状態確認	―	P469
6 サービスダイヤル		
1 ドコモ故障問合せ	―	P470
2 ドコモ総合案内・受付	―	P470
7 マルチナンバー		P471
8 規制	※本端末ではご利用になれません	
0 プロフィール情報	FOMAカードの設定に従う	P46 P445

※1：各種設定リセットを行うと、FOMAカードの設定が次の設定になります。
- 送信文字種：日本語　- 送達通知：要求しない　- 有効期間　：3日
- SMSC　：ドコモ　- アドレス：81903101652　- Type of Number：international

※2：各種設定リセットを行うと、FOMAカードの設定もすべて選択になります。

※3：各種設定リセットを行っても、設定されていた日付と時刻は保持されます。

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

かな入力方式では、ダイヤルキーには次のように文字が割り当てられています。
カナ、英字、数字モードでは、入力モードに従って全角文字または半角文字が入力されます。

キー	ひらがな／漢字モード（全角）※1	カナモード（全角または半角）	英字モード（全角または半角）	数字モード（全角または半角）※3
1	あ　い　う　え　お　1	ア　イ　ウ　エ　オ　1	.　/　@　￣※2　― :　＿　[　¥　]　^　` {	}　1	1
2	か　き　く　け　こ　2	カ　キ　ク　ケ　コ　2	a　b　c　2	2
3	さ　し　す　せ　そ　3	サ　シ　ス　セ　ソ　3	d　e　f　3	3
4	た　ち　つ　て　と　4	タ　チ　ツ　テ　ト　4	g　h　i　4	4
5	な　に　ぬ　ね　の　5	ナ　ニ　ヌ　ネ　ノ　5	j　k　l　5	5
6	は　ひ　ふ　へ　ほ　6	ハ　ヒ　フ　ヘ　ホ　6	m　n　o　6	6
7	ま　み　む　め　も　7	マ　ミ　ム　メ　モ　7	p　q　r　s　7	7
8	や　ゆ　よ　8	ヤ　ユ　ヨ　8	t　u　v　8	8
9	ら　り　る　れ　ろ　9	ラ　リ　ル　レ　ロ　9	w　x　y　z　9	9
0	わ　を　ん　ー　、　。 ・　？　！　「　」　□ 0	ワ　ヲ　ン　ー　、　。 ・　？　！　「　」　□ 0	!　”　#　$　%　& ’　(　)　＊　＋　,　; <　＝　>　?　□　0	0 ＋※4
*	゛　゜	゛　゜	※半角の場合のみ、次の文字列が入力できます。 @docomo.ne.jp .com　.or.jp　.go.jp .ne.jp　.co.jp　.ac.jp http://www.　www. .html　.htm	＊ P ※4
#	改行	改行	改行	改行 ＃ T ※4
	1 文字戻る	1 文字戻る	1 文字戻る	
	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	

□：空白を示します。
：文字入力後に（A／a）を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。
※1：全角の数字モード以外の数字は半角で入力されます。
※2：半角の英字モードは「~」で入力されます。
※3：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。
※4：該当するキーを 1 秒以上押すと入力できます。

入力バーの文字割り当て一覧（スロット入力方式）

入力バー		ひらがな／漢字モード（全角）
上段	あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ 1
	か	かきくけこ 2
	さ	さしすせそ 3
	た	たちつてとっ 4
	な	なにぬねの 5
	゛゜※	゛゜
下段	は	はひふへほ 6
	ま	まみむめも 7
	や	やゆよ ゃゅょ 8
	ら	らりるれろ 9
	わ	わをんー 、。？！「」 全角空白 0
	↵	改行

入力バー		カナモード（半角）
上段	ｱ	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ1
	ｶ	ｶｷｸｹｺ 2
	ｻ	ｻｼｽｾｿ 3
	ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4
	ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ 5
	ﾞ	ﾞﾟ
下段	ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎ 6
	ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ 7
	ﾔ	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ 8
	ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ 9
	ﾜ	ﾜｦﾝｰ､｡?!｢｣ 半角空白 0
	↵	改行

入力バー		英数字モード（半角）
上段	.	. / @ ~ — : _ [¥] ^ ` { | } 1
	A	A B C a b c 2
	D	D E F d e f 3
	G	G H I g h i 4
	J	J K L j k l 5
	定	@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm
下段	M	M N O m n o 6
	P	P Q R S p q r s 7
	T	T U V t u v 8
	W	W X Y Z w x y z 9
	!	! " # $ % & ' ( ) * + , ; < = > ? 半角空白 0
	↵	改行

※： を押すたびに「゛」「゜」が切り替わります。

定型文一覧

- 顔文字（55件）

(o^_^o)	(^−^)v	(*⌒▽⌒*)	ヾ(^▽^)ノわーい
ヽ(^^)	p(^−^)q	(—’`—；) なぬ?	ヽ(*`Д´)ノ
(−.−”)凸 ﾁｯﾁｯﾁ	(ノ−”−)ノ~┻━┻	o−_−)=○☆	(x_x;)
(;_;)	(/_;)	(T_T)	(T−T)
(T^T)	(>_<)	(つд`)	(;´д⊂)
(i_i)＼(^_^)	(*´д`*)	(´・ω・`)	♪～(￣ε￣)
ヽ(´ー`)ノ	(￣ー+￣)ふっ	(^−^)⊃旦~	(^^;;
(^^ゞ	σ(^_^;)?	f(^_^)	(・・;)
(゜Д゜；≡；゜д゜)	0(><;)(;><)0	(;¬_¬)じ～っ	(−_−)
(−_−#)	(−_−)zzz	(゜0゜;)	Σ(￣□￣)！
(?_?)	φ(._.)メモメモ	(`_´)ゞ了解！	(_ _).oO
(−.−;)y−~~~	(^^)/ｼ	(^_^)/~	ヾ(^_^) byebye!!
(^3^)/チュッ	m(_ _)m	○|￣|_	(=゜ω゜)ﾉ
(・∀・)	(笑)	(爆)	

付録

次ページへ続く

・ひらがな／漢字モードで「かお」と入力して変換される顔文字と絵文字（65件）

(^-^)	m(__)m	(^0^)v	(^_^;
(T_T)	(;_;)	(-。-;)	(>_<。)
(-_-)zzz‥	(o^_^o)	(^-^)v	(＊⌒▽⌒＊)
ヾ（＾▽＾）ノわーい	(x_x;)	(^^;;	(＾＾ゞ
σ（＾＿＿＾；）？	(＊´д｀＊)	(´・ω・｀)	(ー”ー；）なぬ？
(；¬＿¬）じ〜っ	(-_-)	(-_-#)	ヽ（＊｀Д´）ノ
(ー．ー”）凸　チッチッチ	(ノー”ー）ノ〜┻━┻	(゜0゜;)	Σ（￣□￣）！
(/_;)	(T-T)	(T^T)	(>_<)
(つд｀)	(；´д⊂)	φ（．＿＿．）メモメモ	(　＾ー＾）⊃旦〜
ヽ（´ー｀）ノ	(｀＿＿´）ゞ了解！	(＿＿　＿＿）．ｏＯ	(＾＿＿＾）／〜
ヾ（＾＿＿＾）ｂｙｅｂｙｅ！！	(^^)/ｼ	(＾ｚ＾）／チュッ	♪〜（￣ε￣）
ｏー＿＿ー）＝○☆	0(><;)(;><)0	(　ｉ＿＿ｉ）＼（＾＿＿＾）	(‥;)
(?_?)	(笑)	(爆)	(￣ー＋￣）ふっ
○｜￣｜＿	(・∀・)	(＝゜ω゜）ノ	(-.-;)y-~~~
ヽ（＾＾　）	p(^-^)q	f(^_^)	(゜Д゜；≡；゜д゜）

・装飾線（5件）

+−−+−−+−−+−−+−−+−−+−−+	□■□■□■□■□■□	・:*:・゜’★,。・:*:・゜’☆・:
く｀）ゞ><。。o○。o○	♪//♪//♪//♪//♪//♪	

・アドレス・データ形式（11件）

http://www.	http://	@docomo.ne.jp	.net
.com	.ne.jp	.co.jp	.or.jp
.go.jp	.ac.jp	xxxx/xx/xx xx:xx～xxxx/xx/xx xx:xx Schedule ↵ ※	

※：「XXXX/XX/XX XX:XX」には現在の日付・時刻が設定されます。Date To機能用のスケジュールの入力に使用できます。→P453

・ビジネス（14件）

いつもお世話になっております。○○の○○です。
本日はお忙しいところお時間をいただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
本日の会議は○○のため中止となりました。ご周知ください。
本日の会議は○○のため○○に延期となりました。ご確認ください。
只今会議中のため、電話に出ることができません。○○後に折り返しご連絡いたします。
只今移動中のため、電話に出ることができません。○○後に折り返しご連絡いたします。
今、○○です。これから帰社します。帰社予定時刻は○○頃です。
今、○○です。このまま帰宅します。
これから出社します。○○頃になります。
これからお伺いさせていただきます。本日の待ち合わせ時間は○○で変更ございませんでしょうか。
只今○○へ出張中です。会社に戻るのは○○の予定です。
○○の件につき、PC にメールを入れておきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。
○○の件につき、至急確認したいことがございます。ご連絡ください。
本日、○○のため、欠勤させていただいております。

・プライベート（14件）

今日は一日お疲れ様でした。明日もお互い頑張りましょう。
今日は一日ありがとう。とても楽しかったです。
○○で○○といういいお店を見つけました。今度一緒に行きませんか？
今日、○○という映画を観てきました。とても良かったです。今度是非観てみてください。
今日のデートはどこに行きたい？○○なんてどうかな？
○月○日にみんなで○○へ行く計画をしています。ご一緒にいかがですか？

アドレスを変更しました。新アドレスは@docomo.ne.jp です。電話帳の登録変更をお願いいたします。
○○で○○時に待ち合わせしましょう。よろしくね。
○月○日、飲みに行きませんか？久しぶりにみんなと楽しく飲みたいです。
○月○日、○○へ遊びに行きませんか？久しぶりにみんなと会いたいです。
○月○日の予定はいかがですか？一緒に○○なんてどうかなと思って。
明日はいよいよ、待ちに待った○○です。今日はゆっくり休んで明日に備えましょう。
体調はどうですか？無理しないでゆっくり休んでくださいね。早く良くなりますように。
本日、○○時から○○チャンネルのテレビ番組のビデオ録画をお願いいたします。

- **文例集（16件）**

【寒中見舞】寒さ厳しき折、お変わりございませんか。御身ご大切になさいますようお祈り申し上げます。
【暑中見舞】暑中お見舞い申し上げます。時節柄、ご健康には十分ご留意のうえご活躍くださいますよう心から祈念いたしております。盛夏
【御礼】時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。この度は丁寧なお心遣いをいただき、厚く御礼申し上げます。
【残暑見舞】残暑お見舞い申し上げます。残暑ことのほか厳しい折柄、皆様のご健康をお祈り申し上げます。盛夏
【結婚祝】時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度はご結婚おめでとうございます。お二人の門出を心より祝福申し上げます。
【出産祝】時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度はご出産おめでとうございます。お子様の壮健なご成長を祈念いたします。
【入学祝】ご入学おめでとうございます。充実した学生生活を送り、さらに大きく飛躍されることをお祈りいたします。
【卒業祝】ご卒業おめでとうございます。新しい人生の門出を心よりお祝い申し上げます。
【就職祝】ご就職おめでとうございます。健康に留意され、ご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。
【病気見舞】お体の具合はいかがでしょうか。一日も早いご回復を祈念し、心よりお見舞い申し上げます。
【転居案内】転居のご案内を申し上げます。住所、電話番号などは追ってお知らせいたします。取り急ぎご連絡まで。
【詫状】この度は多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。何卒ご寛容の上、引続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。
【誕生日祝】心から○○様のお誕生日をお祝いいたしますとともに、今後のご健康と御繁栄を祈念いたします。
【成功祝】ご成功の報に接し、心よりお祝い申し上げますとともに、今後の益々のご活躍を祈念いたします。
【就任祝】この度のご就任、心からお喜び申し上げます。今後ますますのご健勝とご隆盛をお祈りいたします。
【人事異動通知】この度弊社の人事異動により○○へ移動となりました。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

- **絵文字対応（22件）**

おはよう今日も一日頑張ろう!!	おやすみまた明日ね(-_-)zzz…
おやすみいい夢見てねzzz	ありがとう!!今日はとても楽しかったですまた連絡してね
m(_ _)mごめんなさい。遅れます	
□\(_ _)深く反省してます	もう少し待ってください
今、終わりましたこれから帰ります	さようならまた会える日を楽しみにしてます!!
(o^_^o)はじめまして!ちゃんとメール届いてる？	
お久しぶりです!元気!?	最近の調子はどう
今日の都合はどう!?	お腹すいたな。食事に行きませんか？
旅行でも行きませんか？	今日何時に終わる？
あとで連絡します	連絡ください
今日は外食します	了解しましたじゃあね(^o^)/~~
あなたにお任せします	すぐに戻ります

付録

・**英語文（46件）**

【おはよう】Good morning. Good luck for today.	【こんにちは】HELLO
【おやすみ①】Good night. See you tomorrow.	【おやすみ②】Good night. Sweet dreams.
【ありがとう①】Thank you. I had a great fun today. Call me again.	【ありがとう②】 Thank You
	【おめでとう】 Congratulations
【ごめん】SORRY・・・	【遅れます】Sorry, I'm late.
【反省】I am terribly sorry.	【もう少し待って】Please wait a little longer.
【さようなら①】Good bye. Looking forward to seeing you again.	【さようなら②】BYE BYE
	【またね】SEE YOU
【お久しぶり】Long time no hear. How are you?	【最近どう？】What's up?
【後で連絡します】I will call you later.	【連絡ください】Call me, please.
【メール届いた？】Hello, did you get my mail?	【大丈夫？】ARE YOU OK!?
【もうダメ】GIVE UP Ψ Ψ	【あきらめるな①】NEVER GIVE UP
【あきらめるな②】NEVER DON'T STOP	【君ならできるよ】YOU CAN DO IT
【がんばれ】FIGHT!!	【さぁ】COME ON!!
【乗って】GET ON	【起きろ】GET UP" !!
【起きて】WAKE UP"	【お先に】GO AHEAD
【今から帰宅】I have just finished. I am going home now.	【会社に戻ります】I'll return to the office.
	【今日の予定は？】What is your plan today?
【何時に終わる？】What time are you going to be done today?	【食事のお誘い】I'm hungry. Shall we go eat?
	【旅行のお誘い】Let's go on a trip!
【外食します】I eat out today.	【了解】Sure. See you.
【任せます】It's up to you.	【ようこそ】WELCOME
【幸せ】HAPPY ＼（*^ε^*） Chuッ	【誕生日】HAPPY BIRTHDAY
【謹賀新年】HAPPY NEW YEAR	【クリスマス①】Merry Christmas
【クリスマス②】Merry X'mas	【バレンタイン】HAPPY VALENTINE

・**ユーザ作成（最大50件）**

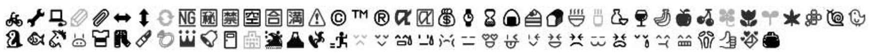
登録した定型文が表示されます。

記号・絵文字一覧

■ 記号一覧

<table>
<tr><td>半角</td><td>! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ﾞ ﾟ</td></tr>
<tr><td>全角</td><td>、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“
”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄
￠￡％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒
⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝ
ΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГД
ЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийк
лмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳
┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ
ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹
㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪</td></tr>
</table>

■ 絵文字一覧

絵文字1	
絵文字2	

※ 記号一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なる場合があります。

お知らせ

- ｉモード端末以外の相手に絵文字を入力したメールを送信しても、正しく表示されない場合があります。
- 受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合、絵文字2を入力したメールを送信しても、正しく表示されないことがあります。

特殊記号入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。**→P514**

読　み	入力文字
あーる	㌃ Rr
あい	Ⅰ ⅰ
あるふぁ	α Α
あんだーばー	＿
あんど	＆
いー	Ｅ ｅ
いーた	Η η
いこーる	＝
いおた	Ι ι
いち	① Ⅰ
いぷしろん	Ε ε
えっくす	Ｘ ｘ
えっち	Ｈ ｈ
えー	Ａ ａ
えい	Ａ ａ
えいち	Ｈ ｈ
えす	Ｓ ｓ
えぬ	Ｎ ｎ
えふ	Ｆ ｆ
えむ	Ｍ ｍ
える	Ｌ ｌ
えん	￥
おー	Ｏ ｏ
おう	Ｏ ｏ
おす	♂
おみくろん	Ο ο
おめが	Ω ω

読　み	入力文字
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かっこ	（）「」［］ ｛｝〔〕〈〉 《》『』【】
かっぱ	Κ κ
かい	Χ χ
かける	×
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱ ㏍
から	～
かろりー	㌍
がんま	γ Γ
きゅー	Ｑ ｑ
きゅう	⑨ Ⅸ
きごう	＜〈＞〉＠ @／/〃± 々×≠÷≦ ≧∴§＼∞ ∧∈∨￢∋ ∀⊆⊇∃∠ ⊂⊥⊃⌒∪ ∩∂⊿∇∑ ≡　∮≪≒ ≫∟√∽ ∝∵∫∬Å ‰†‡¶
きろ	㌔

読　み	入力文字
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨ Ⅸ
くさい	Ξ ξ
ぐらむ	㌘
けー	Ｋ ｋ
けい	Ｋ ｋ
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
ご	⑤ Ⅴ
さん	③ Ⅲ
さんかく	▽▲△▼
し	④ Ⅳ
しゃーぷ	＃
しょうわ	㍼
しー	Ｃ ｃ
しーしー	㏄
しーた	θ Θ
しかく	□◆◇■
しぐま	Σ σ
しち	⑦ Ⅶ
しめ	〆
じぇー	Ｊ ｊ
じぇい	Ｊ ｊ
じゅう	⑩ Ⅹ
じゅういち	⑪

次ページへ続く

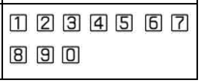
読　み	入力文字	読　み	入力文字	読　み	入力文字
じゅうく	⑲	でんわ	℡	ほし	☆★
じゅうご	⑮	とん	㌧	まいなす	－
じゅうさん	⑬	どう	仝々〃	まる	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ 。 ○ ◎ ●
じゅうし	⑭	どしー	℃	みゅー	Μ μ
じゅうしち	⑰	どる	㌦ $	みり	㎜ ㍉
じゅうに	⑫	なな	⑦ Ⅶ	みりぐらむ	㎎
じゅうはち	⑱	なみ	～	みりばーる	㍊
じゅうよん	⑭	なんばー	№	みりめーとる	㎜
じゅうろく	⑯	に	② Ⅱ	めーとる	㍍
じー	Ｇ ｇ	にゅー	Ν ν	めいじ	㍾
すらっしゅ	／＼/	にじゅう	⑳	めす	♀
せくしょん	§	のま	々	やじるし	→←↑↓ ⇒⇔
せみころん	；	はいふん	‐	ゆー	Ｕ ｕ
せんち	㎝ ㌢	はち	⑧ Ⅷ	ゆう	㈲
せんちめーとる	㎝	はてな	？	ゆうげんがいしゃ	㈲
せんと	㌣ ¢	ぱい	Π π	ゆうびん	〒
ぜーた	Ζ ζ	ばつ	×	ゆうびんばんごう	〒
ぜっと	Ｚ ｚ	ぱーせんと	％ ㌫	ゆぷしろん	υ Υ
たいしょう	㍽	ひく	－	よん	④ Ⅳ
たう	Τ τ	ひしがた	◇◆	らむだ	λ Λ
たす	＋	びっくり	！	りっとる	㍑
だい	㈹	びー	Ｂ ｂ	ろー	Ρ ρ
だいひょう	㈹	ぴー	Ｐ ｐ	ろく	⑥ Ⅵ
だぶりゅ	Ｗｗ	ふぁい	Φ φ	わっと	㍗
だぶりゅー	Ｗｗ	ふらっと	♭	わい	Ｙ ｙ
てぃー	Ｔ ｔ	ぶい	Ｖ ｖ	わる	÷
てー	Ｔ ｔ	ぷさい	Ψ ψ		
てん	…‥、’” ‘“ ｀ ´ ¨ ヽ ヾ ゝ ゞ 、 ` ' "	ぷらす	＋		
てんてん	‥‥‥	へいせい	㍻		
でぃー	Ｄ ｄ	へいほうめーとる	㎡		
でるた	Δ δ	へくたーる	㌶		
		べーた	β Β		
		ぺーじ	㌻		

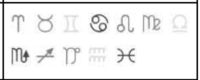
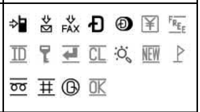
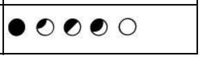
※ 特殊記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

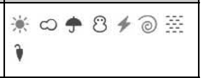
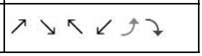
※ 入力文字の中には、半角文字しか存在しないもの、全角文字しか存在しないもの、全角文字と半角文字の両方が存在する場合があります。

絵文字入力変換表

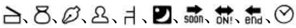
ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。→P514

入　力	変　換
えもじ	
おんぷ	
かお	
からだ	
すうじ	

入　力	変　換
すぽーつ	
せいざ	
そのた	
ちず	
つき	

入　力	変　換
てんき	
とらんぷ	
のりもの	
はーと	
やじるし	

お知らせ

- 絵文字1のと絵文字2（→P535）は、漢字モードで変換して入力できません。入力方法→P518

付録

区点コード一覧

※ 区点コード入力の操作→P521

※ 区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点 1〜3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1〜3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1〜3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

付録

次ページへ続く

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る										
466	瑠	塁	涙	累	類					
れ										
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点 1~3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点 1~3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧

区点 1~3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに発生、実行する処理の動作可否を次に示します。

現在の状態 ＼ 発生・実行する処理	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール	
	発　信	着　信	発　信	着　信	接　続	送　信	受　信
音声電話中	①	②	×	×※6	○	○	○※1
テレビ電話中	×	×※6	×	×※6	×	×	×
iモード中	○	○	○※4	×※7	×	○	○
iモードメール送受信中	○	○	○※4	×※7	○	○※5	○※5
SMS送受信中	○	○	○	○	○	○※5	○※5
64Kデータ通信中	×	③	×	×※6	×	×	×
パケット通信中	○	○	×	×※7	×	×	×
データ転送中（赤外線通信／USB接続）	×	×	×	×	×	×	×
iアプリ動作中	○※2	○※2	○※2	○※2	×	○	○
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中）	×	×	×	×	×	×	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中以外）	○	○	○	○	×	○	○
ソフトウェア更新中	×	○	×	×※7	×	×	×
miniSDモード切替中	×	×	×	×	×	×	×

現在の状態 ＼ 発生・実行する処理	SMS		64Kデータ通信		パケット通信		データ転送（赤外線通信）	
	送　信	受　信	発　信	着　信	発　信	着　信	送　信	受　信
音声電話中	○	○※1	×	×※6	○	○	×	×
テレビ電話中	×	×	×	×※6	×	×	×	×
iモード中	○	○	×	×※7	×	×	×	×
iモードメール送受信中	○※5	○※5	×	×※7	×	×	×	×
SMS送受信中	○※5	○※5	○	○	○※3	○※3	×	×
64Kデータ通信中	×	○※1	×	×※6	×	×	×	×
パケット通信中	○※8	○※1	×	×※7	×	×	×	×
データ転送中（赤外線通信／USB接続）	×	×	×	×	×	×	×	×
iアプリ動作中	○	○	○	○	○	○	○※9	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中）	×	×	×	×	×	×	×	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中以外）	○	○	○	○	○	○	○	×
ソフトウェア更新中	×	×	×	×※7	×	×	×	×
miniSDモード切替中	×	×	×	×	×	×	×	×

付録

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

○：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できます。
×：新たに通信を実行できません。
① キャッチホンをご利用の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。
② キャッチホンをご利用の場合、通話中にかかってきた電話を受けられます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
③ 同時にはご利用いただけません。キャッチホンをご利用の場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかを選択できます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※1：着信音は鳴りません。
※2：ｉアプリのメロディは鳴らなくなります。また、ｉアプリでｉモード通信中の場合は次のようになります。
- テレビ電話をかけると、ｉモード通信が切断されます。
- テレビ電話がかかってくると、その電話着信は拒否されます。
※3：SMS送信中は発着信はできません。
※4：ｉモード通信中の場合は、ｉモード通信が切断されます。
※5：送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできない場合があります。
※6：キャッチホンをご利用の場合、着信履歴には不在着信として残ります。
※7：キャッチホンのご契約に関わらず着信履歴に不在着信として残ります。
※8：電話帳からSMSを作成・送信できます。
※9：ｉアプリがICカードにアクセス中は実行できません。

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中または設定中の機能ごとに、新規起動メニュー項目の選択可否を次に示します。

○：選択可能　×：選択不可

新規起動メニュー項目／実行中機能／状態	ダイヤル発信	1 メール												2 iモード								
		1 受信メール	2 新規メール	3 チャットメール	4 未送信メール	5 送信メール	6 問合せ			7 SMS			8 テンプレート読込み	1 iMenu	2 Bookmark	3 Internet		4 画面メモ	5 ラストURL	6 iモード問合せ	7 メッセージ	
							1 iモード問合せ	2 SMS問合せ	3 メール選択受信	1 SMS作成	2 FOMAカード受信SMS	3 FOMAカード送信SMS				1 URL入力	2 URL履歴				1 メッセージR	2 メッセージF
電話／ダイヤル入力	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
64Kデータ通信	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○
送信／未送信／受信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール作成／SMS作成	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
テンプレート読込み	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージリクエスト／メッセージフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
iモードメール問合せ	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
Internet URL入力／Internet URL履歴／Bookmark／ラストURL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
画面メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iアプリ一覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iアプリ／iアプリダウンロード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iモーション（動画／音楽再生）／メロディ／マイピクチャ／キャラ電／マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ／ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳／メモ帳／スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロフィール情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール受信	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SMS受信	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
PPPデータ通信	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
外部機器によるテレビ電話	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○
FOMAカード未挿入時	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
セルフモード中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
PIMロック中	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

新規起動メニュー項目／実行中機能／状態	3 iアプリ一覧	4 電話帳・履歴 1 電話帳	4-2 着信履歴	4-3 リダイヤル	4-4 伝言メモ・音声メモ 1 伝言メモ一覧	4-4-2 音声メモ録音	4-4-3 音声メモ一覧	5 データBOX 1 マイピクチャ	5-2 iモーション	5-3 メロディ	5-4 キャラ電	5-5 マイドキュメント	6 ツール 1 カメラ	6-2 ビデオカメラ	6-3 サウンドレコーダー	6-4 バーコードリーダー	7 ステーショナリー 1 スケジュール帳	7-2 メモ帳	7-3 電卓	0 プロフィール情報
電話	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
ダイヤル入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
64Kデータ通信	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
送信／未送信／受信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール作成／SMS作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テンプレート読込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージリクエスト／メッセージフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール／SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
i Menu	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Internet URL入力／Internet URL履歴／Bookmark／ラストURL	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ一覧	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ／iアプリダウンロード	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iモーション（動画／音楽再生）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
電話帳	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロフィール情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
iモードメール／SMS受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PPPデータ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
外部機器によるテレビ電話	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
FOMAカード未挿入時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セルフモード中／ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PIMロック中	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 選択可能な機能でも、FOMA端末の状態によって実施できない操作もあります。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できる主なサービスは次のとおりです。

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）　午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2005年5月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2005年5月現在）。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、発信場所が特定できません。警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

付録

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなどの窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などを参照してください。

- FOMA DC アダプタ　01
- FOMA AC アダプタ　01
- 電池パック　F06
- 車内ホルダ　F06
- 卓上ホルダ　F07
- リアカバー　F09
- キャリングケース　F07
- FOMA USB接続ケーブル
- 平型スイッチ付イヤホンマイク　P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット　P01
- スイッチ付イヤホンマイク　P001※／P002※
- ステレオイヤホンセット　P001※
- イヤホンターミナル　P001※
- FOMA海外兼用 ACアダプタ01
- FOMA室内用補助アンテナ

※：イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。

FOMA Fシリーズデータリンクソフト

FOMA F シリーズ データリンクソフト※には次の4つの機能があります。これらをまとめて「データリンクソフト」と呼びます。
※：添付のCD-ROMに収録されている他、ホームページからダウンロードすることもできます。→P548

ソフト名	内　容
データリンクソフト	FOMA端末の電話帳やメールなどのデータを、USB接続できるパソコンにバックアップできます。
データシンクロソフト	Microsoft® Outlook®とデータを同期させられます。
miniSDユーティリティ	miniSDメモリーカードの電話帳やメールなどのデータを編集したり、バックアップしたりできます。 パソコンとFOMA端末を接続して操作する場合は、FOMA端末でUSBモード設定を行う必要があります。→P477
Fアルバムソフト	パソコンにアルバムを作成して画像などのデータを管理できます。

- データリンクソフトのインストールについては、添付のCD-ROM内のDataLinkフォルダ内の「DataLink.txt」を参照してください。
- 転送可能データ、操作方法、制限事項などの詳細については、ホームページまたはデータリンクソフトのヘルプを参照してください。

動作環境の確認

データリンクソフトは、次の動作環境※1でご利用ください。

項　目	必要環境
OS※2	Windows XP、Windows 2000、Windows Me
CPU	次の性能を持つプロセッサを推奨 Windows XP：300MHz以上、 Windows 2000およびWindows Me：166MHz以上
必要メモリ	Windows XP：128MB以上、Windows 2000：64MB以上、 Windows Me：32MB以上
ハードディスク容量	30MB以上の空き容量
ディスプレイ	High Color（16bit）以上推奨
ドライバ※3	FOMA F901iS通信設定ファイル
ソフトウェア環境※4	Microsoft® Outlook® 2003、Microsoft® Outlook® 2002、 Microsoft® Outlook® 2000、Microsoft® Outlook® 98

※1：Fアルバムソフトについては動作環境が異なりますので、ヘルプを参照してください。
※2：miniSDユーティリティをパソコンとFOMA端末を接続して使用する場合、Windows Meは非対応です。
※3：データリンクソフト、データシンクロソフトを使用する場合のみ必要です。
※4：データシンクロソフトを使用する場合は、いずれかのソフトがインストールされている必要があります。

- データ転送を行うにはFOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルが必要です。ただし、miniSDメモリーカードを読み込む環境のあるパソコンでminiSDユーティリティまたはFアルバムソフトを使用する場合は、パソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続しないでソフトを使用することもできます。

お知らせ

- データシンクロソフトで一部同期させられないデータがあります。同期可能なデータについて、詳しくはソフトのヘルプを参照してください。
- データリンクソフトでの各データの呼びかたと、FOMA端末内での呼びかたが異なる場合があります。
- データリンクソフトのカレンダー表示範囲は、FOMA端末のカレンダー画面の表示範囲と異なります。
- F901iS以外で撮影された動画／ｉモーションは、転送できない場合があります。
- Microsoft® Exchange Serverなどを使用しているときは、Microsoft® Outlook®と同期させられません。Microsoft® Exchange Serverなどとの共有を解除してからご使用ください。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画や動画／ｉモーション、メロディは、パソコンへ転送できません。ただし、自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、「データ交換」フォルダ内のデータは転送できます。→「ファイル制限」P398
- miniSDユーティリティを使用して読み込み、書き込みを行う場合、データ量によっては転送に時間がかかります。

■データリンクソフトに関するホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/datalink/

■お問い合わせ先：富士通株式会社
0120-176-769
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：10:00～19:00（日・祝祭日を除く）
※ ダイヤルの電話番号をよくご確認の上、
お間違いのないようにおかけください。

- FOMA F シリーズデータリンクソフトはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は富士通株式会社に帰属します。使用許諾契約書についてはインストール先のLicense.txtを参照してください。
- 富士通株式会社は、本ソフトウェアの不稼働、稼働不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。本ソフトウェアの使用または、本ソフトウェアを使用できないことにより生じた直接的損害、間接的損害、特別な事情から生じた損害、お客様のデータ喪失および逸失利益などについて、いかなる責任も負いません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

動画データを外部機器から取り込んでFOMA端末で再生する

パソコンなどの外部機器で作成した動画（MP4ファイル、ASFファイル）をminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます。



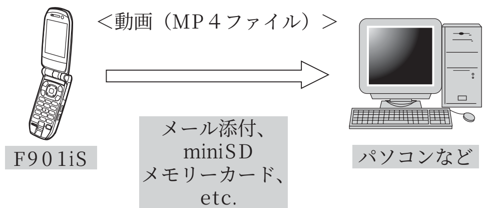
- miniSDメモリーカード内のマルチメディアデータを再生する→P388
- 再生可能なMP4ファイル→P171
- 再生可能なASFファイルは次のとおりです。
  ※：ASFファイルの中にも再生できないものがあります。

ファイル形式	SD-Video（ASF）
符号化方式	映像：MPEG-4　音声：G.726

- miniSDメモリーカード内の動画を再生するには、miniSDユーティリティなどを使って決められたフォルダに動画データを保存する必要があります。
  miniSDメモリーカードのフォルダ構成→P381
  miniSDメモリーカードの情報更新→P392
- 対応外部機器については、パソコンから次のホームページにアクセスしてご確認いただけます。
  http://www.fmworld.net/product/phone/

FOMA端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影した動画（MP4ファイル）をminiSDメモリーカードやメール添付などでデータを転送し、パソコンで再生できます。



- FOMA端末で撮影した動画ファイル→P171

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4ファイル）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは次のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページを参照してください。

音楽データをパソコンから取り込んでFOMA端末で再生する

お客様が購入したCDの音楽などを、パソコンなどを利用してminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生できます。FOMA端末を閉じたままで連続再生ができるので、ミュージックプレーヤーとしても使用できます。miniSDメモリーカードに取り込んだ音楽データは、FOMA端末では動画として再生されます。
ここでは、市販のソフトウェアと付属のデータリンクソフトを使って音楽データをminiSDメモリーカードに保存し、再生する方法について説明します。

- miniSDメモリーカードの取り扱いや使用時の注意事項などについては、「miniSDメモリーカードについて」を参照してください。→P379
- パソコンとFOMA端末の接続方法については、「パソコンとFOMA端末を接続する」を参照してください。→P477
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護された音楽データは再生できません。また、インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- miniSDメモリーカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、miniSDメモリーカードに保存した音楽データは、パソコンなどの他の媒体にコピーまたは移動しないでください。
- 事前にCDの音楽データをAAC形式のデータに変換できる市販のソフトウェアと付属のデータリンクソフトをインストールする必要があります。データリンクソフトについては「FOMA　Fシリーズデータリンクソフト」を参照してください。→P547
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをAAC形式に変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 音楽データの再生方法についての詳細は、パソコンから次のホームページにアクセスしてもご確認いただけます。
  http://www.fmworld.net/product/phone/f901is/

■ 音楽データの再生方法についてのお問い合わせ先：富士通株式会社

0120-292-675

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：10：00～19：00 （日・祝祭日を除く）
※ダイヤルの電話番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

音楽データをminiSDメモリーカードに保存する

1 CDの音楽データをAAC形式のデータに変換し、パソコンに保存する

- AAC形式に変換する場合は、市販のソフトウェアをご利用ください。ソフトウェアの使用方法は、各ソフトウェアの取扱説明書やホームページなどでご確認ください。
- miniSDユーティリティに、動画として取り込めるファイルの拡張子は、「mp4」「m4a」「3gp」です（ただし、「m4a」はminiSDメモリーカードに保存されると「mp4」に変更されます）。ご使用になるソフトウェアによってAAC形式に変換した場合のファイルの拡張子が異なりますので、ご確認ください。

2 FOMA端末にminiSDメモリーカードを挿入し、FOMA端末でUSBモード設定を「miniSDモード」に切り替える

- 「miniSDモード」に切り替えるには、待受画面で MENU 6 5 4 を押し、2 を押します。

3 パソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続する

- FOMA端末とパソコンを接続するには、FOMA USB接続ケーブル（別売）、または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルが必要です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

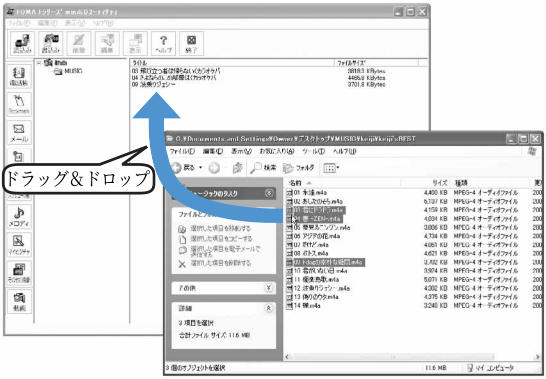
4 データリンクソフトからminiSDユーティリティを起動し、読み込みドライブを選択する

- 「読込み」ウィンドウから、FOMA端末のドライブを選択します。FOMA端末はリムーバブルディスク（たとえば、ドライブがFの場合「F：リムーバブルディスク」など）として認識されます。

5 [動画]をクリックし、アルバムを作成する

- アルバムを作成するには、「編集」→「アルバム作成」で、アルバム名を入力します。
- miniSDユーティリティで作成した「アルバム」は、FOMA端末では「フォルダ」として扱われます。

6 操作1で保存した音楽データのファイルを選択し、miniSDユーティリティのアルバムのデータビューにドラッグ&ドロップする



7 miniSDユーティリティの[書込み]をクリックし、確認のメッセージで「はい」をクリックする

miniSDメモリーカードに音楽データが保存されます。

- 保存するデータの件数によって、保存に時間がかかる場合があります。

8 保存の完了メッセージで、「OK」をクリックする

9 USBケーブルを外し、FOMA端末でUSBモード設定を「通信モード」に切り替える

- 「通信モード」に切り替えるには、メッセージ表示中に[TASK]以外のキーを押して、「はい」を選択します。

音楽データを再生する

miniSDメモリーカードに保存した音楽データは、1曲ずつ再生したり、フォルダ内のデータを連続再生したりできます。

- 音楽データの再生中の操作については「動画／ｉモーションを再生する」（→P360）および「マルチメディアデータを表示する」（→P388）を参照してください。

1 待受画面で[MENU][6][6][1][3]を押す

2 フォルダを選択する

3 再生する音楽データにカーソルを合わせて、[●]を押す

付録

次ページへ続く

■ 連続再生するとき

音楽データの一覧表示画面で、MENU 6 を押す

- 連続再生中にFOMA端末を折り畳むと再生中の音楽のタイトルが背面ディスプレイに表示され、再生は継続されます。

お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止します。
  - １曲ずつ再生している場合で、FOMA端末を閉じたとき
  - 音声電話／テレビ電話の着信があったとき
  - メールを受信したとき
  - アラーム設定やスケジュールで指定した日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- miniSDユーティリティを使って、音楽データをminiSDメモリーカードに保存した場合の音楽データの表示名は、miniSDメモリーカードの情報更新をすると、FOMA端末が管理するファイル名（→P381）に変更されますのでご注意ください。

付録

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。

- ソフトウェアを更新する→P563

■ 電源・充電関連

●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P36
・電池切れになっていませんか。→P41
・デュアルネットワークサービスでmova端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』を参照してください。

●充電できない

・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P36
・充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
・ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか。→P39
・卓上ホルダにFOMA端末が正しく取り付けられていますか。→P40

●充電中に充電ランプが点滅する

・通話／通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末からACアダプタ（卓上ホルダ）、DCアダプタを外してセットし直し、正しい方法でもう一度充電してください。→P39、P40
・以上の操作をしても正常に充電できない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。

●ディスプレイ上部のアイコンが点滅し、ピピピというアラームが出ている

・電池が少なくなっています。充電してください。→P37、P42

■ 電話関連

●ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない



・回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルキーを押すと、文字情報を消去できます。
・110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●ダイヤルキーを押しても発信できない

・オールロックがかかっていませんか。→P154
・遠隔ロックがかかっていませんか。→P154
・セルフモードを起動していませんか。→P156
・ダイヤル発信制限がかかっていませんか。→P157
・開閉ロックがかかっていませんか。→P160

●ディスプレイに圏外が表示され、話中音（プープー音）が出る

・サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。→P43

●電話をかけたが話中音（プープー音）が出てつながらない

・市外局番を忘れていませんか。→P48
・発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
・「圏外」の表示が出ていませんか。→P43

●着信音が鳴らない

・着信音量を「消音」に設定していませんか。→P66
・次の機能を設定していませんか。
　- メモリ別着信拒否／許可→P161
　- 発番号なし動作設定→P163
　- 着信呼出動作設定→P164
　- メモリ登録外着信拒否設定→P165
・マナーモードを起動していませんか。→P123
・ドライブモードを起動していませんか。→P70
・オールロックがかかっていませんか。→P154
・セルフモードを起動していませんか。→P156
・留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。→P463、P466

●エニーキーアンサー機能で音声電話を受けることができない

・エニーキーアンサー設定を「OFF」に設定していませんか。→P62

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

・受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。→P65

●リダイヤル／着信履歴が勝手に削除される

・ダイヤル発信制限がかかっていませんか。→P157
・PIMロックがかかっていませんか。→P157

●電話がかかってきたとき、設定していない着信音が鳴る

・複数の機能で着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
　① FOMA端末電話帳の設定
　② FOMA端末電話帳グループ別の設定
　③ 着信音設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定
・プライバシーモードがかかっていませんか。→P158

付録

●電話がかかってきたとき、設定していないイメージが表示される

- 電話着信設定の着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されている場合は、イメージは設定したｉモーションになります。
- 複数の機能で着信画像が設定されている場合は、次の優先順位でイメージが表示されます。
  ① FOMA端末電話帳の設定
  ② FOMA端末電話帳グループ別の設定
  ③ 電話着信設定／テレビ電話着信設定
- プライバシーモードがかかっていませんか。→P158

●電話がかかってきたとき、設定していないイルミネーションパターンやイルミネーションカラーで着信ランプが動作する

- 複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーが設定されている場合は、次の優先順位で着信ランプが動作します。
  ① FOMA端末電話帳の設定
  ② FOMA端末電話帳グループ別の設定
  ③ イルミネーション設定／電話発信設定／テレビ電話発信設定
- プライバシーモードがかかっていませんか。→P158

■ 設定・操作関連

●メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない

- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンがで表示され、選択できません。

●メモリ登録外着信拒否設定が選択できない

- 着信呼出動作設定を「ON」に設定している場合、メモリ登録外着信拒否設定は設定できません。→P165

●着信呼出動作設定が選択できない

- メモリ登録外着信拒否設定を「ON」に設定している場合、着信呼出動作設定は設定できません。→P164

●PIMロック機能が選択できない

メモリ登録外着信拒否設定を「ON」に設定している場合、PIMロックは設定できません。→P157

●キー確認音が鳴らない

- キー確認音設定を「OFF」に設定していませんか。→P122
- マナーモードを起動していませんか。→P123

●FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」とメッセージが表示される

- FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく取り付けられているかご確認ください。→P34

●FOMA端末を開くたびに認証画面が表示される

- 開閉ロック中です。解除してください。→P160

●ディスプレイに「このカードは認識できません」と表示される

- FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P34

●ディスプレイに「オールロック中」と表示されている

- オールロック中です。解除してください。→P154

●ディスプレイに「遠隔ロック中」と表示され、操作できない

- 遠隔ロック中です。解除してください。→P154

●電話帳やメールのキー操作を行うと「暗証番号を入力してください」と表示される

- プライバシーモードが設定されています。暗証番号を入力するか、プライバシーモードを解除してください。プライバシーモードは着信履歴やリダイヤル、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリにも設定できます。→P158

●ディスプレイに が表示されている

- サイドキーロック中のため、サイドキーの操作が無効になっています。解除してください。→P160

●FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキーを押しても操作できない

- サイドキーロック中のため、サイドキーの操作が無効になっています。解除してください。→P160

●ディスプレイに が表示され、操作できない

- 開閉ロック中です。解除してください。→P160

●日付が英語で表示される

- バイリンガル設定で英語表示を設定していませんか。→P144
- 時計表示設定で「英語」に設定していませんか。→P143

●ディスプレイが暗い

- 照明設定の明るさの設定を「低輝度」に設定していませんか。→P137

●ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない

- 照明設定の照明方法の設定を「消灯」に設定していませんか。→P137

●自動電源ONを「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない

- 電池パックが外れてしまった場合など、電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると、これらの機能は動作しません。

●アラーム設定やスケジュールを設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない

- 電池パックが外れてしまった場合など、電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると、これらの機能は動作しません。
- アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。→P431

●指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに「操作が速すぎます」「操作が遅すぎます」のメッセージが表示される

- センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

●通話料金が積算されなくなった

- 通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻せます。→P449

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

■ メール・i アプリ・データ関連

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

・近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを利用するか、接写モードに切り替えてください。→ P185

●ダウンロードデータ・メール添付のファイル・メッセージR/F の表示や再生ができない

・FOMA カード動作制限機能により、FOMA カードを差し替えた場合や FOMA カードを差し込んでいない場合は、これらの機能は動作しません。→ P35

●メール受信時に、設定したメール着信音と違う着信音が鳴る

・複数の機能でメール着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
① FOMA 端末電話帳の設定
② FOMA 端末電話帳グループ別の設定
③ 着信音設定
・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従いメール着信音が鳴ります。
・メールの発信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信音を設定していますか。
・プライバシーモードがかかっていませんか。→ P158

●メール受信時に、電話帳に登録されている名前や着信音が動作しない

・相手の電話番号またはメールアドレスと電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスが一致していません。正しい電話番号とメールアドレスを電話帳に登録してください。→ P97
・プライバシーモードがかかっていませんか。→ P158

●メール受信時に、設定したメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーと違うパターンや色で点滅する

・複数の機能でメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーが設定されている場合は、次の優先順位で着信ランプが動作します。
① FOMA 端末電話帳の設定
② FOMA 端末電話帳グループ別の設定
③ イルミネーション設定
・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従い、着信イルミネーションパターンと着信イルミネーションカラーで点滅します。
・メールの発信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーを設定していますか。
・プライバシーモードがかかっていませんか。→ P158

●静止画や動画が や で表示される

・データが壊れている場合は正しく表示できず、 や で表示されます。

●キーを押したときの画面の反応が遅い

・FOMA 端末と miniSD メモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときに、FOMA 端末の画面の反応が遅くなる場合があります。

● i アプリ／i アプリ待受画面が起動できない

・FOMA カードが正しく取り付けられていますか。FOMA カード動作制限機能により、FOMA カードを差し替えた場合や FOMA カードを差し込んでいない場合は、i アプリが起動できません。→ P35
・i アプリが IP（情報サービス提供者）により停止状態になっていませんか。
・i アプリ DX を起動するには日付・時刻の設定が必要です。→ P44
・i アプリ DX では、i アプリの有効性を確認するため、i アプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。また、有効性の確認が完了するまで、i アプリが起動できない場合があります。
・プライバシーモード中（i アプリを「認証後に表示」に設定した場合）は i アプリ待受画面を起動できません。→ P158

● i アプリ動作中にディスプレイの照明が点灯しない

・端末の照明設定を「消灯する」に、i アプリの照明設定を「端末設定に従う」に設定している場合は、ディスプレイの照明は点灯しません。→ P137、P317
・i アプリの照明設定を「ソフトに従う」に設定した場合、ドライブモード中は、ディスプレイの照明は点灯しません。→ P317

■ その他

●おサイフケータイが使えない

・電池パックが正しく取り付けられていないか、電池パックが取り外されていると、IC カードロックが起動し、おサイフケータイが使えなくなります。電池パックが正しく取り付けられているかを確認し、電源を入れ直してください。→ P36

●取扱説明書に記載されていない電池残量マークが表示されている／スクリーン設定で選択できる組み合わせの種類が増えている／メロディ再生中にできる操作が増えている／メニュー設定のアイコンデザインが増えている／普段と i モーションの早送りのしかたが違う

・隠し機能が起動しています。隠し機能を起動または解除する場合は、カスタムメニューのグループ名に半角で「TOYCITY」と入力します。→ P443
・メロディ再生中に 2 または 8 を押すと音程の変更、4 または 6 を押すとテンポの変更、5 を押すと残響音の設定または解除ができます。0 を押すと通常の再生に戻ります。
・パソコンなどの外部機器で作成した 900 秒以上の動画（ASF ファイル）再生中に 1 ～ 9 を押すと、全再生時間の 10%までの範囲で 10 ～ 90 秒先に早送りできます。0 を押すと全再生時間の 10%先に早送りできます。

こんな表示が出たら

FOMA 端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

- エラーメッセージ中の「(数字)」または「XXX」は、iモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

●FOMAカード(UIM)がいっぱいです

FOMAカードの保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。FOMAカード内のSMSを削除するか、FOMA端末に移動してください。
→P306、P307

●FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータやメールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。ダウンロード、メッセージR/Fを保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するiアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●FOMAカード(UIM)が挿入されていないためご利用できません

FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して利用してください。→P34

●FOMAカード(UIM)が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するiアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●ICカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか?

複数削除または全件削除するiアプリの中に、ICカード内のデータを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応iアプリが含まれています。それ以外のiアプリを削除するときは「はい」を選択します。

●ICカード内データにエラーがあるため削除できません

ICカード内のデータにエラーがあるおサイフケータイ対応iアプリは削除できません。

●ICカード内のデータがいっぱいのためダウンロードできません。いずれかのソフトを削除して最初からダウンロードしてください

ICカード内のデータがいっぱいのためおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードできません。ICカード内のデータも一緒に削除するおサイフケータイ対応iアプリを削除するか(→P330)、おサイフケータイ対応iアプリを起動してICカード内の不要なデータを削除してから、ダウンロードし直してください。→P344

●iモーション再生サイズを超えています

標準タイプのiモーションのデータ取得時に、データが500Kバイトより大きいため受信を中断しました。

●iモーション再生サイズを超えました

標準タイプのiモーションのデータ取得時、またはデータ取得中の再生時に、データが500Kバイトより大きいため受信を中断しました。

●iモーション最大サイズを超えています

iモーション(ストリーミングタイプ)のデータ取得時に、データが2Mバイトより大きいため受信を中断しました。

●iモーション最大サイズを超えました

iモーション(ストリーミングタイプ)のデータ取得中に、データが2Mバイトより大きいため取得が完了しませんでした。

●iモードメールがつながりにくくなっています　しばらくお待ち下さい(555)

iモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●miniSDカードが挿入されていません

miniSDメモリーカードがFOMA端末に取り付けられていないときは、カメラで撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存したり、FOMA端末に保存されているデータをminiSDメモリーカードにコピーまたは移動できません。miniSDメモリーカードを取り付けてから保存、コピーまたは移動してください。→P384

●miniSDカードの保存件数がいっぱいです。保存先を本体に変更します

カメラの静止画設定および動画/録音設定の保存先を「miniSDカード」に設定しているときにminiSDメモリーカードの保存件数がいっぱいになると、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●miniSDカードの保存領域がいっぱいです

miniSDメモリーカードの保存領域がいっぱいのため、データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→P388

●miniSDカードへの保存はできません。保存先を本体に変更します

ダウンロードしたキャラ電の、撮影後ファイル制限が「あり」に設定されている場合、そのキャラ電を撮影した静止画や動画はminiSDメモリーカードに保存できません。また、撮影後ファイル制限の設定は変更できません。→P375

●PIMロック中です

PIMロック中は、禁止されている操作ができません。→P157

●PINロック解除コードがロックされています

ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。

●SMSセンター設定を確認してください

SMS設定のうちSMSCの設定が誤っています。設定を確認してください。→P304

付録

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

●SSL通信が切断されました
SSL通信中にエラーが発生したか、その他のクライアント認証に関わるサーバ側での認証エラーのため中断しました。

●SSL通信が無効です
SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●SSL 通信が無効に設定されています
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。
→P231

●SSL通信を切断しました
SSL通信中にサイトの証明書に問題が発生しました。接続確認画面で「いいえ」を選択した場合に表示され、SSL 通信が切断されます。

●URLが正しくありません
入力した URL にエラーがあります。URL を確認してください。

●URLが長すぎて登録できません
URLが長すぎるためブックマークまたは画面メモに登録できません。

●宛先をご確認ください
SMS の送信に失敗しました。宛先が正しいか確認してください。

●アドレスが登録されていません
選択したメールグループ内にメールアドレスが登録されていません。メールアドレスを登録してください。→P289

●アドレスをご確認ください
メールグループに入力したメールアドレスにエラーがある、または入力されていません。メールアドレスを確認してください。

●以下の宛先には(メール)送信できませんでした(561)
いくつかの宛先にｉモードメールを送信できませんでした。
[ ]を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいか確認の上、電波状態のよい所で送信し直してください。

●移動できませんでした
データの複数移動または全件移動時、すべてのデータを移動できませんでした。

●エラーが発生したため保存できません
添付ファイル保存時にエラーが発生したため、保存できません。

●遠隔操作可能なサービスは未契約です
遠隔操作を行おうとした留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用するには別途ご契約が必要です。

●応答がありませんでした(408)
サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がありませんでした。しばらくたってから操作し直してください。

●カード情報を認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。FOMA カードの取り付けを確認してください。→P34

●画像に誤りがあり正しく動作しません
サイトなどで Flash 画像を再生中にエラーが発生したため、正しく動作しません。

●画像を表示できません
添付しようとする画像がない、または画像にエラーがあるため表示できません。画像を確認してください。

●規定のアクセス回数を超えたため参照できません(491)
10000 バイトより大きい静止画のダウンロード時に、規定のアクセス回数を超えました。

●圏外です
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●更新できませんでした
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了後、電波状態のよい所で更新し直してください。
→P43

●このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください。今すぐ設定を行いますか?
ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」の設定のままストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとしました。「はい」を選択してｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。設定しないときは「いいえ」を選択します。
→P339

●このカードは認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。
FOMAカードを確認してください。→P34

●この画像は保存できません
サイトや画面メモ、メッセージR/F 内の画像にエラーがあるため、保存できません。

●このキャラ電は表示できません
データに不正があるキャラ電は表示できません。

●この形式のデータは実行できません
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータをminiSDメモリーカードから FOMA 端末にコピーまたは移動したり、検索したりできません。

●このサイトとの SSL 通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトの安全性が確認できません。 接続しますか?
サイトの証明書が、FOMA 端末で対応していない証明書です。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●このサイトは安全でない可能性があります。 接続しますか?
サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています
(→P232)。
接続するときは「はい」、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●この接続先の安全性が確認できません。 接続しますか?
FOMA端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています
(→P232)。
接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付・時刻を正しく設定してください。
→P44

●この接続先は安全でない可能性があります。 接続しますか?
サイトの証明書の CN 名(サーバ名)が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。
→P232

●このソフトは現在利用できません

IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

●このデータは再生できない可能性があります

動画／ｉモーションがFOMA端末で対応していない形式です。再生できない場合があります。

●このデータは表示できません

メールテンプレートにエラーが発生したため、表示できません。

●このデータは保存できません。取得しますか？

ｉモーションを保存できませんが、取得するときは「はい」を、取得しないときは「いいえ」を選択します。

●このデータを取得するためには時刻設定をしてください

日付・時刻が設定されていないため受信できません。日付・時刻を設定してください。→P44

●コピーできませんでした

- マルチメディアデータの複数コピーまたは全件コピー時、すべてのデータをコピーできませんでした。
- コピーできない形式のPIMデータをコピーしようとしました。

●これ以上入力できません

入力可能な最大文字数を超えています。文字数を減らしてください。

●サービス未契約です

- ｉモードの契約がされていないため実行できません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、もう一度電源を入れ直してください。→P43

●サービス未提供です

SMSが未提供です。

●再生可能日前です。再生できません

ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。→P362

●再生制限データに誤りがあるため、取得できません

再生制限データが誤っているため受信できません。

●再生できません

メロディやｉモーションのデータが再生できません。

●最大サイズを超えたので中断しました

- サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えたため受信を中断しました。を押すと正常に受信した部分までを表示します。
- キャラ電、デコメールテンプレート、または10000バイトより大きい静止画のダウンロード時に最大サイズを超えたため受信を中断しました。

●最大サイズを超えています。受信できません（452）

サイトやインターネットホームページのサイズが大きいため、受信できません。

●最大文字数を超えたため引用できない部分がありました

SMSの本文が70文字を超える（送信種別が英語の場合は160文字）メールに本文を引用して返信できません。→P290

●最大文字数を超えました

ｉモードメールの本文が全角で5000文字または半角で10000文字を超えるメールに本文を引用して返信できません。→P290

●サイトが移動しました（301）

サイトやインターネットホームページのURLが変更されています。正しいURLを確認してください。

●サイトに接続できませんでした（403）

指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されました。

●削除しますか？ICカード内データも削除されます

複数削除または全件削除するｉアプリの中に、ｉアプリを削除するとICカード内のデータも削除されるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれます。ｉアプリおよびICカード内のデータを削除するときは「はい」を選択します。

●指定サイトがみつかりません（404）

サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

●指定サイトに表示データがありません（204）

指定のサイトにデータがありませんでした。

●指定先にジャンプできません

ｉモーションのテロップにサイト（Web To）などのリンクが設定されているとき、URLが256文字を超えている場合や取得を中断した場合は、リンク先を表示できません。

●指定されたソフトがありません

サイトやメール、外部機器から指定されたソフトがFOMA端末に保存されていません。

●指定されたソフトが起動できませんでした

ｉアプリにエラーが発生したため、ｉアプリを起動できません。サイトやメール、外部機器からｉアプリTo機能で指定されたｉアプリを起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合はｉアプリを起動できません。

●指定したサイトへは接続できませんでした（504）

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●指定したファイルが見つかりません（492）

10000バイトより大きい静止画のダウンロード時に、指定ファイルが見つかりませんでした。

●しばらくお待ちください

- 回線がたいへん混み合っています。しばらくたってから送信し直してください。
- ｉモードの利用が現在規制されています。しばらくたってから操作し直してください。

●受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります

受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所に移動して、SMS問合せを行ってください。→P303

●受信メールがいっぱいです

受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ｉモードメールを受信できません。未読のｉモードメールを読むか、ｉモードメールの保護を解除するか、ｉモードメールを削除してください。

●受信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？
チャットメールの受信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●受信を拒否されました
SMSセンターにSMSの受信を拒否されました。

●情報が正しくないため再生できませんでした
添付されたメロディや動画／iモーションのデータが不正なため再生できませんでした。

●署名を付けることができません
・iモードメールの本文と署名の合計文字数が全角で5000文字、または半角で10000文字を超えるため、署名を添付できません。本文の文字数を減らすか、署名を添付せずに送信してください。
・SMS設定で送信文字種が「英語」に設定されているため、署名を添付できません。送信文字種を「日本語」に変更してください。

●既にメッセージをお預かりしています
すでにSMSは送信済みです。

●正常に接続できませんでした（400）
サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうかを確認してください。

●赤外線　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした
FOMAカードが挿入されていないため、赤外線通信で受信したデータにiアプリToが設定されていても、指定されているiアプリを起動できません。

●赤外線　接続相手が見つかりません。処理を継続しますか？
赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま5秒以上経過しました。20cm以内の距離で、相手の赤外線ポートにFOMA端末を向けてから「はい」を選択してください。
→P401

●赤外線　中断されました
赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を相手の赤外線ポートに向けたまま動かさないでください。→P401

●赤外線　認証接続できませんでした
認証パスワードが正しくないため、データの全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。→P403

●セキュリティエラーのため、iアプリ待受画面を解除しました
許可されていない操作をしようとしたため、iアプリ待受画面が終了しました。

●セキュリティエラーのため、終了しました
許可されていない操作をしようとしたため、iアプリが終了しました。

●接続が中断されました
電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●接続できません
iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して操作し直してください。

●接続できませんでした
テレビ電話発信時に相手が番号通知お願いサービスを設定しているため、接続できません。発信者番号を「通知する」に設定してかけ直してください。

●接続できませんでした（562）
iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して操作し直してください。

●設定時間内に接続できませんでした
iモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●セルフモード中です
セルフモード中は禁止されている操作ができません。→P156

●送信できませんでした
iモードメールまたはSMSの送信に失敗しました。電波状態のよい所で送信し直してください。

●送信できませんでした（552）
iモードセンターまたはSMSセンター側のエラーにより、iモードメールまたはSMSの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●送信できません　宛先を確認してください（451）
iモードメールまたはSMSが送信できません。宛先が正しいか確認してください。

●送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？
チャットメールの送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●送信を拒否されました
SMSの送信が拒否されました。

●そのソフトは最新です
すでに最新のiアプリにバージョンアップされているため、バージョンアップできません。

●ソフトに誤りがあります
iアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●ソフトに誤りがあるため、ダウンロードできません
iアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください
ICカード内のデータを削除しておく必要があるiアプリです。iアプリを起動し、ICカード内のデータを削除してから、iアプリを削除してください。
→P344

●対応機種ではありません
ダウンロードしようとしたiアプリが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

●対応していないコンテンツです
FOMA端末で対応していないコンテンツがコードに含まれている場合は、バーコードリーダーで読み取れません。

●ダイヤル発信制限中です
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。
→P157

●ダウンロードできませんでした
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。

●他の機能が起動中のため起動できません
他に起動している機能をすべて終了してから、パターンデータの更新を行ってください。

●チャットメールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？
チャットメールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？
メールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないとメールを起動できません。

●データが不正です
ダウンロードしたキャラ電、デコメールテンプレート、または10000バイトより大きい静止画のデータにエラーがあります。

●データまたはminiSDカードが壊れています
miniSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。miniSDメモリーカードを初期化するか、新しいminiSDメモリーカードを取り付けてください。→P383、P391

●データまたはminiSDカードが壊れています。保存先を本体に変更します
カメラやキャラ電で撮影した静止画や動画の保存先を「miniSDカード」に指定しているときにminiSDメモリーカードにアクセスできない場合、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●電話中のため動画撮影・録音はできません。
通話中のカメラ撮影時は動画撮影および音声録音に切り替えられません。通話を終了してから動画撮影、音声録音に切り替えてください。→P48、P59

●電話帳に登録されていません
入力した番号が電話帳に登録されていません。電話帳に登録をしてください。→P97

●問合せできませんでした
電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●登録された指紋と一致しません
指紋認証をするときに登録されている指紋と一致しませんでした。もう一度やり直すか指紋の再登録を行ってください（暗証番号が必要です）。→P152

●登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）
iモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

●長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません。
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。□を押すと各項目の最大文字数を超えた部分は削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

●入力データまたはURLが長すぎます
サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

●入力データをご確認ください（205）
サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

●認証タイプに未対応です（401）
認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。

●認証を中止しました
基本認証の画面でクリアを押して認証を中止したときに表示されます。

●バージョン表示できませんでした
パターンデータのバージョンを確認できません。もう一度パターンデータを更新してください。→P569

●パスワードをご確認ください（401）
サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。

●発信できません
音声電話中、テレビ電話中、または64Kデータ通信中に音声電話およびテレビ電話の発信はできません。

●日付時刻が設定されていません。起動できません
日付・時刻が未設定の場合、iアプリDXを起動できません。日付・時刻を正しく設定してから起動してください。→P44

●ファイルを添付することができません
1件のメールに添付可能な最大件数を超えました。添付可能な件数を確認してください。
→P255

●復元できませんでした
復元できない形式のデータを復元しようとしました。

●不正なデータが含まれています
バーコードリーダーで読み取ったデータからiアプリを起動する場合、データに不正があるときはiアプリを起動できません。

●不正なデータのため保存できません
ダウンロードしたキャラ電に不正があるため、キャラ電を保存できません。

●保存できないデータです
赤外線通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

●保存できません
メールテンプレート保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●保存できませんでした
10000バイトより大きい静止画の保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●保存領域がいっぱいで保存できません
FOMA端末またはFOMAカードの保存領域が不足しているため、iモードメールまたはSMSを保存できません。SMSをFOMAカードまたはFOMA端末に移動、またはiモードメールを削除してください。
→P281、P304、P306

付録

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

●本体の保存件数がいっぱいです

FOMA 端末の保存件数がいっぱいのため、miniSD メモリーカードからデータの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、復元ができません。該当する不要なデータを削除してください。

●マイピクチャ／その他の画像／動画／メロディ／ PIM フォルダの保存件数がいっぱいです

miniSDメモリーカードの各フォルダの保存件数がいっぱいのため、各データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→ P388

●未送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールの未送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●未保存のデータを本体に保存するか削除してください

赤外線通信のINBOXにデータを保存したまま赤外線通信を終了できません。INBOX のデータをFOMA 端末に保存するか、削除してください。→ P406

●無効なデータを受信しました（xxx）

- 指定のサイトやインターネットホームページが i モードに対応していません。
- URLが間違っている可能性があります。URL が正しいかどうか確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。

●メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため SMS を受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。
→ P272、P280、P307

●メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため、SMS をすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してから SMS 問合せを行ってください。
→ P272、P281、P303、P307

●メールデータを参照できませんでした

- 受信、未送信メールまたはフォルダを削除するときに、削除対象のメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。
- チャットメールでメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。

●メールを表示できません

受信、送信メールにエラーがあるため表示できません。

●メッセージがいっぱいです

受信メールとメッセージ R/F の保存領域の空きが不足しているため、i モードメールとメッセージ R/F を受信できません。未読の i モードメールとメッセージ R/F を読むか、 i モードメールとメッセージ R/F の保護を解除するか、 i モードメールとメッセージR/Fを削除してください。

●メモリ不足です

メモリが不足したため処理を中断します。

●メモリ不足です。メインメニューに戻ります

メモリ不足が発生したため処理を中断して、メインメニューに戻ります。

●ユーザ証明書がありません。継続しますか？

ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。

●ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？

ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。
→ P232

●料金情報の読み込みができませんでした

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。→ P34

●料金情報のリセットができませんでした

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。→ P34

●連続撮影はできません

マイピクチャ内の保存領域、保存件数がいっぱいのため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日から１年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録されたデータが変化、消失する場合があります。万一に備え、電話帳などのデータはメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows XP、２０００、Me）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトをご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送、保管していただけます。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード、ｉアプリでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行しておりません。

アフターサービスについて

◎調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」を参照してお調べください。→P553

それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

◎保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障、損傷は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

◎次の場合は、修理できないことがあります。

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露、汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損、変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

◎保証期間が過ぎた場合は

- ご要望により有償修理いたします。

◎部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後６年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理できる場合がありますので、取扱説明書裏面の連絡先へお問い合わせください。
- 詳しくは、添付の『全国サービスステーション一覧』でご確認ください。

◎**お願い**

- FOMA端末、FOMAカードおよび付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMA カードは使用できません。
  - 改造（部品の交換、改造、塗装など）が施された機器は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能のON ／ OFF設定などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合はもう一度設定してくださるようお願いします。
- FOMA 端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなる場合がありますので、ご注意ください。
- 本製品の修理や点検などの場合において、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。また、当社の都合によりFOMA端末を代替品に交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その場合にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えられません。当社はこれらのデータなどの変化、消失、移し替えられないことについて何らの責任を負うものではありません。
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

◆メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報・ICカード内のデータなどについて◆

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像、着信メロディを故障修理時に移し替えします（一部移し替えできないコンテンツもあります）。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ&ヘルプ」でご案内させていただきます。

※：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
  - 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  - 予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

お知らせ

- 接続先設定を「ｉモード」以外に設定している場合でもソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（ ）で実行してください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - オールロック中
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - PIN1コードロック中
  - PIMロック中
  - 電源が入っていないとき
  - ICカードロック中
  - パソコンとつないだパケット通信中
  - 他の機能を使用しているとき
  - FOMAカードが未挿入のとき
  - PIN1コード入力中
  - 圏外が表示されているとき
  - 通話中
  - セルフモード中
  - 遠隔ロック中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- PIN1コードON／OFF設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書表示／使用設定でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→P231
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態（ ）で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
  また、メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されない場合があります。→P264
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗する場合があります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したままできますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。
- ダウンロード中に音声電話の着信があった場合、着信音に「着モーション」を設定しているときは、着モーションは動作せず、着信音はメロディになります。また、イメージに動画／ｉモーションを設定しているときは、最初のコマが表示されます。
- ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話は受けられません。着信履歴には不在着信として残ります。
- ソフトウェア更新中にアラームなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、アラームなどは起動しません。

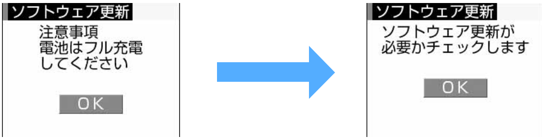
ソフトウェア更新を起動する

1 待受画面で MENU 8 9 6 を押し、端末暗証番号を入力する

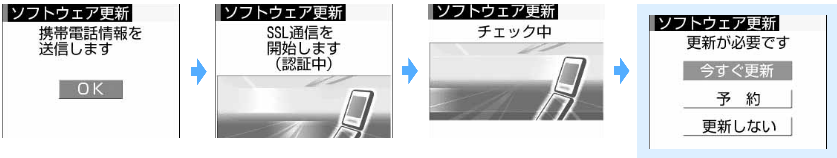


- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。
- お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

2 注意事項を確認してを押す



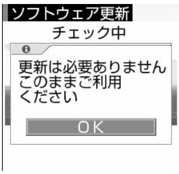
3 を2回押して、ソフトウェア更新が必要かどうかを確認する



ソフトウェア更新画面

- 携帯電話情報の送信画面でを押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。
- 更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示され、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。

■ 更新が必要ないとき



ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

- サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

1 ソフトウェア更新画面を表示する

次ページへ続く

2 「今すぐ更新」を選択する（ を押すと、すぐにダウンロードを開始します）

ダウンロードを開始し、着信ランプが点滅します。



- ダウンロードを中止するときは を押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどの選択操作なしに更新処理が実行されます。

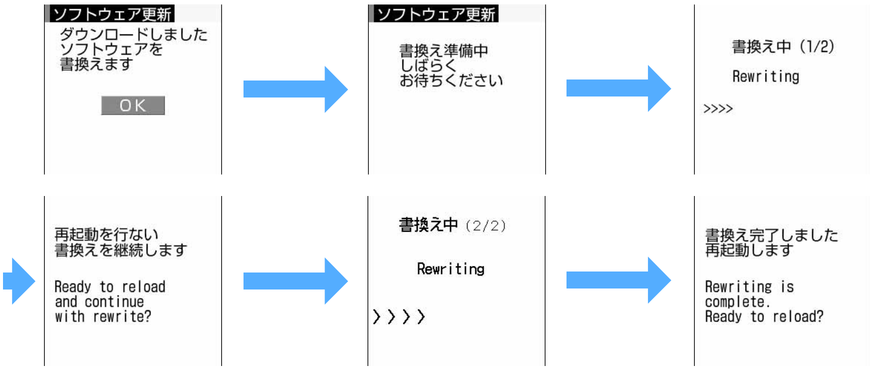
■ サーバが混み合っているとき



- 「予約」を選択して更新日時を予約してください。→P567

3 ダウンロード終了後、自動的にソフトウェアを書き換える（ を押すと、すぐに書き換えを開始します）

ダウンロードが終了すると、ソフトウェアの書き換えを自動的に開始します。書き換え中は着信ランプと充電ランプが点滅します。



- ソフトウェア書き換え中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することもできません。

4 書き換え終了後、自動的に再起動する

再起動すると再びサーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。



5 を押す

更新が終了し、待受画面が表示されます。

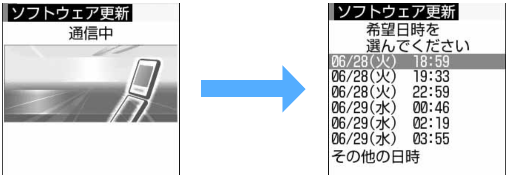
日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

1 ソフトウェア更新画面を表示する

2 「予約」を選択する

サーバと通信を行い、予約時間候補を問い合わせます。



- 予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

3 希望日時を選択する

■ 表示されている予約候補から選択するとき

希望日時を選択して「はい」を選択する



■ 表示されている予約候補以外から選択するとき

①「その他の日時」を選択する



②希望日を選択する



各時間帯の予約の空き状況が表示されます。

○：空きあり　△：空きわずか

- 希望日の候補が複数ページあるときは、を押してページを切り替えます。

③希望時間帯を選択する

サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

- を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

④希望日時を選択して「はい」を選択する

付録

次ページへ続く

4 を押す

予約の設定が完了し、メニューが表示されます。

- 予約中は、待受画面に が表示されます。

予約を確認・変更・取り消しをする

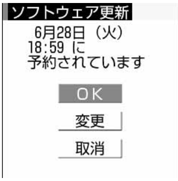
〈例〉ソフトウェア更新の予約日時を確認するとき

1 待受画面で を押す

2 認証操作を行う

3 内容を確認する

- 確認を終了するときは「OK」を選択します。



■ 予約を変更するとき

「変更」を選択して を押す

予約候補の選択画面が表示されます。

- 以降の操作は、「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作2以降を参照してください。→P567
- 携帯電話情報の送信画面で を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ 予約を取り消すとき

①「取消」を選択して「はい」を選択する

携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

② を2回押す

予約が取り消され、メニューが表示されます。

- 携帯電話情報の送信画面で を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

予約の日時になると



- 予約日時になると左の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることを確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。
- ソフトウェア更新を中止する場合は を押し、「はい」を選択します。

お知らせ

- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。
- PIN1コードON／OFF設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信操作ができません。
- 同じ日時にアラームなどが設定されていた場合には、アラームなどが優先され、ソフトウェア更新が起動しないことがあります。

スキャン機能

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、随時更新してください。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
  各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能によって障害などの発生を防げませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

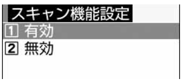
スキャン機能を設定する＜スキャン機能設定＞

お買い上げ時	有効

スキャン機能を「有効」に設定すると、データの表示やプログラムの実行の際、自動的にチェックします。

1 待受画面で MENU 8 3 8 2 を押す

2 1 を押し、「はい」を選択する



- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P570

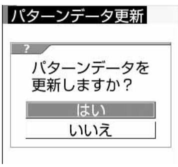
■ スキャン機能設定を解除するとき

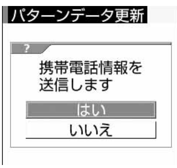
2 を押して「はい」を選択する

パターンデータを更新する＜パターンデータ更新＞

1 待受画面で MENU 8 3 8 1 を押す

2 「はい」を2回選択してパターンデータを更新する







3 [ ] を押す

パターンデータ更新が終了します。

- パターンデータ更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。

付録

次ページへ続く

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末で正しい日付・時刻が設定されていない場合は、パターンデータの更新はできません。
- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。テレビ電話の着信、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
- パターンデータ更新中にアラーム設定やスケジュールで指定した日時になると、起動日時を知らせる画面が表示されてアラームが鳴りますが、パターンデータの更新は継続されています。

スキャン結果の表示について

■ スキャンされた問題要素の表示について

警告メッセージ表示中に「詳細表示」を選択する



問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

付録

■ スキャン結果の表示について

警告レベル	表示メッセージ	対応方法
警告レベル 0	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細表示	「OK」　　：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 1	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」　　：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「いいえ」　：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 2	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細表示	「OK」　　：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 3	問題要素が検出されました　正常に動作できない場合があります　データを削除しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」　　：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「いいえ」　：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 4	問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細表示	「OK」　　：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

お知らせ

- スキャン機能によってｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり、起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 待受画面で [MENU][8][3][8][3] を押す



携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA F901iSの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA F901iSのSARの値は0.654W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページを参照してください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/p_s/products/
富士通のホームページ http://www.fmworld.net/product/phone/f901is/
※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

主な仕様

品名	FOMA F901iS
サイズ	高さ105×幅51×厚さ28mm （折り畳み時、突起部含まず）
質量	約131g（電池パック装着時）
連続待受時間	移動時：約380時間 静止時：約550時間
連続通話時間	音声電話時　：約160分 テレビ電話時：約100分
電池パック種別	リチウムイオン電池
電池容量	730mAh
FOMA ACアダプタ01での充電時間	約130分
FOMA DCアダプタ01での充電時間	約130分
カメラ画素数	アウトカメラ：有効画素数約204万画素 （記録画素数約200万画素） インカメラ　：有効画素数約32万画素 （記録画素数約31万画素）
デジタルズーム	アウトカメラ：最大20倍 インカメラ　：最大2倍

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- ｉモード通信を行うと連続通話（通信）、連続待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると連続通話、連続待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA 端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA 端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
メール	受信メール※1、※2	最大1000件	最大500件
	送信メール※1、※2	最大200件	最大100件
	未送信メール※1、※2	最大200件	最大100件
	メールテンプレート※1	最大100件	－
FOMAカードのSMS※3		最大20件	－
メッセージR※1		最大100件	最大50件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
ブックマーク		最大100件	－
画面メモ※1		最大100件	最大50件
ｉアプリ※4		最大100件	最大100件
画像※1		最大1000件	－
メロディ※1		最大500件	－
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大100件	－
キャラ電※1		最大50件	－
PDFデータ※1		最大100件	－

※1：実際に保存・登録できる件数は、データサイズにより少なくなる場合があります。
※2：ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※3：送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知の件数は保存可能件数の20件には含まれません。
※4：メール連動型ｉアプリは最大5件保存できます（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）。実際に保存できる件数は、ｉアプリのサイズにより少なくなる場合があります。

お知らせ

- FOMA 端末に保存されているデータは、FOMA 端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末に保存したメール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／ｉモーションはminiSDメモリーカードに保存することをおすすめします。
- パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトをご利用いただくことにより、メール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／ｉモーションなどのデータをパソコンに転送、保管できます。
- FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じる場合があります。

かんたん検索／索引／クイックマニュアル

かんたん検索

よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・ランプ色・振動を変える

画面表示を変える

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P379

メールを使う

カメラを使う

安心して使うために

その他の機能

- その他の機能の検索方法については、表紙裏面の「取扱説明書のご使用にあたって」を参照してください。
- よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しています。→588

ア行

カ行

サ行

タ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P379

MEMO

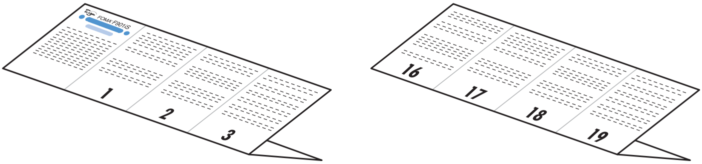
クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

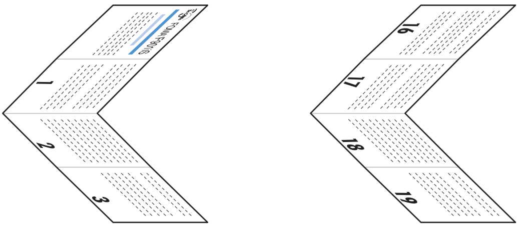
1 **キリトリ線から切り離す（2 枚）**

※切り離しの際にはけがなどにご注意ください。

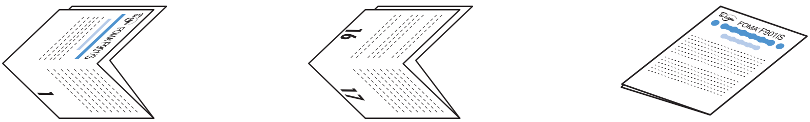
2 **それぞれを縦半分に折る**



3 **それぞれを横半分に折る**



4 **それぞれをさらに横半分に折る**



クイックマニュアル記載内容

NTT DoCoMo FOMA® F901iS

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

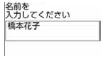
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

FOMA 端末電話帳の登録

1. 待受画面で [MENU][4][2]
2. 名前を入力→[キー]



3. 各項目を設定



・撮影：[キー]（静止画）／[キー]（動画）
撮影方法→ P8
・着信音など他の項目を登録：[キー]／[キー]

4. [キー]
5. メモリ番号（0 ～ 699）を入力→[キー]

FOMA カード電話帳の登録

1. 待受画面で [MENU][4][3]
2. 名前を入力
3. [キー]
4. 各項目を設定→[キー]

リダイヤルや着信履歴からの登録

1. 待受画面で [キー] または [キー]
2. 登録する相手にカーソルを合わせる→[MENU][1]
・登録済みの電話帳へ追加：[MENU][2]
3. [1]（FOMA 端末電話帳）～[2]（FOMA カード電話帳）
・登録済みの電話帳へ追加する場合は、追加する相手を選択する
4. 各項目を設定→[キー]
・FOMA 端末電話帳の場合は、メモリ番号（0 ～ 699）を入力→[キー]

電話帳の修正

1. 待受画面で [キー]
・電話帳の切り替え：[キー]
2. 修正する相手にカーソルを合わせる→[MENU][3]
3. 修正する→[キー]
4. メモリ番号（0 ～ 699）を入力→[キー]
・FOMA カード電話帳の場合は[キー]

電話帳の検索

1. 待受画面で [MENU][4][1]
・電話帳の切り替え：[キー]
2. [1] ～ [7]
・FOMA カード電話帳は [1] ～ [4]

文字の入力

かな入力方式とスロット入力方式の切り替え

・**文字入力中に切り替える**
[MENU][7][1]
・**待受中に切り替える**
[MENU][8][9][3]→入力方式を選択→[1]（かな入力）～[2]（スロット入力）

入力モードの切り替え

文字入力中に [キー] を複数回
・[キー] を押し、入力モードを選択しても切り替えが可能

文字の入力・変換（かな方式）

〈例〉「鈴木」と入力するとき

1. ひらがな／漢字モードで文字を入力
「す」：[3] を 3 回→
「ず」：[3] を 3 回→[*]
「き」：[2] を 2 回
・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動→文字を入力
・入力した文字の確定前にできる操作
[MENU]：全角カタカナに変換
[クリア]：入力した文字の取り消し
[キー]：大文字／小文字の切り替え
[キー]：1 つ前の文字に戻す（例：…→ 1 →お→え→う→い→あ→ 1 →…）
[*]：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加（例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）

2. [キー]
・変換候補一覧の表示：[キー]／[キー]／[キー]
・変換前の状態に戻す：[クリア]
3. [キー]

文字の削除

・**カーソルが文中にあるとき**
[クリア]：カーソル位置の文字の削除
・1 秒以上押すと、カーソル位置の文字と、その右側にあるすべての文字を削除
・**カーソルが文末にあるとき**
[クリア]：カーソル位置の左側にある文字の削除
・1 秒以上押すと、すべての入力文字の削除

記号・絵文字・定型文の入力

・**記号を入力する**
文字入力中に [キー] →記号を選択
・[キー][1] を押しても入力可能
・**絵文字を入力する**
文字入力中に [キー] →絵文字を選択
・[キー][2] を押しても入力可能
・**定型文を入力する**
文字入力中に [キー][7] →定型文種別を選択→定型文を選択
・[キー][MENU] を押しても入力可能

区点コードでの入力

文字入力中に [キー][8] →区点コード（4 桁）を入力

キリトリ線

カメラ機能

静止画／動画の撮影

- **静止画を撮影する**
  1. 待受画面で
  2. 被写体にカメラを向けて
  3.
- **動画を撮影する**
  1. 待受画面で を 1 秒以上
  2. 被写体にカメラを向けて
  3.
  4.

撮影した画像の表示／動画の再生

- **画像を表示する**
  1. 待受画面で
  2. 「カメラ」フォルダを選択
  3. 表示する画像を選択
     - フォルダ内の別画像の表示：
- **動画を再生する**
  1. 待受画面で
  2. 「カメラ」フォルダを選択
  3. 再生する動画を選択
     - 動画再生中にできる操作
       ：音量調整（サイドキー［▲▼］でも操作できます）
       ：早送り再生
       ：一時停止／再生
       ：停止

テレビ電話

テレビ電話のかけかた

1. 待受画面で電話番号を入力
2.
   - 通信速度を指定して発信：→発信方法を選択→→「はい」を選択
3. 通話する
   - 通話保留：
   - スピーカーホン機能を利用して通話：
   - 送信する画像の切り替え：
4. 通話が終了したら

テレビ電話の受けかた

1. 電話がかかってくる
   - 応答保留：
2.
   - 通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作 3 と同様
3. 通話が終了したら

i モードメール

送受信できる文字数

項　目	全角文字	半角文字
題名	15 文字	30 文字
メールアドレス	—	50 文字
本文	5000 文字	10000 文字

i モードメールの作成・送信

1. 待受画面で を 1 秒以上



2. To を選択→入力方法を選択→宛先を入力または選択
3. Sub を選択→題名を入力
4. Text を選択→本文を入力
   - デコメールの作成：本文入力画面で →装飾方法を選択→文字を入力
5.
   - メールの保存：

ファイルの添付

1. メール作成画面で を選択
   メール作成画面の表示方法→ P11
2. 添付するファイルの種類を選択
3. 添付元を選択
4. フォルダを選択
5. ファイルを選択
   - 添付ファイルの解除： →「はい」を選択

送信・保存した i モードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集するとき

1. 待受画面で
   - 送信メールの編集：
2. フォルダを選択
3. メールを選択
4. 編集→

i モードメールの受信

1. メールを受信する
   メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示される
2. または
3. フォルダを選択
4. メールを選択

i モード問合せ

待受画面でサイドキー［▼］を 1 秒以上

メニュー一覧

- 待受画面で を押してから、各項目の番号を入力します。

〈例〉カメラを起動するとき
→ 6 → 1

- 1 メール
  - 1 受信メール　2 新規メール
  - 3 チャットメール　4 未送信メール
  - 5 送信メール
  - 6 問合せ
    - 1 i モード問合せ　2 SMS 問合せ
    - 3 メール選択受信　4 i モード問合せ設定
  - 7 SMS
    - 1 SMS 作成　2 FOMAカード(UIM)受信SMS
    - 3 FOMAカード(UIM)送信SMS　4 SMS 設定
  - 8 テンプレート読込み
  - 9 メール設定
    - 1 メール着信設定　2 チャットメール着信設定
    - 3 メール振り分け設定　4 署名設定
    - 5 メール返信引用設定　6 メール選択受信設定
    - 7 メール受信添付ファイル設定　8 メールグループ
    - 9 表示設定
      - 1 メール一覧表示設定　2 添付ファイル自動再生設定
      - 3 受信表示設定

- 2 i モード
  - 1 i Menu　2 Bookmark
  - 3 Internet
    - 1 URL 入力　2 URL 履歴
  - 4 画面メモ　5 ラスト URL
  - 6 i モード問合せ
  - 7 メッセージ
    - 1 メッセージ R　2 メッセージ F
    - 3 メッセージ設定
      - 1 自動表示設定　2 i モード問合せ設定
      - 3 添付ファイル自動再生設定　4 メッセージ着信設定
  - 8 i モード設定
    - 1 ツータッチサイト表示　2 接続待ち時間設定
    - 3 接続先設定　4 証明書表示／使用設定
    - 5 ユーザ証明書操作　6 証明書発行接続先設定
  - 9 表示設定
    - 1 表示・効果設定　2 表示色設定
    - 3 i モーション設定
- 3 i アプリ
  - 1 ソフト一覧
  - 2 i アプリ設定
    - 1 ソフトの並べ替え　2 自動起動設定
    - 3 ソフト情報表示設定　4 照明設定
    - 5 バイブレータ設定　6 ツータッチｉアプリ表示
  - 3 履歴表示

キリトリ線

4 電話帳／履歴
- 1 電話帳検索 / 2 電話帳登録
- 3 FOMA カード（UIM）登録 / 4 着信履歴
- 5 リダイヤル
- 6 伝言メモ／音声メモ
  - 1 伝言メモ設定 / 2 伝言メモ一覧
  - 3 音声メモ録音 / 4 音声メモ一覧

5 データ BOX
- 1 マイピクチャ / 2 ｉモーション
- 3 メロディ / 4 キャラ電
- 5 マイドキュメント

6 ツール
- 1 カメラ / 2 ビデオカメラ
- 3 サウンドレコーダー / 4 バーコードリーダー
- 5 赤外線／PC データ連携
  - 1 赤外線全件送信
    - 1 電話帳 / 2 スケジュール
    - 3 受信メール / 4 送信メール
    - 5 未送信メール / 6 メモ
    - 7 Bookmark
  - 2 赤外線受信 / 3 データ送受信設定
  - 4 USB モード設定
- 6 miniSD カード / 7 ICカードソフト一覧

7 ステーショナリー
- 1 スケジュール帳 / 2 メモ帳
- 3 アラーム / 4 電卓

8 設定
- 1 音／バイブ
  - 1 着信音設定 / 2 着信音量調整
  - 3 受話音量調整 / 4 キー確認音設定
  - 5 電池アラーム音設定 / 6 マナーモード選択
  - 7 バイブレータ設定 / 8 着信呼出動作設定
  - 9 充電確認音設定
- 2 ディスプレイ
  - 1 待受画面設定
  - 2 発着信画面選択
    - 1 電話発信設定 / 2 電話着信設定
    - 3 テレビ電話発信設定 / 4 テレビ電話着信設定
    - 5 人物画像表示設定 / 6 メール送信画像設定
    - 7 メール受信画像設定 / 8 問合せ画像設定
  - 3 スクリーン設定 / 4 電池マーク設定
  - 5 照明設定 / 6 イルミネーション設定
  - 7 背面ディスプレイ設定
    - 1 背面情報表示設定 / 2 背面画像設定
  - 8 フォント設定
  - 9 バイリンガル
- 3 セキュリティ／ロック
  - 1 ロック
    - 1 オールロック / 2 PIM ロック
    - 3 遠隔ロック / 4 IC カードロック
    - 5 開閉ロック
  - 2 シークレットモード / 3 ダイヤル発信制限
  - 4 FOMA カード（UIM）

8 設定
- 5 暗証番号変更 / 6 指紋設定
- 7 プライバシーモード設定
- 8 スキャン機能
  - 1 パターンデータ更新 / 2 スキャン機能設定
  - 3 バージョン表示
- 4 情報表示／リセット
  - 1 通話時間 / 2 設定状況確認
  - 3 電池レベル表示
  - 4 通話料金
    - 1 通話料金表示 / 2 通話料金上限通知
    - 3 上限通知アイコン消去 / 4 通話料金自動リセット設定
  - 5 各種設定リセット / 6 データ一括削除
- 5 時計
  - 1 日付時刻設定 / 2 自動電源 ON 設定
  - 3 自動電源 OFF 設定 / 4 時計表示設定
  - 5 アラーム自動電源 ON 設定
- 6 発着信機能
  - 1 電話発信設定 / 2 電話着信設定
  - 3 発番号なし動作設定
  - 4 イヤホン機能設定
    - 1 イヤホン切替設定 / 2 オート着信機能設定
    - 3 イヤホンスイッチ発信設定
  - 5 メモリ別着信拒否／許可 / 6 メモリ登録外着信拒否
  - 7 応答保留ガイダンス設定 / 8 エニーキーアンサー設定
  - 9 優先通信モード設定

8 設定
- 7 通話機能
  - 1 ノイズキャンセラ設定 / 2 再接続アラーム設定
  - 3 通話保留音設定 / 4 通話品質アラーム設定
  - 5 プレフィックス設定 / 6 国際ダイヤル自動付加
  - 7 サブアドレス設定 / 8 通話中クローズ設定
- 8 テレビ電話
  - 1 テレビ電話発信設定 / 2 テレビ電話着信設定
  - 3 テレビ電話動作設定 / 4 テレビ電話画像選択
  - 5 テレビ電話使用機器設定
  - 6 テレビ電話切替機能通知
    - 1 切替機能通知開始 / 2 切替機能通知停止
    - 3 切替機能通知設定確認
- 9 文字入力／その他
  - 1 単語登録 / 2 定型文登録
  - 3 入力設定 / 4 セルフモード設定
  - 5 NW 検索方法 / 6 ソフトウェア更新

9 NW サービス
- 1 留守番電話
  - 1 留守番サービス
    - 1 留守番サービス開始 / 2 留守番呼出時間設定
    - 3 留守番サービス停止 / 4 留守番設定確認
    - 5 留守番メッセージ再生 / 6 留守番サービス設定
    - 7 メッセージ問合せ
  - 2 件数増加鳴動設定
  - 3 着信通知

9 NW サービス
  - 1 着信通知開始 / 2 着信通知停止
  - 3 着信通知設定確認
  - 4 表示消去
- 2 キャッチホン
  - 1 キャッチホン開始 / 2 キャッチホン停止
  - 3 キャッチホン設定確認
- 3 転送でんわ
  - 1 転送サービス開始 / 2 転送サービス停止
  - 3 転送先変更 / 4 転送先通話中時設定
  - 5 転送サービス設定確認
- 4 迷惑電話ストップ
  - 1 迷惑電話着信拒否登録 / 2 迷惑電話全登録削除
  - 3 迷惑電話 1 登録削除
- 5 発信者番号通知
  - 1 発信者番号通知設定 / 2 発信者番号通知確認
- 6 番号通知お願いサービス
  - 1 番号通知開始 / 2 番号通知停止
  - 3 番号通知確認
- 7 通話中着信設定
  - 1 通話中着信設定開始 / 2 通話中着信設定停止
  - 3 通話中着信設定確認
- 8 通話中着信動作選択
- 9 その他の NW サービス
  - 1 USSD 登録 / 2 応答メッセージ登録
  - 3 遠隔操作設定

9 NW サービス
  - 1 遠隔操作開始 / 2 遠隔操作停止
  - 3 遠隔操作設定確認
- 4 英語ガイダンス
  - 1 ガイダンス設定 / 2 ガイダンス設定確認
- 5 デュアルネットワーク
  - 1 デュアルネットワーク切替 / 2 デュアルネットワーク状態確認
- 6 サービスダイヤル
  - 1 ドコモ故障問合せ / 2 ドコモ総合案内・受付

0 プロフィール情報

その他の主な操作

機　能	操作方法
電源 ON ／ OFF	を 2 秒以上
セルフモードの起動／解除	を 1 秒以上
サイドキーロックの起動／解除	を 1 秒以上
ドライブモードの起動／解除	を 1 秒以上
ｉモードメニューの表示	
ｉアプリフォルダ一覧の表示	を 1 秒以上
着信履歴の表示	
プライバシーモードの起動／解除	を1秒以上（解除時はを 1 秒以上→認証操作）
リダイヤルの表示	
マナーモードの起動／解除	を 1 秒以上
新規起動メニュー	
伝言メモ／音声メモメニューの表示	FOMA 端末を開いた状態でサイドキー［▲］を 1 秒以上
IC カードロックの起動／解除	を1秒以上（解除時はを 1 秒以上→認証操作）

ネットワークサービス

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

- **サービスを開始する**
  1. 待受画面で 9 1 1 1
  2. 「はい」を選択
  3. 「はい」を選択
  4. 呼出時間を入力→
- **サービスを停止する**
  1. 待受画面で 9 1 1 3
  2. 「はい」を選択
- **伝言メッセージを再生する**
  1. 待受画面で 9 1 1 5
  2. 「はい」を選択
  3. 音声ガイダンスに従って操作する

キリトリ線

キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

・**サービスを開始／停止する**

1. 待受画面で

2. （開始）～（停止）

3. 「はい」を選択

・**通話中にかかってきた電話を受ける**

通話中に

・通話相手の切り替え：

・**通話中に電話をかける**

通話中に →電話番号を入力→

・通話相手の切り替え：

・**通話を終了する**

一方の相手との通話が終了したら

・保留中相手との通話再開：

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

・**サービスを開始する**

1. 待受画面で

2. 「はい」を選択

3. 「はい」を選択

4. 転送先電話番号を入力→

・電話帳から転送先を入力：

5. →「はい」を選択

6. 呼出時間を入力→

・**サービスを停止する**

1. 待受画面で

2. 「はい」を選択

番号通知お願いサービス

お申し込み不要です（無料）。

・**サービスの開始／停止**

1. 待受画面で

2. （開始）～（停止）

3. 「はい」を選択

利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）午前 8 時～午後 10 時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋ 177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

ディスプレイの見かた

ディスプレイ上部

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬



① ：電池残量表示

漢 ：文字入力モード表示

② ：受信レベル

圏外：圏外表示

：セルフモード中

：データ転送モード中など

③ ：ｉモード（接続）中

：ｉモード（パケット通信）中

④ ：赤外線通信中など

⑤ ：スピーカーホン機能利用中

：USB ハンズフリー通信中

：積算通話料金上限超過

⑥ ：ｉモードセンター蓄積状態表示

⑦ ：未読メール状態表示

⑧ R ：未読メッセージ R 状態表示

⑨ F ：未読メッセージ F 状態表示

⑩ ：ｉアプリ待受画面表示中

：ｉアプリ DX 待受画面表示中

／ ：ｉアプリ／ｉアプリ DX 動作中

⑪ ：SSL ページ表示中など

⑫ ：シークレットモード中

⑬ ：ｉアプリ自動起動失敗

キリトリ線

ディスプレイ下部

①②③④



⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

① 2：不在着信件数

② 1：伝言メモ件数

③ 1：留守番電話新メッセージ件数

④ 2：未読メール件数

⑤ ：マナーモード中

：オリジナルマナーモード中

⑥ S ：着信音消音設定中

V ：バイブレータ設定中

SV ：着信音消音とバイブレータ設定中

⑦ ：ドライブモード中

⑧ ：伝言メモ設定中

：伝言メモ満杯

⑨ ：開閉ロック中

⑩ ：USB ケーブルで外部機器と接続中

⑪ ：有効マルチカーソルキー

⑫ ：miniSD メモリーカード装着中

⑬ ：FOMA カード読み込み中

：IC カードロック中

⑭ ：PIM ロック中

：ダイヤル発信制限中

：サイドキーロック中

⑮ ：アラーム設定中

：スケジュールアラーム設定中

：アラームとスケジュールアラーム同時設定中

⑯ ：ソフトウェア更新予約中

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。次の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・ 航空機内　・ 病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全な所に停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

・ **マナーモード／オリジナルマナーモード**

キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。→P123

マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。→P124

・ **ドライブモード**

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスが流れ、切断されます。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。→P70

・ **バイブレータ**

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P121

・ **伝言メモ**

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→P72

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P462、P465

※この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収、リサイクルに出しましょう。

「留守番電話サービス」「キャッチホン」「転送でんわサービス」「迷惑電話ストップサービス」「WORLD CALL」「WORLD WING」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

●ｉモードはこちら　ｉMenu ▶□料金&お申込 ▶■ドコモeサイト　パケット通信料無料
●パソコンなどはこちら　http://www.esite.nttdocomo.co.jp/

※ｉモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし一部パケット通信料がかかる場合があります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　富士通株式会社

Li-ion

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK

大豆油インキを使用しています。

'05.6（2.1版）
CA92002-4508